

全員協議会提出議題

日時 令和7年10月21日（火）
午前9時30分

1 報告事項

- (1) 厚木市制70周年記念歴史冊子「厚木人」発行について（資料1）
【企画政策課】
- (2) 令和6年度厚木市民実感度調査結果について（資料2）
【企画政策課】
- (3) 令和7年度施策評価結果について（資料3）
【企画政策課】
- (4) 令和7年度事務事業評価結果について（資料4）
【行政経営課】
- (5) 厚木消防署本署再整備方針の策定について（資料5）
【消防総務課】
- (6) あつぎオレンジフェスタ2025の実施結果について
・実施日 9月21日 講座等に約1,000人が来場
【地域包括ケア推進課】

2 その他（資料配布のみ）

- (1) 行事予定
県央やまなみ地域の市町村職員による「エコ通勤デー」の実施について（資料）
・実施日 11月7日
【都市計画課】
- (2) 道路の供用開始
都市計画道路本厚木下津古久線の供用開始について（資料）
【交通混雑対策課】
- (3) パブリックコメント実施予定一覧（資料）
ア 厚木市子ども育成条例の一部改正の骨子
【こども育成課】
イ 厚木市建築物における駐車施設の附置に関する条例の一部改正の骨子
【都市計画課】

ウ 厚木市学校給食費に関する条例施行規則の一部改正の骨子

【学校給食課】

戦国大名・毛利氏発祥の地

厚木人

Atsugi
JinPowered by
歴史人
Vol.01

有力戦国大名発祥の地

鎌倉時代の毛利氏と厚木

厚木は歴史の分岐点

戦国・幕末の重要な舞台だった

古代ロマンを発掘

縄文・弥生・古墳時代の
歴史遺産

はじまりの物語、厚木で発見！

あつぎの歴史

(原始・古代～現代概略)

原始・古代

時代	年代	できごと
旧石器	約2万年前	厚木市域に人が住み始める
縄文	約1万3000年前～ 2400年前	縄文土器が作られる
弥生	約2400年前～ 3世紀	稲作が始まる
古墳	4世紀後半～7世紀	厚木市域に古墳が造られる
奈良	和銅6年(713)	一帯が相模国愛甲郡となる(『延喜式』より)
平安	承平5年(935)	愛甲郡を6郷(玉川・英那・印山・船田・六座・餘部)に分ける(『倭名類聚抄』より)

厚木の文化の幕開け
▶P.14～



企画制作／歴史人編集部 朝日放送テレビ株式会社 協力／厚木市
編集／深谷美和 地図／アトリエ・プラン デザイン／近藤琢斗(FROG KING STUDIO)
営業／筒井達也・三森文子 校正／東京出版サービスセンター 編集人／後藤隆之
発行日／2025年11月1日 発行人／園部 充
発行所／株式会社ABCアーク©朝日放送テレビ・ABC ARC
本誌掲載記事・写真・イラストなどの無断複写(コピー)・複製・転載を禁止します。

写真協力／厚木市・(一社)厚木市観光協会
表紙画像／紙本著色毛利元就像(毛利博物館蔵)・大江広元像(毛利博物館蔵)・
東鑑(あつぎ郷土博物館蔵)・林王子遺跡出土 有孔鍔付土器・登山1号墳出土 家形埴輪

中世

鎌倉	建久5年(1194) 源頼朝が日向薬師を参詣。 下毛利荘 大江広元が駄飼・弁当を振る舞う(『吾妻鏡』より)
南北朝	延元3年・ 建武5年(1338) 夢窓疎石が高師直に宛てた書状に 「相州厚木郷」の名称が見える
室町	長享2年(1488) 扇谷上杉定正、山内上杉顕定を実蒔原の戦いで破る
戦国	永禄4年(1561) 長尾景虎が小田原攻めで通過。建徳寺や最勝寺が大破 永禄12年(1569) 武田信玄が小田原攻めで通過。千光寺や遍照院が大破 天正13年(1585) 北条氏直が荻野の市法度を定める 天正18年(1590) 豊臣秀吉が厚木などに禁制を下す 天正19年(1591) 徳川家康が市内寺社に朱印地を与える

厚木で
毛利氏が誕生!
▶P.4～

関東・戦乱の
時代へ
▶P.10～

厚木市について

市制70周年

神奈川県厚木市は、令和7年2月1日に市制70周年を迎えた。本冊子は厚木市の歴史をテーマごとにまとめ、再発見する目的で制作した。



地理

神奈川県のはぼ中央に位置する厚木市は、面積93.83平方キロメートル、人口22万3028人の都市(令和7年8月現在)。一級河川の相模川と丹沢大山に挟まれ、扇を広げたような地形が特徴。

歴史

相模平野の肥沃な地域にあったことから、縄文時代早期には人々が定住したと推定されている。古墳も数多く造られやがて、鎌倉時代には毛利氏をはじめとした武将や寺院の所領地にもなった。江戸時代は徳川の直轄領のほか、大名領・旗本領が配され、宿場、産業、交易の場として大いに繁栄し、小江戸とも呼ばれた。

観光・特産品

東京都心や羽田空港、横浜からアクセスしやすく、本厚木駅は1日平均13万人の乗降がある。豊かな自然環境で育まれる特産品も多く、鮎料理やいのしし鍋、とん漬、豚ホルモン、地酒などは全国的に有名。

近現代

明治	明治4年(1871) 廃藩置県。荻野山中県、烏山県、小田原県、六浦県に属する ※11月に足柄県 明治9年(1876)4月に神奈川県となる。 明治11年(1878) 厚木村に愛甲郡役所を設置 明治22年(1889) 市制・町村制施行。市域36か村が厚木町ほか12か村になる 昭和2年(1927) 小田原急行鉄道開通。相模厚木駅(現本厚木駅)開業 昭和30年(1955) 厚木町・南毛利村・睦合村・小鮎村・玉川村が合併し、 厚木市が発足 ※その後相川村、依知村、荻野村を編入。 昭和39年(1964) 国道246号、東京―沼津線開通 昭和43年(1968) 東名高速道路、東京―厚木間開通 平成 平成31年(2019) あつぎ郷土博物館開館 令和 令和7年(2025) 市制施行70周年

厚木市制
スタート



あつぎ郷土博物館(▶P.20)



福伝寺山門(▶P.13)

日本は
戊辰戦争へ突入
▶P.12～

近世

江戸

享保14年(1729)
このころ烏山藩厚木役所が設置される
天明3年(1783)
荻野山中藩第5代藩主 大久保教翹、
中荻野に陣屋を設置
天保2年(1831)
渡辺華山が厚木を訪れ「厚木六勝図」を描く
慶応3年(1867)
荻野山中陣屋が浪士隊に焼き討ちされる

厚木人 目次

4

- 1 有力戦国大名発祥の地
鎌倉時代の毛利氏と厚木
- 2 厚木は歴史の分岐点
戦国・幕末の重要な舞台だった
古代ロマンを発掘
- 3 縄文・弥生・古墳時代の歴史遺産

はじまりの物語、厚木で発見!

18

厚木市歴史発見MAP

●厚木市内の文化財

あつぎの歴史を
もっと知るならココへ!

20



はじまりの物語、厚木で発見！

1

有力戦国大名発祥の地

鎌倉時代の毛利氏と厚木

2 佐橋荘

1 毛利荘



大江広元像
幕末の絵師・大庭学僊筆。毛利博物館蔵

第一章

有力戦国大名
毛利氏の故地・厚木

毛利氏というのは名字（苗字）であり、その本姓は大江氏という。本姓とは、古代以来の同族集団が用いた本来の氏を指す。源氏・平氏・藤

厚木市は、戦国大名・毛利氏のルーツの地。

鎌倉幕府政所の初代別当を務めた大江広元と子息、特に四男・季光（毛利氏初代）の姿を追う。監修・文小和田泰経

原氏・橘氏の「四姓」が俗に「源平藤橘」と称されるほか、大江氏や菅原氏なども氏であった。古代には、同族集団は同じ氏を用いていたが、中世になると、同族集団のなかの家それぞれが、多くは本拠とする土地

毛利氏の本姓である大江氏は、古代の名族である土師氏の流れをくむという。一説には平城天皇の皇子阿保親王の子孫ともいわれるが、確かなことはわからない。ちなみに、毛利氏の家紋「一文字に三つ星」は、阿保親王が一品を追贈された故事によるものと伝わっている。

その土師氏であるが、朝廷から大枝姓を賜わると、平安時代前期に大江音人が大江姓へと表記を改めた。

紙本著色毛利元就像

安芸毛利氏の第12代当主。安芸国の国人領主から一代で中国地方統一を成し遂げた。

毛利博物館蔵

3 吉田荘

5 萩

4 広島

6 山口

7 防府

【毛利氏の移動ルート】

「毛利」の姓を初めて名乗ったのが、大江広元の4男・季光。時代とともに一族が西国に移動しても、同じ姓を名乗ることになる。

【毛利氏の歩み】

時代	年代	できごと
鎌倉	久安4年（1148）ころ	大江広元誕生
	元暦元年（1184）	広元、公文所の別当に就任
室町	建仁2年（1202）	広元四男・季光誕生。のちに毛利荘を相続①
	承久3年（1221）	季光、承久の乱で功績をあげる。
南北朝	宝治元年（1247）	安芸国吉田荘（現広島県安芸高田市）を与えられる。
	建武3年（1336）	宝治合戦。三浦方に参じた季光は自害
江戸	明応6年（1497）	季光四男経光、佐橋荘（現新潟県柏崎）で毛利家を継ぐ②
	天正19年（1591）	経光四男時親、吉田荘へ移る③
大正	大永3年（1523）	弘元次男として元就誕生
	元禄9年（1604）	元就が家督を継ぐ。
	文久3年（1863）	輝元、萩城に移る⑤
	大正5年（1916）	敬親、萩城を去り山口へ移る⑥
		防府多々良邸旧毛利家本邸完成⑦

なお、大江音人は学者としても知られ、以来、菅原道真を輩出した菅原氏と並び、大江氏は学者の家として知られるようになっていく。そのよう

なことから、菅原氏を菅家と呼ぶのに対し、大江氏は江家と呼ばれた。

平安時代末期の大江広元は、母親の再婚相手であった中原広季の養子となったことがあるという（諸説あり）。そのため、中原広季の子（養子とも）親能が源頼朝に接近すると、

広元も頼朝に学識を買われて近侍するようになり、京から鎌倉に下向したのだった。その後は、治承・寿永の乱、すなわち源平の争乱を通じて頼朝を支え、守護・地頭の設置も、広元の献策であったとされる。鎌倉幕府の成立後は、政務を担う政所の別当となり、朝廷との折衝に活躍した。そうした功績が認められ、広元

には日本各地に地頭職が与えられた。こうした地頭職は、広元から子へと、それぞれ相伝されている。

長男の親広は、出羽国寒河江荘（山形県寒河江市）の地頭職を継承した。ただし、親広自身は承久3年（1221）の承久の乱で後鳥羽上皇方に与したことで没落してしまう。その子孫は寒河江城を拠点に寒河江氏を称したが、戦国時代には、最上氏によって滅ぼされている。

次男の時広は、出羽国長井荘（山形県長井市・米沢市）の地頭職を継承し、長井氏を称した。子孫は大江氏の惣領として鎌倉幕府に重きをなしたが、南北朝時代に、伊達氏によって早くも滅ばされている。

三男の政広（宗元）は、上野国那波荘（群馬県伊勢崎市）の地頭職を継承し、藤原氏の流れをくむ那波氏の養子となったという。この那波氏は、戦国時代になると北条氏と上杉氏との対立に巻き込まれ、滅亡してしまっている。

四男の季光は、相模国毛利荘（神奈川県厚木市・愛甲郡愛川町・清川村）の地頭職を継承した。そして、この毛利荘を本拠として毛利氏を称するようになっていく。

戦国時代に安芸国の戦国大名となった毛利元就は、この毛利季光の子孫である。そういう意味からすると、厚木市は戦国大名毛利氏の発祥の地だったということになる。



大江広元肖像 鎌倉幕府の中心人物を描いた錦絵。北条時政、北条政子（政子御前）、北条義時（江間小四郎）、大江広元（左中央）、源実朝、源義経（九郎義経）が描かれている。【かるたあわせ鎌倉武勇六家仙】国立国会図書館デジタルコレクションより <https://dl.ndl.go.jp/pid/1310283>（参照 2025-08-16）



江就記 江戸時代の軍記物で、毛利元就の一代記。大江広元や毛利季光から元就に至るまでの歴史も記されている。あつぎ郷土博物館蔵

【毛利荘ゆかりの地】

毛利荘推定図

厚木市を中心とした広大な荘園



鎌倉時代、毛利氏が支配した毛利荘。上毛利荘、下毛利荘の2エリアに分かれた荘園で、上毛利荘は愛甲郡愛川町などに相当する。下毛利荘は毛利季光ゆかりの地・飯山や荻野エリアなどを含む。

安達盛長の墓を参拝 ① 金剛寺

弘法大師が開き、平安時代後期作の木造阿弥陀如来坐像（国重文）などの文化財を所蔵する寺院。大師堂脇の宝篋印塔・五輪塔は盛長の墓と伝わり、寺には位牌も安置されている。

📍 厚木市飯山 5456 📍 参拝自由 📍 バス停飯山観音前から徒歩約3分



毛利敬親具足祝図

毛利敬親と重臣が正月に「具足祝」をする様子を描いた図。山口県出身の日本画家・兼重暗香が明治時代に描いたもの。

毛利博物館蔵

厚木で見られる機会あり

【毛利氏ゆかりの名品】

厚木をルーツとする毛利氏の歴史・文化に触れられる名品。

※ページ内掲載の資料は、令和8年1月24日～3月1日、あつぎ郷土博物館で開催の市制70周年記念展示「寿—毛利家と共に—」で展示予定（→P.20）。



東鑑(吾妻鏡)

鎌倉幕府が編纂した公式の歴史書。大江広元が源頼朝に駄餉（弁当）を振る舞った話や、毛利季光のエピソードなども記録されている。

あつぎ郷土博物館蔵

軍幟

毛利元就と戦場に出た軍旗。毛利家の家紋・一字三星紋と軍神の名前が記されている。

毛利博物館蔵

第一章 鎌倉時代の毛利荘と毛利氏

毛利荘の範囲については、厳密に画定することは難しい。おおむね、相模川の西岸に位置し、南端は厚木市の中心部、北端は愛甲郡愛川町、西端は愛甲郡清川村に至る広大な荘園だったとみられている。荘域はさらに、北半の上毛利荘と南半の下毛利荘に区分されていた。

毛利荘の成立時期は不明であるが、平安時代末期には、毛利景行の支配下にあった。この毛利氏は、大江姓の毛利氏ではなく、藤原姓の毛利氏で、居館は愛甲郡清川村の煤ヶ谷に存在していたとされる。

治承4年（1180）から治承・寿永の乱、いわゆる源平の合戦が始まったとき、毛利景行は、大庭景親に従って平家方についた。争乱が源頼朝の勝利に終わると、毛利景行は頼朝に降伏している。このうち、頼朝の側近・大江広元に毛利荘の地頭職を与えられたらしい。毛利荘は、鎌倉にも近い重要な地で、頼朝は鎌倉の防備にも役立てようとしたのだろう。

大江広元が毛利荘を源頼朝から与えられた時期については、よくわかっていない。建久5年（1194）、頼朝が日向薬師（伊勢原市）として知られる霊山寺（現在の宝城坊）に参詣した際、広元は下毛利荘において頼朝一行に駄餉（弁当）を献上して

おり、このときにはすでに広元が支配していたことがわかる。これは、頼朝が木曾義仲の長男義高を誅殺したことにより、その許嫁であった長女大姫が病床に伏せてしまったことから、平癒を祈願するため参詣したものだ。当時の広元は鎌倉に居館を持っていたが、毛利荘にも屋敷を用意していたのかどうかは不明である。

頼朝の死後、広元は2代執権の北条義時を支え、建暦3年（1213）に和田義盛が義時に反旗を翻した際にも、義時方についた。このとき、毛利景行は和田義盛に味方して滅ぼされており、以後、毛利荘は広元が一時的に支配するようになる。

承久3年（1221）に後鳥羽上皇が北条義時追討を標榜して承久の乱を起こすと、広元は義時を支え、広元の四男季光も西上する幕府軍に従軍している。季光は、木曾川や宇治川・淀川の強行渡河で活躍し、これにより、恩賞として安芸国吉田荘（広島県安芸高田市）の地頭職を与えられたようである。

元仁元年（1224）に北条義時が没すると、翌年には広元も没した。これにより、四男の季光が毛利荘や越後国佐橋荘（新潟県柏崎市）を継承し、毛利荘を本拠とするようになったらしい。

季光は、北条義時の跡を継いだ3代執権泰時に重用され、評定衆にも抜擢された。それだけでなく、娘を泰時の孫にあたる時頼に嫁がせ、北条氏と姻戚にもなっている。順当にいけば、毛利氏は執権北条氏の外戚として安泰だったにちがいない。

しかし、宝治元年（1247）の宝治合戦で三浦泰村が執権となったばかりの時頼に対して兵を挙げると、季光は苦渋の決断を迫られた。季光の妻が、三浦泰村の妹だったためである。悩んだ末に季光は、妻の説得を受けて三浦泰村に味方することにしたという。

結局、この宝治合戦で三浦一族は敗北し、季光も子らとともに自害した。毛利荘は、このうち安達氏の所領となり、安達氏が弘安8年（1285）の弘安合戦（霜月騒動）で滅亡してからは、北条氏や鎌倉幕府と関係が深い寺社の所領になったとみられる。

なお、季光の四男とされる経光は、当時越後国佐橋荘にいたため宝治合戦には参加していなかった。このころ大江氏の嫡流を継いでいた季光の兄時広の嫡男にあたる長井泰秀の働きかけもあり、経光には越後国佐橋荘と安芸国吉田荘の相続が認められている。

文永7年（1270）になって経光は、所領を長男基親と四男時親に分割譲渡した。このとき、吉田荘の地頭職を継承した時親が建武3年（1336）、吉田荘へと下向し、安芸毛利氏の祖となったのである。

あわせて行きたい



白山展望台

飯山観音長谷寺から徒歩25分、白山山頂にある展望台。天気によれば東京方面も見える。

MAP P.18



飯山白山森林公園

白山とその周辺の里山に広がる公園。約600メートルの大門通りは、厚木の代表的な桜の名所。

MAP P.18

弓の名手 愛甲三郎

愛甲三郎季隆は、鎌倉時代前期の武将であり相模国（神奈川県）愛甲郡愛甲荘を本拠としていた。現在の厚木市愛甲には愛甲氏の居館があったとして道標が設置されている。

季隆が初めて史料に登場するのが『吾妻鏡』（鎌倉時代後期に編纂された鎌倉幕府の史書）の治承4年（1180）十二月二十日条と言われている。この日、鎌倉における源頼朝の新居完成を祝い儀式が催行されたが、同時に「御弓始」（弓場を新設した時などに初めて弓射を試みる武家の儀式）も行われた。そこに射手として登場するのが弓の名手として知られる「愛甲三郎季隆」である。これ以前の季隆の動向は不明であるが、早くから頼朝に属し、愛甲荘の領主としての支配権を安堵され、御家人に組み込まれていたと推測されている。

季隆の御家人としての奉仕の特徴は射芸であり、例えば寿永元年（1182）6月7日にも季隆は頼朝に召されて乗馬用の深沓に五矢を全て命中させている（『吾妻鏡』）。

季隆の弓術は実戦においても発揮され、

武者姿のあゆコロちゃん

厚木市マスコットキャラクターのあゆコロちゃん。今も地元で親しまれる武将・愛甲三郎にちなみ、鎧武者姿で弓を引くデザインもある。©厚木市



武蔵国の有力御家人・畠山重忠追討（元久2年・1205年6月）の際には重忠に矢を命中させその首級を得て、北条義時に献上した。勇猛な季隆であったが、建暦3年（1213）5月の和田合戦においては北条氏ではなく和田義盛に加勢し、一族と共に討死している。



頼朝公富士之御狩図（部分）

『曾我物語』ゆかりの錦絵で、源頼朝が建久4年（1193）5月16～28日に行った巻狩りの様子を描いたもの。絵の左下で弓を持ち、腰に笠を構えたのが愛甲三郎。

愛甲三郎

あつぎ郷土博物館蔵



高祖御一代略図 九月十三夜依智星降 歌川国芳 星下りの奇瑞と呼ばれる伝説を描いた作品。厚木市内には伝説の舞台とされる3寺院がある。

あつぎ郷土博物館蔵

日蓮・星下り伝説がある厚木市内の3寺院



妙純寺

文永11年（1274）、本間重連を施主として創建。境内には本間重連の墓所や荘厳な祖師堂、星下りの奇瑞ゆかりと伝わる星井戸がある。

📍 厚木市金田 295
🕒 参拝自由
🚶 バス停金田から徒歩 3 分



蓮生寺

日蓮を開山、本間重連を開基とし、日蓮の直弟子の日源を中興開山とする。日蓮は自ら石を積んで両親供養の宝塔を造ったという。

📍 厚木市中依知 679
🕒 参拝自由
🚶 バス停蓮生寺から徒歩 3 分



妙傳寺

日蓮が本間重連から寺地として屋敷を献上されたのが起源。釈迦堂の木造釈迦如来立像は一丈六尺（534cm）で、市指定有形文化財。

📍 厚木市上依知 2397
🚶 バス停上依知から徒歩 6 分

第三章

鎌倉時代の 厚木ゆかりの人物

安達盛長は鎌倉時代初期の武将であり、源頼朝に早くから近侍し、活動していた事で知られる。厚木市に

はこの盛長ゆかりの史跡が残っている。例えば飯山の金剛寺には盛長のものと伝わる石塔（墓）が残され、三田十軒村の石塔群には、盛長の墓とされるものがある。また厚木市三田の三田八幡神社は、盛長が鶴岡八幡宮を勧請し再建したとの伝承を持つ。

前述したように盛長は頼朝に仕えた訳だが、どのような活動をしてたのか。その一つに頼朝の平家方への挙兵に際しての活動がある。治承4年（1180）6月、頼朝は平家方への挙兵を計画していたが、その際、味方を募るため、盛長を「累代の御家人」のもとに遣わしている（『吾妻鏡』治承四年六月二十四日条）。盛長は頼朝の書状を持って、小中太光家と共に同志獲得に出掛けたのであった。この事から盛長が頼朝から大いに信頼されていたことが分かる。盛長は相模国の武士に加勢するよう呼びかけているが、波多野義常と山内首藤経俊はその命令に従わず、悪口を吐くこともあったという（『吾妻鏡』治承四年七月十日条）。

江戸時代に編纂された地誌『新編相模国風土記稿』には、治承年間に盛長が飯山の金剛寺に来たりて「霊地」であることを感じ、没後に遺骨を送り葬送されたとか、盛長は建久年間に三田村の領主であったとする伝承が記述されている。これらは盛長の相模国遊説にまつわるものである。

止するようにとの命令が発せられたのである。つまり、能成側が非とされたのであった。

また、日蓮は鎌倉時代の僧侶であり、日蓮宗の開祖として著名である。日蓮は布教や説法などにより他宗派を攻撃したことも知られるが、それに伴い鎌倉幕府は日蓮を捕え佐渡に配流とした（文永8年・1271）。佐渡への途上で日蓮が立ち寄ったのが、愛甲郡依智郷を領地としていた本間重連の屋敷である。同年9月13日の夜、日蓮は重連屋敷の庭上に立ち、経文を誦えて、月に向かって文句を言ったところ、そこに明星天子（帝釈天の従者。太陽に先立ち世界を照らし闇を破ることを仕事とする）と星々が下る。庭上の梅枝にそれらは懸かって光を放つと、童子に変じて日蓮の眼前に立つ。そして「我は明星なり」と語り出し、日蓮と対話したのであった。明星天子は日蓮の守護を約するのである。これがいわゆる「星下りの奇瑞」と呼ばれる伝説である（P.8図）。

この奇瑞に感じて日蓮に帰依した重連が梅樹の傍らに寺を開創したというが、厚木市内にそうした寺が三つ残されている。妙純寺、妙傳寺、蓮生寺である。どの寺院が真の「星下り」にまつわる寺かは昔から争論があったようだが、江戸時代に編纂された地誌『新編相模国風土記稿』は何れも証拠はないと記述している。

戦国・幕末の重要な舞台だった

享徳の乱・長享の乱は、関東における戦国時代の始まりとも考えられる。また、幕末に荻野山中藩が巻き込まれた騒乱も戦乱の序章だった。

監修：文／小和田泰経

七沢城

『新編相模国風土記稿』より 享徳の乱のころに扇谷上杉氏の拠点として築かれた要害。山の地形を生かした堅牢な山城だったと推測される。



【享徳の乱】

関東管領・室町幕府方

山内上杉氏
扇谷上杉氏
太田道灌
今川範忠
足利政知

宝徳2年 ⁽¹⁴⁵⁰⁾ 江の島の戦い	山内上杉氏の憲忠が足利成氏の御所を襲撃。その後江の島で山内上杉氏・扇谷上杉氏×足利成氏の戦が勃発 このころ扇谷上杉氏の拠点として七沢城が築かれる
享徳3年 ⁽¹⁴⁵⁴⁾ 享徳の乱	足利成氏が上杉憲忠を暗殺
享徳4年 ⁽¹⁴⁵⁵⁾	幕府方の今川勢が鎌倉公方の鎌倉を制圧。足利成氏が鎌倉から古河に拠点を移す（古河公方）
長禄2年 ⁽¹⁴⁵⁸⁾	幕府方の足利政知が堀越に拠点を置く（堀越公方）
文明14年 ⁽¹⁴⁸²⁾	享徳の乱が終結

鎌倉公方方

足利成氏
宇都宮氏
結城氏 など

【長享の乱勢力図】



現在の七沢城跡周辺

七沢城の中心は、現在 AOI 七沢リハビリテーション病院があるあたり。

📍 厚木市七沢 1304 📖 見学自由
🚌 バス停七沢城跡から徒歩 8 分

厚木市内 上杉定正ゆかりの地



観音寺 七沢にある天台宗の寺院で、本尊は馬頭観世音菩薩。上杉定正の愛馬「月影」が供養されたという。
📍 厚木市七沢 2741 🕒 10:00 ~ 17:00 (祈祷受付)
🚌 バス停七沢温泉入口から徒歩 20 分



鐘ヶ嶽

七沢城跡近くの鐘ヶ嶽。山中に上杉定正の妻のものとされる石碑が残されている。

📍 厚木市七沢 (鐘ヶ嶽)
📖 見学自由
🚌 バス停広沢寺温泉入口から徒歩 1 時間 10 分



広沢寺

七沢にある広沢寺は、扇谷上杉氏の上杉定正ゆかりの地。定正が中興開基と伝わる。

📍 厚木市七沢 2613
📖 参拝自由
🚌 厚木 IC から 30 分

徳の乱といい、以来、30年近くも続くことになる。
享徳の乱が文明14年（1482）に終結すると、幕府方として足利成氏を圧倒した上杉氏の勢威は強まった。しかし、今度は、山内上杉氏の上杉顕定と扇谷上杉氏の上杉定正が一族を巻き込んで権力争いをするようになり、長享元年（1487）冬には、長享の乱が勃発している。

翌長享2年（1488）2月、上杉顕定は実父にあたる越後守護上杉房定の支援を得ると、1000余の兵を率いて武蔵国の鉢形城（埼玉県寄居町）を出陣し、扇谷上杉氏の本領である相模国へ

200余の援軍を率いる上杉定正の援軍が河越城（埼玉県川越市）を出陣し、昼夜兼行で到着したのは、七沢城陥落直後のことだった。戦闘の経緯については不明な点が多いものの、上杉定正が上杉顕定を近隣の実蒔原で破っている。

このち両上杉氏は、20年近くにわたって長享の乱を戦い、その間に小田原城の北条氏が勢力を拡大してきたこともあり、永正2年（1505）に和睦した。もし、実蒔原の戦いで上杉定正が敗北していれば、もう少し早い段階で長享の乱は山内上杉氏の勝利で終わっていたかもしれない。

実蒔原の戦い後、扇谷上杉氏は相模国の拠点を七沢城から大庭城（藤沢市）へと移した。そして、扇谷上杉氏が北条氏に領国を奪われるなか、七沢城は廃城になったとみられる。

激動の南北朝時代！ 高師冬と飯山

あつぎ郷土博物館 学芸員 飯田 好人

室町幕府で勢力を伸ばす高師直・師冬親子

高師冬は、鎌倉御家人足利氏の家臣、高氏の庶流に生まれた人物で、生年は不明。室町幕府初代將軍、足利尊氏の執事（後の管領）高師直の養子となり、幕府の成立に尽力した。高氏の本来の役割は足利氏の所領管理にあったが、鎌倉幕府の滅亡後に起きた南北朝動乱の中で師直を筆頭に軍事面でも才覚を発揮した。師冬は関東を主戦場として、東国の南朝勢力と戦い、関東の平定に功績を挙げた。

「両將軍」と呼ばれるほど尊氏・直義兄弟の関係は良好で、幕府政治はその関係を基に運営されていたが、配下武将の利害関係から師直と直義が対立、次第に尊氏・師直対直義の構図に変化し、観応の擾乱と呼ばれる幕府を二分する内乱となった。

京都で師直と直義の対立が続く中、尊氏の四男・基氏が僅か9歳で鎌倉公方として関東へ下ると、師冬は上杉憲顕とともに基氏を補佐する関東執事（後の関東管領）に任命された。京都での対立は関東へも伝わり、師冬と憲顕が激しく対立するようになる。

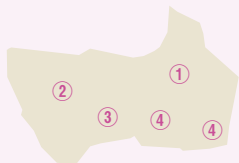
湯山事件で飯山に立て籠もった高師冬

観応元年（1350）11月、上杉左衛門蔵人が挙兵、憲顕はこれを討伐すると称して鎌倉を離れ、自らが守護する上野国（現・群馬県）へ向かい、そこで兵を集めた。憲顕らの行動に危機感を抱いた師冬は、同年12月25日（1351年1月23日）に基氏とともに鎌倉を脱出、その翌日に相模国毛利荘内湯山（現・厚木市飯山）に着いた。同月27日の朝、憲顕らの軍勢は師冬が籠る「飯山寺」（金剛寺）を攻め、基氏を奪還した。湯山事件と呼ばれる合戦に敗れた師冬は、甲斐国須沢城（現・山梨県南アルプス市）へと逃れたものの、観応2年1月17日（1351年2月13日）、憲顕らに城を攻められ自害した。

師冬の死後、劣勢となった尊氏は直義と和睦する。事実上の降伏に近く、師直はこの際に直義配下の武将らに惨殺された。和睦成立後、水面下で両派の対立は続き、半年を経ずに尊氏兄弟は再び対立した。再燃した観応の擾乱は、直義の死により一応の決着を迎える。直義が鎌倉で急逝した観応3年2月26日（1352年3月12日）は、奇しくも政敵・師直の一周忌だった。



湯山事件の舞台・飯山寺にあたとされる金剛寺（→P.7）。



①長屋

絵図内のあちこちに見られる赤い長方形は、藩士が家族と居住する長屋。幕末の荻野山中陣屋焼討事件で7棟が焼失したという。

②役所・御殿

絵図の稲荷社の左上部分が、藩の政治の中心地だった役所。さらに奥には藩主の居住区域であった御殿も確認できる。

③稲荷社

絵図の中心付近に、陣屋稲荷と呼ばれる稲荷社が。現在も同じ場所に祀られている。

④大手門・表門

陣屋の北端は甲州道に面し、正式な入り口である大手門が置かれた。奥には石垣と表門。



福伝寺山門 荻野山中陣屋の遺構と伝わる福伝寺山門。福伝寺は曹洞宗の寺院。

住 厚木市王子 1-11-40 参拝自由
交 バス停高校入口から徒歩 5 分

竹内村医師）を隊長とする野州隊50人ほどが出流山村、上田修理（幕臣）を隊長とする甲州隊10人ほどが甲府城、12月13日には鯉淵四郎（水戸藩浪士）を隊長とする相州隊30数人が荻野山中陣屋を目指して、それぞれ薩摩藩邸を出発した。

荻野山中陣屋焼討事件

相州隊は隊長鯉淵の他に、出羽秋田藩出身の岩屋鬼三郎、出羽最上出身の結城四郎、相州厚木地方からは博徒の親分であり、交通労働者を取りまとめていた鈴木佐吉、後に自由党员となり自由民権運動で活躍した山川市郎らが加わっていた。

12月15日夜、40人足らずの同志で構成された相州隊は、厚木

方面で行動を開始した。豪農に軍資金の提供を命じ、守りが手薄であった陣屋に鉄砲を打ち掛けた。散々脅した上で乱入し、長屋などに放火して金子を奪い、土蔵から武器・弾薬や米などを運び出し、放火して退散している。

翌日には、同志の数は人夫を入れて300人近くになった。氣勢を上げて、さらに騒擾を大きくしようとした矢先に、小田原藩が出兵すると、の情報が入った。そのため、鯉淵ら幹部は直ちに撤収を決めたため、戦死者1名、負傷者2名のみであった。なお、撤収段階で、人足・人夫に金銭や陣屋からの略奪品を分配して帰村させている。

その後も、各地で御用金の調達をしながら八王子に向かい、甲州街道を経由で17日深夜に薩摩藩邸に逃げ込んだ。

三田品川戦争、そして戊辰戦争

関東各地で攪乱工作に加わった薩摩浪士団は薩摩藩邸へ再集結し、江戸市中で殺傷・強盗事件を繰り返した。12月23日、江戸城二の丸で不審火があり、また、庄内藩屯所襲撃事件も勃発した。庄内藩は一気に硬化し、三田品川戦争の緒戦となった薩摩藩邸焼き討ち事件に繋がった。この流れが鳥羽・伏見の戦い、そして戊辰戦争に発展したが、荻野山中陣屋焼討事件はその方向性を規定した大事件の一つであった。



皇国一新見聞誌 伏見の戦争

月岡芳年、小林年参 戊辰戦争の初戦である鳥羽・伏見の戦いを描いた浮世絵。明治初期の出版。 東京都立中央図書館蔵

【戊辰戦争年表】

和暦・西暦 月日(旧暦) できごと

	10月15日	大政奉還勅許
	11月	薩摩浪士団による江戸での御用盗事件が頻発。薩摩藩による関東各地での攪乱計画が練られる
慶応3年(1867)	11月25日~	薩摩浪士団が荻野山中陣屋を目指して出発
	12月9日	王政復古の号令
	12月15日	荻野山中陣屋焼き討ち
	12月23日	庄内藩屯所襲撃事件
	12月25日	薩摩藩邸焼き討ち事件
	1月3日	鳥羽・伏見の戦い
	1月6日	徳川慶喜・大坂を脱出して江戸へ
慶応4年(1868)	4月11日	江戸城無血開城
	5月15日	上野戦争
	7月17日	江戸を東京と改称
	8月	会津戦争
明治元年(1868)	9月8日	明治改元
	9月22日	会津戦争終結
	10月22日	箱館戦争
明治2年(1869)	5月18日	箱館戦争終結

戊辰戦争

第一章 荻野山中藩と薩摩浪士団 陣屋焼討事件から戊辰戦争へ 荻野山中藩とは

幕末維新期には各地で様々な事件が起こっているが、相模国愛甲郡中荻野（厚木市）も例外ではない。その舞台は、小田原藩の支藩である荻野山中藩であり、譜代大名に属する宝永3年（1706）、小田原藩主大久保忠朝の次男教寛が西の丸若年寄に就任し、駿河国で5000石加増によって1万1000石の大名となる。そして、駿東郡松永（静岡県沼津市）に陣屋を設立し、松永藩が成立した。

さらに、享保3年（1718）には相模国愛甲郡・大住郡・高座郡で5000石を加増され、中荻野に出張

陣屋を置いた。天明3年（1783）、5代藩主教翹の時、中荻野の陣屋を拡張改築して移り、これ以降、荻野山中藩と称した。ここが、「荻野山中陣屋焼討事件」の舞台となった。

薩摩藩と薩摩浪士団

そもそも、荻野山中陣屋焼討事件が勃発する経緯として、薩摩藩の幕府に抗する戦略があった。慶応3年（1867）8月、江戸・大坂・京都での三都挙兵計画にまい進する薩摩藩にとって、江戸での挙兵は幕府本体の上京を阻止し、かつ上方での作戦を遂行する上で、極めて重要であった。その挙兵を側面から支援するため、関東での攪乱工作が期待された。そこで組織されたのが、江戸薩摩藩邸に集結した浪士たちからなる薩摩浪士団であった。

しかし、薩摩藩内で挙兵反対の意見が強まったことから、武力発動路

線を一旦諦め、土佐藩と連携した大政奉還路線に舵を切った。10月15日に大政奉還が勅許され、当面の武力発動は延期されたため、在京要路は攪乱工作をむしろ回避すべきとの認識に至った。しかし、一度堰を切ってしまった薩摩浪士団を止めることはできなかった。

薩摩浪士団の暴発

慶応3年11月、薩摩浪士団は江戸市中を横行し、治安を守る町奉行や市中取締の庄内藩を挑発し、また、商家を襲って御用金と称して金品を強奪する御用盗事件を頻発させた。さらに、関東各地での攪乱の具体案が検討され、野州、甲州、相州に三隊を派遣した。北関東下野国出流山満願寺での挙兵、甲斐国甲府城の攻略、相模国荻野山中陣屋の襲撃を決定し、実行部隊の編制を行った。

11月25日、竹内啓（武蔵国入間郡

縄文・弥生・古墳時代の歴史遺産

厚木は古くから人が住み始めた地で、縄文・弥生・古墳・各時代の遺跡が点在する。ユニークな土器などの発掘品とともに、時代別に紹介する。 監修・文／瀧音能之

縄文時代

不思議な造形の土器

林王子遺跡は縄文時代中期を中心とする遺跡で、ここから出土した有孔罎付土器の文様は実に奇妙なものである。正面中央に人体の装飾がつき、左右には蛇体の装飾がみられる。蛇は頭部が三角形であることからマムシかともいわれる。高さ26.5cmほどであるが、用途はわかっておらず、果実酒の醸造具であるとか、上部に皮を張って太鼓として用いたとかいわれており、儀礼などに用いられたとされる。

〈全国でも珍しい文様〉

造形的にもまれといわれるものには、恩名沖原遺跡から出たやはり縄文時代中期の浅鉢もあげられる。外面は無文であるが、内面には魚のような文様が一對、向かい合うように立体的に描かれている。こうした文様は類例がほとんどないといわれ、縄文土器の造形として貴重である。この浅鉢は本来、彩色が施されていたようで、日常ではなく祭祀用の特別な浅鉢であった可能性が強いといわれる。

〈拠点集落と配石遺構〉

集落跡では、三田林根遺跡が目される。縄文時代中期のこの遺跡は、ふつうの集落跡ではなく、拠点集落といわれる。一般の集落跡と異なり、規模が大きく、長期にわたって存続

林王子遺跡



有孔罎付土器

王子の団地造成にともない昭和48年(1973)の発掘調査により出土。

浅鉢

魚のような神秘的な文様が特徴。平成6年(1994)～7年(1995)の発掘調査で出土した。

恩名沖原遺跡



縄文時代

三田林根遺跡



発掘調査風景

大規模な拠点集落と考えられる遺跡。断続的に調査が行われている。



配石遺構

石を敷きつめた特徴的な遺構が発見された。



打製石斧

土を掘る道具と考えられる打製石斧。



土器

細やかな文様が入った土器。

ヒスイ製垂飾

穴に紐を通して使ったと思われるヒスイ製の飾り。



弥生時代

子ノ神遺跡



家形土器

弥生時代の建物の形を知る上でも貴重な資料。

宮の里遺跡



「甲午」銘土器

弥生時代後期～の環濠集落。写真の土器は平安時代のもの。

弥生～古墳時代

及川伊勢宮遺跡

弥生～古墳時代

〈類例が9例のみの家形土器〉

弥生時代後期の家形土器が子ノ神遺跡から出ている。切妻造で脚台がついており、高さは39cmである。外面は赤色顔料が塗られていた痕跡がみられる。弥生時代の家の構造が立体的にみられる。全国的にも類例が少なく、蔵を表しているともいわれ、それもひとつの住居から出ていることから、共同体にとって重要な米蔵などを象徴している、種々の容器として使用された可能性もあるかとされている。

〈環濠で守られた大規模集落〉
弥生時代後期を中心とした大規模な環濠集落で知られるのが宮の里遺跡である。環濠とは集落の周囲にめぐらされた堀で防御施設である。こ

し、この地域の中心的役割を担っていたとされる。この遺跡からは、石を敷きつめた配石遺構が2か所であり、1か所からは、約800kgの巨大な礫が検出されている。また、新潟県の糸魚川産のヒスイも出土している。

縄文時代以外では、奈良・平安時代や近世の遺構もみられる。

の遺跡は、次の古墳時代、奈良・平安時代にも及んでおり、「甲午」銘が墨書された須恵器杯が出土している。年代は10世紀前半とされ、暦年代は承平4年(934)に相当する。このように干支年が記された土器は全国的にみても類例がなく貴重である。

〈厚木で発見された前方後円墳〉

厚木市には、旧石器時代から人々が住みついており、その後も継続的に人が居住しているが、不思議なことに前方後円墳はあまりみつかっていなかった。しかし、近年、確認がなされるようになった。そのひとつが相模川の支流での前方後円墳の発見となった及川伊勢宮遺跡であり、4基の古墳のうち、1基が前方後円墳とわかった。4世紀から5世紀にかけての築成で、全長37mと大きなが、初期の墳形を残しており、貴重な古墳である。

古墳時代

中依知遺跡群



1・2号墳

複数の円墳が見つかった古墳群。
写真は桜樹 1・2 号墳。
写真提供: 神奈川県教育委員会

剣・鏡(出土時)

古墳の副葬品の鉄剣は、鏡の上に乗せられた状態で出土した。



吾妻坂古墳



鏡

当時の精巧な技術が窺い知れる銅鏡。



登山1号墳 家形埴輪

人物、動物のほか家形の埴輪も出土。埴輪の出土例が少ない神奈川県で貴重な資料。

登山古墳群



登山1号墳 巫女埴輪

祭祀に関わる巫女を象った埴輪。



登山1号墳 力士埴輪

坊主頭の珍しい力士埴輪。両足の突起にも注目。



登山1号墳 調査風景

昭和 42 年 (1967) に行われた登山 1 号墳の発掘調査の様子。

古墳時代

〈坊主頭の力士埴輪が出土〉

神奈川県は埴輪の出土例が少ないといわれるなか、登山1号墳からは数々の埴輪が出土している。登山古墳は、5基の円墳からなり古墳群を形成しており、古墳時代後期の築成とされる。1号墳は開発のため調査後、消滅したが、残りの4基は現状保存され、登山古墳史跡公園として整備され公開されている。

1号墳は、径20mほどの円墳であるが、円筒埴輪100個以上と形象

cmの仿製斜縁四獣鏡も出ており、文様の構成など特異な形態であり、技術的にも精巧である。

古墳の被葬者については、この地域の有力者と思われる、大化改新の以前の地方豪族の実態を知る上で重要な古墳とされる。

〈古墳群から横穴墓群へ〉

中依知遺跡群は、縄文時代から古墳時代、奈良・平安時代を経て中世におよぶ複合遺跡である。縄文時代には、100基以上の陥穴状土坑が確認され、早期頃からすでに狩り場として利用されていた。

古墳時代後期には、直径20m前後の複数の円墳で形成される桜樹古墳群が6世紀末から7世紀前半にかけてみられる。1号墳は周溝をもっており、そこから珍しい把手付の土師器の壺がみつかった。他に副葬品としては、鉄刀・鉄鏃といった武器類、ガラス玉、勾玉、金銅製の耳環などが出ている。

古墳の築造が終わりをつげると、7世紀中期から8世紀初頭にかけて、河岸段丘の崖面に横穴墓群がみられるようになる。これらの横穴墓の中には、入り口部分の周囲に河原石をていねいに積み上げているものもあり、中には高さが3mに及ぶものもある。古墳から横穴墓への移行という墓制の変化については、地元の支配者層とヤマト政権との間の力関係に変化が生じたともいわれる。

登山古墳史跡公園

現在は登山古墳群のうち2～5号墳の4基が保存され、史跡公園として公開されている。



厚木市内の文化財

【市指定有形文化財】

名称	種類	所在地	所有者
紙本著色 仏涅槃図(井上五川筆)	絵画	下川入 (あつぎ郷土博物館)	養徳寺
絹本著色 釈迦三尊十八羅漢図(鳥崎旦良筆)	絵画	下川入 (あつぎ郷土博物館)	養徳寺
絹本著色 徳川家康像(東照宮御画像)	絵画	下川入 (あつぎ郷土博物館)	個人
絹本著色 弁財天十五童子像	絵画	上依知	妙傳寺
木造 薬師如来坐像	彫刻	妻田西	妻田薬師保存会 (遍照院)
木造 日光菩薩立像	彫刻	妻田西	妻田薬師保存会 (遍照院)
木造 月光菩薩立像	彫刻	妻田西	妻田薬師保存会 (遍照院)
木造 薬師如来立像	彫刻	妻田西	妻田薬師保存会 (遍照院)
木造 十二神将立像	彫刻	妻田西	妻田薬師保存会 (遍照院)
木造 釈迦如来立像	彫刻	上依知	妙傳寺
木造 毘沙門天(多聞天)立像	彫刻	上依知	妙傳寺
木造 持国天立像	彫刻	上依知	妙傳寺
木造 菩薩立像 2軀	彫刻	戸田	延命寺
木造 阿弥陀如来立像	彫刻	上落合	長徳寺
銅 鐘	工芸品	妻田西	妻田薬師保存会 (遍照院)
銅 鐘	工芸品	酒井	飯出神社
銅製品(布薩形水瓶1口)	工芸品	飯山	金剛寺
銅製品(信貴山形水瓶1口)	工芸品	飯山	金剛寺
銅製品(錫杖頭1口)	工芸品	飯山	金剛寺
銅製品(銅鉢3口)	工芸品	飯山	金剛寺
観音堂	建造物	飯山	長谷寺
薬師堂	建造物	妻田西	妻田薬師保存会 (遍照院)
厨 子	建造物	妻田西	妻田薬師保存会 (遍照院)
須弥壇	建造物	妻田西	妻田薬師保存会 (遍照院)
釈迦堂	建造物	上依知	妙傳寺
二天門	建造物	上依知	妙傳寺
石灯笼	建造物	温水	春日神社
石灯笼(康暦2年)	建造物	愛甲	熊野神社
石造物28基	建造物	金田	建徳寺
下川入諏訪神社本殿	建造物	下川入	諏訪神社
三田八幡神社本殿	建造物	三田	八幡神社
間修寺山門	建造物	小野	間修寺
旧岸家住宅	建造物	上荻野	市教育委員会
中世文書2葉	古文書	非公表	個人
足利義満安堵状	古文書	非公表	個人
徳川家康朱印状	古文書	下川入 (あつぎ郷土博物館)	八幡神社
土師器	考古資料	下川入 (あつぎ郷土博物館)	市
子ノ神遺跡出土家形土器	考古資料	下川入 (あつぎ郷土博物館)	市
林王子遺跡出土有孔鍔付土器	考古資料	下川入 (あつぎ郷土博物館)	市
恩名冲原遺跡出土浅鉢	考古資料	下川入 (あつぎ郷土博物館)	市
宮の里遺跡出土土器	考古資料	下川入 (あつぎ郷土博物館)	市
愛名宮地遺跡出土瓦塔	考古資料	下川入 (あつぎ郷土博物館)	市
北条家制札	歴史資料	下川入 (あつぎ郷土博物館)	個人

【国指定重要文化財】

名称	種類	所在地	所有者
木造 阿弥陀如来坐像	彫刻	飯山	金剛寺
【県指定重要文化財】			
名称	種類	所在地	所有者
木造 地藏菩薩坐像	彫刻	飯山	金剛寺
木造 不動明王立像	彫刻	酒井	法雲寺
鰐 口	工芸品	下古沢	本照寺
銅 鐘	工芸品	飯山	長谷寺
銅 鐘	工芸品	中依知	浅間神社
本 堂	建造物	飯山	本禅寺
荻野神社本殿・拜殿	建造物	上荻野	荻野神社
厚木市登山1号墳出土埴輪	考古資料	下川入 (あつぎ郷土博物館)	市

【国指定重要無形民俗文化財】

名称	種類	所在地	所有者
相模人形芝居 林座	民俗芸能		相模人形芝居 林座
相模人形芝居 長谷座	民俗芸能		相模人形芝居 長谷座

【県指定無形民俗文化財】

名称	種類	所在地	所有者
相模のささら踊り	民俗芸能		長谷ささら踊り 盆唄保存会
相模のささら踊り	民俗芸能		愛甲ささら踊り 盆唄保存会

【市指定無形民俗文化財】

名称	種類	所在地	所有者
伊勢十二座大神楽獅子舞	民俗芸能		伊勢十二座大神 楽獅子舞保存会
古式消防(木遣唄・まとい振り・梯子乗り)	民俗芸能		厚木市古式 消防保存会
相模里神楽	民俗芸能		相模里神楽 垣澤社中
双盤念仏	民俗芸能		法雲寺酒井 双盤講

【市指定史跡】

名称	種類	所在地	所有者
旧厚木村渡船場跡	史跡	東町	市
荻野山中藩陣屋跡	史跡	下荻野	市
烏山藩厚木役所跡	史跡	厚木町	市
本間氏累代の墓	史跡	金田	建徳寺

【県指定天然記念物】

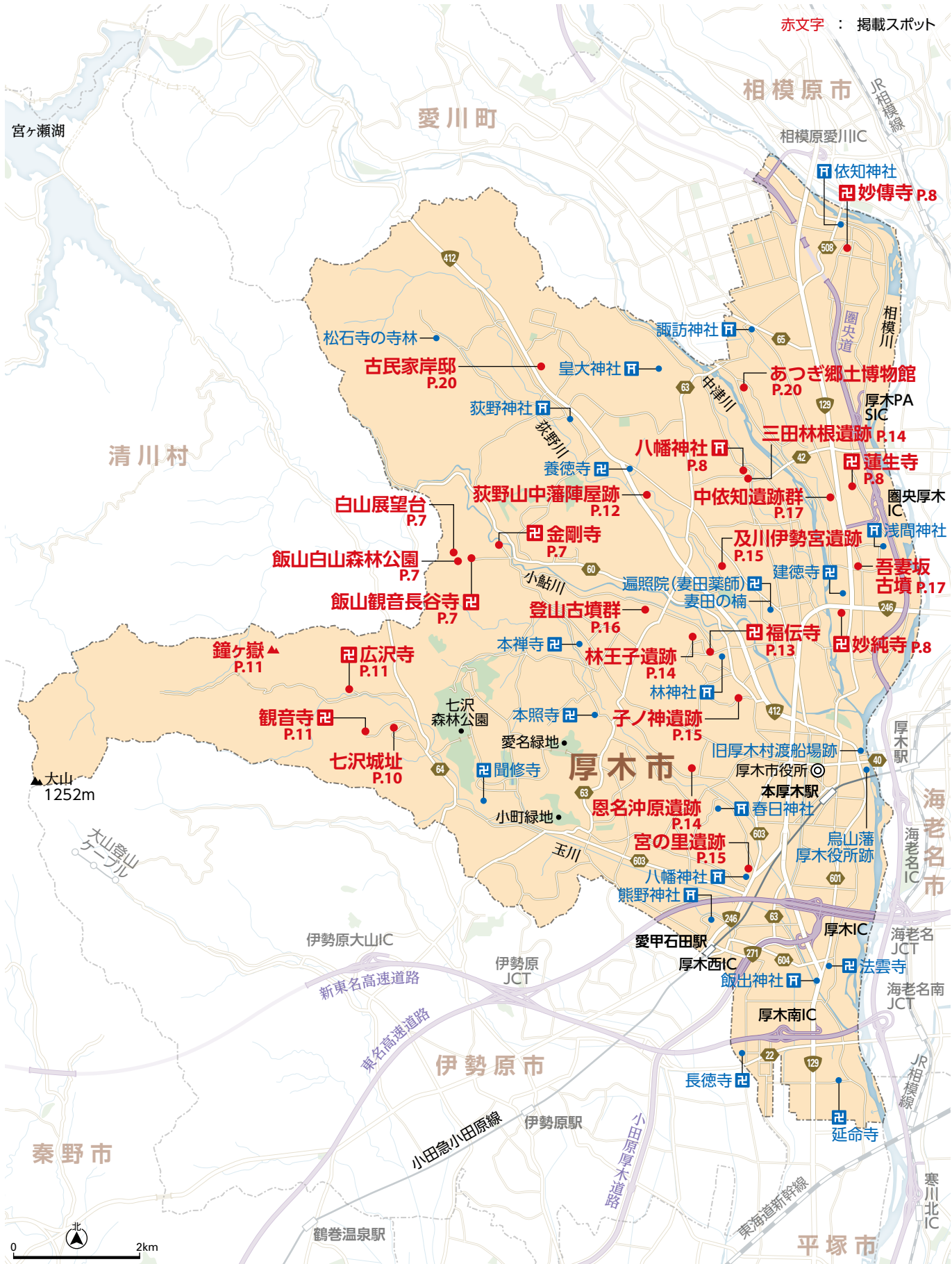
名称	種類	所在地	所有者
妻田の楠	天然 記念物	妻田西	妻田薬師保存会 (遍照院)
松石寺の寺林	天然 記念物	上荻野	松石寺

【市指定天然記念物】

名称	種類	所在地	所有者
カシワ	天然 記念物	下依知	個人
イヌマキ	天然 記念物	飯山	長谷寺
イチョウ(2本)	天然 記念物	上依知	依知神社
イチョウ	天然 記念物	旭町	熊野神社
イチョウ	天然 記念物	上荻野	荻野神社
カゴノキ	天然 記念物	林	林神社
ムクロジ(無患子)	天然 記念物	棚沢	皇大神社

厚木市歴史発見 MAP

本誌で紹介した歴史スポットや、厚木市内の文化財をチェックして出かけよう。



あつぎの歴史をもっと知るならココへ！

誌面で取り上げた土器をはじめ、厚木の郷土の歴史や文化に触れられる施設。
企画展や特別展の日程もあわせて確認して出かけよう。



古代から現代までの厚木の姿にふれる

あつぎ郷土博物館

地元「あつぎ」の歴史や文化、自然を紹介する博物館。館内には生物・考古・民俗・歴史の4つのテーマで特集する基本展示室のほか、化石展示室や企画展示室もある。郷土の歴史・文化・自然に関連した企画展・特別展も年に数回開催するので、日程をチェックして訪問したい。

☎ 046-225-2515

📍 厚木市下川入 1366-4

🕒 9:00 ~ 17:00 (16:30 最終入館)

📅 毎月最終月曜 (祝日の場合は翌平日)

※その他年末年始や臨時休館あり

🎫 入館無料

自然豊かな下川入にある施設。本厚木駅北口 バス1番乗場からは、「あつぎ郷土博物館」行きに乗り、終点「あつぎ郷土博物館」下車すぐ。



あつぎ郷土博物館
ホームページ



館内の基本展示室の様子。地元の考古資料も充実している。

注目の展示会

市制70周年記念展示

「寿一毛利家と共に」

令和8年1月24日～3月1日

厚木市とゆかりの深い毛利家についての記念展示。正月のおめでたいときに飾る掛軸など貴重な資料も展示予定。



伝統とモダンの調和
明治時代建造の文化遺産

こみんかきしてい 古民家岸邸

明治24年(1891)建造と伝わる歴史的建物で、岸重郎平氏から厚木市に寄付されたのち一般公開されている。木造2階建ての寄棟造瓦葺で、部屋は15室、敷地面積は約520坪と広大。座敷や洋間のほか、デザイン性の高い欄間や窓、ランプシェードなども見ごたえがある。



厚木市指定有形文化財。古民家岸邸では3月のひな人形、5月の五月人形など季節にちなんだ展示も実施。

建物や建具から近代和風建築の粋を感じられる。

☎ 046-291-0201 📍 厚木市上荻野 792-2

🕒 4月～9月は10:00～17:00、

10月～3月は10:00～15:00

※最終入館は各30分前まで

📅 月・火曜 (祝日の場合は翌平日) 🎫 入館無料

令和6年度厚木市民実感度調査結果について（概要）

1 調査の目的

本調査は、市の施策や事業に関する市民の実感度及び重要度の調査、集計及び分析を行うことにより、今後の市政運営及び第10次厚木市総合計画の進行管理の基礎資料等とすることを目的とする。

2 調査項目

(1) 実感度・重要度【6分野 77項目】

分野	設問
①安心政策（命、財産を守り抜くまち）	9項目
②輝き政策（支えあい、生き生きと暮らせるまち）	17項目
③成長政策（夢や希望を持ち、自己実現ができるまち）	14項目
④発展政策（人が集い、交流し、新たな価値を生むまち）	21項目
⑤潤い政策（環境に優しく、自然と共生するまち）	10項目
⑥共創政策（市民と共に確かな成長を創り出すまち）	6項目
合計	77項目

(2) 行動変容（市の施策による市民の行動の変化）【6分野 27項目】

分野	設問
①安心政策（命、財産を守り抜くまち）	5項目
②輝き政策（支えあい、生き生きと暮らせるまち）	6項目
③成長政策（夢や希望を持ち、自己実現ができるまち）	8項目
④発展政策（人が集い、交流し、新たな価値を生むまち）	3項目
⑤潤い政策（環境に優しく、自然と共生するまち）	3項目
⑥共創政策（市民と共に確かな成長を創り出すまち）	2項目
合計	27項目

(3) 幸福度（市民がどの程度幸せと感じているか）

3 調査対象

厚木市在住の満18歳以上の男女5,000人（外国人住民を含む。）

※ 住民基本台帳を基に無作為抽出

4 調査期間

令和7年1月31日（金）～2月20日（木）21日間

5 回収結果

2,008人（回収率40.2%）

【内訳】男性840人、女性1,022人、その他4人、答えたくない26人、無回答116人

6 調査結果（総括から抜粋）

(1) 実感度について

- ・調査項目全77項目について、実感している人の割合は、前年度調査と比較して46項目において上昇し、1項目が横ばい、30項目が低下した。
- ・『実感している人の割合が高い』項目は、「日常生活に必要な施設が身近にある」「子育てサービスの充実」「消防・救急・救助体制の充実」の順となっており、日常生活に身近な取組や子育て支援等の取組が評価されたものと考えられる。
- ・『実感していない人の割合が高い』項目は、「住環境の整備の取組」「中心市街地のにぎわい」「先端技術産業の推進」の順となっている。
- ・前年度調査と比較し、実感度が最も上昇した項目は「文化芸術に親しむ機会の提供」（7.5ポイント増）で、最も低下した項目は「ごみの減量化、資源化の推進」（6.2ポイント減）となった。

(2) 市民ニーズについて

- ・『市民ニーズが高い（重要度に対し実感度が低い）』項目は、「防犯の取組」「災害に備えたハード整備」「地域防災力向上の取組」「災害対応力の強化の取組」「安心・安全に通行できる道路環境」の順となっている。

(3) 行動変容について

- ・調査項目全27項目の実績値について、前年度調査と比較して12項目において上昇し、1項目が横ばい、14項目が低下した。
- ・実績値が高い項目は、「資源の分別を意識している」「健康増進のために取り組んでいることがある」「防犯等の対策について心掛けていることがある」の順となっており、実績値が低い項目は、「市内で文化芸術に親しんでいる」「図書館を利用している」「運動やスポーツを週3回以上行っている」の順となっている。
- ・前年度調査と比較し、実績値が最も上昇した項目は「災害に備えていることがある」（3.1ポイント増）で、最も低下した項目は「ごみの減量を意識している」（2.7ポイント減）となった。

(4) 幸福度について

- ・前年度調査と比較し、「とても幸せ」「幸せ」の合計は2.6ポイント上昇し、「あまり幸せではない」「幸せではない」の合計は0.2ポイント低下した。
- ・「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」と回答した人の合計は94.9%となり、前年度調査と比較して0.3ポイント増加した。

(5) 実感度調査の結果を踏まえた施策の展開について

- ・実感度については、調査項目全77項目中、46項目において実感度が上昇したことから、市の施策に対して市民が一定の評価をしていることがうかがえる。一方、実感度が低下した30項目については、市の施策が市民の実感として現れるよう、関連する取組を強化する必要がある。
- ・市民ニーズが高い「防犯の取組」「災害に備えたハード整備」「地域防災力向上の取組」等については、施策の効果を十分に検証し、更なる事業推進を図る必要がある。
- ・行動変容については、調査項目全27項目中、14項目において実績値が低下したため、クロス集計のデータを基に分析を行い、施策により市民の行動の変化を促すことができるよう、関連する取組の強化が求められる。一方、実績値が上昇した12項目については、変化した行動が継続されるよう、施策を着実に推進していく必要がある。

【77 項目別 実感度 の結果】

基本政策	項 目	令和6年度 実感度(%)	令和5年度 実感度(%)	前年度比較	比較順位	
	n				※1	
安心政策	災害に備えたハード整備	(851)	39.4	37.7	1.7	27
	災害対応力の強化の取組	(877)	44.9	41.0	3.9	8
	地域防災力向上の取組	(863)	34.5	33.0	1.5	30
	消防・救急・救助体制の充実	(845)	69.8	72.0	▲ 2.2	69
	応急手当の普及	(791)	48.8	48.4	0.4	43
	火災予防の取組	(828)	53.0	54.2	▲ 1.2	60
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(882)	40.3	41.6	▲ 1.3	62
	交通安全の取組	(894)	43.0	44.5	▲ 1.5	63
	防犯の取組	(888)	34.6	36.4	▲ 1.8	66
安心政策 平均値		45.4	45.4	0.0	⑤	
輝き政策	地域福祉活動の推進	(853)	50.7	51.6	▲ 0.9	58
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(819)	43.3	44.1	▲ 0.8	55
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(821)	44.7	43.7	1.0	40
	高齢者に対する支援の充実	(822)	46.9	44.8	2.1	26
	障がい者に対する支援の充実	(757)	36.7	37.9	▲ 1.2	60
	包括的な支援体制の充実	(802)	38.2	36.8	1.4	32
	子育てサービスの充実	(688)	69.9	67.5	2.4	19
	保育と幼児教育の充実	(644)	57.8	52.9	4.9	4
	親と子の健康づくりの取組	(633)	54.1	52.9	1.2	37
	休日・夜間医療体制の充実	(857)	55.0	55.7	▲ 0.7	53
	市立病院の救急医療体制の充実	(802)	50.7	48.2	2.5	18
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(803)	45.8	41.5	4.3	6
	健康づくりの取組	(890)	65.4	64.0	1.4	32
	介護予防と認知症に対する取組	(817)	34.2	31.5	2.7	15
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(803)	31.7	28.6	3.1	12
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(801)	31.2	29.6	1.6	29
	平和についての啓発の推進	(783)	18.1	18.5	▲ 0.4	51
輝き政策 平均値		45.6	44.1	1.5	①	
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	(592)	33.1	33.9	▲ 0.8	55
	教育支援体制の充実	(579)	31.8	31.7	0.1	46
	安全な教育環境の整備	(596)	39.3	43.1	▲ 3.8	74
	子どもたちが安心して共に学べる取組	(568)	35.0	32.3	2.7	15
	社会教育の取組	(658)	28.5	32.0	▲ 3.5	72
	家庭・地域・学校の協働の推進	(661)	29.5	34.4	▲ 4.9	76
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(689)	30.8	35.6	▲ 4.8	75
	青少年の健全育成の取組	(662)	32.6	36.2	▲ 3.6	73
	文化芸術に親しむ機会の提供	(854)	49.2	41.7	7.5	1
	郷土文化の継承と発展の取組	(815)	39.0	36.7	2.3	22
	あつぎ郷土博物館の取組	(784)	37.2	38.3	▲ 1.1	59
	運動・スポーツ活動の機会提供	(868)	56.1	51.9	4.2	7
	競技力を向上するための取組	(796)	33.6	35.9	▲ 2.3	70
	スポーツ施設の充実	(858)	41.8	40.1	1.7	27
	成長政策 平均値		37.0	37.4	▲ 0.4	⑥

基本政策	項 目		令和6年度 実感度(%)	令和5年度 実感度(%)	前年度比較	比較順位
		n				※1
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(956)	78.5	73.8	4.7	5
	安心・安全に通行できる道路環境	(933)	48.3	45.9	2.4	19
	日常生活における移動がスムーズ	(945)	58.3	56.0	2.3	22
	住環境の整備の取組	(781)	16.9	14.1	2.8	14
	中心市街地の整備	(906)	48.6	43.1	5.5	2
	中心市街地のにぎわい	(911)	35.9	30.6	5.3	3
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(812)	48.5	48.7	▲ 0.2	48
	景観が守られている	(873)	47.9	47.7	0.2	45
	新たな産業拠点の創出	(792)	33.3	32.9	0.4	43
	市内に利用したい店舗がある	(919)	49.5	48.0	1.5	30
	創業支援や中小企業支援の充実	(701)	20.8	21.6	▲ 0.8	55
	企業誘致の推進	(697)	26.4	25.3	1.1	38
	先端技術産業の推進	(708)	25.2	24.1	1.1	38
	就労支援と勤労者への支援の充実	(760)	25.9	26.2	▲ 0.3	49
	広域の観光に対する取組	(877)	48.2	49.7	▲ 1.5	63
	観光資源の活性化	(870)	44.2	46.1	▲ 1.9	67
	観光情報の発信の充実	(879)	33.4	36.8	▲ 3.4	71
	本市の魅力発信	(861)	37.4	39.5	▲ 2.1	68
	定住促進の取組	(702)	19.5	20.2	▲ 0.7	53
	農地有効利用の取組	(711)	25.9	24.5	1.4	32
	地産地消の推進	(785)	46.7	44.3	2.4	19
	発展政策 平均値			39.0	38.1	0.9
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(725)	27.4	26.0	1.4	32
	再生可能エネルギーの普及	(749)	25.4	23.2	2.2	25
	省エネの取組	(794)	26.0	25.0	1.0	40
	ごみの減量化、資源化の推進	(911)	55.5	61.7	▲ 6.2	77
	生物多様性の普及や保全	(719)	26.4	22.8	3.6	9
	里地里山の保全や活用	(710)	27.8	25.5	2.3	22
	山林の再生の推進	(706)	22.8	21.4	1.4	32
	緑豊かな生活環境	(946)	65.1	62.4	2.7	15
	清潔で快適な生活環境	(936)	62.8	62.8	0.0	47
	親しみやすい水辺空間	(877)	47.4	44.2	3.2	11
潤い政策 平均値			38.7	37.5	1.2	②
共創政策	協働によるまちづくり	(840)	43.3	43.6	▲ 0.3	49
	必要な行政情報の発信	(851)	60.8	61.3	▲ 0.5	52
	変化やニーズに対応した行政運営	(751)	29.4	30.9	▲ 1.5	63
	公共施設の老朽化に対する取組	(778)	38.2	37.6	0.6	42
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(729)	33.2	30.2	3.0	13
	国内友好都市との交流	(730)	33.1	29.5	3.6	9
共創政策 平均値			39.7	38.9	0.8	④
平均値			40.8	40.1	0.7	—

(※1) 「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。
 なお、網かけは、「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

【77 項目別 重要度 の結果】

基本政策	項 目	令和6年度 重要度 (%)	令和5年度 重要度 (%)	前年度比較	比較順位	
	n				※1	
安心政策	災害に備えたハード整備	(853)	94.9	93.5	1.4	20
	災害対応力の強化の取組	(867)	94.0	92.0	2.0	11
	地域防災力向上の取組	(860)	91.0	90.6	0.4	28
	消防・救急・救助体制の充実	(865)	95.8	96.8	▲ 1.0	42
	応急手当の普及	(823)	91.1	92.6	▲ 1.5	46
	火災予防の取組	(843)	90.1	91.5	▲ 1.4	45
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(850)	90.8	89.3	1.5	17
	交通安全の取組	(856)	93.0	90.4	2.6	8
	防犯の取組	(853)	94.9	91.9	3.0	3
安心政策 平均値			92.8	92.1	0.7	①
輝き政策	地域福祉活動の推進	(857)	89.8	89.7	0.1	34
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(854)	88.1	85.5	2.6	8
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(839)	88.7	86.7	2.0	11
	高齢者に対する支援の充実	(843)	87.3	86.3	1.0	22
	障がい者に対する支援の充実	(808)	86.2	85.4	0.8	25
	包括的な支援体制の充実	(832)	87.9	86.4	1.5	17
	子育てサービスの充実	(718)	87.5	91.3	▲ 3.8	65
	保育と幼児教育の充実	(704)	86.1	87.8	▲ 1.7	51
	親と子の健康づくりの取組	(704)	84.1	85.6	▲ 1.5	46
	休日・夜間医療体制の充実	(860)	94.8	93.9	0.9	23
	市立病院の救急医療体制の充実	(835)	92.7	91.2	1.5	17
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(816)	89.0	87.1	1.9	14
	健康づくりの取組	(866)	88.1	87.2	0.9	23
	介護予防と認知症に対する取組	(833)	89.4	86.8	2.6	8
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(805)	67.4	72.7	▲ 5.3	74
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(804)	81.1	79.1	2.0	11
	平和についての啓発の推進	(784)	69.4	69.7	▲ 0.3	37
輝き政策 平均値			85.7	85.4	0.3	②
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	(665)	80.8	87.6	▲ 6.8	77
	教育支援体制の充実	(666)	80.9	86.1	▲ 5.2	72
	安全な教育環境の整備	(679)	82.6	86.5	▲ 3.9	66
	子どもたちが安心して共に学べる取組	(656)	78.3	83.2	▲ 4.9	71
	社会教育の取組	(710)	70.7	75.3	▲ 4.6	70
	家庭・地域・学校の協働の推進	(718)	72.1	78.1	▲ 6.0	76
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(733)	73.2	76.9	▲ 3.7	64
	青少年の健全育成の取組	(712)	67.9	73.7	▲ 5.8	75
	文化芸術に親しむ機会の提供	(812)	60.8	61.6	▲ 0.8	40
	郷土文化の継承と発展の取組	(786)	59.8	59.5	0.3	29
	あつぎ郷土博物館の取組	(765)	50.7	54.8	▲ 4.1	68
	運動・スポーツ活動の機会提供	(819)	75.9	76.1	▲ 0.2	35
	競技力を向上するための取組	(787)	66.2	67.2	▲ 1.0	42
	スポーツ施設の充実	(813)	73.3	73.5	▲ 0.2	35
	成長政策 平均値			70.9	74.3	▲ 3.4

基本政策	項 目	令和6年度 重要度 (%)	令和5年度 重要度 (%)	前年度比較	比較順位 ※1	
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(887)	94.7	94.5	0.2	31
	安心・安全に通行できる道路環境	(871)	93.3	93.1	0.2	31
	日常生活における移動がスムーズ	(878)	94.3	91.6	2.7	7
	住環境の整備の取組	(807)	81.9	82.9	▲ 1.0	42
	中心市街地の整備	(831)	81.4	84.3	▲ 2.9	60
	中心市街地のにぎわい	(834)	78.1	80.8	▲ 2.7	57
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(782)	77.3	76.5	0.8	25
	景観が守られている	(825)	79.9	79.6	0.3	29
	新たな産業拠点の創出	(775)	71.5	73.1	▲ 1.6	49
	市内に利用したい店舗がある	(847)	84.6	85.2	▲ 0.6	38
	創業支援や中小企業支援の充実	(720)	72.5	75.7	▲ 3.2	63
	企業誘致の推進	(714)	72.4	75.2	▲ 2.8	58
	先端技術産業の推進	(722)	64.6	67.7	▲ 3.1	61
	就労支援と勤労者への支援の充実	(772)	81.3	80.2	1.1	21
	広域の観光に対する取組	(833)	70.4	73.0	▲ 2.6	55
	観光資源の活性化	(831)	71.5	73.6	▲ 2.1	53
観光情報の発信の充実	(823)	69.4	71.9	▲ 2.5	54	
本市の魅力発信	(815)	75.2	78.3	▲ 3.1	61	
定住促進の取組	(723)	67.3	69.9	▲ 2.6	55	
農地有効利用の取組	(724)	70.1	65.9	4.2	2	
地産地消の推進	(765)	79.3	73.7	5.6	1	
発展政策 平均値			77.7	78.4	▲ 0.7	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(767)	77.6	77.4	0.2	31
	再生可能エネルギーの普及	(777)	78.1	77.4	0.7	27
	省エネの取組	(788)	76.5	77.2	▲ 0.7	39
	ごみの減量化、資源化の推進	(864)	88.6	89.4	▲ 0.8	40
	生物多様性の普及や保全	(742)	73.9	72.3	1.6	16
	里地里山の保全や活用	(748)	77.0	74.0	3.0	3
	山林の再生の推進	(743)	78.1	76.4	1.7	15
	緑豊かな生活環境	(866)	86.0	87.5	▲ 1.5	46
	清潔で快適な生活環境	(859)	87.3	88.9	▲ 1.6	49
親しみやすい水辺空間	(830)	72.5	76.5	▲ 4.0	67	
潤い政策 平均値			79.6	79.7	▲ 0.1	③
共創政策	協働によるまちづくり	(804)	70.7	75.0	▲ 4.3	69
	必要な行政情報の発信	(810)	79.0	80.8	▲ 1.8	52
	変化やニーズに対応した行政運営	(737)	79.8	85.0	▲ 5.2	72
	公共施設の老朽化に対する取組	(780)	81.0	83.8	▲ 2.8	58
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(751)	79.4	76.5	2.9	5
	国内友好都市との交流	(730)	61.2	58.4	2.8	6
共創政策 平均値			75.2	76.6	▲ 1.4	⑤
平均値			80.1	80.8	▲ 0.7	—

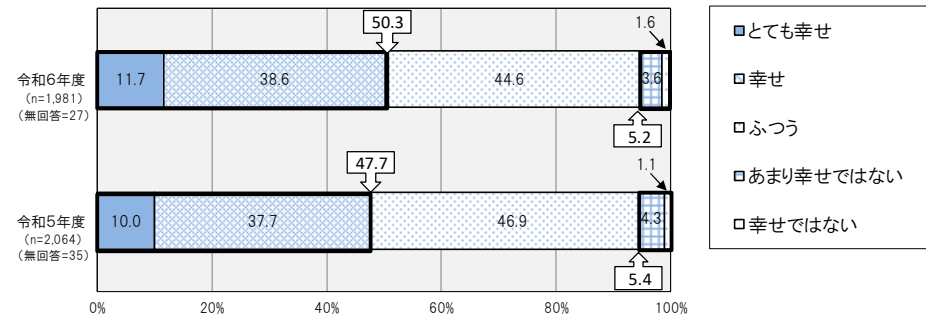
(※1) 「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。
 なお、網かけは、「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

【27 項目別 行動変容 の結果】

基本政策	項目名 (～市民の割合)		令和6年度 実績値(%)	令和5年度 実績値(%)	前年度比較	比較順位
		n				
安心政策	災害に備えていることがある（A：問2）	(966)	89.9	86.8	3.1	1
	AEDや心臓マッサージの方法を知っている（B：問2）	(963)	64.4	62.9	1.5	6
	消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている（B：問3）	(970)	78.9	79.9	▲ 1.0	20
	自転車の安全のために心掛けてしていることがある（A：問3）	(744)	54.8	54.8	0.0	13
	防犯等の対策について心掛けてしていることがある（A：問4）	(963)	90.7	90.4	0.3	10
安心政策 平均値			75.7	75.0	0.7	①
輝き政策	地域の人との関わりがあると思う（B：問4）	(972)	55.3	57.1	▲ 1.8	23
	生きがいを持って生活を送っている（B：問5）	(951)	75.8	74.6	1.2	7
	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる（B：問6）	(626)	59.3	59.9	▲ 0.6	17
	健康増進のために取り組んでいることがある（A：問5）	(936)	92.8	92.9	▲ 0.1	14
	健康診断やがん検診、人間ドックを受けた（A：問6）	(933)	81.1	81.7	▲ 0.6	17
輝き政策 平均値			83.4	80.6	2.8	2
成長政策 平均値			74.6	74.5	0.1	③
成長政策	子どもたちの心に思いやりの気持ちがあると思う（B：問7）	(652)	66.9	68.8	▲ 1.9	24
	公民館を利用している（B：問8）	(941)	31.8	29.3	2.5	3
	地域や学校の行事に参加又は協力している（B：問9）	(927)	39.7	39.0	0.7	8
	生涯学習活動を行っている（B：問10）	(889)	52.6	52.4	0.2	11
	図書館を利用している（B：問11）	(911)	24.3	23.8	0.5	9
	市内で文化芸術に親しんでいる（A：問8）	(929)	19.7	22.2	▲ 2.5	26
	厚木の郷土文化に興味がある（A：問9）	(920)	52.9	54.3	▲ 1.4	21
	運動やスポーツを週3回以上行っている（A：問10）	(932)	27.7	28.1	▲ 0.4	15
成長政策 平均値			39.5	39.7	▲ 0.2	④
発展政策	主に利用する店舗が市内にあると回答した（B：問12）	(844)	86.1	84.0	2.1	5
	市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした（A：問11）	(930)	34.1	33.9	0.2	11
	地元の農産物を購入した（A：問12）	(941)	78.9	79.7	▲ 0.8	19
発展政策 平均値			66.4	65.9	0.5	②
潤い政策	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある（A：問13）	(926)	84.0	81.8	2.2	4
	ごみの減量を意識している（B：問13）	(929)	69.4	72.1	▲ 2.7	27
	資源の分別を意識している（B：問14）	(938)	96.9	97.3	▲ 0.4	15
潤い政策 平均値			83.4	83.7	▲ 0.3	⑤
共創政策	自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している（B：問15）	(929)	38.1	39.6	▲ 1.5	22
	必要な行政情報を入手できている（B：問16）	(864)	73.7	75.9	▲ 2.2	25
共創政策 平均値			55.9	57.8	▲ 1.9	⑥
平均値			63.1	63.1	0.0	-

(※1) Aは調査票Aの設問を、Bは調査票Bの設問を示す。
(※2) 網かけは、「実績値順位」または「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

【幸福度の結果】



令和6年度厚木市民実感度調査結果（主な調査結果一覧）

※調査結果の値の高い（低い）順に5項目を記載

【実感度】

実感度が高い項目	割合	実感度が低い項目	割合
日常生活に必要な施設が身近にある	78.5%	住環境の整備の取組	16.9%
子育てサービスの充実	69.9%	平和についての啓発の推進	18.1%
消防・救急・救助体制の充実	69.8%	定住促進の取組	19.5%
健康づくりの取組	65.4%	創業支援や中小企業支援の充実	20.8%
緑豊かな生活環境	65.1%	山林の再生の推進	22.8%

実感していない人の割合が高い項目	割合	実感していない人の割合が低い項目	割合
住環境の整備の取組	37.9%	消防・救急・救助体制の充実	4.7%
中心市街地のにぎわい	34.8%	子育てサービスの充実	6.7%
先端技術産業の推進	34.1%	親と子の健康づくりの取組	8.5%
定住促進の取組	33.9%	必要な行政情報の発信	9.8%
平和についての啓発の推進	32.9%	保育と幼児教育の充実	9.9%

■令和5年度との比較

実感度が上昇した項目	R6	R5	増減	実感度が低下した項目	R6	R5	増減
文化芸術に親しむ機会の提供	49.2%	41.7%	7.5	ごみの減量化、資源化の推進	55.5%	61.7%	▲ 6.2
中心市街地の整備	48.6%	43.1%	5.5	家庭・地域・学校の協働の推進	29.5%	34.4%	▲ 4.9
中心市街地のにぎわい	35.9%	30.6%	5.3	生涯学習活動の支援や環境の整備	30.8%	35.6%	▲ 4.8
保育と幼児教育の充実	57.8%	52.9%	4.9	安全な教育環境の整備	39.3%	43.1%	▲ 3.8
日常生活に必要な施設が身近にある	78.5%	73.8%	4.7	青少年の健全育成の取組	32.6%	36.2%	▲ 3.6

実感していない人の割合が上昇した項目	R6	R5	増減	実感していない人の割合が低下した項目	R6	R5	増減
防犯の取組	32.5%	29.5%	3.0	中心市街地のにぎわい	34.8%	40.9%	▲ 6.1
健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	24.6%	21.8%	2.8	あつぎ郷土博物館の取組	19.1%	24.2%	▲ 5.1
観光情報の発信の充実	31.7%	29.5%	2.2	日常生活における移動がスムーズ	20.8%	25.1%	▲ 4.3
観光資源の活性化	23.3%	21.4%	1.9	日常生活に必要な施設が身近にある	13.8%	18.0%	▲ 4.2
競技力を向上するための取組	22.7%	21.4%	1.3	緑豊かな生活環境	13.2%	17.4%	▲ 4.2

【行動変容】

行動変容の実績値が高い項目	割合	行動変容の実績値が低い項目	割合
資源の分別を意識している	96.9%	市内で文化芸術に親しんでいる	19.7%
健康増進のために取り組んでいることがある	92.8%	図書館を利用している	24.3%
防犯等の対策について心掛けていることがある	90.7%	運動やスポーツを週3回以上行っている	27.7%
災害に備えていることがある	89.9%	公民館を利用している	31.8%
主に利用する店舗が市内にある	86.1%	市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした	34.1%

【重要度】

重要度が高い項目	割合	重要度が低い項目	割合
消防・救急・救助体制の充実	95.8%	あつぎ郷土博物館の取組	50.7%
災害に備えたハード整備	94.9%	郷土文化の継承と発展の取組	59.8%
防犯の取組	94.9%	文化芸術に親しむ機会の提供	60.8%
休日・夜間医療体制の充実	94.8%	国内友好都市との交流	61.2%
日常生活に必要な施設が身近にある	94.7%	先端技術産業の推進	64.6%

重要視していない人の割合が高い項目	割合	重要視していない人の割合が低い項目	割合
あつぎ郷土博物館の取組	10.5%	消防・救急・救助体制の充実	0.4%
互いの違いを尊重できるまちづくり	8.2%	休日・夜間医療体制の充実	0.4%
国内友好都市との交流	8.1%	応急手当の普及	0.6%
先端技術産業の推進	6.4%	交通安全の取組	0.6%
文化芸術に親しむ機会の提供	5.9%	日常生活に必要な施設が身近にある	0.6%
郷土文化の継承と発展の取組	5.9%	日常生活における移動がスムーズ	0.6%

■令和5年度との比較

重要度が上昇した項目	R6	R5	増減	重要度が低下した項目	R6	R5	増減
地産地消の推進	79.3%	73.7%	5.6	子どもたちが自ら課題に取り組む	80.8%	87.6%	▲ 6.8
農地の有効利用の取組	70.1%	65.9%	4.2	家庭・地域・学校の協働の推進	72.1%	78.1%	▲ 6.0
防犯の取組	94.9%	91.9%	3.0	青少年の健全育成の取組	67.9%	73.7%	▲ 5.8
里地里山の保全や活動	77.0%	74.0%	3.0	互いの違いを尊重できるまちづくり	67.4%	72.7%	▲ 5.3
広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	79.4%	76.5%	2.9	教育支援体制の充実	80.9%	86.1%	▲ 5.2

重要視していない人の割合が上昇した項目	R6	R5	増減	重要視していない人の割合が低下した項目	R6	R5	増減
互いの違いを尊重できるまちづくり	8.2%	5.7%	2.5	高齢者に対する支援の充実	1.8%	3.7%	▲ 1.9
あつぎ郷土博物館の取組	10.5%	8.0%	2.5	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	1.0%	2.7%	▲ 1.7
定住促進の取組	5.1%	3.3%	1.8	高齢者福祉施設の整備などの充実	1.6%	3.0%	▲ 1.4
省エネの取組	5.0%	3.2%	1.8	運動・スポーツ活動の機会提供	3.8%	5.2%	▲ 1.4
広域の観光に対する取組	4.8%	3.5%	1.3	介護予防と認知症に対する取組	0.9%	2.1%	▲ 1.2
				生涯学習活動の支援や環境の整備	1.7%	2.9%	▲ 1.2
				必要な行政情報の発信	2.2%	3.4%	▲ 1.2
				国内友好都市との交流	8.1%	9.3%	▲ 1.2

■令和5年度との比較

行動変容の実績値が上昇した項目	R6	R5	増減	行動変容の実績値が低下した項目	R6	R5	増減
災害に備えていることがある	89.9%	86.8%	3.1	ごみの減量を意識している	69.4%	72.1%	▲ 2.7
認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある	83.4%	80.6%	2.8	市内で文化芸術に親しんでいる	19.7%	22.2%	▲ 2.5
公民館を利用している	31.8%	29.3%	2.5	必要な行政情報を入手できている	73.7%	75.9%	▲ 2.2
地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある	84.0%	81.8%	2.2	子どもたちの心に思いやりの気持ちが生きていると思う	66.9%	68.8%	▲ 1.9
主に利用する店舗が市内にある	86.1%	84.0%	2.1	地域の人との関わりがあると思う	55.3%	57.1%	▲ 1.8

令和 6 年度 厚木市民実感度調査報告書

厚木市

目次

1	調査の概要.....	1
1-1	調査の目的	1
1-2	調査の概要	1
(1)	調査項目	1
(2)	調査設計	2
(3)	回収結果	2
1-3	報告書の見方	2
1-4	各設問の標本誤差	3
2	調査結果	4
2-1	回答者の属性	4
(1)	性別.....	4
(2)	年代.....	5
(3)	家族構成	6
(4)	居住地区	8
(5)	居住年数	9
2-2	項目別実感度・重要度、幸福度	10
(1)	市の施策に対する実感度（A・B：問1）	10
(2)	市の施策に対する重要度（A・B：問1）	24
(3)	実感度と重要度の関係.....	38
(4)	項目別ニーズ得点.....	42

(5) 前年度調査との比較	45
(6) 幸福度 (A：問 15、B：問 18、図表 17)	52
2-3 行動変容 (市の施策による市民の行動の変化)	54
2-3-1 安心政策	56
2-3-2 輝き政策	66
2-3-3 成長政策	78
2-3-4 発展政策	94
2-3-5 潤い政策	102
2-3-6 共創政策	108
3 総括	114
4 調査票様式	118
4-1 調査票 A	118
4-2 調査票 B	129
< 参考資料 >	140

1 調査の概要

1-1 調査の目的

本調査は、市の施策や事業に関する市民の実感度及び重要度の調査、集計及び分析を行うことにより、今後の市政運営及び第10次厚木市総合計画（以下「総合計画」という。）の進行管理の基礎資料等とすることを目的とする。

1-2 調査の概要

（1）調査項目

ア 項目別実感度・重要度

分野	調査票 A	調査票 B
① 安心政策（命、財産を守り抜くまち）	6 項目	3 項目
② 輝き政策（支えあい、生き生きと暮らせるまち）	8 項目	9 項目
③ 成長政策（夢や希望を持ち、自己実現ができるまち）	6 項目	8 項目
④ 発展政策（人が集い、交流し、新たな価値を生むまち）	9 項目	12 項目
⑤ 潤い政策（環境に優しく、自然と共生するまち）	6 項目	4 項目
⑥ 共創政策（市民と共に確かな成長を創り出すまち）	2 項目	4 項目
合計	37 項目	40 項目

※分野については、総合計画に定めた六つのまちづくりのビジョン（基本政策）別に分類した。

イ 行動変容（市の施策による市民の行動の変化）

分野	調査票 A	調査票 B
① 安心政策（命、財産を守り抜くまち）	3 項目	2 項目
② 輝き政策（支えあい、生き生きと暮らせるまち）	3 項目	3 項目
③ 成長政策（夢や希望を持ち、自己実現ができるまち）	3 項目	5 項目
④ 発展政策（人が集い、交流し、新たな価値を生むまち）	2 項目	1 項目
⑤ 潤い政策（環境に優しく、自然と共生するまち）	1 項目	2 項目
⑥ 共創政策（市民と共に確かな成長を創り出すまち）	－項目	2 項目
合計	12 項目	15 項目

ウ 幸福度（市民がどの程度幸せと感じているか）

(2) 調査設計

- ア 調査地域 厚木市全域
- イ 調査対象 厚木市在住の満 18 歳以上の男女（外国人住民を含む。）
- ウ 調査対象者数 5,000 人
- エ 抽出方法 住民基本台帳を基に無作為抽出
(年代及び居住地区は、全体の構成比に基づく。)
- オ 調査方法 「調査票 A」、「調査票 B」に分け、それぞれ 2,500 人に郵送配布し、
郵送又はインターネット回答
- カ 調査期間 令和 7 年 1 月 31 日(金)から 2 月 20 日(木)まで

(3) 回収結果

有効回収数及び回収率は次のとおり

- ア 有効回収数 2,008 人（調査票 A：1,010 人、調査票 B：998 人）
- イ 回収率 40.2%（調査票 A：40.4%、調査票 B：39.9%）

1-3 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」(Number of Cases の略)は、各設問の回答者数のことである。
なお、質問内容について、身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は無回答であり、「n」には含めない。
- (2) 集計は、小数点第 2 位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が 100.0% ちょうどにならない場合がある。
- (3) 回答の比率(%)は、各設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (4) 本報告書における令和 5 年度の結果については、「令和 5 年度市民実感度調査（以下「前年度調査」という。）」の結果を使用している。

1 - 4 各設問の標本誤差

標本誤差は、次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数(n)、②回答の比率(p)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

(注) $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$

N=母集団数 193,360
※令和6年12月1日現在の18歳以上の住民基本台帳人口
n=比率算出の基数(回答者数)
p=回答の比率(%)

今回の調査結果の標本誤差は、次表のようになる。(この表の計算式の信頼度は95.0%)

n \ p	回答比率				
	90%または 10%	80%または 20%	70%または 30%	60%または 40%	50%
2,008	±1.31	±1.74	±1.99	±2.13	±2.18
2,000	±1.31	±1.74	±2.00	±2.14	±2.18
1,500	±1.51	±2.02	±2.31	±2.47	±2.52
1,000	±1.85	±2.47	±2.83	±3.03	±3.09
500	±2.63	±3.50	±4.01	±4.29	±4.38
100	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

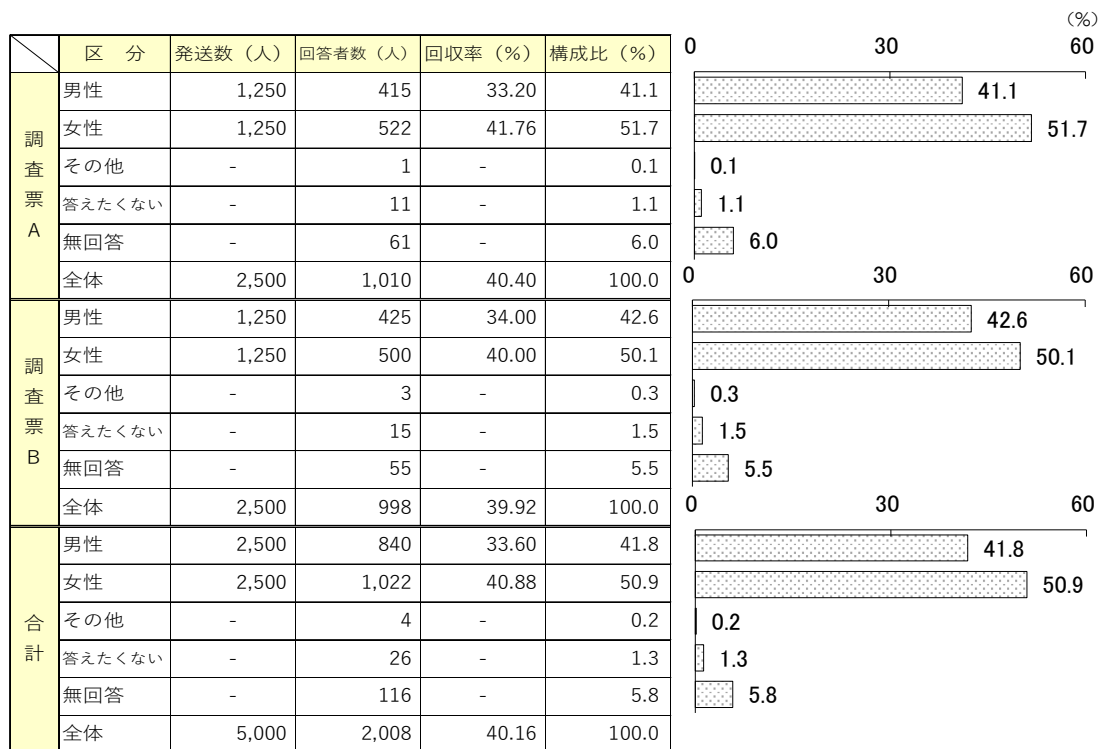
※例えば、ある質問の回答者数が2,008人で、「そう思う」の回答比率が20.0%だった場合、信頼度が95%の回答比率に対する標本誤差は、上記表の通り±1.74であり、その質問に対する18歳以上の厚木市在住者全体の回答比率は、18.26%～21.74%の範囲にあると考えられる。

2 調査結果

2-1 回答者の属性

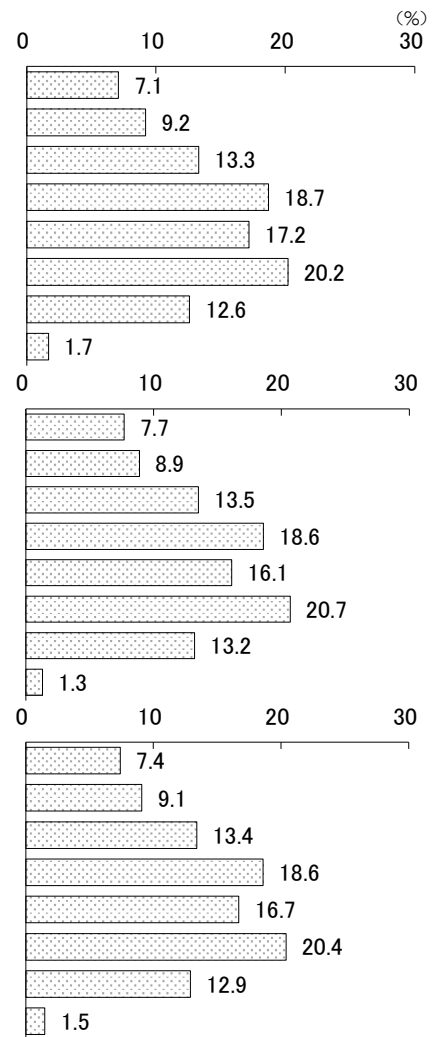
※ 調査対象者の抽出条件とした項目については、発送数を参考に掲載している。

(1) 性別

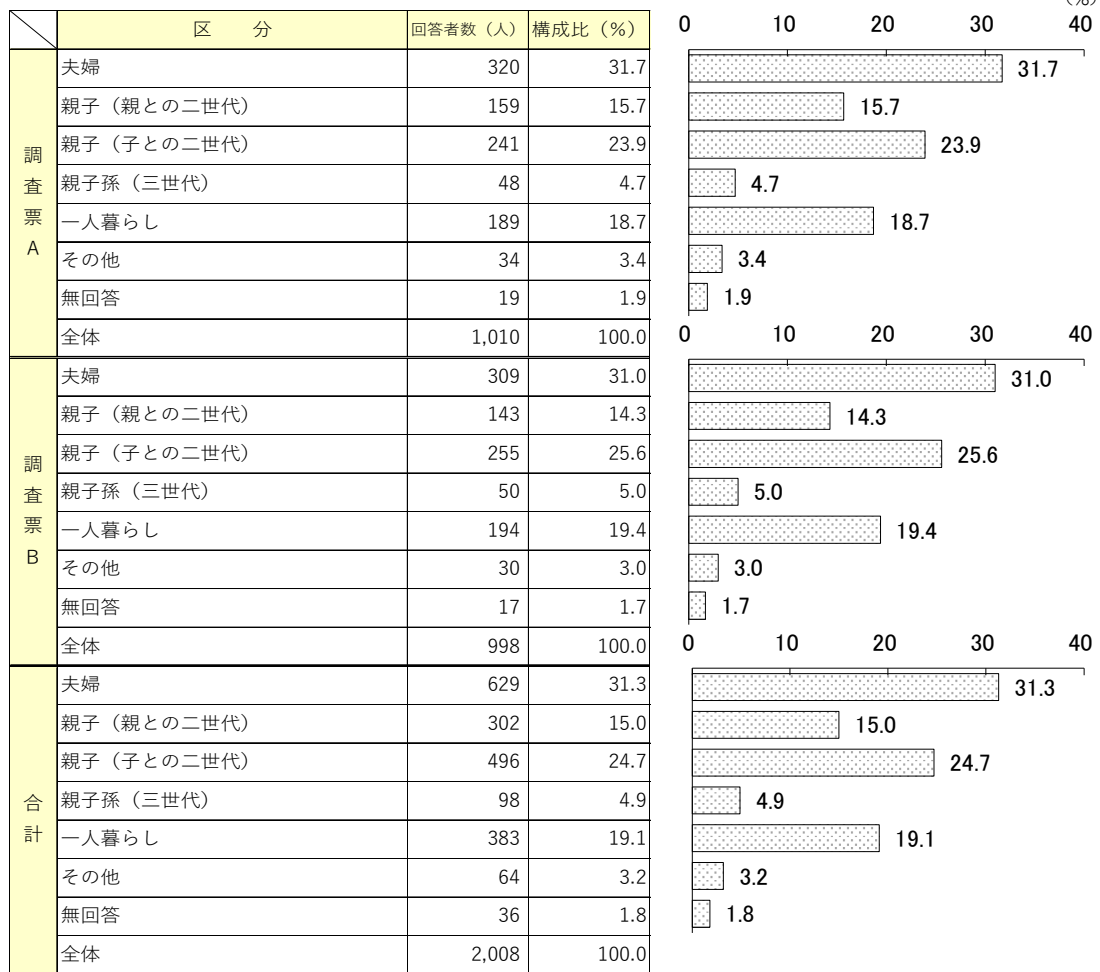


(2) 年代

	区 分	発送数 (人)	回答者数 (人)	回収率 (%)	構成比 (%)
調査票 A	10代・20代	396	72	18.18	7.1
	30代	344	93	27.03	9.2
	40代	404	134	33.17	13.3
	50代	464	189	40.73	18.7
	60代	316	174	55.06	17.2
	70代	340	204	60.00	20.2
	80代以上	236	127	53.81	12.6
	無回答	-	17	-	1.7
	全体	2,500	1,010	40.40	100.0
調査票 B	10代・20代	394	77	19.54	7.7
	30代	342	89	26.02	8.9
	40代	400	135	33.75	13.5
	50代	470	185	39.36	18.6
	60代	318	161	50.63	16.1
	70代	332	206	62.05	20.7
	80代以上	244	132	54.10	13.2
	無回答	-	13	-	1.3
	全体	2,500	998	39.92	100.0
合 計	10代・20代	790	149	18.86	7.4
	30代	686	182	26.53	9.1
	40代	804	269	33.46	13.4
	50代	934	374	40.04	18.6
	60代	634	335	52.84	16.7
	70代	672	410	61.01	20.4
	80代以上	480	259	53.96	12.9
	無回答	-	30	-	1.5
	全体	5,000	2,008	40.16	100.0

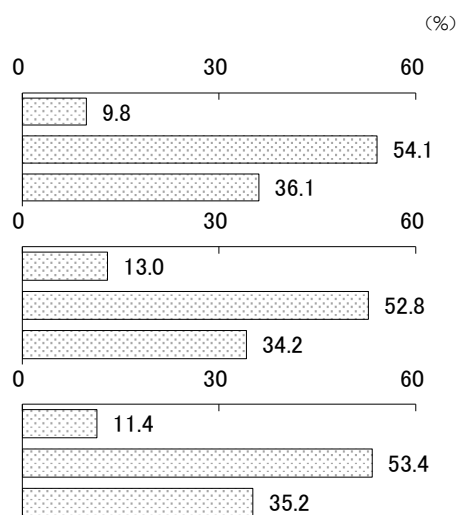


(3) 家族構成



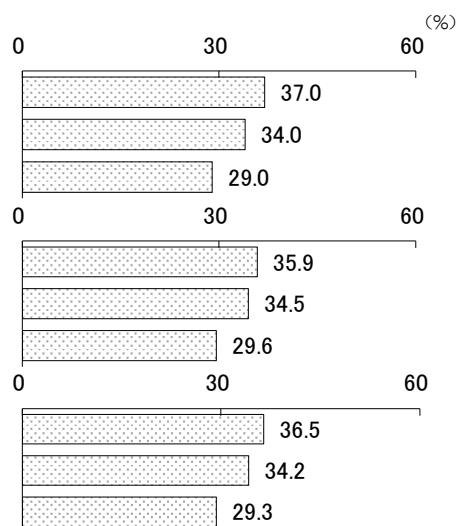
ア 家族の中に中学生以下の子どもがいる世帯

	区 分	回答者数 (人)	構成比 (%)
調 査 票 A	いる世帯	99	9.8
	いない世帯	546	54.1
	無回答	365	36.1
	全体	1,010	100.0
調 査 票 B	いる世帯	130	13.0
	いない世帯	527	52.8
	無回答	341	34.2
	全体	998	100.0
合 計	いる世帯	229	11.4
	いない世帯	1,073	53.4
	無回答	706	35.2
	全体	2,008	100.0

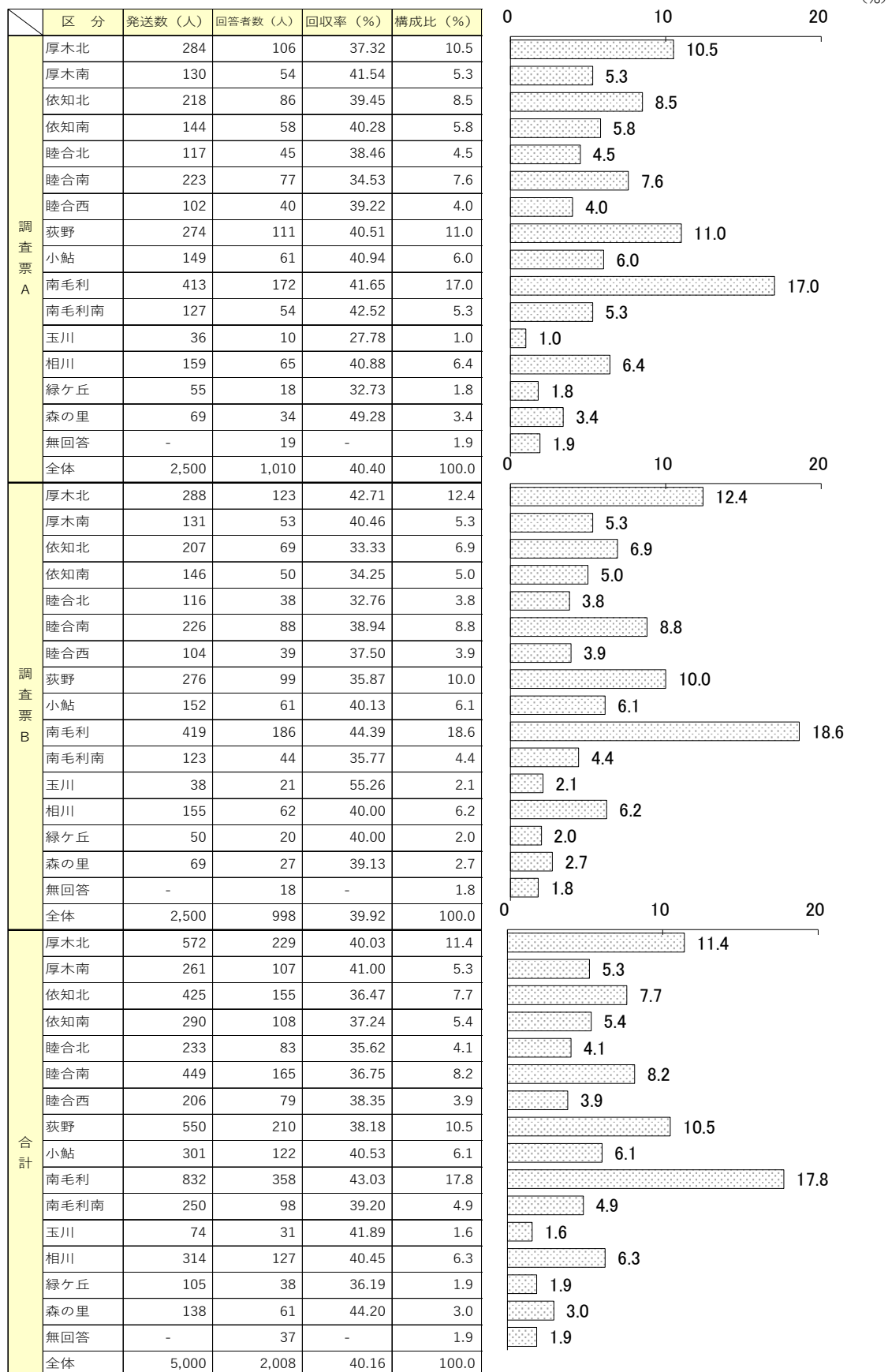


イ 家族の中に65歳以上の方がいる世帯（本人を含む。）

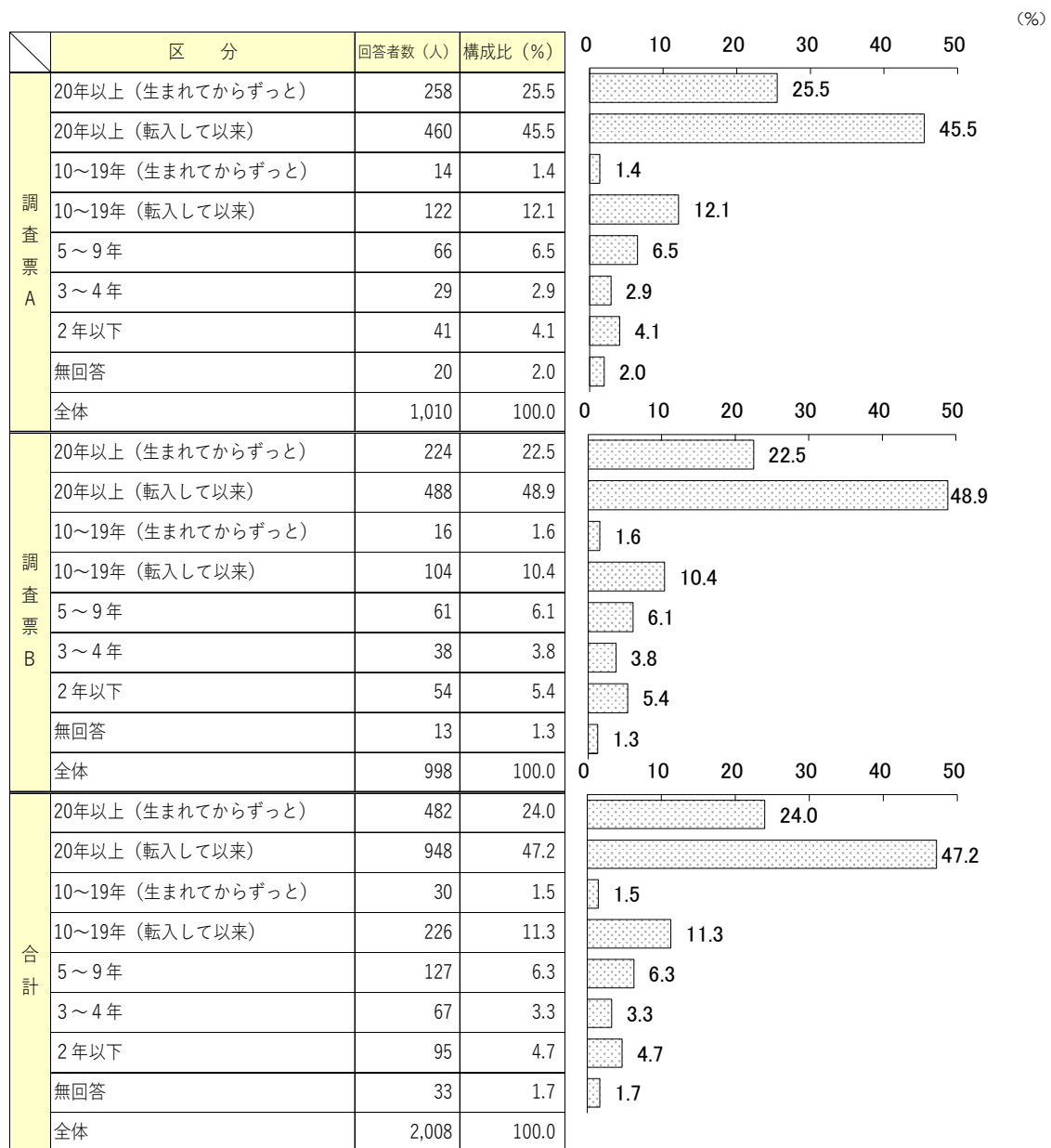
	区 分	回答者数 (人)	構成比 (%)
調 査 票 A	いる世帯	374	37.0
	いない世帯	343	34.0
	無回答	293	29.0
	全体	1,010	100.0
調 査 票 B	いる世帯	358	35.9
	いない世帯	344	34.5
	無回答	296	29.6
	全体	998	100.0
合 計	いる世帯	732	36.5
	いない世帯	687	34.2
	無回答	589	29.3
	全体	2,008	100.0



(4) 居住地区



(5) 居住年数



2-2 項目別実感度・重要度、幸福度

(1) 市の施策に対する実感度 (A・B：問1)

ア 基本政策別の傾向 (図表1、図表2)

(ア) 実感している人の割合 (「そう思う」と「ややそう思う」の合計) が高い政策

- ① 輝き政策 (平均値 45.6%)
- ② 安心政策 (平均値 45.3%)
- ③ 共創政策 (平均値 39.6%)

(イ) 実感していない人の割合 (「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計) が高い政策

- ① 発展政策 (平均値 27.3%)
- ② 潤い政策 (平均値 23.3%)
- ③ 安心政策 (平均値 22.3%)

イ 77項目別の傾向

(ア) 実感している人の割合が高い項目 (図表3)

- ① 日常生活に必要な施設が身近にある (78.5%)
- ② 子育てサービスの充実 (69.9%)
- ③ 消防・救急・救助体制の充実 (69.8%)
- ④ 健康づくりの取組 (65.4%)
- ⑤ 緑豊かな生活環境 (65.1%)

(イ) 実感している人の割合が低い項目 (図表3)

- ① 住環境の整備の取組 (16.9%)
- ② 平和についての啓発の推進 (18.1%)
- ③ 定住促進の取組 (19.5%)
- ④ 創業支援や中小企業支援の充実 (20.8%)
- ⑤ 山林の再生の推進 (22.8%)

(ウ) 実感していない人の割合が高い項目 (図表4)

- ① 住環境の整備の取組 (37.9%)
- ② 中心市街地のにぎわい (34.8%)
- ③ 先端技術産業の推進 (34.1%)
- ④ 定住促進の取組 (33.9%)
- ⑤ 平和についての啓発の推進 (32.9%)

(エ) 実感していない人の割合が低い項目 (図表4)

- ① 消防・救急・救助体制の充実 (4.7%)
- ② 子育てサービスの充実 (6.7%)
- ③ 親と子の健康づくりの取組 (8.5%)
- ④ 必要な行政情報の発信 (9.8%)
- ⑤ 保育と幼児教育の充実 (9.9%)

ウ 無回答者の割合

(ア) 無回答者の割合が高い政策 (図表 5)

- ① 成長政策 (平均値 28.9%)
- ② 共創政策 (平均値 22.2%)
- ③ 輝き政策 (平均値 21.5%)

(イ) 無回答者の割合が低い政策 (図表 5)

- ① 安心政策 (平均値 14.7%)
- ② 発展政策 (平均値 17.5%)
- ③ 潤い政策 (平均値 19.7%)

(ウ) 無回答者の割合が高い項目 (図表 6)

- ① 子どもたちが安心して共に学べる取組 (43.1%)
- ② 教育支援体制の充実 (42.0%)
- ③ 子どもたちが自ら課題に取り組む (40.7%)
- ④ 安全な教育環境の整備 (40.3%)
- ⑤ 親と子の健康づくりの取組 (36.6%)

(エ) 無回答者の割合が低い項目 (図表 6)

- ① 日常生活に必要な施設が身近にある (4.2%)
- ② 緑豊かな生活環境 (5.2%)
- ③ 日常生活における移動がスムーズ (5.3%)
- ④ 清潔で快適な生活環境 (6.2%)
- ⑤ 安心・安全に通行できる道路環境 (6.5%)

図表1 実感度（基本政策別・項目別一覧表）1/2

(単位：％)											
基本政策	項 目	n	そう 思う	やや そう 思う	ど ち ら で も な い	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い	実 感 し て い る	実 感 し て い な い	R 6 年 度 目 標 値	実 感 度 順 位 ※3
			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	※1 (A+B)	※2 (D+E)		
安心政策	災害に備えたハード整備	(851)	6.6	32.8	33.4	23.1	4.1	39.4	27.2	43.6	37
	災害対応力の強化の取組	(877)	7.2	37.7	29.9	21.4	3.8	44.9	25.2	56.6	29
	地域防災力向上の取組	(863)	5.6	28.9	33.4	26.4	5.8	34.5	32.2	45.8	48
	消防・救急・救助体制の充実	(845)	27.8	42.0	25.6	4.3	0.4	69.8	4.7	73.8	3
	応急手当の普及	(791)	14.5	34.3	35.9	13.3	2.0	48.8	15.3	52.5	19
	火災予防の取組	(828)	14.6	38.4	33.9	11.5	1.6	53.0	13.1	57.5	14
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(882)	7.8	32.5	35.0	20.9	3.7	40.3	24.6	50.2	36
	交通安全の取組	(894)	8.2	34.8	31.4	20.1	5.5	43.0	25.6	48.4	34
	防犯の取組	(888)	7.0	27.6	32.9	25.3	7.2	34.6	32.5	47.5	47
安心政策 平均値			11.0	34.3	32.4	18.5	3.8	45.3	22.3	－	②
輝き政策	地域福祉活動の推進	(853)	11.0	39.7	32.1	14.5	2.6	50.7	17.1	56.0	15
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(819)	8.9	34.4	37.0	15.9	3.8	43.3	19.7	46.0	32
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(821)	10.4	34.3	37.5	15.5	2.3	44.7	17.8	48.2	30
	高齢者に対する支援の充実	(822)	11.4	35.5	35.8	13.7	3.5	46.9	17.2	48.0	26
	障がい者に対する支援の充実	(757)	8.2	28.5	45.8	14.3	3.2	36.7	17.5	46.0	44
	包括的な支援体制の充実	(802)	7.9	30.3	41.3	16.3	4.2	38.2	20.5	45.5	40
	子育てサービスの充実	(688)	26.6	43.3	23.4	5.5	1.2	69.9	6.7	66.8	2
	保育と幼児教育の充実	(644)	17.9	39.9	32.3	7.6	2.3	57.8	9.9	56.0	9
	親と子の健康づくりの取組	(633)	17.9	36.2	37.4	6.8	1.7	54.1	8.5	53.5	13
	休日・夜間医療体制の充実	(857)	14.7	40.3	26.8	14.1	4.1	55.0	18.2	58.0	12
	市立病院の救急医療体制の充実	(802)	15.3	35.4	33.5	11.0	4.7	50.7	15.7	56.0	15
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(803)	15.8	30.0	33.7	16.1	4.4	45.8	20.5	45.5	28
	健康づくりの取組	(890)	20.6	44.8	23.7	8.9	2.0	65.4	10.9	72.0	4
	介護予防と認知症に対する取組	(817)	6.7	27.5	39.9	19.8	6.0	34.2	25.8	37.0	49
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(803)	4.9	26.8	45.7	17.4	5.2	31.7	22.6	29.0	58
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(801)	6.6	24.6	43.1	20.2	5.5	31.2	25.7	29.0	59
	平和についての啓発の推進	(783)	4.1	14.0	48.9	25.0	7.9	18.1	32.9	32.0	76
	輝き政策 平均値			12.3	33.3	36.3	14.3	3.8	45.6	18.1	－
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	(592)	5.7	27.4	51.5	12.0	3.4	33.1	15.4	35.0	54
	教育支援体制の充実	(579)	6.2	25.6	52.3	12.4	3.5	31.8	15.9	33.0	57
	安全な教育環境の整備	(596)	8.6	30.7	47.3	10.2	3.2	39.3	13.4	38.9	38
	子どもたちが安心して共に学べる取組	(568)	7.4	27.6	51.8	10.2	3.0	35.0	13.2	35.0	46
	社会教育の取組	(658)	4.6	23.9	53.3	14.1	4.1	28.5	18.2	30.0	63
	家庭・地域・学校の協働の推進	(661)	5.3	24.2	50.4	16.3	3.8	29.5	20.1	37.0	61
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(689)	5.4	25.4	49.2	15.4	4.6	30.8	20.0	34.0	60
	青少年の健全育成の取組	(662)	6.6	26.0	47.9	15.6	3.9	32.6	19.5	39.0	56
	文化芸術に親しむ機会の提供	(854)	12.3	36.9	33.0	13.9	3.9	49.2	17.8	44.0	18
	郷土文化の継承と発展の取組	(815)	6.9	32.1	41.3	16.4	3.2	39.0	19.6	42.0	39
	あつぎ郷土博物館の取組	(784)	8.4	28.8	43.6	13.6	5.5	37.2	19.1	42.0	43
	運動・スポーツ活動の機会提供	(868)	15.4	40.7	27.8	12.7	3.5	56.1	16.2	54.0	10
	競技力を向上するための取組	(796)	8.0	25.6	43.6	19.1	3.6	33.6	22.7	35.0	50
	スポーツ施設の充実	(858)	10.0	31.8	31.8	20.9	5.5	41.8	26.4	46.0	35
	成長政策 平均値			7.9	29.1	44.6	14.5	3.9	37.0	18.4	－

図表1 実感度（基本政策別・項目別一覧表）2/2

(単位：％)											
基本政策	項 目	n	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そうあまり思わない	そう思わない	実感している	実感していない	R 6 年度目標値	実感度順位 ※3
			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	※1 (A+B)	※2 (D+E)		
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(956)	45.1	33.4	7.7	8.8	5.0	78.5	13.8	80.6	1
	安心・安全に通行できる道路環境	(933)	15.5	32.8	24.0	20.4	7.3	48.3	27.7	42.0	22
	日常生活における移動がスムーズ	(945)	25.8	32.5	21.0	13.8	7.0	58.3	20.8	60.4	8
	住環境の整備の取組	(781)	5.0	11.9	45.2	27.3	10.6	16.9	37.9	39.0	77
	中心市街地の整備	(906)	11.8	36.8	26.3	17.9	7.3	48.6	25.2	49.0	20
	中心市街地のにぎわい	(911)	9.3	26.6	29.3	23.2	11.6	35.9	34.8	45.0	45
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(812)	12.7	35.8	29.1	16.3	6.2	48.5	22.5	58.4	21
	景観が守られている	(873)	11.6	36.3	30.2	16.0	5.8	47.9	21.8	47.9	24
	新たな産業拠点の創出	(792)	7.7	25.6	36.5	22.3	7.8	33.3	30.1	31.0	52
	市内に利用したい店舗がある	(919)	18.1	31.4	21.9	20.0	8.6	49.5	28.6	45.0	17
	創業支援や中小企業支援の充実	(701)	3.7	17.1	48.9	23.0	7.3	20.8	30.3	23.0	74
	企業誘致の推進	(697)	6.2	20.2	41.3	23.8	8.5	26.4	32.3	29.0	66
	先端技術産業の推進	(708)	4.0	21.2	40.7	25.8	8.3	25.2	34.1	23.5	72
	就労支援と勤労者への支援の充実	(760)	4.3	21.6	48.3	19.9	5.9	25.9	25.8	28.0	69
	広域の観光に対する取組	(877)	10.8	37.4	30.8	16.4	4.6	48.2	21.0	48.0	23
	観光資源の活性化	(870)	8.9	35.3	32.5	18.7	4.6	44.2	23.3	47.0	31
	観光情報の発信の充実	(879)	6.1	27.3	34.8	24.8	6.9	33.4	31.7	43.0	51
	本市の魅力発信	(861)	6.6	30.8	31.4	23.5	7.8	37.4	31.3	47.4	42
	定住促進の取組	(702)	4.8	14.7	46.6	23.5	10.4	19.5	33.9	52.0	75
	農地有効利用の取組	(711)	5.2	20.7	46.6	20.8	6.8	25.9	27.6	25.0	69
	地産地消の推進	(785)	8.9	37.8	34.6	14.4	4.2	46.7	18.6	46.0	27
発展政策 平均値			11.1	28.0	33.7	20.0	7.3	39.1	27.3	－	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(725)	4.0	23.4	48.6	18.5	5.5	27.4	24.0	40.0	65
	再生可能エネルギーの普及	(749)	4.3	21.1	44.7	22.6	7.3	25.4	29.9	33.0	71
	省エネの取組	(794)	4.8	21.2	41.6	24.6	7.9	26.0	32.5	42.0	68
	ごみの減量化、資源化の推進	(911)	15.9	39.6	29.5	12.3	2.6	55.5	14.9	73.0	11
	生物多様性の普及や保全	(719)	3.5	22.9	47.3	19.9	6.4	26.4	26.3	36.0	66
	里地里山の保全や活用	(710)	4.4	23.4	43.2	22.5	6.5	27.8	29.0	42.0	64
	山林の再生の推進	(706)	5.4	17.4	45.9	24.5	6.8	22.8	31.3	31.0	73
	緑豊かな生活環境	(946)	24.8	40.3	21.7	9.8	3.4	65.1	13.2	65.2	5
	清潔で快適な生活環境	(936)	18.5	44.3	26.7	7.8	2.7	62.8	10.5	66.0	6
親しみやすい水辺空間	(877)	12.1	35.3	31.1	15.5	5.9	47.4	21.4	46.5	25	
潤い政策 平均値			9.8	28.9	38.0	17.8	5.5	38.7	23.3	－	⑤
共創政策	協働によるまちづくり	(840)	8.8	34.5	37.1	15.5	4.0	43.3	19.5	44.9	32
	必要な行政情報の発信	(851)	17.6	43.2	29.4	7.1	2.7	60.8	9.8	60.5	7
	変化やニーズに対応した行政運営	(751)	4.9	24.5	50.9	14.1	5.6	29.4	19.7	43.3	62
	公共施設の老朽化に対する取組	(778)	7.7	30.5	39.7	16.2	5.9	38.2	22.1	43.3	40
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(729)	5.9	27.3	37.7	23.0	6.0	33.2	29.0	42.3	53
	国内友好都市との交流	(730)	6.3	26.8	37.4	21.6	7.8	33.1	29.4	44.0	54
	共創政策 平均値			8.5	31.1	38.7	16.3	5.3	39.6	21.6	－
平均値			10.4	30.4	37.1	17.0	5.1	40.8	22.1	－	－

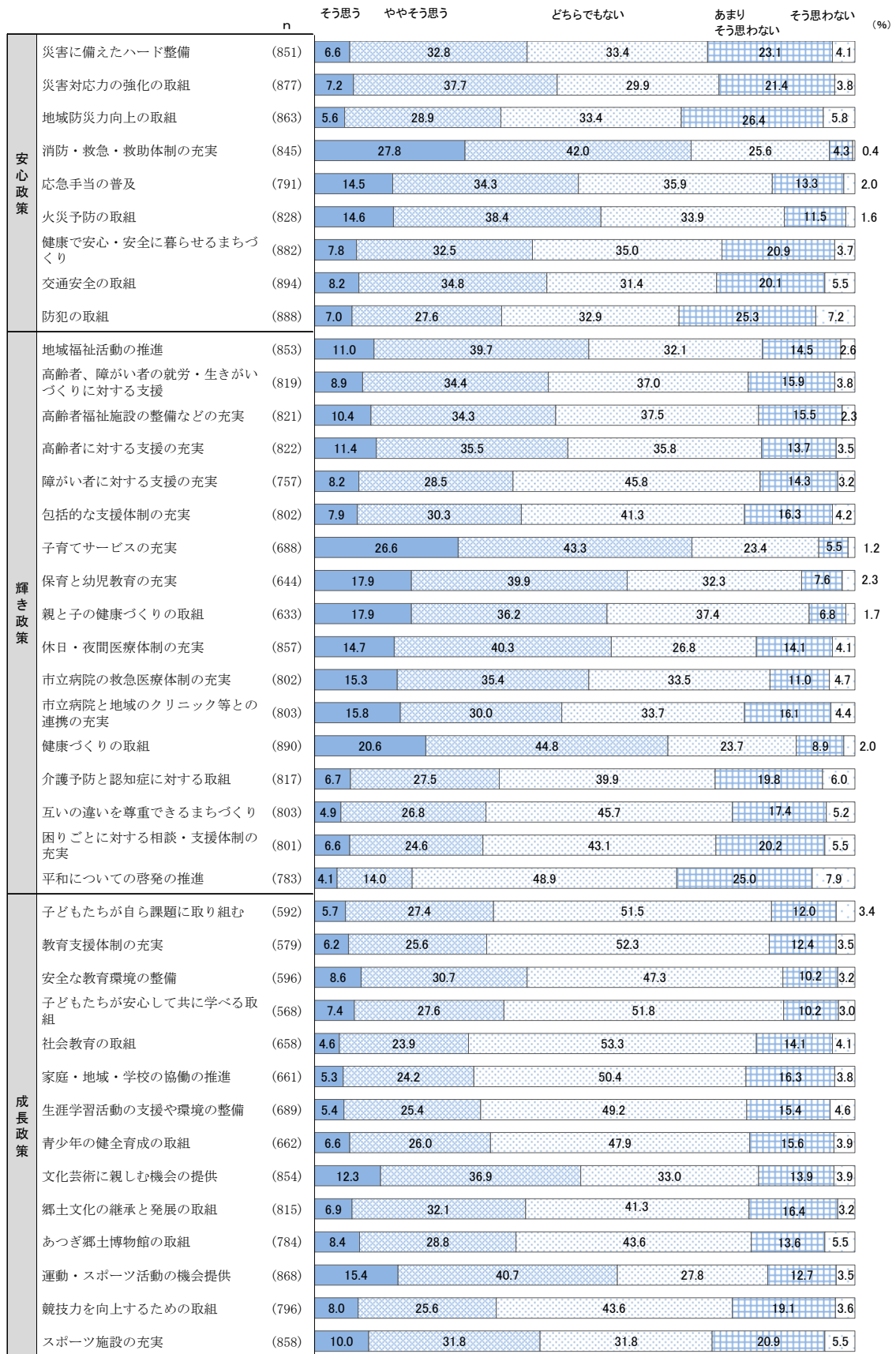
(※1) 「実感している人の割合」は、「そう思う」と「ややそう思う」の合計を示す。

(※2) 「実感していない人の割合」は、「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計を示す。

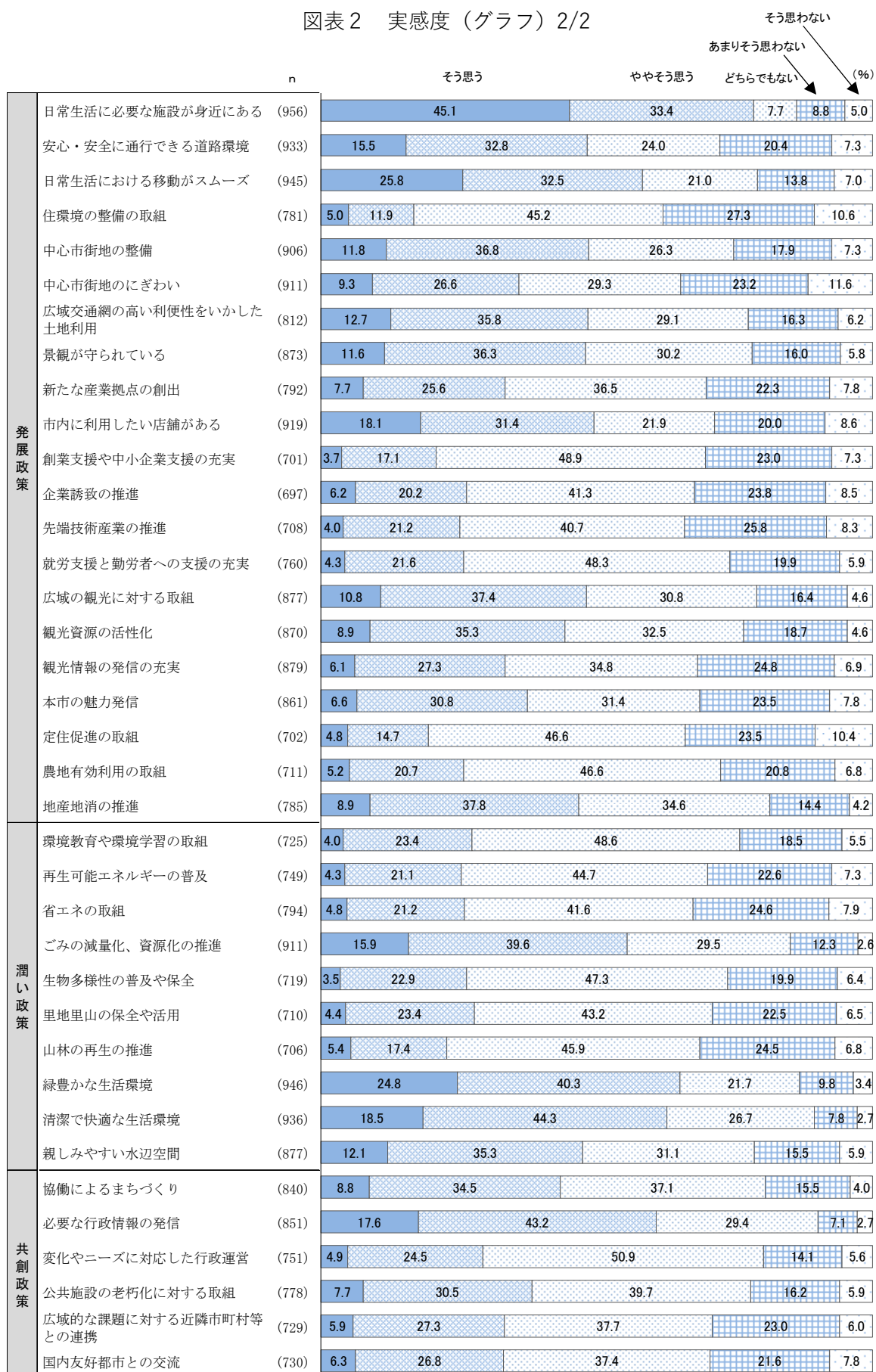
(※3) 「実感度順位」は、「実感している人の割合」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。

なお、網かけは、「実感度順位」の上位5位までの項目を示す。

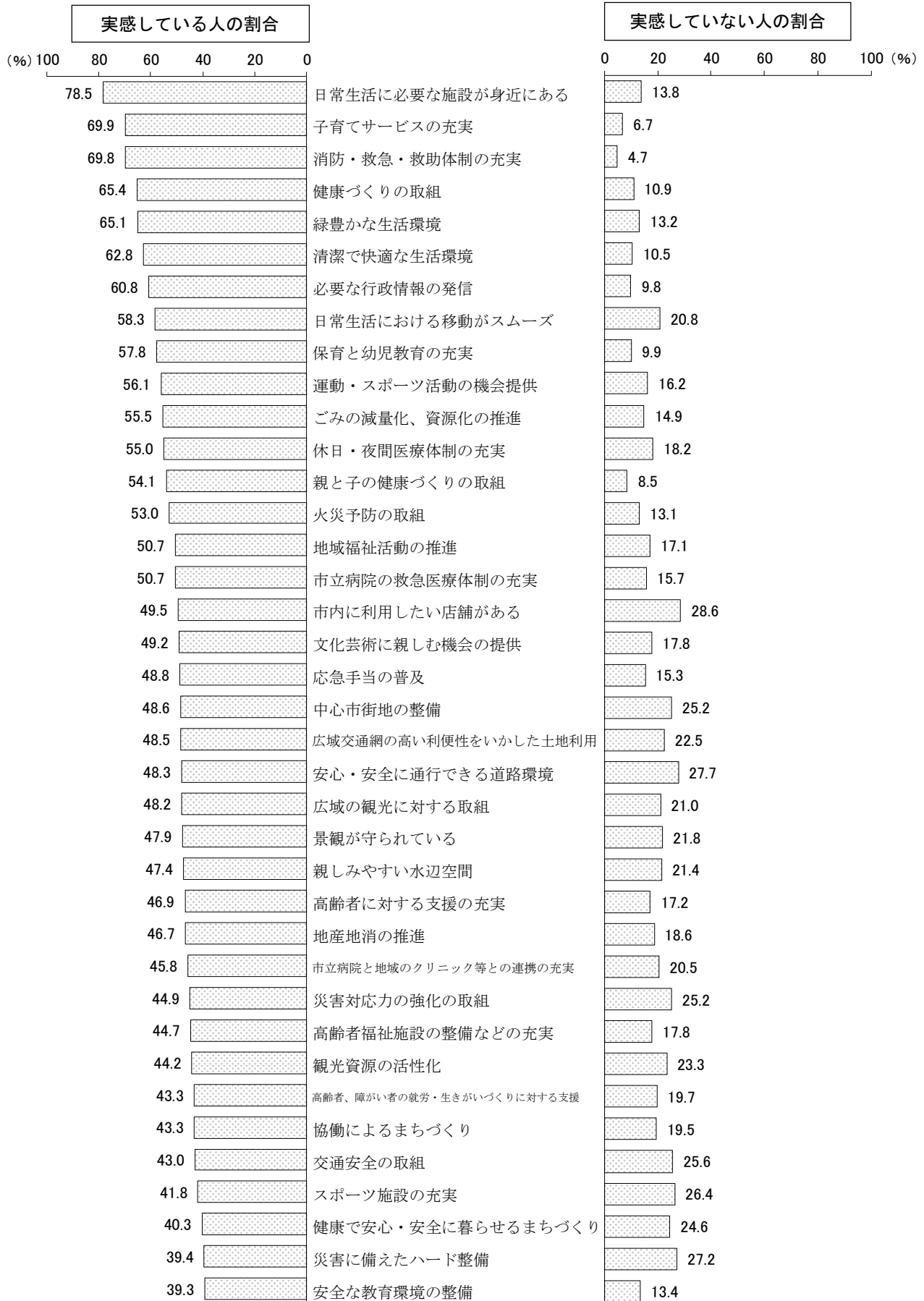
図表2 実感度（グラフ）1/2



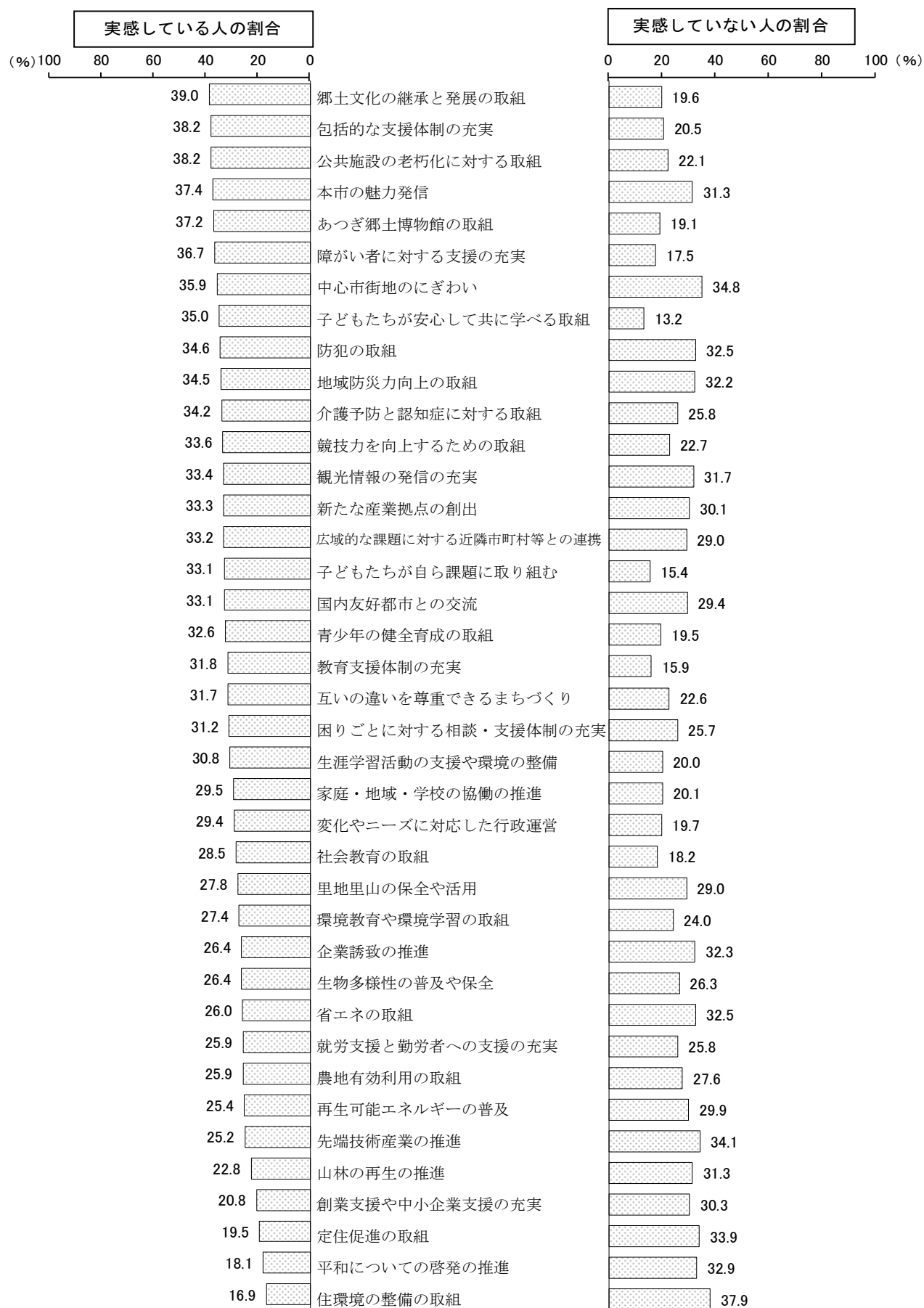
図表2 実感度（グラフ）2/2



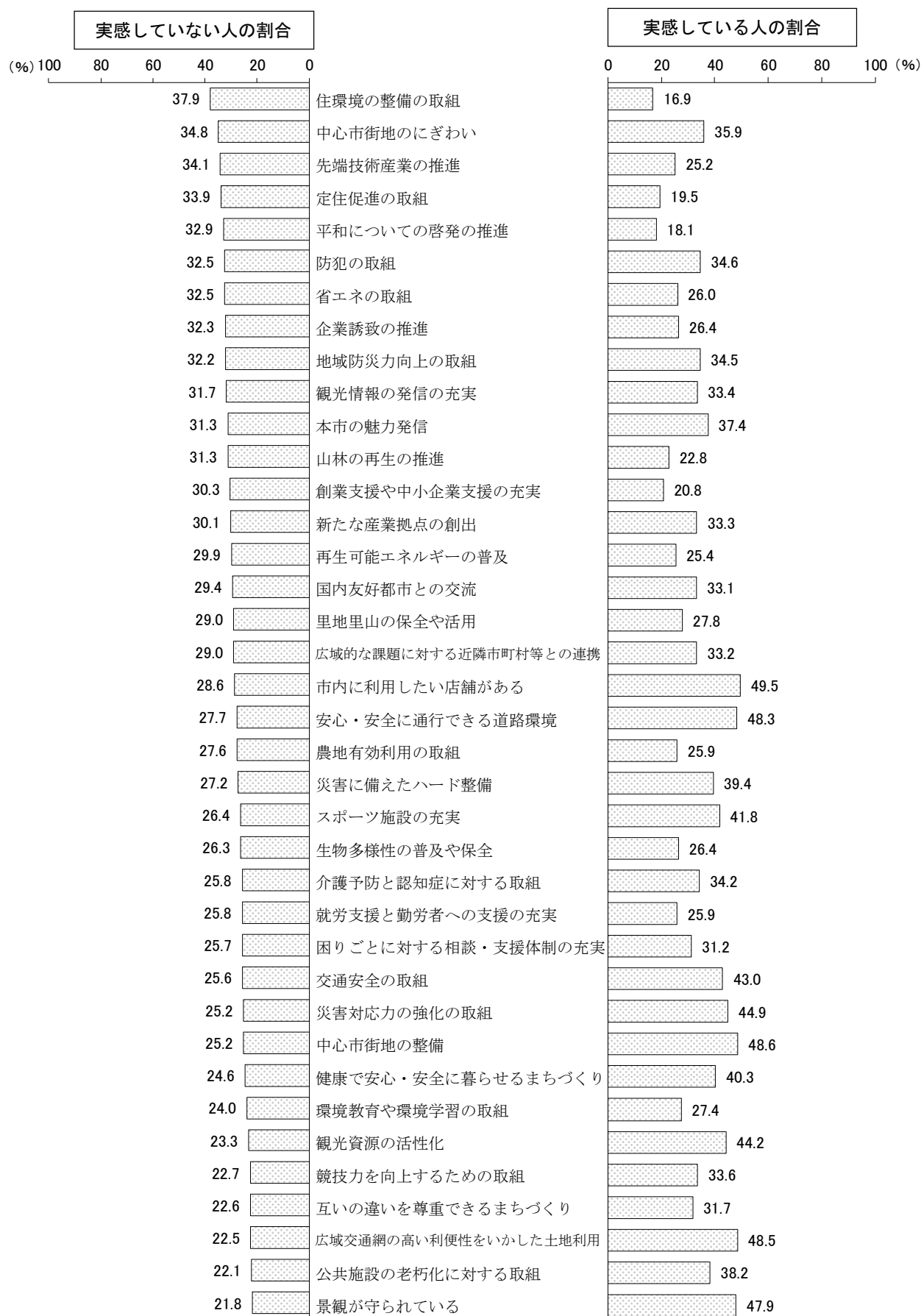
図表3 実感度（実感している人の割合が高い順）1/2



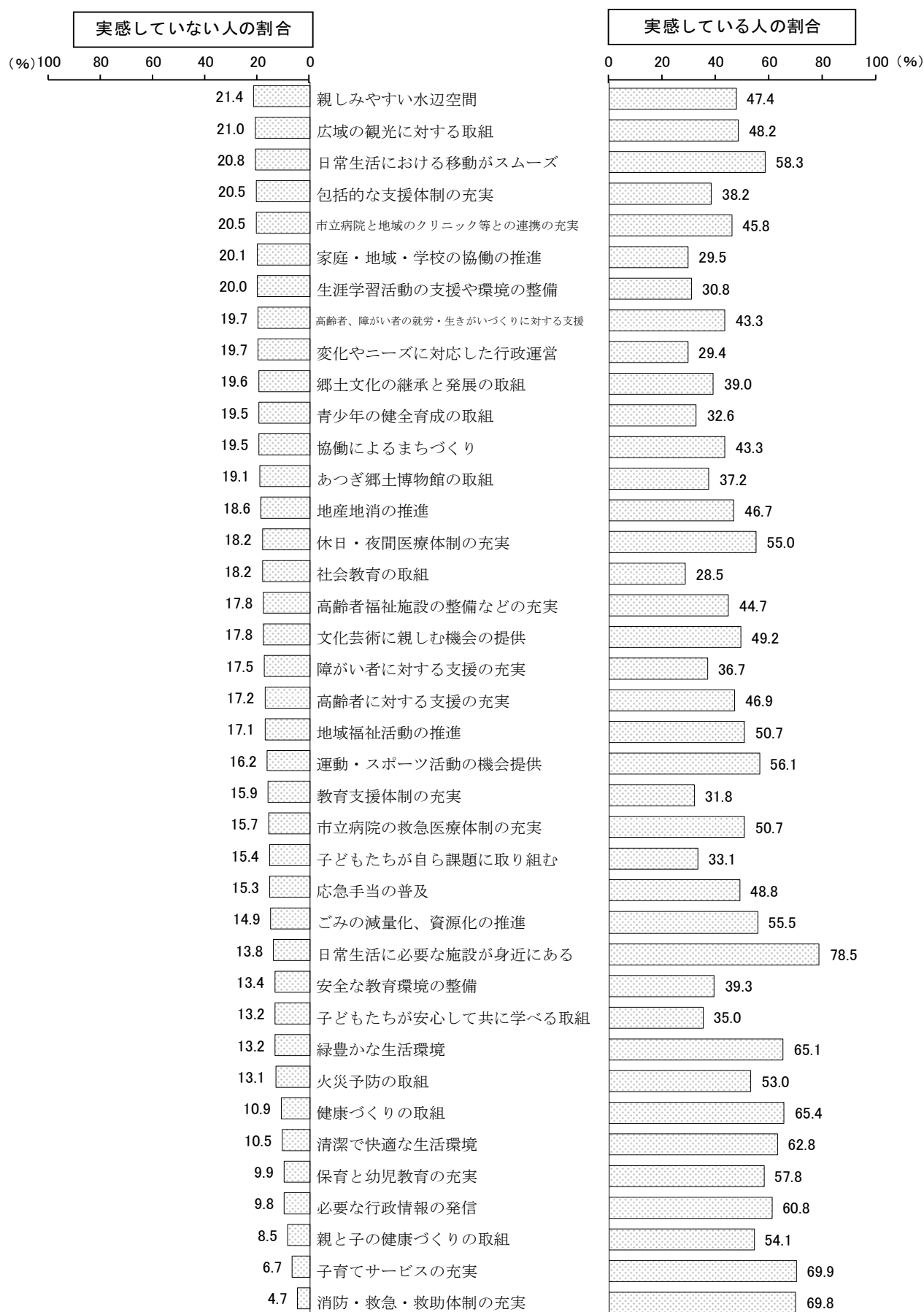
図表3 実感度（実感している人の割合が高い順）2/2



図表4 実感度（実感していない人の割合が高い順）1/2



図表4 実感度（実感していない人の割合が高い順）2/2



図表5 実感度（基本政策別・無回答者の割合）1/2

基本政策	項 目	回 答 者 数	無 回 答 者 数	合 計	割 無 回 答 者 の	無 回 答 順 位
		n			※1	※2
		(人) (A)	(人) (B)	(人) (A+B)	(%)	
安心政策	災害に備えたハード整備	851	159	1,010	15.7	49
	災害対応力の強化の取組	877	133	1,010	13.2	61
	地域防災力向上の取組	863	147	1,010	14.6	55
	消防・救急・救助体制の充実	845	153	998	15.3	51
	応急手当の普及	791	207	998	20.7	35
	火災予防の取組	828	170	998	17.0	47
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	882	128	1,010	12.7	64
	交通安全の取組	894	116	1,010	11.5	68
	防犯の取組	888	122	1,010	12.1	65
	安心政策 平均値	858	148	1,006	14.7	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進	853	145	998	14.5	56
	高齢者、障がい者の就労・生きがいをづくりに対する支援	819	179	998	17.9	44
	高齢者福祉施設の整備などの充実	821	177	998	17.7	45
	高齢者に対する支援の充実	822	176	998	17.6	46
	障がい者に対する支援の充実	757	241	998	24.1	26
	包括的な支援体制の充実	802	196	998	19.6	40
	子育てサービスの充実	688	310	998	31.1	10
	保育と幼児教育の充実	644	354	998	35.5	6
	親と子の健康づくりの取組	633	365	998	36.6	5
	休日・夜間医療体制の充実	857	153	1,010	15.1	52
	市立病院の救急医療体制の充実	802	208	1,010	20.6	37
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	803	207	1,010	20.5	38
	健康づくりの取組	890	120	1,010	11.9	67
	介護予防と認知症に対する取組	817	193	1,010	19.1	43
	互いの違いを尊重できるまちづくり	803	207	1,010	20.5	38
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	801	209	1,010	20.7	35
	平和についての啓発の推進	783	227	1,010	22.5	27
	輝き政策 平均値	788	216	1,004	21.5	③
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	592	406	998	40.7	3
	教育支援体制の充実	579	419	998	42.0	2
	安全な教育環境の整備	596	402	998	40.3	4
	子どもたちが安心して共に学べる取組	568	430	998	43.1	1
	社会教育の取組	658	340	998	34.1	7
	家庭・地域・学校の協働の推進	661	337	998	33.8	8
	生涯学習活動の支援や環境の整備	689	309	998	31.0	11
	青少年の健全育成の取組	662	336	998	33.7	9
	文化芸術に親しむ機会の提供	854	156	1,010	15.4	50
	郷土文化の継承と発展の取組	815	195	1,010	19.3	42
	あつぎ郷土博物館の取組	784	226	1,010	22.4	28
	運動・スポーツ活動の機会提供	868	142	1,010	14.1	57
	競技力を向上するための取組	796	214	1,010	21.2	34
	スポーツ施設の充実	858	152	1,010	15.0	53
	成長政策 平均値	713	290	1,003	28.9	①

図表5 実感度（基本政策別・無回答者の割合）2/2

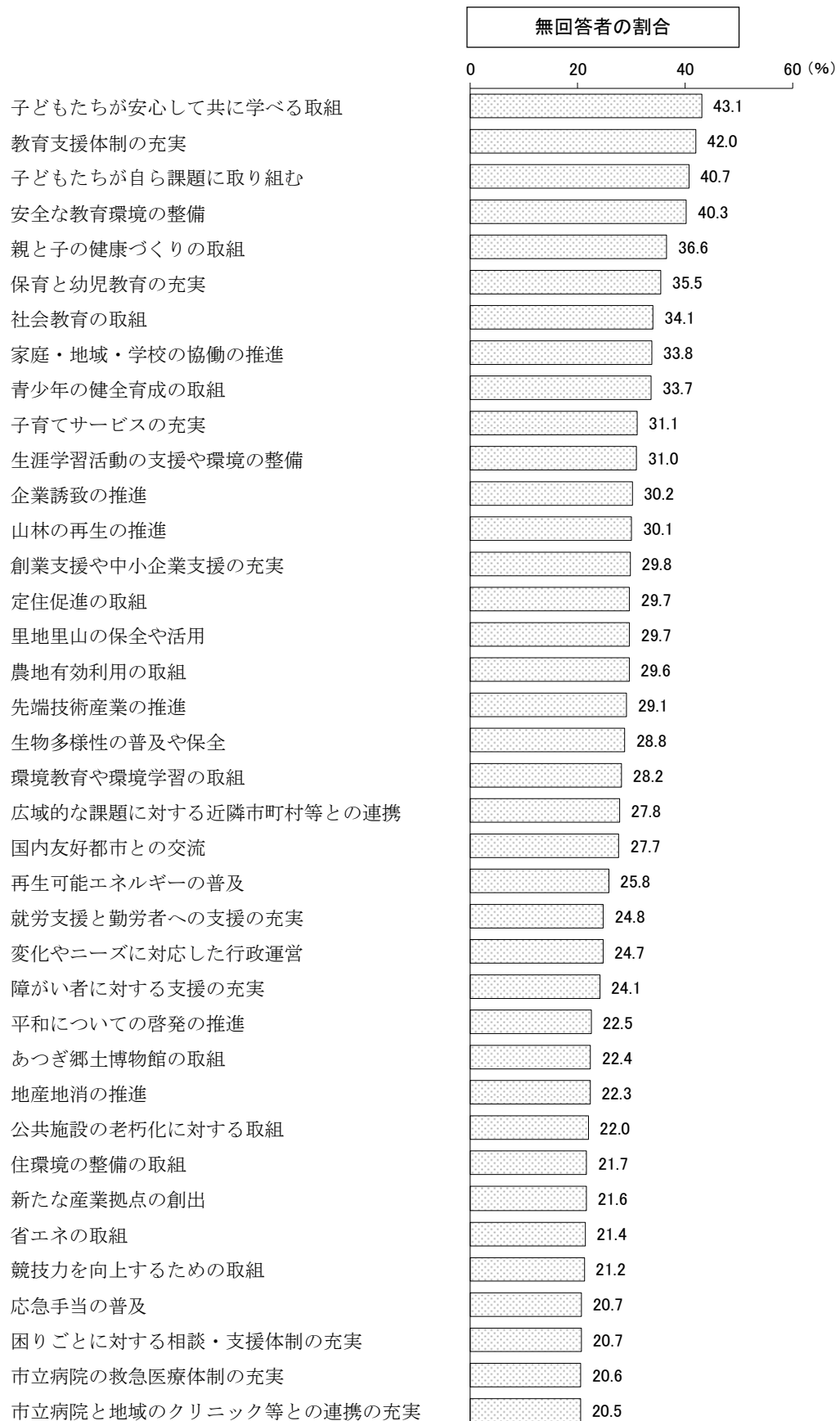
基本政策	項 目	回 答 者 数	無 回 答 者 数	合 計	割 無 合 回 答 者 の	無 回 答 順 位
		n			※1	※2
		(人) (A)	(人) (B)	(人) (A+B)	(%)	
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	956	42	998	4.2	77
	安心・安全に通行できる道路環境	933	65	998	6.5	73
	日常生活における移動がスムーズ	945	53	998	5.3	75
	住環境の整備の取組	781	217	998	21.7	31
	中心市街地の整備	906	92	998	9.2	69
	中心市街地のにぎわい	911	87	998	8.7	70
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	812	198	1,010	19.6	40
	景観が守られている	873	137	1,010	13.6	60
	新たな産業拠点の創出	792	218	1,010	21.6	32
	市内に利用したい店舗がある	919	79	998	7.9	72
	創業支援や中小企業支援の充実	701	297	998	29.8	14
	企業誘致の推進	697	301	998	30.2	12
	先端技術産業の推進	708	290	998	29.1	18
	就労支援と勤労者への支援の充実	760	250	1,010	24.8	24
	広域の観光に対する取組	877	133	1,010	13.2	61
	観光資源の活性化	870	140	1,010	13.9	58
	観光情報の発信の充実	879	131	1,010	13.0	63
	本市の魅力発信	861	137	998	13.7	59
	定住促進の取組	702	296	998	29.7	15
	農地有効利用の取組	711	299	1,010	29.6	17
	地産地消の推進	785	225	1,010	22.3	29
	発展政策 平均値	828	176	1,003	17.5	⑤
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	725	285	1,010	28.2	20
	再生可能エネルギーの普及	749	261	1,010	25.8	23
	省エネの取組	794	216	1,010	21.4	33
	ごみの減量化、資源化の推進	911	87	998	8.7	70
	生物多様性の普及や保全	719	291	1,010	28.8	19
	里地里山の保全や活用	710	300	1,010	29.7	15
	山林の再生の推進	706	304	1,010	30.1	13
	緑豊かな生活環境	946	52	998	5.2	76
	清潔で快適な生活環境	936	62	998	6.2	74
	親しみやすい水辺空間	877	121	998	12.1	65
	潤い政策 平均値	807	198	1,005	19.7	④
共創政策	協働によるまちづくり	840	158	998	15.8	48
	必要な行政情報の発信	851	147	998	14.7	54
	変化やニーズに対応した行政運営	751	247	998	24.7	25
	公共施設の老朽化に対する取組	778	220	998	22.0	30
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	729	281	1,010	27.8	21
	国内友好都市との交流	730	280	1,010	27.7	22
共創政策 平均値		780	222	1,002	22.2	②
平均値		795	209	1,004	20.8	－

(※1) 「無回答者の割合」は、「合計」に対する「無回答者数」の割合を示す。

(※2) 「無回答順位」は、「無回答者の割合」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。

なお、網かけは、「無回答順位」の上位5位までの項目を示す。

図表 6 実感度（無回答者の割合が高い順） 1/2



図表6 実感度（無回答者の割合が高い順）2/2



(2) 市の施策に対する重要度 (A・B:問1)

ア 基本政策別の傾向 (図表7、図表8)

(ア) 重要視している人の割合 (「重要である」と「やや重要である」の合計) が高い政策

- ① 安心政策 (平均値 92.9%)
- ② 輝き政策 (平均値 85.7%)
- ③ 潤い政策 (平均値 79.5%)

(イ) 重要視していない人の割合 (「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計) が高い政策

- ① 成長政策 (平均値 3.9%)
- ② 共創政策 (平均値 3.5%)
- ③ 発展政策 (平均値 3.1%)

イ 77項目別の傾向

(ア) 重要視している人の割合が高い項目 (図表9)

- ① 消防・救急・救助体制の充実 (95.8%)
- ② 災害に備えたハード整備 (94.9%)
- ② 防犯の取組 (94.9%)
- ④ 休日・夜間医療体制の充実 (94.8%)
- ⑤ 日常生活に必要な施設が身近にある (94.7%)

(イ) 重要視している人の割合が低い項目 (図表9)

- ① あつぎ郷土博物館の取組 (50.7%)
- ② 郷土文化の継承と発展の取組 (59.8%)
- ③ 文化芸術に親しむ機会の提供 (60.8%)
- ④ 国内友好都市との交流 (61.2%)
- ⑤ 先端技術産業の推進 (64.6%)

(ウ) 重要視していない人の割合が高い項目 (図表10)

- ① あつぎ郷土博物館の取組 (10.5%)
- ② 互いの違いを尊重できるまちづくり (8.2%)
- ③ 国内友好都市との交流 (8.1%)
- ④ 先端技術産業の推進 (6.4%)
- ⑤ 文化芸術に親しむ機会の提供 (5.9%)
- ⑤ 郷土文化の継承と発展の取組 (5.9%)

(エ) 重要視していない人の割合が低い項目 (図表10)

- ① 消防・救急・救助体制の充実 (0.4%)
- ① 休日・夜間医療体制の充実 (0.4%)
- ③ 応急手当の普及 (0.6%)
- ③ 交通安全の取組 (0.6%)
- ③ 日常生活に必要な施設が身近にある (0.6%)
- ③ 日常生活における移動がスムーズ (0.6%)

ウ 無回答者の割合

(ア) 無回答者の割合が高い政策 (図表 11)

- ① 成長政策 (平均値 26.5%)
- ② 共創政策 (平均値 23.3%)
- ③ 潤い政策 (平均値 20.6%)

(イ) 無回答者の割合が低い政策 (図表 11)

- ① 安心政策 (平均値 15.3%)
- ② 輝き政策 (平均値 19.3%)
- ③ 発展政策 (平均値 20.3%)

(ウ) 無回答者の割合が高い項目 (図表 12)

- ① 子どもたちが安心して共に学べる取組 (34.3%)
- ② 子どもたちが自ら課題に取り組む (33.4%)
- ③ 教育支援体制の充実 (33.3%)
- ④ 安全な教育環境の整備 (32.0%)
- ⑤ 保育と幼児教育の充実 (29.5%)
- ⑤ 親と子の健康づくりの取組 (29.5%)

(エ) 無回答者の割合が低い項目 (図表 12)

- ① 日常生活に必要な施設が身近にある (11.1%)
- ② 日常生活における移動がスムーズ (12.0%)
- ③ 安心・安全に通行できる道路環境 (12.7%)
- ④ 緑豊かな生活環境 (13.2%)
- ⑤ 消防・救急・救助体制の充実 (13.3%)

図表 7 重要度（基本政策別・項目別一覧表） 1/2

(単位：%)

基本政策	項 目	n	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない	重要視している	重要視していない	重要度順位 ※3
			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	※1 (A+B)	※2 (D+E)	
安心政策	災害に備えたハード整備	(853)	73.2	21.7	4.2	0.8	0.1	94.9	0.9	2
	災害対応力の強化の取組	(867)	69.7	24.3	5.2	0.8	0.0	94.0	0.8	7
	地域防災力向上の取組	(860)	63.1	27.9	7.7	1.0	0.2	91.0	1.2	12
	消防・救急・救助体制の充実	(865)	82.7	13.1	3.8	0.2	0.2	95.8	0.4	1
	応急手当の普及	(823)	62.3	28.8	8.3	0.4	0.2	91.1	0.6	11
	火災予防の取組	(843)	63.2	26.9	8.7	0.8	0.4	90.1	1.2	14
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(850)	58.0	32.8	8.1	0.9	0.1	90.8	1.0	13
	交通安全の取組	(856)	59.7	33.3	6.4	0.6	0.0	93.0	0.6	9
	防犯の取組	(853)	68.1	26.8	4.2	0.7	0.1	94.9	0.8	2
	安心政策 平均値		66.7	26.2	6.3	0.7	0.1	92.9	0.8	①
輝き政策	地域福祉活動の推進	(857)	51.9	37.9	9.0	0.9	0.2	89.8	1.1	15
	高齢者、障がい者の就労・生きがいつくりに対する支援	(854)	51.6	36.5	10.9	0.5	0.5	88.1	1.0	20
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(839)	53.4	35.3	9.8	1.1	0.5	88.7	1.6	18
	高齢者に対する支援の充実	(843)	52.3	35.0	10.9	1.4	0.4	87.3	1.8	24
	障がい者に対する支援の充実	(808)	51.5	34.7	12.7	0.6	0.5	86.2	1.1	26
	包括的な支援体制の充実	(832)	55.8	32.1	11.4	0.2	0.5	87.9	0.7	22
	子育てサービスの充実	(718)	61.6	25.9	11.0	1.0	0.6	87.5	1.6	23
	保育と幼児教育の充実	(704)	57.7	28.4	12.6	0.7	0.6	86.1	1.3	27
	親と子の健康づくりの取組	(704)	52.1	32.0	14.8	0.6	0.6	84.1	1.2	30
	休日・夜間医療体制の充実	(860)	68.3	26.5	4.8	0.3	0.1	94.8	0.4	4
	市立病院の救急医療体制の充実	(835)	65.9	26.8	6.5	0.7	0.1	92.7	0.8	10
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(816)	58.7	30.3	10.0	1.0	0.0	89.0	1.0	17
	健康づくりの取組	(866)	50.9	37.2	10.0	1.5	0.3	88.1	1.8	20
	介護予防と認知症に対する取組	(833)	53.9	35.5	9.6	0.7	0.2	89.4	0.9	16
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(805)	32.7	34.7	24.5	5.6	2.6	67.4	8.2	70
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(804)	43.0	38.1	16.2	2.0	0.7	81.1	2.7	35
	平和についての啓発の推進	(784)	36.2	33.2	25.5	4.2	0.9	69.4	5.1	67
	輝き政策 平均値		52.8	32.9	12.4	1.4	0.5	85.7	1.9	②
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	(665)	49.8	31.0	18.0	1.1	0.2	80.8	1.3	38
	教育支援体制の充実	(666)	48.8	32.1	17.6	1.1	0.5	80.9	1.6	37
	安全な教育環境の整備	(679)	54.8	27.8	16.6	0.3	0.4	82.6	0.7	31
	子どもたちが安心して共に学べる取組	(656)	48.3	30.0	19.2	1.5	0.9	78.3	2.4	44
	社会教育の取組	(710)	30.0	40.7	26.6	2.4	0.3	70.7	2.7	63
	家庭・地域・学校の協働の推進	(718)	33.8	38.3	24.9	2.5	0.4	72.1	2.9	60
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(733)	33.4	39.8	25.1	1.4	0.3	73.2	1.7	56
	青少年の健全育成の取組	(712)	31.7	36.2	27.4	3.2	1.4	67.9	4.6	69
	文化芸術に親しむ機会の提供	(812)	20.0	40.8	33.4	4.9	1.0	60.8	5.9	75
	郷土文化の継承と発展の取組	(786)	19.3	40.5	34.2	4.8	1.1	59.8	5.9	76
	あつぎ郷土博物館の取組	(765)	15.9	34.8	38.8	8.0	2.5	50.7	10.5	77
	運動・スポーツ活動の機会提供	(819)	30.8	45.1	20.4	2.8	1.0	75.9	3.8	52
	競技力を向上するための取組	(787)	23.8	42.4	28.3	4.1	1.4	66.2	5.5	72
	スポーツ施設の充実	(813)	30.0	43.3	22.3	3.2	1.2	73.3	4.4	55
	成長政策 平均値		33.6	37.3	25.2	3.0	0.9	70.9	3.9	⑥

図表 7 重要度（基本政策別・項目別一覧表） 2/2

(単位：％)										
基本政策	項 目	n	重要である	やや重要である	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない	重要視している	重要視していない	重要度順位 ※3
			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	※1 (A+B)	※2 (D+E)	
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(887)	69.1	25.6	4.6	0.3	0.3	94.7	0.6	5
	安心・安全に通行できる道路環境	(871)	65.4	27.9	6.0	0.5	0.2	93.3	0.7	8
	日常生活における移動がスムーズ	(878)	64.5	29.8	5.1	0.5	0.1	94.3	0.6	6
	住環境の整備の取組	(807)	44.4	37.5	16.5	1.4	0.2	81.9	1.6	32
	中心市街地の整備	(831)	44.0	37.4	15.9	1.7	1.0	81.4	2.7	33
	中心市街地のにぎわい	(834)	36.0	42.1	18.0	2.6	1.3	78.1	3.9	45
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(782)	38.6	38.7	17.6	4.1	0.9	77.3	5.0	49
	景観が守られている	(825)	41.0	38.9	17.6	2.2	0.4	79.9	2.6	39
	新たな産業拠点の創出	(775)	35.5	36.0	23.7	3.6	1.2	71.5	4.8	61
	市内に利用したい店舗がある	(847)	44.5	40.1	12.8	1.9	0.7	84.6	2.6	29
	創業支援や中小企業支援の充実	(720)	33.1	39.4	24.7	1.7	1.1	72.5	2.8	57
	企業誘致の推進	(714)	33.9	38.5	24.8	2.0	0.8	72.4	2.8	59
	先端技術産業の推進	(722)	26.5	38.1	29.1	5.3	1.1	64.6	6.4	73
	就労支援と勤労者への支援の充実	(772)	45.5	35.8	17.7	0.9	0.1	81.3	1.0	34
	広域の観光に対する取組	(833)	28.3	42.1	24.7	3.6	1.2	70.4	4.8	65
	観光資源の活性化	(831)	26.6	44.9	24.8	2.9	0.8	71.5	3.7	61
	観光情報の発信の充実	(823)	25.4	44.0	25.8	3.9	1.0	69.4	4.9	67
	本市の魅力発信	(815)	34.5	40.7	20.9	3.3	0.6	75.2	3.9	53
	定住促進の取組	(723)	30.6	36.7	27.7	4.3	0.8	67.3	5.1	71
	農地有効利用の取組	(724)	33.6	36.5	26.5	2.6	0.8	70.1	3.4	66
	地産地消の推進	(765)	41.0	38.3	18.3	1.6	0.8	79.3	2.4	42
発展政策 平均値			40.1	37.6	19.2	2.4	0.7	77.7	3.1	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(767)	39.0	38.6	18.6	2.3	1.4	77.6	3.7	48
	再生可能エネルギーの普及	(777)	40.3	37.8	16.9	2.8	2.2	78.1	5.0	45
	省エネの取組	(788)	37.4	39.1	18.5	2.8	2.2	76.5	5.0	51
	ごみの減量化、資源化の推進	(864)	58.0	30.6	8.9	1.7	0.8	88.6	2.5	19
	生物多様性の普及や保全	(742)	31.3	42.6	23.0	2.0	1.1	73.9	3.1	54
	里地里山の保全や活用	(748)	34.6	42.4	20.2	1.7	1.1	77.0	2.8	50
	山林の再生の推進	(743)	38.9	39.2	19.8	1.3	0.8	78.1	2.1	45
	緑豊かな生活環境	(866)	48.5	37.5	12.8	0.8	0.3	86.0	1.1	28
	清潔で快適な生活環境	(859)	48.5	38.8	11.5	0.3	0.8	87.3	1.1	24
	親しみやすい水辺空間	(830)	29.8	42.7	23.9	3.0	0.7	72.5	3.7	57
潤い政策 平均値			40.6	38.9	17.4	1.9	1.1	79.5	3.0	③
共創政策	協働によるまちづくり	(804)	29.5	41.2	24.5	3.7	1.1	70.7	4.8	63
	必要な行政情報の発信	(810)	40.2	38.8	18.8	1.6	0.6	79.0	2.2	43
	変化やニーズに対応した行政運営	(737)	43.0	36.8	19.3	0.7	0.3	79.8	1.0	40
	公共施設の老朽化に対する取組	(780)	42.4	38.6	16.9	1.0	1.0	81.0	2.0	36
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(751)	39.9	39.5	17.8	1.6	1.1	79.4	2.7	41
	国内友好都市との交流	(730)	21.9	39.3	30.7	5.6	2.5	61.2	8.1	74
	共創政策 平均値			36.2	39.0	21.3	2.4	1.1	75.2	3.5
平均値			44.6	35.5	17.2	2.0	0.7	80.1	2.7	－

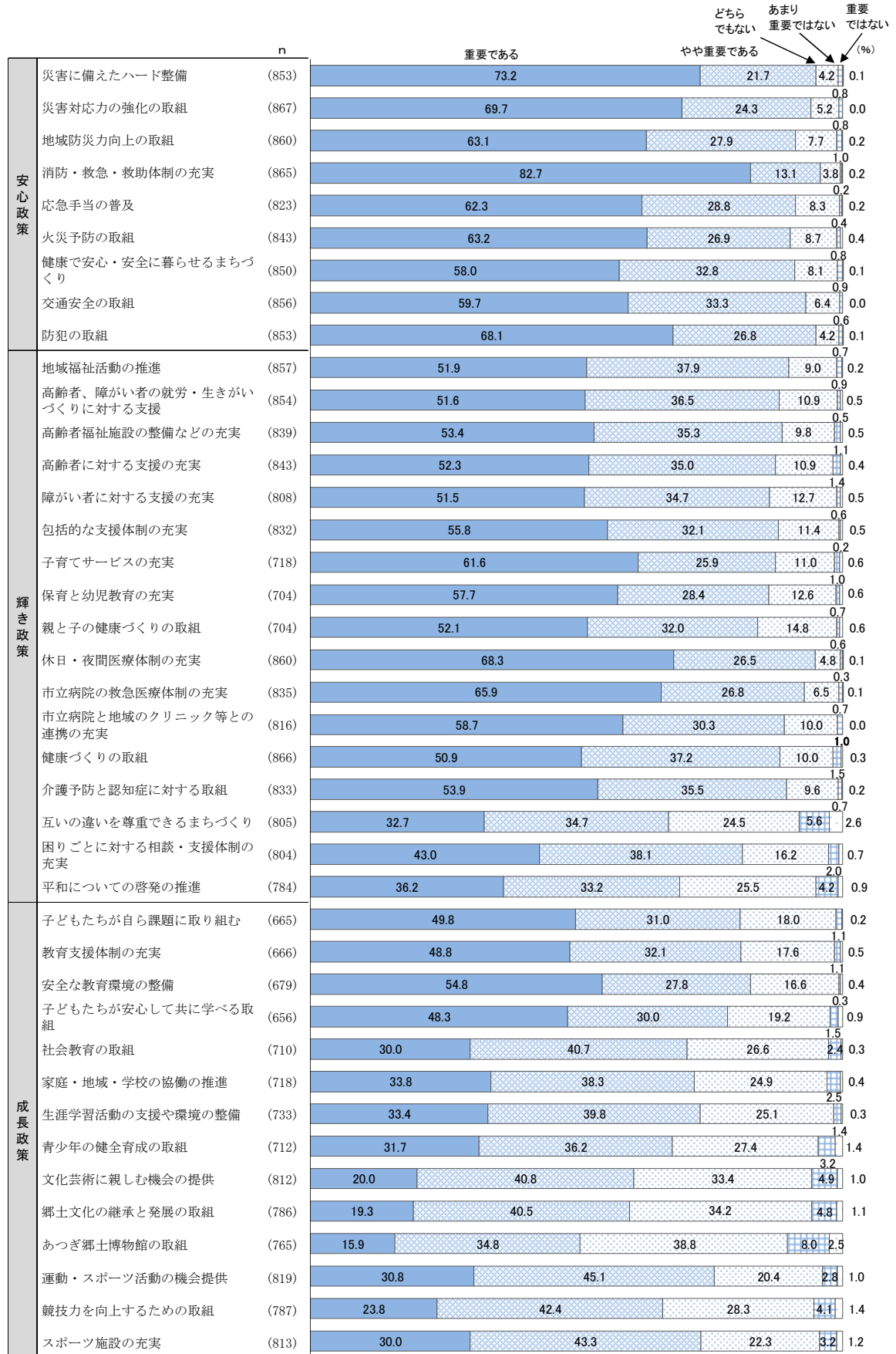
(※1) 「重要視している人の割合」は、「重要である」と「やや重要である」の合計を示す。

(※2) 「重要視していない人の割合」は、「あまり重要ではない」と「重要ではない」の合計を示す。

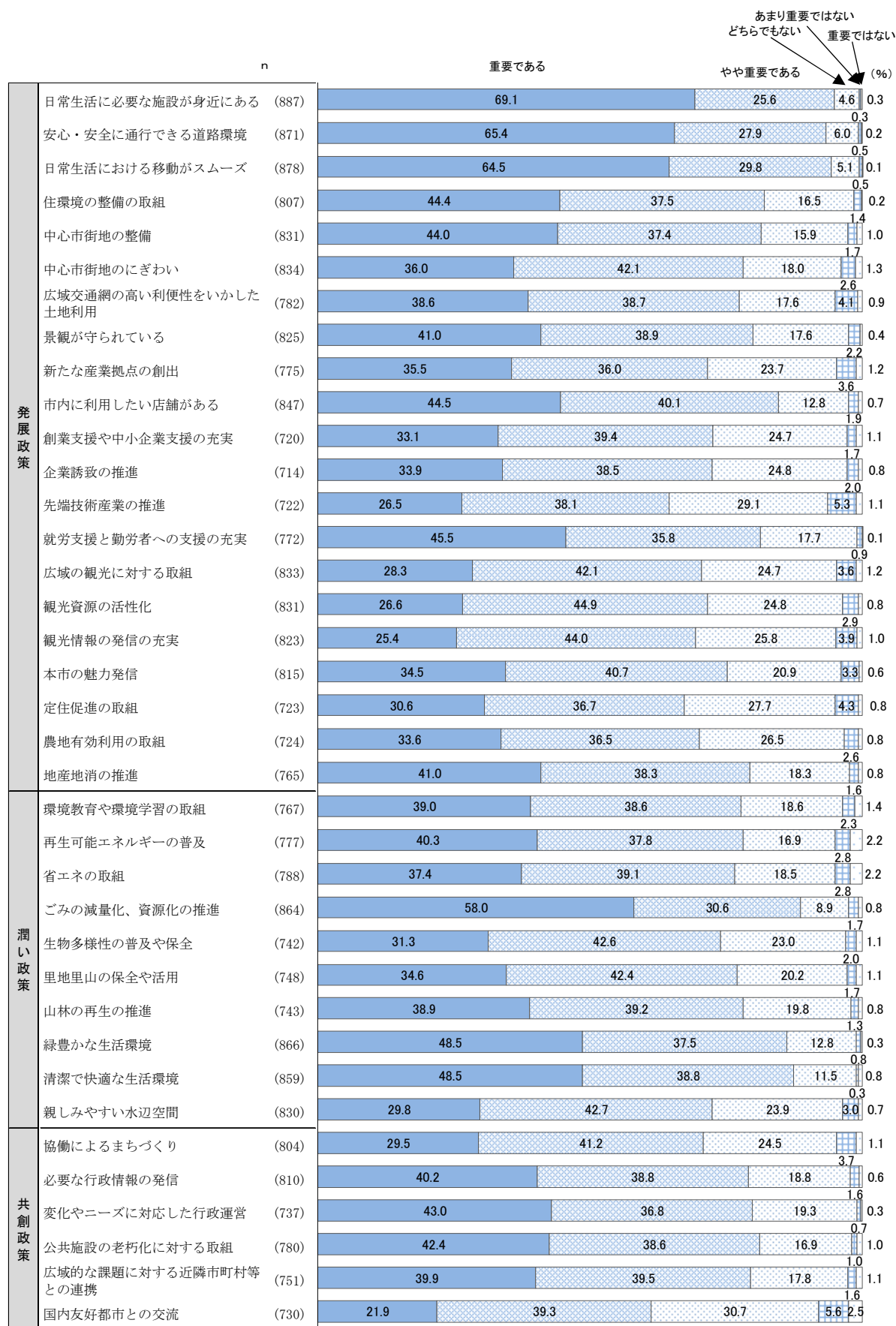
(※3) 「重要度順位」は、「重要視している人の割合」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。

なお、網かけは、「重要度順位」の上位5位までの項目を示す。

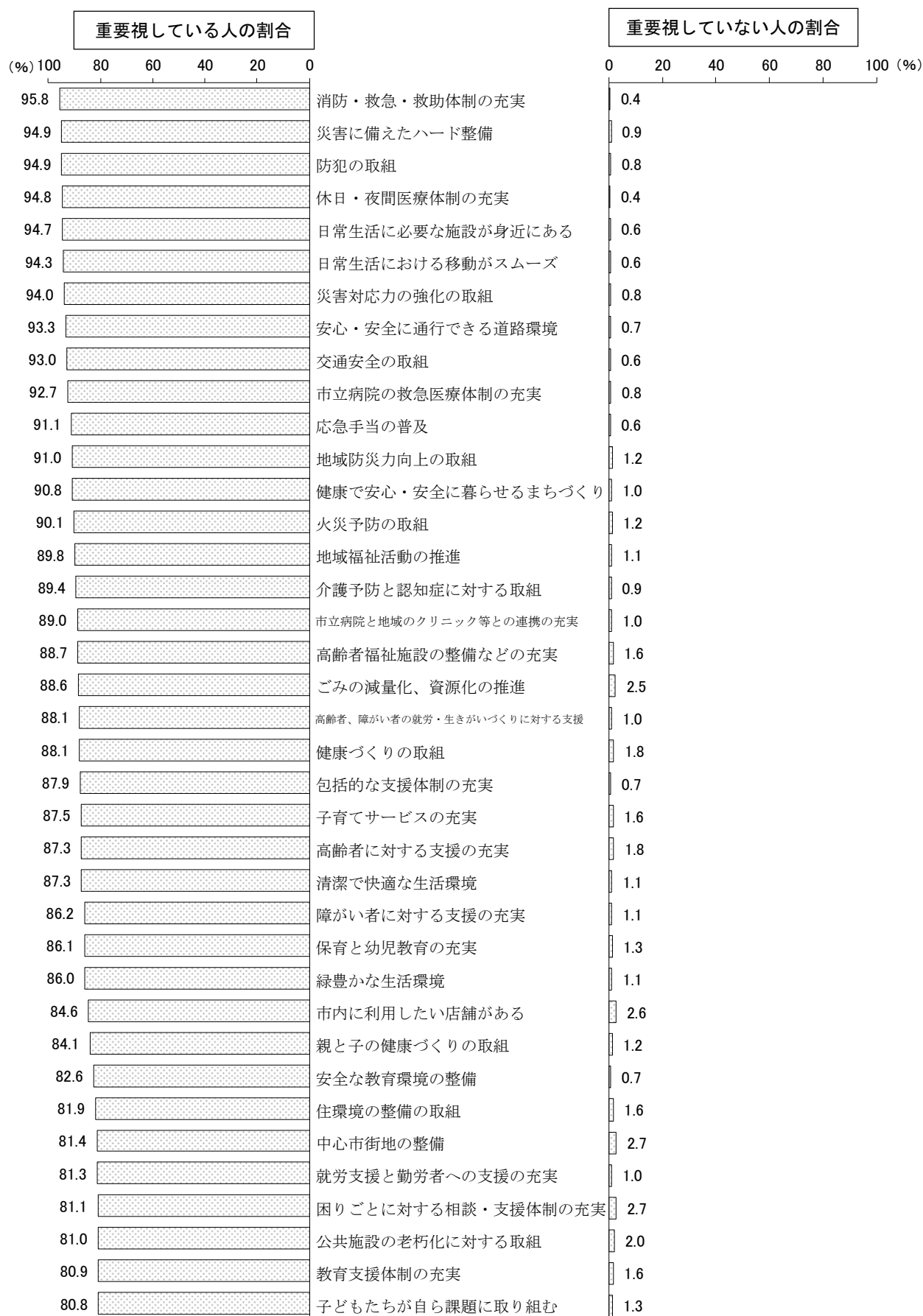
図表8 重要度（グラフ）1/2



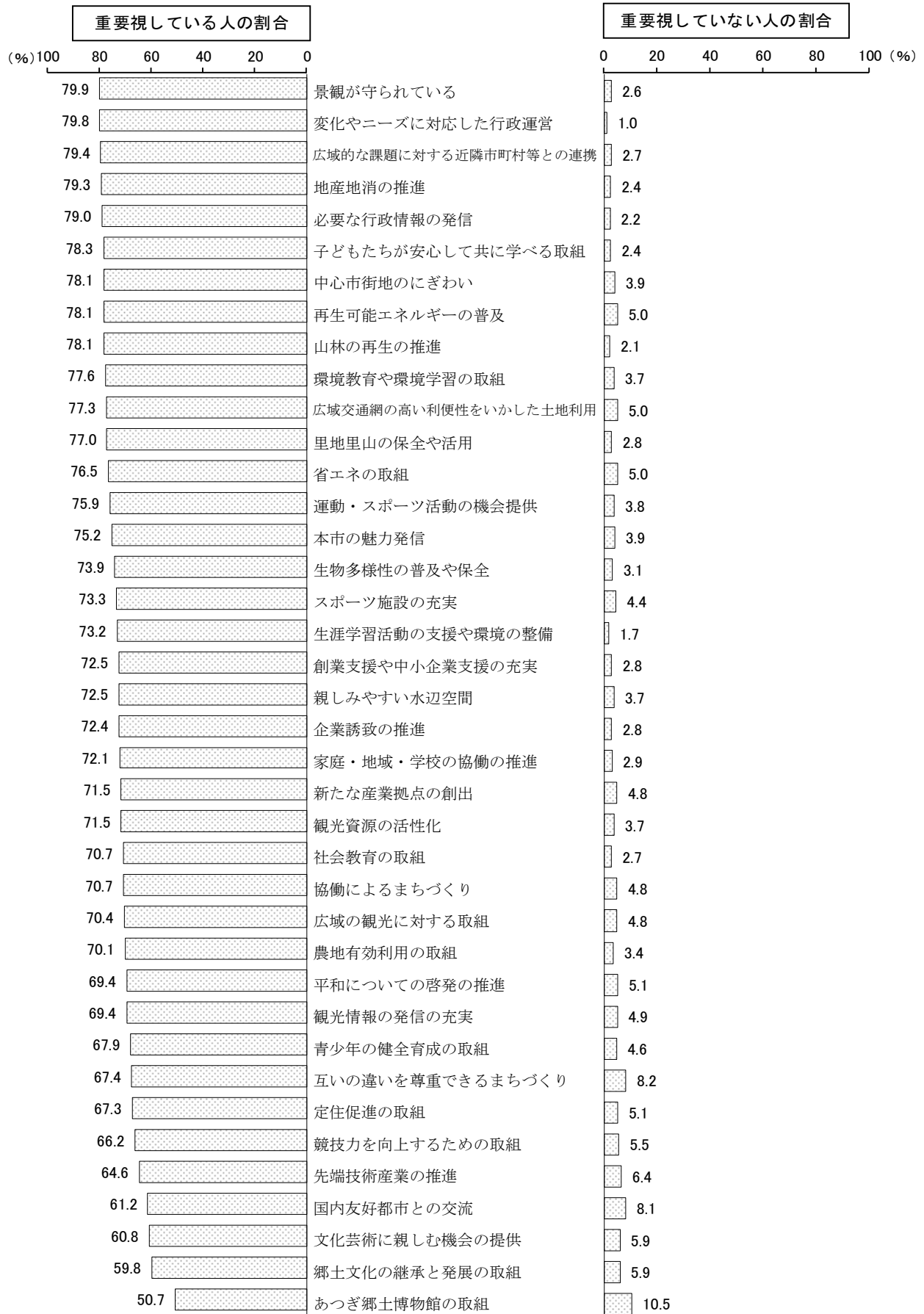
図表8 重要度（グラフ）2/2



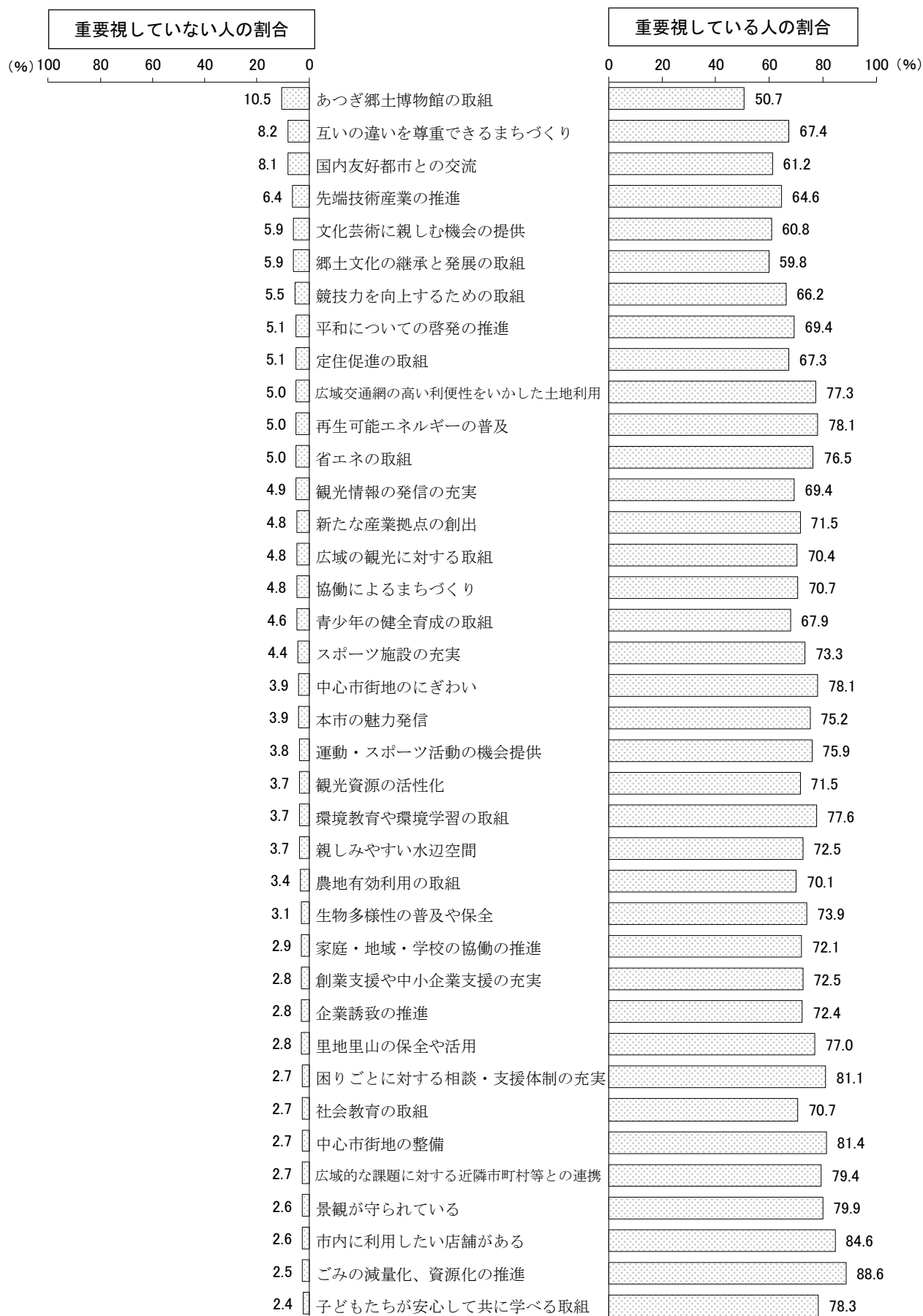
図表 9 重要度（重要視している人の割合が高い順） 1/2



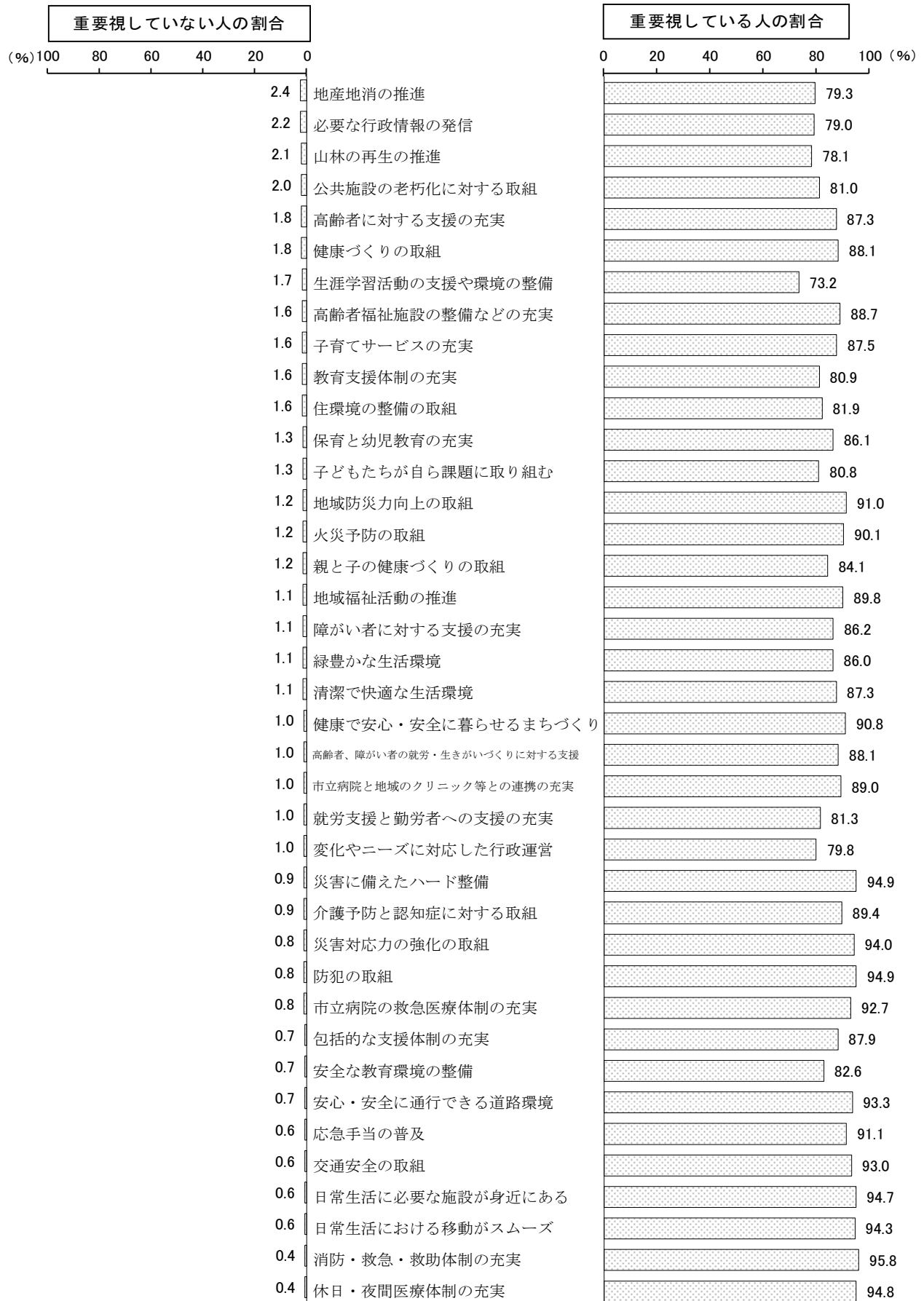
図表9 重要度（重要視している人の割合が高い順）2/2



図表 10 重要度（重要視していない人の割合が高い順） 1/2



図表 10 重要度（重要視していない人の割合が高い順） 2/2



図表 11 重要度（基本政策別・無回答者の割合） 1/2

基本政策	項 目	回 答 者 数	無 回 答 者 数	合 計	割 無 回 答 者 の	無 回 答 順 位
		n (人) (A)	(人) (B)	(人) (A+B)	※1 (%)	※2
安心政策	災害に備えたハード整備	853	157	1,010	15.5	59
	災害対応力の強化の取組	867	143	1,010	14.2	69
	地域防災力向上の取組	860	150	1,010	14.9	65
	消防・救急・救助体制の充実	865	133	998	13.3	73
	応急手当の普及	823	175	998	17.5	49
	火災予防の取組	843	155	998	15.5	59
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	850	160	1,010	15.8	58
	交通安全の取組	856	154	1,010	15.2	63
	防犯の取組	853	157	1,010	15.5	59
	安心政策 平均値	852	154	1,006	15.3	⑥
輝き政策	地域福祉活動の推進	857	141	998	14.1	70
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	854	144	998	14.4	67
	高齢者福祉施設の整備などの充実	839	159	998	15.9	57
	高齢者に対する支援の充実	843	155	998	15.5	59
	障がい者に対する支援の充実	808	190	998	19.0	42
	包括的な支援体制の充実	832	166	998	16.6	55
	子育てサービスの充実	718	280	998	28.1	11
	保育と幼児教育の充実	704	294	998	29.5	5
	親と子の健康づくりの取組	704	294	998	29.5	5
	休日・夜間医療体制の充実	860	150	1,010	14.9	65
	市立病院の救急医療体制の充実	835	175	1,010	17.3	52
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	816	194	1,010	19.2	40
	健康づくりの取組	866	144	1,010	14.3	68
	介護予防と認知症に対する取組	833	177	1,010	17.5	49
	互いの違いを尊重できるまちづくり	805	205	1,010	20.3	36
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	804	206	1,010	20.4	35
	平和についての啓発の推進	784	226	1,010	22.4	30
	輝き政策 平均値	810	194	1,004	19.3	⑤
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	665	333	998	33.4	2
	教育支援体制の充実	666	332	998	33.3	3
	安全な教育環境の整備	679	319	998	32.0	4
	子どもたちが安心して共に学べる取組	656	342	998	34.3	1
	社会教育の取組	710	288	998	28.9	7
	家庭・地域・学校の協働の推進	718	280	998	28.1	11
	生涯学習活動の支援や環境の整備	733	265	998	26.6	17
	青少年の健全育成の取組	712	286	998	28.7	8
	文化芸術に親しむ機会の提供	812	198	1,010	19.6	37
	郷土文化の継承と発展の取組	786	224	1,010	22.2	31
	あつぎ郷土博物館の取組	765	245	1,010	24.3	23
	運動・スポーツ活動の機会提供	819	191	1,010	18.9	43
	競技力を向上するための取組	787	223	1,010	22.1	32
	スポーツ施設の充実	813	197	1,010	19.5	38
	成長政策 平均値	737	266	1,003	26.5	①

図表 11 重要度（基本政策別・無回答者の割合）2/2

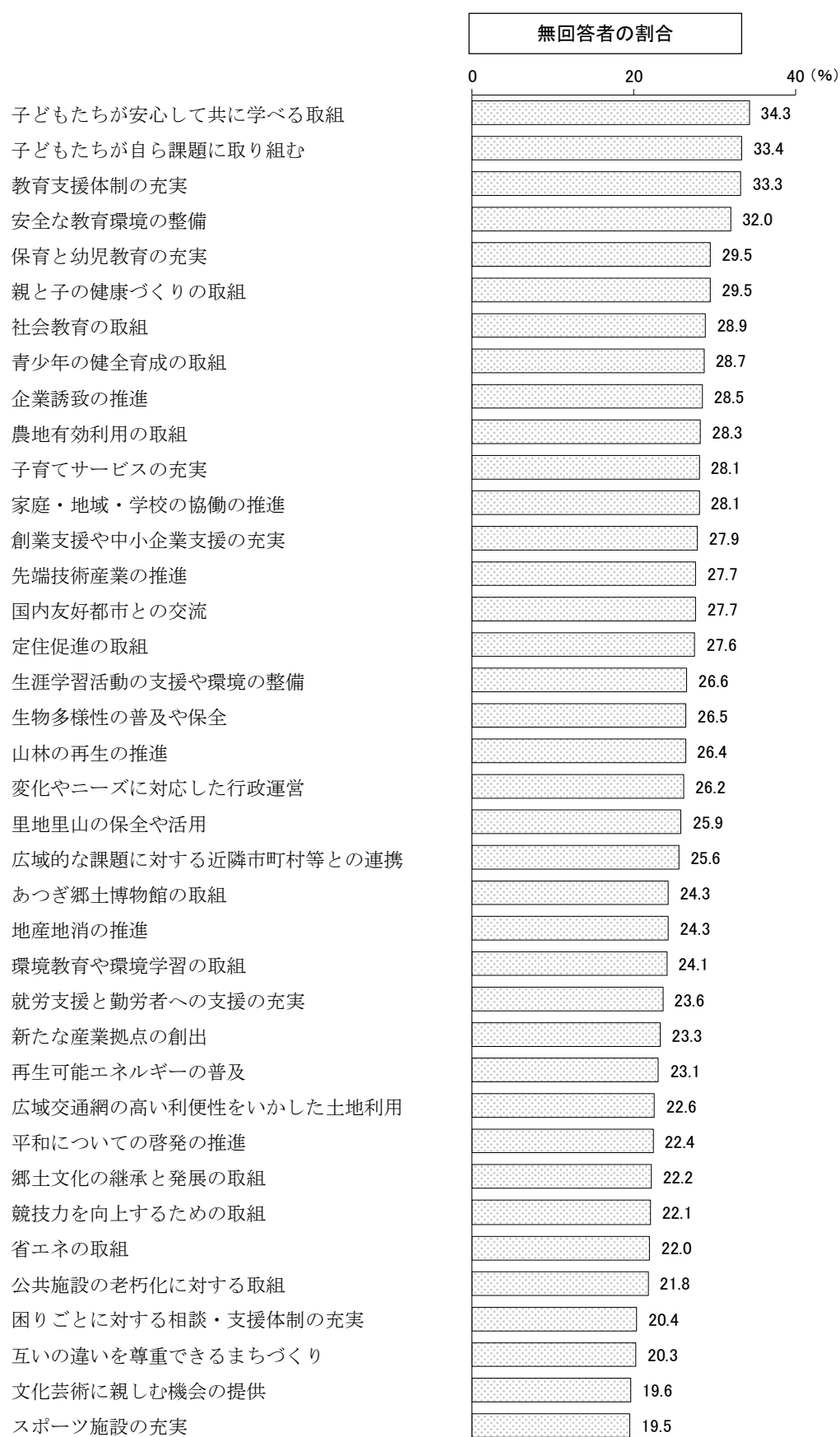
基本政策	項 目	回 答 者 数	無 回 答 者 数	合 計	割 無 回 答 者 の	無 回 答 順 位
		n (人) (A)	(人) (B)	(人) (A+B)	※1 (%)	※2
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	887	111	998	11.1	77
	安心・安全に通行できる道路環境	871	127	998	12.7	75
	日常生活における移動がスムーズ	878	120	998	12.0	76
	住環境の整備の取組	807	191	998	19.1	41
	中心市街地の整備	831	167	998	16.7	54
	中心市街地のにぎわい	834	164	998	16.4	56
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	782	228	1,010	22.6	29
	景観が守られている	825	185	1,010	18.3	46
	新たな産業拠点の創出	775	235	1,010	23.3	27
	市内に利用したい店舗がある	847	151	998	15.1	64
	創業支援や中小企業支援の充実	720	278	998	27.9	13
	企業誘致の推進	714	284	998	28.5	9
	先端技術産業の推進	722	276	998	27.7	14
	就労支援と勤労者への支援の充実	772	238	1,010	23.6	26
	広域の観光に対する取組	833	177	1,010	17.5	49
	観光資源の活性化	831	179	1,010	17.7	48
	観光情報の発信の充実	823	187	1,010	18.5	45
	本市の魅力発信	815	183	998	18.3	46
	定住促進の取組	723	275	998	27.6	16
	農地有効利用の取組	724	286	1,010	28.3	10
	地産地消の推進	765	245	1,010	24.3	23
	発展政策 平均値	799	204	1,003	20.3	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	767	243	1,010	24.1	25
	再生可能エネルギーの普及	777	233	1,010	23.1	28
	省エネの取組	788	222	1,010	22.0	33
	ごみの減量化、資源化の推進	864	134	998	13.4	72
	生物多様性の普及や保全	742	268	1,010	26.5	18
	里地里山の保全や活用	748	262	1,010	25.9	21
	山林の再生の推進	743	267	1,010	26.4	19
	緑豊かな生活環境	866	132	998	13.2	74
	清潔で快適な生活環境	859	139	998	13.9	71
	親しみやすい水辺空間	830	168	998	16.8	53
	潤い政策 平均値	798	207	1,005	20.6	③
共創政策	協働によるまちづくり	804	194	998	19.4	39
	必要な行政情報の発信	810	188	998	18.8	44
	変化やニーズに対応した行政運営	737	261	998	26.2	20
	公共施設の老朽化に対する取組	780	218	998	21.8	34
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	751	259	1,010	25.6	22
	国内友好都市との交流	730	280	1,010	27.7	14
	共創政策 平均値	769	233	1,002	23.3	②
	平均値	794	210	1,004	20.9	-

(※1) 「無回答者の割合」は、「合計」に対する「無回答者数」の割合を示す。

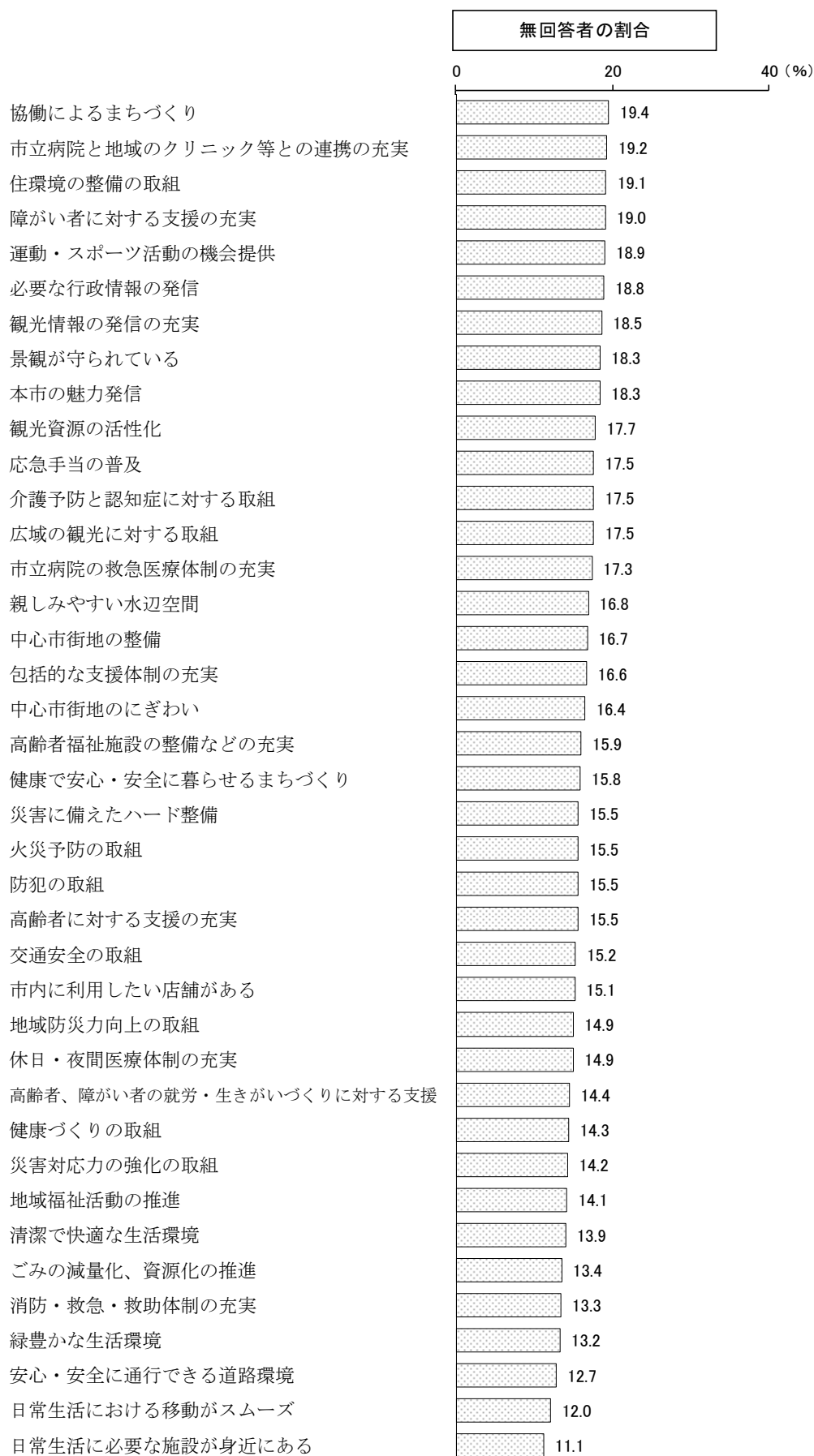
(※2) 「無回答順位」は、「無回答者の割合」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。

なお、網かけは、「無回答順位」の上位5位までの項目を示す。

図表 12 重要度（無回答者の割合が高い順） 1/2



図表 12 重要度（無回答者の割合が高い順） 2/2



(3) 実感度と重要度の関係

ア 各分類の意味づけ

実感度と重要度の関係を分析するため、77 項目の実感度と重要度をスコア化し、それらを基に各項目をⅠからⅣに分類する。(図表 13)

分類	実感度	重要度
Ⅰ	高い	高い
Ⅱ	低い	高い
Ⅲ	高い	低い
Ⅳ	低い	低い

(ア) 分類Ⅰ (重点維持項目)

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズに即した取組ができていると考えられる。現在の水準を維持しつつ、引き続き重点的に取り組む必要がある。

(イ) 分類Ⅱ (重点改善項目)

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度が高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズがあるにもかかわらず、その期待に応えられていない取組であると考えられる。取組の必要性が認識されているものの、取組の向上や改善に対する市民ニーズが高い項目とも言え、市民ニーズを的確に捉え、重点的に改善を図っていく必要がある。

(ウ) 分類Ⅲ (維持項目)

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度が低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、必要性の認識は低いものの、成果は実感している取組であると考えられる。着実に取組を進めるとともに、取組の重要性の認識を深めていただく必要がある。また、市民ニーズを上回る行政サービスを提供している可能性についても検証する必要がある。

(エ) 分類Ⅳ (改善項目)

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度も低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、取組の向上や改善に対する一定のニーズはあるものの、その必要性の認識は低い取組であると考えられる。取組の重要性を更に認知していただくとともに、取組の方向性の改善を検討する必要がある。

また、市民の関心度が低い取組であることから、取組によっては行政で対応すべきかを検証する必要がある。

イ スコア化の方法

スコア化に当たっては、平均する各項目の条件の差異を考慮に入れ、対応する重み(大小)をつけてから平均する加重平均により、次のとおり計算を行う。

■項目のスコア化

$$\text{実感度} = \frac{\begin{aligned} & \text{「そう思う」} \times 2 \text{点} + \text{「ややそう思う」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらでもない」} \times 0 \text{点} \\ & + \text{「あまりそう思わない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「そう思わない」} \times (-2 \text{点}) \end{aligned}}{\text{回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\begin{aligned} & \text{「重要」} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらでもない」} \times 0 \text{点} \\ & + \text{「あまり重要ではない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「重要ではない」} \times (-2 \text{点}) \end{aligned}}{\text{回答者数}}$$

(例)「消防・救急・救助体制の充実」の実感度に関して、この設問の回答者数は 845 人で、そのうち、「そう思う」が 235 人、「ややそう思う」が 355 人、「どちらでもない」が 216 人、「あまりそう思わない」が 36 人、「そう思わない」が 3 人であったことから、計算式は、

$$\frac{(235 \text{人} \times 2 \text{点}) + (355 \text{人} \times 1 \text{点}) + (216 \text{人} \times 0 \text{点}) + (36 \text{人} \times (-1 \text{点})) + (3 \text{人} \times (-2 \text{点}))}{845 \text{人}}$$

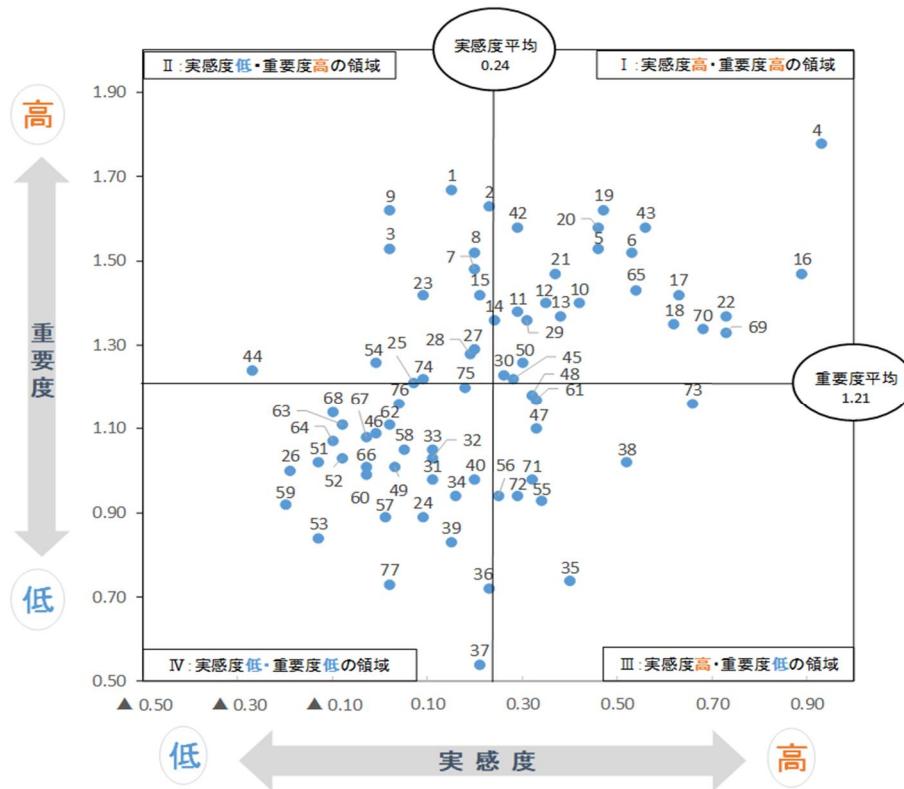
≒0.93 となり、「消防・救急・救助体制の充実」の実感度のスコアは、0.93 となる。

■各施策の分類

・上記の方法で算出したスコアを基に、実感度のスコアを横軸、重要度のスコアを縦軸として分布図を作成し、各項目を分類した。(図表 13)

・2本の補助軸は、実感度及び重要度の全項目の平均値を示したものである。

図表 13 各項目のスコア化による分類 1/2



分類	番号	項目	実感度	重要度
I 実感度:高い 重要度:高い (25項目)	4	消防・救急・救助体制の充実	0.93	1.78
	5	応急手当の普及	0.46	1.53
	6	火災予防の取組	0.53	1.52
	10	地域福祉活動の推進	0.42	1.40
	11	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	0.29	1.38
	12	高齢者福祉施設の整備などの充実	0.35	1.40
	13	高齢者に対する支援の充実	0.38	1.37
	14	障がい者に対する支援の充実	0.24	1.36
	16	子育てサービスの充実	0.89	1.47
	17	保育と幼児教育の充実	0.63	1.42
	18	親と子の健康づくりの取組	0.62	1.35
	19	休日・夜間医療体制の充実	0.47	1.62
	20	市立病院の救急医療体制の充実	0.46	1.58
	21	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	0.37	1.47
	22	健康づくりの取組	0.73	1.37
	29	安全な教育環境の整備	0.31	1.36
	30	子どもたちが安心して共に学べる取組	0.26	1.23
	41	日常生活に必要な施設が身近にある	1.05	1.63
	42	安心・安全に通行できる道路環境	0.29	1.58
	43	日常生活における移動がスムーズ	0.56	1.58
	45	中心市街地の整備	0.28	1.22
	50	市内に利用したい店舗がある	0.30	1.26
	65	ごみの減量化、資源化の推進	0.54	1.43
	69	緑豊かな生活環境	0.73	1.33
	70	清潔で快適な生活環境	0.68	1.34

図表 13 各項目のスコア化による分類 2/2

分類	番号	項目	実感度	重要度
Ⅱ 実感度:低い 重要度:高い (14項目)	1	災害に備えたハード整備	0.15	1.67
	2	災害対応力の強化の取組	0.23	1.63
	3	地域防災力向上の取組	0.02	1.53
	7	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	0.20	1.48
	8	交通安全の取組	0.20	1.52
	9	防犯の取組	0.02	1.62
	15	包括的な支援体制の充実	0.21	1.42
	23	介護予防と認知症に対する取組	0.09	1.42
	25	困りごとに対する相談・支援体制の充実	0.07	1.21
	27	子どもたちが自ら課題に取り組む	0.20	1.29
	28	教育支援体制の充実	0.19	1.28
	44	住環境の整備の取組	▲ 0.27	1.24
	54	就労支援と勤労者への支援の充実	▲ 0.01	1.26
	74	変化やニーズに対応した行政運営	0.09	1.22
Ⅲ 実感度:高い 重要度:低い (10項目)	35	文化芸術に親しむ機会の提供	0.40	0.74
	38	運動・スポーツ活動の機会提供	0.52	1.02
	47	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	0.33	1.10
	48	景観が守られている	0.32	1.18
	55	広域の観光に対する取組	0.34	0.93
	56	観光資源の活性化	0.25	0.94
	61	地産地消の推進	0.33	1.17
	71	親しみやすい水辺空間	0.32	0.98
	72	協働によるまちづくり	0.29	0.94
	73	必要な行政情報の発信	0.66	1.16
Ⅳ 実感度:低い 重要度:低い (28項目)	24	互いの違いを尊重できるまちづくり	0.09	0.89
	26	平和についての啓発の推進	▲ 0.19	1.00
	31	社会教育の取組	0.11	0.98
	32	家庭・地域・学校の協働の推進	0.11	1.03
	33	生涯学習活動の支援や環境の整備	0.11	1.05
	34	青少年の健全育成の取組	0.16	0.94
	36	郷土文化の継承と発展の取組	0.23	0.72
	37	あつぎ郷土博物館の取組	0.21	0.54
	39	競技力を向上するための取組	0.15	0.83
	40	スポーツ施設の充実	0.20	0.98
	46	中心市街地のにぎわい	▲ 0.01	1.09
	49	新たな産業拠点の創出	0.03	1.01
	51	創業支援や中小企業支援の充実	▲ 0.13	1.02
	52	企業誘致の推進	▲ 0.08	1.03
	53	先端技術産業の推進	▲ 0.13	0.84
	57	観光情報の発信の充実	0.01	0.89
	58	本市の魅力発信	0.05	1.05
	59	定住促進の取組	▲ 0.20	0.92
	60	農地有効利用の取組	▲ 0.03	0.99
	62	環境教育や環境学習の取組	0.02	1.11
	63	再生可能エネルギーの普及	▲ 0.08	1.11
	64	省エネの取組	▲ 0.10	1.07
	66	生物多様性の普及や保全	▲ 0.03	1.01
	67	里地里山の保全や活用	▲ 0.03	1.08
	68	山林の再生の推進	▲ 0.10	1.14
	75	公共施設の老朽化に対する取組	0.18	1.20
	76	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	0.04	1.16
	77	国内友好都市との交流	0.02	0.73
平均値			0.24	1.21

(注) 網かけは、実感度又は重要度の平均値を下回っている項目を示す。

(4) 項目別ニーズ得点

今後重点的な取組が必要と思われる項目を抽出するため、77 項目についてニーズ得点を求める。(図表 14)

重要度が高く、実感度が低くなるほど高得点となることから得点の高い項目ほど、その施策に対する市民ニーズが相対的に高いと考えることができる。

項目別のニーズ得点は、次のとおりである。

- ・ ニーズ得点 = 各項目の【重要度 (加重平均)】 × (3 - 【実感度 (加重平均)】)
- ・ なお、(3 - 【実感度 (加重平均)】) は実感していない度合を意味し、ニーズ得点の範囲は -10～10 点となる。
- ・ 例：「災害に備えたハード整備」のニーズ得点 = $1.67 \times (3 - 0.15) \div 4.76$

図表 14 ニーズ得点 1/2

基本政策	項 目	令和6年度		令和5年度		前年度比較 (A-B)
		ニーズ得点 (A)	順位	ニーズ得点 (B)	順位	
安心政策	災害に備えたハード整備	4.76	2	4.65	1	0.11
	災害対応力の強化の取組	4.52	4	4.43	5	0.09
	地域防災力向上の取組	4.56	3	4.58	2	▲ 0.02
	消防・救急・救助体制の充実	3.68	21	3.72	25	▲ 0.04
	応急手当の普及	3.89	13	3.93	16	▲ 0.04
	火災予防の取組	3.75	17	3.79	21	▲ 0.04
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	4.14	7	4.00	13	0.14
	交通安全の取組	4.26	6	4.09	9	0.17
	防犯の取組	4.83	1	4.53	3	0.30
輝き政策	地域福祉活動の推進	3.61	23	3.68	28	▲ 0.07
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	3.74	19	3.67	31	0.07
	高齢者福祉施設の整備などの充実	3.71	20	3.77	23	▲ 0.06
	高齢者に対する支援の充実	3.59	26	3.68	28	▲ 0.09
	障がい者に対する支援の充実	3.75	17	3.82	19	▲ 0.07
	包括的な支援体制の充実	3.96	12	4.10	8	▲ 0.14
	子育てサービスの充実	3.10	51	3.39	45	▲ 0.29
	保育と幼児教育の充実	3.37	35	3.62	32	▲ 0.25
	親と子の健康づくりの取組	3.21	42	3.43	40	▲ 0.22
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	4.10	9	4.00	13	0.10
	休日・夜間医療体制の充実	4.01	11	4.07	10	▲ 0.06
	市立病院の救急医療体制の充実	3.87	14	3.91	17	▲ 0.04
	健康づくりの取組	3.11	49	3.12	55	▲ 0.01
	介護予防と認知症に対する取組	4.13	8	4.06	11	0.07
	互いの違いを尊重できるまちづくり	2.59	68	2.98	59	▲ 0.39
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	3.55	27	3.61	34	▲ 0.06
	平和についての啓発の推進	3.19	43	3.16	51	0.03

図表 14 ニーズ得点 2/2

基本政策	項 目	令和6年度		令和5年度		前年度比較 (A-B)
		ニーズ得点 (A)	順位	ニーズ得点 (B)	順位	
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	3.61	23	4.03	12	▲ 0.42
	教育支援体制の充実	3.60	25	4.15	7	▲ 0.55
	安全な教育環境の整備	3.66	22	3.81	20	▲ 0.15
	子どもたちが安心して共に学べる取組	3.37	35	3.78	22	▲ 0.41
	社会教育の取組	2.83	61	3.04	58	▲ 0.21
	家庭・地域・学校の協働の推進	2.98	58	3.17	50	▲ 0.19
	生涯学習活動の支援や環境の整備	3.03	54	3.13	54	▲ 0.10
	青少年の健全育成の取組	2.67	64	2.94	60	▲ 0.27
	文化芸術に親しむ機会の提供	1.92	76	2.05	75	▲ 0.13
	郷土文化の継承と発展の取組	1.99	75	1.96	76	0.03
	あつぎ郷土博物館の取組	1.51	77	1.75	77	▲ 0.24
	運動・スポーツ活動の機会提供	2.53	71	2.56	71	▲ 0.03
	競技力を向上するための取組	2.37	73	2.37	73	0.00
	スポーツ施設の充実	2.74	62	2.76	69	▲ 0.02
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	3.18	45	3.43	40	▲ 0.25
	安心・安全に通行できる道路環境	4.28	5	4.49	4	▲ 0.21
	日常生活における移動がスムーズ	3.86	15	3.95	15	▲ 0.09
	住環境の整備の取組	4.05	10	4.31	6	▲ 0.26
	中心市街地の整備	3.32	37	3.62	32	▲ 0.30
	中心市街地のにぎわい	3.28	40	3.75	24	▲ 0.47
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	2.94	59	2.86	63	0.08
	景観が守られている	3.16	47	3.14	53	0.02
	新たな産業拠点の創出	3.00	56	3.11	56	▲ 0.11
	市内に利用したい店舗がある	3.40	33	3.72	25	▲ 0.32
	創業支援や中小企業支援の充実	3.19	43	3.55	36	▲ 0.36
	企業誘致の推進	3.17	46	3.53	37	▲ 0.36
	先端技術産業の推進	2.63	66	2.84	65	▲ 0.21
	就労支援と勤労者への支援の充実	3.79	16	3.68	28	0.11
	広域の観光に対する取組	2.47	72	2.52	72	▲ 0.05
	観光資源の活性化	2.59	68	2.59	70	0.00
	観光情報の発信の充実	2.66	65	2.77	68	▲ 0.11
	本市の魅力発信	3.10	51	3.37	46	▲ 0.27
	定住促進の取組	2.94	59	3.24	48	▲ 0.30
	農地有効利用の取組	3.00	56	2.82	66	0.18
	地産地消の推進	3.12	48	2.94	60	0.18
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	3.31	39	3.41	42	▲ 0.10
	再生可能エネルギーの普及	3.42	32	3.58	35	▲ 0.16
	省エネの取組	3.32	37	3.47	39	▲ 0.15
	ごみの減量化、資源化の推進	3.52	30	3.50	38	0.02
	生物多様性の普及や保全	3.06	53	3.10	57	▲ 0.04
	里地里山の保全や活用	3.27	41	3.21	49	0.06
	山林の再生の推進	3.53	29	3.40	44	0.13
	緑豊かな生活環境	3.02	55	3.15	52	▲ 0.13
	清潔で快適な生活環境	3.11	49	3.25	47	▲ 0.14
	親しみやすい水辺空間	2.63	66	2.89	62	▲ 0.26
共創政策	協働によるまちづくり	2.55	70	2.78	67	▲ 0.23
	必要な行政情報の発信	2.71	63	2.86	63	▲ 0.15
	変化やニーズに対応した行政運営	3.55	27	3.87	18	▲ 0.32
	公共施設の老朽化に対する取組	3.38	34	3.69	27	▲ 0.31
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	3.43	31	3.41	42	0.02
	国内友好都市との交流	2.18	74	2.18	74	0.00

(注1) 順位は、ニーズ得点の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。

(注2) 網かけは、令和6年度順位の上位5位までの項目を示す。

（５）前年度調査との比較

ア 実感度の比較（図表 15）

前年度調査と比較すると、77 項目中 46 項目において、実感している人の割合（「思う」と「やや思う」の合計）が上昇し、1 項目が横ばい、30 項目が低下した。

（ア）前年度調査と比較し、実感している人の割合が上昇した主な項目

- ① 文化芸術に親しむ機会の提供（+7.5 ポイント）
- ② 中心市街地の整備（+5.5 ポイント）
- ③ 中心市街地のにぎわい（+5.3 ポイント）
- ④ 保育と幼児教育の充実（+4.9 ポイント）
- ⑤ 日常生活に必要な施設が身近にある（+4.7 ポイント）

（イ）前年度調査と比較し、実感している人の割合が低下した主な項目

- ① ごみの減量化、資源化の推進（▲6.2 ポイント）
- ② 家庭・地域・学校の協働の推進（▲4.9 ポイント）
- ③ 生涯学習活動の支援や環境の整備（▲4.8 ポイント）
- ④ 安全な教育環境の整備（▲3.8 ポイント）
- ⑤ 青少年の健全育成の取組（▲3.6 ポイント）

図表 15 実感度（前年度との比較）1/2

基本政策	項 目	n	令和6年度 実感度(%)	令和5年度 実感度(%)	前年度比較	比較順位 ※1
安心政策	災害に備えたハード整備	(851)	39.4	37.7	1.7	27
	災害対応力の強化の取組	(877)	44.9	41.0	3.9	8
	地域防災力向上の取組	(863)	34.5	33.0	1.5	30
	消防・救急・救助体制の充実	(845)	69.8	72.0	▲ 2.2	69
	応急手当の普及	(791)	48.8	48.4	0.4	43
	火災予防の取組	(828)	53.0	54.2	▲ 1.2	60
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり	(882)	40.3	41.6	▲ 1.3	62
	交通安全の取組	(894)	43.0	44.5	▲ 1.5	63
	防犯の取組	(888)	34.6	36.4	▲ 1.8	66
安心政策 平均値			45.4	45.4	0.0	⑤
輝き政策	地域福祉活動の推進	(853)	50.7	51.6	▲ 0.9	58
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援	(819)	43.3	44.1	▲ 0.8	55
	高齢者福祉施設の整備などの充実	(821)	44.7	43.7	1.0	40
	高齢者に対する支援の充実	(822)	46.9	44.8	2.1	26
	障がい者に対する支援の充実	(757)	36.7	37.9	▲ 1.2	60
	包括的な支援体制の充実	(802)	38.2	36.8	1.4	32
	子育てサービスの充実	(688)	69.9	67.5	2.4	19
	保育と幼児教育の充実	(644)	57.8	52.9	4.9	4
	親と子の健康づくりの取組	(633)	54.1	52.9	1.2	37
	休日・夜間医療体制の充実	(857)	55.0	55.7	▲ 0.7	53
	市立病院の救急医療体制の充実	(802)	50.7	48.2	2.5	18
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実	(803)	45.8	41.5	4.3	6
	健康づくりの取組	(890)	65.4	64.0	1.4	32
	介護予防と認知症に対する取組	(817)	34.2	31.5	2.7	15
	互いの違いを尊重できるまちづくり	(803)	31.7	28.6	3.1	12
	困りごとに対する相談・支援体制の充実	(801)	31.2	29.6	1.6	29
	平和についての啓発の推進	(783)	18.1	18.5	▲ 0.4	51
輝き政策 平均値			45.6	44.1	1.5	①
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む	(592)	33.1	33.9	▲ 0.8	55
	教育支援体制の充実	(579)	31.8	31.7	0.1	46
	安全な教育環境の整備	(596)	39.3	43.1	▲ 3.8	74
	子どもたちが安心して共に学べる取組	(568)	35.0	32.3	2.7	15
	社会教育の取組	(658)	28.5	32.0	▲ 3.5	72
	家庭・地域・学校の協働の推進	(661)	29.5	34.4	▲ 4.9	76
	生涯学習活動の支援や環境の整備	(689)	30.8	35.6	▲ 4.8	75
	青少年の健全育成の取組	(662)	32.6	36.2	▲ 3.6	73
	文化芸術に親しむ機会の提供	(854)	49.2	41.7	7.5	1
	郷土文化の継承と発展の取組	(815)	39.0	36.7	2.3	22
	あつぎ郷土博物館の取組	(784)	37.2	38.3	▲ 1.1	59
	運動・スポーツ活動の機会提供	(868)	56.1	51.9	4.2	7
	競技力を向上するための取組	(796)	33.6	35.9	▲ 2.3	70
	スポーツ施設の充実	(858)	41.8	40.1	1.7	27
成長政策 平均値			37.0	37.4	▲ 0.4	⑥

図表 15 実感度（前年度との比較）2/2

基本政策	項 目	令和6年度 実感度(%)	令和5年度 実感度(%)	前年度比較	比較順位 ※1
	n				
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある	(956) 78.5	73.8	4.7	5
	安心・安全に通行できる道路環境	(933) 48.3	45.9	2.4	19
	日常生活における移動がスムーズ	(945) 58.3	56.0	2.3	22
	住環境の整備の取組	(781) 16.9	14.1	2.8	14
	中心市街地の整備	(906) 48.6	43.1	5.5	2
	中心市街地のにぎわい	(911) 35.9	30.6	5.3	3
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用	(812) 48.5	48.7	▲ 0.2	48
	景観が守られている	(873) 47.9	47.7	0.2	45
	新たな産業拠点の創出	(792) 33.3	32.9	0.4	43
	市内に利用したい店舗がある	(919) 49.5	48.0	1.5	30
	創業支援や中小企業支援の充実	(701) 20.8	21.6	▲ 0.8	55
	企業誘致の推進	(697) 26.4	25.3	1.1	38
	先端技術産業の推進	(708) 25.2	24.1	1.1	38
	就労支援と勤労者への支援の充実	(760) 25.9	26.2	▲ 0.3	49
	広域の観光に対する取組	(877) 48.2	49.7	▲ 1.5	63
	観光資源の活性化	(870) 44.2	46.1	▲ 1.9	67
	観光情報の発信の充実	(879) 33.4	36.8	▲ 3.4	71
	本市の魅力発信	(861) 37.4	39.5	▲ 2.1	68
	定住促進の取組	(702) 19.5	20.2	▲ 0.7	53
	農地有効利用の取組	(711) 25.9	24.5	1.4	32
	地産地消の推進	(785) 46.7	44.3	2.4	19
発展政策 平均値		39.0	38.1	0.9	③
潤い政策	環境教育や環境学習の取組	(725) 27.4	26.0	1.4	32
	再生可能エネルギーの普及	(749) 25.4	23.2	2.2	25
	省エネの取組	(794) 26.0	25.0	1.0	40
	ごみの減量化、資源化の推進	(911) 55.5	61.7	▲ 6.2	77
	生物多様性の普及や保全	(719) 26.4	22.8	3.6	9
	里地里山の保全や活用	(710) 27.8	25.5	2.3	22
	山林の再生の推進	(706) 22.8	21.4	1.4	32
	緑豊かな生活環境	(946) 65.1	62.4	2.7	15
	清潔で快適な生活環境	(936) 62.8	62.8	0.0	47
	親しみやすい水辺空間	(877) 47.4	44.2	3.2	11
潤い政策 平均値		38.7	37.5	1.2	②
共創政策	協働によるまちづくり	(840) 43.3	43.6	▲ 0.3	49
	必要な行政情報の発信	(851) 60.8	61.3	▲ 0.5	52
	変化やニーズに対応した行政運営	(751) 29.4	30.9	▲ 1.5	63
	公共施設の老朽化に対する取組	(778) 38.2	37.6	0.6	42
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携	(729) 33.2	30.2	3.0	13
	国内友好都市との交流	(730) 33.1	29.5	3.6	9
共創政策 平均値		39.7	38.9	0.8	④
平均値		40.8	40.1	0.7	—

(※1) 「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。
 なお、網かけは、「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

イ 重要度の比較（図表 16）

前年度調査と比較すると、77 項目中 34 項目において、重要視している人の割合（「重要である」と「やや重要である」の合計）が上昇し、43 項目が低下した。

（ア）前年度調査と比較し、重要視している人の割合が上昇した主な項目

- ① 地産地消の推進（+5.6 ポイント）
- ② 農地有効利用の取組（+4.2 ポイント）
- ③ 防犯の取組（+3.0 ポイント）
- ③ 里地里山の保全や活用（+3.0 ポイント）
- ⑤ 広域的な課題に対する近隣市町村等との連携（+2.9 ポイント）

（イ）前年度調査と比較し、重要視している人の割合が低下した主な項目

- ① 子どもたちが自ら課題に取り組む（▲6.8 ポイント）
- ② 家庭・地域・学校の協働の推進（▲6.0 ポイント）
- ③ 青少年の健全育成の取組（▲5.8 ポイント）
- ④ 互いの違いを尊重できるまちづくり（▲5.3 ポイント）
- ⑤ 教育支援体制の充実（▲5.2 ポイント）
- ⑤ 変化やニーズに対応した行政運営（▲5.2 ポイント）

図表 16 重要度（前年度との比較） 1/2

基本政策	項 目	令和6年度 重要度(%)	令和5年度 重要度(%)	前年度比較	比較順位 ※1
	n				
安心政策	災害に備えたハード整備 (853)	94.9	93.5	1.4	20
	災害対応力の強化の取組 (867)	94.0	92.0	2.0	11
	地域防災力向上の取組 (860)	91.0	90.6	0.4	28
	消防・救急・救助体制の充実 (865)	95.8	96.8	▲ 1.0	42
	応急手当の普及 (823)	91.1	92.6	▲ 1.5	46
	火災予防の取組 (843)	90.1	91.5	▲ 1.4	45
	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり (850)	90.8	89.3	1.5	17
	交通安全の取組 (856)	93.0	90.4	2.6	8
	防犯の取組 (853)	94.9	91.9	3.0	3
安心政策 平均値		92.8	92.1	0.7	①
輝き政策	地域福祉活動の推進 (857)	89.8	89.7	0.1	34
	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援 (854)	88.1	85.5	2.6	8
	高齢者福祉施設の整備などの充実 (839)	88.7	86.7	2.0	11
	高齢者に対する支援の充実 (843)	87.3	86.3	1.0	22
	障がい者に対する支援の充実 (808)	86.2	85.4	0.8	25
	包括的な支援体制の充実 (832)	87.9	86.4	1.5	17
	子育てサービスの充実 (718)	87.5	91.3	▲ 3.8	65
	保育と幼児教育の充実 (704)	86.1	87.8	▲ 1.7	51
	親と子の健康づくりの取組 (704)	84.1	85.6	▲ 1.5	46
	休日・夜間医療体制の充実 (860)	94.8	93.9	0.9	23
	市立病院の救急医療体制の充実 (835)	92.7	91.2	1.5	17
	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実 (816)	89.0	87.1	1.9	14
	健康づくりの取組 (866)	88.1	87.2	0.9	23
	介護予防と認知症に対する取組 (833)	89.4	86.8	2.6	8
	互いの違いを尊重できるまちづくり (805)	67.4	72.7	▲ 5.3	74
	困りごとに対する相談・支援体制の充実 (804)	81.1	79.1	2.0	11
	平和についての啓発の推進 (784)	69.4	69.7	▲ 0.3	37
輝き政策 平均値		85.7	85.4	0.3	②
成長政策	子どもたちが自ら課題に取り組む (665)	80.8	87.6	▲ 6.8	77
	教育支援体制の充実 (666)	80.9	86.1	▲ 5.2	72
	安全な教育環境の整備 (679)	82.6	86.5	▲ 3.9	66
	子どもたちが安心して共に学べる取組 (656)	78.3	83.2	▲ 4.9	71
	社会教育の取組 (710)	70.7	75.3	▲ 4.6	70
	家庭・地域・学校の協働の推進 (718)	72.1	78.1	▲ 6.0	76
	生涯学習活動の支援や環境の整備 (733)	73.2	76.9	▲ 3.7	64
	青少年の健全育成の取組 (712)	67.9	73.7	▲ 5.8	75
	文化芸術に親しむ機会の提供 (812)	60.8	61.6	▲ 0.8	40
	郷土文化の継承と発展の取組 (786)	59.8	59.5	0.3	29
	あつぎ郷土博物館の取組 (765)	50.7	54.8	▲ 4.1	68
	運動・スポーツ活動の機会提供 (819)	75.9	76.1	▲ 0.2	35
	競技力を向上するための取組 (787)	66.2	67.2	▲ 1.0	42
	スポーツ施設の充実 (813)	73.3	73.5	▲ 0.2	35
成長政策 平均値		70.9	74.3	▲ 3.4	⑥

図表 16 重要度（前年度との比較）2/2

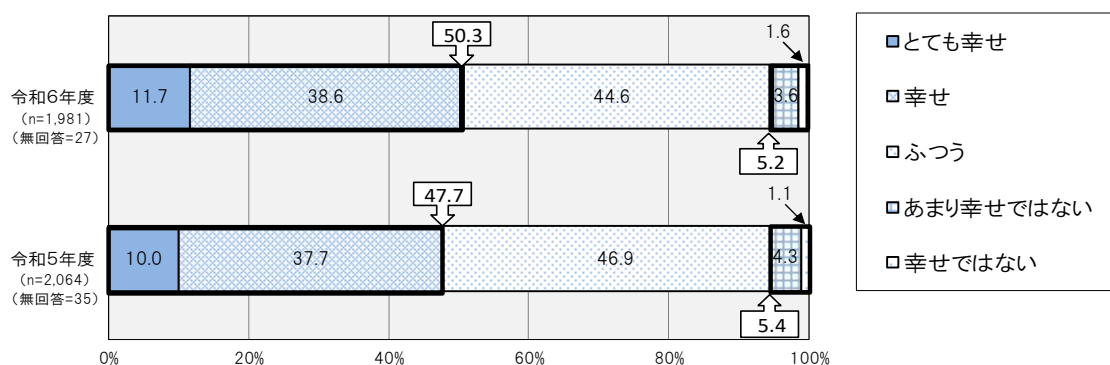
基本政策	項 目		令和6年度 重要度(%)	令和5年度 重要度(%)	前年度比較	比較順位
	n					
発展政策	日常生活に必要な施設が身近にある (887)		94.7	94.5	0.2	31
	安心・安全に通行できる道路環境 (871)		93.3	93.1	0.2	31
	日常生活における移動がスムーズ (878)		94.3	91.6	2.7	7
	住環境の整備の取組 (807)		81.9	82.9	▲ 1.0	42
	中心市街地の整備 (831)		81.4	84.3	▲ 2.9	60
	中心市街地のにぎわい (834)		78.1	80.8	▲ 2.7	57
	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用 (782)		77.3	76.5	0.8	25
	景観が守られている (825)		79.9	79.6	0.3	29
	新たな産業拠点の創出 (775)		71.5	73.1	▲ 1.6	49
	市内に利用したい店舗がある (847)		84.6	85.2	▲ 0.6	38
	創業支援や中小企業支援の充実 (720)		72.5	75.7	▲ 3.2	63
	企業誘致の推進 (714)		72.4	75.2	▲ 2.8	58
	先端技術産業の推進 (722)		64.6	67.7	▲ 3.1	61
	就労支援と勤労者への支援の充実 (772)		81.3	80.2	1.1	21
	広域の観光に対する取組 (833)		70.4	73.0	▲ 2.6	55
	観光資源の活性化 (831)		71.5	73.6	▲ 2.1	53
	観光情報の発信の充実 (823)		69.4	71.9	▲ 2.5	54
	本市の魅力発信 (815)		75.2	78.3	▲ 3.1	61
	定住促進の取組 (723)		67.3	69.9	▲ 2.6	55
	農地有効利用の取組 (724)		70.1	65.9	4.2	2
	地産地消の推進 (765)		79.3	73.7	5.6	1
発展政策 平均値			77.7	78.4	▲ 0.7	④
潤い政策	環境教育や環境学習の取組 (767)		77.6	77.4	0.2	31
	再生可能エネルギーの普及 (777)		78.1	77.4	0.7	27
	省エネの取組 (788)		76.5	77.2	▲ 0.7	39
	ごみの減量化、資源化の推進 (864)		88.6	89.4	▲ 0.8	40
	生物多様性の普及や保全 (742)		73.9	72.3	1.6	16
	里地里山の保全や活用 (748)		77.0	74.0	3.0	3
	山林の再生の推進 (743)		78.1	76.4	1.7	15
	緑豊かな生活環境 (866)		86.0	87.5	▲ 1.5	46
	清潔で快適な生活環境 (859)		87.3	88.9	▲ 1.6	49
	親しみやすい水辺空間 (830)		72.5	76.5	▲ 4.0	67
潤い政策 平均値			79.6	79.7	▲ 0.1	③
共創政策	協働によるまちづくり (804)		70.7	75.0	▲ 4.3	69
	必要な行政情報の発信 (810)		79.0	80.8	▲ 1.8	52
	変化やニーズに対応した行政運営 (737)		79.8	85.0	▲ 5.2	72
	公共施設の老朽化に対する取組 (780)		81.0	83.8	▲ 2.8	58
	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携 (751)		79.4	76.5	2.9	5
	国内友好都市との交流 (730)		61.2	58.4	2.8	6
共創政策 平均値			75.2	76.6	▲ 1.4	⑤
平均値			80.1	80.8	▲ 0.7	—

(※1) 「比較順位」は、「前年度比較」の大きい順に第1位～第77位の順位を示す。
 なお、網かけは、「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

(6) 幸福度 (A：問 15、B：問 18、図表 17)

- ・幸福度については、「とても幸せ」(11.7%)、「幸せ」(38.6%) の合計が 50.3% という結果となり、前年度調査の 47.7% と比較して 2.6 ポイント上昇した。
- ・「あまり幸せではない」(3.6%)、「幸せではない」(1.6%) の合計が 5.2% という結果となり、前年度調査の 5.4% と比較して、0.2 ポイント低下した。
- ・各調査票の属性別集計 (クロス集計) は次ページのとおり。

図表 17 幸福度 (調査票 A、B を合計して算出)



以降掲載するクロス集計において、以下の通り属性別の最大値、最小値を示す。

■ … 橙色の網掛け：属性別の最大値

■ … 水色の網掛け：属性別の最小値

(回答が「はい」「いいえ」のみの設問については、上記の限りではない。)

【クロス集計】

(単位：%)

		n	とても 幸せ	幸 せ	ふ つ う	あ ま り 幸 せ で は な い	幸 せ で は な い
調査票A	全体	993	11.7	40.2	42.9	3.5	1.7
	性別	男性	414	11.6	38.2	44.0	4.6
		女性	520	12.9	42.3	41.0	2.5
	年齢別	10代	11	27.3	45.5	27.3	0.0
		20代	61	18.0	47.5	29.5	4.9
		30代	92	14.1	43.5	39.1	3.3
		40代	134	12.7	35.8	44.8	3.7
		50代	187	10.7	39.0	44.9	3.7
		60代	173	10.4	39.3	44.5	3.5
		70代	204	9.3	40.7	44.6	3.9
		80代以上	127	11.8	41.7	41.7	2.4
	世帯構成別	夫婦	319	12.2	46.1	37.3	3.4
		親子（親との二世帯）	158	12.0	36.1	48.1	1.3
		親子（子との二世帯）	240	13.8	40.8	42.1	2.1
		親子孫（三世帯）	48	14.6	47.9	35.4	0.0
		一人暮らし	189	8.5	32.8	48.7	7.4
		その他	33	6.1	30.3	51.5	9.1
	居住年数別	20年以上（転入なし）	258	15.9	37.6	40.7	3.1
		20年以上（転入あり）	458	8.7	43.2	44.5	2.2
		10～19年（転入なし）	14	28.6	28.6	42.9	0.0
		10～19年（転入あり）	122	9.8	38.5	44.3	4.1
		5～9年	66	15.2	37.9	39.4	7.6
		3～4年	28	17.9	46.4	28.6	7.1
		2年以下	40	7.5	32.5	50.0	10.0
	居住地区別	厚木北	105	15.2	41.9	40.0	2.9
		厚木南	53	5.7	39.6	50.9	3.8
		依知北	86	1.2	37.2	52.3	5.8
		依知南	58	12.1	31.0	53.4	3.4
		睦合北	45	11.1	35.6	53.3	0.0
		睦合南	77	11.7	46.8	35.1	3.9
		睦合西	40	17.5	45.0	32.5	2.5
		荻野	111	12.6	34.2	47.7	1.8
		小鮎	61	18.0	44.3	37.7	0.0
		南毛利	171	9.4	42.7	39.8	6.4
		南毛利南	54	13.0	37.0	48.1	0.0
		玉川	10	10.0	40.0	40.0	10.0
		相川	65	15.4	47.7	32.3	3.1
		緑ヶ丘	18	5.6	38.9	50.0	0.0
		森の里	34	23.5	41.2	26.5	5.9
調査票B	全体	987	11.7	36.9	46.4	3.6	1.4
	性別	男性	422	11.8	33.6	49.3	4.3
		女性	497	12.1	40.6	42.9	3.2
	年齢別	10代	14	14.3	57.1	28.6	0.0
		20代	63	25.4	34.9	39.7	0.0
		30代	89	14.6	37.1	43.8	4.5
		40代	134	17.2	37.3	36.6	6.7
		50代	185	13.5	31.9	47.6	3.2
		60代	160	6.3	33.8	55.6	3.8
		70代	202	6.9	43.6	45.0	3.0
		80代以上	132	8.3	35.6	52.3	3.8
	世帯構成別	夫婦	307	11.4	40.1	44.6	3.6
		親子（親との二世帯）	142	14.8	33.8	46.5	2.8
		親子（子との二世帯）	253	11.5	43.1	42.3	2.4
		親子孫（三世帯）	50	18.0	28.0	50.0	4.0
		一人暮らし	193	9.3	32.1	48.7	6.2
		その他	30	6.7	10.0	76.7	3.3
	居住年数別	20年以上（転入なし）	223	13.9	32.3	48.4	4.5
		20年以上（転入あり）	483	9.3	38.9	47.4	3.5
		10～19年（転入なし）	16	12.5	56.3	25.0	0.0
		10～19年（転入あり）	104	11.5	33.7	45.2	4.8
		5～9年	61	16.4	39.3	42.6	1.6
		3～4年	38	15.8	36.8	39.5	7.9
		2年以下	54	14.8	37.0	44.4	0.0
	居住地区別	厚木北	122	14.8	44.3	39.3	0.8
		厚木南	53	13.2	34.0	47.2	3.8
		依知北	69	2.9	29.0	63.8	2.9
		依知南	50	6.0	34.0	56.0	2.0
		睦合北	37	8.1	43.2	43.2	2.7
		睦合南	88	13.6	33.0	51.1	2.3
		睦合西	39	20.5	43.6	33.3	2.6
		荻野	98	10.2	32.7	48.0	7.1
		小鮎	60	6.7	33.3	53.3	5.0
		南毛利	185	13.5	38.9	43.8	2.7
		南毛利南	44	11.4	36.4	43.2	4.5
		玉川	21	4.8	33.3	57.1	4.8
		相川	61	18.0	34.4	39.3	8.2
		緑ヶ丘	20	5.0	30.0	45.0	10.0
		森の里	27	14.8	44.4	40.7	0.0

2-3 行動変容（市の施策による市民の行動の変化）

（1）基本政策別の傾向（図表 18）

ア 行動変容の実績値が高い政策

- ① 潤い政策（平均値 83.4%）
- ② 安心政策（平均値 75.7%）
- ③ 輝き政策（平均値 74.6%）

イ 行動変容の実績値が低い政策

- ① 成長政策（平均値 39.5%）
- ② 共創政策（平均値 55.9%）
- ③ 発展政策（平均値 66.4%）

（2）27 項目別の傾向（図表 18）

ア 行動変容の実績値が高い項目

- ① 資源の分別を意識している（96.9%）
- ② 健康増進のために取り組んでいることがある（92.8%）
- ③ 防犯等の対策について心掛けていることがある（90.7%）
- ④ 災害に備えていることがある（89.9%）
- ⑤ 主に利用する店舗が市内にある（86.1%）

イ 行動変容の実績値が低い項目

- ① 市内で文化芸術に親しんでいる（19.7%）
- ② 図書館を利用している（24.3%）
- ③ 運動やスポーツを週 3 回以上行っている（27.7%）
- ④ 公民館を利用している（31.8%）
- ⑤ 市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした（34.1%）

（3）前年度調査との比較（図表 18）

ア 前年度調査と比較し、行動変容の実績値が上昇した主な項目

- ① 災害に備えていることがある（+3.1 ポイント）
- ② 認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある（+2.8 ポイント）
- ③ 公民館を利用している（+2.5 ポイント）
- ④ 地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある（+2.2 ポイント）
- ⑤ 主に利用する店舗が市内にある（+2.1 ポイント）

イ 前年度調査と比較し、行動変容の実績値が低下した主な項目

- ① ごみの減量を意識している（▲2.7 ポイント）
- ② 市内で文化芸術に親しんでいる（▲2.5 ポイント）
- ③ 必要な行政情報を入手できている（▲2.2 ポイント）
- ④ 子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う（▲1.9 ポイント）
- ⑤ 地域の人との関わりがあると思う（▲1.8 ポイント）

図表 18 行動変容（基本政策別・項目別一覧表）

(単位：%)

基本政策	項目名 (～市民の割合)	n	令和6 年度目 標値	令和6 年度実 績値 (A)	実 績 値 順 位	令和5 年度実 績値 (B)	前 年度比 較 (A-B)	比 較 順 位
安心政策	災害に備えていることがある（A：問2）	(966)	96.0	89.9	4	86.8	3.1	1
	AEDや心臓マッサージの方法を知っている（B：問2）	(963)	65.6	64.4	15	62.9	1.5	6
	消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている（B：問3）	(970)	81.3	78.9	9	79.9	▲ 1.0	20
	自転車の安全のために心掛けていることがある（A：問3）	(744)	64.8	54.8	18	54.8	0.0	13
	防犯等の対策について心掛けていることがある（A：問4）	(963)	94.0	90.7	3	90.4	0.3	10
安心政策 平均値			－	75.7	②	75.0	0.7	①
輝き政策	地域の人との関わりがあると思う（B：問4）	(972)	60.5	55.3	17	57.1	▲ 1.8	23
	生きがいを持って生活を送っている（B：問5）	(951)	78.0	75.8	11	74.6	1.2	7
	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる（B：問6）	(626)	67.0	59.3	16	59.9	▲ 0.6	17
	健康増進のために取り組んでいることがある（A：問5）	(936)	92.5	92.8	2	92.9	▲ 0.1	14
	健康診断やがん検診、人間ドックを受けた（A：問6）	(933)	84.0	81.1	8	81.7	▲ 0.6	17
輝き政策 平均値			－	74.6	③	74.5	0.1	③
成長政策	子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う（B：問7）	(652)	74.4	66.9	14	68.8	▲ 1.9	24
	公民館を利用している（B：問8）	(941)	30.6	31.8	24	29.3	2.5	3
	地域や学校の行事に参加又は協力している（B：問9）	(927)	38.0	39.7	21	39.0	0.7	8
	生涯学習活動を行っている（B：問10）	(889)	54.1	52.6	20	52.4	0.2	11
	図書館を利用している（B：問11）	(911)	26.0	24.3	26	23.8	0.5	9
	市内で文化芸術に親しんでいる（A：問8）	(929)	22.0	19.7	27	22.2	▲ 2.5	26
	厚木の郷土文化に興味がある（A：問9）	(920)	60.7	52.9	19	54.3	▲ 1.4	21
	運動やスポーツを週3回以上行っている（A：問10）	(932)	38.0	27.7	25	28.1	▲ 0.4	15
成長政策 平均値			－	39.5	⑥	39.7	▲ 0.2	④
発展政策	主に利用する店舗が市内にある（B：問12）	(844)	87.1	86.1	5	84.0	2.1	5
	市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした（A：問11）	(930)	36.0	34.1	23	33.9	0.2	11
	地元の農産物を購入した（A：問12）	(941)	84.0	78.9	9	79.7	▲ 0.8	19
発展政策 平均値			－	66.4	④	65.9	0.5	②
潤い政策	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある（A：問13）	(926)	90.0	84.0	6	81.8	2.2	4
	ごみの減量を意識している（B：問13）	(929)	80.0	69.4	13	72.1	▲ 2.7	27
	資源の分別を意識している（B：問14）	(938)	99.0	96.9	1	97.3	▲ 0.4	15
潤い政策 平均値			－	83.4	①	83.7	▲ 0.3	⑤
共創政策	自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している（B：問15）	(929)	38.3	38.1	22	39.6	▲ 1.5	22
	必要な行政情報を入手できている（B：問16）	(864)	85.3	73.7	12	75.9	▲ 2.2	25
共創政策 平均値			－	55.9	⑤	57.8	▲ 1.9	⑥
平均値			－	63.1	－	63.1	0.0	－

(※1) Aは調査票Aの設問を、Bは調査票Bの設問を示す。

(※2) 網かけは、「実績値順位」または「比較順位」の上位5位までの項目を示す。

2-3-1 安心政策

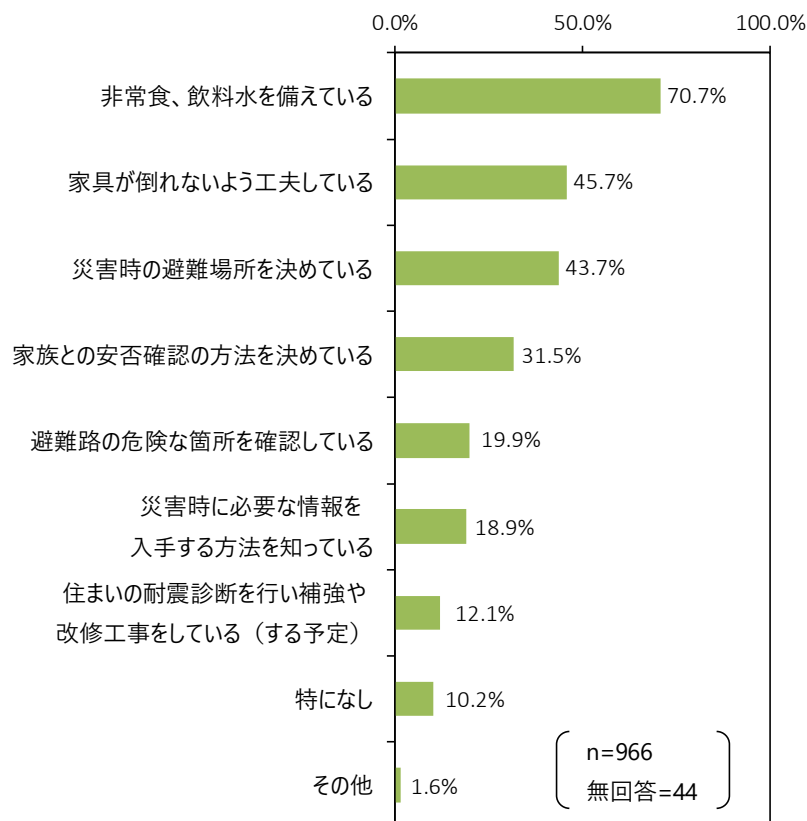
地震や風水害などの災害に備えていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A:問2)

地震や風水害などの災害に備えていることがある市民の割合は 89.9%となっており、項目としては、その他を除くと「非常食、飲料水を備えている」が 70.7%で最も高く、「住まいの耐震診断を行い補強や改修工事をしている(する予定)」が 12.1%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「非常食、飲料水を備えている」を性別で見ると、女性(76.4%)が男性(63.0%)より 13.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 76.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世代)が 78.7%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上(転入あり)が 73.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 87.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 76.8%で最も高くなっている。

「住まいの耐震診断を行い補強や改修工事をしている(する予定)」を性別で見ると、女性(13.6%)が男性(10.0%)より 3.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 18.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世代)が 23.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上(転入あり)が 14.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が 17.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：％)

		n	非常食、飲料水を備えている	家具が倒れないよう工夫している	住まいの耐震診断を行い補強や改修工事を行っている(する予定)	避難路の危険な箇所を確認している	災害時の避難場所を決めている	家族との安否確認の方法を決めている	災害時に必要な情報を入手する方法を知っている	その他	特になし
全体		966	70.7	45.7	12.1	19.9	43.7	31.5	18.9	1.6	10.2
性別	男性	400	63.0	43.3	10.0	21.5	42.3	32.0	19.5	1.8	14.0
	女性	500	76.4	48.0	13.6	19.8	45.8	31.2	18.8	1.4	7.0
年齢別	10代	11	54.5	27.3	0.0	27.3	45.5	9.1	9.1	0.0	18.2
	20代	61	70.5	47.5	6.6	21.3	41.0	26.2	24.6	0.0	14.8
	30代	92	63.0	41.3	8.7	17.4	29.3	18.5	17.4	2.2	10.9
	40代	129	66.7	38.0	10.1	13.2	41.9	26.4	17.8	2.3	16.3
	50代	185	72.4	47.6	8.6	20.5	42.2	36.8	19.5	4.3	7.6
	60代	168	72.6	47.0	13.7	20.2	46.4	35.1	21.4	0.6	9.5
	70代	190	76.3	46.8	14.7	22.1	51.6	33.2	20.0	0.5	7.4
	80代以上	117	69.2	52.1	18.8	23.9	44.4	35.9	12.8	0.0	9.4
世帯構成別	夫婦	312	73.1	57.1	14.7	20.8	50.0	37.5	17.9	1.0	7.7
	親子(親との二世帯)	151	67.5	44.4	6.6	17.9	36.4	28.5	17.2	2.0	13.9
	親子(子との二世帯)	234	73.9	44.9	15.0	18.4	43.6	33.3	20.9	0.9	6.8
	親子孫(三世帯)	47	78.7	51.1	23.4	17.0	46.8	36.2	14.9	4.3	8.5
	一人暮らし	177	63.8	28.8	6.2	23.2	37.3	18.6	20.3	2.8	16.4
	その他	31	67.7	38.7	6.5	22.6	38.7	35.5	16.1	0.0	12.9
居住年数別	20年以上(転入なし)	248	67.3	42.3	14.1	19.0	39.9	28.6	22.2	2.4	13.7
	20年以上(転入あり)	442	73.3	48.9	14.3	17.9	46.6	35.3	17.0	0.9	7.9
	10～19年(転入なし)	14	71.4	35.7	0.0	28.6	57.1	28.6	14.3	0.0	7.1
	10～19年(転入あり)	118	72.9	53.4	11.0	24.6	49.2	30.5	22.9	2.5	7.6
	5～9年	64	65.6	34.4	1.6	23.4	35.9	23.4	23.4	1.6	14.1
	3～4年	29	72.4	44.8	3.4	17.2	27.6	17.2	10.3	3.4	10.3
	2年以下	37	67.6	32.4	5.4	29.7	29.7	35.1	5.4	0.0	16.2
居住地区別	厚木北	102	74.5	45.1	11.8	17.6	39.2	28.4	17.6	2.0	10.8
	厚木南	50	78.0	50.0	16.0	20.0	34.0	32.0	16.0	4.0	10.0
	依知北	84	60.7	41.7	9.5	16.7	28.6	31.0	11.9	2.4	16.7
	依知南	54	68.5	46.3	13.0	16.7	42.6	35.2	18.5	1.9	11.1
	睦合北	43	55.8	34.9	16.3	20.9	32.6	25.6	18.6	2.3	20.9
	睦合南	73	68.5	46.6	8.2	27.4	52.1	31.5	23.3	0.0	6.8
	睦合西	39	87.2	51.3	12.8	28.2	56.4	17.9	28.2	0.0	5.1
	荻野	104	74.0	42.3	12.5	18.3	44.2	26.0	17.3	1.0	8.7
	小鮎	59	74.6	50.8	13.6	15.3	40.7	30.5	23.7	0.0	6.8
	南毛利	168	73.8	45.8	10.1	18.5	51.2	35.1	19.6	1.2	8.3
	南毛利南	53	73.6	47.2	17.0	24.5	52.8	34.0	18.9	3.8	9.4
	玉川	10	60.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	10.0	0.0	30.0
	相川	63	55.6	52.4	12.7	22.2	47.6	44.4	23.8	3.2	11.1
	緑ヶ丘	18	66.7	27.8	11.1	27.8	50.0	44.4	16.7	0.0	22.2
	森の里	33	78.8	63.6	15.2	27.3	42.4	27.3	12.1	0.0	0.0
幸福度別	とても幸せ	114	71.9	53.5	16.7	26.3	54.4	41.2	22.8	2.6	4.4
	幸せ	388	76.8	53.1	14.4	21.9	48.5	31.4	20.4	1.0	6.2
	ふつう	405	67.2	36.8	9.4	16.3	37.8	28.9	16.8	1.5	14.3
	あまり幸せではない	31	58.1	41.9	6.5	25.8	32.3	35.5	19.4	3.2	16.1
	幸せではない	15	33.3	33.3	0.0	13.3	26.7	20.0	6.7	6.7	40.0

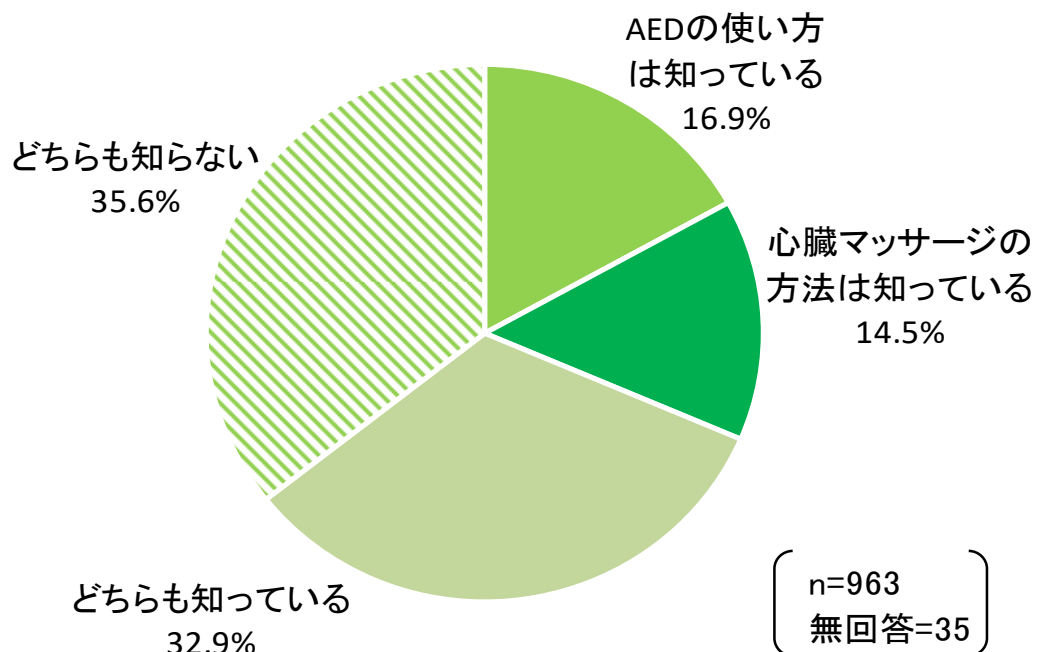
AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。(B：問2)

AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合は 64.4%となっている。項目別では「どちらも知らない」が 35.6%で最も高く、「心臓マッサージの方法は知っている」が 14.5%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「どちらも知らない」を性別で見ると、女性(36.3%)が男性(33.9%)より 2.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 51.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 43.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 38.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 57.9%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 64.3%で最も高くなっている。

「心臓マッサージの方法は知っている」を性別で見ると、女性(15.4%)が男性(13.7%)より 1.7 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、40 代及び 80 代以上が同率で 18.5%と最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 23.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 15.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が 25.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：％)

		n	A E D の 使 い 方 は 知 っ て い る	心 臓 マ ッ サ ー ジ の 方 法 は 知 っ て い る	ど ち ら も 知 っ て い る	ど ち ら も 知 ら な い
全体		963	16.9	14.5	32.9	35.6
性別	男性	416	18.0	13.7	34.4	33.9
	女性	482	15.4	15.4	33.0	36.3
年齢別	10代	14	14.3	0.0	71.4	14.3
	20代	63	17.5	7.9	55.6	19.0
	30代	88	23.9	9.1	51.1	15.9
	40代	135	23.0	18.5	29.6	28.9
	50代	183	14.2	13.7	37.2	35.0
	60代	157	22.3	12.7	29.9	35.0
	70代	193	11.4	17.6	23.8	47.2
	80代以上	119	10.9	18.5	19.3	51.3
世帯構成別	夫婦	295	17.6	14.6	32.2	35.6
	親子（親との二世帯）	141	19.1	12.1	39.7	29.1
	親子（子との二世帯）	250	17.6	15.2	33.2	34.0
	親子孫（三世帯）	48	10.4	20.8	31.3	37.5
	一人暮らし	185	14.1	12.4	32.4	41.1
	その他	30	16.7	23.3	16.7	43.3
居住年数別	20年以上（転入なし）	217	23.0	15.2	27.2	34.6
	20年以上（転入あり）	465	14.6	14.8	31.6	38.9
	10～19年（転入なし）	16	18.8	0.0	56.3	25.0
	10～19年（転入あり）	102	14.7	15.7	35.3	34.3
	5～9年	59	13.6	15.3	44.1	27.1
	3～4年	38	13.2	10.5	52.6	23.7
	2年以下	54	22.2	14.8	33.3	29.6
居住地区別	厚木北	119	21.0	15.1	36.1	27.7
	厚木南	52	13.5	9.6	38.5	38.5
	依知北	68	19.1	16.2	20.6	44.1
	依知南	49	12.2	14.3	32.7	40.8
	睦合北	37	18.9	5.4	32.4	43.2
	睦合南	87	13.8	17.2	34.5	34.5
	睦合西	37	13.5	5.4	45.9	35.1
	荻野	95	16.8	11.6	34.7	36.8
	小鮎	58	13.8	17.2	24.1	44.8
	南毛利	180	20.0	16.1	35.6	28.3
	南毛利南	40	17.5	25.0	22.5	35.0
	玉川	21	14.3	9.5	47.6	28.6
	相川	58	10.3	12.1	34.5	43.1
	緑ヶ丘	19	5.3	21.1	15.8	57.9
	森の里	26	30.8	7.7	34.6	26.9
幸福度別	とても幸せ	112	20.5	13.4	37.5	28.6
	幸せ	355	16.6	14.9	36.1	32.4
	ふつう	440	16.6	15.0	31.1	37.3
	あまり幸せではない	35	20.0	11.4	17.1	51.4
	幸せではない	14	0.0	14.3	21.4	64.3

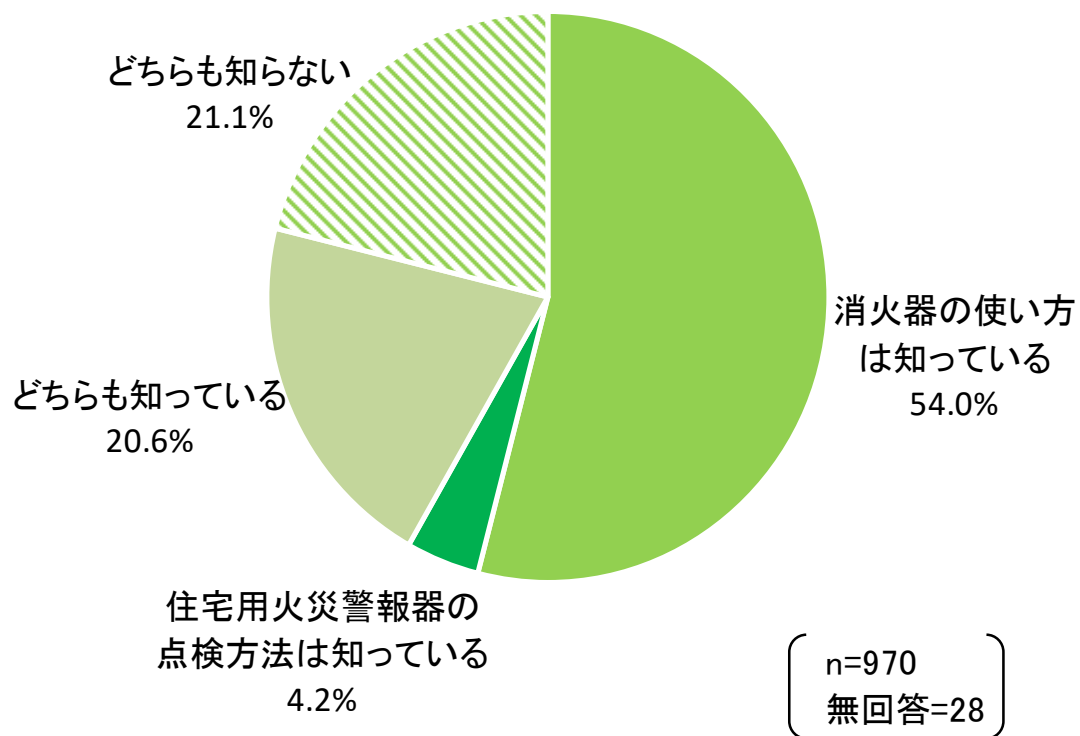
消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。(B：問3)

消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合は 78.9%となっており、項目としては「消火器の使い方は知っている」が54.0%で最も高く、「住宅用火災警報器の点検方法は知っている」が4.2%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「消火器の使い方は知っている」を性別で見ると、男性(56.5%)が女性(51.3%)より 5.2ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が60.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が66.7%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が56.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が63.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが55.4%で最も高くなっている。

「住宅用火災警報器の点検方法は知っている」を性別で見ると、女性(5.3%)が男性(3.3%)より 2.0ポイント高くなっており、年齢別で見ると、40代が5.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が8.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が5.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、小鮎が14.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	消火器の使い方は知っている	住宅用火災警報器の点検方法は知っている	どちらも知っている	どちらも知らない
全体		970	54.0	4.2	20.6	21.1
性別	男性	418	56.5	3.3	26.6	13.6
	女性	489	51.3	5.3	15.7	27.6
年齢別	10代	14	50.0	0.0	21.4	28.6
	20代	63	42.9	3.2	15.9	38.1
	30代	87	57.5	4.6	18.4	19.5
	40代	135	56.3	5.9	14.1	23.7
	50代	184	50.5	3.8	26.6	19.0
	60代	157	57.3	4.5	19.1	19.1
	70代	198	60.6	3.5	21.7	14.1
	80代以上	121	45.5	5.0	22.3	27.3
世帯構成別	夫婦	298	54.7	5.4	20.5	19.5
	親子（親との二世帯）	141	50.4	4.3	22.7	22.7
	親子（子との二世帯）	251	55.0	4.0	18.3	22.7
	親子孫（三世帯）	48	47.9	8.3	20.8	22.9
	一人暮らし	187	54.0	2.7	24.1	19.3
	その他	30	66.7	0.0	13.3	20.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	219	56.2	4.6	19.2	20.1
	20年以上（転入あり）	471	55.8	4.0	21.0	19.1
	10～19年（転入なし）	16	43.8	0.0	25.0	31.3
	10～19年（転入あり）	103	54.4	2.9	22.3	20.4
	5～9年	58	44.8	5.2	25.9	24.1
	3～4年	37	56.8	5.4	10.8	27.0
	2年以下	54	40.7	5.6	20.4	33.3
居住地区別	厚木北	118	57.6	2.5	19.5	20.3
	厚木南	52	50.0	5.8	21.2	23.1
	依知北	68	52.9	0.0	19.1	27.9
	依知南	50	52.0	2.0	28.0	18.0
	睦合北	38	63.2	5.3	10.5	21.1
	睦合南	87	58.6	5.7	18.4	17.2
	睦合西	38	47.4	7.9	23.7	21.1
	荻野	95	51.6	4.2	25.3	18.9
	小鮎	57	49.1	14.0	17.5	19.3
	南毛利	180	53.3	2.8	22.2	21.7
	南毛利南	42	54.8	7.1	14.3	23.8
	玉川	21	52.4	0.0	33.3	14.3
	相川	60	56.7	3.3	16.7	23.3
	緑ヶ丘	20	60.0	0.0	5.0	35.0
	森の里	27	55.6	3.7	29.6	11.1
幸福度別	とても幸せ	112	55.4	6.3	22.3	16.1
	幸せ	355	53.8	3.9	22.8	19.4
	ふつう	446	54.9	3.8	19.5	21.7
	あまり幸せではない	35	45.7	2.9	11.4	40.0
	幸せではない	14	42.9	7.1	14.3	35.7

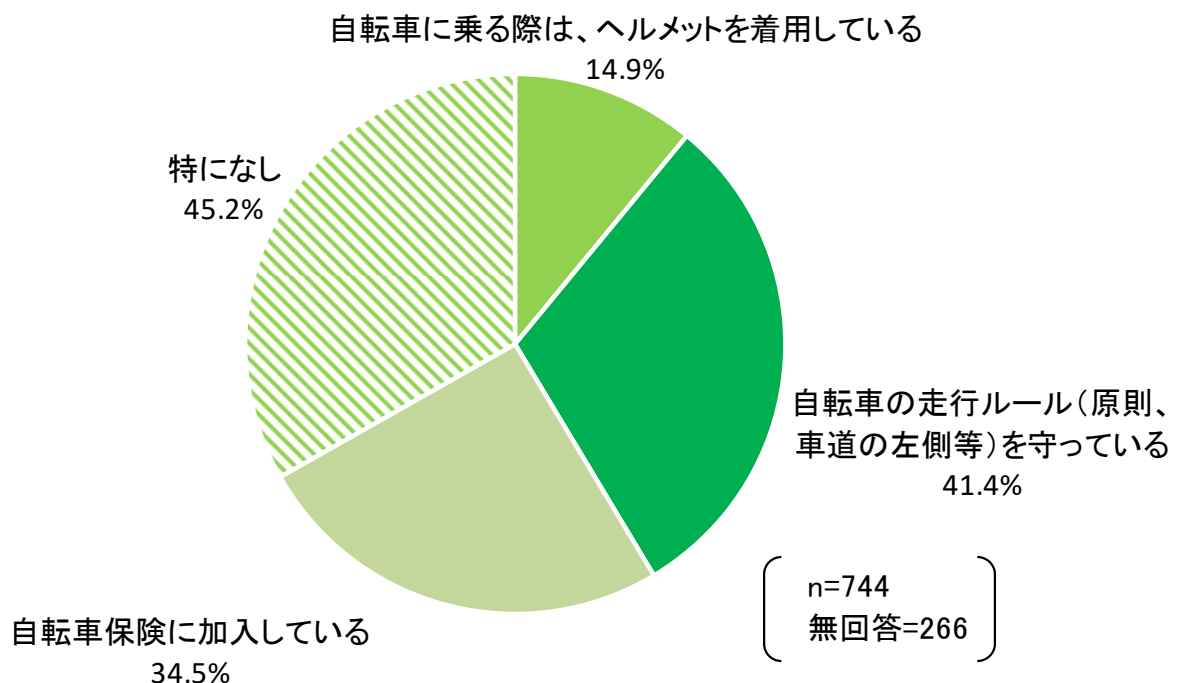
自転車の安全のために心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問3)

自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合は 54.8%となっており、項目としては「特になし」が 45.2%で最も高く、「自転車に乗る際は、ヘルメットを着用している」が 14.9%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「特になし」を性別で見ると、女性(46.2%)が男性(43.0%)より 3.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 56.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 68.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上(転入なし)が 50.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 77.8%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 75.0%で最も高くなっている。

「自転車に乗る際は、ヘルメットを着用している」を性別で見ると、男性(18.3%)が女性(12.4%)より 5.9 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 18.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(子との二世帯)が 18.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年(転入あり)が 23.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 35.7%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	自転車に乗る際は、ヘルメットを着用している	自転車の走行ルール（原則、車道の左側等）を守っている	自転車保険に加入している	特になし
全体		744	14.9	41.4	34.5	45.2
性別	男性	328	18.3	43.9	35.1	43.0
	女性	372	12.4	40.1	33.9	46.2
年齢別	10代	11	18.2	81.8	36.4	18.2
	20代	55	16.4	54.5	41.8	29.1
	30代	87	12.6	42.5	42.5	39.1
	40代	117	17.9	40.2	36.8	41.0
	50代	153	10.5	38.6	38.6	47.7
	60代	133	12.8	32.3	30.8	52.6
	70代	115	18.3	47.8	27.0	44.3
世帯構成別	80代以上	64	18.8	39.1	26.6	56.3
	夫婦	218	15.6	38.1	30.7	49.5
	親子（親との二世帯）	132	11.4	46.2	35.6	38.6
	親子（子との二世帯）	195	18.5	47.2	47.2	33.8
	親子孫（三世帯）	32	15.6	40.6	34.4	43.8
	一人暮らし	136	11.0	35.3	23.5	58.1
居住年数別	その他	22	13.6	27.3	18.2	68.2
	20年以上（転入なし）	199	11.1	37.7	29.1	50.3
	20年以上（転入あり）	313	14.4	41.2	34.5	46.3
	10～19年（転入なし）	14	7.1	50.0	35.7	42.9
	10～19年（転入あり）	97	23.7	41.2	44.3	35.1
	5～9年	56	19.6	42.9	44.6	46.4
	3～4年	24	20.8	54.2	37.5	33.3
居住地区別	2年以下	31	9.7	45.2	25.8	41.9
	厚木北	84	11.9	42.9	32.1	42.9
	厚木南	39	23.1	43.6	35.9	46.2
	依知北	62	14.5	33.9	30.6	50.0
	依知南	44	9.1	50.0	31.8	38.6
	睦合北	35	20.0	37.1	42.9	48.6
	睦合南	53	18.9	45.3	32.1	39.6
	睦合西	27	11.1	44.4	29.6	48.1
	荻野	71	9.9	35.2	23.9	52.1
	小鮎	39	12.8	43.6	35.9	46.2
	南毛利	138	15.2	42.0	39.1	45.7
	南毛利南	42	16.7	47.6	35.7	42.9
	玉川	9	0.0	0.0	22.2	77.8
	相川	57	15.8	49.1	40.4	35.1
幸福度別	緑ヶ丘	14	35.7	35.7	50.0	50.0
	森の里	22	13.6	31.8	31.8	45.5
	とても幸せ	82	18.3	53.7	42.7	36.6
	幸せ	292	18.5	44.5	37.3	39.7
	ふつう	325	11.7	36.9	30.5	50.2
	あまり幸せではない	25	8.0	32.0	28.0	60.0
	幸せではない	12	0.0	16.7	25.0	75.0

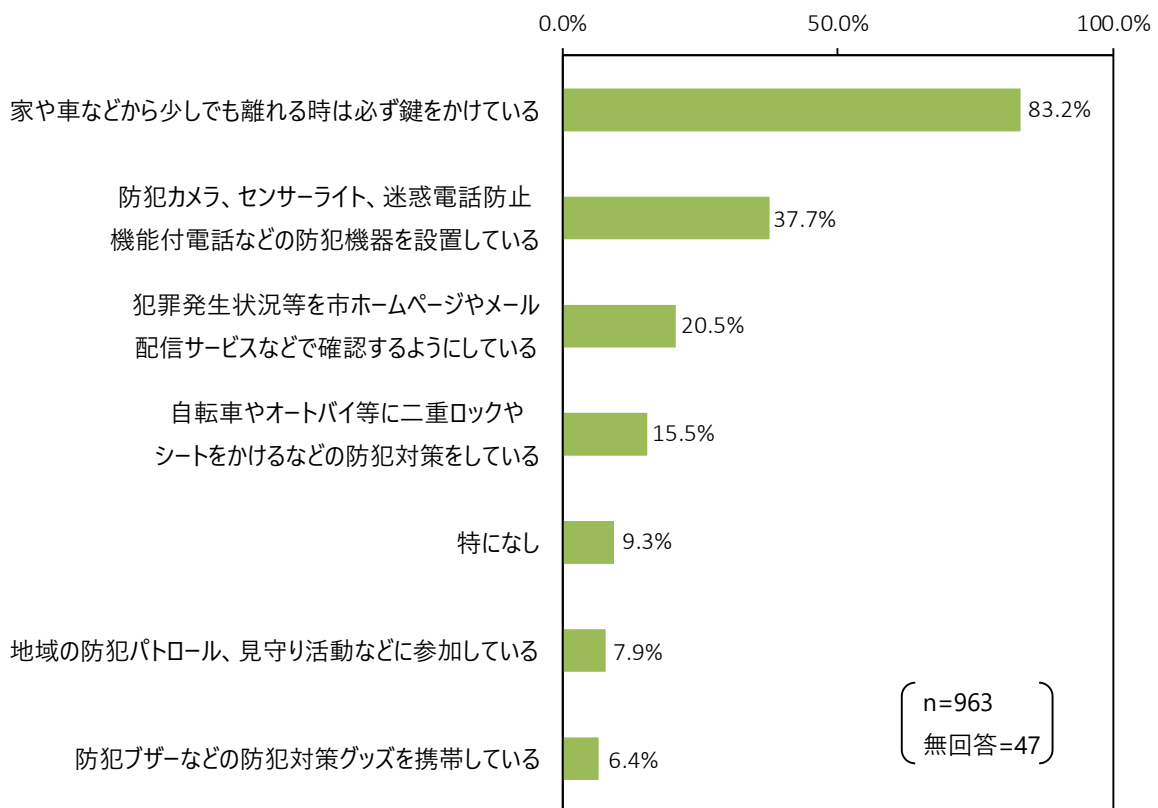
防犯等の対策について心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問4)

防犯等の対策について心掛けていることがある市民の割合は 90.7%となっており、項目としては「家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている」が 83.2%で最も高く、「防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している」が 6.4%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている」を性別で見ると、女性(85.4%)が男性(81.1%)より 4.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50 代が 88.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 89.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 84.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 91.9%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 86.2%で最も高くなっている。

「防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している」を性別で見ると、女性(7.4%)が男性(4.5%)より 2.9 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 27.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 12.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 15.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合南が 14.1%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：％)

		n	防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している	防犯カメラ、センサーライト、迷惑電話防止機能付電話などの防犯機器を設置している	犯罪発生状況等を市ホームページやメール配信サービスなどで確認するようにしている	家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている	自転車やオートバイ等に二重ロックやシートをかけるなどの防犯対策をしている	地域の防犯パトロール、見守り活動などに参加している	特になし
全体		963	6.4	37.7	20.5	83.2	15.5	7.9	9.3
性別	男性	397	4.5	35.3	17.9	81.1	16.9	7.3	11.3
	女性	501	7.4	38.3	22.6	85.4	14.0	7.2	7.8
年齢別	10代	11	27.3	27.3	18.2	54.5	0.0	0.0	36.4
	20代	60	3.3	23.3	18.3	78.3	18.3	5.0	15.0
	30代	91	7.7	24.2	19.8	81.3	15.4	6.6	12.1
	40代	130	11.5	29.2	17.7	77.7	16.9	2.3	12.3
	50代	184	4.3	40.2	28.8	88.6	21.2	7.6	3.3
	60代	169	4.7	43.8	18.9	83.4	10.7	7.1	8.9
	70代	190	5.3	43.2	15.8	86.8	11.6	10.5	6.8
	80代以上	115	7.0	44.3	21.7	82.6	14.8	7.8	11.3
世帯構成別	夫婦	307	6.5	44.0	19.9	89.3	15.6	10.1	7.5
	親子（親との二世帯）	150	5.3	37.3	18.7	78.0	14.7	3.3	9.3
	親子（子との二世帯）	234	7.7	36.8	25.6	84.6	17.9	7.3	8.5
	親子孫（三世帯）	47	4.3	40.4	19.1	80.9	12.8	12.8	4.3
	一人暮らし	178	4.5	29.8	16.9	77.0	11.2	3.4	13.5
	その他	32	12.5	18.8	15.6	78.1	12.5	3.1	18.8
居住年数別	20年以上（転入なし）	248	5.6	40.3	24.2	81.0	16.1	6.5	11.7
	20年以上（転入あり）	439	3.4	43.1	19.4	84.7	15.0	8.0	6.6
	10～19年（転入なし）	14	14.3	21.4	7.1	71.4	7.1	7.1	28.6
	10～19年（転入あり）	119	15.1	32.8	26.9	84.9	18.5	10.1	5.9
	5～9年	62	11.3	22.6	14.5	80.6	12.9	6.5	17.7
	3～4年	28	10.7	28.6	21.4	82.1	10.7	0.0	17.9
	2年以下	38	5.3	10.5	5.3	84.2	10.5	0.0	10.5
居住地区別	厚木北	101	6.9	32.7	18.8	85.1	12.9	3.0	10.9
	厚木南	51	7.8	23.5	23.5	82.4	17.6	3.9	13.7
	依知北	85	7.1	38.8	7.1	83.5	15.3	2.4	9.4
	依知南	53	3.8	49.1	17.0	86.8	18.9	9.4	1.9
	睦合北	44	2.3	36.4	25.0	88.6	18.2	9.1	4.5
	睦合南	71	14.1	35.2	32.4	88.7	18.3	11.3	4.2
	睦合西	37	8.1	43.2	18.9	91.9	13.5	0.0	5.4
	荻野	105	3.8	43.8	26.7	81.9	9.5	4.8	10.5
	小鮎	60	5.0	38.3	20.0	88.3	11.7	10.0	3.3
	南毛利	168	6.5	35.7	18.5	81.0	16.1	9.5	11.3
	南毛利南	53	5.7	49.1	17.0	81.1	18.9	9.4	7.5
	玉川	10	0.0	30.0	10.0	80.0	0.0	0.0	20.0
	相川	62	3.2	38.7	17.7	75.8	14.5	4.8	17.7
	緑ヶ丘	18	11.1	16.7	27.8	55.6	11.1	22.2	16.7
	森の里	32	9.4	34.4	28.1	81.3	15.6	12.5	9.4
幸福度別	とても幸せ	110	12.7	34.5	26.4	81.8	11.8	11.8	8.2
	幸せ	385	6.2	40.8	22.3	86.2	17.1	9.6	8.1
	ふつう	408	4.2	35.5	18.1	81.9	14.2	4.2	10.0
	あまり幸せではない	32	3.1	53.1	12.5	84.4	12.5	3.1	6.3
	幸せではない	15	33.3	6.7	13.3	46.7	13.3	0.0	40.0

2-3-2 輝き政策

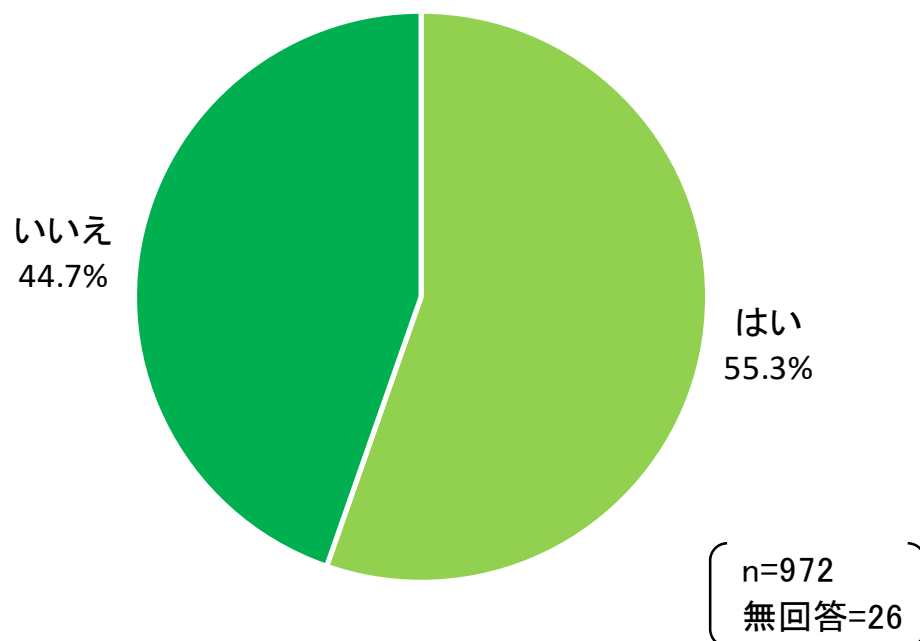
地域の人と日常生活に関わりがありますか。(B:問4)

地域の人と日常生活に関わりがあると思う市民の割合は、「はい」が 55.3%となっており、「いいえ」が 44.7%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(60.7%)が男性(49.4%)より 11.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 69.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 74.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 62.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が 66.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 65.4%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(50.6%)が女性(39.3%)より 11.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 59.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 65.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 78.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 66.7%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		972	55.3	44.7
性別	男性	419	49.4	50.6
	女性	486	60.7	39.3
年齢別	10代	14	64.3	35.7
	20代	62	40.3	59.7
	30代	89	41.6	58.4
	40代	135	45.9	54.1
	50代	181	47.5	52.5
	60代	158	57.6	42.4
	70代	200	68.5	31.5
	80代以上	121	69.4	30.6
世帯構成別	夫婦	300	59.3	40.7
	親子（親との二世代）	142	49.3	50.7
	親子（子との二世代）	252	63.9	36.1
	親子孫（三世代）	47	74.5	25.5
	一人暮らし	186	40.9	59.1
	その他	29	34.5	65.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	218	57.3	42.7
	20年以上（転入あり）	472	62.7	37.3
	10～19年（転入なし）	16	43.8	56.3
	10～19年（転入あり）	102	47.1	52.9
	5～9年	61	52.5	47.5
	3～4年	38	21.1	78.9
	2年以下	53	32.1	67.9
居住地区別	厚木北	118	50.0	50.0
	厚木南	50	52.0	48.0
	依知北	67	61.2	38.8
	依知南	50	52.0	48.0
	睦合北	38	63.2	36.8
	睦合南	88	59.1	40.9
	睦合西	39	53.8	46.2
	荻野	98	58.2	41.8
	小鮎	59	59.3	40.7
	南毛利	180	51.1	48.9
	南毛利南	42	66.7	33.3
	玉川	21	57.1	42.9
	相川	61	55.7	44.3
	緑ヶ丘	18	33.3	66.7
	森の里	26	65.4	34.6
幸福度別	とても幸せ	113	64.6	35.4
	幸せ	356	65.4	34.6
	ふつう	446	48.2	51.8
	あまり幸せではない	34	29.4	70.6
	幸せではない	14	14.3	85.7

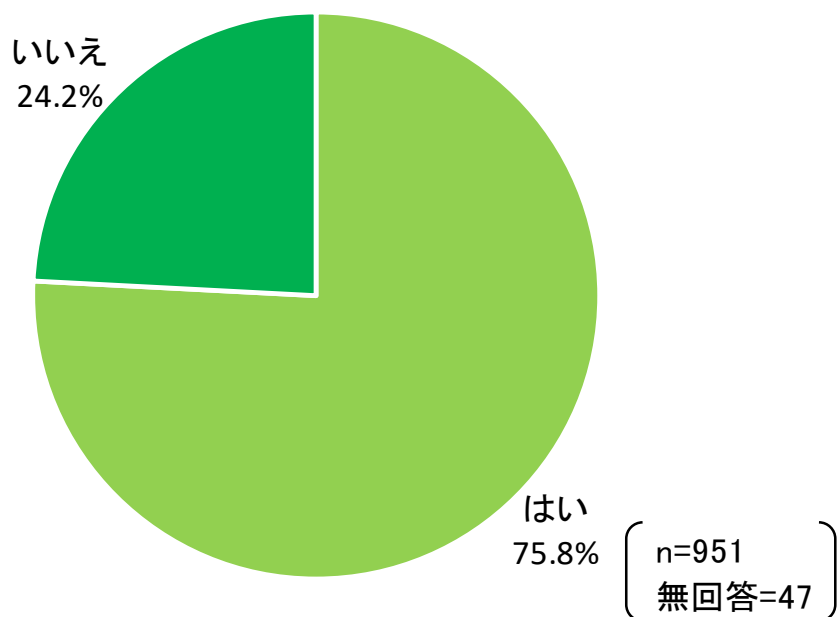
生きがいを持って生活を送っていますか。(B：問5)

生きがいを持って生活を送っている市民の割合は、「はい」が75.8%となっており、「いいえ」が24.2%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(77.7%)が男性(75.5%)より 2.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 92.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 85.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9 年が 81.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 83.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 90.3%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(24.5%)が女性(22.3%)より 2.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50 代が 28.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 37.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 31.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 47.6%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		951	75.8	24.2
性別	男性	408	75.5	24.5
	女性	479	77.7	22.3
年齢別	10代	14	92.9	7.1
	20代	63	77.8	22.2
	30代	88	78.4	21.6
	40代	134	73.1	26.9
	50代	182	72.0	28.0
	60代	155	74.8	25.2
	70代	186	77.4	22.6
	80代以上	118	77.1	22.9
世帯構成別	夫婦	289	78.9	21.1
	親子（親との二世代）	139	69.8	30.2
	親子（子との二世代）	251	83.3	16.7
	親子孫（三世代）	47	85.1	14.9
	一人暮らし	181	64.1	35.9
	その他	29	62.1	37.9
居住年数別	20年以上（転入なし）	212	74.1	25.9
	20年以上（転入あり）	461	77.0	23.0
	10～19年（転入なし）	16	81.3	18.8
	10～19年（転入あり）	101	71.3	28.7
	5～9年	60	81.7	18.3
	3～4年	38	76.3	23.7
	2年以下	51	68.6	31.4
居住地区別	厚木北	116	75.0	25.0
	厚木南	51	78.4	21.6
	依知北	63	82.5	17.5
	依知南	49	75.5	24.5
	睦合北	37	70.3	29.7
	睦合南	84	77.4	22.6
	睦合西	39	76.9	23.1
	荻野	95	76.8	23.2
	小鮎	60	75.0	25.0
	南毛利	176	76.1	23.9
	南毛利南	42	73.8	26.2
	玉川	21	52.4	47.6
	相川	59	78.0	22.0
	緑ヶ丘	18	61.1	38.9
	森の里	24	83.3	16.7
幸福度別	とても幸せ	113	90.3	9.7
	幸せ	350	87.7	12.3
	ふつう	431	67.3	32.7
	あまり幸せではない	35	40.0	60.0
	幸せではない	14	7.1	92.9

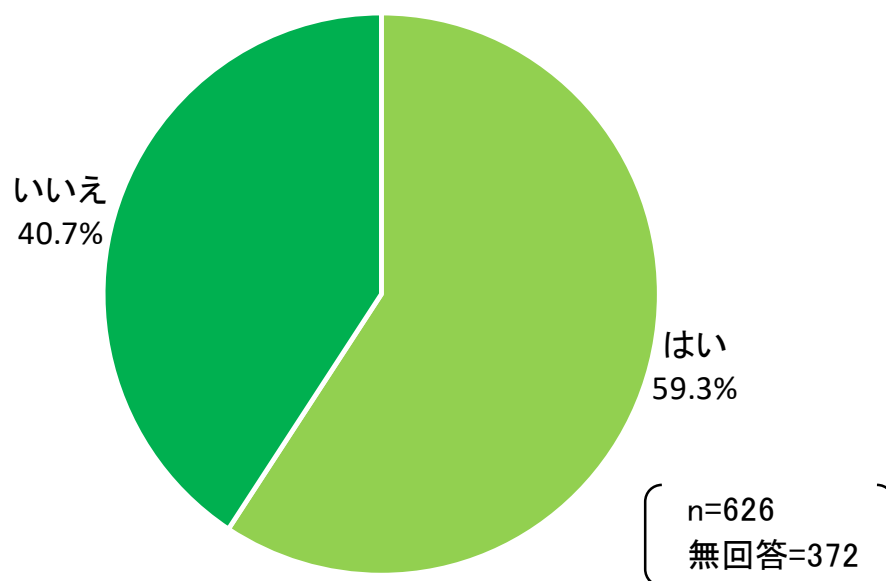
子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がありますか。(B：問6)

子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合は、「はい」が59.3%となっており、「いいえ」が40.7%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(70.3%)が男性(47.8%)より 22.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30 代が 76.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子との子世代）が 73.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9 年が 63.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 77.8%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 76.7%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(52.2%)が女性(29.7%)より 22.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 58.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 65.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 53.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 75.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		626	59.3	40.7
性別	男性	270	47.8	52.2
	女性	317	70.3	29.7
年齢別	10代	10	60.0	40.0
	20代	50	74.0	26.0
	30代	75	76.0	24.0
	40代	112	58.0	42.0
	50代	133	61.7	38.3
	60代	104	51.9	48.1
	70代	92	52.2	47.8
	80代以上	43	41.9	58.1
世帯構成別	夫婦	156	57.7	42.3
	親子（親との二世代）	94	56.4	43.6
	親子（子との二世代）	210	73.8	26.2
	親子孫（三世代）	36	69.4	30.6
	一人暮らし	110	34.5	65.5
	その他	13	38.5	61.5
居住年数別	20年以上（転入なし）	141	61.7	38.3
	20年以上（転入あり）	271	59.0	41.0
	10～19年（転入なし）	13	61.5	38.5
	10～19年（転入あり）	74	58.1	41.9
	5～9年	47	63.8	36.2
	3～4年	31	61.3	38.7
	2年以下	41	46.3	53.7
居住地区別	厚木北	77	67.5	32.5
	厚木南	34	47.1	52.9
	依知北	37	62.2	37.8
	依知南	32	71.9	28.1
	睦合北	20	60.0	40.0
	睦合南	56	66.1	33.9
	睦合西	27	77.8	22.2
	荻野	60	43.3	56.7
	小鮎	38	65.8	34.2
	南毛利	117	55.6	44.4
	南毛利南	29	55.2	44.8
	玉川	14	35.7	64.3
	相川	44	63.6	36.4
	緑ヶ丘	12	25.0	75.0
	森の里	18	66.7	33.3
幸福度別	とても幸せ	86	76.7	23.3
	幸せ	238	71.4	28.6
	ふつう	262	47.7	52.3
	あまり幸せではない	25	24.0	76.0
	幸せではない	10	0.0	100.0

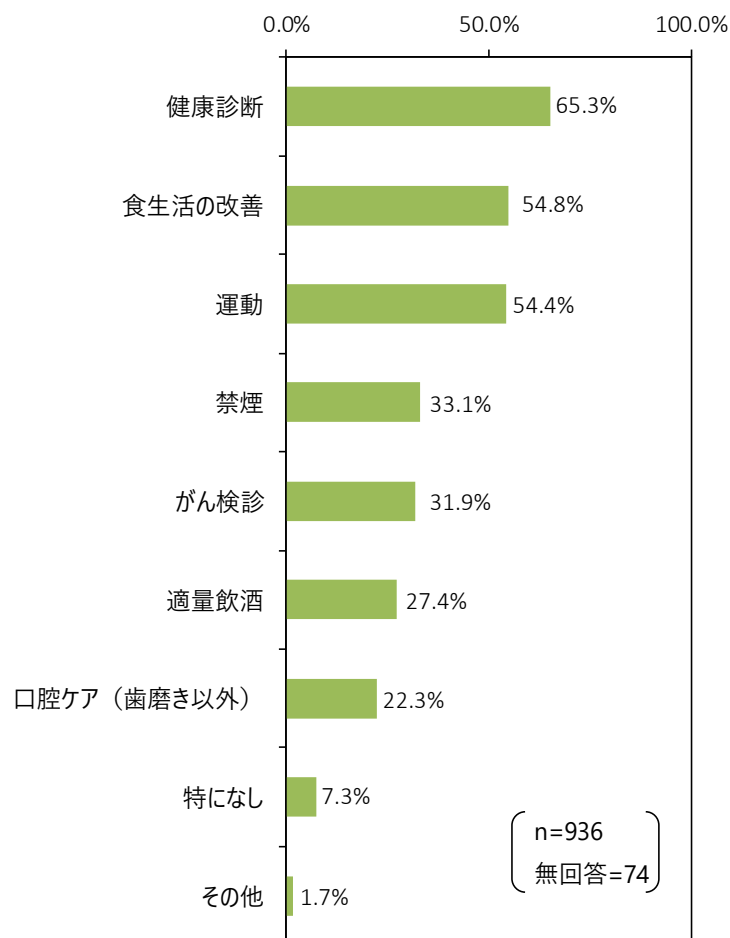
健康増進のために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問5)

健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合は 92.8%となっており、項目としては、その他を除くと「健康診断」が 65.3%で最も高く、「特になし」が 7.3%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「健康診断」を性別で見ると、男性(66.1%)が女性(64.5%)より 1.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 74.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 71.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 72.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が 72.9%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 70.0%で最も高くなっている。

「特になし」を性別で見ると、男性(8.2%)が女性(6.4%)より 1.8 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 14.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 20.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 13.5%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、小鮎が 12.1%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：％)

		n	食生活の改善	運動	禁煙	適量飲酒	口腔ケア (歯磨き以外)	健康診断	がん検診	その他	特になし
全体		936	54.8	54.4	33.1	27.4	22.3	65.3	31.9	1.7	7.3
性別	男性	392	53.3	56.9	39.0	32.4	16.1	66.1	26.3	1.5	8.2
	女性	485	56.1	52.4	27.8	23.1	27.4	64.5	36.1	1.6	6.4
年齢別	10代	11	36.4	63.6	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0
	20代	61	50.8	57.4	34.4	39.3	21.3	45.9	9.8	0.0	14.8
	30代	89	57.3	44.9	31.5	24.7	16.9	58.4	13.5	2.2	11.2
	40代	129	50.4	48.8	23.3	21.7	17.1	58.9	24.8	2.3	7.8
	50代	182	50.5	42.9	29.1	25.8	25.3	70.9	31.9	2.7	7.7
	60代	165	55.2	55.8	35.2	28.5	17.0	65.5	38.8	1.2	5.5
	70代	178	60.7	65.2	41.0	30.9	29.2	74.7	41.6	1.1	2.2
	80代以上	113	59.3	65.5	39.8	29.2	23.9	68.1	43.4	1.8	10.6
世帯構成別	夫婦	301	57.8	61.5	38.2	32.9	23.6	71.1	39.2	1.0	5.6
	親子（親との二世帯）	150	47.3	42.7	36.7	23.3	22.0	54.7	19.3	1.3	8.0
	親子（子との二世帯）	227	54.2	53.7	30.0	28.2	19.4	67.0	33.9	1.3	7.9
	親子孫（三世帯）	45	64.4	48.9	33.3	28.9	42.2	62.2	40.0	2.2	4.4
	一人暮らし	174	55.7	56.3	26.4	21.3	21.8	64.4	26.4	4.0	6.9
	その他	30	53.3	46.7	33.3	23.3	3.3	56.7	26.7	0.0	20.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	242	52.1	47.5	37.2	26.0	21.9	61.6	28.9	2.1	10.7
	20年以上（転入あり）	425	54.1	59.5	35.8	30.4	22.8	72.2	38.4	1.4	4.5
	10～19年（転入なし）	14	50.0	64.3	7.1	7.1	21.4	35.7	14.3	0.0	0.0
	10～19年（転入あり）	114	50.0	50.0	32.5	21.9	26.3	65.8	29.8	0.9	11.4
	5～9年	64	67.2	56.3	20.3	28.1	20.3	54.7	26.6	4.7	3.1
	3～4年	29	62.1	44.8	27.6	34.5	10.3	48.3	17.2	3.4	10.3
	2年以下	37	67.6	48.6	18.9	27.0	16.2	48.6	13.5	0.0	13.5
居住地区別	厚木北	101	50.5	56.4	30.7	27.7	25.7	69.3	32.7	3.0	6.9
	厚木南	48	66.7	50.0	31.3	20.8	14.6	62.5	35.4	2.1	4.2
	依知北	80	53.8	50.0	28.8	26.3	26.3	63.8	23.8	1.3	5.0
	依知南	53	47.2	52.8	39.6	28.3	24.5	58.5	22.6	0.0	7.5
	睦合北	42	54.8	47.6	31.0	19.0	19.0	57.1	31.0	2.4	7.1
	睦合南	71	62.0	60.6	39.4	32.4	19.7	71.8	42.3	1.4	2.8
	睦合西	37	56.8	45.9	45.9	35.1	35.1	59.5	27.0	8.1	10.8
	荻野	103	54.4	59.2	40.8	28.2	22.3	70.9	37.9	0.0	4.9
	小鮎	58	55.2	51.7	27.6	15.5	15.5	46.6	24.1	0.0	12.1
	南毛利	167	55.7	56.3	32.3	31.1	24.6	69.5	35.3	1.2	9.0
	南毛利南	48	47.9	56.3	27.1	29.2	18.8	72.9	29.2	2.1	6.3
	玉川	10	70.0	70.0	30.0	20.0	10.0	70.0	30.0	0.0	0.0
	相川	61	52.5	49.2	29.5	36.1	18.0	63.9	27.9	3.3	11.5
	緑ヶ丘	17	52.9	64.7	29.4	23.5	35.3	70.6	41.2	0.0	5.9
幸福度別	森の里	31	61.3	54.8	32.3	19.4	12.9	58.1	29.0	0.0	3.2
	とても幸せ	113	59.3	59.3	34.5	29.2	23.9	66.4	28.3	1.8	5.3
	幸せ	377	58.6	59.2	38.7	33.2	24.4	70.0	38.2	1.1	4.0
	ふつう	389	49.9	49.6	29.3	23.4	20.3	62.2	28.0	2.1	9.3
	あまり幸せではない 幸せではない	32 16	59.4 43.8	43.8 56.3	18.8 25.0	12.5 18.8	9.4 25.0	53.1 43.8	18.8 25.0	6.3 0.0	21.9 18.8

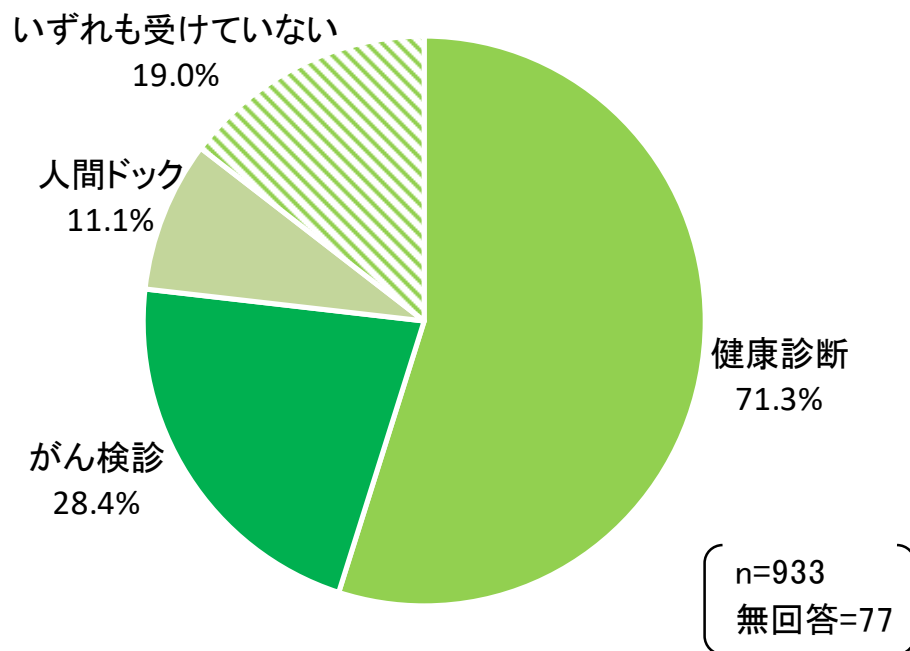
過去1年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問6)

過去1年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合は、81.1%となっており、項目としては「健康診断」が71.3%で最も高く、「人間ドック」が11.1%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「健康診断」を性別で見ると、男性(73.9%)が女性(69.3%)より4.6ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代が78.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、単独が83.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年（転入あり）が77.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が90.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが72.6%で最も高くなっている。

「人間ドック」を性別で見ると、男性(13.7%)が女性(9.3%)より4.4ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60代が18.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が15.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が17.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が30.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：％)

		n	健康 診断	がん 検診	人間 ドック	い ず れ も 受 け て い な い
全体		933	71.3	28.4	11.1	19.0
性別	男性	394	73.9	23.6	13.7	15.7
	女性	482	69.3	30.9	9.3	21.2
年齢別	10代	11	63.6	0.0	0.0	36.4
	20代	60	78.3	8.3	1.7	21.7
	30代	91	71.4	11.0	9.9	20.9
	40代	131	67.2	18.3	13.7	19.1
	50代	184	75.0	27.7	16.3	13.0
	60代	164	63.4	32.3	18.3	18.9
	70代	173	73.4	38.2	6.9	22.0
	80代以上	112	73.2	45.5	3.6	20.5
世帯構成別	夫婦	297	72.4	33.0	15.2	16.8
	親子（親との二世帯）	150	70.7	16.7	8.0	22.7
	親子（子との二世帯）	230	69.6	32.2	13.0	18.7
	親子孫（三世帯）	45	64.4	40.0	6.7	24.4
	一人暮らし	172	71.5	22.1	7.6	19.2
	その他	31	83.9	22.6	3.2	12.9
居住年数別	20年以上（転入なし）	239	71.1	28.0	10.0	21.3
	20年以上（転入あり）	427	71.2	33.7	11.9	17.3
	10～19年（転入なし）	14	64.3	7.1	7.1	35.7
	10～19年（転入あり）	114	77.2	26.3	11.4	12.3
	5～9年	63	68.3	17.5	11.1	22.2
	3～4年	29	62.1	17.2	17.2	27.6
	2年以下	39	66.7	5.1	5.1	28.2
居住地区別	厚木北	99	67.7	26.3	22.2	16.2
	厚木南	47	80.9	27.7	10.6	10.6
	依知北	77	72.7	20.8	10.4	20.8
	依知南	54	68.5	24.1	3.7	24.1
	睦合北	42	73.8	38.1	2.4	16.7
	睦合南	71	74.6	35.2	8.5	15.5
	睦合西	36	63.9	30.6	11.1	22.2
	荻野	105	76.2	34.3	6.7	17.1
	小鮎	56	58.9	19.6	7.1	28.6
	南毛利	169	74.6	29.6	10.7	16.0
	南毛利南	49	63.3	28.6	20.4	24.5
	玉川	10	90.0	20.0	30.0	0.0
	相川	61	70.5	26.2	13.1	21.3
	緑ヶ丘	18	83.3	16.7	5.6	11.1
	森の里	31	58.1	25.8	16.1	32.3
幸福度別	とても幸せ	113	69.9	26.5	11.5	22.1
	幸せ	376	72.6	31.4	14.4	14.6
	ふつう	390	71.5	26.7	9.0	20.0
	あまり幸せではない	30	63.3	16.7	3.3	36.7
	幸せではない	16	50.0	25.0	6.3	43.8

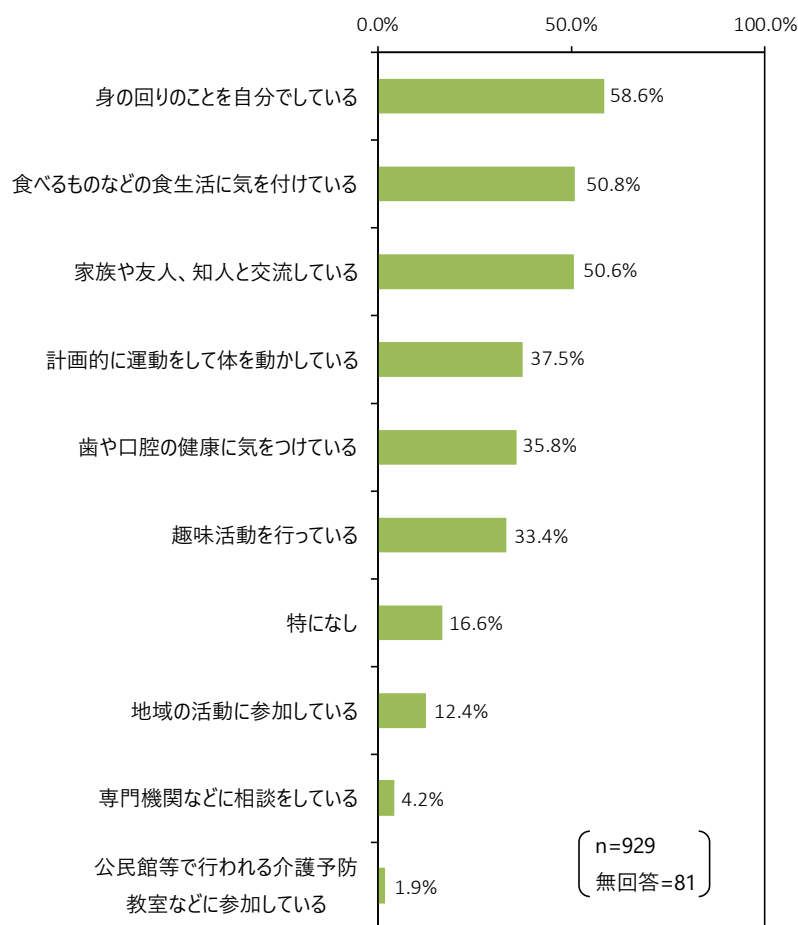
認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問7)

認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることがある市民の割合は 83.4%となっており、項目としては「身の回りのことを自分でしている」が 58.6%で最も高く、「公民館等で行われる介護予防教室などに参加している」が 1.9%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「身の回りのことを自分でしている」を性別で見ると、女性(63.5%)が男性(51.4%)より 12.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 81.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 70.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 65.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 72.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、あまり幸せではないが 60.6%で最も高くなっている。

「公民館等で行われる介護予防教室などに参加している」を性別で見ると、女性(2.5%)が男性(1.3%)より 1.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 7.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 3.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 2.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 5.9%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：％)

		n	公民館等 に参加して いる割合	計画的に 運動をして 体を動かす 割合	食べるもの などの食生 活に気を 付けている 割合	趣味活動 を行っている 割合	歯や口腔 の健康に気 をつけてい る割合	専門機 関などに相 談をしてい る割合	身の回り のことを自 分でしてい る割合	家族や友 人、知人と 交流してい る割合	地域の活 動に参加し ている割合	特になし
全体		929	1.9	37.5	50.8	33.4	35.8	4.2	58.6	50.6	12.4	16.6
性別	男性	389	1.3	39.8	45.0	37.3	31.4	4.1	51.4	41.1	11.8	18.8
	女性	482	2.5	35.3	54.6	31.7	39.0	4.1	63.5	57.9	12.9	14.9
年齢別	10代	10	0.0	40.0	10.0	50.0	10.0	0.0	20.0	50.0	0.0	30.0
	20代	58	1.7	27.6	37.9	29.3	25.9	0.0	32.8	48.3	3.4	31.0
	30代	89	1.1	24.7	29.2	29.2	23.6	1.1	33.7	30.3	1.1	34.8
	40代	128	0.0	32.8	43.8	33.6	26.6	3.9	43.8	39.8	6.3	27.3
	50代	181	0.6	23.2	42.0	26.5	30.9	1.7	50.8	43.6	9.4	21.0
	60代	159	0.6	39.6	54.1	35.2	34.0	3.1	66.0	54.1	15.7	8.8
	70代	181	3.3	55.2	71.3	39.2	49.7	5.0	81.8	66.3	22.7	3.3
	80代以上	115	7.0	47.8	62.6	36.5	48.7	13.0	74.8	60.9	17.4	7.0
世帯構成別	夫婦	298	2.0	43.6	56.7	38.6	39.9	4.4	63.4	58.1	16.1	11.7
	親子（親との二世帯）	144	0.7	22.2	34.7	31.3	32.6	2.1	39.6	47.9	5.6	27.8
	親子（子との二世帯）	229	2.2	34.1	48.9	28.4	31.4	5.2	52.8	46.7	12.2	20.5
	親子孫（三世帯）	46	0.0	32.6	52.2	26.1	54.3	6.5	65.2	47.8	15.2	10.9
	一人暮らし	175	3.4	45.7	56.0	36.0	33.1	4.0	70.9	45.7	9.1	10.9
	その他	29	0.0	31.0	51.7	24.1	27.6	0.0	55.2	44.8	20.7	27.6
居住年数別	20年以上（転入なし）	235	1.3	30.2	45.5	39.6	36.6	4.3	54.5	51.1	14.9	17.9
	20年以上（転入あり）	426	2.8	42.3	55.9	31.7	39.7	4.9	65.7	56.8	14.6	12.0
	10～19年（転入なし）	13	0.0	38.5	38.5	38.5	15.4	0.0	15.4	46.2	0.0	23.1
	10～19年（転入あり）	114	2.6	31.6	44.7	30.7	35.1	2.6	50.0	42.1	9.6	23.7
	5～9年	63	0.0	41.3	49.2	30.2	22.2	1.6	57.1	42.9	4.8	22.2
	3～4年	28	0.0	32.1	46.4	25.0	28.6	0.0	35.7	25.0	0.0	25.0
	2年以下	38	0.0	36.8	50.0	34.2	23.7	2.6	55.3	31.6	0.0	26.3
居住地区別	厚木北	101	1.0	46.5	48.5	28.7	40.6	2.0	51.5	44.6	6.9	16.8
	厚木南	48	4.2	37.5	52.1	25.0	35.4	8.3	52.1	39.6	12.5	22.9
	依知北	77	0.0	37.7	51.9	32.5	36.4	6.5	51.9	41.6	9.1	20.8
	依知南	55	1.8	38.2	52.7	32.7	40.0	10.9	65.5	60.0	10.9	14.5
	睦合北	40	2.5	30.0	50.0	37.5	32.5	5.0	62.5	52.5	25.0	20.0
	睦合南	71	0.0	40.8	47.9	35.2	29.6	4.2	56.3	52.1	11.3	18.3
	睦合西	36	0.0	27.8	50.0	41.7	44.4	5.6	72.2	66.7	5.6	11.1
	荻野	105	1.9	39.0	51.4	29.5	35.2	1.9	65.7	50.5	12.4	11.4
	小鮎	57	1.8	24.6	45.6	26.3	31.6	0.0	54.4	43.9	17.5	24.6
	南毛利	165	2.4	35.8	52.7	36.4	35.8	4.8	60.0	53.3	11.5	15.2
	南毛利南	47	4.3	46.8	51.1	38.3	36.2	0.0	57.4	51.1	14.9	17.0
	玉川	10	0.0	40.0	60.0	20.0	30.0	10.0	70.0	60.0	20.0	10.0
	相川	61	3.3	31.1	49.2	32.8	32.8	3.3	57.4	55.7	18.0	13.1
	緑ヶ丘	17	5.9	41.2	58.8	52.9	47.1	5.9	64.7	58.8	11.8	5.9
幸福度別	森の里	30	3.3	40.0	56.7	46.7	30.0	0.0	50.0	43.3	13.3	20.0
	とても幸せ	112	4.5	44.6	53.6	41.1	36.6	6.3	57.1	67.9	17.9	14.3
	幸せ	371	2.4	40.4	56.3	40.4	37.5	4.6	59.6	58.8	16.7	12.7
	ふつう	388	0.5	33.5	44.3	26.3	34.3	3.6	58.2	39.9	7.5	19.8
	あまり幸せではない 幸せではない	33 16	6.1 0.0	30.3 25.0	57.6 50.0	24.2 18.8	30.3 31.3	0.0 0.0	60.6 50.0	33.3 31.3	9.1 0.0	24.2 25.0

2-3-3 成長政策

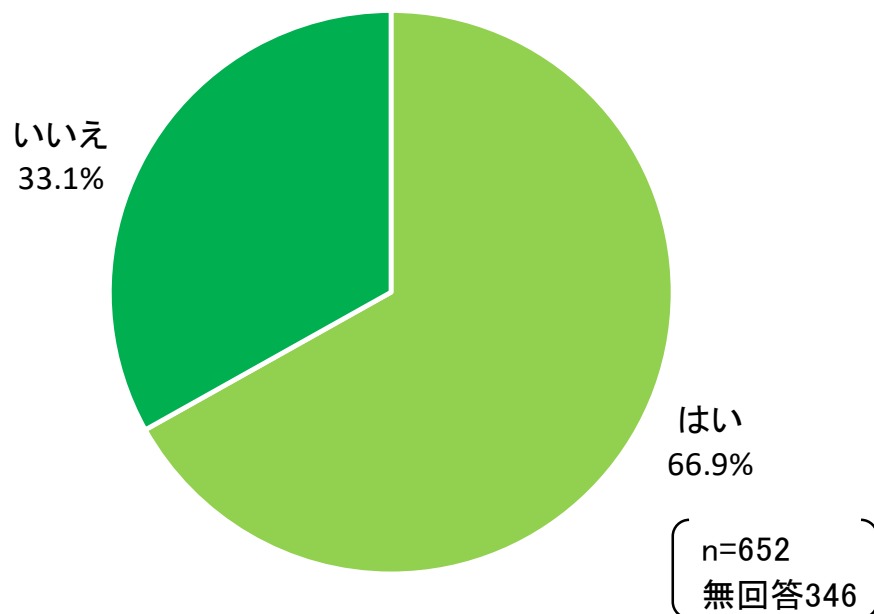
子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思いますか。(B：問7)

子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合は、「はい」が66.9%となっており、「いいえ」が33.1%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(74.1%)が男性(61.4%)より12.7ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30代が75.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が84.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が74.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が87.5%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが81.1%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(38.6%)が女性(25.9%)より12.7ポイント高くなっており、年齢別で見ると、60代が39.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が64.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が45.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が63.6%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		652	66.9	33.1
性別	男性	290	61.4	38.6
	女性	321	74.1	25.9
年齢別	10代	14	64.3	35.7
	20代	52	71.2	28.8
	30代	74	75.7	24.3
	40代	111	68.5	31.5
	50代	134	63.4	36.6
	60代	105	61.0	39.0
	70代	98	72.4	27.6
	80代以上	57	64.9	35.1
世帯構成別	夫婦	168	64.9	35.1
	親子（親との二世代）	105	64.8	35.2
	親子（子との二世代）	209	79.9	20.1
	親子孫（三世代）	38	84.2	15.8
	一人暮らし	111	47.7	52.3
	その他	14	35.7	64.3
居住年数別	20年以上（転入なし）	148	65.5	34.5
	20年以上（転入あり）	286	68.5	31.5
	10～19年（転入なし）	15	66.7	33.3
	10～19年（転入あり）	75	69.3	30.7
	5～9年	48	68.8	31.3
	3～4年	31	74.2	25.8
	2年以下	40	55.0	45.0
居住地区別	厚木北	85	71.8	28.2
	厚木南	31	58.1	41.9
	依知北	39	71.8	28.2
	依知南	35	74.3	25.7
	睦合北	23	82.6	17.4
	睦合南	58	67.2	32.8
	睦合西	25	64.0	36.0
	荻野	64	68.8	31.3
	小鮎	42	66.7	33.3
	南毛利	124	65.3	34.7
	南毛利南	31	64.5	35.5
	玉川	14	50.0	50.0
	相川	44	63.6	36.4
	緑ヶ丘	11	36.4	63.6
	森の里	16	87.5	12.5
幸福度別	とても幸せ	90	81.1	18.9
	幸せ	242	76.9	23.1
	ふつう	278	58.6	41.4
	あまり幸せではない	25	32.0	68.0
	幸せではない	11	27.3	72.7

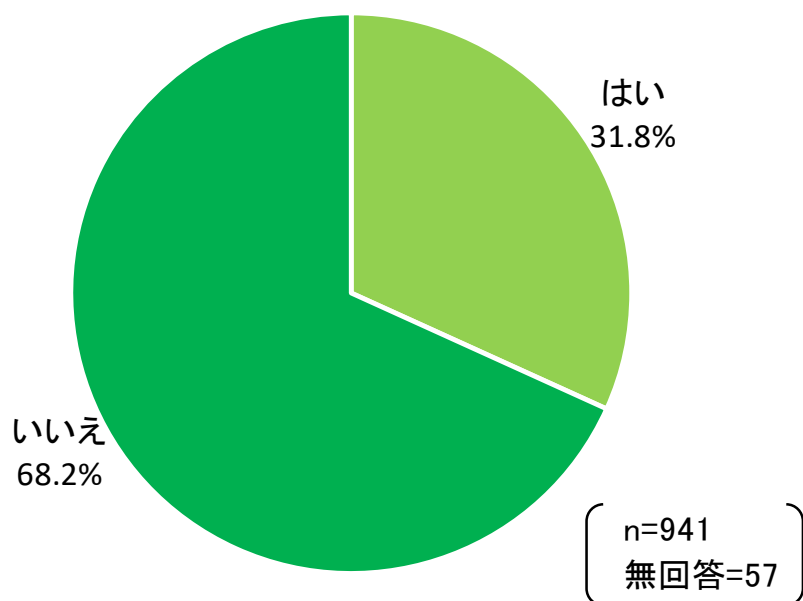
過去１年間に、行事や貸館で公民館を利用しましたか。(B：問８)

過去１年間に、行事や貸館で公民館を利用した市民の割合は、「はい」が31.8%となっており、「いいえ」が68.2%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(34.9%)が男性(28.8%)より 6.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 42.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 43.2%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入なし）が 35.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が 51.2%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 42.3%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(71.2%)が女性(65.1%)より 6.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50 代が 75.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 82.6%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 88.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合西が 76.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		941	31.8	68.2
性別	男性	403	28.8	71.2
	女性	473	34.9	65.1
年齢別	10代	14	28.6	71.4
	20代	63	27.0	73.0
	30代	88	28.4	71.6
	40代	132	26.5	73.5
	50代	180	24.4	75.6
	60代	154	29.2	70.8
	70代	189	41.8	58.2
	80代以上	110	42.7	57.3
世帯構成別	夫婦	288	36.1	63.9
	親子（親との二世代）	142	20.4	79.6
	親子（子との二世代）	245	42.9	57.1
	親子孫（三世代）	44	43.2	56.8
	一人暮らし	178	17.4	82.6
	その他	28	25.0	75.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	209	35.9	64.1
	20年以上（転入あり）	456	34.0	66.0
	10～19年（転入なし）	16	25.0	75.0
	10～19年（転入あり）	100	31.0	69.0
	5～9年	57	33.3	66.7
	3～4年	38	21.1	78.9
	2年以下	54	11.1	88.9
居住地区別	厚木北	113	26.5	73.5
	厚木南	50	34.0	66.0
	依知北	61	42.6	57.4
	依知南	47	34.0	66.0
	睦合北	38	31.6	68.4
	睦合南	86	31.4	68.6
	睦合西	38	23.7	76.3
	荻野	96	35.4	64.6
	小鮎	60	28.3	71.7
	南毛利	170	24.7	75.3
	南毛利南	41	51.2	48.8
	玉川	21	42.9	57.1
	相川	59	33.9	66.1
	緑ヶ丘	18	27.8	72.2
	森の里	26	42.3	57.7
幸福度別	とても幸せ	111	42.3	57.7
	幸せ	348	37.6	62.4
	ふつう	425	26.4	73.6
	あまり幸せではない	34	17.6	82.4
	幸せではない	14	14.3	85.7

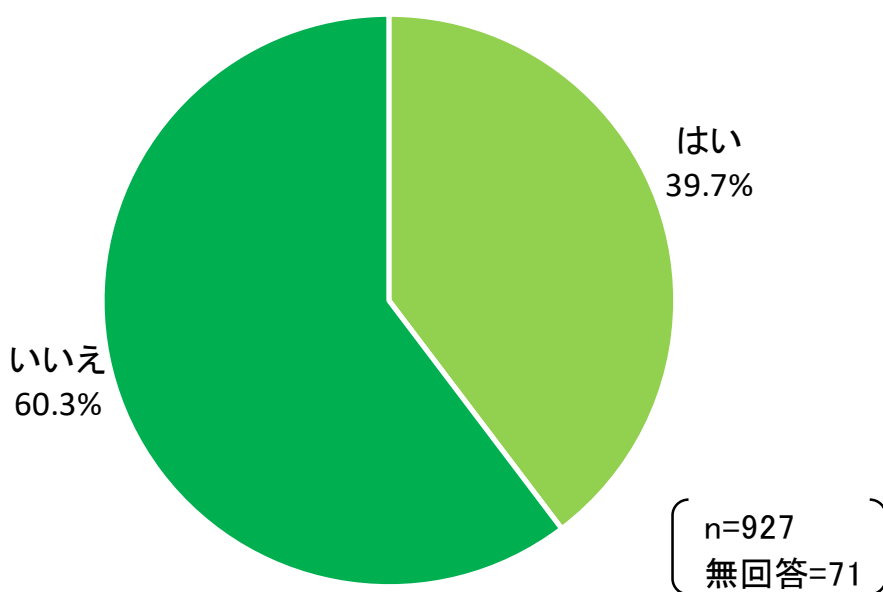
過去 1 年間に、地域や学校の行事に参加又は協力しましたか。(B：問 9)

過去 1 年間に、地域や学校の行事に参加又は協力した市民の割合は、「はい」が 39.7%となっており、「いいえ」が 60.3%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(43.5%)が男性(36.6%)より 6.9 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 71.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子と
の二世代）が 54.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）
が 50.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 53.8%で最も高くなってお
り、幸福度別で見ると、幸せが 48.2%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(63.4%)が女性(56.5%)より 6.9 ポイント高くなってお
り、年齢別で見ると、20 代が 73.0%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮
らしが 77.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 81.1%で最も高くな
っている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 70.6%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		927	39.7	60.3
性別	男性	399	36.6	63.4
	女性	467	43.5	56.5
年齢別	10代	14	71.4	28.6
	20代	63	27.0	73.0
	30代	87	47.1	52.9
	40代	133	43.6	56.4
	50代	181	33.7	66.3
	60代	152	34.2	65.8
	70代	183	47.0	53.0
	80代以上	104	37.5	62.5
世帯構成別	夫婦	286	40.2	59.8
	親子（親との二世代）	140	32.1	67.9
	親子（子との二世代）	244	54.9	45.1
	親子孫（三世代）	42	52.4	47.6
	一人暮らし	176	22.7	77.3
	その他	24	29.2	70.8
居住年数別	20年以上（転入なし）	209	37.3	62.7
	20年以上（転入あり）	446	41.9	58.1
	10～19年（転入なし）	16	50.0	50.0
	10～19年（転入あり）	98	48.0	52.0
	5～9年	57	47.4	52.6
	3～4年	37	18.9	81.1
	2年以下	53	22.6	77.4
居住地区別	厚木北	114	33.3	66.7
	厚木南	50	38.0	62.0
	依知北	59	40.7	59.3
	依知南	46	34.8	65.2
	睦合北	38	44.7	55.3
	睦合南	85	45.9	54.1
	睦合西	35	40.0	60.0
	荻野	96	43.8	56.3
	小鮎	57	40.4	59.6
	南毛利	167	34.1	65.9
	南毛利南	40	50.0	50.0
	玉川	21	47.6	52.4
	相川	59	42.4	57.6
	緑ヶ丘	17	29.4	70.6
	森の里	26	53.8	46.2
幸福度別	とても幸せ	111	47.7	52.3
	幸せ	342	48.2	51.8
	ふつう	417	32.4	67.6
	あまり幸せではない	34	29.4	70.6
	幸せではない	14	7.1	92.9

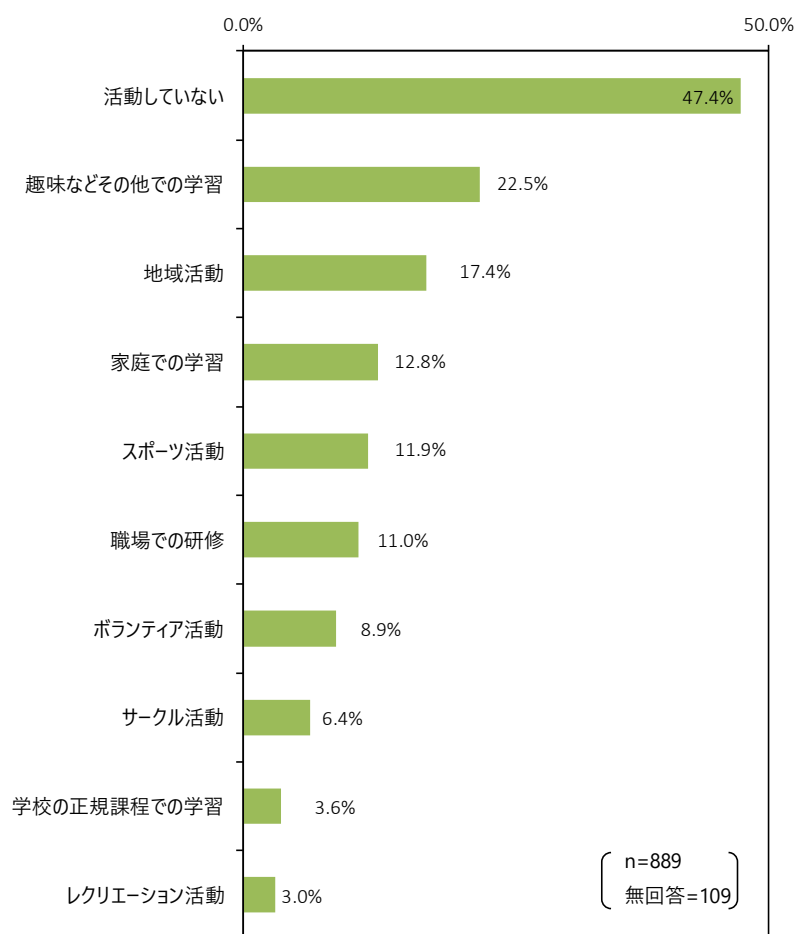
過去1年間に、生涯学習活動をしましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(B：問10)

過去1年間に、生涯学習活動を行った市民の割合は52.6%となっている。項目別では「活動していない」が47.4%で最も高く、「レクリエーション活動」が3.0%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「活動していない」を性別で見ると、男性(48.0%)が女性(45.5%)より2.5ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50代が53.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が80.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が61.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が58.8%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが78.6%で最も高くなっている。

「レクリエーション活動」を性別で見ると、女性(3.3%)が男性(2.9%)より0.4ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80代以上が8.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子(親との二世帯)及び親子孫(三世帯)が同率で4.7%と最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入あり)が4.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が10.5%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：％)

		n	学校の正規課程での学習	家庭での学習	地域活動	ボランティア活動	職場での研修	サークル活動	スポーツ活動	レクリエーション活動	趣味などその他の学習	活動していない
全体		889	3.6	12.8	17.4	8.9	11.0	6.4	11.9	3.0	22.5	47.4
性別	男性	377	4.2	11.1	18.8	8.0	10.1	5.0	13.8	2.9	22.5	48.0
	女性	455	3.5	14.5	16.9	10.3	11.6	7.5	10.1	3.3	22.9	45.5
年齢別	10代	14	57.1	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	0.0	28.6	21.4
	20代	59	18.6	16.9	3.4	6.8	13.6	10.2	11.9	1.7	30.5	44.1
	30代	87	4.6	19.5	10.3	4.6	24.1	2.3	11.5	2.3	18.4	42.5
	40代	124	2.4	21.0	16.9	11.3	17.7	3.2	14.5	1.6	16.9	50.0
	50代	175	1.1	10.9	14.9	4.6	15.4	2.3	6.3	1.7	20.0	53.7
	60代	141	0.7	10.6	19.1	9.2	7.8	5.0	12.1	2.8	19.9	48.9
	70代	171	0.6	8.8	26.9	13.5	3.5	12.3	13.5	3.5	26.3	43.3
	80代以上	108	1.9	5.6	20.4	9.3	0.0	11.1	15.7	8.3	28.7	47.2
世帯構成別	夫婦	275	1.8	13.1	21.8	8.4	10.9	7.6	15.6	2.2	22.5	45.8
	親子（親との二世帯）	128	8.6	12.5	12.5	5.5	10.9	5.5	6.3	4.7	21.1	49.2
	親子（子との二世帯）	228	3.5	16.7	21.9	12.3	12.7	6.1	11.8	3.5	23.7	40.8
	親子孫（三世帯）	43	2.3	9.3	25.6	16.3	7.0	11.6	18.6	4.7	23.3	39.5
	一人暮らし	175	4.0	8.6	9.7	7.4	10.3	4.6	9.1	2.9	22.9	53.7
居住年数別	その他	26	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	3.8	3.8	0.0	11.5	80.8
	20年以上（転入なし）	197	4.6	9.1	18.8	9.6	10.7	8.6	13.2	2.0	22.3	46.7
	20年以上（転入あり）	429	1.2	11.2	20.3	9.8	10.3	6.8	13.3	4.4	25.4	44.3
	10～19年（転入なし）	16	43.8	31.3	12.5	6.3	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	43.8
	10～19年（転入あり）	93	1.1	20.4	11.8	6.5	11.8	4.3	10.8	2.2	17.2	50.5
	5～9年	58	8.6	13.8	20.7	12.1	12.1	3.4	8.6	1.7	15.5	55.2
	3～4年	36	8.3	16.7	8.3	0.0	11.1	2.8	8.3	0.0	11.1	61.1
	2年以下	51	3.9	11.8	5.9	5.9	17.6	3.9	5.9	2.0	23.5	51.0
居住地区別	厚木北	112	8.0	15.2	15.2	8.0	14.3	7.1	16.1	2.7	31.3	42.0
	厚木南	49	2.0	18.4	14.3	6.1	16.3	8.2	12.2	2.0	26.5	46.9
	依知北	61	1.6	9.8	14.8	6.6	6.6	4.9	11.5	3.3	9.8	50.8
	依知南	43	2.3	7.0	11.6	11.6	4.7	2.3	7.0	4.7	14.0	48.8
	睦合北	31	0.0	6.5	9.7	3.2	6.5	6.5	19.4	3.2	25.8	51.6
	睦合南	79	5.1	11.4	25.3	7.6	11.4	5.1	8.9	5.1	16.5	50.6
	睦合西	33	6.1	15.2	15.2	12.1	18.2	6.1	18.2	3.0	15.2	42.4
	荻野	92	3.3	9.8	23.9	9.8	7.6	8.7	14.1	0.0	26.1	43.5
	小鮎	56	1.8	5.4	21.4	5.4	8.9	14.3	12.5	5.4	16.1	53.6
	南毛利	160	2.5	15.0	13.1	8.8	12.5	3.1	8.8	1.3	23.1	50.0
	南毛利南	40	5.0	15.0	22.5	17.5	5.0	10.0	12.5	7.5	37.5	45.0
	玉川	19	0.0	10.5	26.3	5.3	10.5	5.3	5.3	10.5	26.3	36.8
	相川	55	5.5	20.0	20.0	10.9	12.7	10.9	12.7	5.5	21.8	41.8
	緑ヶ丘	17	0.0	0.0	11.8	11.8	11.8	0.0	5.9	0.0	17.6	58.8
	森の里	26	3.8	19.2	26.9	7.7	19.2	3.8	15.4	0.0	26.9	34.6
幸福度別	とても幸せ	107	7.5	24.3	22.4	17.8	14.0	8.4	15.0	4.7	29.9	35.5
	幸せ	336	4.2	14.3	23.2	10.4	11.3	8.6	16.1	4.2	26.5	38.1
	ふつう	394	2.3	9.1	12.4	5.8	10.2	4.8	8.4	2.0	18.5	56.3
	あまり幸せではない 幸せではない	33 14	3.0 0.0	9.1 0.0	12.1 0.0	3.0 0.0	6.1 14.3	0.0 0.0	6.1 0.0	0.0 0.0	15.2 7.1	57.6 78.6

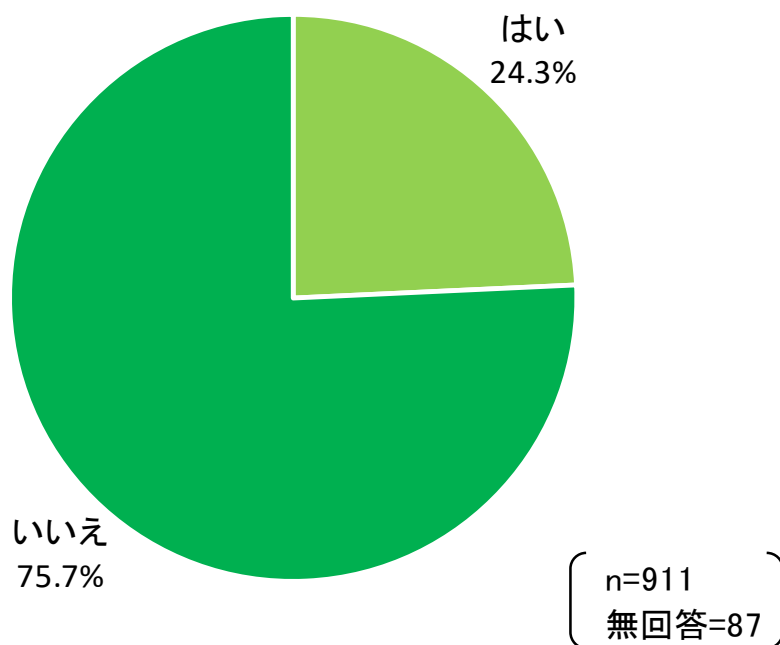
過去1年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用しましたか。(B：問11)

過去1年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用した市民の割合は、「はい」が24.3%となっており、「いいえ」が75.7%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(25.4%)が男性(23.4%)より2.0ポイント高くなっており、年齢別で見ると、40代が34.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（子と二世帯）が28.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年（転入なし）が31.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が36.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが37.0%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(76.6%)が女性(74.6%)より2.0ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50代が84.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世帯）が84.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2年以下が81.5%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知北が83.9%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		911	24.3	75.7
性別	男性	389	23.4	76.6
	女性	464	25.4	74.6
年齢別	10代	14	28.6	71.4
	20代	60	20.0	80.0
	30代	89	23.6	76.4
	40代	130	34.6	65.4
	50代	177	15.8	84.2
	60代	147	25.9	74.1
	70代	176	27.8	72.2
	80代以上	108	21.3	78.7
世帯構成別	夫婦	283	27.2	72.8
	親子（親との二世代）	131	17.6	82.4
	親子（子との二世代）	236	28.8	71.2
	親子孫（三世代）	44	15.9	84.1
	一人暮らし	176	21.6	78.4
	その他	26	19.2	80.8
居住年数別	20年以上（転入なし）	202	20.8	79.2
	20年以上（転入あり）	437	26.1	73.9
	10～19年（転入なし）	16	31.3	68.8
	10～19年（転入あり）	97	25.8	74.2
	5～9年	58	27.6	72.4
	3～4年	37	21.6	78.4
	2年以下	54	18.5	81.5
居住地区別	厚木北	113	26.5	73.5
	厚木南	49	36.7	63.3
	依知北	62	16.1	83.9
	依知南	42	21.4	78.6
	睦合北	30	16.7	83.3
	睦合南	84	26.2	73.8
	睦合西	34	17.6	82.4
	荻野	95	20.0	80.0
	小鮎	56	17.9	82.1
	南毛利	173	24.3	75.7
	南毛利南	41	29.3	70.7
	玉川	19	21.1	78.9
	相川	55	32.7	67.3
	緑ヶ丘	17	17.6	82.4
	森の里	25	36.0	64.0
幸福度別	とても幸せ	108	37.0	63.0
	幸せ	339	30.4	69.6
	ふつう	410	17.8	82.2
	あまり幸せではない	34	11.8	88.2
	幸せではない	14	0.0	100.0

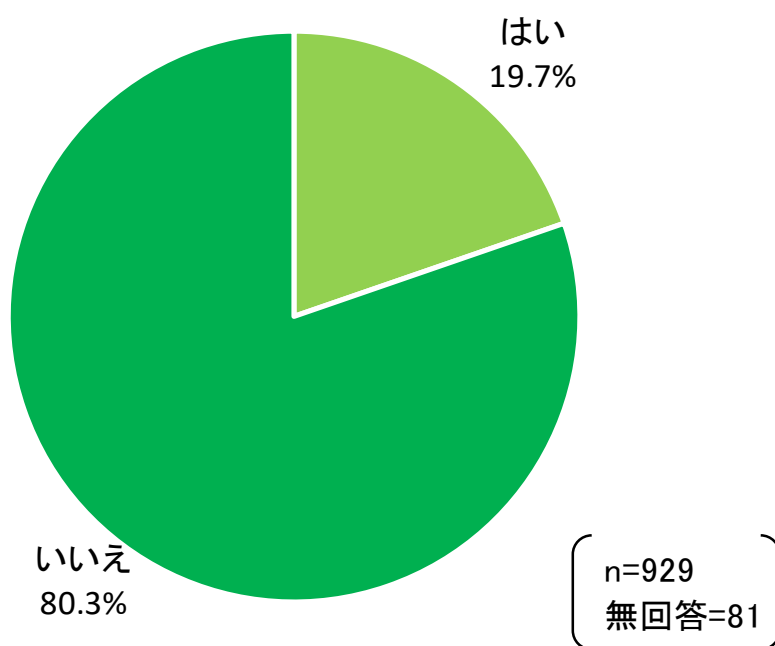
過去１年間に、市内で文化芸術に触れましたか。(A：問８)

過去１年間に、市内で文化芸術に触れた市民の割合は、「はい」が 19.7%となっており、「いいえ」が 80.3%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(20.8%)が男性(18.2%)より 2.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 30.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、夫婦が 25.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9 年が 25.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 32.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 26.1%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(81.8%)が女性(79.2%)より 2.6 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 90.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 87.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 87.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 90.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		929	19.7	80.3
性別	男性	391	18.2	81.8
	女性	485	20.8	79.2
年齢別	10代	11	9.1	90.9
	20代	61	21.3	78.7
	30代	90	16.7	83.3
	40代	130	16.2	83.8
	50代	183	12.6	87.4
	60代	165	15.8	84.2
	70代	178	29.2	70.8
	80代以上	105	30.5	69.5
世帯構成別	夫婦	294	25.9	74.1
	親子（親との二世代）	151	16.6	83.4
	親子（子との二世代）	229	17.9	82.1
	親子孫（三世代）	44	13.6	86.4
	一人暮らし	175	17.1	82.9
	その他	31	12.9	87.1
居住年数別	20年以上（転入なし）	239	20.5	79.5
	20年以上（転入あり）	422	20.9	79.1
	10～19年（転入なし）	14	14.3	85.7
	10～19年（転入あり）	116	12.9	87.1
	5～9年	64	25.0	75.0
	3～4年	28	21.4	78.6
	2年以下	38	13.2	86.8
居住地区別	厚木北	99	20.2	79.8
	厚木南	45	22.2	77.8
	依知北	79	10.1	89.9
	依知南	51	19.6	80.4
	睦合北	42	16.7	83.3
	睦合南	72	19.4	80.6
	睦合西	37	18.9	81.1
	荻野	105	10.5	89.5
	小鮎	58	22.4	77.6
	南毛利	166	23.5	76.5
	南毛利南	49	30.6	69.4
	玉川	10	10.0	90.0
	相川	60	20.0	80.0
	緑ヶ丘	18	27.8	72.2
	森の里	31	32.3	67.7
幸福度別	とても幸せ	111	26.1	73.9
	幸せ	372	25.3	74.7
	ふつう	390	13.8	86.2
	あまり幸せではない	33	12.1	87.9
	幸せではない	16	0.0	100.0

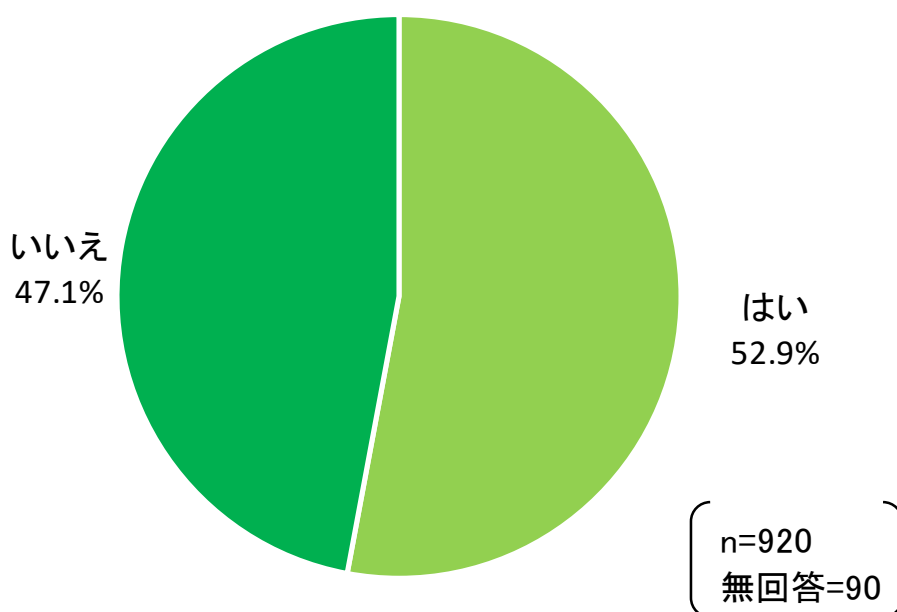
厚木の郷土文化に興味がありますか。(A：問9)

厚木の郷土文化に興味がある市民の割合は、「はい」が52.9%となっており、「いいえ」が47.1%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(53.6%)が男性(52.6%)より 1.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 61.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 65.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入なし）が 55.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 70.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 70.4%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(47.4%)が女性(46.4%)より 1.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 54.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 54.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 63.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、依知北が 60.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		920	52.9	47.1
性別	男性	388	52.6	47.4
	女性	476	53.6	46.4
年齢別	10代	11	45.5	54.5
	20代	61	47.5	52.5
	30代	91	56.0	44.0
	40代	131	53.4	46.6
	50代	181	49.2	50.8
	60代	162	51.2	48.8
	70代	173	53.8	46.2
	80代以上	102	61.8	38.2
世帯構成別	夫婦	288	55.6	44.4
	親子（親との二世代）	151	49.7	50.3
	親子（子との二世代）	228	48.7	51.3
	親子孫（三世代）	44	65.9	34.1
	一人暮らし	172	55.2	44.8
	その他	31	45.2	54.8
居住年数別	20年以上（転入なし）	235	55.3	44.7
	20年以上（転入あり）	419	53.9	46.1
	10～19年（転入なし）	14	50.0	50.0
	10～19年（転入あり）	112	51.8	48.2
	5～9年	63	49.2	50.8
	3～4年	29	48.3	51.7
	2年以下	38	36.8	63.2
居住地区別	厚木北	99	57.6	42.4
	厚木南	46	54.3	45.7
	依知北	78	39.7	60.3
	依知南	51	56.9	43.1
	睦合北	40	42.5	57.5
	睦合南	70	51.4	48.6
	睦合西	37	62.2	37.8
	荻野	104	53.8	46.2
	小鮎	56	46.4	53.6
	南毛利	165	50.9	49.1
	南毛利南	48	66.7	33.3
	玉川	10	70.0	30.0
	相川	59	54.2	45.8
	緑ヶ丘	18	55.6	44.4
	森の里	31	58.1	41.9
幸福度別	とても幸せ	108	70.4	29.6
	幸せ	369	60.7	39.3
	ふつう	386	42.5	57.5
	あまり幸せではない	32	40.6	59.4
	幸せではない	16	25.0	75.0

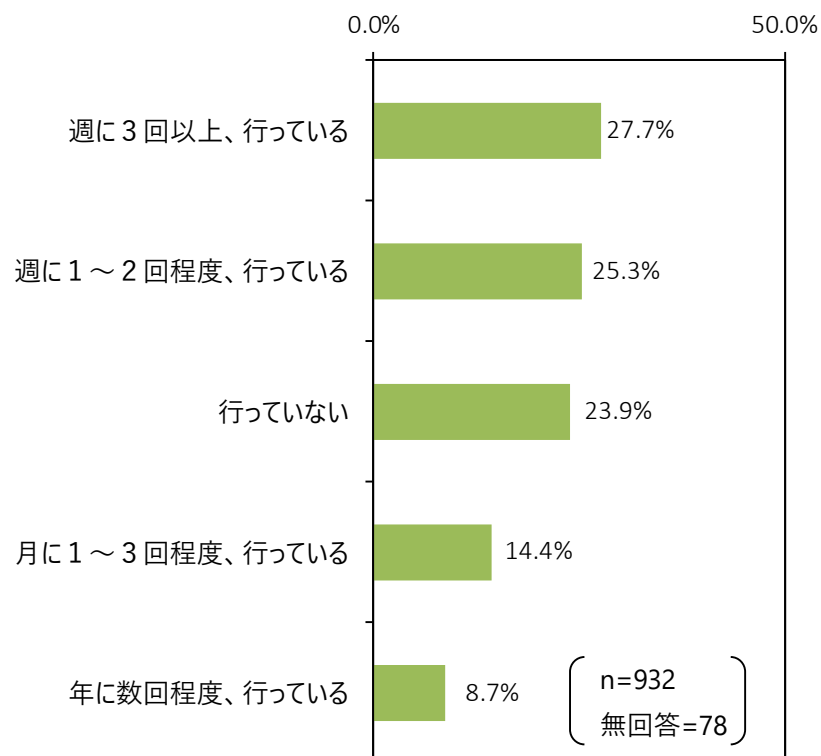
運動・スポーツをどの程度、行っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。(A：問10)

運動・スポーツを行っている市民の割合は76.1%となっており、項目としては「週に3回以上、行っている」が27.7%で最も高くなっており、「年に数回程度、行っている」が8.7%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「週に3回以上、行っている」を性別で見ると、女性(27.1%)が男性(26.3%)より0.8ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10代が45.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が35.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19年（転入なし）が35.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、南毛利南が36.7%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、ふつうが28.3%で最も高くなっている。

「年に数回程度、行っている」を性別で見ると、男性(9.7%)が女性(8.7%)より1.0ポイント高くなっており、年齢別で見ると、40代が16.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが10.7%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が17.2%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、相川が14.8%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	る週 に3 回以上、 行っ てい	て週 に1 ～2 回程度、 行っ	て月 に1 ～3 回程度、 行っ	る年 に数 回程度、 行っ てい	行 っ て い ない
全体		932	27.7	25.3	14.4	8.7	23.9
性別	男性	391	26.3	27.9	14.8	9.7	21.2
	女性	483	27.1	24.2	14.3	8.7	25.7
年齢別	10代	11	45.5	54.5	0.0	0.0	0.0
	20代	61	23.0	29.5	21.3	8.2	18.0
	30代	91	24.2	26.4	16.5	14.3	18.7
	40代	130	20.0	18.5	20.0	16.2	25.4
	50代	182	19.2	26.4	17.6	11.0	25.8
	60代	164	25.0	25.6	13.4	7.3	28.7
	70代	177	40.1	24.3	11.3	4.0	20.3
	80代以上	108	36.1	26.9	5.6	2.8	28.7
世帯構成別	夫婦	299	28.1	28.4	15.4	8.7	19.4
	親子（親との二世帯）	151	18.5	25.2	19.9	7.3	29.1
	親子（子との二世帯）	230	29.6	22.2	12.6	9.6	26.1
	親子孫（三世帯）	45	28.9	22.2	13.3	6.7	28.9
	一人暮らし	168	29.8	26.8	11.3	10.7	21.4
	その他	31	35.5	12.9	9.7	3.2	38.7
居住年数別	20年以上（転入なし）	240	24.2	20.4	19.6	8.8	27.1
	20年以上（転入あり）	422	31.0	26.3	13.0	7.3	22.3
	10～19年（転入なし）	14	35.7	50.0	0.0	7.1	7.1
	10～19年（転入あり）	115	20.9	28.7	11.3	10.4	28.7
	5～9年	63	31.7	20.6	15.9	12.7	19.0
	3～4年	29	20.7	34.5	10.3	17.2	17.2
	2年以下	38	21.1	26.3	13.2	7.9	31.6
居住地区別	厚木北	99	26.3	31.3	9.1	7.1	26.3
	厚木南	47	23.4	40.4	10.6	6.4	19.1
	依知北	78	21.8	23.1	15.4	7.7	32.1
	依知南	51	31.4	27.5	11.8	7.8	21.6
	睦合北	41	29.3	17.1	22.0	12.2	19.5
	睦合南	75	20.0	36.0	16.0	5.3	22.7
	睦合西	37	24.3	21.6	13.5	13.5	27.0
	荻野	100	32.0	21.0	16.0	12.0	19.0
	小鮎	59	32.2	20.3	10.2	6.8	30.5
	南毛利	168	31.5	23.2	16.1	7.7	21.4
	南毛利南	49	36.7	22.4	8.2	10.2	22.4
	玉川	10	30.0	10.0	50.0	10.0	0.0
	相川	61	18.0	21.3	14.8	14.8	31.1
	緑ヶ丘	17	17.6	29.4	11.8	5.9	35.3
	森の里	31	32.3	22.6	19.4	6.5	19.4
幸福度別	とても幸せ	110	28.2	27.3	15.5	9.1	20.0
	幸せ	373	27.9	28.4	16.9	9.4	17.4
	ふつう	392	28.3	22.4	12.2	8.4	28.6
	あまり幸せではない	32	12.5	25.0	15.6	3.1	43.8
	幸せではない	16	25.0	6.3	6.3	6.3	56.3

2-3-4 発展政策

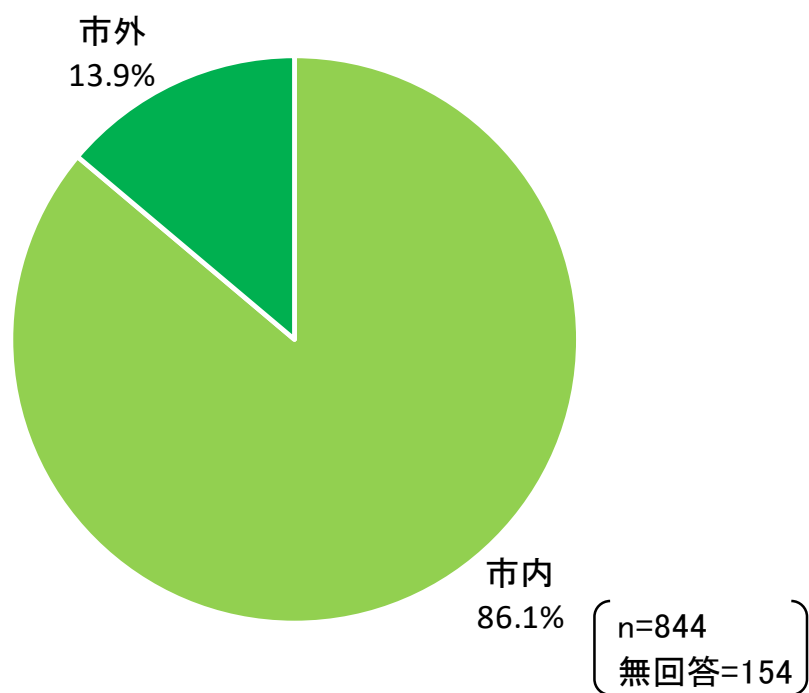
主に利用する店舗の所在地はどこですか。(B：問 12)

主に利用する店舗の所在地については、「市内」が 86.1%となっており、「市外」が 13.9%となっている。

【クロス集計】

「市内」を性別で見ると、女性(88.0%)が男性(85.0%)より 3.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 94.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 91.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 89.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、小鮎が 94.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 89.8%で最も高くなっている。

「市外」を性別で見ると、男性(15.0%)が女性(12.0%)より 3.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 35.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 24.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 25.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 38.9%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	市内	市外
全体		844	86.1	13.9
性別	男性	367	85.0	15.0
	女性	424	88.0	12.0
年齢別	10代	14	64.3	35.7
	20代	56	78.6	21.4
	30代	86	76.7	23.3
	40代	124	85.5	14.5
	50代	160	77.5	22.5
	60代	136	91.9	8.1
	70代	163	94.5	5.5
	80代以上	96	93.8	6.3
世帯構成別	夫婦	259	91.5	8.5
	親子（親との二世代）	124	76.6	23.4
	親子（子との二世代）	223	82.1	17.9
	親子孫（三世代）	40	82.5	17.5
	一人暮らし	161	91.9	8.1
	その他	25	76.0	24.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	185	86.5	13.5
	20年以上（転入あり）	400	89.0	11.0
	10～19年（転入なし）	16	75.0	25.0
	10～19年（転入あり）	91	78.0	22.0
	5～9年	56	82.1	17.9
	3～4年	37	86.5	13.5
	2年以下	51	82.4	17.6
居住地区別	厚木北	106	92.5	7.5
	厚木南	47	93.6	6.4
	依知北	55	61.8	38.2
	依知南	40	75.0	25.0
	睦合北	28	75.0	25.0
	睦合南	77	87.0	13.0
	睦合西	32	87.5	12.5
	荻野	87	85.1	14.9
	小鮎	53	94.3	5.7
	南毛利	160	89.4	10.6
	南毛利南	39	92.3	7.7
	玉川	18	61.1	38.9
	相川	51	90.2	9.8
	緑ヶ丘	15	93.3	6.7
	森の里	24	83.3	16.7
幸福度別	とても幸せ	98	89.8	10.2
	幸せ	312	88.8	11.2
	ふつう	389	83.0	17.0
	あまり幸せではない	28	89.3	10.7
	幸せではない	12	75.0	25.0

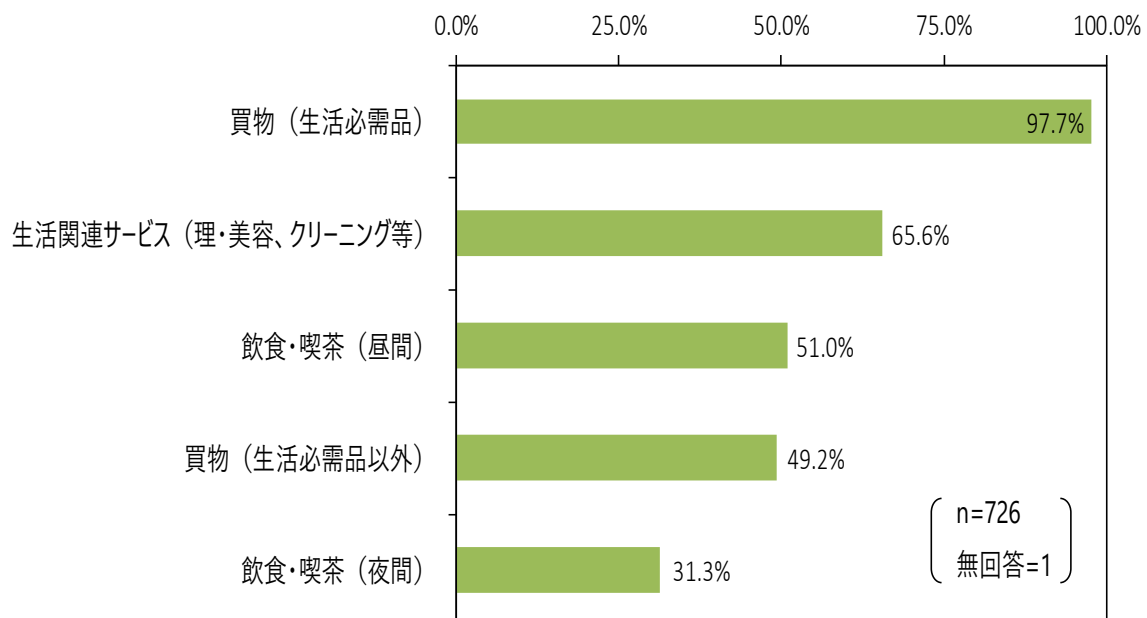
市内の店舗に行く場合、その目的は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(B：問 12- 1)

「市内の店舗を主に利用する」と答えた人のうち、市内の店舗に行く場合の目的は、「買物（生活必需品）」が 97.7%で最も高く、「飲食・喫茶（夜間）」が 31.3%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「買物（生活必需品）」を性別で見ると、女性(97.9%)が男性(97.4%)より 0.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、50 代及び 60 代が同率で 99.2%と最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 100.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）、3～4 年及び 2 年以下が同率で 100.0%と最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南、睦合南、小鮎、玉川、緑ヶ丘及び森の里が同率で 100.0%と最も高くなっており、幸福度別で見ると、あまり幸せではないが 100.0%で最も高くなっている。

「飲食・喫茶（夜間）」を性別で見ると、女性(33.0%)が男性(30.1%)より 2.9 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 59.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 39.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、2 年以下が 47.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が 43.2%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	買物 (生活必需品)	買物 (生活必需品以外)	飲食・喫茶 (昼間)	飲食・喫茶 (夜間)	生活関連サービス (理・美容、クリーニング等)
全体		726	97.7	49.2	51.0	31.3	65.6
性別	男性	312	97.4	48.1	47.8	30.1	62.5
	女性	373	97.9	50.4	55.0	33.0	68.6
年齢別	10代	9	88.9	44.4	88.9	44.4	66.7
	20代	44	93.2	61.4	50.0	59.1	65.9
	30代	66	97.0	47.0	53.0	50.0	54.5
	40代	106	98.1	59.4	59.4	39.6	61.3
	50代	123	99.2	48.0	48.8	34.1	66.7
	60代	125	99.2	47.2	51.2	30.4	68.0
	70代	154	98.7	42.2	50.0	18.8	69.5
	80代以上	90	94.4	50.0	42.2	13.3	66.7
世帯構成別	夫婦	237	98.3	51.1	50.2	32.5	69.2
	親子(親との二世代)	94	96.8	55.3	56.4	28.7	66.0
	親子(子との二世代)	183	97.3	51.9	52.5	33.9	65.0
	親子孫(三世代)	33	93.9	42.4	57.6	39.4	69.7
	一人暮らし	148	98.0	42.6	47.3	29.7	59.5
	その他	19	100.0	42.1	42.1	15.8	57.9
居住年数別	20年以上(転入なし)	159	94.3	54.7	51.6	35.2	69.2
	20年以上(転入あり)	356	99.2	44.9	49.2	25.3	69.4
	10～19年(転入なし)	12	100.0	58.3	66.7	33.3	41.7
	10～19年(転入あり)	71	97.2	45.1	52.1	36.6	59.2
	5～9年	46	93.5	60.9	47.8	30.4	52.2
	3～4年	32	100.0	56.3	62.5	43.8	68.8
	2年以下	42	100.0	52.4	57.1	47.6	47.6
居住地区別	厚木北	98	96.9	50.0	53.1	36.7	71.4
	厚木南	44	100.0	45.5	47.7	43.2	63.6
	依知北	34	94.1	38.2	35.3	17.6	55.9
	依知南	30	96.7	46.7	40.0	33.3	56.7
	睦合北	21	95.2	47.6	33.3	23.8	66.7
	睦合南	67	100.0	59.7	59.7	29.9	76.1
	睦合西	28	92.9	53.6	57.1	32.1	60.7
	荻野	74	98.6	48.6	50.0	39.2	68.9
	小鮎	50	100.0	52.0	48.0	26.0	62.0
	南毛利	142	97.9	50.0	54.2	33.8	64.8
	南毛利南	36	94.4	47.2	52.8	19.4	58.3
	玉川	11	100.0	36.4	27.3	27.3	54.5
	相川	46	97.8	43.5	50.0	26.1	60.9
	緑ヶ丘	14	100.0	57.1	64.3	14.3	64.3
	森の里	20	100.0	50.0	60.0	30.0	75.0
幸福度別	とても幸せ	88	95.5	54.5	58.0	44.3	70.5
	幸せ	277	98.6	53.1	56.7	35.7	67.1
	ふつう	323	97.5	45.2	45.2	26.0	64.4
	あまり幸せではない	25	100.0	48.0	36.0	12.0	48.0
	幸せではない	8	87.5	25.0	37.5	0.0	37.5

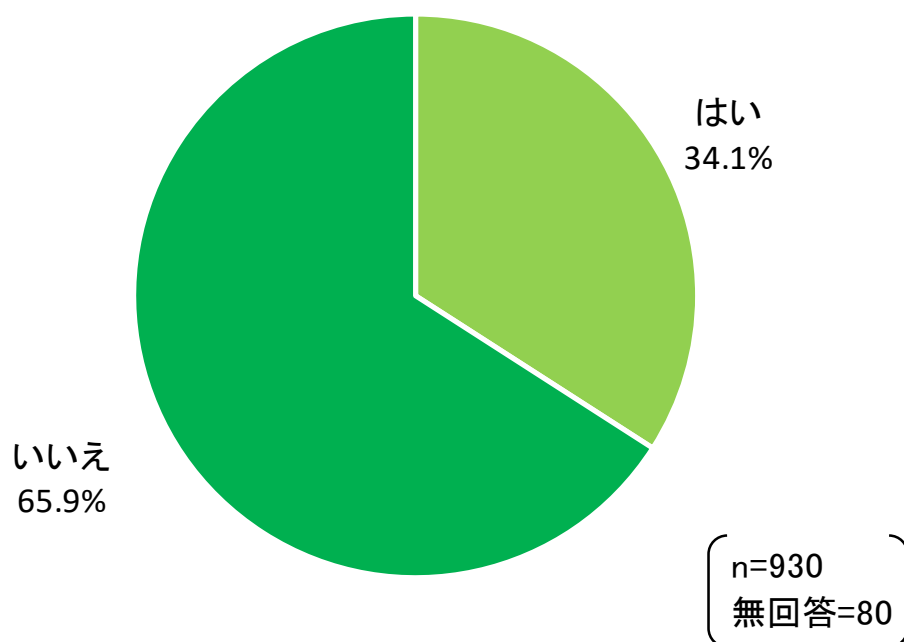
過去１年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をしましたか。(A：問 11)

過去１年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をした市民の割合は、「はい」が 34.1%となっており、「いいえ」が 65.9%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(35.1%)が男性(33.6%)より 1.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、30 代が 48.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 40.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4 年が 58.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 41.9%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 50.0%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(66.4%)が女性(64.9%)より 1.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 74.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 87.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 71.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 90.0%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		930	34.1	65.9
性別	男性	390	33.6	66.4
	女性	485	35.1	64.9
年齢別	10代	11	27.3	72.7
	20代	61	36.1	63.9
	30代	90	48.9	51.1
	40代	129	36.4	63.6
	50代	180	33.3	66.7
	60代	165	39.4	60.6
	70代	178	25.3	74.7
	80代以上	108	26.9	73.1
世帯構成別	夫婦	297	38.4	61.6
	親子（親との二世代）	148	23.0	77.0
	親子（子との二世代）	231	40.7	59.3
	親子孫（三世代）	44	40.9	59.1
	一人暮らし	171	28.7	71.3
	その他	31	12.9	87.1
居住年数別	20年以上（転入なし）	240	29.6	70.4
	20年以上（転入あり）	422	30.8	69.2
	10～19年（転入なし）	14	28.6	71.4
	10～19年（転入あり）	114	40.4	59.6
	5～9年	63	46.0	54.0
	3～4年	29	58.6	41.4
	2年以下	38	44.7	55.3
居住地区別	厚木北	99	37.4	62.6
	厚木南	47	36.2	63.8
	依知北	78	25.6	74.4
	依知南	51	33.3	66.7
	睦合北	41	31.7	68.3
	睦合南	74	37.8	62.2
	睦合西	36	38.9	61.1
	荻野	103	31.1	68.9
	小鮎	58	31.0	69.0
	南毛利	169	39.1	60.9
	南毛利南	48	35.4	64.6
	玉川	10	10.0	90.0
	相川	59	32.2	67.8
	緑ヶ丘	17	17.6	82.4
	森の里	31	41.9	58.1
幸福度別	とても幸せ	108	50.0	50.0
	幸せ	374	41.2	58.8
	ふつう	390	24.9	75.1
	あまり幸せではない	33	21.2	78.8
	幸せではない	16	6.3	93.8

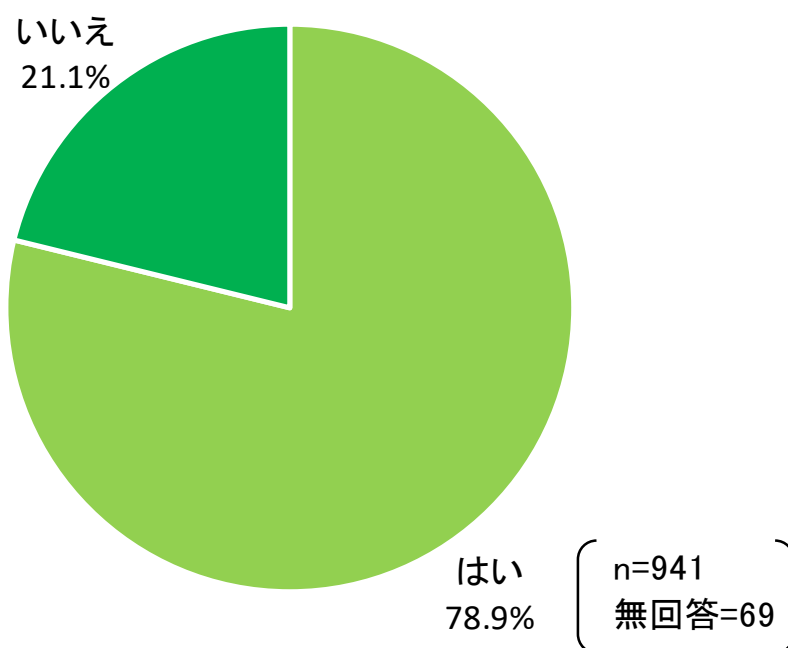
過去１年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入しましたか。(A：問 12)

過去１年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入した市民の割合は、「はい」が 78.9%となっており、「いいえ」が 21.1%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(83.9%)が男性(71.9%)より 12.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 87.2%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 93.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 82.7%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 100.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 82.6%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(28.1%)が女性(16.1%)より 12.0 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 72.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 41.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 57.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が 29.8%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		941	78.9	21.1
性別	男性	392	71.9	28.1
	女性	491	83.9	16.1
年齢別	10代	11	27.3	72.7
	20代	61	55.7	44.3
	30代	91	68.1	31.9
	40代	130	76.2	23.8
	50代	181	83.4	16.6
	60代	166	84.9	15.1
	70代	180	87.2	12.8
	80代以上	113	77.9	22.1
世帯構成別	夫婦	299	84.6	15.4
	親子（親との二世代）	151	68.9	31.1
	親子（子との二世代）	231	84.8	15.2
	親子孫（三世代）	45	93.3	6.7
	一人暮らし	175	69.1	30.9
	その他	31	58.1	41.9
居住年数別	20年以上（転入なし）	243	76.1	23.9
	20年以上（転入あり）	427	82.7	17.3
	10～19年（転入なし）	14	42.9	57.1
	10～19年（転入あり）	115	82.6	17.4
	5～9年	64	73.4	26.6
	3～4年	29	79.3	20.7
	2年以下	38	60.5	39.5
居住地区別	厚木北	101	74.3	25.7
	厚木南	47	70.2	29.8
	依知北	79	74.7	25.3
	依知南	53	79.2	20.8
	睦合北	41	73.2	26.8
	睦合南	75	82.7	17.3
	睦合西	37	73.0	27.0
	荻野	103	88.3	11.7
	小鮎	59	78.0	22.0
	南毛利	170	78.8	21.2
	南毛利南	48	83.3	16.7
	玉川	10	100.0	0.0
	相川	60	80.0	20.0
	緑ヶ丘	18	72.2	27.8
	森の里	31	80.6	19.4
幸福度別	とても幸せ	111	76.6	23.4
	幸せ	379	82.6	17.4
	ふつう	393	76.6	23.4
	あまり幸せではない	33	72.7	27.3
	幸せではない	16	75.0	25.0

2-3-5 潤い政策

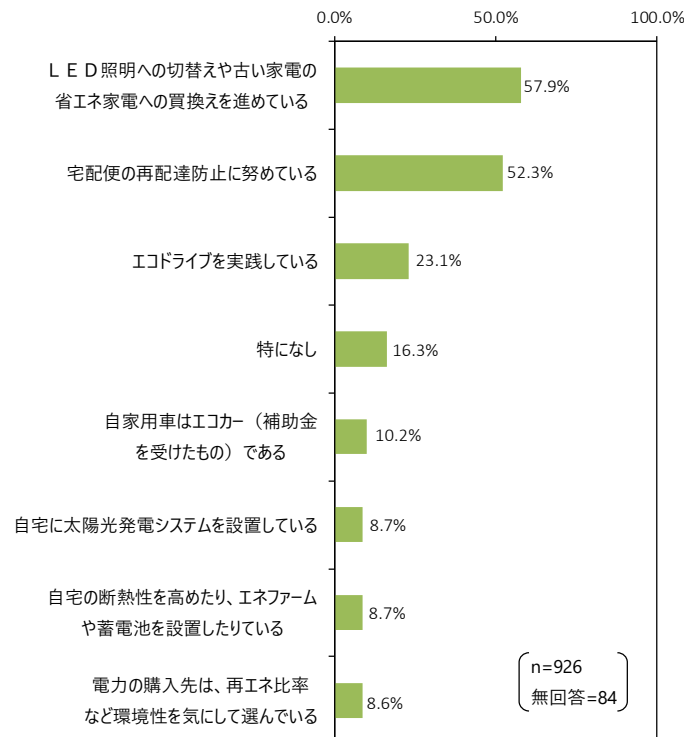
地球温暖化を緩和するために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(A：問 13)

地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合は 84.0%となっており、項目としては「L E D照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている」が 57.9%で最も高く、「電力の購入先は、再エネ比率など環境性を気にして選んでいる」が 8.6%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「L E D照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている」を性別で見ると、女性(58.5%)が男性(56.2%)より 2.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 69.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 73.3%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 67.4%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 71.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、とても幸せが 62.7%で最も高くなっている。

「電力の購入先は、再エネ比率など環境性を気にして選んでいる」を性別で見ると、女性(8.9%)が男性(8.7%)より 0.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 14.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 13.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入なし）が 9.6%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 18.8%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	自宅に太陽光発電システムを設置している	自宅の断熱性を高めたり、エネファームや蓄電池を設置したりしている	LED照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている	電力の購入先は、再エネ比率など環境性を気にして選んでいる	自家用車はエコカー（補助金を受けたもの）である	エコドライブを実践している	宅配便の再配達防止に努めている	特になし
全体		926	8.7	8.7	57.9	8.6	10.2	23.1	52.3	16.3
性別	男性	390	6.7	8.5	56.2	8.7	12.1	27.2	44.9	19.0
	女性	482	10.2	9.3	58.5	8.9	9.1	20.5	59.8	13.5
年齢別	10代	11	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	54.5	27.3
	20代	59	11.9	5.1	39.0	3.4	8.5	15.3	42.4	32.2
	30代	91	11.0	9.9	31.9	3.3	11.0	19.8	48.4	26.4
	40代	129	12.4	7.8	55.8	8.5	8.5	25.6	55.8	14.7
	50代	182	7.1	9.9	61.0	4.9	10.4	25.3	57.1	14.8
	60代	163	9.2	11.0	68.1	10.4	15.3	28.8	54.0	8.6
	70代	174	6.3	9.8	63.2	12.6	9.8	28.2	51.1	15.5
	80代以上	109	5.5	4.6	69.7	14.7	6.4	10.1	46.8	14.7
世帯構成別	夫婦	296	7.4	10.5	66.9	9.1	10.5	27.0	48.6	10.8
	親子（親との二世帯）	149	9.4	6.0	47.0	2.7	7.4	18.1	49.7	22.8
	親子（子との二世帯）	230	11.3	10.4	67.0	10.0	14.3	25.2	57.4	14.3
	親子孫（三世帯）	45	22.2	20.0	73.3	6.7	8.9	22.2	55.6	6.7
	一人暮らし	169	2.4	3.0	40.2	11.2	7.7	19.5	51.5	24.3
	その他	29	17.2	10.3	31.0	13.8	6.9	20.7	55.2	24.1
居住年数別	20年以上（転入なし）	240	12.5	9.6	55.4	9.6	7.5	22.1	48.3	21.3
	20年以上（転入あり）	423	7.6	8.0	67.4	9.5	13.0	25.5	53.2	11.6
	10～19年（転入なし）	14	14.3	14.3	21.4	7.1	0.0	14.3	42.9	35.7
	10～19年（転入あり）	112	8.0	10.7	56.3	7.1	8.9	28.6	58.0	12.5
	5～9年	62	8.1	6.5	43.5	8.1	11.3	17.7	59.7	19.4
	3～4年	29	0.0	3.4	34.5	0.0	10.3	10.3	48.3	24.1
	2年以下	38	7.9	13.2	26.3	7.9	2.6	13.2	47.4	31.6
居住地区別	厚木北	99	6.1	5.1	52.5	8.1	10.1	18.2	55.6	17.2
	厚木南	46	6.5	6.5	47.8	8.7	4.3	13.0	45.7	26.1
	依知北	77	6.5	2.6	54.5	11.7	6.5	15.6	51.9	18.2
	依知南	54	5.6	3.7	63.0	3.7	11.1	11.1	38.9	14.8
	睦合北	42	9.5	7.1	59.5	14.3	9.5	31.0	42.9	16.7
	睦合南	72	6.9	11.1	61.1	5.6	8.3	26.4	55.6	9.7
	睦合西	36	8.3	11.1	58.3	5.6	13.9	25.0	55.6	16.7
	荻野	103	12.6	10.7	63.1	8.7	9.7	27.2	48.5	14.6
	小鮎	57	14.0	15.8	56.1	10.5	10.5	22.8	56.1	17.5
	南毛利	167	7.2	9.0	55.7	9.6	10.2	27.5	60.5	14.4
	南毛利南	47	4.3	6.4	68.1	4.3	10.6	31.9	46.8	19.1
	玉川	10	20.0	20.0	40.0	0.0	10.0	50.0	30.0	20.0
	相川	60	13.3	18.3	58.3	11.7	18.3	25.0	46.7	16.7
	緑ヶ丘	16	25.0	0.0	50.0	18.8	12.5	18.8	50.0	25.0
	森の里	31	9.7	6.5	71.0	3.2	12.9	19.4	64.5	12.9
幸福度別	とても幸せ	110	12.7	14.5	62.7	11.8	13.6	28.2	58.2	10.9
	幸せ	372	11.0	11.8	62.1	9.1	9.9	25.3	51.3	13.2
	ふつう	389	5.9	4.6	53.7	7.5	9.8	19.8	50.6	20.1
	あまり幸せではない	31	6.5	9.7	51.6	9.7	6.5	25.8	64.5	12.9
	幸せではない	15	0.0	0.0	40.0	6.7	6.7	20.0	46.7	40.0

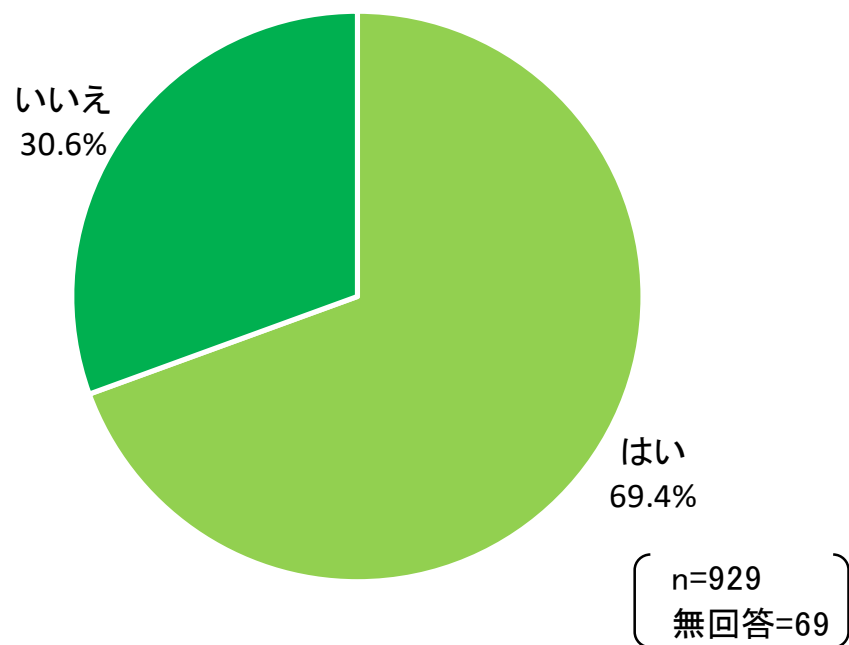
ごみの減量ができていますか。(B：問 13)

ごみの減量を意識している市民の割合は、「はい」が 69.4%となっており、「いいえ」が 30.6%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(69.7%)が男性(67.6%)より 2.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70代が85.9%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が77.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 74.8%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 85.0%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 78.6%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(32.4%)が女性(30.3%)より 2.1 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 57.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子（親との二世帯）が 39.8%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 62.5%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が 38.7%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

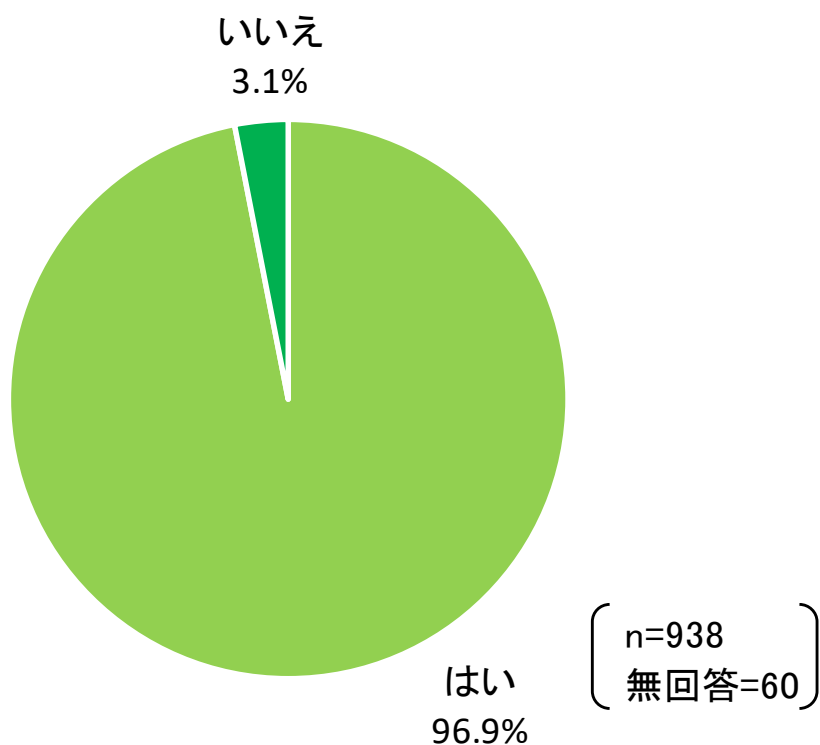
		n	はい	いいえ
全体		929	69.4	30.6
性別	男性	392	67.6	32.4
	女性	476	69.7	30.3
年齢別	10代	14	42.9	57.1
	20代	59	45.8	54.2
	30代	88	58.0	42.0
	40代	130	60.0	40.0
	50代	176	62.5	37.5
	60代	147	74.1	25.9
	70代	184	85.9	14.1
	80代以上	121	83.5	16.5
世帯構成別	夫婦	285	74.0	26.0
	親子（親との二世代）	133	60.2	39.8
	親子（子との二世代）	246	63.0	37.0
	親子孫（三世代）	46	73.9	26.1
	一人暮らし	178	77.5	22.5
	その他	27	77.8	22.2
居住年数別	20年以上（転入なし）	209	67.9	32.1
	20年以上（転入あり）	449	74.8	25.2
	10～19年（転入なし）	16	37.5	62.5
	10～19年（転入あり）	98	67.3	32.7
	5～9年	58	62.1	37.9
	3～4年	37	51.4	48.6
	2年以下	52	67.3	32.7
居住地区別	厚木北	114	68.4	31.6
	厚木南	49	67.3	32.7
	依知北	63	76.2	23.8
	依知南	45	66.7	33.3
	睦合北	31	61.3	38.7
	睦合南	84	69.0	31.0
	睦合西	37	70.3	29.7
	荻野	96	63.5	36.5
	小鮎	59	79.7	20.3
	南毛利	175	66.9	33.1
	南毛利南	42	61.9	38.1
	玉川	20	85.0	15.0
	相川	56	76.8	23.2
	緑ヶ丘	18	77.8	22.2
	森の里	25	72.0	28.0
幸福度別	とても幸せ	110	70.0	30.0
	幸せ	341	67.7	32.3
	ふつう	426	72.3	27.7
	あまり幸せではない	33	51.5	48.5
	幸せではない	14	78.6	21.4

資源の分別を意識している市民の割合は、「はい」が 96.9%となっており、「いいえ」が 3.1%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、男性（97.5%）が女性（96.3%）より 1.2 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 99.5%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 100.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入あり）が 99.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると玉川及び緑ヶ丘が同率で 100.0%と最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが 100.0%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、女性（3.8%）が男性（2.5%）より 1.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、10 代が 7.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、一人暮らしが 3.9%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 6.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、睦合北が 6.5%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		938	96.9	3.1
性別	男性	396	97.5	2.5
	女性	480	96.3	3.8
年齢別	10代	14	92.9	7.1
	20代	60	95.0	5.0
	30代	88	93.2	6.8
	40代	130	95.4	4.6
	50代	178	97.2	2.8
	60代	148	96.6	3.4
	70代	186	99.5	0.5
	80代以上	124	99.2	0.8
世帯構成別	夫婦	291	97.9	2.1
	親子（親との二世代）	133	96.2	3.8
	親子（子との二世代）	247	96.8	3.2
	親子孫（三世代）	45	100.0	0.0
	一人暮らし	180	96.1	3.9
	その他	28	96.4	3.6
居住年数別	20年以上（転入なし）	209	95.7	4.3
	20年以上（転入あり）	456	97.6	2.4
	10～19年（転入なし）	16	93.8	6.3
	10～19年（転入あり）	98	99.0	1.0
	5～9年	59	96.6	3.4
	3～4年	37	94.6	5.4
	2年以下	53	96.2	3.8
居住地区別	厚木北	117	99.1	0.9
	厚木南	50	98.0	2.0
	依知北	62	95.2	4.8
	依知南	46	95.7	4.3
	睦合北	31	93.5	6.5
	睦合南	85	95.3	4.7
	睦合西	37	97.3	2.7
	荻野	97	96.9	3.1
	小鮎	59	98.3	1.7
	南毛利	176	96.6	3.4
	南毛利南	42	97.6	2.4
	玉川	20	100.0	0.0
	相川	56	98.2	1.8
	緑ヶ丘	19	100.0	0.0
	森の里	26	96.2	3.8
幸福度別	とても幸せ	111	97.3	2.7
	幸せ	349	97.1	2.9
	ふつう	426	97.4	2.6
	あまり幸せではない	33	90.9	9.1
	幸せではない	14	100.0	0.0

2-3-6 共創政策

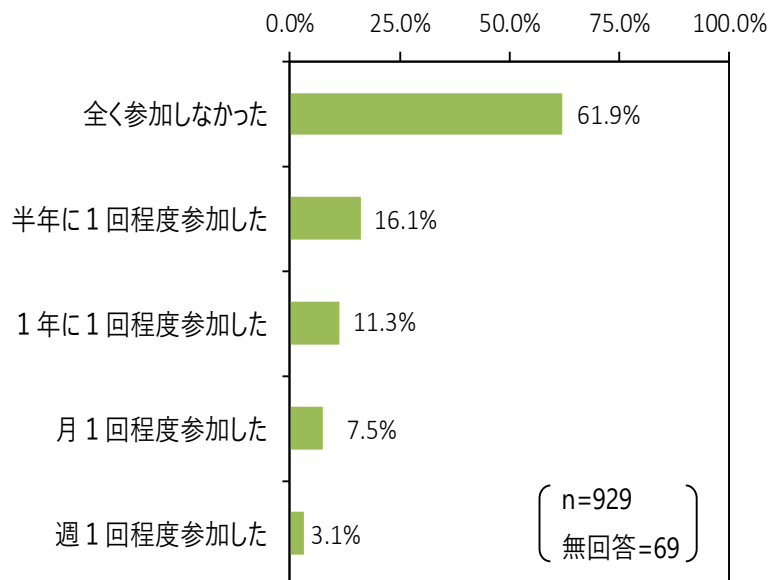
過去1年間に、自治会やボランティア・NPO等の活動に参加しましたか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。(B: 問15)

過去1年間に、自治会やボランティア・NPO等の活動に参加した市民の割合は38.1%となっており、項目別では「全く参加しなかった」が61.9%で最も高く、「週1回程度参加した」が3.1%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「全く参加しなかった」を性別で見ると、男性(62.4%)が女性(61.4%)より1.0ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20代が89.8%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が82.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、3～4年が86.5%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、厚木南が76.6%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せではないが92.9%で最も高くなっている。

「週1回程度参加した」を性別で見ると、女性(3.6%)が男性(2.8%)より0.8ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80代以上が7.4%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫(三世代)が6.4%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20年以上(転入なし)が5.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、相川が10.7%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	週 1 回 程 度 参 加 し た	月 1 回 程 度 参 加 し た	半 年 に 1 回 程 度 参 加 し た	1 年 に 1 回 程 度 参 加 し た	全 く 参 加 し な か っ た
全体		929	3.1	7.5	16.1	11.3	61.9
性別	男性	396	2.8	10.1	15.9	8.8	62.4
	女性	474	3.6	5.9	16.5	12.7	61.4
年齢別	10代	14	0.0	7.1	7.1	7.1	78.6
	20代	59	3.4	1.7	1.7	3.4	89.8
	30代	88	0.0	4.5	13.6	11.4	70.5
	40代	131	0.8	6.1	11.5	15.3	66.4
	50代	177	1.1	5.1	15.8	9.6	68.4
	60代	146	4.1	11.6	17.1	11.6	55.5
	70代	182	4.9	11.0	24.2	12.6	47.3
	80代以上	122	7.4	7.4	18.0	10.7	56.6
世帯構成別	夫婦	287	2.4	11.5	18.8	11.8	55.4
	親子（親との二世帯）	132	1.5	3.8	11.4	11.4	72.0
	親子（子との二世帯）	241	3.3	7.1	22.0	14.1	53.5
	親子孫（三世帯）	47	6.4	12.8	14.9	10.6	55.3
	一人暮らし	181	4.4	3.3	9.9	8.3	74.0
	その他	28	0.0	7.1	7.1	3.6	82.1
居住年数別	20年以上（転入なし）	206	5.3	8.7	16.5	10.7	58.7
	20年以上（転入あり）	453	3.5	8.8	19.2	12.1	56.3
	10～19年（転入なし）	16	0.0	0.0	18.8	6.3	75.0
	10～19年（転入あり）	98	1.0	4.1	11.2	14.3	69.4
	5～9年	58	0.0	10.3	17.2	8.6	63.8
	3～4年	37	0.0	2.7	2.7	8.1	86.5
	2年以下	52	1.9	1.9	3.8	7.7	84.6
居住地区別	厚木北	116	5.2	6.9	7.8	4.3	75.9
	厚木南	47	4.3	4.3	10.6	4.3	76.6
	依知北	65	1.5	4.6	12.3	24.6	56.9
	依知南	46	4.3	6.5	6.5	15.2	67.4
	睦合北	31	0.0	9.7	9.7	9.7	71.0
	睦合南	84	6.0	9.5	27.4	10.7	46.4
	睦合西	36	2.8	2.8	13.9	11.1	69.4
	荻野	96	1.0	5.2	27.1	9.4	57.3
	小鮎	56	0.0	7.1	25.0	10.7	57.1
	南毛利	175	0.6	8.6	15.4	12.6	62.9
	南毛利南	42	7.1	14.3	9.5	9.5	59.5
	玉川	20	0.0	15.0	15.0	15.0	55.0
	相川	56	10.7	8.9	8.9	16.1	55.4
	緑ヶ丘	18	0.0	0.0	11.1	16.7	72.2
	森の里	26	0.0	15.4	34.6	7.7	42.3
幸福度別	とても幸せ	110	5.5	9.1	16.4	8.2	60.9
	幸せ	346	2.6	9.5	20.5	12.7	54.6
	ふつう	421	3.1	5.9	13.8	11.2	66.0
	あまり幸せではない	33	0.0	6.1	9.1	9.1	75.8
	幸せではない	14	0.0	0.0	0.0	7.1	92.9

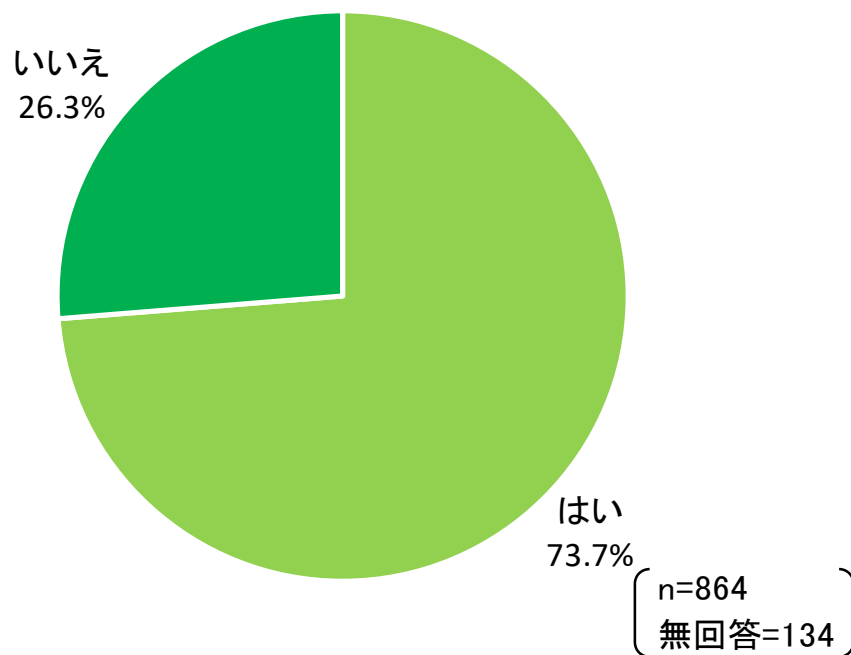
必要な行政情報は入手できていますか。(B：問 16)

必要な行政情報を入手できている市民の割合は、「はい」が 73.7%となっており、「いいえ」が 26.3%となっている。

【クロス集計】

「はい」を性別で見ると、女性(76.9%)が男性(70.4%)より 6.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、70 代が 86.7%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世帯）が 79.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 80.3%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、森の里が 95.8%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、幸せが 80.9%で最も高くなっている。

「いいえ」を性別で見ると、男性(29.6%)が女性(23.1%)より 6.5 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 58.6%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 44.0%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、10～19 年（転入なし）が 50.0%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 35.3%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：%)

		n	はい	いいえ
全体		864	73.7	26.3
性別	男性	368	70.4	29.6
	女性	445	76.9	23.1
年齢別	10代	14	42.9	57.1
	20代	58	41.4	58.6
	30代	88	67.0	33.0
	40代	126	65.9	34.1
	50代	166	76.5	23.5
	60代	144	77.8	22.2
	70代	165	86.7	13.3
	80代以上	95	80.0	20.0
世帯構成別	夫婦	266	79.3	20.7
	親子（親との二世代）	129	63.6	36.4
	親子（子との二世代）	234	79.1	20.9
	親子孫（三世代）	39	79.5	20.5
	一人暮らし	160	66.3	33.8
	その他	25	56.0	44.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	190	72.1	27.9
	20年以上（転入あり）	417	80.3	19.7
	10～19年（転入なし）	16	50.0	50.0
	10～19年（転入あり）	92	69.6	30.4
	5～9年	56	60.7	39.3
	3～4年	35	57.1	42.9
	2年以下	52	63.5	36.5
居住地区別	厚木北	105	73.3	26.7
	厚木南	46	71.7	28.3
	依知北	58	72.4	27.6
	依知南	43	69.8	30.2
	睦合北	30	76.7	23.3
	睦合南	78	74.4	25.6
	睦合西	35	71.4	28.6
	荻野	93	67.7	32.3
	小鮎	56	71.4	28.6
	南毛利	162	72.8	27.2
	南毛利南	39	74.4	25.6
	玉川	16	81.3	18.8
	相川	52	84.6	15.4
	緑ヶ丘	17	64.7	35.3
	森の里	24	95.8	4.2
幸福度別	とても幸せ	103	79.6	20.4
	幸せ	320	80.9	19.1
	ふつう	396	70.5	29.5
	あまり幸せではない	30	36.7	63.3
	幸せではない	11	27.3	72.7

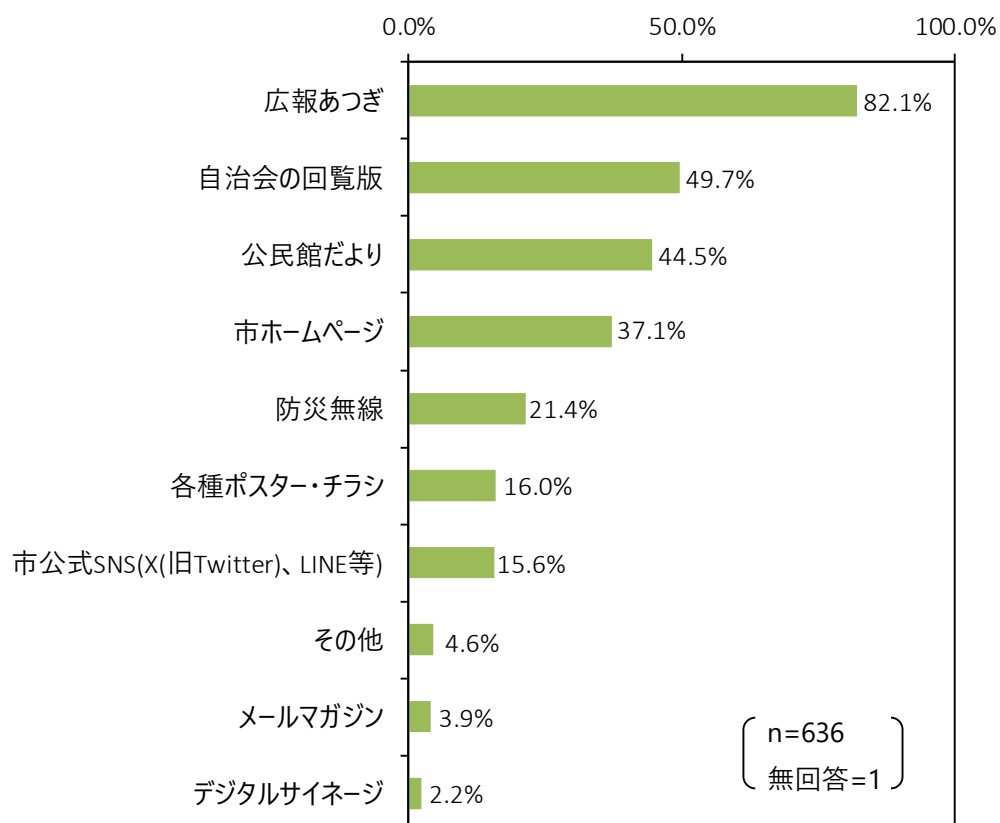
どのような情報媒体から入手していますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(B：問 16-1)

「必要な行政情報は入手できている」と答えた人のうち、どのような情報媒体から入手しているかについては、「広報あつぎ」が82.1%で最も高く、「デジタルサイネージ」が2.2%で最も低くなっている。

【クロス集計】

「広報あつぎ」を性別で見ると、女性(83.9%)が男性(79.5%)より 4.4 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、80 代以上が 96.1%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、親子孫（三世代）が 93.5%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、20 年以上（転入あり）が 86.9%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、玉川が 92.3%で最も高くなっており、幸福度別で見ると、あまり幸せではないが 90.9%で最も高くなっている。

「デジタルサイネージ」を性別で見ると、男性(3.5%)が女性(1.2%)より 2.3 ポイント高くなっており、年齢別で見ると、20 代が 8.3%で最も高くなっている。世帯構成別で見ると、その他が 7.1%で最も高くなっており、居住年数別で見ると、5～9 年が 6.1%で最も高くなっている。居住地区別で見ると、緑ヶ丘が 9.1%で最も高くなっている。



【クロス集計】

(単位：％)												
		n	広報あつぎ	公民館だより	市ホームページ	市公式SNS(X、Twitter)、LINE等)	デジタルサイネージ	防災無線	自治会の回覧版	各種ポスター・チラシ	メールマガジン	その他
全体		636	82.1	44.5	37.1	15.6	2.2	21.4	49.7	16.0	3.9	4.6
性別	男性	258	79.5	41.9	39.9	15.9	3.5	20.5	46.9	17.8	2.3	5.0
	女性	342	83.9	45.9	36.0	14.9	1.2	22.2	50.3	14.6	5.0	4.1
年齢別	10代	6	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	20代	24	45.8	8.3	58.3	33.3	8.3	12.5	16.7	12.5	0.0	8.3
	30代	59	61.0	23.7	45.8	27.1	5.1	15.3	25.4	13.6	3.4	3.4
	40代	82	72.0	29.3	43.9	17.1	2.4	14.6	37.8	15.9	7.3	6.1
	50代	127	74.8	31.5	53.5	23.6	1.6	18.9	42.5	13.4	7.1	3.1
	60代	112	92.0	46.4	41.1	14.3	2.7	21.4	51.8	16.1	3.6	0.9
	70代	143	95.1	64.3	20.3	6.3	0.7	32.2	68.5	17.5	0.7	7.0
	80代以上	76	96.1	71.1	14.5	5.3	1.3	21.1	68.4	21.1	1.3	5.3
世帯構成別	夫婦	211	86.3	50.7	36.0	16.6	1.4	21.3	53.1	15.6	2.8	3.8
	親子（親との二世帯）	82	72.0	37.8	45.1	17.1	2.4	24.4	53.7	14.6	6.1	3.7
	親子（子との二世帯）	185	87.0	48.1	34.6	13.5	3.2	22.7	51.4	17.3	5.4	5.9
	親子孫（三世帯）	31	93.5	54.8	32.3	22.6	0.0	29.0	61.3	12.9	0.0	0.0
	一人暮らし	105	68.6	28.6	40.0	15.2	1.9	15.2	34.3	18.1	2.9	6.7
	その他	14	85.7	42.9	28.6	7.1	7.1	21.4	42.9	0.0	0.0	0.0
居住年数別	20年以上（転入なし）	137	85.4	49.6	33.6	16.1	2.2	23.4	59.9	18.2	4.4	5.1
	20年以上（転入あり）	335	86.9	51.6	37.0	10.7	1.8	25.1	55.8	14.9	3.9	4.8
	10～19年（転入なし）	8	62.5	37.5	37.5	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	10～19年（転入あり）	64	70.3	28.1	37.5	23.4	0.0	12.5	26.6	20.3	4.7	4.7
	5～9年	33	72.7	27.3	45.5	21.2	6.1	15.2	36.4	24.2	3.0	6.1
	3～4年	20	70.0	20.0	40.0	35.0	5.0	5.0	30.0	15.0	5.0	5.0
	2年以下	33	66.7	18.2	39.4	30.3	3.0	12.1	18.2	9.1	0.0	0.0
	厚木北	77	75.3	29.9	44.2	23.4	2.6	16.9	32.5	14.3	7.8	7.8
居住地区別	厚木南	33	87.9	36.4	42.4	21.2	3.0	9.1	39.4	30.3	0.0	3.0
	依知北	42	73.8	45.2	35.7	14.3	2.4	21.4	40.5	2.4	0.0	2.4
	依知南	29	82.8	37.9	17.2	3.4	0.0	10.3	37.9	17.2	0.0	6.9
	睦合北	23	78.3	39.1	47.8	13.0	0.0	26.1	34.8	17.4	4.3	13.0
	睦合南	58	86.2	53.4	34.5	19.0	1.7	31.0	60.3	17.2	1.7	3.4
	睦合西	25	76.0	36.0	44.0	28.0	8.0	20.0	48.0	16.0	0.0	0.0
	荻野	63	88.9	49.2	23.8	9.5	1.6	28.6	60.3	11.1	4.8	1.6
	小鮎	40	82.5	50.0	32.5	17.5	0.0	22.5	65.0	25.0	7.5	7.5
	南毛利	118	80.5	36.4	39.0	11.9	1.7	20.3	52.5	16.1	5.1	5.1
	南毛利南	29	86.2	58.6	31.0	27.6	3.4	17.2	41.4	17.2	3.4	3.4
	玉川	13	92.3	69.2	53.8	30.8	0.0	38.5	84.6	15.4	0.0	7.7
	相川	44	84.1	61.4	40.9	11.4	4.5	20.5	56.8	15.9	2.3	0.0
	緑ヶ丘	11	81.8	54.5	45.5	9.1	9.1	9.1	36.4	9.1	0.0	0.0
	森の里	23	82.6	56.5	39.1	0.0	0.0	30.4	60.9	17.4	8.7	8.7
	幸福度別	とても幸せ	82	75.6	40.2	47.6	19.5	4.9	23.2	41.5	23.2	4.9
幸せ		258	83.7	47.3	41.9	15.1	1.9	24.4	51.9	15.9	3.5	4.3
ふつう		279	82.4	44.1	30.1	13.6	1.8	19.0	50.9	12.9	4.3	4.3
あまり幸せではない		11	90.9	27.3	36.4	27.3	0.0	9.1	36.4	27.3	0.0	9.1
幸せではない		3	66.7	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0

3 総括

(1) 実感度について（調査項目 77 項目）

- ・調査項目全 77 項目について、実感している人の割合は、前年度調査と比較して 46 項目において上昇し、1 項目が横ばい、30 項目が低下した。
- ・『実感している人の割合が高い』項目は、「日常生活に必要な施設が身近にある」「子育てサービスの充実」「消防・救急・救助体制の充実」の順となっており、日常生活に身近な取組や子育て支援等の取組が評価されたものと考えられる。
- ・『実感していない人の割合が高い』項目は、「住環境の整備の取組」「中心市街地のにぎわい」「先端技術産業の推進」の順となっている。
- ・前年度調査と比較し、実感度が最も上昇した項目は「文化芸術に親しむ機会の提供」（7.5 ポイント増）で、最も低下した項目は「ごみの減量化、資源化の推進」（6.2 ポイント減）となった。
- ・『無回答の割合が高い』項目は、「子どもたちが安心して共に学べる取組」「教育支援体制の充実」「子どもたちが自ら課題に取り組む」の順となっており、子育てに関係のない人が無回答とした傾向になったものと考えられる。
- ・『無回答の割合が低い』項目は、「日常生活に必要な施設が身近にある」「緑豊かな生活環境」「日常生活における移動がスムーズ」の順となっており、日常生活に身近な項目は無回答の割合が低い傾向になったものと考えられる。

(2) 重要度について（調査項目 77 項目）

- ・調査項目全 77 項目について、重要視している人の割合は、前年度調査と比較して 34 項目において上昇し、43 項目が低下した。
- ・『重要視している人の割合が高い』項目は、「消防・救急・救助体制の充実」「災害に備えたハード整備」「防犯の取組」の順となっており、市民が安心・安全に対する取組を重要視しているものと考えられる。
- ・『重要視していない人の割合が高い』項目は、「あつぎ郷土博物館の取組」「互いの違いを尊重できるまちづくり」「国内友好都市との交流」の順となっている。
- ・前年度調査と比較し、重要度が最も上昇した項目は「地産地消の推進」（5.6 ポイント増）で、最も低下した項目は「子どもたちが自ら課題に取り組む」（6.8 ポイント減）となった。
- ・『無回答の割合が高い』項目は、「子どもたちが安心して共に学べる取組」「子どもたちが自ら課題に取り組む」「教育支援体制の充実」の順となっており、子育てに関係のない人が無回答とした傾向になったものと考えられる。
- ・『無回答の割合が低い』項目は、「日常生活に必要な施設が身近にある」「日常生活における移動がスムーズ」「安心・安全に通行できる道路環境」の順となっており、生活に身近な項目は無回答の割合が低い傾向になったものと考えられる。

(3) 実感度と重要度の関係について

- ・調査項目全 77 項目のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類Ⅰに属する項目については、「消防・救急・救助体制の充実」のほか 24 項目となっている。
- ・相対的に実感度が低く、重要度が高い分類Ⅱに属する項目については、「災害に備えたハード整備」のほか 13 項目となっている。
- ・相対的に実感度が高く、重要度が低い分類Ⅲに属する項目については、「文化芸術に親しむ機会の提供」のほか 9 項目となっている。
- ・相対的に実感度が低く、重要度も低い分類Ⅳに属する項目については、「互いの違いを尊重できるまちづくり」のほか 27 項目となっている。

(4) 市民ニーズについて

- ・『市民ニーズが高い（重要度に対し実感度が低い）』項目は、「防犯の取組」「災害に備えたハード整備」「地域防災力向上の取組」「災害対応力の強化の取組」「安心・安全に通行できる道路環境」の順となっている。

(5) 行動変容について（調査項目 27 項目）

- ・調査項目全 27 項目の実績値について、前年度調査と比較して 12 項目において上昇し、1 項目が横ばい、14 項目が低下した。
- ・実績値が高い項目は、「資源の分別を意識している」「健康増進のために取り組んでいることがある」「防犯等の対策について心掛けていることがある」の順となっており、実績値が低い項目は、「市内で文化芸術に親しんでいる」「図書館を利用している」「運動やスポーツを週 3 回以上行っている」の順となっている。
- ・前年度調査と比較し、実績値が最も上昇した項目は「災害に備えていることがある」(3.1 ポイント増) で、最も低下した項目は「ごみの減量を意識している」(2.7 ポイント減) となった。

(6) 幸福度について

- ・前年度調査と比較し、「とても幸せ」「幸せ」の合計は 2.6 ポイント上昇し、「あまり幸せではない」「幸せではない」の合計は 0.2 ポイント低下した。
- ・「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」と回答した人の合計は 94.9%となり、前年度調査と比較して 0.3 ポイント増加した。

(7) 実感度調査の結果を踏まえた施策の展開について

・実感度については、調査項目全 77 項目中、46 項目において実感度が上昇したことから、市の施策に対して市民が一定の評価をしていることがうかがえる。一方、実感度が低下した 30 項目については、市の施策が市民の実感として現れるよう、関連する取組を強化する必要がある。

・重要度については、調査項目全 77 項目中、34 項目において重要度が上昇したことから、これらの項目に市民の関心が高まっていることがうかがえるため、重要視している要因を分析し、ニーズに合った取組の更なる推進が求められる。

・実感度と重要度の関係については、調査項目全 77 項目のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類Ⅰに属する「消防・救急・救助体制の充実」のほか 24 項目については、市民ニーズに即した取組を引き続き重点的を進める必要がある。また、相対的に実感度が低く、重要度が高い分類Ⅱに属する「災害に備えたハード整備」のほか 13 項目については、市民ニーズを的確に捉え、重点的に改善を図っていく必要がある。

・市民ニーズが高い「防犯の取組」「災害に備えたハード整備」「地域防災力向上の取組」等については、施策の効果を十分に検証し、更なる事業推進を図る必要がある。

・行動変容については、調査項目全 27 項目中、14 項目において実績値が低下したため、クロス集計のデータを基に分析を行い、施策により市民の行動の変化を促すことができるよう、関連する取組の強化が求められる。一方、実績値が上昇した 12 項目については、変化した行動が継続されるよう、施策を着実に推進していく必要がある。

4 調査票様式

4-1 調査票 A

◆ 市の取組に対する皆様の実感・重要度についてお聞きします。

問1 市のまちづくりの取組状況に対する現在の実感について、お考えに該当する番号に1つ○をつけてください。

また、それぞれの取組の今後の重要度について、お考えに該当する番号に1つ○をつけてください。

★質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そう思わない	あまり思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
回答例	1	②	3	4	5	①	2	3	4	5
① 急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進められている。										
ハード整備はやや進んでいると思う ハード整備を進めることは重要だと思う										
1 災害に強いまちの実現について										
① 急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域の防災力向上の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「災害に強いまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そう思わない	あまり思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
2 セーフコミュニティの推進について										
① 事故やけがなどがなく健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 交通安全の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 防犯の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「セーフコミュニティの推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
3 健康寿命延伸の推進について										
① メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 市立病院の救急医療体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 介護予防と認知症に対する取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「健康寿命延伸の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
4 多様性の尊重と平和都市の推進について										
① 国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 困りごとに対する相談・支援体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 平和についての啓発が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「多様性の尊重と平和都市の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
5 文化芸術の振興について										
① 文化芸術に親しむ機会が提供されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 郷土文化の継承と発展が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ あつぎ郷土博物館の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「文化芸術の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そう思わない	あまりそう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
6 生涯スポーツの振興について										
① 運動・スポーツ活動の機会が提供されている。 (「運動・スポーツ」には、散歩や階段昇降、サイクリング、キャンプ、釣りなどのレクリエーションやレジャー、健康の維持増進のために行う身体活動も含みます。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ スポーツ施設が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「生涯スポーツの振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										
7 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現について										
① 広域交通網(新たなインターチェンジ周辺)の高い利便性をいかした土地利用(都市基盤整備)が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 山地、河川、市街地などの景観が守られている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 新たな産業拠点の創出が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「地域の個性をいかした魅力あるまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
8 安心して働くことができるまちの実現について										
① 就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「安心して働くことができるまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
9 観光の振興について										
① 大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 観光情報の発信が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「観光の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										
10 農業・林業・水産業の振興について										
① 農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 地産地消が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「農業・林業・水産業の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そう思わない	あまりそう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
11 地球温暖化対策の推進について										
① 環境教育や環境学習の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 再生可能エネルギーの普及が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「地球温暖化対策の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
12 自然との共生の推進について										
① 生物多様性の普及や保全が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 里地里山の保全や活用が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 森林整備など、山林の再生が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「自然との共生の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
13 都市間連携の推進について										
① 防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 国内友好都市との交流が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「都市間連携の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

◆ 災害への対策・セーフコミュニティについてお聞きします。

問2 地震や風水害などの災害に備えていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 非常食、飲料水を備えている 2 家具が倒れないよう工夫している 3 住まいの耐震診断を行い補強や改修工事をしている (する予定) 4 避難路の危険な箇所を確認している 5 災害時の避難場所を決めている 6 家族との安否確認の方法を決めている 7 災害時に必要な情報を入手する方法を知っている 8 その他	9 特になし

問3 自転車の安全のために心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 自転車に乗る際は、ヘルメットを着用している 2 自転車の走行ルール（原則、車道の左側等）を守っている 3 自転車保険に加入している	4 特になし

問4 防犯等の対策について心掛けていることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 防犯ブザーなどの防犯対策グッズを携帯している 2 防犯カメラ、センサーライト、迷惑電話防止機能付電話などの防犯機器を設置している 3 犯罪発生状況等を市ホームページやメール配信サービスなどで確認するようにしている 4 家や車などから少しでも離れる時は必ず鍵をかけている 5 自転車やオートバイ等に二重ロックやシートをかけるなどの防犯対策をしている 6 地域の防犯パトロール、見守り活動などに参加している	7 特になし

◆ 健康づくりについてお聞きします。

問5 健康増進のために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 食生活の改善	9 特になし
2 運動	
3 禁煙	
4 適量飲酒	
5 口腔ケア（歯磨き以外）	
6 健康診断	
7 がん検診	
8 その他	

問6 過去1年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 健康診断	4 いずれも受けていない
2 がん検診	
3 人間ドック	

問7 認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 公民館等で行われる介護予防教室などに参加している	6 専門機関などに相談をしている	10 特になし
2 計画的に運動をして体を動かしている	7 身の回りのことを自分でしている	
3 食べるものなどの食生活に気をつけている	8 家族や友人、知人と交流している	
4 趣味活動を行っている	9 地域の活動に参加している	
5 歯や口腔の健康に気をつけている		

◆ 文化芸術・スポーツ活動についてお聞きします。

問8 過去1年間に、市内で文化芸術に触れましたか。

※文化芸術：芸術（文学、音楽、美術など）、メディア芸術、伝統芸能、芸能、生活文化（茶道、華道、書道など）、国民娯楽（囲碁、将棋など）など

1 はい	2 いいえ

問9 厚木の郷土文化に興味がありますか。

※郷土文化：歴史、古墳などの遺跡、郷土芸能、自然など

1 はい	2 いいえ

問 10 運動・スポーツをどの程度、行っていますか。（運動には、散歩や階段昇降、サイクリング、キャンプ、釣りなどのレクリエーションやレジャー、健康の維持増進のために行う身体活動も含みます。）次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1 週に3回以上、行っている	5 行っていない
2 週に1～2回程度、行っている	
3 月に1～3回程度、行っている	
4 年に数回程度、行っている	

◆ 産業の振興についてお聞きします。

問 11 過去1年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をしましたか。

1 はい	2 いいえ

問 12 過去1年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入しましたか。

1 はい	2 いいえ

◆ 環境への配慮についてお聞きします。

問 13 地球温暖化を緩和するために取り組んでいることはありますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 自宅に太陽光発電システムを設置している	8 特になし
2 自宅の断熱性を高めたり、エネファームや蓄電池を設置したりしている	
3 LED照明への切替えや古い家電の省エネ家電への買換えを進めている	
4 電力の購入先は、再エネ比率など環境性を気にして選んでいる	
5 自家用車はエコカー（補助金を受けたもの）である	
6 エコドライブを実践している	
7 宅配便の再配達防止に努めている	

◆ あなた自身のことについてお聞きします。

問 1 4 あなた自身のことについて伺います。該当する数字に○をつけてください。

(1)性別	1 男性	2 女性	3 その他	4 答えたくない
(2)年齢	1 10代 5 50代	2 20代 6 60代	3 30代 7 70代	4 40代 8 80代以上
(3)世帯 構成	* ご本人を基準に選んでください。 1 夫婦 2 親子（親との二世代） 3 親子（子との二世代） 4 親子（三世代） 5 一人暮らし 6 その他 ア ご家族の中に中学生以下のお子様はいますか。  1 いる 2 いない イ ご家族の中に65歳以上の方はいますか。（ご本人を含みます。） 1 いる 2 いない			
(4)厚木市 での居 住年数	1 20年以上（生まれてからずっと） 3 10～19年（生まれてからずっと） 5 5～9年	2 20年以上（転入して以来） 4 10～19年（転入して以来） 6 3～4年	7 2年以下	
(5)お住ま いの地 区	1 厚木北	松枝、元町、東町、厚木町、寿町、吾妻町、水引、栄町、中町、田村町		
	2 厚木南	幸町、泉町、旭町、南町		
	3 依知北	上依知、猿ヶ島、山際、下川入		
	4 依知南	関口、中依知、下依知、金田		
	5 睦合北	三田、三田南、棚沢		
	6 睦合南	妻田、妻田北、妻田南、妻田東、妻田西		
	7 睦合西	林、及川、王子1丁目		
	8 荻野	上荻野、まつかげ台、みはる野、中荻野、下荻野、鳶尾		
	9 小鮎	飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里		
	10 南毛利	戸室、恩名、温水、温水西、愛名、長谷、毛利台		
	11 南毛利南	船子、愛甲、愛甲東、愛甲西		
	12 玉川	小野、七沢、岡津古久		
	13 相川	岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼		
	14 緑ヶ丘	緑ヶ丘、王子2丁目、王子3丁目		
	15 森の里			

問15 厚木市で暮らすあなたはどの程度幸せですか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1	とても幸せ	2	幸せ	3	ふつう
4	あまり幸せではない	5	幸せではない		

◆ 今後の厚木市のまちづくりに関して、ご意見がありましたら記入してください。

御協力いただき、誠にありがとうございました。

4-2 調査票 B

◆ 市の取組に対する皆様の実感・重要度についてお聞きします。

問1 市のまちづくりの取組状況に対する現在の実感について、お考えに該当する番号に1つ○をつけてください。

また、それぞれの取組の今後の重要度について、お考えに該当する番号に1つ○をつけてください。

★質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そうあまり思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
回答例 ① 消防・救急・救助体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	消防等の体制はやや充実していると思う					消防等の体制が充実していることは重要だと思う				
1 消防力の充実・強化について										
① 消防・救急・救助体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 応急手当の普及に向けた取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 火災予防の啓発など、火災予防の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「消防力の充実・強化」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そう思わない	あまりそう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
2 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現について										
① 見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
3 子育て環境の充実について										
① 子育てサービスが充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 保育と幼児教育の提供体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「子育て環境の充実」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
4 学校教育の充実について										
① 子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 安全な教育環境の整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「学校教育の充実」について、ご意見がありましたら記入してください。										
5 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進について										
① 地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 家庭・地域・学校の協働が推進されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
6 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進について										
① 日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 空き家の対策など住環境の整備の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
7 魅力ある中心市街地等の形成について										
① 中心市街地（まちなか）の整備が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 中心市街地（まちなか）のにぎわいを感じる。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「魅力ある中心市街地等の形成」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
8 産業・商業の振興について										
① 商店街など、市内に利用したい店舗がある。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 創業支援や中小企業支援が充実している。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 企業誘致が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「産業・商業の振興」について、ご意見がありましたら記入してください。										
9 シティプロモーションと定住促進について										
① あつぎの魅力が市内外に発信されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「シティプロモーションと定住促進」について、ご意見がありましたら記入してください。										
10 未来へつなげる循環型都市の実現について										
① ごみの減量化・資源化が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「未来へつなげる循環型都市の実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そう思わない	あまり思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
11 緑豊かで美しいまちの実現について										
① 身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「緑豊かで美しいまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
12 河川と共生するまちの実現について										
① 親しみやすい水辺空間が整っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「河川と共生するまちの実現」について、ご意見がありましたら記入してください。										
13 市民参加・市民協働の推進について										
① 自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 市の情報媒体(広報あつぎや市ホームページ、デジタルサイネージなど)から、必要な行政情報が発信されている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「市民参加・市民協働の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

質問 (質問内容について、ご自身にとって身近に感じられないなど、イメージや実感がわからない場合は、空欄のままにしておいてください。)	現在の実感					今後の重要度				
	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	そう思わない	あまりそう思わない	重要である	やや重要である	どちらでもない	重要ではない	あまり重要ではない
14 行財政改革の推進について										
① 社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進められている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
「行財政改革の推進」について、ご意見がありましたら記入してください。										

◆ 救急・火災予防についてお聞きします。

問2 AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1	AED の使い方は知っている
2	心臓マッサージの方法は知っている
3	どちらも知っている
4	どちらも知らない

問3 消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っていますか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1	消火器の使い方は知っている
2	住宅用火災警報器の点検方法は知っている
3	どちらも知っている
4	どちらも知らない

◆ 地域福祉・生きがいづくりについてお聞きします。

問4 地域の人と日常生活で関わりがありますか。

1 はい 2 いいえ

問5 生きがいを持って生活を送っていますか。

1 はい 2 いいえ

◆ 子育てについてお聞きします。

問6 子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がありますか。

1 はい 2 いいえ

◆ 子どもの教育についてお聞きします。

問7 子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思いますか。

1 はい 2 いいえ

◆ 生涯学習についてお聞きします。

問8 過去1年間に、行事や貸館で公民館を利用しましたか。

1 はい 2 いいえ

問9 過去1年間に、地域や学校の行事に参加又は協力しましたか。

1 はい 2 いいえ

問10 過去1年間に、生涯学習活動をしましたか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

※生涯学習：生涯の様々な場や機会において、自由に学習機会を選択して行う活動

1 学校の正規課程での学習	10 活動していない
2 家庭での学習	
3 地域活動	
4 ボランティア活動	
5 職場での研修	
6 サークル活動	
7 スポーツ活動	
8 レクリエーション活動	
9 趣味などその他での学習	

問 1 1 過去 1 年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用しましたか。

※公民館図書室：依知北・睦合北・小鮎・荻野・森の里・玉川・相川・睦合西・南毛利公民館で実施

※予約搬送サービス：依知南・睦合南・緑ヶ丘・愛甲公民館、上荻野分館及び愛甲石田駅連絡所で実施

1 はい

2 いいえ

◆ 商業の振興についてお聞きします。

問 1 2 主に利用する店舗の所在地はどこですか。

1 市内 ⇒問 1 2 - 1 へ

2 市外 ⇒問 1 3 へ

問 1 2 - 1 市内の店舗に行く場合、その目的は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1 買物（生活必需品）

2 買物（生活必需品以外）

3 飲食・喫茶（昼間）

4 飲食・喫茶（夜間）

5 生活関連サービス（理・美容、クリーニング等）

◆ ごみの減量・資源化についてお聞きします。

問 1 3 ごみの減量ができていますか。

1 はい

2 いいえ

問 1 4 資源の分別ができていますか。

1 はい

2 いいえ

◆ 市民活動についてお聞きします。

問 1 5 過去 1 年間に、自治会やボランティア・NPO 等の活動に参加しましたか。次の中からあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

1 週 1 回程度参加した

2 月 1 回程度参加した

3 半年に 1 回程度参加した

4 1 年に 1 回程度参加した

5 全く参加しなかった

◆ 行政情報の入手についてお聞きします。

問 1 6 必要な行政情報は入手できていますか。

1 はい ⇒問 1 6 - 1 へ

2 いいえ ⇒問 1 7 へ

問 1 6 - 1 どのような情報媒体から入手していますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 広報あつぎ
- 2 公民館だより
- 3 市ホームページ
- 4 市公式 SNS(X(旧 Twitter)、LINE 等)
- 5 デジタルサイネージ
- 6 防災無線
- 7 自治会の回覧板
- 8 各種ポスター・チラシ
- 9 メールマガジン
- 10 その他

◆ あなた自身のことについてお聞きします。

問 1 7 あなた自身のことについて伺います。該当する数字に○をつけてください。

(1)性別	1 男性	2 女性	3 その他	4 答えたくない
(2)年齢	1 10代	2 20代	3 30代	4 40代
	5 50代	6 60代	7 70代	8 80代以上
(3)世帯構成	* ご本人を基準に選んでください。 1 夫婦 2 親子（親との二世帯） 3 親子（子との二世帯） 4 親子（三世帯） 5 一人暮らし 6 その他 ア ご家族の中に中学生以下のお子様はいますか。  1 いる 2 いない イ ご家族の中に65歳以上の方はいますか。（ご本人を含みます。） 1 いる 2 いない			
(4)厚木市での居住年数	1 20年以上（生まれてからずっと）		2 20年以上（転入して以来）	
	3 10～19年（生まれてからずっと）		4 10～19年（転入して以来）	
	5 5～9年	6 3～4年	7 2年以下	
(5)お住まいの地区	1 厚木北	松枝、元町、東町、厚木町、寿町、吾妻町、水引、栄町、中町、田村町		
	2 厚木南	幸町、泉町、旭町、南町		
	3 依知北	上依知、猿ヶ島、山際、下川入		

	4 依知南	関口、中依知、下依知、金田
	5 睦合北	三田、三田南、棚沢
	6 睦合南	妻田、妻田北、妻田南、妻田東、妻田西
	7 睦合西	林、及川、王子1丁目
	8 荻野	上荻野、まつかけ台、みはる野、中荻野、下荻野、鳶尾
	9 小鮎	飯山、飯山南、上古沢、下古沢、宮の里
	10 南毛利	戸室、恩名、温水、温水西、愛名、長谷、毛利台
	11 南毛利南	船子、愛甲、愛甲東、愛甲西
	12 玉川	小野、七沢、岡津古久
	13 相川	岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼
	14 緑ヶ丘	緑ヶ丘、王子2丁目、王子3丁目
	15 森の里	

問18 厚木市で暮らすあなたはどの程度幸せですか。次の中からあてはまるもの1つに○をつけてください。

1 とても幸せ	2 幸せ	3 ふつう
4 あまり幸せではない	5 幸せではない	

◆ 今後の厚木市のまちづくりに関して、ご意見がありましたら記入してください。

御協力いただき、誠にありがとうございました。

< 参考資料 >

設問一覧及び略称の表記①（実感度・重要度）

No	設問名（～と思う市民の割合）	略称 ※
1	急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいる	災害に備えたハード整備
2	災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	災害対応力の強化の取組
3	自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいる	地域防災力向上の取組
4	消防・救急・救助体制が充実している	消防・救急・救助体制の充実
5	応急手当の普及に向けた取組が進んでいる	応急手当の普及
6	火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいる	火災予防の取組
7	事故やけがなどがなく健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている	健康で安心・安全に暮らせるまちづくり
8	交通安全の取組が進んでいる	交通安全の取組
9	防犯の取組が進んでいる	防犯の取組
10	見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる	地域福祉活動の推進
11	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいる	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援
12	高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している	高齢者福祉施設の整備などの充実
13	高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している	高齢者に対する支援の充実
14	障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している	障がい者に対する支援の充実
15	支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している	包括的な支援体制の充実
16	子育てサービスが充実している	子育てサービスの充実
17	保育と幼児教育の提供体制が充実している	保育と幼児教育の充実
18	母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいる	親と子の健康づくりの取組
19	メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している	休日・夜間医療体制の充実
20	市立病院の救急医療体制が充実している	市立病院の救急医療体制の充実
21	市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している	市立病院と地域のクリニック等との連携の充実
22	検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいる	健康づくりの取組
23	介護予防と認知症に対する取組が進んでいる	介護予防と認知症に対する取組
24	国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいる	互いの違いを尊重できるまちづくり
25	困りごとに対する相談・支援体制が充実している	困りごとに対する相談・支援体制の充実
26	平和についての啓発が進んでいる	平和についての啓発の推進
27	子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている	子どもたちが自ら課題に取り組む
28	教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している	教育支援体制の充実
29	安全な教育環境の整備が進んでいる	安全な教育環境の整備
30	人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいる	子どもたちが安心して共に学べる取組
31	地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいる	社会教育の取組
32	家庭・地域・学校の協働が推進されている	家庭・地域・学校の協働の推進
33	生涯学習活動の支援や気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいる	生涯学習活動の支援や環境の整備
34	青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が進んでいる	青少年の健全育成の取組
35	文化芸術に親しむ機会が提供されている	文化芸術に親しむ機会の提供
36	郷土文化の継承と発展の取組が進んでいる	郷土文化の継承と発展の取組
37	あつぎ郷土博物館の取組が進んでいる	あつぎ郷土博物館の取組

38	運動・スポーツ活動の機会が提供されている	運動・スポーツ活動の機会提供
39	スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している	競技力を向上するための取組
40	スポーツ施設が充実している	スポーツ施設の充実
41	日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある	日常生活に必要な施設が身近にある
42	安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる	安心・安全に通行できる道路環境
43	通勤や買い物など日常生活における移動がスムーズにできている	日常生活における移動がスムーズ
44	空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる	住環境の整備の取組
45	中心市街地の整備が進んでいる	中心市街地の整備
46	中心市街地ののにぎわいを感じている	中心市街地ののにぎわい
47	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められている	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用
48	山地、河川、市街地などの景観が守られている	景観が守られている
49	新たな産業拠点の創出が進んでいる	新たな産業拠点の創出
50	商店街など、市内に利用したい店舗がある	市内に利用したい店舗がある
51	創業支援や中小企業支援が充実している	創業支援や中小企業支援の充実
52	企業誘致が進んでいる	企業誘致の推進
53	様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている	先端技術産業の推進
54	就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援と勤労者への支援が充実している	就労支援と勤労者への支援の充実
55	大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいる	広域の観光に対する取組
56	温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている	観光資源の活性化
57	観光情報の発信が充実している	観光情報の発信の充実
58	本市の魅力が市内外に発信されている	本市の魅力発信
59	親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいる	定住促進の取組
60	農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいる	農地有効利用の取組
61	地産地消が進んでいる	地産地消の推進
62	環境教育や環境学習の取組が進んでいる	環境教育や環境学習の取組
63	再生可能エネルギーの普及が進んでいる	再生可能エネルギーの普及
64	公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいる	省エネの取組
65	ごみの減量化、資源化が進んでいる	ごみの減量化、資源化の推進
66	生物多様性の普及や保全が進んでいる	生物多様性の普及や保全
67	里地里山の保全や活用が進んでいる	里地里山の保全や活用
68	森林整備など山林の再生が進んでいる	山林の再生の推進
69	身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている	緑豊かな生活環境
70	地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている	清潔で快適な生活環境
71	親しみやすい水辺空間が整っている	親しみやすい水辺空間
72	自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいる	協働によるまちづくり
73	市の情報媒体から必要な行政情報が発信されている	必要な行政情報の発信
74	社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている	変化やニーズに対応した行政運営
75	小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいる	公共施設の老朽化に対する取組
76	防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいる	広域的な課題に対する近隣市町村等との連携
77	国内友好都市との交流が進んでいる	国内友好都市との交流

設問一覧及び略称の表記②（行動変容）

No	設問名	略称 ※
1	地震や風水害などの災害に備えていることはありますか	災害に備えていることがある
2	AED の使い方や心臓マッサージの方法を知っていますか	AED や心臓マッサージの方法を知っている
3	消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っていますか	消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている
4	自転車の安全のために心掛けていることはありますか	自転車の安全のために心掛けていることがある
5	防犯等の対策について心掛けていることはありますか	防犯等の対策について心掛けていることがある
6	地域の人と日常生活で関わりがありますか	地域の人との関わりがあると思う
7	生きがいを持って生活を送っていますか	生きがいを持って生活を送っている
8	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいますか	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる
9	健康増進のために取り組んでいることはありますか	健康増進のために取り組んでいることがある
10	過去1年間に、健康診断やがん検診、人間ドックを受けましたか	健康診断やがん検診、人間ドックを受けた
11	認知症や寝たきりにならないように、取り組んでいることはありますか	認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある
12	子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思いますか	子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う
13	過去1年間に、行事や貸館で公民館を利用しましたか	公民館を利用している
14	過去1年間に、地域や学校の行事に参加又は協力しましたか	地域や学校の行事に参加又は協力している
15	過去1年間に、生涯学習活動をしましたか	生涯学習活動を行っている
16	過去1年間に、行事や貸出で中央図書館、移動図書館、公民館図書室、予約搬送サービスのいずれかを利用しましたか	図書館を利用している
17	過去1年間に、市内で文化芸術に触れましたか	市内で文化芸術に親しんでいる
18	厚木の郷土文化に興味がありますか	厚木の郷土文化に興味がある
19	運動・スポーツをどの程度、行っていますか	運動やスポーツを週3回以上行っている
20	主に利用する店舗の所在地はどこですか	主に利用する店舗が市内にある
21	過去1年間に、市内の観光スポットへの訪問やイベント参加をしましたか	市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした
22	過去1年間に、直売所・スーパー等で地元の農産物を購入しましたか	地元の農産物を購入した
23	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることはありますか	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある
24	ごみの減量ができていますか	ごみの減量を意識している
25	資源の分別ができていますか	資源の分別を意識している
26	過去1年間に、自治会やボランティア・NPO等の活動に参加しましたか	自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している
27	必要な行政情報は入手できていますか	必要な行政情報を入手できている

※報告書の本文や図表中では、設問名を略称で表記している。

令和 7 年度施策評価結果について（概要）

1 目的

- (1) 第 10 次厚木市総合計画の進行管理
- (2) 市民に対する説明責任（アカウンタビリティ）
- (3) 効率的で質の高い施策の実現
 - ア 施策の目標等の共有化・職員の意識改革
 - イ 事務事業（実施計画事業）の効果的・効率的な推進

2 評価対象

第 10 次厚木市総合計画第 1 期基本計画に位置付ける 27 の基本施策
【対象年度：令和 6 年度】

3 評価方法

第 10 次厚木市総合計画第 1 期基本計画の施策の達成目標に位置付ける「代表となる指標」、
「市民実感度」及び第 2 期実施計画事業に位置付ける「事業指標」の目標値に対する達成
率を点数化し、各基本施策の総合得点を 4 段階の評価区分で評価する。また、厚木市総合
計画審議会からの意見を踏まえ、総合的な評価を行っている。

総合得点	評価区分	
90 点以上	A	順調
80 点以上 90 点未満	B	おおむね順調
60 点以上 80 点未満	C	やや遅れ
60 点未満	D	遅れ

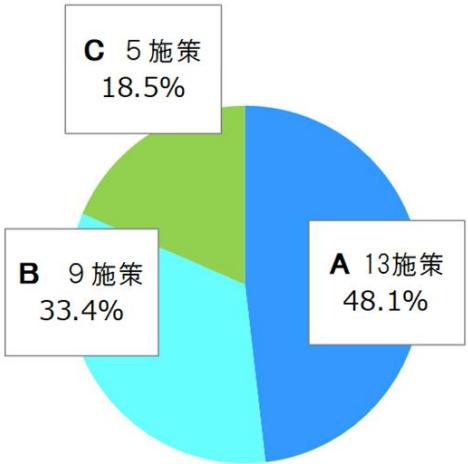
4 評価者

厚木市行政評価委員会（庁内組織）

5 評価結果の活用

評価結果は、実施計画の着実な推進や今後の政策立案に活用するとともに、部・課等の
マネジメントツール、総合計画の進行管理及び予算編成等の資料として活用する。

6 総合評価区分による評価結果



基本政策	年度	A	B	C	D	Aの割合
1 安心政策（3 施策）	R7	1	2	0	0	33.3%
	R6	1	2	0	0	33.3%
2 輝き政策（4 施策）	R7	2	2	0	0	50.0%
	R6	3	0	1	0	75.0%
3 成長政策（4 施策）	R7	2	2	0	0	50.0%
	R6	2	2	0	0	50.0%
4 発展政策（8 施策）	R7	4	3	1	0	50.0%
	R6	4	3	1	0	50.0%
5 潤い政策（5 施策）	R7	2	0	3	0	40.0%
	R6	3	2	0	0	60.0%
6 共創政策（3 施策）	R7	2	0	1	0	66.7%
	R6	2	0	1	0	66.7%
全施策（27 施策）	R7	13	9	5	0	48.1%
	R6	15	9	3	0	55.6%

7 行政評価委員会及び総合計画審議会における評価結果（総論）

(1) 行政評価委員会

第 10 次厚木市総合計画第 2 期実施計画の初年度となる令和 6 年度を対象とした令和
7 年度施策評価については、27 の基本施策のうち 13 施策において総合評価 A（順調）、
9 施策において総合評価 B（おおむね順調）、5 施策において総合評価 C（やや遅れ）
となり、令和 6 年度の施策評価結果と比較すると、総合評価 A が 2 施策減少、総合評
価 C が 2 施策増加し、全体の評価結果は低下した。第 10 次厚木市総合計画がスタート
した令和 3 年度から見ると、総合評価 A の割合が年々低下していることは、懸念すべ
き状況である。

代表となる指標及び市民実感度については、全体の約 6 割の指標で前年度より実績
値が上昇したものの、目標値を達成した項目は 2 割程度であった。第 2 期実施計画の
開始に当たり、目標値を見直すなど、高い成果を目指して取り組んできた結果である
と考えられるが、目標値を達成していない施策・事業については、要因を分析した上
で、改善に努めなければならない。

また、総合計画審議会からの指摘のとおり、超高齢社会の進展に伴う老年人口の増
加により、医療・介護等のニーズが増大し、人材不足が深刻化していることから、限
られた人材を有効に活用するため、新たな手法の検討が必要である。

本市の将来人口については、老年人口の増加が続く一方、年少人口・生産年齢人口
は更に減少することが見込まれており、様々な分野で社会構造の変化を見据えた早急
な対応が求められる。こうした中、将来にわたって活力あるまちであり続け、市民が
愛着と誇りを持てる魅力あるまちづくりを進めるため、現在策定を進めている第 11 次
厚木市総合計画においては、「住みたい」「育てたい」「働きたい」をキーワードに、人
口減少を和らげるための施策を分野横断的に進める必要がある。

また、施策の進行管理に当たっては、施策の効果を適切に測ることのできる指標及
び目標値を設定し、各基本施策の目指す姿の実現に向けて、有効に機能する評価方法
を導入する必要がある。

(2) 総合計画審議会

令和6年度を対象とした令和7年度の施策評価は、総合評価Aが13施策、総合評価Bが9施策、総合評価Cが5施策と、約8割の施策において「順調」又は「おおむね順調」という結果になり、令和6年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Aが2施策減少、総合評価Cが2施策増加した。社会環境の変化が激しい中、施策の推進はおおむね順調であり、評価できる。しかしながら、全施策におけるA評価の割合は55.6%から48.1%に減少している点は留意すべきであることから、要因を分析して改善につなげられたい。

市民実感度については、重要度が高いものとして、消防・救急、防災や地域福祉等が挙げられるが、それらの達成率が少しずつ低下傾向にあることから、見守りや支え合いという理念は大切にしながらも、DXの推進など、手法の見直しが必要な段階にきているように思われる。また、地域の中での人とのつながりや、ゆるやかに見守り合える関係性が、日頃の安心や地域への愛着につながることから、地域コミュニティの活性化に向け、幅広い世代の市民が地域の一員として地域活動に関心を持ち、気軽に活動できるような取組を展開されたい。

第11次総合計画の策定に当たっては、重点的に取り組むべき施策を重点プロジェクトに位置付けるとともに、施策の推進に効果的な行政評価制度を構築し、重要度(市民ニーズ)の高い項目に優先して取り組むなど、評価結果を事業の見直しや改善に反映されたい。

【点数化の方法】

ア 代表となる指標 [配点:50点]

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「代表となる指標」の令和5年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×50点	【例】 達成率 100%の場合 100%×50点=50点 達成率 50%の場合 50%×50点=25点 達成率 0%の場合 0%×50点=0点

イ 市民実感度 [配点:30点]

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「市民実感度」の令和5年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×30点	【例】 達成率 100%の場合 100%×30点=30点 達成率 50%の場合 50%×30点=15点 達成率 0%の場合 0%×30点=0点

ウ 実施計画事業指標 [配点:20点]

第10次厚木市総合計画第1期実施計画の各事業に位置付ける指標の令和5年度の目標値に対する達成率を点数化する。

達成率(%)×20点	【例】 達成率 100%の場合 100%×20点=20点 達成率 50%の場合 50%×20点=10点 達成率 0%の場合 0%×20点=0点

【基本施策別の評価結果】

基本政策	基本施策	令和7年度結果		令和6年度結果	
		総合得点	総合評価	総合得点	総合評価
1 安心政策	1 災害に強いまちの実現	88.7	B	88.3	B
	2 消防力の充実・強化	94.8	A	97.7	A
	3 セーフコミュニティの推進	81.4	B	83.2	B
2 輝き政策	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	88.2	B	90.6	A
	2 子育て環境の充実	95.4	A	94.0	A
	3 健康寿命延伸の推進	92.7	A	90.1	A
	4 多様性の尊重と平和都市の推進	81.3	B	77.7	C
3 成長政策	1 学校教育の充実	96.2	A	95.2	A
	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	91.7	A	94.0	A
	3 文化芸術の振興	83.0	B	81.6	B
	4 生涯スポーツの振興	89.7	B	88.8	B
4 発展政策	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	87.7	B	85.4	B
	2 魅力ある中心市街地等の形成	89.2	B	80.4	B
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	98.2	A	97.3	A
	4 産業・商業の振興	94.1	A	92.9	A
	5 安心して働くことができるまちの実現	86.4	B	82.8	B
	6 観光の振興	94.0	A	92.4	A
	7 シティプロモーションと定住促進	72.1	C	77.8	C
	8 農業・林業・水産業の振興	93.2	A	97.2	A
5 潤い政策	1 地球温暖化対策の推進	78.6	C	83.3	B
	2 未来へつなげる循環型都市の実現	90.3	A	95.7	A
	3 自然との共生の推進	79.8	C	80.9	B
	4 緑豊かで美しいまちの実現	93.5	A	90.3	A
	5 河川と共生するまちの実現	78.3	C	95.7	A
6 共創政策	1 市民参加・市民協働の推進	94.9	A	95.0	A
	2 行財政改革の推進	90.0	A	91.5	A
	3 都市間連携の推進	79.3	C	74.9	C

■：令和6年度と比較し総合評価結果が低下した施策

■：令和6年度と比較し総合評価結果が上昇した施策

令和7年度 施策評価結果報告書

(対象年度 令和6年度)

第10次 厚木市 総合計画

令和7年10月

厚 木 市

目 次

1	令和7年度施策評価について	1
1	1 目的	
2	2 評価対象	
3	3 評価方法	
4	4 評価者	
5	5 評価結果の活用	
2	実感度と重要度の関係について	3
1	1 実感度と重要度の関係	
2	2 各分類の意味付け	
3	3 スコア化の方法	
4	4 令和6年度市民実感度調査結果に基づく分類	
3	令和7年度施策評価結果（総論）	6
4	令和7年度施策評価結果	8
1	1 全体の評価結果	
2	2 基本政策別の評価結果	
3	3 基本施策別の評価結果	
5	第10次総合計画第1期基本計画指標達成状況	9
1	1 代表となる指標	9
2	2 市民実感度	13
6	施策評価シート	15
	施策評価シートの見方	16
1	1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）	19
1	1 災害に強いまちの実現	20
2	2 消防力の充実・強化	26
3	3 セーフコミュニティの推進	32
2	2 支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）	37
1	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	38
2	2 子育て環境の充実	46
3	3 健康寿命延伸の推進	52
4	4 多様性の尊重と平和都市の推進	58

3	夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）	65
1	学校教育の充実	66
2	地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	72
3	文化芸術の振興	78
4	生涯スポーツの振興	82
4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）	87
1	誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	88
2	魅力ある中心市街地等の形成	94
3	地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	98
4	産業・商業の振興	104
5	安心して働くことができるまちの実現	110
6	観光の振興	114
7	シティプロモーションと定住促進	120
8	農業・林業・水産業の振興	124
5	環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）	131
1	地球温暖化対策の推進	132
2	未来へつなげる循環型都市の実現	138
3	自然との共生の推進	144
4	緑豊かで美しいまちの実現	148
5	河川と共生するまちの実現	152
6	市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）	157
1	市民参加・市民協働の推進	158
2	行財政改革の推進	164
3	都市間連携の推進	170

1 令和7年度施策評価について

1 目的

(1) 第10次厚木市総合計画の進行管理

本市の行政運営を総合的かつ計画的に進めるための最高指針である第10次厚木市総合計画の目標に対する達成状況などについて検証を行い、より一層の市民満足度の向上や効果的・効率的な行政運営を推進する。

(2) 市民に対する説明責任(アカウンタビリティ)

施策の達成状況や今後の方向性を公表し、市民の皆様との共有を図ることにより、透明性の高い信頼される市政運営を推進する。

(3) 効率的で質の高い施策の実現

ア 施策の目標等の共有化・職員の意識改革

本市の現状を認識し、施策評価を通じて施策の目標や課題を共有することで、職員一人一人が目指すべき方向性を意識し、事務事業の改善や新たな政策立案につなげる。

イ 事務事業(実施計画事業)の効果的・効率的な推進

施策を構成する事務事業(実施計画事業)について、効果的な事業展開が図られているかを評価することにより、より一層の市民満足度の向上や効果的・効率的な施策の推進を図る。

2 評価対象

第10次厚木市総合計画第1期基本計画に位置付ける27の基本施策

【対象年度:令和6年度】

3 評価方法

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の施策の達成目標に位置付ける「代表となる指標」、「市民実感度」及び第2期実施計画事業に位置付ける「事業指標」の目標値に対する達成率を点数化し、各基本施策の総合得点を4段階の評価区分で評価する。また、厚木市総合計画審議会からの意見を踏まえ、総合的な評価を行う。

(1) 点数化の方法

ア 代表となる指標 [配点:50点]

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「代表となる指標」の令和6年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×50点	【例】達成率 100%の場合 100%×50点=50点 達成率 50%の場合 50%×50点=25点 達成率 0%の場合 0%×50点=0点

イ 市民実感度 [配点:30点]

第10次厚木市総合計画第1期基本計画の各基本施策に位置付ける「市民実感度」の令和6年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×30点	【例】達成率 100%の場合 100%×30点=30点 達成率 50%の場合 50%×30点=15点 達成率 0%の場合 0%×30点=0点

ウ 実施計画事業指標 [配点:20点]

第10次厚木市総合計画第2期実施計画の各事業に位置付ける指標の令和6年度の目標値に対する達成率を点数化する。	
達成率(%)×20点	【例】達成率 100%の場合 100%×20点=20点 達成率 50%の場合 50%×20点=10点 達成率 0%の場合 0%×20点=0点

(2) 総合評価区分

総合得点	評価区分	
90 点以上	A	順調
80 点以上 90 点未満	B	おおむね順調
60 点以上 80 点未満	C	やや遅れ
60 点未満	D	遅れ

4 評価者

厚木市行政評価委員会

5 評価結果の活用

評価結果は、実施計画の着実な推進や今後の政策立案に活用するとともに、部・課等のマネジメントツール、総合計画の進行管理及び予算編成等の資料として活用する。

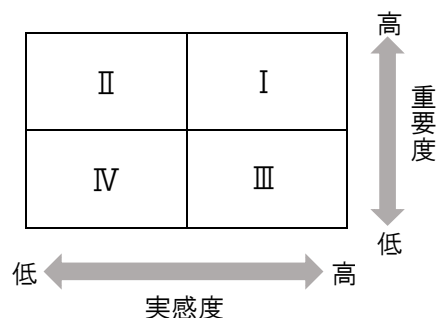
2 実感度と重要度の関係について

1 実感度と重要度の関係

市民実感度調査では、市の取組に対する実感度と併せて、その取組がどのくらい重要と考えているか、重要度についても調査している。

施策の推進に当たっては、市民の皆様が評価した実感度と重要度の関係を考慮する必要があることから、77 項目の実感度と重要度の結果をスコア化し、それらを基に各取組をⅠからⅣに分類する。

分類	実感度	重要度
Ⅰ	高い	高い
Ⅱ	低い	高い
Ⅲ	高い	低い
Ⅳ	低い	低い



2 各分類の意味付け

実感度と重要度の関係を用いた各分類の一般的な意味付けは次のとおりである。

(1) 分類Ⅰ（重点維持項目）

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度も高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズに即した取組ができていると考えられる。現在の水準を維持しつつ、引き続き重点的に取り組む必要がある。

(2) 分類Ⅱ（重点改善項目）

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度が高い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、市民ニーズがあるにもかかわらず、その期待に応えられていない取組であると考えられる。取組の必要性が認識されているものの、取組の向上や改善に対する市民ニーズが高い項目とも言え、市民ニーズを的確に捉え、重点的に改善を図っていく必要がある。

(3) 分類Ⅲ（維持項目）

全取組のうち、相対的に実感度が高く、重要度が低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、必要性の認識は低いものの、成果は実感している取組であると考えられる。着実に取組を進めるとともに、取組の重要性の認識を深めていただく必要がある。また、市民ニーズを上回る行政サービスを提供している可能性についても検証する必要がある。

(4) 分類Ⅳ（改善項目）

全取組のうち、相対的に実感度が低く、重要度も低い分類である。ここに分類される取組は、他の取組と比較して、取組の向上や改善に対する一定のニーズはあるものの、その必要性の認識は低い取組であると考えられる。取組の重要性を更に認知していただくとともに、取組の方向性の改善を検討する必要がある。

また、市民の関心度が低い取組であることから、取組によっては行政で対応すべきかを検証する必要がある。

3 スコア化の方法

スコア化に当たっては、平均する各項目の条件の差異を考慮に入れ、対応する重み(大小)をつけてから平均する加重平均により、次のとおりの計算を行う。

■項目のスコア化

$$\text{実感度} = \frac{\begin{aligned} &\text{「そう思う」} \times 2 \text{点} + \text{「ややそう思う」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらでもない」} \times 0 \text{点} \\ &+ \text{「あまりそう思わない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「そう思わない」} \times (-2 \text{点}) \end{aligned}}{\text{回答者数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\begin{aligned} &\text{「重要」} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらでもない」} \times 0 \text{点} \\ &+ \text{「あまり重要でない」} \times (-1 \text{点}) + \text{「重要でない」} \times (-2 \text{点}) \end{aligned}}{\text{回答者数}}$$

(例)「消防・救急・救助体制が充実している」の実感度に関して、この設問の回答者数は 845 人で、そのうち、「そう思う」が 235 人、「ややそう思う」が 355 人、「どちらでもない」が 216 人、「あまりそう思わない」が 36 人、「そう思わない」が 3 人であったことから、計算式は、

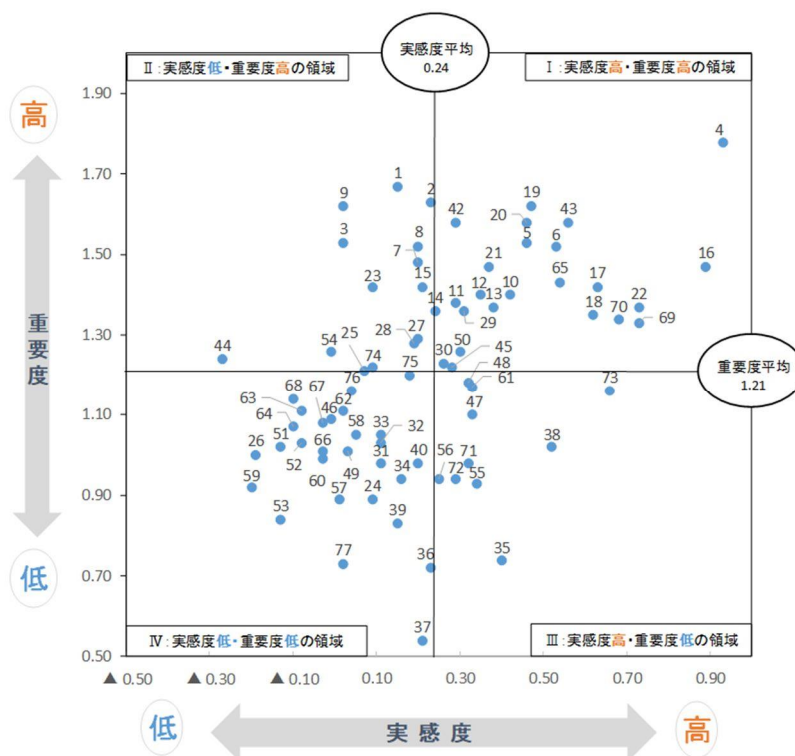
$$\frac{(235 \text{ 人} \times 2 \text{ 点}) + (355 \text{ 人} \times 1 \text{ 点}) + (216 \text{ 人} \times 0 \text{ 点}) + (36 \text{ 人} \times (-1 \text{ 点})) + (3 \text{ 人} \times (-2 \text{ 点}))}{845 \text{ 人}}$$

≒0.93 となり、「消防・救急・救助体制が充実している」の実感度のスコアは、0.93 となる。

■各施策の分類

- ・上記の方法で算出したスコアを基に、実感度のスコアを横軸、重要度のスコアを縦軸として分布図を作成し、各項目进行分类する。
- ・2本の補助軸は、実感度及び重要度の全項目の平均値を示したものである。

4 令和6年度市民実感度調査結果に基づく分類



分類	番号	項目(～と思う市民の割合)	実感度	重要度	分類	番号	項目(～と思う市民の割合)	実感度	重要度
Ⅰ 実感度: 高い 重要度: 高い	4	消防・救急・救助体制が充実している	0.93	1.78	Ⅲ 実感度: 高い 重要度: 低い	35	文化芸術に親しむ機会が提供されている	0.40	0.74
	5	応急手当の普及に向けた取組が進んでいる	0.46	1.53		38	運動・スポーツ活動の機会が提供されている	0.52	1.02
	6	火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいる	0.53	1.52		47	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められている	0.33	1.10
	10	見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる	0.42	1.40		48	山地、河川、市街地などの景観が守られている	0.32	1.18
	11	高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいる	0.29	1.38		55	大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいる	0.34	0.93
	12	高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している	0.35	1.40		56	温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている	0.25	0.94
	13	高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している	0.38	1.37		61	地産地消が進んでいる	0.33	1.17
	14	障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している	0.24	1.36		71	親しみやすい水辺空間が整っている	0.32	0.98
	16	子育てサービスが充実している	0.89	1.47		72	自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいる	0.29	0.94
	17	保育と幼児教育の提供体制が充実している	0.63	1.42		73	市の情報媒体から必要な行政情報が発信されている	0.66	1.16
	18	母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいる	0.62	1.35	Ⅳ 実感度: 低い 重要度: 低い	24	国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいる	0.09	0.89
	19	メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している	0.47	1.62		26	平和についての啓発が進んでいる	▲ 0.19	1.00
	20	市立病院の救急医療体制が充実している	0.46	1.58		31	地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいる	0.11	0.98
	21	市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している	0.37	1.47		32	家庭・地域・学校の協働が推進されている	0.11	1.03
	22	検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいる	0.73	1.37		33	生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいる	0.11	1.05
	29	安全な教育環境の整備が進んでいる	0.31	1.36		34	青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実している	0.16	0.94
	30	人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいる	0.26	1.23		36	郷土文化の継承と発展の取組が進んでいる	0.23	0.72
	41	日常生活に必要な施設(スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など)が身近にある	1.05	1.63		37	あつぎ郷土博物館の取組が進んでいる	0.21	0.54
	42	安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる	0.29	1.58		39	スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している	0.15	0.83
	43	通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできている	0.56	1.58		40	スポーツ施設が充実している	0.20	0.98
Ⅱ 実感度: 低い 重要度: 高い	45	中心市街地の整備が進んでいる	0.28	1.22		46	中心市街地のにぎわいを感じている	▲ 0.01	1.09
	50	商店街など、市内に利用したい店舗がある	0.30	1.26		49	新たな産業拠点の創出が進んでいる	0.03	1.01
	65	ごみの減量化・資源化が進んでいる	0.54	1.43		51	創業支援や中小企業支援が充実している	▲ 0.13	1.02
	69	身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている	0.73	1.33		52	企業誘致が進んでいる	▲ 0.08	1.03
	70	地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている	0.68	1.34		53	様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている	▲ 0.13	0.84
	1	急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいる	0.15	1.67		57	観光情報の発信が充実している	0.01	0.89
	2	災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	0.23	1.63		58	本市の魅力が市内外に発信されている	0.05	1.05
	3	自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいる	0.02	1.53		59	親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいる	▲ 0.20	0.92
	7	事故やけがなどがなく健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている	0.20	1.48		60	農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいる	▲ 0.03	0.99
	8	交通安全の取組が進んでいる	0.20	1.52		62	環境教育や環境学習の取組が進んでいる	0.02	1.11
	9	防犯の取組が進んでいる	0.02	1.62		63	再生可能エネルギーの普及が進んでいる	▲ 0.08	1.11
	15	支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している	0.21	1.42		64	公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいる	▲ 0.10	1.07
	23	介護予防と認知症に対する取組が進んでいる	0.09	1.42		66	生物多様性の普及や保全が進んでいる	▲ 0.03	1.01
	25	困りごとに対する相談・支援体制が充実している	0.07	1.21		67	里地里山の保全や活用が進んでいる	▲ 0.03	1.08
	27	子どもたちが自ら課題に取り組み意欲をもっている	0.20	1.29		68	森林整備など山林の再生が進んでいる	▲ 0.10	1.14
	28	教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している	0.19	1.28		75	小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいる	0.18	1.20
	44	空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる	▲ 0.27	1.24		76	防災や観光を始めとした市域を超える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいる	0.04	1.16
	54	就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実している	▲ 0.01	1.26		77	国内友好都市との交流が進んでいる	0.02	0.73
	74	社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている	0.09	1.22	平均値			0.24	1.21

(注) 網掛けは、実感度又は重要度の平均値を下回っている項目を示す。

3 令和7年度施策評価結果（総論）

【総合評価】

第10次厚木市総合計画第2期実施計画の初年度となる令和6年度を対象とした令和7年度施策評価については、27の基本施策のうち13施策において総合評価A（順調）、9施策において総合評価B（おおむね順調）、5施策において総合評価C（やや遅れ）となり、令和6年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Aが2施策減少、総合評価Cが2施策増加し、全体の評価結果は低下した。第10次厚木市総合計画がスタートした令和3年度から見ると、総合評価Aの割合が年々低下していることは、懸念すべき状況である。

代表となる指標及び市民実感度については、全体の約6割の指標で前年度より実績値が上昇したものの、目標値を達成した項目は2割程度であった。第2期実施計画の開始に当たり、目標値を見直すなど、高い成果を目指して取り組んできた結果であると考えられるが、目標値を達成していない施策・事業については、要因を分析した上で、改善に努めなければならない。

また、総合計画審議会からの指摘のとおり、超高齢社会の進展に伴う老年人口の増加により、医療・介護等のニーズが増大し、人材不足が深刻化していることから、限られた人材を有効に活用するため、新たな手法の検討が必要である。

本市の将来人口については、老年人口の増加が続く一方、年少人口・生産年齢人口は更に減少することが見込まれており、様々な分野で社会構造の変化を見据えた早急な対応が求められる。こうした中、将来にわたって活力あるまちであり続け、市民が愛着と誇りを持てる魅力あるまちづくりを進めるため、現在策定を進めている第11次厚木市総合計画においては、「住みたい」「育てたい」「働きたい」をキーワードに、人口減少を和らげるための施策を分野横断的に進める必要がある。

また、施策の進行管理に当たっては、施策の効果を適切に測ることのできる指標及び目標値を設定し、各基本施策の目指す姿の実現に向けて、有効に機能する評価方法を導入する必要がある。

【総合計画審議会からの意見】

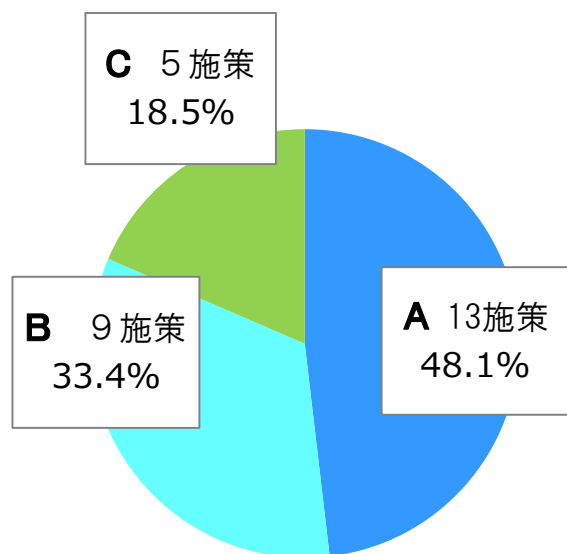
令和6年度を対象とした令和7年度の施策評価は、総合評価Aが13施策、総合評価Bが9施策、総合評価Cが5施策と、約8割の施策において「順調」又は「おおむね順調」という結果になり、令和6年度の施策評価結果と比較すると、総合評価Aが2施策減少、総合評価Cが2施策増加した。社会環境の変化が激しい中、施策の推進はおおむね順調であり、評価できる。しかしながら、全施策におけるA評価の割合は55.6%から48.1%に減少している点は留意すべきであることから、要因を分析して改善につなげられたい。

市民実感度については、重要度が高いものとして、消防・救急、防災や地域福祉等が挙げられるが、それらの達成率が少しずつ低下傾向にあることから、見守りや支え合いという理念は大切にしながらも、DXの推進など、手法の見直しが必要な段階に来ているように思われる。また、地域の中での人とのつながりや、ゆるやかに見守り合える関係性が、日頃の安心や地域への愛着につながることから、地域コミュニティの活性化に向け、幅広い世代の市民が地域の一員として地域活動に関心を持ち、気軽に活動できるような取組を展開されたい。

第11次総合計画の策定に当たっては、重点的に取り組むべき施策を重点プロジェクトに位置付けるとともに、施策の推進に効果的な行政評価制度を構築し、重要度（市民ニーズ）の高い項目に優先して取り組むなど、評価結果を事業の見直しや改善に反映されたい。

4 令和7年度施策評価結果

1 全体の評価結果



2 基本政策別の評価結果

基本政策	年度	A	B	C	D	Aの割合
1 安心政策（3施策）	R7	1	2	0	0	33.3%
	R6	1	2	0	0	33.3%
2 輝き政策（4施策）	R7	2	2	0	0	50.0%
	R6	3	0	1	0	75.0%
3 成長政策（4施策）	R7	2	2	0	0	50.0%
	R6	2	2	0	0	50.0%
4 発展政策（8施策）	R7	4	3	1	0	50.0%
	R6	4	3	1	0	50.0%
5 潤い政策（5施策）	R7	2	0	3	0	40.0%
	R6	3	2	0	0	60.0%
6 共創政策（3施策）	R7	2	0	1	0	66.7%
	R6	2	0	1	0	66.7%
全施策（27施策）	R7	13	9	5	0	48.1%
	R6	15	9	3	0	55.6%

3 基本施策別の評価結果

基本政策	基本施策	令和7年度結果		令和6年度結果	
		総合得点	総合評価	総合得点	総合評価
1 安心政策	1 災害に強いまちの実現	88.7	B	88.3	B
	2 消防力の充実・強化	94.8	A	97.7	A
	3 セーフコミュニティの推進	81.4	B	83.2	B
2 輝き政策	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	88.2	B	90.6	A
	2 子育て環境の充実	95.4	A	94.0	A
	3 健康寿命延伸の推進	92.7	A	90.1	A
	4 多様性の尊重と平和都市の推進	81.3	B	77.7	C
3 成長政策	1 学校教育の充実	96.2	A	95.2	A
	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	91.7	A	94.0	A
	3 文化芸術の振興	83.0	B	81.6	B
	4 生涯スポーツの振興	89.7	B	88.8	B
4 発展政策	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	87.7	B	85.4	B
	2 魅力ある中心市街地等の形成	89.2	B	80.4	B
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	98.2	A	97.3	A
	4 産業・商業の振興	94.1	A	92.9	A
	5 安心して働くことができるまちの実現	86.4	B	82.8	B
	6 観光の振興	94.0	A	92.4	A
	7 シティプロモーションと定住促進	72.1	C	77.8	C
	8 農業・林業・水産業の振興	93.2	A	97.2	A
5 潤い政策	1 地球温暖化対策の推進	78.6	C	83.3	B
	2 未来へつなげる循環型都市の実現	90.3	A	95.7	A
	3 自然との共生の推進	79.8	C	80.9	B
	4 緑豊かで美しいまちの実現	93.5	A	90.3	A
	5 河川と共生するまちの実現	78.3	C	95.7	A
6 共創政策	1 市民参加・市民協働の推進	94.9	A	95.0	A
	2 行財政改革の推進	90.0	A	91.5	A
	3 都市間連携の推進	79.3	C	74.9	C

令和6年度と比較し総合評価結果が低下した施策
 令和6年度と比較し総合評価結果が上昇した施策

5 第10次総合計画第1期基本計画 指標達成状況

1 代表となる指標

- ・目標値を達成した指標は、110指標中26指標（全体の23.6%）となっています。（前回は29指標達成）
- ・目標値に対する達成率（上限を100.0%とした場合の達成率）の平均値は、88.5%となっており、前年度89.4%より0.9%低くなっています。
- ・目標値に対する達成率（上限を100.0%としない場合の達成率）が最も高い指標は、「ケアプラン点検の実施事業所数」及び「本市の支援策により創業した人数」（150.0%）となっています。
- ・目標値に対する達成率が最も低い指標は、「親水広場を活用した環境学習の実施回数」及び「民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数」（33.3%）となっています。

※ 達成率（%）のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率

基本政策	基本施策	代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率（%） [項目ごと]	達成率（%） [基本施策ごと]
1 安心政策	1 災害に強いまちの実現	災害に備えていることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	96.0	89.9	93.6	96.7 (96.8)
		住宅の耐震化率	厚木市耐震改修促進計画に基づいて算出	%	94.9	93.3	98.3	
		災害応急対策等に関する協定の締結数	-	件	150	142	94.7	
		市民防災研修会における防災に対する意識高揚度	市民防災研修会アンケート	%	95.0	95.4	100.0 (100.4)	
	2 消防力の充実・強化	出火率（人口1万人当たりの出火件数）	人口1万人当たりの出火件数	件	2.4	2.9	82.8	94.5 (94.7)
		AEDの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	65.6	64.4	98.2	
		市民による応急手当の実施率	救急現場での応急手当の実施率	%	66.5	67.0	100.0 (100.8)	
		消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	81.3	78.9	97.0	
	3 セーフコミュニティの推進	セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	セーフコミュニティ研修会アンケート	%	95.4	93.8	98.3	77.0
		自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	64.8	54.8	84.6	
		交通事故発生件数（暦年）	警察統計	件	587	618	95.0	
		防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	94.0	90.7	96.5	
		刑法犯認知件数（暦年）	警察からの情報提供	件	656	1,385	47.4	
		特殊詐欺被害件数（暦年）	警察からの情報提供	件	16	40	40.0	
2 輝き政策	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	地域のひととの関わりがあると思う市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	60.5	55.3	91.4	90.2 (100.7)
		生きがいを持って生活を送っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	78.0	75.8	97.2	
		ケアプラン点検の実施事業所数	第8期計画に基づいて算出	事業所	50	75	100.0 (150.0)	
		介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数	第8期計画に基づいて算出	人	48	35	72.9	
		地域住民による助け合い活動団体数	実績に基づいて算出	団体	18	16	88.9	
		市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数	登録事業所の計上	か所	48	39	81.3	
		地域福祉コーディネーターの活動件数	実績に基づいて算出	件	2,500	3,083	100.0 (123.3)	
	2 子育て環境の充実	子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	67.0	59.3	88.5	94.5
		保育施設等入所率	保育所等の入所児童数	%	100.0	100.0	100.0	
		妊娠届出率（妊娠11週以下）	母子健康手帳交付の集計結果	%	91.0	86.5	95.1	

基本政策	基本施策		代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率 (%) [項目ごと]	達成率 (%) [基本施策ごと]
2 輝き政策	3	健康寿命延伸の推進	市立病院の紹介率	紹介患者数÷初診患者数×100	%	80.0	92.0	100.0 (115.0)	95.6 (99.5)
			市立病院の逆紹介率	逆紹介患者数÷初診患者数×100	%	85.0	93.9	100.0 (110.5)	
			健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	92.5	92.8	100.0 (100.3)	
			健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	84.0	81.1	96.5	
			特定健康診査の受診率	法定報告値	%	41.0	32.5	79.3	
			長寿健康診査等の受診率	受診者数÷被保険者数×100	%	41.3	37.1	89.8	
			認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	79.3	83.4	100.0 (105.2)	
			高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合	第8期計画に基づいて算出	%	17.3	17.2	99.4	
	4	多様性の尊重と平和都市の推進	人権講座参加者の人権意識高揚度	ヒューマンライツフェスタ、ヒューマンレッジ、こども人権教室参加者等アンケート結果	%	94.5	97.3	100.0 (103.0)	74.0 (74.5)
			民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数	交付実績	件	7	3	42.9	
			海外友好都市等との交流活動件数	民間交流を除く交流活動実績	件	20	19	95.0	
			日本語教室参加者数	日本語教室参加者数	人	5,500	4,267	77.6	
			児童虐待相談に対し速やかに（48時間以内）対応できた件数の割合	近隣通報など、原則48時間以内の子どもの安全確認が求められる事案に対して、実際に48時間以内の子どもの安全確認ができた件数の割合	%	100.0	83.3	83.3	
			平和のための展示会参加者数	実績に基づいて算出	人	590	268	45.4	
3 成長政策	1	学校教育の充実	全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成率	全国学力・学習状況調査結果	%	99.0	97.4	98.4	95.4 (95.9)
			ICTを活用して授業を行った教員の割合	教員へのICT活用等に関する調査結果	%	100.0	93.0	93.0	
			校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率	校舎の外壁、屋根・屋上の長寿命化改修率の平均値（外壁改修率＋屋根・屋上改修率）÷2	%	65.9	63.2	95.9	
			子どもたちの心に思いやりの気持ちがあると思う市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	74.4	66.9	89.9	
			全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果	%	89.0	91.0	100.0 (102.2)	
	2	地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	公民館を利用している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	30.6	31.8	100.0 (103.9)	93.7 (94.8)
			公民館での学級・講座参加者の満足度	参加者アンケート結果	%	79.6	68.5	86.1	
			地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	38.0	39.7	100.0 (104.5)	
			家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	参加者アンケート結果	%	97.5	95.3	97.7	
			生涯学習活動を行っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	54.1	52.6	97.2	
			図書館を利用している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	28.0	24.3	86.8	
			図書館の貸出者数	貸出実績から集計	人	440,000	362,028	82.3	
			青少年健全育成団体が行った事業の参加率	青少年健全育成団体が行った事業の参加率	%	59.0	58.8	99.7	

基本政策	基本施策		代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率 (%) [項目ごと]	達成率 (%) [基本施策ごと]
3 成長政策	3 文化芸術の振興		市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	22.0	19.7	89.5	78.6
			文化芸術事業の参加者数	各事業の出展者数、出演者数、参加者数の合計値	人	5,100	3,031	59.4	
			厚木の郷土文化に興味がある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	60.7	52.9	87.1	
			あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度	講座及び展示アンケートにおける満足度平均	%	96.0	90.4	94.2	
			郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数	参加者数をカウント	人	8,700	5,463	62.8	
	4 生涯スポーツの振興		運動やスポーツを週3回以上行っている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	38.0	27.7	72.9	85.0
			スポーツ指導者養成研修等参加者数	研修会等の参加者数	人	1,130	1,035	91.6	
			公共スポーツ施設の利用者数	公共施設予約システム等による把握	人	1,710,000	1,546,377	90.4	
4 発展政策	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進		スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	全人口に対するスーパーマーケット及びドラッグストアから800m圏に居住する人口の割合	%	80.6	82.4	100.0 (102.2)	89.4 (89.9)
			幹線市道（1・2級市道）の整備延長（累計）	整備延長	m	453	319	70.4	
			公共交通の徒歩圏人口カバー率	全人口に対する公共交通カバー圏域（1日30本以上のバスが運行するバス停から300m圏と鉄道駅800m圏）に居住する人口の割合	%	85.2	85.6	100.0 (100.5)	
			路線バスの利用者数（1日当たり）	路線バスの利用者数	人	70,000	55,900	79.9	
			管理不全であるため、助言等が必要な空き家数	現地調査等	戸	28	29	96.6	
	2 魅力ある中心市街地等の形成		中心市街地の歩行者数	中心市街地の代表6地点の通行量	人	111,500	104,701	93.9	86.1
			中心市街地の活性化イベント数	中心市街地の商店街及び市が行う中心市街地活性化イベントの合計数	件	46	36	78.3	
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現		森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積	事業による産業用地創出面積（累計）	ha	26.8	26.8	100.0	100.0
			酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積	事業による産業用地創出面積（累計）	ha	20.6	20.6	100.0	
	4 産業・商業の振興		主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	87.1	86.1	98.9	96.0 (117.6)
			本市の支援策により創業した人数	あつぎ起業スクールを修了した者で、起業の連絡があった者の数	人	4	6	100.0 (150.0)	
			中小企業資金融資利子補給金交付件数	中小企業資金融資利子補給金交付件数	件	1,260	1,072	85.1	
			企業立地件数	企業立地件数	件	11	15	100.0 (136.4)	
	5 安心して働くことができるまちの実現		障害者雇用奨励交付金交付件数	障がい者雇用奨励金交付実績	件	44	38	86.4	82.2
			勤労者生活資金融資件数	中央労働金庫厚木支店からの月別報告により把握	件	70	53	75.7	
			中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数	中小企業退職金等共済掛金補助金交付件数	社	110	93	84.5	
	6 観光の振興		市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	36.0	34.1	94.7	98.2 (115.8)
			観光消費額（年間）	入込観光客調査	億円	191.0	265.9	100.0 (139.2)	
			厚木市観光協会ホームページのアクセス件数	厚木市観光協会ホームページ	件	1,836,300	2,086,794	100.0 (113.6)	
	7 シティプロモーションと定住促進		あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	あつぎの魅力創造・交流事業に係る参加者アンケート結果	%	100.0	100.0	100.0	81.0
			ホストタウン交流事業参加者数	各事業の参加者数	人	440	230	52.3	
			転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）	事業による転入者数	人	481	436	90.6	

基本政策	基本施策		代表となる指標	把握・算出方法等	単位	目標値	実績値	達成率(%) [項目ごと]	達成率(%) [基本施策ごと]
4 発展政策	8	農業・林業・水産業の振興	認定新規就農者数（累計）	青年等就農計画の認定者数（累計）	人	42	39	92.9	88.8
			地元の農産物を購入した市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	84.0	78.9	93.9	
			有害鳥獣による農作物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）	100-（毎年度の被害率÷H18：基準年度被害額）×100	%	95.4	80.7	84.6	
			間伐材の搬出量	間伐材の搬出量	m	2,000	1,674	83.7	
5 潤い政策	1	地球温暖化対策の推進	地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	90.0	84.0	93.3	79.9
			市内再生可能エネルギー出力量	資源エネルギー庁公開データ	MW	75.0	52.7	70.3	
			市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成25年度比）	環境省公開データ	%	25.0	19.0	76.0	
	2	未来へつなげる循環型都市の実現	ごみの減量を意識している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	80.0	69.4	86.8	96.1 (96.3)
			資源の分別を意識している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	99.0	96.9	97.9	
			一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	家庭系ごみ総排出量÷365（うるう年は366）÷人口	g	392	389	100.0 (100.8)	
			事業系ごみの排出量	事業系ごみ総排出量	t	15,196	15,259	99.6	
	3	自然との共生の推進	里地里山活動認定の対象面積	市の認定協定面積	ha	6.7	6.2	92.5	80.1
			森林ボランティア会員人数	実績人数	人	37	25	67.6	
	4	緑豊かで美しいまちの実現	市民一人当たりの公園及び緑地面積	公園及び緑地面積÷人口	m ² /人	9.61	9.40	97.8	90.1
			地域美化清掃の実施件数	実施件数	件	256	188	73.4	
			不法投棄件数	処理件数	件	475	480	99.0	
	5	河川と共生するまちの実現	BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率	達成した地点÷水質調査をした地点	%	92.0	100.0	100.0 (108.7)	66.7 (71.0)
			親水広場を活用した環境学習の実施回数	実施回数	回	3	1	33.3	
6 共創政策	1	市民参加・市民協働の推進	市民対話等要望対応率	自治会長とのフリートーク対応率	%	87.8	82.8	94.3	93.3 (94.8)
			自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	38.3	38.1	99.5	
			市内で活動する市民活動団体数	市民活動団体登録団体数及び市内に主たる事務所があるNPO法人数の合計値	団体	223	193	86.5	
			必要な行政情報を入手できている市民の割合	市民実感度調査で「はい」と答えた人の割合	%	85.3	73.7	86.4	
			公式SNSの利用登録者数	SNSの利用登録者数の集計	人	78,000	83,652	100.0 (107.2)	
	2	行財政改革の推進	第7次行政改革の推進度	大綱実施計画の代表となる指標を80%以上達成した指標の数	%	100.0	85.4	85.4	95.1
			市税収納率	市税の対調定収納率	%	99.00	98.80	99.8	
			公共施設個別施設計画に基づく第1期短期再編プログラムの進捗率	令和8年度までの対象施設の更新件数	%	63.6	63.6	100.0	
	3	都市間連携の推進	都市間連携の実施件数	庁内照会による	件	53	51	96.2	75.2
			民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数	交流活動実績	件	3	1	33.3	
			国内友好都市との交流活動件数	民間交流を除く交流活動実績	件	25	24	96.0	

2 市民実感度

- ・市民実感度の平均値は、40.8%となっており、前年度40.1%より0.7%高くなっています。
- ・市民実感度が最も高い項目は、「『日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある』と思う市民の割合」（78.5%）となっています。
- ・市民実感度が最も低い項目は、「『空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる』と思う市民の割合」（16.9%）となっています。
- ・目標値を達成した項目は、77項目中20項目（全体の26.0%）となっています。
- ・目標値に対する達成率（上限を100.0%とした場合の達成率）の平均値は、87.8%となっています。
- ・目標値に対する達成率（上限を100.0%としない場合の達成率）が最も高い項目は、「『安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる』と思う市民の割合」（115.0%）となっています。
- ・目標値に対する達成率が最も低い項目は、「『親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいる』（37.5%）となっています。

※ 達成率（%）のカッコ内の数値は、100.0%を上限としない場合の達成率

基本政策	基本施策	項目（～と思う市民の割合）	目標値（%）	実績値（%）	達成率（%） [項目ごと]	達成率（%） [基本施策ごと]
1 安心政策	1 災害に強いまちの実現	急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいる	43.6	39.4	90.4	81.7
		災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいる	56.6	44.9	79.3	
		自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいる	45.8	34.5	75.3	
	2 消防力の充実・強化	消防・救急・救助体制が充実している	73.8	69.8	94.6	93.3
		応急手当の普及に向けた取組が進んでいる	52.5	48.8	93.0	
		火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいる	57.5	53.0	92.2	
	3 セーフコミュニティの推進	事故やけががない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている	50.2	40.3	80.3	80.6
		交通安全の取組が進んでいる	48.4	43.0	88.8	
		防犯の取組が進んでいる	47.5	34.6	72.8	
2 輝き政策	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる	56.0	50.7	90.5	89.8
		高齢者、障がい者の就労・生きがいがいづくりに対する支援の取組が進んでいる	46.0	43.3	94.1	
		高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実している	48.2	44.7	92.7	
		高齢者に対する福祉サービスや支援が充実している	48.0	46.9	97.7	
		障がい者に対する福祉サービスや支援が充実している	46.0	36.7	79.8	
		支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実している	45.5	38.2	84.0	
	2 子育て環境の充実	子育てサービスが充実している	66.8	69.9	100.0 (104.6)	100.0 (103.0)
		保育と幼児教育の提供体制が充実している	56.0	57.8	100.0 (103.2)	
		母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいる	53.5	54.1	100.0 (101.1)	
	3 健康寿命延伸の推進	メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実している	58.0	55.0	94.8	93.7 (93.8)
		市立病院の救急医療体制が充実している	56.0	50.7	90.5	
		市立病院と地域のクリニック等との連携が充実している	45.5	45.8	100.0 (100.7)	
		検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいる	72.0	65.4	90.8	
		介護予防と認知症に対する取組が進んでいる	37.0	34.2	92.4	
	4 多様性の尊重と平和都市の推進	国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいる	29.0	31.7	100.0 (109.3)	85.5 (91.2)
		困りごとに対する相談・支援体制が充実している	29.0	31.2	100.0 (107.6)	
		平和についての啓発が進んでいる	32.0	18.1	56.6	
3 成長政策	1 学校教育の充実	子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっている	35.0	33.1	94.6	97.8 (98.0)
		教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実している	33.0	31.8	96.4	
		安全な教育環境の整備が進んでいる	38.9	39.3	100.0 (101.0)	
		人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいる	35.0	35.0	100.0	
	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいる	30.0	28.5	95.0	87.2
		家庭・地域・学校の協働が推進されている	37.0	29.5	79.7	
		生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいる	34.0	30.8	90.6	
		青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実している	39.0	32.6	83.6	

基本政策	基本施策	項目（～と思う市民の割合）	目標値（％）	実績値（％）	達成率（％） 〔項目ごと〕	達成率（％） 〔基本施策ごと〕
3 成長政策	3 文化芸術の振興	文化芸術に親しむ機会が提供されている	44.0	49.2	100.0 (111.8)	93.8 (97.8)
		郷土文化の継承と発展の取組が進んでいる	42.0	39.0	92.9	
		あつぎ郷土博物館の取組が進んでいる	42.0	37.2	88.6	
	4 生涯スポーツの振興	運動・スポーツ活動の機会が提供されている	54.0	56.1	100.0 (103.9)	95.6 (96.9)
		スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実している	35.0	33.6	96.0	
		スポーツ施設が充実している	46.0	41.8	90.9	
4 発展政策	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にある	80.6	78.5	97.4	84.3 (88.1)
		安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいる	42.0	48.3	100.0 (115.0)	
		通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできている	60.4	58.3	96.5	
		空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいる	39.0	16.9	43.3	
	2 魅力ある中心市街地等の形成	中心市街地の整備が進んでいる	49.0	48.6	99.2	89.5
		中心市街地のにぎわいを感じている	45.0	35.9	79.8	
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められている	58.4	48.5	83.0	94.3 (96.8)
		山地、河川、市街地などの景観が守られている	47.9	47.9	100.0	
		新たな産業拠点の創出が進んでいる	31.0	33.3	100.0 (107.4)	
	4 産業・商業の振興	商店街など、市内に利用したい店舗がある	45.0	49.5	100.0 (110.0)	95.4 (99.7)
		創業支援や中小企業支援が充実している	23.0	20.8	90.4	
		企業誘致が進んでいる	29.0	26.4	91.0	
		様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られている	23.5	25.2	100.0 (107.2)	
	5 安心して働くことができるまちの実現	就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実している	28.0	25.9	92.5	92.5
	6 観光の振興	大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいる	48.0	48.2	100.0 (100.4)	90.6 (90.7)
		温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られている	47.0	44.2	94.0	
		観光情報の発信が充実している	43.0	33.4	77.7	
4 発展政策	7 シティプロモーションと定住促進	本市の魅力が市内外に発信されている	47.4	37.4	78.9	58.2
		親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいる	52.0	19.5	37.5	
	8 農業・林業・水産業の振興	農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいる	25.0	25.9	100.0 (103.6)	100.0 (102.6)
		地産地消が進んでいる	46.0	46.7	100.0 (101.5)	
5 潤い政策	1 地球温暖化対策の推進	環境教育や環境学習の取組が進んでいる	40.0	27.4	68.5	69.1
		再生可能エネルギーの普及が進んでいる	33.0	25.4	77.0	
		公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいる	42.0	26.0	61.9	
	2 未来へつなげる循環型都市の実現	ごみの減量化・資源化が進んでいる	73.0	55.5	76.0	76.0
	3 自然との共生の推進	生物多様性の普及や保全が進んでいる	36.0	26.4	73.3	71.0
		里地里山の保全や活用が進んでいる	42.0	27.8	66.2	
		森林整備など山林の再生が進んでいる	31.0	22.8	73.5	
	4 緑豊かで美しいまちの実現	身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っている	65.2	65.1	99.8	97.5
		地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っている	66.0	62.8	95.2	
	5 河川と共生するまちの実現	親しみやすい水辺空間が整っている	46.5	47.4	100.0 (101.9)	100.0 (101.9)
6 共創政策	1 市民参加・市民協働の推進	自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいる	44.9	43.3	96.4	98.2 (98.5)
		市の情報媒体から必要な行政情報が発信されている	60.5	60.8	100.0 (100.5)	
	2 行財政改革の推進	社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている	43.3	29.4	67.9	78.1
		小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいる	43.3	38.2	88.2	
	3 都市間連携の推進	防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいる	42.3	33.2	78.5	76.9
		国内友好都市との交流が進んでいる	44.0	33.1	75.2	

6

施策評価シート

施策評価シートの見方

まちづくりのビジョン (基本政策)	1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	1 災害に強いまちの実現
目指す姿	・災害に備えたハード整備など、防災・減災対策が進んでいます。 ・防災・減災への意識が高まり、一人一人が日頃から災害への備えを行っています。 ・災害発生時には、市民・事業者・行政が一体となって、自助・共助・公助の連携が更に進んでいます。
	総合得点による4段階の評価区分 ・A 順調 総合得点90点以上 ・B おおむね順調 総合得点80点以上90点未満 ・C やや遅れ 総合得点60点以上80点未満 ・D 遅れ 総合得点60点未満
代表となる指標、市民実感度、実施計画事業指標の合計得点	総合評価 88.7 /100 B おおむね順調 成果と課題 災害に強いまちの実現に向け、水害防止を目的とした雨水管等の整備のほか、国土強靱化地域計画の改定や感震プレーカー配布の取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。しかしながら、代表となる指標「住宅の耐震化率」は目標値を達成できなかった。木造住宅を対象とした耐震化の補助事業については、令和7年度より除却工事への補助を開始したことから、あらためて補助制度の周知に努め、今後も粘り強く周知や指導を行っていく。 また、市民実感度「自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合」の達成率が低下したほか、市の防災訓練が台風10号の影響で中止となったため、予備日の設定について検討するとともに、地域防災リーダーを中心とした訓練を行うなど、地域の実情に応じた訓練を実施していく必要がある。

◆代表となる指標【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
災害に備えていることがある市民の割合	96.0%	89.9%	93.6%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
住宅の耐震化率	94.9%	93.3%	98.3%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
災害応急対策等に関する協定の締結数	150件	142件	94.7%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
市民防災研修会における防災に対する意識高揚度	95.0%	95.4%	100.0%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標
達成率平均

96.7%

代表となる指標
得点①

48.3

基本施策の代表的な取組に関する指標の
目標値に対する達成状況を点数化
(達成率の上限は100.0%)

達成率平均
×配点50点で算出

「施策の方向」別
に位置付いている
代表となる指標、
市民実感度、
実施計画事業

施策の方向								
① 災害に強い社会基盤の整備								
急傾斜地の土砂崩れ対策、河川の洪水対策や下水道による浸水対策などにより、地震、風水害時のリスク軽減に向けた取組を行います。 また、耐震化促進の普及啓発を進め、必要な水準を満たさない建物の耐震化を支援します。								

代表となる指標								
指標①								
住宅の耐震化率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	91.1	92.1	94.1	94.9	95.8	96.7
実績値	%	89.8	92.7	92.9	93.1	93.3		
達成率		—	100.0	100.0	98.9	98.3		

代表となる指標 達成率
98.3%

市民実感度								
指標①								
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		—	41.5	42.2	42.9	43.6	44.3	45.0
実績値	%	40.8	40.3	38.1	37.7	39.4		
達成率		—	97.1	90.3	87.9	90.4		
【参考】実感度と重要度の関係性		II	II	II	II	II		

市民実感度 達成率
90.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 急傾斜地安全対策事業	94.7%	A
② 公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%	A
③ 木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	58.3%	D

実施計画事業 達成率平均
84.3%

市民実感度調査で調査した「実感度」と「重要度」の関係性を4つに分類

- ・Ⅰ 重点維持項目(実感度:高い・重要度:高い)
- ・Ⅱ 重点改善項目(実感度:低い・重要度:高い)
- ・Ⅲ 維持項目(実感度:高い、重要度:低い)
- ・Ⅳ 改善項目(実感度:低い、重要度:低い)

実施計画事業指標の目標値に対する達成率を、
施策貢献度としてAからDまでの4段階に区分

- ・A 達成率90%以上
- ・B 達成率80%以上90%未満
- ・C 達成率60%以上80%未満
- ・D 達成率60%未満

1 命、財産を守り抜くまち (安心政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 災害に強いまちの実現	88.7	B おおむね順調
2 消防力の充実・強化	94.8	A 順調
3 セーフコミュニティの推進	81.4	B おおむね順調

総合評価
安心政策は、1つの基本施策が順調という結果となった。基本施策1「災害に強いまちの実現」については、地域防災力の向上に向けた課題として、自治会の加入率低下等、地域コミュニティにおけるつながりの希薄化が挙げられることから、地域の実情に応じた防災訓練を行うなど、一人一人の防災意識の高揚を図るとともに、災害被害の軽減に不可欠である「共助」の精神を育む必要がある。 基本施策3「セーフコミュニティの推進」については、代表となる指標「刑法犯認知件数」及び「特殊詐欺被害件数」の実績値が増加し、達成率が低くなったことに加え、市民実感度「防犯の取組が進んでいると思う市民の割合」が前年度より低下していることから、防犯対策に係る取組を強化し、安心して暮らせる環境づくりを一層推進する必要がある。 また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、市民の皆様の命、財産を守り抜くまちの実現に向けて、着実に取組を進めること。

総合計画審議会からの意見
1 施策が総合評価A、2 施策が総合評価Bとなり、おおむね計画どおりに進捗したことは評価するが、基本施策1「災害に強いまちの実現」の三つの市民実感度については、重要度が高く実感度が低い分類Ⅱとなっている。高齢化社会の進展に伴う救急需要の増大を踏まえ、消防・救急体制を一層充実されたい。また、地域防災力の向上に向け、地域・学校・医療機関等と連携し、様々なシナリオを想定した防災訓練や地域のこどもたちを巻き込んだ防災教育を行うなど、あらゆる世代の防災意識の高揚や地域のつながりの構築に向けた取組を推進されたい。

まちづくりのビジョン (基本政策)	1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	1 災害に強いまちの実現
目指す姿	・災害に備えたハード整備など、防災・減災対策が進んでいます。 ・防災・減災への意識が高まり、一人一人が日頃から災害への備えを行っています。 ・災害発生時には、市民・事業者・行政が一体となって、自助・共助・公助の連携が更に進んでいます。
第1期 基本計画での 取組方針	・地震や風水害に備えた防災インフラの整備及び耐震化の普及啓発を進めます。 ・市民が「自分の命は自分が守る」という防災意識を持ち、必要な準備を行うことができるよう、情報の周知や啓発を行うとともに、災害時においても必要な医療が受けられるよう、体制の整備を進めます。 ・自主防災組織への支援や避難所機能強化等を通じて、地域防災力の強化を図ります。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
88.7 /100	B おおむね順調	災害に強いまちの実現に向け、水害防止を目的とした雨水管等の整備のほか、国土強靱化地域計画の改定や感震ブレイカー配布の取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「住宅の耐震化率」は目標値を達成できなかった。木造住宅を対象とした耐震化の補助事業については、令和7年度より除却工事への補助を開始したことから、あらためて補助制度の周知に努め、今後も粘り強く周知や指導を行っていく。 また、市民実感度「自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合」の達成率が低下したほか、市の防災訓練が台風10号の影響で中止となったため、予備日の設定について検討するとともに、地域防災リーダーを中心とした訓練を行うなど、地域の実情に応じた訓練を実施していく必要がある。

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
災害に備えていることがある市民の割合	96.0%	89.9%	93.6%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
住宅の耐震化率	94.9%	93.3%	98.3%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
災害応急対策等に関する協定の締結数	150件	142件	94.7%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
市民防災研修会における防災に対する意識高揚度	95.0%	95.4%	100.0%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
96.7%

代表となる指標 得点(A)
48.3

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合	43.6%	39.4%	90.4%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合	56.6%	44.9%	79.3%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合	45.8%	34.5%	75.3%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
81.7%

市民実感度 得点 ^⑧
24.5

◆実施計画事業指標 [配点：20点] (各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均
79.9%

実施計画事業指標 得点◎
15.9

施策の方向
① 災害に強い社会基盤の整備
急傾斜地の土砂崩れ対策、河川の洪水対策や下水道による浸水対策などにより、地震、風水害時のリスク軽減に向けた取組を行います。 また、耐震化促進の普及啓発を進め、必要な水準を満たさない建物の耐震化を支援します。

代表となる指標								
指標①								
住宅の耐震化率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	91.1	92.1	94.1	94.9	95.8	96.7
実績値		89.8	92.7	92.9	93.1	93.3		
達成率		－	100.0	100.0	98.9	98.3		

代表となる指標 達成率
98.3%

市民実感度								
指標①								
急傾斜地の崩壊防止や浸水被害防止など、災害に備えたハード整備が進んでいると思う市民の割合								
年度		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
単位								
目標値	%							
実績値								
達成率								
【参考】実感度と重要度の関係性								
		－	41.5	42.2	42.9	43.6	44.3	45.0
		40.8	40.3	38.1	37.7	39.4		
		－	97.1	90.3	87.9	90.4		
		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
90.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 急傾斜地安全対策事業	94.7%	A
② 公共下水道浸水対策事業【公共下水道事業会計】	100.0%	A
③ 木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	58.3%	D

実施計画事業 達成率平均
84.3%

施策の方向								
② 災害対応力の強化								
「自分の命は自分で守る」という防災意識を啓発するため、防災訓練を実施するとともに、地区別防災マップやオールハザードマップの活用を図り、指定避難所などを周知します。 また、市立病院等との連携により、災害時に継続して医療を提供できるよう医療体制の確保に努めます。								

代表となる指標								
指標①								
災害に備えていることがある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	86.9	87.5	94.0	96.0	98.0	100.0
実績値		86.3	89.9	89.0	86.8	89.9		
達成率		－	100.0	100.0	92.3	93.6		
指標②								
災害応急対策等に関する協定の締結数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	件	－	124	127	145	150	155	160
実績値		121	134	139	134	142		
達成率	%	－	100.0	100.0	92.4	94.7		

代表となる指標 達成率平均
94.2%

市民実感度								
指標①								
災害時の情報伝達手段や防災訓練の実施など、災害対応力強化の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
単位								
目標値	%							
実績値								
達成率								
【参考】実感度と重要度の関係性		I	II	I	II	II		

市民実感度 達成率
79.3%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 総合防災訓練等事業	53.1%	D
② 新型防災ラジオ整備事業	87.5%	B
③ 風水害等対策事業	100.0%	A
④ 風水害等対策事業【公共下水道事業会計】	25.0%	D
⑤ 国土強靱化地域計画改定事業	100.0%	A
⑥ 災害時医療対策事業	100.0%	A
⑥ 感震ブレーカー設置事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
80.8%

施策の方向
③ 地域防災組織の強化
自主防災組織の支援や避難所の機能強化と運営支援などを通じて、地域における防災対応力を強化します。

代表となる指標								
指標①								
市民防災研修会における防災に対する意識高揚度								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	55.0	60.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値		－	0.0	91.0	95.3	95.4		
達成率		－	0.0	100.0	100.0	100.0		

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
自主防災隊の育成、避難所の機能強化など、地域防災力向上の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	39.5	41.6	43.7	45.8	47.9	50.0
実績値		37.3	34.3	35.4	33.0	34.5		
達成率		－	86.8	85.1	75.5	75.3		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
75.3%

実施計画事業			実施計画事業 達成率
事業名	達成率	施策貢献度	
① 地域防災力強化事業	59.8%	D	

まちづくりのビジョン (基本政策)	1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	2 消防力の充実・強化
目指す姿	・複雑多様化、大規模化する災害に、迅速かつ的確に対応した消防体制が充実しています。 ・市民の応急処置への対応力向上と医療機関との連携の強化により、救急体制が充実し、救命率の向上が図られています。 ・防火意識が高まり、防火対策が推進されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・複雑多様化、大規模化する災害に、迅速かつ的確に対応するため、消防庁舎の整備、消防組織体制の見直し及び地域防災の要である消防団との連携強化を図ります。 ・応急手当の普及啓発、救急高度化の推進及び医療機関との連携による救急体制の充実を図ります。 ・火災のないまちを目指し、地域や事業者と連携した地域ぐるみの火災予防対策に取り組みます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
94.8 /100	A 順調	消防力の充実・強化に向け、消防庁舎や高機能消防指令センターの再整備に向けた取組を始め、消防団施設や消防車両の整備、応急手当の普及啓発などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「出火率（人口1万人当たりの出火件数）」については、空気の乾燥等により例年以上に出火件数が増加し達成率が低下したことから、市民の命と暮らしを守るため、更なる火災予防の啓発を行う必要がある。 また、三つの市民実感度は全て実感度と重要度が高い分類Ⅰに該当しているが、目標値を達成していないことから、イベントやSNSを活用して広報を行うなど、より効果的な情報発信の手法を検討する必要がある。

◆代表となる指標【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
出火率（人口1万人当たりの出火件数）	2.4件	2.9件	82.8%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
AEDの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合	65.6%	64.4%	98.2%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
市民による応急手当の実施率	66.5%	67.0%	100.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合	81.3%	78.9%	97.0%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
94.5%

代表となる指標 得点(A)
47.2

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
消防・救急・救助体制が充実していると思う市民の割合	73.8%	69.8%	94.6%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
応急手当の普及に向けた取組が進んでいると思う市民の割合	52.5%	48.8%	93.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいると思う市民の割合	57.5%	53.0%	92.2%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
93.3%

市民実感度 得点 ^⑧
27.9

◆実施計画事業指標 [配点：20点]（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均
98.7%

実施計画事業指標 得点◎
19.7

施策の方向								
① 消防体制の充実								
消防拠点施設や消防資機材等の整備を始め、消防団員確保と活動環境の充実を図るとともに、消防広域応援体制を推進し、消防力を強化します。								

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
消防・救急・救助体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	71.5	72.3	73.0	73.8	74.6	75.4
実績値		70.7	69.1	70.1	72.0	69.8		
達成率		－	96.6	97.0	98.6	94.6		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
94.6%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 消防庁舎整備事業	100.0%	A
② 消防団施設整備事業	100.0%	A
③ 高機能消防指令センター整備事業	100.0%	A
④ 消防車両整備事業	100.0%	A
⑤ 消防水利整備事業	—	—
⑥ 消防資器材整備事業	100.0%	A
⑦ 消防活動用ドローン導入事業	100.0%	A
⑧ 消防団活性化事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向
② 救急体制の充実
市民協働による応急救護体制を強化するため、幅広く救命講習会を開催し、応急手当の普及啓発を推進します。また、医療機関との連携を更に強化し、救命率の向上を図ります。

代表となる指標								
指標①								
AEDの使い方や心臓マッサージの方法を知っている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	61.9	63.1	64.4	65.6	66.9	68.1
実績値		60.7	61.9	62.2	62.9	64.4		
達成率		－	100.0	98.6	97.7	98.2		
指標②								
市民による応急手当の実施率								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	66.5	66.5	66.5	66.5	66.5	66.5
実績値		61.2	66.3	69.1	65.4	67.0		
達成率		－	99.7	100.0	98.3	100.0		

代表となる指標 達成率平均
99.1%

市民実感度								
指標①								
応急手当の普及に向けた取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	48.8	50.0	51.3	52.5	53.8	55.0
実績値		47.5	49.1	45.4	48.4	48.8		
達成率		－	100.0	90.8	94.3	93.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
93.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 救急推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率
100.0%

施策の方向
③ 火災予防対策の推進
地域や事業所における防火意識の普及啓発を推進するとともに、立入検査等を強化し、地域と連携した火災予防対策に取り組めます。

代表となる指標								
指標①								
出火率（人口 1 万人当たりの出火件数）								
年度	単位	現状値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
目標値	件	－	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.3
実績値		2.4	2.4	2.6	2.2	2.9		
達成率		％	－	100.0	92.3	100.0	82.8	
指標②								
消火器の使い方や住宅用火災警報器の点検方法を知っている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
目標値	％	－	79.9	80.3	80.8	81.3	81.7	82.2
実績値		79.4	79.4	79.5	79.9	78.9		
達成率		－	99.4	99.0	98.9	97.0		

代表となる指標 達成率平均
89.9%

市民実感度								
指標①								
火災予防の啓発など、火災予防の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	％	－	53.3	54.7	56.1	57.5	58.9	60.3
実績値		51.9	54.8	52.2	54.2	53.0		
達成率		－	100.0	95.4	96.6	92.2		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
92.2%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 防火意識啓発事業	88.3%	B

実施計画事業 達成率
88.3%

まちづくりのビジョン (基本政策)	1 命、財産を守り抜くまち（安心政策）
基本施策	3 セーフコミュニティの推進
目指す姿	「事故やけがは、偶然の結果ではなく、予防できる」というセーフコミュニティの理念の下、地域住民などとの協働により、誰もがいつまでも安心・安全で健康に暮らせるまちが実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・市民・関係団体・行政などが連携・協働し、セーフコミュニティの認証指標やセーフコミュニティ推進条例に基づき、誰もが健康で安心して安全に暮らすことができるまちづくりを進めます。 ・交通安全の啓発活動や、放置自転車の対策に取り組めます。 ・街頭犯罪の未然防止及び犯罪の抑制を図るため、市民協働による防犯パトロールなどの防犯活動を行うとともに、消費者トラブルの早期解決・防止に向け、消費生活相談や啓発活動を実施します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
81.4 /100	B おおむね順調	セーフコミュニティの推進に向け、市民のニーズに合わせて開催した安心・安全に関する研修会において、参加者の意識の高揚を図ることができたほか、放置自転車禁止区域での自転車の整理・回収や悪質商法被害未然防止のための啓発活動の取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「刑法犯認知件数」は年々増加しており、特に自転車盗や車上ねらいなど窃盗犯認知件数が増加したことから、被害を未然に防ぐため、注意喚起情報や効果的な防犯対策を積極的に発信するなど、各自の防犯意識を高める取組が必要である。 また、六つの代表となる指標及び三つの市民実感度は、全て前年度より達成率が低下したため、市民実感度の向上を目指し、地域住民、警察、行政が三位一体となり、継続的にパトロール活動を行うとともに、セーフコミュニティの新体制の下、地域における取組を支援するなど、安心して暮らせる環境づくりを推進する必要がある。

◆代表となる指標 [配点：50点]

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	95.4%	93.8%	98.3%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合	64.8%	54.8%	84.6%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
交通事故発生件数（暦年）	587件	618件	95.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合	94.0%	90.7%	96.5%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
刑法犯認知件数（暦年）	656件	1385件	47.4%
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
特殊詐欺被害件数（暦年）	16件	40件	40.0%
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
77.0%

代表となる指標 得点(A)
38.5

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
事故やけがなどがなく健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	50.2%	40.3%	80.3%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
交通安全の取組が進んでいると思う市民の割合	48.4%	43.0%	88.8%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
防犯の取組が進んでいると思う市民の割合	47.5%	34.6%	72.8%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
80.6%

市民実感度 得点⑧
24.1

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均	94.3%
実施計画事業指標 得点◎	18.8

施策の方向
① セーフコミュニティの取組の推進
セーフコミュニティの理念の下、市民や関係団体など、安全の向上を担う様々な組織と連携・協働し、事故やけがなどのデータの収集と科学的な分析を行い、根拠に基づいた対策を実施します。

代表となる指標								
指標①								
セーフコミュニティに関する研修会等参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	92.7	93.6	94.5	95.4	96.4	97.4
実績値		86.5	94.1	92.0	93.6	93.8		
達成率		－	100.0	98.3	99.0	98.3		

代表となる指標 達成率
98.3%

市民実感度								
指標①								
事故やけがなどが無い健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合								
年度		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
単位								
目標値	%							
実績値								
達成率		－	94.8	80.4	86.5	80.3		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	Ⅱ	I	Ⅱ		

市民実感度 達成率
80.3%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① セーフコミュニティ推進事業	90.2%	A
② 地域セーフコミュニティ活動推進事業	99.2%	A
		実施計画事業 達成率平均
		94.7%

施策の方向								
② 交通安全対策の強化								
地域と行政などとの協働により、市内の主要道路における交通指導や駅周辺などでの啓発キャンペーンを実施します。 また、放置自転車の指導・整理や自転車などの駐車場の拡充などにより、通行の安全確保を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
自転車の安全のために心掛けていることがある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	55.2	57.2	63.4	64.8	66.2	67.6
実績値		53.2	60.8	57.3	54.8	54.8		
達成率		－	100.0	100.0	86.4	84.6		
指標②								
交通事故発生件数（暦年）								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	777	742	603	587	571	555
実績値		852	711	617	620	618		
達成率	%	－	100.0	100.0	97.3	95.0		

代表となる指標 達成率平均
89.8%

市民実感度								
指標①								
交通安全の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	42.4	44.4	46.4	48.4	50.4	52.4
実績値		40.4	42.8	37.6	44.5	43.0		
達成率		－	100.0	84.7	95.9	88.8		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
88.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 交通安全対策事業	95.0%	A
② 自転車安全促進事業	92.1%	A
③ 放置自転車対策事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
95.7%

施策の方向								
③ 防犯に対する取組の推進								
市民協働による防犯活動の充実を図ります。 また、特殊詐欺の情報の周知などに取り組むとともに、警察と連携して特殊詐欺被害の未然防止に努めます。 さらに、消費者トラブルの早期解決を図るとともに、悪質商法などに関する効果的な啓発活動の展開を図り、消費者被害の未然防止に努めます。								

代表となる指標								
指標①								
防犯などの対策について心掛けていることがある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0
実績値		90.1	89.5	89.6	90.4	90.7		
達成率		－	98.4	97.4	97.2	96.5		
指標②								
刑法犯認知件数（暦年）								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	900	810	729	656	590	531
実績値		1,259	1,131	1,102	1,262	1,385		
達成率		－	79.6	73.5	57.8	47.4		
指標③								
特殊詐欺被害件数（暦年）								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	30	27	19	16	13	10
実績値		31	10	38	38	40		
達成率		－	100.0	71.1	50.0	40.0		

代表となる指標 達成率平均
61.3%

市民実感度								
指標①								
防犯の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	40.0	42.5	45.0	47.5	50.0	52.5
実績値		36.8	38.2	30.2	36.4	34.6		
達成率		－	95.5	71.1	80.9	72.8		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
72.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 防犯対策事業	93.9%	A
② 安心・安全対策整備事業	97.6%	A
③ 本厚木駅周辺環境浄化対策事業	80.0%	B
④ 振り込め詐欺等防止装置購入費補助事業	95.3%	A
⑤ 消費生活相談・消費者意識啓発事業	99.2%	A

実施計画事業 達成率平均
93.2%

2 支え合い、生き生きと暮らせるまち (輝き政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	88.2	B おおむね順調
2 子育て環境の充実	95.4	A 順調
3 健康寿命延伸の推進	92.7	A 順調
4 多様性の尊重と平和都市の推進	81.3	B おおむね順調

総合評価
輝き政策は、2つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策1「住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現」については、前年度と比較して総合評価がAからBに下がっており、六つの市民実感度のうち五つの項目で達成率が前年度より低くなっている。地域包括ケア社会の実現に向け、地域住民がゆるやかに見守り合える関係を構築するとともに、限られた人材を有効に活用するための効果的な手法を検討する必要がある。 基本施策4「多様性の尊重と平和都市の推進」については、三つの市民実感度で実績値が低いことに加え、「平和についての啓発が進んでいると思う市民の割合」は前年度より低下していることから、ジェンダー平等や多文化共生に対する市民の理解促進に努めるとともに、戦後80年の節目として次世代に戦争の悲惨さを伝え、平和意識を育む取組を一層推進する必要がある。 また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、市民の皆様が支え合い、生き生きと暮らせるまちの実現に向けて、着実に取組を進めること。

総合計画審議会からの意見
2施策が総合評価A、2施策が総合評価Bとなり、おおむね計画どおりに進捗したことは評価するが、基本施策1「住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現」については、初めてB評価に下がった点が危惧される。輝き政策は、人が人を支える政策であり、介護職、保育士、看護職等の人材確保が必須であることから、深刻化する人材不足に対応するため、DX化の検討を進めるなど、積極的に新たな手法を取り入れられたい。また、基本施策3「健康寿命延伸の推進」についても、DXを活用した受診勧奨など、健診受診率向上に向けた取組を推進されたい。

まちづくりのビジョン (基本政策)	2 支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現
目指す姿	誰もが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる社会が実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・「見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」を進め、助け合える関係を構築します。 ・高齢者の生きがいや就労機会の創出の取組を進め、社会参加の機会を提供します。 ・介護老人保健施設などの整備や人材確保など、ニーズに対応した高齢者福祉サービス提供体制を整備します。 ・高齢者が可能な限り自立した生活を送ることができるよう、生活支援の取組を進めます。 ・障がい者が自立して生活できるよう、また、サービスを必要とする人に質の高いサービスを提供できるよう、サービス内容の充実や人材の確保に取り組みます。 ・医療、介護、福祉等の連携による包括的な支援体制の構築を図ります。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
88.2 /100	B おおむね順調	住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現に向け、かなちゃん手形や高齢者タクシー利用券の助成を拡大したほか、社会福祉団体の活動を支援する取組などが成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数」については、目標値を達成していないことから、介護職の就職相談会や各種助成金の周知を図り、介護事業所と協力して人員確保に努めていく必要がある。 地域社会やコミュニティでのつながりが希薄化する中、複雑化・複合化する支援ニーズに対応するため、医療、介護、福祉等の多機関連携による包括的な支援体制を充実させるとともに、「見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」を進め、地域住民がゆるやかに見守り合える関係の構築に向けた取組を推進する必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
地域の人との関わりがあると思う市民の割合	60.5%	55.3%	91.4%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
生きがいを持って生活を送っている市民の割合	78.0%	75.8%	97.2%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
ケアプラン点検の実施事業所数	50事業所	75事業所	100.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数	48人	35人	72.9%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
地域住民による助け合い活動団体数	18団体	16団体	88.9%
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数	48か所	39か所	81.3%
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
地域福祉コーディネーターの活動件数	2500件	3083件	100.0%
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
90.2%

代表となる指標 得点④
45.1

◆市民実感度 【配点：30点】

（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいると思う市民の割合	56.0%	50.7%	90.5%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいると思う市民の割合	46.0%	43.3%	94.1%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実していると思う市民の割合	48.2%	44.7%	92.7%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
高齢者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合	48.0%	46.9%	97.7%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
障がい者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合	46.0%	36.7%	79.8%
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実していると思う市民の割合	45.5%	38.2%	84.0%

市民実感度 達成率平均
89.8%

市民実感度 得点⑧
26.9

◆実施計画事業指標 【配点：20点】（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 地域福祉活動の推進	1	地域福祉推進事業	90.5%
② 就労・生きがいづくりの推進	2	エイジレス・ライフ応援事業	100.0%
	3	老人クラブ指導育成事業	92.3%
	4	高齢者生きがい就労事業	99.6%
	5	障がい者就労施設等共同受注窓口事業補助事業	100.0%
③ 福祉サービス提供体制の充実	1	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）策定事業	—
	2	介護職人材確保支援事業	72.9%
④ 高齢者福祉サービスの充実	1	在宅福祉推進事業（在宅サービス事業）	68.7%
	2	介護支援事業（高齢者支援）【介護保険事業特別会計】	47.2%
	3	高齢者外出支援事業	100.0%
	4	敬老事業	100.0%
	5	要介護・高齢者等歯科診療事業	93.3%
⑤ 障がい者福祉サービスの充実	1	障害者地域生活支援事業（福祉サービス）	93.4%
	2	児童発達支援事業	97.6%
	3	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	45.8%
	4	障害者医療費助成事業	98.3%
	5	障害者福祉手当等給付事業	81.0%
	6	障害福祉サービス開設準備・運営経費補助事業	0.0%
	7	障がい者歯科診療事業	100.0%
	8	学校等訪問看護支援事業	100.0%
⑥ 包括的な支援体制の充実	1	包括的支援事業（在宅医療・介護・生活支援推進事業）	51.9%
	2	包括的支援事業（地域包括支援センター運営事業）	98.3%
	3	社会福祉団体等助成事業	100.0%
	4	生活困窮者自立支援事業	32.6%
	5	高齢者の尊厳保持支援事業	76.6%
	6	重層的支援体制整備事業	74.7%
	7	包括的支援事業（地域ケア会議推進事業）	100.0%

実施計画事業指標 達成率平均
81.3%

実施計画事業指標 得点⑨
16.2

施策の方向
① 地域福祉活動の推進
地域において、日頃から適度な距離感を持った、住民同士のゆるやかな見守り活動を通じて、困ったときに助け合える、「見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり」を進めます。

代表となる指標								
指標①								
地域の人のとの関わりがあると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	56.0	57.0	59.0	60.5	62.0	63.5
実績値		53.9	55.2	57.3	57.1	55.3		
達成率		－	98.6	100.0	96.8	91.4		
指標②								
地域住民による助け合い活動団体数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	団体	－	8	9	15	18	22	25
実績値		7	7	12	13	16		
達成率	%	－	87.5	100.0	86.7	88.9		

代表となる指標 達成率平均
90.2%

市民実感度								
指標①								
見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
実績値		48.0	50.3	46.7	51.6	50.7		
達成率		－	100.0	89.8	95.6	90.5		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
90.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 地域福祉推進事業	90.5%	A

実施計画事業 達成率
90.5%

施策の方向
② 就労・生きがいづくりの推進
高齢者の外出を促進するとともに、地域における交流の場を整備し、社会参加の機会の拡大を通じて、いつまでも生きがいを持てるよう支援します。 また、高齢者が培った豊かな知見や経験をいかせる場づくりを支援し、高齢者の就労機会の確保を図ります。

代表となる指標								
指標①								
生きがいを持って生活を送っている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0
実績値		74.6	75.2	76.0	74.6	75.8		
達成率		－	100.0	100.0	96.9	97.2		

代表となる指標
達成率

97.2%

市民実感度								
指標①								
高齢者、障がい者の就労・生きがいづくりに対する支援の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
実績値		39.6	43.3	37.0	44.1	43.3		
達成率		－	100.0	88.1	100.0	94.1		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	Ⅱ	I	I		

市民実感度 達成率
94.1%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① エイジレス・ライフ応援事業	100.0%	A
② 老人クラブ指導育成事業	92.3%	A
③ 高齢者生きがい就労事業	99.6%	A
④ 障がい者就労施設等共同受注窓口事業補助事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率平均

98.0%

施策の方向								
③ 福祉サービス提供体制の充実								
要介護者などが、自宅で日常生活を維持するために、身体状況などに応じて作成された介護支援計画（ケアプラン）に基づき、必要なサービスが受けられるよう、サービス必要量の確保に努めます。 また、在宅サービスの要望を基本とした上で、必要に応じた施設整備を行います。								

代表となる指標								
指標①								
介護職の人材支援を受けて市内事業所に就労した人数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	28	32	45	48	50	52
実績値		20	39	43	37	35		
達成率		－	100.0	100.0	82.2	72.9		

代表となる指標 達成率
72.9%

市民実感度								
指標①								
高齢者福祉施設の整備など、福祉サービス提供体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	44.6	45.8	47.0	48.2	49.4	50.6
実績値		43.4	44.6	39.1	43.7	44.7		
達成率		－	100.0	85.4	93.0	92.7		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
92.7%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）策定事業	－	－
② 介護職人材確保支援事業	72.9%	C

実施計画事業 達成率平均
72.9%

施策の方向								
④ 高齢者福祉サービスの充実								
ひとり暮らし高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、可能な限り自立した生活を送るための在宅支援サービスを提供します。 また、高齢者の外出機会を拡大するため、バス交通費に対する一部助成を行うなど、高齢者福祉サービスを提供します。								

代表となる指標								
指標①								
ケアプラン点検の実施事業所数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	事業所	－	50	50	50	50	50	50
実績値		35	50	50	50	75		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
高齢者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
実績値		44.3	45.3	39.7	44.8	46.9		
達成率		－	100.0	86.3	95.3	97.7		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
97.7%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 在宅福祉推進事業（在宅サービス事業）	68.7%	C
② 介護支援事業（高齢者支援）【介護保険事業特別会計】	47.2%	D
③ 高齢者外出支援事業	100.0%	A
④ 敬老事業	100.0%	A
⑤ 要介護・高齢者等歯科診療事業	93.3%	A

実施計画事業 達成率平均
81.8%

施策の方向
⑤ 障がい者福祉サービスの充実
福祉施設や医療機関などとの連携により、障がいの特性に応じた必要なサービスの提供の充実を図るとともに、地域や社会活動への参加を促進し、生きがいを持った自分らしい生活を支援します。 また、障がいに対する理解を深める機会を提供し、啓発を進めます。

代表となる指標								
指標①								
市内障害福祉サービス事業所の地域生活支援拠点の登録数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	か所	－	6	8	10	48	51	54
実績値		5	38	42	49	39		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	81.3		

代表となる指標 達成率
81.3%

市民実感度								
指標①								
障がい者に対する福祉サービスや支援が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	37.0	40.0	43.0	46.0	49.0	52.0
実績値		36.4	38.6	34.2	37.9	36.7		
達成率		－	100.0	85.5	88.1	79.8		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	Ⅱ	Ⅱ	I	I		

市民実感度 達成率
79.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 障害者地域生活支援事業（福祉サービス）	93.4%	A
② 児童発達支援事業	97.6%	A
③ 軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	45.8%	D
④ 障害者医療費助成事業	98.3%	A
⑤ 障害者福祉手当等給付事業	81.0%	B
⑥ 障害福祉サービス開設準備・運営経費補助事業	0.0%	D
⑦ 障がい者歯科診療事業	100.0%	A
⑧ 学校等訪問看護支援事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
77.0%

施策の方向								
⑥ 包括的な支援体制の充実								
地域包括支援センターや障がい者相談支援センターを中心に、それぞれが地域の実態や課題について把握するとともに、関係機関などとの連携による分野横断的な相談体制の充実を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
地域福祉コーディネーターの活動件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	1,800	2,100	2,300	2,500	2,700	2,900
実績値		1,752	1,532	1,422	1,990	3,083		
達成率		－	85.1	67.7	86.5	100.0		

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
支援を必要とする人を受け止める包括的な支援体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	38.0	40.5	43.0	45.5	48.0	50.5
実績値		35.4	38.2	34.7	36.8	38.2		
達成率		－	100.0	85.7	85.6	84.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
84.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 包括的支援事業（在宅医療・介護・生活支援推進事業）	51.9%	D
② 包括的支援事業（地域包括支援センター運営事業）	98.3%	A
③ 社会福祉団体等助成事業	100.0%	A
④ 生活困窮者自立支援事業	32.6%	D
⑤ 高齢者の尊厳保持支援事業	76.6%	C
⑥ 重層的支援体制整備事業	74.7%	C
⑦ 包括的支援事業（地域ケア会議推進事業）	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
76.3%

まちづくりのビジョン (基本政策)	2 支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	2 子育て環境の充実
目指す姿	・子どもたちが健やかで心豊かに成長できる環境が整っています。 ・地域全体で子どもと子育て家庭を支える体制が整い、保護者が子育てに伴う誇りと喜びを実感できる社会が実現されています。 ・子どもたちの育つ力を応援するため、保育・幼児教育ニーズに対応したサービスが提供されています。 ・保健・医療支援が充実し、安心して子どもを産み育てることができる環境が整っています。
第1期 基本計画での 取組方針	・子育て家庭に対する経済的な負担軽減などの子育てサービスを充実させるとともに、地域全体での子育てを推進するため、地域、関係機関などとの連携を深め、子育て支援体制の充実を図ります。 ・保育所などの機能充実や保育・幼児教育内容の充実を図るとともに、人材確保に努め、保育・幼児教育の提供体制の充実を図ります。 ・保健、福祉などの分野が連携した総合的な健康づくりや育児に関する不安・悩みの軽減を図り、親と子の健康づくりを推進します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
95.4 /100	A 順調	子育て環境の充実に向け、こどもまんなか社会の実現を目指した「厚木市こども・若者みらい計画」の策定や、公立保育所における児童給食費などのキャッシュレス決済導入の取組などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合」は年々低下していることから、妊娠期から出産・子育てまで一貫した支援を提供し、相談しやすい環境づくりを推進する必要がある。 また、三つの市民実感度については、いずれも重要度と実感度が高い分類Ⅰに該当していることから、引き続き、子育て・教育で選ばれるまちを目指し、子育て家庭を支える体制の充実にも努める必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合	67.0%	59.3%	88.5%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
保育施設等入所率	100.0%	100.0%	100.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
妊娠届出率（妊娠11週以下）	91.0%	86.5%	95.1%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
94.5%

代表となる指標 得点④
47.2

◆市民実感度 【配点：30点】

（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
子育てサービスが充実していると思う市民の割合	66.8%	69.9%	100.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
保育と幼児教育の提供体制が充実していると思う市民の割合	56.0%	57.8%	100.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合	53.5%	54.1%	100.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
100.0%

市民実感度 得点⑧
30.0

◆実施計画事業指標 【配点：20点】（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 子育てサービスの充実	1	子育て支援事業	93.0%
	2	母子家庭等支援事業	95.7%
	3	コミュニティ保育推進事業補助事業	100.0%
	4	子育てリフレッシュ事業	96.7%
	5	あつぎ子ども未来プラン（第4期）策定事業	100.0%
	6	子育て日常生活支援事業	98.4%
② 保育・幼児教育等の提供体制の充実	1	保育内容充実事業	94.1%
	2	子ども・子育て支援新制度事業	87.5%
	3	私立幼稚園就園奨励事業	91.8%
	4	放課後子ども教室推進事業	100.0%
	5	放課後児童対策事業	99.2%
	6	幼稚園送迎ステーション事業	100.0%
	7	幼稚園教諭確保助成事業	46.7%
	8	保育士確保対策事業	33.3%
	9	保育所キャッシュレス決済導入事業	100.0%
③ 親と子の健康づくりの推進	1	療育支援事業	100.0%
	2	子ども医療費助成事業	100.0%
	3	ひとり親家庭等医療費助成事業	100.0%
	4	母子保健衛生事業	95.7%

実施計画事業指標 達成率平均
91.2%

実施計画事業指標 得点⑨
18.2

施策の方向
① 子育てサービスの充実
ライフスタイルの変化などによる保育ニーズの多様化に対応した子育てサービスを提供するとともに、家庭や子どもの状況に合わせ、適切な支援を実施します。 また、地域における子育て支援体制の充実を図り、地域力を活用した子育て支援を促進します。

代表となる指標								
指標①								
子育てについて困ったときに、気軽に相談できる相手がいる市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	56.1	56.3	65.6	67.0	68.4	69.8
実績値		55.9	62.8	60.5	59.9	59.3		
達成率		－	100.0	100.0	91.3	88.5		

代表となる指標 達成率
88.5%

市民実感度								
指標①								
子育てサービスが充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	66.2	66.4	66.6	66.8	67.0	67.2
実績値		66.0	68.2	64.0	67.5	69.9		
達成率		－	100.0	96.4	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 子育て支援事業	93.0%	A
② 母子家庭等支援事業	95.7%	A
③ コミュニティ保育推進事業補助事業	100.0%	A
④ 子育てリフレッシュ事業	96.7%	A
⑤ あつぎ子ども未来プラン（第４期）策定事業	100.0%	A
⑥ 子育て日常生活支援事業	98.4%	A

実施計画事業 達成率平均
97.3%

施策の方向
② 保育・幼児教育等の提供体制の充実
保育所の機能充実や、認定こども園、幼稚園、保育所などの保育・教育内容の充実を図るとともに、担い手となる教育・保育従事者の確保に取り組めます。

代表となる指標								
指標①								
保育施設等入所率								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値		99.9	100.0	100.0	100.0	100.0		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		

代表となる指標 達成率
100.0%

市民実感度								
指標①								
保育と幼児教育の提供体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	54.8	55.2	55.6	56.0	56.4	56.8
実績値		54.4	57.5	50.7	52.9	57.8		
達成率		－	100.0	91.8	95.1	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 保育内容充実事業	94.1%	A
② 子ども・子育て支援新制度事業	87.5%	B
③ 私立幼稚園就園奨励事業	91.8%	A
④ 放課後子ども教室推進事業	100.0%	A
⑤ 放課後児童対策事業	99.2%	A
⑥ 幼稚園送迎ステーション事業	100.0%	A
⑦ 幼稚園教諭確保助成事業	46.7%	D
⑧ 保育士確保対策事業	33.3%	D
⑨ 保育所キャッシュレス決済導入事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
83.6%

施策の方向								
③ 親と子の健康づくりの推進								
子どものライフステージに応じて、保健、福祉などの分野が連携した、総合的な健康づくりに取り組みます。 また、保護者の育児に関する悩みや不安の軽減を図るとともに、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を提供します。 さらに、療育を必要とする子どもとその保護者に対する療育支援を推進します。								

代表となる指標								
指標①								
妊娠届出率（妊娠11週以下）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	85.0	85.0	90.0	91.0	92.0	93.5
実績値		80.9	87.6	84.9	84.0	86.5		
達成率		－	100.0	99.9	93.3	95.1		

代表となる指標 達成率
95.1%

市民実感度								
指標①								
母子保健など、親と子の健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	52.0	52.5	53.0	53.5	54.0	54.5
実績値		51.3	56.8	48.8	52.9	54.1		
達成率		－	100.0	93.0	99.8	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 療育支援事業	100.0%	A
② 子ども医療費助成事業	100.0%	A
③ ひとり親家庭等医療費助成事業	100.0%	A
④ 母子保健衛生事業	95.7%	A

実施計画事業 達成率平均
98.9%

まちづくりのビジョン (基本政策)	2 支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	3 健康寿命延伸の推進
目指す姿	・地域医療の提供体制が整い、安心して医療機関を受診できる体制づくりが進んでいます。 ・予防的観点から、ライフステージに応じた健康づくりの取組が進み、健康寿命が延伸されています。 ・介護予防の取組が進み、健康寿命が延伸されるとともに、認知症に対する理解が広まり、高齢者やその家族を支える体制が整っています。
第1期 基本計画での 取組方針	・新たな感染症を始め、あらゆる医療ニーズに対応するため、市立病院など地域医療支援病院と地域の医療機関等との連携により、医療体制の更なる充実を図ります。 ・健康診査受診率の向上を図るとともに、保健、栄養指導、健康講座等による健康管理意識の高揚により、健康づくりを進めます。 ・要介護状態になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施するとともに、医療や福祉サービスと連携した認知症対策を進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
92.7 /100	A 順調	健康寿命延伸の推進に向け、市立病院と地域の医療機関との連携強化・機能分化や介護予防ケアマネジメントの実施などの取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 新たに救急科専門医を常勤で配置するなど、救急医療体制を拡充したが、市民実感度「市立病院の救急医療体制が充実していると思う市民の割合」は目標値を達成していないため、応需率が低下する平日夜間帯や休日の救急応需体制を強化していく必要がある。 また、高齢者の増加に伴い、認知症の方も増加することが見込まれるが、市民実感度「介護予防と認知症に対する取組が進んでいると思う市民の割合」が低いことから、認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制の強化が求められる。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
市立病院の紹介率	80.0%	92.0%	100.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
市立病院の逆紹介率	85.0%	93.9%	100.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合	92.5%	92.8%	100.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合	84.0%	81.1%	96.5%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
特定健康診査の受診率	41.0%	32.5%	79.3%
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
長寿健康診査等の受診率	41.3%	37.1%	89.8%
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合	79.3%	83.4%	100.0%
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率
高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合	17.3%	17.2%	100.0%

代表となる指標 達成率平均
95.7%

代表となる指標 得点④
47.8

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
93.7%

市民実感度 得点 ^⑧
28.1

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
84.0%

実施計画事業指標 得点◎
16.8

施策の方向								
① 地域医療体制の充実								
医療需要の増大に対応するため、保健師や看護師等の医療人材の確保、定着を図り、医療体制を強化します。 また、休日・夜間における救急医療体制の確保、健康相談や医療機関情報の提供の充実を図るとともに、市立病院と地域の医療機関等との連携を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
市立病院の紹介率								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	75.0	77.5	79.5	80.0	81.0	82.0
実績値		71.2	77.8	85.9	90.0	92.0		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標②								
市立病院の逆紹介率								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	60.0	62.5	82.5	85.0	87.5	90.0
実績値		60.9	76.7	82.3	89.2	93.9		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
メジカルセンターなど休日・夜間における医療体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	56.5	57.0	57.5	58.0	58.5	59.0
実績値		56.0	54.3	54.0	55.7	55.0		
達成率		－	96.1	94.7	96.9	94.8		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		
指標②								
市立病院の救急医療体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	51.5	53.0	54.5	56.0	57.5	59.0
実績値		50.2	49.9	50.3	48.2	50.7		
達成率		－	96.9	94.9	88.4	90.5		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		
指標③								
市立病院と地域のクリニック等との連携が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	41.0	42.5	44.0	45.5	47.0	48.5
実績値		39.6	42.5	42.6	41.5	45.8		
達成率		－	100.0	100.0	94.3	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率平均
95.1%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 看護職等人材確保支援事業	53.6%	D
② 救急医療事業	97.6%	A
③ 市立病院運営事業	96.5%	A

実施計画事業 達成率平均
82.6%

施策の方向
② 心と体の健康づくりの推進
各種検診等に対する周知や積極的受診勧奨により、受診率の向上を図り、疾病の早期発見・早期治療に取り組むとともに、健康管理に関する情報提供等により健康課題に関する認知度、意識の高揚を図り、生活習慣病の発症、重症化の予防を推進します。 また、生涯にわたり心身ともに健康に過ごせるよう、運動等の身体を動かす機会の提供や心と体の健康相談を実施します。

代表となる指標								
指標①								
健康増進のために取り組んでいることがある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	91.0	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5
実績値	%	90.0	92.8	91.5	92.9	92.8		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標②								
健康診断やがん検診、人間ドックを受けた市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0
実績値	%	80.0	80.3	82.0	81.7	81.1		
達成率		－	99.1	100.0	98.4	96.5		
指標③								
特定健康診査の受診率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0
実績値	%	36.3	32.7	30.6	32.5	32.5		
達成率		－	86.1	78.5	81.3	79.3		
指標④								
長寿健康診査等の受診率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	41.0	41.1	41.2	41.3	41.4	41.5
実績値	%	39.5	36.5	37.3	37.7	37.1		
達成率		－	89.0	90.8	91.5	89.8		

代表となる指標 達成率平均
91.4%

市民実感度								
指標①								
検診、生活習慣病予防など、健康づくりの取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	66.0	68.0	70.0	72.0	74.0	76.0
実績値	%	64.1	61.7	63.8	64.0	65.4		
達成率		－	93.5	93.8	91.4	90.8		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
90.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① データヘルス計画推進事業【国民健康保険事業特別会計】	50.0%	D
② 健康増進事業	93.6%	A
③ 予防接種事業	98.1%	A
④ 長寿健康診査等事業【後期高齢者医療事業特別会計】	89.8%	B
⑤ 特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	79.3%	C
⑥ 未病施策事業	98.8%	A
⑦ 健康スイミング事業	57.6%	D
⑧ 健康づくり事業	70.7%	C

実施計画事業 達成率平均
79.7%

施策の方向								
③ 介護予防と認知症に対する取組の推進								
要支援者等の多様な生活支援ニーズに対応した介護サービスの提供を行うとともに、要介護状態等になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施します。 また、医療や福祉サービスと連携した認知症に対する総合的な支援を行います。								

代表となる指標								
指標①								
認知症や寝たきり予防について取り組んでいることがある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	79.0	79.1	79.2	79.3	79.4	79.5
実績値		78.9	79.4	81.9	80.6	83.4		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標②								
高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	14.8	15.2	15.9	17.3	18.0	18.7
実績値		14.3	15.3	15.9	16.6	17.2		
達成率		－	96.7	95.6	95.8	100.0		

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
介護予防と認知症に対する取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	32.5	34.0	36.0	37.0	38.0	40.0
実績値		31.2	28.9	28.4	31.5	34.2		
達成率		－	88.9	83.5	87.5	92.4		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
92.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 介護予防・生活支援サービス事業【介護保険事業特別会計】	100.0%	A
② 一般介護予防事業【介護保険事業特別会計】	100.0%	A
③ 包括的支援事業（認知症総合支援事業）	90.0%	A

実施計画事業 達成率平均
96.7%

まちづくりのビジョン (基本政策)	2 支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）
基本施策	4 多様性の尊重と平和都市の推進
目指す姿	・年齢、性別、国籍、心身の特性、考え方などにかかわらず、一人一人が互いの存在を尊重できるまちが実現されています。 ・虐待、DVなどについての相談・支援体制が充実しています。 ・戦争の悲惨さと平和の尊さについて理解が深まっています。
第1期 基本計画での 取組方針	・互いを尊重し合えるよう、多様性、多文化共生についての啓発を推進します。 ・被害者、相談者の立場に立ったきめ細かな支援を行うため、関係機関相互の連携強化を図り、情報共有や支援体制を充実させます。 ・平和について理解を深めるための取組を推進します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
81.3 /100	B おおむね順調	多様性の尊重と平和都市の推進に向け、人権・男女共同参画に対する理解の促進や相談体制の充実に関する取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。 今後については、外国籍市民の増加等に伴い、より一層多様性・多文化共生のまちづくりが重要となることから、お互いを尊重し違いを認め合えるよう、人権教育や多文化交流などに積極的に取り組む必要がある。 また、代表となる指標「平和のための展示会参加者数」及び市民実感度「平和についての啓発が進んでいると思う市民の割合」の実績値及び達成率は前年度を下回っていることから、戦後80年を迎え戦争を体験した世代の高齢化が進み、体験を直接伝える機会が減少する中、平和の大切さを次世代に伝えるための普及啓発が求められる。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
人権講座参加者の人権意識高揚度	94.5%	97.3%	100.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数	7件	3件	42.9%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
海外友好都市等との交流活動件数	20件	19件	95.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
日本語教室参加者数	5500人	4267人	77.6%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
児童虐待相談に対し速やかに（48時間以内）対応できた件数の割合	100.0%	83.3%	83.3%
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
平和のための展示会参加者数	590人	268人	45.4%
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
74.0%

代表となる指標 得点①
37.0

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
85.5%

市民実感度 得点 ^⑧
25.6

◆実施計画事業指標 [配点：20点]（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
93.8%

実施計画事業指標 得点◎
18.7

施策の方向
① 多様性に対する理解の促進
人権について正しく理解し、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、相互に尊重し行動できるよう、市民、地域、学校、事業者等と協働、連携しながら、ライフステージに合わせた人権教育・啓発を推進します。

代表となる指標								
指標①								
人権講座参加者の人権意識高揚度								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	86.3	86.4	94.0	94.5	95.0	95.5
実績値		86.2	92.9	86.2	92.3	97.3		
達成率		－	100.0	99.8	98.2	100.0		

代表となる指標
達成率

100.0%

市民実感度								
指標①								
国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合								
年度		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
単位								
目標値								
実績値								
達成率		－	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 人権啓発推進事業	100.0%	A
② 人権教育・啓発推進事業	100.0%	A
③ 男女共同参画推進事業	100.0%	A
④ 障害者地域生活支援事業（障がい者理解促進）	84.4%	B

実施計画事業
達成率平均

96.1%

施策の方向
② 多文化共生の推進
国籍に関係なく、地域の構成員として共に生活できるよう、必要な情報を提供し、日常生活を支援するとともに、関係機関との連携、海外友好都市等との交流を進め、国際理解や多様な価値観への理解を促進します。

代表となる指標								
指標①								
民間団体等による国際交流活動に対する補助金交付件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	4	5	6	7	8	8
実績値		3	0	1	2	3		
達成率		％	－	0.0	20.0	33.3	42.9	
指標②								
海外友好都市等との交流活動件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	18	19	19	20	20	21
実績値		12	2	12	14	19		
達成率		％	－	11.1	63.2	73.7	95.0	
指標③								
日本語教室参加者数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
実績値		5,179	208	2,479	3,524	4,267		
達成率		％	－	3.8	45.1	64.1	77.6	

代表となる指標 達成率平均
71.8%

市民実感度								
指標①								
国籍や民族、性別、心身の特性などの異なる人々が、互いの違いを尊重できるまちづくりが進んでいると思う市民の割合（再掲）								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	％	－	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
実績値		26.7	29.8	31.7	28.6	31.7		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 多文化共生交流事業	77.6%	C
② 国際交流推進事業	81.5%	B

実施計画事業 達成率平均
79.6%

施策の方向								
③ 相談・支援体制の充実								
人権侵害やその脅威・不安等について、気軽に相談できるよう、相談窓口の周知を図るとともに、相談体制の充実に努めます。また、複雑化、多様化する人権問題に総合的かつ迅速に対応できるよう、国、県等の関係機関・相談支援機関や各種団体との連携強化を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
児童虐待相談に対し速やかに（48時間以内）対応できた件数の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値		73.7	75.0	99.0	70.5	83.3		
達成率		－	75.0	99.0	70.5	83.3		

代表となる指標 達成率
83.3%

市民実感度								
指標①								
困りごとに対する相談・支援体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	27.5	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
実績値		27.1	30.1	29.7	29.6	31.2		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 女性のための相談事業	100.0%	A
② 市民相談事業	100.0%	A
③ 児童虐待・ＤＶ対策事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向
④ 平和都市の推進
「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言 “ あつぎ ” 」を広く周知するとともに、戦争を知らない世代が、興味や関心を持てる方法で、平和への理解を促進します。

代表となる指標								
指標①								
平和のための展示会参加者数								
年度	単位	現状値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
目標値	人	－	530	550	570	590	610	630
実績値		509	0	265	414	268		
達成率		－	0.0	48.2	72.6	45.4		

代表となる指標
達成率

45.4%

市民実感度								
指標①								
平和についての啓発が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	20.0	24.0	28.0	32.0	36.0	40.0
実績値		17.5	20.9	18.9	18.5	18.1		
達成率		－	100.0	78.8	66.1	56.6		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
56.6%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 平和都市推進事業	94.8%	A

実施計画事業
達成率

94.8%

3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち (成長政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 学校教育の充実	96.2	A 順調
2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	91.7	A 順調
3 文化芸術の振興	83.0	B おおむね順調
4 生涯スポーツの振興	89.7	B おおむね順調

総合評価
成長政策は、2つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策2「地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進」については、市民実感度「家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合」の実績値が前年度より低下していることから、地域の教育力向上に向け、家庭・地域・学校が更に連携を深め、こどもたちの成長を支えるとともに、地域の特色をいかした学びの機会や、世代間交流など地域との関わりを深める活動を通して地域への愛着を醸成し、持続可能な地域づくりを推進することが重要である。 基本施策3「文化芸術の振興」及び基本施策4「生涯スポーツの振興」については、市民実感度の全ての項目で重要度が低いことから、文化やスポーツに親しむことの重要性を周知するとともに、誰もが気軽に文化やスポーツを楽しみ、新たな発見や感動を得られる環境づくりを推進する必要がある。 また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、市民の皆様が夢や希望を持ち、自己実現ができるまちの実現に向け、着実に取組を進めること。

総合計画審議会からの意見
2施策が総合評価A、2施策が総合評価Bとなり、おおむね計画どおりに進捗したことは評価するが、基本施策2「地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進」については、市民実感度の全ての項目で実績値が前年度を下回っていることから、地域の核となる公民館をいかした学びの機会や、こどもたちの健全な育成に向けた取組を充実させたい。また、基本施策3「文化芸術の振興」及び基本施策4「生涯スポーツの振興」については、文化芸術やスポーツ活動が個人の生きがいにつながるとともに、世代間交流を生み、人と人との絆が育まれることが期待されることから、一層の推進を図られたい。

まちづくりのビジョン (基本政策)	3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	1 学校教育の充実
目指す姿	子ども一人一人が伸び伸びと学び、自分の進みたい道を選択するために必要な学力及び心身を育むことができる教育環境が整備されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・これからの社会の変化に対応できるよう、生きる力を育みます。 ・教職員の資質、能力、指導力を一層向上させるため、研究・研修等により教育環境の充実を図ります。 ・安心・安全で快適な教育環境の確保を図ります。 ・様々な課題や困難を抱える子どもと保護者に対し、状況に応じた相談・支援体制を充実させます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
96.2 /100	A 順調	学校教育の充実に向け、学力及び心身を育むことができる教育環境の整備のほか、学校施設の予防保全、カーボンニュートラル教育の推進に向けた取組などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合」の実績値が前年度を下回っていることから、インクルーシブ教育の理念のもと、全てのこどもたちが、安心して共に学び共に育つことができる学校づくりに努める必要がある。 また、市民実感度「教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合」については、目標値を達成しておらず、重要度が高く実感度が低い分類Ⅱに該当していることから、引き続き、本市の特性や課題に合致した質の高い教職員研修の提供と各種支援員の資質向上に取り組む必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成度	99.0%	97.4%	98.4%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
ICTを活用して授業を行った教員の割合	100.0%	93.0%	93.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率	65.9%	63.2%	95.9%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合	74.4%	66.9%	89.9%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合	89.0%	91.0%	100.0%
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
95.4%

代表となる指標 得点④
47.7

◆市民実感度 【配点：30点】

（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっていると思う市民の割合	35.0%	33.1%	94.6%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合	33.0%	31.8%	96.4%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
安全な教育環境の整備が進んでいると思う市民の割合	38.9%	39.3%	100.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいると思う市民の割合	35.0%	35.0%	100.0%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
97.8%

市民実感度 得点⑧
29.3

◆実施計画事業指標 【配点：20点】（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① 自立につながる生きる力の育成	1	小学校児童支援推進事業	93.5%
	2	中学校少人数学級実施事業	87.2%
	3	小・中学校教材等支援事業	96.0%
	4	S E L 教育基金事業	96.5%
	5	英語教育推進事業	91.9%
	6	小中一貫教育推進事業	100.0%
	7	教育研修・活動支援事業	86.5%
	8	カーボンニュートラル教育推進事業	100.0%
	9	学校給食食育推進事業【学校給食事業特別会計】	100.0%
② 子どもたちを育てる支援体制の充実	1	学力ステップアップ推進事業	95.5%
	2	教育調査研究事業	96.6%
	3	先生のための研修事業	99.1%
③ 安全な教育環境の整備	1	小中学校学校施設最適化推進事業	100.0%
	2	校庭整備事業	100.0%
	3	小中学校冷暖房設備設置事業	100.0%
	4	小中学校適正規模等推進事業	100.0%
	5	児童・生徒登下校等安全推進事業	89.9%
	6	インターナショナルセーフスクール推進事業	90.0%
	7	小中学校プール施設最適化推進事業	100.0%
	8	校舎等整備事業	100.0%
④ 安心して共に学べる教育の推進	1	就学支援事業	100.0%
	2	外国籍児童・生徒等支援事業	98.8%
	3	学校支援プロジェクト推進事業	97.2%
	4	特別支援教育推進事業	100.0%
	5	教育支援教室運営事業	96.2%
	6	青少年教育相談事業	92.1%
	7	登校支援推進事業	91.6%

実施計画事業指標 達成率平均
96.2%

実施計画事業指標 得点⑨
19.2

施策の方向								
① 自立につながる生きる力の育成								
本市独自の特色ある学校づくりを進めるとともに、個に応じたきめ細かな指導を充実させることにより、基礎的な知識、技能や学ぶ意欲の向上を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
全国学力・学習状況調査の全国の平均正答率に対する本市の達成度								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0	101.0
実績値		95.8	95.5	97.1	97.1	97.4		
達成率		－	99.5	100.0	99.1	98.4		

代表となる指標 達成率
98.4%

市民実感度								
指標①								
子どもたちが自ら課題に取り組む意欲をもっていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0	35.0
実績値		26.8	34.7	33.2	33.9	33.1		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	94.6		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
94.6%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 小学校児童支援推進事業	93.5%	A
② 中学校少人数学級実施事業	87.2%	B
③ 小・中学校教材等支援事業	96.0%	A
④ S E L 教育基金事業	96.5%	A
⑤ 英語教育推進事業	91.9%	A
⑥ 小中一貫教育推進事業	100.0%	A
⑦ 教育研修・活動支援事業	86.5%	B
⑧ カーボンニュートラル教育推進事業	100.0%	A
⑨ 学校給食食育推進事業【学校給食事業特別会計】	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
94.6%

施策の方向								
② 子どもたちを育てる支援体制の充実								
子ども一人一人の課題や教育的ニーズに応じた指導、支援を行うため、教職員の資質・能力を向上させることにより、質の高い教育環境の充実を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
ICTを活用して授業を行った教員の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値		70.4	91.7	91.7	83.3	93.0		
達成率		－	91.7	91.7	83.3	93.0		

代表となる指標 達成率
93.0%

市民実感度								
指標①								
教職員研修や各種支援員の配置など、子どもたちを育てるための支援体制が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0
実績値		29.7	36.6	29.1	31.7	31.8		
達成率		－	100.0	93.9	99.1	96.4		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
96.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 学カステップアップ推進事業	95.5%	A
② 教育調査研究事業	96.6%	A
③ 先生のための研修事業	99.1%	A

実施計画事業 達成率平均
97.1%

施策の方向
③ 安全な教育環境の整備
適切で計画的な学校施設の維持管理と予防保全等を実施することにより、子どもたちが安心して安全に学校生活を送ることができる快適な教育環境を確保します。 また、市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る検討を進めます。

代表となる指標								
指標①								
校舎の外壁、屋上などの長寿命化改修率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	61.3	62.8	64.4	65.9	67.5	69.0
実績値		58.5	58.2	60.1	62.4	63.2		
達成率		－	94.9	95.7	96.9	95.9		

代表となる指標 達成率
95.9%

市民実感度								
指標①								
安全な教育環境の整備が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	37.7	38.1	38.5	38.9	39.3	39.7
実績値		37.3	45.3	38.7	43.1	39.3		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 小中学校学校施設最適化推進事業	100.0%	A
② 校庭整備事業	100.0%	A
③ 小中学校冷暖房設備設置事業	100.0%	A
④ 小中学校適正規模等推進事業	100.0%	A
⑤ 児童・生徒登下校等安全推進事業	89.9%	B
⑥ インターナショナルセーフスクール推進事業	90.0%	A
⑦ 小中学校プール施設最適化推進事業	100.0%	A
⑧ 校舎等整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
97.5%

施策の方向								
④ 安心して共に学べる教育の推進								
学校生活を進める上で支援を必要とする子どもや、外国につながる子ども、学校に行きづらさを感じている子どもなどへの支援を推進します。 また、子どもや保護者が学校生活に関する不安や悩みについて安心して相談でき、支援を受けられる体制を構築します。								

代表となる指標								
指標①								
子どもたちの心に思いやりの気持ちが育っていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	63.0	63.0	72.8	74.4	76.0	77.6
実績値		61.1	69.8	67.4	68.8	66.9		
達成率		－	100.0	100.0	94.5	89.9		
指標②								
全国学力・学習状況調査の思いやりに関する設問に肯定的に回答した児童・生徒の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	87.5	88.0	88.5	89.0	89.5	90.0
実績値		86.3	88.6	88.2	90.0	91.0		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		

代表となる指標 達成率平均
95.0%

市民実感度								
指標①								
人権教育やインクルーシブ教育の推進により、子どもたちが安心して共に学べる取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	30.0	30.0	30.0	35.0	35.0	35.0
実績値		28.3	39.2	33.1	32.3	35.0		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 就学支援事業	100.0%	A
② 外国籍児童・生徒等支援事業	98.8%	A
③ 学校支援プロジェクト推進事業	97.2%	A
④ 特別支援教育推進事業	100.0%	A
⑤ 教育支援教室運営事業	96.2%	A
⑥ 青少年教育相談事業	92.1%	A
⑦ 登校支援推進事業	91.6%	A

実施計画事業 達成率平均
96.6%

まちづくりのビジョン (基本政策)	3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進
目指す姿	・地域の実情に応じた学習機会の創出や地域の人材を活用した学習支援づくりが進んでいます。 ・家庭、地域、学校が連携し、家庭教育の充実が図られています。 ・生涯にわたって多様な学習機会が提供され、学びや交流、つながりの拠点が整備されています。 ・地域における子どもたちの健全育成に対する取組が進んでいます。
第1期 基本計画での 取組方針	・多様な学習機会の提供、地域住民の出会いや交流、つながりの拠点である公民館活動を推進します。 ・教育の出発点である家庭の教育力を高めるため、家庭教育を推進します。 ・生涯にわたって自ら学び続けられる学習環境を提供します。 ・地域全体で青少年の健全な育成を図るため、関係団体の活動の支援や子どもの居場所づくりを進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
91.7 /100	A 順調	地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進に向け、市民が講師となって様々な講座を自主企画・運営する「輝き厚木塾」や新たな交流・学びの場となる（仮称）未来・図書館の整備に向けた取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「図書館の貸出者数」については、特に、児童の貸出者数が前年度より減少したことから、児童向け資料の更なる充実を図るとともに、利用者数が増加傾向にある電子図書館を起点とした、本との新たな出会いを創出する仕組みづくりを強化していく必要がある。 また、市民実感度の全ての項目で実績値が前年度を下回っていることから、多様なニーズに対応した社会教育・生涯学習の充実に向けて、誰もが気軽に学習できる環境を提供するとともに、地域コミュニティの活性化に向けて取り組む必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
公民館を利用している市民の割合	30.6%	31.8%	100.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
公民館での学級・講座参加者の満足度	79.6%	68.5%	86.1%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合	38.0%	39.7%	100.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	97.5%	95.3%	97.7%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
生涯学習活動を行っている市民の割合	54.1%	52.6%	97.2%
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
図書館を利用している市民の割合	26.0%	24.3%	93.5%
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
図書館の貸出者数	440000人	362028人	82.3%
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率
青少年健全育成団体が行った事業の参加率	59.0%	58.8%	99.7%

代表となる指標 達成率平均
94.6%

代表となる指標 得点④
47.3

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいると思う市民の割合	30.0%	28.5%	95.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合	37.0%	29.5%	79.7%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいると思う市民の割合	34.0%	30.8%	90.6%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実していると思う市民の割合	39.0%	32.6%	83.6%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
87.2%

市民実感度 得点 ^⑧
26.1

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均
91.6%

実施計画事業指標 得点◎
18.3

施策の方向								
① 地域主体で取り組む社会教育の振興								
公民館における各種学級・講座、事業の充実や必要な機能、施設の整備により、公民館の地域コミュニティ活動や地域教育の拠点性の向上を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
公民館を利用している市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	29.1	29.6	30.1	30.6	32.0	33.0
実績値		28.6	29.4	31.8	29.3	31.8		
達成率		－	100.0	100.0	97.3	100.0		
指標②								
公民館での学級・講座参加者の満足度								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	70.6	71.1	77.9	79.6	81.3	83.0
実績値		70.1	74.7	69.7	73.9	68.5		
達成率		－	100.0	98.0	94.9	86.1		

代表となる指標 達成率平均
93.1%

市民実感度								
指標①								
地域のニーズを踏まえた社会教育の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
単位								
目標値	%							
実績値								
達成率								
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
95.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 公民館活動事業	86.1%	B
② 公民館整備事業	92.5%	A

実施計画事業 達成率平均
89.3%

施策の方向
② 家庭・地域・学校の協働の推進
家庭・地域・学校がそれぞれの役割を担い、相互に補完し、協力しながら、家庭の教育力向上等に向けた取組の充実を図るとともに、家庭教育の重要性について理解が深まるよう啓発を行います。

代表となる指標								
指標①								
地域や学校の行事に参加又は協力している市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0
実績値		34.0	35.2	38.7	39.0	39.7		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標②								
家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	97.4	97.5	97.5	97.5	97.5	97.5
実績値		97.3	96.8	97.1	96.1	95.3		
達成率		－	99.4	99.6	98.6	97.7		

代表となる指標 達成率平均
98.9%

市民実感度								
指標①								
家庭・地域・学校の協働が推進されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	34.0	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0
実績値		33.3	36.8	32.0	34.4	29.5		
達成率		－	100.0	91.4	95.6	79.7		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
79.7%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 家庭教育支援事業	97.7%	A
② 地域学校協働活動事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
98.9%

施策の方向
③ 生涯学習活動の推進
年代に応じた様々な学習機会の提供、読書環境の充実、誰もが生涯学習活動に参加しやすい環境の整備、地域人材の積極的な活用と指導者やボランティアの育成等により、生涯にわたり学ぶことができる環境づくりを推進します。

代表となる指標								
指標①								
生涯学習活動を行っている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	42.0	43.0	53.0	54.1	55.2	56.3
実績値		41.6	50.7	54.1	52.4	52.6		
達成率		－	100.0	100.0	98.9	97.2		
指標②								
図書館を利用している市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	23.0	24.0	25.0	26.0	27.0	30.0
実績値		22.0	23.7	24.3	23.8	24.3		
達成率		－	100.0	100.0	95.2	93.5		
指標③								
図書館の貸出者数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	410,000	420,000	430,000	440,000	450,000	490,000
実績値		408,233	369,389	383,050	378,224	362,028		
達成率	%	－	90.1	91.2	88.0	82.3		

代表となる指標 達成率平均
91.0%

市民実感度								
指標①								
生涯学習活動の支援や誰もが気軽に活動できる学習環境の整備が進んでいると思う市民の割合								
年度		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
単位								
目標値	%							
実績値								
達成率								
【参考】実感度と重要度の関係性								
		－	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0	36.0
		30.3	33.3	29.9	35.6	30.8		
		－	100.0	93.4	100.0	90.6		
		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
90.6%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① あつぎ協働大学開設事業	99.7%	A
② 生涯学習振興事業	92.0%	A
③ アミューあつぎ改修事業（中長期保全）	100.0%	A
④ （仮称）未来館整備事業	100.0%	A
⑤ 図書館整備事業	100.0%	A
⑥ 電子図書館事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
98.6%

施策の方向
④ 青少年の健全育成に向けた取組の推進
青少年の主体性や社会性を育む多様な学習、活動、体験の機会及び場の提供並びに指導者、関係団体の支援に取り組めます。 また、青少年の悩み、薬物及び非行問題、有害環境などに対応するため、各関係機関・団体との連携を強化します。

代表となる指標								
指標①								
青少年健全育成団体が行った事業の参加率								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	50.0	55.0	58.0	59.0	59.5	60.0
実績値		45.7	25.3	44.0	52.0	58.8		
達成率		－	50.6	80.0	89.7	99.7		

代表となる指標
達成率

99.7%

市民実感度								
指標①								
青少年健全育成会、子ども会活動など、青少年の健全育成の取組が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	30.0	35.0	38.0	39.0	39.5	40.0
実績値		29.7	34.6	32.3	36.2	32.6		
達成率		－	100.0	92.3	95.3	83.6		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
83.6%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 青少年自然文化体験研修事業	100.0%	A
② 青少年指導者育成事業	78.0%	C
③ 青少年非行防止活動事業	71.7%	C
④ 児童館整備事業	65.0%	C

実施計画事業
達成率平均

78.7%

まちづくりのビジョン (基本政策)	3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	3 文化芸術の振興
目指す姿	・身近に本市の歴史や文化芸術に触れる機会が提供されています。 ・伝統文化・郷土芸能や文化財が、次の世代へ保存・継承されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・文化、芸術に触れる機会を提供するとともに、文化芸術活動に取り組みやすい環境の整備に努めます。 ・郷土の文化や自然、文化財、伝承してきた伝統芸能を受け継ぎ、後世に伝えるため、活動の場の充実や後継者の育成を支援します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
83.0 /100	B おおむね順調	文化芸術の振興に向け、文化会館のリニューアルオープンに伴うイベント開催のほか、商業施設や公共施設で文化芸術に触れる機会を提供する取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数」は目標値を達成しておらず、今後、児童数の減少に伴い、鑑賞者数が減少することが予想されるため、より多くの場所で郷土芸能の普及、継承活動を実施する必要がある。 また、代表となる指標「厚木の郷土文化に興味がある市民の割合」が前年度を下回ったことから、あつぎ郷土博物館を活用したバラエティー豊かな展示会やワークショップなど、多くの市民が親しみや関心を持ちながら文化芸術に触れてもらえる取組を推進していく必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合	22.0%	19.7%	89.5%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
文化芸術事業の参加者数	5100人	3031人	59.4%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
厚木の郷土文化に興味がある市民の割合	60.7%	52.9%	87.1%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度	96.0%	90.4%	94.2%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数	8700人	5463人	62.8%
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
78.6%

代表となる指標 得点①
39.3

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
93.8%

市民実感度 得点 ^⑧
28.1

◆実施計画事業指標 [配点：20点]（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
78.0%

実施計画事業指標 得点◎
15.6

施策の方向
① 文化芸術活動の推進
様々な世代の多様なニーズを捉えた文化芸術事業を企画・実施し、文化芸術の振興に向けた環境づくりに取り組みます。

代表となる指標								
指標①								
市内で文化芸術に親しんでいる市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	19.0	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0
実績値		18.9	16.4	19.4	22.2	19.7		
達成率		－	86.3	97.0	100.0	89.5		
指標②								
文化芸術事業の参加者数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	4,950	5,000	5,050	5,100	5,150	5,200
実績値		4,729	0	2,720	2,698	3,031		
達成率		％	－	0.0	54.4	53.4	59.4	

代表となる指標 達成率平均
74.5%

市民実感度								
指標①								
文化芸術に親しむ機会が提供されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	41.5	42.0	43.0	44.0	45.0	46.0
実績値		41.1	41.3	42.9	41.7	49.2		
達成率		－	99.5	100.0	97.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① あつぎ市民芸術文化祭開催事業	59.4%	D
② 文化会館リニューアル事業	100.0%	A
③ 文化芸術振興事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
86.5%

施策の方向
② 郷土文化の継承と発展
市民協働により、伝統文化・芸能や文化財の保護及び活用を図ることで、市民の郷土文化に関する理解を深め、継承につなげます。

代表となる指標								
指標①								
厚木の郷土文化に興味がある市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	49.5	51.0	59.4	60.7	62.0	63.3
実績値		49.2	57.0	52.5	54.3	52.9		
達成率		－	100.0	100.0	91.4	87.1		
指標②								
あつぎ郷土博物館の講座及び展示における満足度								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	92.0	92.0	94.0	96.0	98.0	100.0
実績値		90.2	90.2	89.9	89.7	90.4		
達成率		－	98.0	97.7	95.4	94.2		
指標③								
郷土芸能の公演及び体験講座の参加者数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	8,650	8,650	8,650	8,700	8,750	8,800
実績値		8,678	3,105	5,172	4,653	5,463		
達成率	%	－	35.9	59.8	53.8	62.8		

代表となる指標 達成率平均
81.4%

市民実感度								
指標①								
郷土文化の継承と発展の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	38.0	39.5	40.5	42.0	43.0	44.0
実績値		37.5	37.8	36.1	36.7	39.0		
達成率		－	99.5	91.4	90.6	92.9		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		
指標②								
あつぎ郷土博物館の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	39.1	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0
実績値		38.1	43.8	37.4	38.3	37.2		
達成率		－	100.0	93.5	93.4	88.6		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率平均
90.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① あつぎ郷土博物館活動推進事業	94.2%	A
② 郷土芸能事業	36.4%	D
③ 市史編さん事業	－	－

実施計画事業 達成率平均
65.3%

まちづくりのビジョン (基本政策)	3 夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）
基本施策	4 生涯スポーツの振興
目指す姿	いつでも、どこでも、誰でも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツを通じて相互理解を深めることができる環境が整備されています。
第1期 基本計画での 取組方針	- 誰もが、自発的に様々な形でスポーツ活動に取り組めるよう、スポーツイベントの拡充や施設の整備及び充実に取り組みます。 - トップアスリートの育成及び指導者の育成を支援し、競技スポーツ活動を推進します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
89.7 /100	B おおむね順調	生涯スポーツの振興に向け、スポーツの聖地づくりに向けた基本構想の策定やスポーツ合宿を誘致する取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「運動やスポーツを週3回以上行っている市民の割合」の実績値が前年度を下回ったことから、生きがいや地域の交流にもつながるスポーツの重要性を周知するとともに、普段スポーツに親しんでいない無関心層を掘り起こし、体を動かすことの効果や楽しさを感じてもらう必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
運動やスポーツを週3回以上行っている市民の割合	38.0%	27.7%	72.9%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
スポーツ指導者養成研修等参加者数	1130人	1035人	91.6%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
公共スポーツ施設の利用者数	1710000人	1546377人	90.4%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
85.0%

代表となる指標 得点④
42.5

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
運動・スポーツ活動の機会が提供されていると思う市民の割合	54.0%	56.1%	100.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実していると思う市民の割合	35.0%	33.6%	96.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
スポーツ施設が充実していると思う市民の割合	46.0%	41.8%	90.9%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
95.6%

市民実感度 得点 ^⑧
28.6

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均
93.1%

実施計画事業指標 得点◎	18.6

施策の方向
① 生涯スポーツ活動の推進
いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも興味や関心、目的に応じてスポーツに親しむことができるよう、スポーツイベントの開催等を通じて、様々なスポーツ活動の機会を提供します。

代表となる指標								
指標①								
運動やスポーツを週3回以上行っている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0
実績値	%	34.5	27.1	29.3	28.1	27.7		
達成率		－	77.4	81.4	75.9	72.9		
指標②								
スポーツ指導者養成研修等参加者数								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	1,100	1,110	1,120	1,130	1,140	1,150
実績値	人	1,083	147	901	1,030	1,035		
達成率	%	－	13.4	81.2	92.0	91.6		

代表となる指標 達成率平均
82.3%

市民実感度								
指標①								
運動・スポーツ活動の機会が提供されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	51.0	52.0	53.0	54.0	55.0	56.0
実績値	%	50.2	51.2	51.0	51.9	56.1		
達成率		－	100.0	98.1	97.9	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 市民スポーツ推進事業（生涯スポーツ）	69.4%	C
② 社会体育指導者養成事業	91.6%	A

実施計画事業 達成率平均
80.5%

施策の方向								
② 競技スポーツ活動の推進								
子どもたちの育成や競技団体の競技力の底上げを図るため、あつぎスポーツアカデミーを推進するとともに、スポーツ活動を支える団体、指導者、スポーツボランティアなどの育成及び活用を進めます。								

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
スポーツ教室の開催や指導者の育成など、競技力を向上するための取組が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	32.0	33.0	34.0	35.0	36.0	37.0
実績値		31.5	32.7	33.8	35.9	33.6		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	96.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
96.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 競技力向上支援事業	99.4%	A
② 市民スポーツ推進事業（競技スポーツ）	89.3%	B
③ スポーツ合宿誘致事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
96.2%

施策の方向								
③ スポーツ施設の整備・充実								
身近な場所で、いつでも気軽にスポーツができるよう、既存スポーツ施設の整備及び充実、学校体育施設の開放など、多様なスポーツ活動の場を提供するとともに、公共スポーツ施設の特性に応じた効果的で効率的な施設運営を行います。								

代表となる指標								
指標①								
公共スポーツ施設の利用者数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	1,575,000	1,620,000	1,665,000	1,710,000	1,755,000	1,800,000
実績値		1,529,937	1,207,361	1,343,542	1,368,000	1,546,377		
達成率		－	76.7	82.9	82.2	90.4		

代表となる指標 達成率
90.4%

市民実感度								
指標①								
スポーツ施設が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	43.0	44.0	45.0	46.0	47.0	48.0
実績値		42.7	41.2	39.9	40.1	41.8		
達成率		－	95.8	90.7	89.1	90.9		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
90.9%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 運動公園長寿命化事業	100.0%	A
② グラウンド・ゴルフ場整備事業	95.0%	A
③ スポーツの聖地検討事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
98.3%

4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち (発展政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	87.7	B おおむね順調
2 魅力ある中心市街地等の形成	89.2	B おおむね順調
3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	98.2	A 順調
4 産業・商業の振興	94.1	A 順調
5 安心して働くことができるまちの実現	86.4	B おおむね順調
6 観光の振興	94.0	A 順調
7 シティプロモーションと定住促進	72.1	C やや遅れ
8 農業・林業・水産業の振興	92.6	A 順調

総合評価
発展政策は、4つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策1「誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進」については、超高齢社会の進展に伴う交通弱者の増加が深刻化することが懸念されることから、路線バスの利便性の維持・向上を図るとともに、公共交通不便地域における日常生活に必要な移動手段の確保に取り組む必要がある。また、空き家対策については、増加傾向にある空き家の発生を未然に防ぐための周知啓発活動の強化のほか、空き家の利活用を含めた効果的な取組を展開する必要がある。 基本施策6「観光の振興」については、市民実感度の全ての項目で、前年度と比較して実績値が下がっていることから、豊かな自然や交通の利便性をいかし、他市町村と連携したインバウンドの誘客などターゲットに合わせた魅力発信を促進する必要がある。 また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、人が集い、交流し、新たな価値を生むまちの実現に向けて、着実に取組を進めること。

総合計画審議会からの意見
4施策が総合評価A、3施策が総合評価B、1施策が総合評価Cとなり、厚木市の発展を支える基盤として、おおむね計画どおりに進捗したことは評価する。しかしながら、基本施策1「誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進」の空き家対策について、実施計画事業指標の達成率は高いものの、市民の実感とは一部乖離が見られる。今後ますます困難となる分野であることから、更なる工夫を図りたい。また、基本施策4「産業・商業の振興」については、企業の誘致により雇用の拡大を図るほか、地域活動の担い手不足が課題となっていることから、公共の一員として地域の活動に参画してもらえ企業を誘致する視点も持って取り組まれない。

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進
目指す姿	- 誰もが公共交通等を利用して快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができるまちが実現されています。 - 空き家の発生が抑制されるとともに、市営住宅については、安全で快適な状態が保たれ、暮らしやすい住環境が形成されています。
第1期 基本計画での 取組方針	- 都市機能の維持・誘導や、バス路線沿線への居住及び生活利便施設の緩やかな誘導を図り、住み慣れた地域での生活利便性を高めます。 - 幹線道路の計画的な整備や、生活道路の効果的な整備を推進します。 - コミュニティ交通導入の検討や、環境に優しい移動手段への転換を推進します。 - 新たな空き家等の状況把握に努め、管理不全な状況の改善・解消を図るとともに、空き家の有効活用を促進し、空き家に起因する様々な不安の解消に努めます。 - 市営住宅の長寿命化を計画的に実施し、安全で快適な生活環境を安定的に提供します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
87.7 /100	B おおむね順調	誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進に向け、老朽化が進む橋りょうや道路付属施設の長寿命化のほか、通行しやすい生活道路の整備などの取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「幹線道路（1・2級市道）等の整備延長（累計）」は埋蔵文化財調査等に時間を要し、工事区域を見直したことから、目標値を達成できなかった。今後については、事前調査の適正な実施により、計画的な進捗を図る必要がある。 また、市民実感度「空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合」の達成率が低いことから、空き家の所有者に対する助言指導等に加え、空き家の発生を未然に防ぐための周知啓発活動の強化が必要である。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	80.6%	82.4%	100.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
幹線道路（1・2級市道）等の整備延長（累計）	453m	319m	70.4%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
公共交通の徒歩圏人口カバー率	85.2%	85.6%	100.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
路線バスの利用者数（1日当たり）	70000人	55900人	79.9%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
管理不全であるため、助言等が必要な空き家数	28戸	29戸	96.6%
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
89.4%

代表となる指標 得点④
44.7

◆市民実感度 【配点：30点】

（市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合）

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にあると思う市民の割合	80.6%	78.5%	97.4%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合	42.0%	48.3%	100.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできていると思う市民の割合	60.4%	58.3%	96.5%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合	39.0%	16.9%	43.3%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
84.3%

市民実感度 得点⑧
25.2

◆実施計画事業指標 【配点：20点】（各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

施策の方向	No.	実施計画事業名	達成率
① コンパクトなまちづくりの推進	1	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	66.7%
② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進	1	街路整備事業	84.0%
	2	街路用地取得事業	100.0%
	3	幹線市道新設改良事業	92.3%
	4	交差点等改良事業	100.0%
	5	生活道路整備事業	100.0%
	6	中町第2-2地区周辺交通アクセス整備事業	100.0%
	7	道路整備用地取得事業	84.8%
	8	歩道整備事業	52.6%
	9	橋りょう架替事業	100.0%
	10	通学路安全対策事業	48.0%
	11	橋りょう長寿命化事業	100.0%
	12	道路付属施設長寿命化事業	99.9%
③ 移動しやすい公共交通環境の整備	1	地域公共交通対策事業	100.0%
	2	コミュニティ交通推進事業	100.0%
	3	次世代モビリティシステム検討事業	100.0%
	4	自転車走行空間整備事業	100.0%
	5	サイクルアンドバスライド自転車駐車場整備事業	—
④ 安全で快適な住環境の整備	1	空き家等対策推進事業	98.3%
	2	住宅政策推進事業	65.0%

実施計画事業指標 達成率平均
89.0%

実施計画事業指標 得点⑨
17.8

施策の方向
① コンパクトなまちづくりの推進
公共交通等を利用して誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる都市を実現するため、鉄道駅周辺の都市機能の維持又は誘導を図るとともに、バス路線沿線など公共交通の利便性の高い地域に、居住や生活利便施設を緩やかに誘導します。

代表となる指標								
指標①								
スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	79.4	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6
実績値		79.4	79.7	80.4	82.2	82.4		
達成率		－	100.0	99.8	100.0	100.0		

代表となる指標
達成率

100.0%

市民実感度								
指標①								
日常生活に必要な施設（スーパーマーケット、コンビニエンスストア、診療所など）が身近にあると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	76.2	76.2	80.6	80.6	80.6	80.6
実績値		76.2	75.1	75.4	73.8	78.5		
達成率		－	98.6	99.0	91.6	97.4		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
97.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	66.7%	C

実施計画事業
達成率

66.7%

施策の方向
② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進
市内の道路ネットワークの充実を図るため、都市計画道路を含む幹線道路を計画的に整備し、交通混雑の解消を進めます。 また、日常生活の利便性、安全性を高めるため、生活道路の効果的な整備を推進します。

代表となる指標								
指標①								
幹線道路（１・２級市道）等の整備延長（累計）								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	m	－	208	353	403	453	503	553
実績値		103	134	219	264	319		
達成率		－	64.4	62.0	65.5	70.4		

代表となる指標 達成率
70.4%

市民実感度									
指標①									
安心・安全に通行できる道路環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合									
年度		単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－		40.5	41.0	41.5	42.0	42.5	43.0	
実績値	39.8		47.6	46.8	45.9	48.3			
達成率	－		100.0	100.0	100.0	100.0			
【参考】実感度と重要度の関係性			Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 街路整備事業	84.0%	B
② 街路用地取得事業	100.0%	A
③ 幹線市道新設改良事業	92.3%	A
④ 交差点等改良事業	100.0%	A
⑤ 生活道路整備事業	100.0%	A
⑥ 中町第２－２地区周辺交通アクセス整備事業	100.0%	A
⑦ 道路整備用地取得事業	84.8%	B
⑧ 歩道整備事業	52.6%	D
⑨ 橋りょう架替事業	100.0%	A
⑩ 通学路安全対策事業	48.0%	D
⑪ 橋りょう長寿命化事業	100.0%	A
⑫ 道路付属施設長寿命化事業	99.9%	A

実施計画事業 達成率平均
88.5%

施策の方向								
③ 移動しやすい公共交通環境の整備								
更なる移動環境の向上を図るため、路線バスの利便性向上を図るとともに、路線バスを補完するコミュニティ交通導入を検討します。 また、公共交通利用への転換を促進し、環境に優しい移動手段の普及啓発を推進します。								

代表となる指標								
指標①								
公共交通の徒歩圏人口カバー率								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	85.1	85.1	85.2	85.2	85.2	85.2
実績値		85.1	85.5	85.5	85.6	85.6		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標②								
路線バスの利用者数（１日当たり）								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
実績値		70,000	43,600	46,400	50,800	55,900		
達成率		－	62.3	66.3	72.6	79.9		

代表となる指標 達成率平均
90.0%

市民実感度								
指標①								
通勤や買物など日常生活における移動がスムーズにできていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	54.4	56.4	58.4	60.4	62.4	64.4
実績値		54.4	56.9	59.3	56.0	58.3		
達成率		－	100.0	100.0	95.9	96.5		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
96.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 地域公共交通対策事業	100.0%	A
② コミュニティ交通推進事業	100.0%	A
③ 次世代モビリティシステム検討事業	100.0%	A
④ 自転車走行空間整備事業	100.0%	A
⑤ サイクルアンドバスライド自転車駐車場整備事業	－	－

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向								
④ 安全で快適な住環境の整備								
空き家等の状況把握に努め、管理不全な状況の改善及び解消を図るとともに、利用可能な空き家については、空き家バンクを活用するなど、空き家に起因する犯罪や災害等の未然防止に努めます。 また、市営住宅については、厚木市市営住宅等長寿命化計画などに基づき、予防保全的な修繕や改善等を適正かつ効率的に実施することにより、施設の長寿命化を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
管理不全であるため、助言等が必要な空き家数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	戸	－	100	90	28	28	28	28
実績値		63	46	28	29	29		
達成率		－	100.0	100.0	96.6	96.6		

代表となる指標
達成率

96.6%

市民実感度								
指標①								
空き家の対策など住環境の整備の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	24.0	29.0	34.0	39.0	44.0	60.0
実績値		14.1	18.5	16.4	14.1	16.9		
達成率		－	77.1	56.6	41.5	43.3		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
43.3%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 空き家等対策推進事業	98.3%	A
② 住宅政策推進事業	65.0%	C

実施計画事業
達成率平均

81.7%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	2 魅力ある中心市街地等の形成
目指す姿	中心市街地等の再整備により、都市機能や交通利便性が向上し、魅力にあふれた街並みが形成され、誰もが訪れてみたい、歩いて楽しいまちが実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・官民が連携して本厚木駅周辺及び愛甲石田駅周辺の再整備を進めることにより、中心市街地等の魅力向上とともに、都市機能の充実に取り組みます。 ・空き店舗の活用やイベントの開催により、中心市街地のにぎわいを創出します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
89.2 /100	B おおむね順調	魅力ある中心市街地等の形成に向け、令和9年度に供用開始を予定している、図書館や市庁舎等からなる複合施設あつめきの建設工事に着手したほか、本厚木駅及び愛甲石田駅周辺の整備に向けた取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。 しかしながら、市民実感度「中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合」は目標値を達成しておらず、実感度及び重要度の低い分類Ⅳに該当していることから、商業事業者を巻き込んだイベントを開催するとともに、地下道で実施する市民提案事業の実施回数を増やすなど、持続的ににぎわい創出に向けて取り組む必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
中心市街地の歩行者数	111500人	104701人	93.9%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
中心市街地の活性化イベント数	46件	36件	78.3%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
86.1%

代表となる指標 得点④
43.0

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合	49.0%	48.6%	99.2%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
中心市街地ののにぎわいを感じている市民の割合	45.0%	35.9%	79.8%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
89.5%

市民実感度 得点 ^⑧
26.8

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均
97.2%

実施計画事業指標 得点◎
19.4

施策の方向								
① 中心市街地等の都市機能の向上								
本厚木駅周辺は、商業・業務、行政、文化などの多様な都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、居心地が良く、歩いて楽しい市街地の創出による魅力ある拠点を形成します。 愛甲石田駅周辺は、地域の生活を支える商業・業務等の都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、駅へのアクセス性を高める周辺道路整備を進めます。								

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標 達成率
—

市民実感度								
指標①								
中心市街地の整備が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	53.0
実績値		42.9	46.5	42.7	43.1	48.6		
達成率		－	100.0	90.9	89.8	99.2		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ		

市民実感度 達成率
99.2%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 本厚木駅北口周辺整備事業	100.0%	A
② 中町第２－２地区周辺整備事業	100.0%	A
③ 愛甲石田駅周辺整備事業	100.0%	A
④ 地下道活性化事業	98.9%	A

実施計画事業 達成率平均
99.7%

施策の方向
② にぎわい創出に向けた取組の推進
商店街が実施するイベントや環境整備などにより、人でにぎわう市街地となるよう、空き店舗対策やイベント開催の支援を行います。

代表となる指標								
指標①								
中心市街地の歩行者数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	110,000	110,500	111,000	111,500	112,000	112,500
実績値		109,836	98,282	94,327	100,327	104,701		
達成率		％	－	89.3	85.4	90.4	93.9	
指標②								
中心市街地の活性化イベント数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	43	44	45	46	47	48
実績値		42	26	34	31	36		
達成率		％	－	60.5	77.3	68.9	78.3	

代表となる指標 達成率平均
86.1%

市民実感度								
指標①								
中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	％	－	30.0	35.0	40.0	45.0	48.0	50.0
実績値		27.1	29.3	31.2	30.6	35.9		
達成率		－	97.7	89.1	76.5	79.8		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
79.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 市街地商業活性化事業	86.9%	B

実施計画事業 達成率
86.9%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現
目指す姿	・ 交通利便性の高い新たな産業拠点が整備されることにより、雇用が拡大し、経済・産業が活性化したまちが実現されています。 ・ 自然景観が保全、継承されるとともに、都市機能と生活機能の両立が図られた地域特性をいかした魅力あるまちが実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・ 森の里東地区、酒井地区などの新たな産業拠点の整備を進めます。 ・ 景観に配慮したまちづくりを進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
98.2 /100	A 順調	地域の個性をいかした魅力あるまちの実現に向け、森の里東地区及び酒井地区の新たな産業拠点の整備において各組合に技術的支援等を行う取組のほか、厚木秦野道路計画予定地周辺地域の測量などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、市民実感度「新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合」は目標値を達成したものの、実感度・重要度ともに低い分類Ⅳとなっている。新たな産業拠点の整備や地域特性に沿った計画的な土地利用の推進は、雇用の拡大や経済・産業の活性化につながることから、取組の重要性について更なる周知が必要である。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積	26.8ha	26.8ha	100.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積	20.6ha	20.6ha	100.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
100.0%

代表となる指標 得点④
50.0

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
94.3%

市民実感度 得点 ^⑧
28.2

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
100.0%

実施計画事業指標 得点◎
20.0

施策の方向
① 地域に合った計画的な土地利用の推進
周辺の自然環境との調和を図りながら、山際地区及び山際北部地区を始め、各地区における特徴をいかした土地利用を進めます。

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標
達成率

—

市民実感度								
指標①								
広域交通網の高い利便性をいかした土地利用が進められていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	56.3	57.0	57.7	58.4	59.2	60.0
実績値		55.6	52.8	48.4	48.7	48.5		
達成率		－	93.8	84.9	84.4	83.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		

市民実感度 達成率
83.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 国土調査事業	100.0%	A
② 土地区画整理推進事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率平均

100.0%

施策の方向
② 景観形成の推進
自然と都市が融合する本市の景観の形成を行うとともに、景観の魅力を周知します。

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標
達成率

—

市民実感度								
指標①								
山地、河川、市街地などの景観が守られていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	47.0	47.3	47.6	47.9	48.2	48.5
実績値		46.7	48.1	44.5	47.7	47.9		
達成率		－	100.0	94.1	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 景観形成推進事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率

100.0%

施策の方向
③ 新たな産業拠点の整備
森の里東地区及び酒井地区において、本市の交通利便性を活用した魅力ある拠点の整備を進めます。

代表となる指標								
指標①								
森の里東土地区画整理事業の産業用地創出面積								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	ha	－	15.2	15.2	26.8	26.8	26.8	26.8
実績値		6.9	15.2	15.2	26.8	26.8		
達成率	%	－	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標②								
酒井土地区画整理事業の産業用地創出面積								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	ha	－	－	－	14.2	20.6	20.6	20.6
実績値		－	－	－	14.2	20.6		
達成率	%	－	－	－	100.0	100.0		

代表となる指標 達成率平均
100.0%

市民実感度								
指標①								
新たな産業拠点の創出が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	30.0	30.0	30.0	31.0	32.0	32.0
実績値		28.8	34.0	32.4	32.9	33.3		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 森の里東土地区画整理推進事業	100.0%	A
② 酒井土地区画整理推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	4 産業・商業の振興
目指す姿	・市内外からの買物客に親しまれ、活気ある商店街が広がっています。 ・創業支援と中小企業支援が充実し、多様な人材が活躍できるまちが実現されています。 ・産業が集積し、雇用が創出されています。 ・市内企業等において、先端技術が導入され、事業の継続が図られることにより、効率的で利便性の高い、活力あるまちが実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・市民や来訪者が立ち寄りたくなる、利便性が高く魅力ある商店街づくりを推進します。 ・創業希望者に対する支援を行い、地域経済の安定的な発展及び新たな雇用機会の創出を図ります。 ・中小企業に対し、企業の課題解決に向けた相談支援等を行い、経営の安定化を促進します。 ・企業立地支援策の充実を図り、誘致を促進します。 ・先端技術導入の促進を図るため、企業等の取組を支援します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
94.1 /100	A 順調	産業・商業の振興に向け、創業に向けた支援や企業立地のサポートのほか、商店街プレミアム商品券の販売等により購買意欲を促進する取組などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、中小企業等の設備投資やロボットの導入に対する補助事業の交付件数が伸び悩んだため、令和7年度から補助要件等の見直しを行い、周知を強化していく。 また、市民実感度「企業誘致が進んでいると思う市民の割合」については、前年度を上回ったものの、目標値を達成していないことに加え、実感度及び重要度が低い分類Ⅳに該当していることから、交通アクセスの優位性をいかし、企業誘致及び雇用の促進を図る必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合	87.1%	86.1%	98.9%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
本市の支援策により創業した人数	4人	6人	100.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
中小企業資金融資利子補給金交付件数	1260件	1072件	85.1%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
企業立地件数	11件	15件	100.0%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
96.0%

代表となる指標 得点④
48.0

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
95.4%

市民実感度 得点 ⑧
28.6

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
87.9%

実施計画事業指標 得点◎
17.5

施策の方向
① 商業の活性化に向けた取組の推進
市民や市外からの買物客に親しまれ魅力ある商店街づくりを地域一体となって推進します。

代表となる指標								
指標①								
主に利用する店舗が市内にあると回答した市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	85.9	86.3	86.7	87.1	87.5	88.0
実績値		85.5	86.7	86.3	84.0	86.1		
達成率		－	100.0	100.0	96.9	98.9		

代表となる指標 達成率
98.9%

市民実感度								
指標①								
商店街など、市内に利用したい店舗があると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	43.5	44.0	44.5	45.0	45.5	46.0
実績値		43.2	42.6	46.4	48.0	49.5		
達成率		－	97.9	100.0	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 商業活動振興事業	100.0%	A
② 商店街LED化促進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向								
② 創業支援と中小企業支援の充実								
商工団体等と連携しながら、創業や事業承継を行う方を支援します。また、中小企業のイノベーションを促進し、持続的な成長を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
本市の支援策により創業した人数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	2	3	4	4	4	4
実績値		0	0	4	6	6		
達成率		％	－	0.0	100.0	100.0	100.0	
指標②								
中小企業資金融資利子補給金交付件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	1,220	1,240	1,260	1,260	1,260	1,260
実績値		1,200	756	811	915	1,072		
達成率		％	－	62.0	65.4	72.6	85.1	

代表となる指標 達成率平均
92.6%

市民実感度								
指標①								
創業支援や中小企業支援が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0
実績値		18.2	22.8	19.2	21.6	20.8		
達成率		－	100.0	91.4	98.2	90.4		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
90.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 商工業振興事業	71.5%	C
② ビジネスチャレンジャー支援事業	100.0%	A
③ 中小企業活性化推進事業	98.9%	A
④ 中小企業イノベーション支援事業	75.3%	C
⑤ 中小企業事業資金融資事業	91.1%	A
⑥ 中小企業等SDGs推進事業	90.0%	A

実施計画事業 達成率平均
87.8%

施策の方向								
③ 企業誘致の促進								
幹線道路整備による交通アクセスの優位性等をいかした企業誘致を促進し、雇用の創出や持続可能な財政基盤の構築を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
企業立地件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	7	9	11	11	11	11
実績値		5	2	9	13	15		
達成率	%	－	28.6	100.0	100.0	100.0		

代表となる指標
達成率

100.0%

市民実感度								
指標①								
企業誘致が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0
実績値		25.5	26.6	24.5	25.3	26.4		
達成率		－	100.0	90.7	90.4	91.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度
達成率

91.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 企業立地サポート事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率

100.0%

施策の方向								
④ 先端技術産業の推進								
先端技術の導入を促進するため、企業等における生産性向上に向けた取組等を支援します。								

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標
達成率

—

市民実感度								
指標①								
様々な分野でのロボットの導入など、先端技術産業の推進が図られていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	22.0	22.5	23.0	23.5	24.0	25.0
実績値		21.5	22.0	20.9	24.1	25.2		
達成率		－	100.0	92.9	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① ロボット産業推進事業	52.3%	D

実施計画事業
達成率

52.3%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	5 安心して働くことができるまちの実現
目指す姿	多様な人材が、その経験や能力を十分に発揮し、ワーク・ライフ・バランスを図りながら、安心して働くことのできる環境が整備されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・関係機関と連携しながら、求職者に対する就業相談、スキルアップの機会を提供します。 ・中小企業等で働く勤労者やその家族に対して福利厚生制度の充実など必要な支援を行います。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
86.4 /100	B おおむね順調	安心して働くことのできるまちの実現に向け、職人の技と伝統を伝える若年者の職業選択の機会拡大のための取組が成果指標の達成率につながっており、おおむね順調に施策を推進することができた。 しかしながら、市民実感度「就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合」が目標値を達成していないことから、市内企業や求職者のニーズを把握し、雇用の促進を図るとともに、勤労者の福利厚生支援を充実させる必要がある。 また、高齢者や女性、障がい者など多様な人材が希望に応じ活躍できるよう、柔軟な働き方の推進に取り組む必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
障害者雇用奨励交付金交付件数	44件	38件	86.4%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
勤労者生活資金融資件数	70件	53件	75.7%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数	110社	93社	84.5%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
82.2%

代表となる指標 得点④
41.1

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援 や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合	28.0%	25.9%	92.5%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
92.5%

市民実感度 得点 ^⑧
27.7

◆実施計画事業指標 [配点：20点] (各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均
88.1%

実施計画事業指標 得点◎	17.6

施策の方向								
① 勤労者支援の充実								
勤労者に対して、関係機関と連携し、相談の場やスキルアップの機会などを提供します。 また、事業者に対して、多様な人材を確保するための支援や働き方改革を促進するため、ワーク・ライフ・バランスの推進を啓発するとともに、人材確保のためのマッチング支援等を推進します。								

代表となる指標								
指標①								
障害者雇用奨励交付金交付件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	38	41	44	44	44	44
実績値		35	39	39	41	38		
達成率		－	100.0	95.1	93.2	86.4		

代表となる指標 達成率
86.4%

市民実感度								
指標①								
就労のための情報提供や相談の実施など、就労支援や勤労者への支援が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
実績値		23.7	29.2	23.2	26.2	25.9		
達成率		－	100.0	89.2	97.0	92.5		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
92.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 就労対策事業	94.7%	A
② 技能振興事業	93.5%	A

実施計画事業 達成率平均
94.1%

施策の方向								
② 勤労者の福利厚生支援								
勤労者が安心して働くことのできる環境を整えるため、勤労者のニーズを把握するとともに、関係機関と連携しながら、中小企業における福利厚生事業の充実など、必要な支援を行います。								

代表となる指標								
指標①								
勤労者生活資金融資件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	30	40	70	70	70	70
実績値		8	56	63	37	53		
達成率	%	－	100.0	100.0	52.9	75.7		
指標②								
中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	社	－	100	100	110	110	110	110
実績値		100	109	97	96	93		
達成率	%	－	100.0	97.0	87.3	84.5		

代表となる指標 達成率平均
80.1%

市民実感度								
指標①								
－								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－	－
実績値		－	－	－	－	－	－	－
達成率		－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性		－	－	－	－	－	－	－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 中小企業勤労者助成事業	88.6%	B
② 勤労者貸付融資預託事業	75.7%	C

実施計画事業 達成率平均
82.2%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	6 観光の振興
目指す姿	・ 周辺自治体との連携により、広域観光の推進が図られ、多くの周游客が訪れています。 ・ 観光資源の効果的な発信により、国内外から多くの観光客が訪れています。
第1期 基本計画での 取組方針	・ 近隣市町村や交通機関との連携を通じて広域観光を推進します。 ・ 観光資源の発掘、磨き上げ、活用とともに、豊かな自然や交通利便性の高さをいかした魅力ある観光地づくりを推進します。 ・ 趣味・志向、客層に応じて適切な媒体を通じた情報発信を行います。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
94.0 /100	A 順調	観光の振興に向け、あつぎ鮎まつりの開催や県央やまなみ地域と連携したガストロノミー情報の発信、東京ビックサイトで開催されたイベントにおける観光PRなどの取組が、成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、市民実感度「大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいると思う市民の割合」は目標値を達成したものの、実績値は前年度を下回ったことから、今後については、インバウンド需要を取り込むため、外国人観光客の誘客を図るとともに、本市の観光資源の磨き上げや受入環境の向上など、他市町村と連携した誘客を促進する事業の展開が必要である。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合	36.0%	34.1%	94.7%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
観光消費額（年間）	191.0億円	265.9億円	100.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
厚木市観光協会ホームページのアクセス件数	1836300件	2086794件	100.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
98.2%

代表となる指標 得点④
49.1

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
90.6%

市民実感度 得点 ^⑧
27.1

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
89.4%

実施計画事業指標 得点◎
17.8

施策の方向
① 広域観光の推進
近隣市町村と連携し、広域観光プロモーションを実施するなど、広域観光の取組を推進します。

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標
達成率

—

市民実感度								
指標①								
大山や宮ヶ瀬を含む広域の観光に対する取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0
実績値		43.7	48.1	47.2	49.7	48.2		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 広域連携観光推進事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率

100.0%

施策の方向								
② 観光資源の磨き上げの推進								
旅行者のニーズやスタイルが多様化する中、選ばれる観光地を目指し、豊かな自然や温泉など既存の観光資源を活用した観光振興や新たな観光資源の発掘、磨き上げをするとともに、交通アクセスの良さなど、厚木らしさをいかした魅力ある観光地づくりを進めます。								

代表となる指標								
指標①								
市内観光スポットへの訪問、イベント参加をした市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	30.0	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0
実績値		23.8	22.1	32.0	33.9	34.1		
達成率		－	73.7	100.0	99.7	94.7		
指標②								
観光消費額（年間）								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	億円	－	177.5	182.0	186.5	191.0	195.5	200.0
実績値		173.0	63.0	145.0	188.6	265.9		
達成率	%	－	35.5	79.7	100.0	100.0		

代表となる指標 達成率平均
97.4%

市民実感度								
指標①								
温泉、ハイキングコース、イベントなど、観光資源の活性化が図られていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	43.0	44.0	45.5	47.0	48.5	50.0
実績値		42.6	43.6	42.2	46.1	44.2		
達成率		－	100.0	95.9	100.0	94.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		

市民実感度 達成率
94.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 観光資源活性化事業	75.9%	C
② 受入環境整備事業	69.4%	C
③ 健康づくり村推進事業	100.0%	A
④ 観光行事推進事業	100.0%	A
⑤ 飯山白山森林公園桜の広場周辺整備事業	80.6%	B

実施計画事業 達成率平均
85.2%

施策の方向
③ 情報発信の充実
必要な観光情報を的確に入手できるよう、SNSの活用による効果的な情報発信など、趣味・志向、客層に応じて適切な媒体を通じた情報発信を行うとともに、観光のブランドイメージづくりを推進します。

代表となる指標								
指標①								
厚木市観光協会ホームページのアクセス件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	31,000	32,000	130,000	1,836,300	1,884,650	1,933,000
実績値		30,889	121,087	101,795	93,000	2,086,794		
達成率		－	100.0	100.0	71.5	100.0		

代表となる指標
達成率

100.0%

市民実感度								
指標①								
観光情報の発信が充実していると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0
実績値		37.1	36.6	32.3	36.8	33.4		
達成率		－	91.5	78.8	87.6	77.7		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
77.7%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 観光プロモーション事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率

100.0%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	7 シティプロモーションと定住促進
目指す姿	・住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちが実現されています。 ・市民が誇りや愛着を持てるまちが実現されています。 ・バランスの取れた人口構成を確保しています。
第1期 基本計画での 取組方針	・市外や海外に本市の魅力を発信するとともに、市民がまちの魅力を実感できるよう、効果的な情報発信を行います。 ・バランスの取れた人口構成を確保するため、定住促進策を推進します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
72.1 /100	C やや遅れ	シティプロモーションと定住促進に向け、若い世代や子育て世代の転入・定住促進を図る取組が成果指標の達成率につながったものの、代表となる指標「ホストタウン交流事業参加者数」の達成率が低く、やや遅れている結果となった。 今後については、少子高齢化に伴う介護職や保育士等の人材不足が全国的にも深刻な状況であり、その確保については急務であるため、より実効性のある取組を検討する必要がある。 また、市民実感度「本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合」の実績値が前年度より低下していることから、市のイメージや認知度を向上させるとともに市民がまちに誇りや愛着を持てるよう、本市の優れた施策や魅力についてより効果的に発信していく必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を 感じる事ができた」と思う事業参加者の割合	100.0%	100.0%	100.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
ホストタウン交流事業参加者数	440人	230人	52.3%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入 者数）	481人	436人	90.6%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
81.0%

代表となる指標 得点④
40.5

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
58.2%

市民実感度 得点 ^⑧
17.4

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
71.2%

実施計画事業指標 得点◎
14.2

施策の方向								
① シティプロモーションの推進								
住みたい、働きたい、訪れたいと思える魅力あるまちづくりを、分野横断的に推進するとともに、本市の魅力を広く伝えるため、対象に応じた効果的な情報発信等の取組を進めます。 また、ワーケーション等で訪れる人など、地域や地域の人々と多様に関わる関係人口を増やし、より多様な人材が地域づくりに参画できる取組を推進します。 さらに、東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、ニュージーランドのホストタウンとして、歴史や文化、教育などを始めとした幅広い分野での交流により、将来につながるレガシーの創出を図ります。								

代表となる指標								
指標①								
あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じる事ができた」と思う事業参加者の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	％	－	90.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値		87.8	88.4	98.4	72.1	100.0		
達成率		－	98.2	100.0	72.1	100.0		
指標②								
ホストタウン交流事業参加者数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	6,250	380	410	440	470	500
実績値		8,500	4,000	357	419	230		
達成率	％	－	64.0	93.9	100.0	52.3		

代表となる指標 達成率平均
76.2%

市民実感度								
指標①								
本市の魅力が市内外に発信されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	43.5	44.8	46.1	47.4	48.7	50.0
実績値		42.2	44.8	38.5	39.5	37.4		
達成率		－	100.0	85.9	85.7	78.9		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
78.9%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 交流の場創出事業	94.3%	A
② 魅力発信事業	97.6%	A

実施計画事業 達成率平均
96.0%

施策の方向
② 定住促進に向けた取組の推進
親元近居・同居や子育て世帯の住宅取得支援により、市外からの若年世帯の定住や保育士、看護職、介護職等の有資格者の転入を促進するなど、定住促進の取組を推進し、バランスの取れた人口構成の確保を図ります。 また、これらの取組について、対象に応じた効果的な情報発信を行います。

代表となる指標								
指標①								
転入者数（定住促進住宅取得支援事業等による転入者数）								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	344	356	469	481	494	506
実績値		176	380	376	427	436		
達成率		－	100.0	100.0	91.0	90.6		

代表となる指標 達成率
90.6%

市民実感度								
指標①								
親元近居・同居のための住宅取得に対する補助など、定住促進の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	25.0	34.0	43.0	52.0	61.0	70.0
実績値		16.9	24.2	22.1	20.2	19.5		
達成率		－	96.8	65.0	47.0	37.5		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
37.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 定住促進住宅取得等支援事業	100.0%	A
② （再掲）介護職人材確保支援事業	72.9%	C
③ （再掲）幼稚園教諭確保助成事業	46.7%	D
④ （再掲）保育士確保助成事業	33.3%	D
⑤ （再掲）看護職等人材確保支援事業	53.3%	D

実施計画事業 達成率平均
61.2%

まちづくりのビジョン (基本政策)	4 人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）
基本施策	8 農業・林業・水産業の振興
目指す姿	・農業の担い手の育成や農地の有効活用が図られています。 ・市内で生産された新鮮で安心・安全な農畜水産物が提供され、地産地消が進んでいます。 ・農業者が生産から加工、販売までを手掛ける付加価値の高い農業経営が進んでいます。 ・鳥獣被害から農作物が守られています。 ・持続的な森林資源の循環が図られています。 ・アユ資源の安定確保が図られています。
第1期 基本計画での 取組方針	・農業後継者の育成支援等を通じた農業経営の安定化を図ります。 ・地産地消や6次産業化を推進します。 ・地域や関係団体と連携しながら、有害鳥獣による農作物被害を抑えます。 ・間伐材の有効活用等を促進し、林業支援を行います。 ・アユを活用した地域活性化を図ります。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
93.2 /100	A 順調	農業・林業・水産業の振興に向け、農業の新たな担い手の育成や遊休農地の発生防止・解消を図る取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「地元の農産物を購入した市民の割合」は前年度を下回ったことから、地域の農業の活性化と環境保全につながる地産地消の取組をより一層推進する必要がある。 また、代表となる指標「間伐材の搬出量」は、作業道の土留めの柵工として間伐材を現地で消費したため、前年度より減少した。間伐材の搬出は、危険を伴う重労働であることから、今後についても、安全性を考慮した間伐材の利活用に積極的に取り組む必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
認定新規就農者数（累計）	42人	41人	97.6%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
地元の農産物を購入した市民の割合	84.0%	78.9%	93.9%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
有害鳥獣による農産物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）	95.4%	80.7%	84.6%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
間伐材の搬出量	2000m³	1674m³	83.7%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
90.0%

代表となる指標 得点④
45.0

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
100.0%

市民実感度 得点 ^⑧
30.0

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
91.4%

実施計画事業指標 得点◎
18.2

施策の方向								
① 農地有効利用の推進								
持続的で環境に配慮した農業経営を支援するため、新たな担い手や認定農業者の育成を図るとともに、市民農園の運営や体験型農園を推進し、憩いと安らぎの場を提供します。								

代表となる指標								
指標①								
認定新規就農者数（累計）								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	34	36	38	42	46	50
実績値		25	34	38	40	41		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	97.6		

代表となる指標 達成率
97.6%

市民実感度								
指標①								
農地の貸し借りの奨励や新規就農者支援など、農地有効利用の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	22.0	23.0	24.0	25.0	26.0	27.0
実績値		21.2	29.1	23.7	24.5	25.9		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 新規就農者支援事業	97.6%	A
② 農業担い手育成対策事業	100.0%	A
③ 農業経営基盤強化促進事業	57.6%	D
④ 農業振興地域整備計画事業	100.0%	A
⑤ 耕作放棄地再生利用事業	85.1%	B
⑥ 農地有効利用促進事業	100.0%	A
⑦ 農業基盤整備事業	83.4%	B

実施計画事業 達成率平均
89.1%

施策の方向
② 地産地消の推進・6次産業化の推進
農畜産物の地産地消と消費者の利便性向上を推進するため、直売所に関する情報発信を行うとともに、朝市、夕焼け市の内容の充実を図り、農業、生産者と触れ合うことができる場を提供します。 また、農業者等からの相談に応じて、関係機関と連携しながら、農畜産物の生産、販売、流通を促進するとともに、農畜産物の更なる付加価値向上を目指します。

代表となる指標								
指標①								
地元の農産物を購入した市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	78.0	80.0	82.0	84.0	86.0	88.0
実績値	%	76.6	78.2	78.8	79.7	78.9		
達成率		－	100.0	98.5	97.2	93.9		

代表となる指標 達成率
93.9%

市民実感度								
指標①								
地産地消が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値		－	40.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
実績値	%	35.4	43.8	40.1	44.3	46.7		
達成率		－	100.0	95.5	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 地産地消推進事業	95.3%	A
② 畜産経営支援対策事業	85.2%	B
③ 園芸振興対策事業	97.2%	A
④ 農作物ブランド化推進事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
94.4%

施策の方向
③ 鳥獣被害対策の強化
地域や関係団体と連携しながら、有害鳥獣による農作物被害を最小限に抑え、農業経営の安定化や生活被害を防止する対策を推進します。

代表となる指標								
指標①								
有害鳥獣による農産物被害額減少率（平成18年度の被害額を基準とする。）								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	79.0	80.0	93.4	95.4	97.4	99.4
実績値		79.0	100.0	96.6	91.8	80.7		
達成率		－	100.0	100.0	98.3	84.6		

代表となる指標
達成率

84.6%

市民実感度								
指標①								
－								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－	－
実績値		－	－	－	－	－	－	－
達成率		－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性		－	－	－	－	－	－	－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 鳥獣等被害対策事業	85.8%	B

実施計画事業
達成率

85.8%

施策の方向
④ 林業への支援
人工林や林道等の計画的な整備や再生可能な森林資源である間伐材の有効活用や製品化等に関する取組を支援します。

代表となる指標								
指標①								
間伐材の搬出量								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	㎥	－	900	800	2,000	2,000	2,000	2,000
実績値		677	873	990	2,000	1,674		
達成率		％	－	97.0	100.0	100.0	83.7	

代表となる指標 達成率
83.7%

市民実感度								
指標①								
－								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－	－
実績値		－	－	－	－	－	－	－
達成率		－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性		－	－	－	－	－	－	－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業			実施計画事業 達成率
事業名	達成率	施策貢献度	
① 林業振興事業	91.9%	A	

施策の方向
⑤ 水産業の活性化
相模川、中津川における漁業の生産性向上を目的として、アユの安定的な供給とアユを活用した地域の活性化を図ります。

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標
達成率

—

市民実感度								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—
【参考】実感度と重要度の関係性		—	—	—	—	—	—	—

市民実感度 達成率
—

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 浜の活力再生プラン推進事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率

100.0%

5 環境に優しく、自然と共生するまち (潤い政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 地球温暖化対策の推進	78.6	C やや遅れ
2 未来へつなげる循環型都市の実現	90.3	A 順調
3 自然との共生の推進	79.8	C やや遅れ
4 緑豊かで美しいまちの実現	93.5	A 順調
5 河川と共生するまちの実現	78.3	C やや遅れ

総合評価
潤い政策は、2つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策1「地球温暖化対策の推進」及び基本施策3「自然との共生の推進」は、前年度と比較して総合評価が下がっている。基本施策1「地球温暖化対策の推進」については、各指標の達成率が低下傾向にあることから、2050年のカーボンニュートラル達成に向け、一人一人の行動変容につながる実効性の高い取組を強力に推進する必要がある。 基本施策3「自然との共生の推進」については、持続可能な社会の構築に向けた重要な取組であるが、全ての市民実感性の項目で実感性及び重要度が低い分類Ⅳとなっていることから、本市の豊かな自然を守り育むため、生物多様性の保全・回復や森林及び里地里山の維持に向けた市民意識の高揚を図る必要がある。 また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、環境に優しく、自然と共生するまちの実現に向けて、着実に取組を進めること。

総合計画審議会からの意見
2施策が総合評価A、3施策が総合評価Cとなったことから、C評価となった基本施策1「地球温暖化対策の推進」、基本施策3「自然との共生の推進」及び基本施策5「河川と共生するまちの実現」については、達成率の向上に向け、更なる工夫や見直しを行われたい。環境問題は、自治体単独での取組には限界があるものの、一人一人の行動変容が最も重要であることから、市民意識を高める工夫や普及啓発の強化に努められたい。また、ボランティア等の地域活動の担い手が減少していることから、企業との連携やSNS等を活用した情報発信など、新たな担い手の発掘や育成に向けた取組を検討されたい。

まちづくりのビジョン (基本政策)	5 環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	1 地球温暖化対策の推進
目指す姿	地球温暖化防止に対する意識が高まり、家庭や学校、事業所等における省エネルギー化が図られ、地球環境への負荷が低減しています。
第1期 基本計画での 取組方針	- 地球環境への負荷が少ない脱炭素社会の実現に向けて、家庭や学校、事業所などにおける省エネルギーの普及啓発を進めます。 - 地球温暖化対策の必要性への理解向上を促し、再生可能エネルギーの普及に向けた取組等を推進します。 - 温室効果ガスの排出抑制を進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
78.6 /100	C やや遅れ	地球温暖化対策の推進に向け、EVゴミ収集車の運用や環境学習講座の実施の取組が成果指標の達成率につながったほか、2050年のカーボンニュートラル達成を見据えて設定した高い目標値に対しておおむね順調に進んでいるものの、実績値の伸び幅が小さく、やや遅れている結果となった。 また、三つの市民実感度については、全ての項目で実績値が前年度を上回ったものの、目標値を達成できなかったことに加え、実感度及び重要度が低い分類Ⅳとなっている。 地球温暖化に伴う気候変動により、自然災害が頻発化・激甚化していることを一人一人が理解するとともに、限りある地球環境を保全し、持続可能な社会を実現するためには、各自の心がけが重要であることを認識してもらい、行動変容につなげることが必要である。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合	90.0%	84.0%	93.3%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
市内再生可能エネルギー出力量	75.0MW	52.7MW	70.3%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成25年度比）	25.0%	19.0%	76.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
79.9%

代表となる指標 得点④
39.9

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
69.1%

市民実感度 得点 ^⑧
20.7

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
90.3%

実施計画事業指標 得点◎
18.0

施策の方向
① 環境教育の推進と環境問題に対する意識啓発
環境学習講座や啓発イベントを積極的に実施することにより、地球温暖化を始めとした環境問題についての意識啓発を図り、ライフスタイルの変革を促します。

代表となる指標								
指標①								
地球温暖化を緩和するために取り組んでいることがある市民の割合								
年度		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
単位								
目標値		－	78.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0
実績値		76.2	78.6	78.8	81.8	84.0		
達成率		－	100.0	98.5	96.2	93.3		

代表となる指標 達成率
93.3%

市民実感度								
指標①								
環境教育や環境学習の取組が進んでいると思う市民の割合								
年度		現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
単位								
目標値		－	28.0	32.0	35.0	40.0	45.0	50.0
実績値		24.5	25.7	24.7	26.0	27.4		
達成率		－	91.8	77.2	74.3	68.5		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
68.5%

実施計画事業			実施計画事業 達成率平均 86.7%
事業名	達成率	施策貢献度	
① 環境教育促進事業	86.7%	B	

施策の方向
② 再生可能エネルギーの導入促進
市内における太陽光発電システム設置に対する支援等、再生可能エネルギーの導入を進め、創エネ、省エネ、蓄エネの推進を図ります。

代表となる指標								
指標①								
市内再生可能エネルギー出力量								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	MW	－	36.3	38.0	60.0	75.0	90.0	100.0
実績値		32.7	38.3	48.0	51.1	52.7		
達成率		－	100.0	100.0	85.2	70.3		

代表となる指標
達成率

70.3%

市民実感度								
指標①								
再生可能エネルギーの普及が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	24.0	25.0	30.0	33.0	36.0	40.0
実績値		22.6	23.3	20.8	23.2	25.4		
達成率		－	97.1	83.2	77.3	77.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
77.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① カーボンニュートラル推進補助事業	82.1%	B

実施計画事業
達成率平均

82.1%

施策の方向
③ 温室効果ガスの排出抑制
スマートハウスの推進やEVごみ収集車の導入等により、温室効果ガスの排出量の削減を進めます。

代表となる指標								
指標①								
市内温室効果ガス排出量推計削減率（平成25年度比）								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	11.5	12.8	21.0	25.0	29.0	33.0
実績値		10.2	17.0	20.0	16.0	19.0		
達成率		－	100.0	100.0	76.2	76.0		

代表となる指標
達成率

76.0%

市民実感度								
指標①								
公共交通機関の利用啓発など、省エネの取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	26.0	30.0	36.0	42.0	50.0	60.0
実績値		23.8	24.6	24.0	25.0	26.0		
達成率		－	94.6	80.0	69.4	61.9		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
61.9%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① カーボンニュートラル推進事業	92.5%	A
② EVごみ収集車導入事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率平均

96.3%

まちづくりのビジョン (基本政策)	5 環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	2 未来へつなげる循環型都市の実現
目指す姿	ごみの適正排出に対する市民や事業者の意識が高まり、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組が進むことにより、ごみの減量化・資源化が進み、循環型都市が実現されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・家庭系ごみ及び事業系ごみの減量化・資源化を推進します。 ・将来へ向けた安定的なごみ処理体制の確立に取り組みます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
90.3 /100	A 順調	未来へつなげる循環型都市の実現に向け、モデル地区における家庭系ごみの戸別収集によるごみの減量化や事業系食品廃棄物の資源化の取組などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「ごみの減量を意識している市民の割合」及び「資源の分別を意識している市民の割合」の実績値は前年度を下回ったことから、ごみの減量化や資源の分別について周知・啓発をより一層推進するとともに、引き続き新たな資源化品目の研究等に取り組む必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
ごみの減量を意識している市民の割合	80.0%	69.4%	86.8%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
資源の分別を意識している市民の割合	99.0%	96.9%	97.9%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	392g	389g	100.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
事業系ごみの排出量	15196t	15259t	99.6%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
96.1%

代表となる指標 得点①
48.0

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
76.0%

市民実感度 得点 ^⑧
22.8

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
97.6%

実施計画事業指標 得点◎
19.5

施策の方向								
① 3Rの推進による家庭系ごみの減量化・資源化								
自治会等と協働し、ごみの排出抑制や分別の徹底など、3Rの取組を進め、ごみの減量化・資源化を推進します。								

代表となる指標								
指標①								
ごみの減量を意識している市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	70.0	73.0	76.0	80.0	85.0	90.0
実績値		66.9	70.5	70.9	72.1	69.4		
達成率		－	100.0	97.1	94.9	86.8		
指標②								
資源の分別を意識している市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	97.8	98.2	98.6	99.0	99.5	100.0
実績値		97.4	97.8	96.7	97.3	96.9		
達成率		－	100.0	98.5	98.7	97.9		
指標③								
一人１日当たりの家庭系ごみの排出量								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	g	－	419	410	401	392	384	383
実績値		438	425	412	394	389		
達成率	%	－	98.6	99.5	100.0	100.0		

代表となる指標 達成率平均
94.9%

市民実感度								
指標①								
ごみの減量化・資源化が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	61.0	65.0	69.0	73.0	77.0	80.0
実績値		57.3	57.7	57.4	61.7	55.5		
達成率		－	94.6	88.3	89.4	76.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
76.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① ごみ減量化・資源化推進事業	93.3%	A

実施計画事業 達成率
93.3%

施策の方向
② 事業系ごみの更なる減量化・資源化
多量排出事業者や不適正排出事業者等に対し適正処理を求めるとともに、事業系ごみの排出抑制や資源化に取り組めます。 また、食品廃棄物排出事業者における食品ロス削減に取り組めます。

代表となる指標								
指標①								
事業系ごみの排出量								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	t	－	17,619	16,797	15,976	15,196	14,171	13,858
実績値		19,323	16,449	16,290	15,350	15,259		
達成率	%	－	100.0	100.0	100.0	99.6		

代表となる指標
達成率

99.6%

市民実感度								
指標①								
－								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値		－	－	－	－	－	－	－
実績値	－	－	－	－	－	－	－	－
達成率		－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性		－	－	－	－	－	－	－

市民実感度
達成率

－

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 事業系ごみ対策事業	99.5%	A

実施計画事業
達成率

99.5%

施策の方向
③ 安定的なごみ処理体制の確立
ごみの安定的かつ確実な広域処理を推進するため、新たなごみ中間処理施設の整備を支援するとともに、新施設稼働後の環境センター跡地等の有効利用など、地域の実情に即したまちづくりを進めます。 また、将来に向けたごみと資源の安定的な収集処理体制の確立に取り組めます。

代表となる指標								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—

代表となる指標
達成率

—

市民実感度								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—
【参考】実感度と重要度の関係性		—	—	—	—	—	—	

市民実感度 達成率
—

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 厚木愛甲環境施設組合負担事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率平均

100.0%

まちづくりのビジョン (基本政策)	5 環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	3 自然との共生の推進
目指す姿	・人と自然の共生に向け、生物多様性への配慮が進められています。 ・市民、事業者等との連携・協働により、生物の良好な生息環境の整備、森林や里地里山の保全・活用が行われています。
第1期 基本計画での 取組方針	・生物多様性の保全と持続可能なまちづくりを推進するため、市民、事業者、民間団体等と連携・協働し、豊かな自然の保全・活用を図ります。 ・森林の持つ多面的、公益的機能を維持するため、森林整備活動を行うとともに、里地里山の保全・活用を行います。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
79.8 /100	C やや遅れ	自然との共生の推進に向け、市民参加型の生き物調査等による生物多様性の普及啓発などの取組が成果指標の達成率につながったものの、里地里山の保全に向けた取組の達成率が低く、やや遅れている結果となった。 また、市民実感度「生物多様性の普及や保全が進んでいると思う市民の割合」及び「里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合」の実績値は前年度を上回ったものの、達成率がやや低いことに加え、実感度及び重要度が低い分類Ⅳに該当していることから、持続可能な社会の構築に向けた自然との共生について普及啓発を推進し、本市の豊かな自然を次世代に残すために、一人一人の行動変容につなげていく必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
里地里山活動認定の対象面積	6.7ha	6.2ha	92.5%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
森林ボランティア会員人数	37人	25人	67.6%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
80.1%

代表となる指標 得点④
40.0

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
71.0%

市民実感度 得点 ^⑧
21.3

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
92.7%

実施計画事業指標 得点◎
18.5

施策の方向								
① 多様な自然環境・生物多様性の保全と活用								
生物多様性あつぎ戦略に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を計画的に推進するとともに、生物多様性の意味や重要性の普及及び配慮意識の浸透等の啓発を行います。 また、里地里山保全等促進計画に基づき、保全活動拠点のネットワーク化を推進し、重点地域における里地里山の継続的な保全活動を通じて、保全活動の全市的な展開につなげます。								

代表となる指標								
指標①								
里地里山活動認定の対象面積								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	ha	－	6.1	6.2	6.7	6.7	6.7	6.7
実績値		6.0	6.7	6.7	6.2	6.2		
達成率		－	100.0	100.0	92.5	92.5		

代表となる指標 達成率
92.5%

市民実感度								
指標①								
生物多様性の普及や保全が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	23.0	27.0	32.0	36.0	41.0	45.0
実績値		18.7	23.6	22.0	22.8	26.4		
達成率		－	100.0	81.5	71.3	73.3		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		
指標③								
里地里山の保全や活用が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	28.0	32.0	37.0	42.0	46.0	50.0
実績値		23.4	28.1	25.6	25.5	27.8		
達成率		－	100.0	80.0	68.9	66.2		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率平均
69.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 生物多様性あつぎ戦略推進事業	100.0%	A
② 里地里山保全等促進事業	79.1%	C

実施計画事業 達成率平均
89.6%

施策の方向
② 森林再生の推進
枝打ちや徐間伐等、地域水源林エリアの森林整備を行うとともに、森林ボランティア活動への支援等を通じて、森林愛護意識の向上を図ります。

代表となる指標								
指標①								
森林ボランティア会員人数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	28	31	34	37	40	43
実績値		26	28	28	25	25		
達成率		－	100.0	90.3	73.5	67.6		

代表となる指標
達成率

67.6%

市民実感度								
指標①								
森林整備など山林の再生が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	25.0	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0
実績値		19.8	22.0	20.9	21.4	22.8		
達成率		－	88.0	77.4	73.8	73.5		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
73.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 森林再生事業	99.0%	A

実施計画事業
達成率

99.0%

まちづくりのビジョン (基本政策)	5 環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	4 緑豊かで美しいまちの実現
目指す姿	・憩いの場としての公園や緑地が整備され、良好な緑地空間の保全が図られています。 ・歩行喫煙や落書き、ごみのポイ捨てなどのない、緑豊かで美しい生活環境が整備されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・市民の憩いや安らぎの場となる公園及び緑地の整備、改修を行うとともに、緑地の確保を進め、緑豊かな生活環境づくりを推進します。 ・市民や事業者との協働により、環境の美化を進め、快適で美しい生活環境づくりを推進します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
93.5 /100	A 順調	緑豊かで美しいまちの実現に向け、公園及び緑地の整備や改修を始め、不法投棄を防止する取組が成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、代表となる指標「市民一人当たりの公園及び緑地面積」は目標値を達成していないことから、引き続き、新規公園の整備や老朽化した公園施設の改修等について計画的に事業を進める必要がある。 また、代表となる指標「地域美化清掃の実施件数」については、前年度より増加したものの、目標値を達成していないため、美化清掃実施団体の活動を活性化する取組を検討する必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
市民一人当たりの公園及び緑地面積	9.61㎡/人	9.40㎡/人	97.8%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
地域美化清掃の実施件数	256件	188件	73.4%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
不法投棄件数	475件	480件	99.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
90.1%

代表となる指標 得点①
45.0

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っていると思う市民の割合	65.2%	65.1%	99.8%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っていると思う市民の割合	66.0%	62.8%	95.2%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
97.5%

市民実感度 得点 ^⑧	29.2

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均
96.6%

実施計画事業指標 得点◎
19.3

施策の方向								
① 緑豊かな公園緑地の整備								
新規公園を整備するとともに、利用者が安心して過ごすことができるよう、老朽化、機能低下している公園や樹木により見通しの悪い公園等を改修します。 また、健康増進やバリアフリー化等市民ニーズに対応した公園の整備を行います。								

代表となる指標								
指標①								
市民一人当たりの公園及び緑地面積								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	㎡/人	－	8.16	8.17	8.17	9.61	9.65	9.65
実績値		8.15	8.19	8.19	8.19	9.40		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	97.8		

代表となる指標 達成率
97.8%

市民実感度								
指標①								
身近に公園などがあり、緑豊かな生活環境が整っていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	63.1	63.8	64.5	65.2	65.9	66.6
実績値		62.4	62.6	61.1	62.4	65.1		
達成率		－	99.2	95.8	96.7	99.8		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
99.8%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 公園緑地整備事業	100.0%	A
② 緑を豊かにする事業	100.0%	A
③ （仮称）北部地区公園整備事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
100.0%

施策の方向								
② 環境美化の推進								
環境美化やマナー向上を図るため、市民や事業者との協働により、ポイ捨て防止、路上喫煙禁止及びペットの適正な飼育等に関する啓発活動を実施します。 また、不法投棄防止を図るため、パトロールの実施や看板の設置等、取組を強化します。								

代表となる指標								
指標①								
地域美化清掃の実施件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	250	252	254	256	258	260
実績値		243	173	164	177	188		
達成率		－	69.2	65.1	69.7	73.4		
指標②								
不法投棄件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	550	525	500	475	450	425
実績値		574	611	466	543	480		
達成率		－	90.0	100.0	92.1	99.0		

代表となる指標 達成率平均
86.2%

市民実感度								
指標①								
地域美化清掃の取組などにより、清潔で快適な生活環境が整っていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0
実績値		58.6	62.0	59.9	62.8	62.8		
達成率		－	100.0	96.6	98.1	95.2		
【参考】実感度と重要度の関係性		I	I	I	I	I		

市民実感度 達成率
95.2%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① まち美化推進事業	86.7%	B
② 動物愛護管理推進事業	93.7%	A
③ 不法投棄防止対策事業	99.0%	A

実施計画事業 達成率平均
93.1%

まちづくりのビジョン (基本政策)	5 環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）
基本施策	5 河川と共生するまちの実現
目指す姿	・河川の水質保全が図られ、良好な河川環境が保たれています。 ・安心して水と親しめる水辺空間が確保され、水辺と人との触れ合いが、より身近に感じられるようになっていきます。
第1期 基本計画での 取組方針	・生活環境や河川環境を保全するため、引き続き、河川等の水質の保全に努めます。 ・貴重な自然資源である谷戸の水辺環境の保全や、市民に親しみやすい自然をいかした河川環境づくりを進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
78.3 /100	C やや遅れ	河川と共生するまちの実現に向け、市街化調整区域における污水管整備や河川の汚濁防止のため水質を監視する取組が成果指標の達成率につながったものの、親水広場を活用した環境学習が高温等により中止となったことから、やや遅れている結果となった。 今後については、水辺と人のふれあいを通して、地域の自然資源の価値が身近に感じられる河川環境学習について、気温（熱中症アラート）や河川の水量といった天候に左右されるという課題があるため、実施時期の見直しを含めた検討を行う必要がある。 また、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換件数が減少しているため、該当者に対し補助金制度を周知するとともに、水質保全の重要性をより一層周知する取組を推進する必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率	92.0%	100.0%	100.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
親水広場を活用した環境学習の実施回数	3回	1回	33.3%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
66.7%

代表となる指標 得点①
33.3

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合	46.5%	47.4%	100.0%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
100.0%

市民実感度 得点 ^⑧
30.0

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均
75.3%

実施計画事業指標 得点◎
15.0

施策の方向
① 良好な河川環境の保全
生態系に配慮した河川環境の保全を行うとともに、事業効果を検証するため、水質調査や水生生物調査を実施します。 また、河川の水質常時監視調査や地下水調査、市内河川や水路等の水質調査及び工場や事業場の排水調査を実施します。

代表となる指標								
指標①								
BOD（生物化学的酸素要求量）の環境基準達成率								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	％	－	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0	92.0
実績値		92.0	82.1	92.1	89.2	100.0		
達成率		－	89.2	100.0	97.0	100.0		

代表となる指標
達成率

100.0%

市民実感度								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	—	—	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—
【参考】実感度と重要度の関係性		—	—	—	—	—	—	—

市民実感度 達成率
—

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 水質汚濁防止対策事業	100.0%	A
② 合併処理浄化槽普及促進事業	68.0%	C
③ 公共下水道整備事業（污水整備）【公共下水道事業会計】	100.0%	A

実施計画事業
達成率平均

89.3%

施策の方向
② 親しみやすい河川環境の整備
谷戸周辺の水辺環境の再生及び保全を図るとともに、親水広場の整備や河川を活用した環境学習を実施し、水辺と人が身近に触れ合うことができる、憩いと活動の場を提供します。

代表となる指標								
指標①								
親水広場を活用した環境学習の実施回数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	回	－	3	3	3	3	3	4
実績値		2	1	2	3	1		
達成率		－	33.3	66.7	100.0	33.3		

代表となる指標
達成率

33.3%

市民実感度								
指標①								
親しみやすい水辺空間が整っていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	44.4	45.1	45.8	46.5	47.2	48.0
実績値		43.7	45.8	44.2	44.2	47.4		
達成率		－	100.0	98.0	96.5	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 河川学習事業	33.3%	D

実施計画事業
達成率平均

33.3%

6 市民と共に確かな成長を創り出すまち (共創政策)

基本施策	総合得点	評価区分
1 市民参加・市民協働の推進	94.9	A 順調
2 行財政改革の推進	90.0	A 順調
3 都市間連携の推進	79.3	C やや遅れ

総合評価
共創政策は、2つの基本施策で順調に進捗しているが、基本施策1「市民参加・市民協働の推進」については、代表となる指標「必要な行政情報を入手できている市民の割合」の実績値が年々低下していることから、市民が真に求める情報について、多様な発信媒体により周知を行う必要がある。 基本施策2「行財政改革の推進」については、総合評価はAとなっているが、総合得点が年々低下しているほか、市民実感度「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合」は重要度が高く実感度が低い分類Ⅱとなっていることから、市民ニーズの変化を捉え、迅速に行政運営に反映する仕組みを確立させる必要がある。 また、目標値を達成していない施策・事業については、課題の整理や現状分析等を行い、市民の皆様と共に確かな成長を創り出すまちの実現に向けて、着実に取組を進めること。

総合計画審議会からの意見
2施策が総合評価A、1施策が総合評価Cとなり、おおむね計画どおりに進捗したことは評価するが、基本施策2「行財政改革の推進」については、市民実感度「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合」の実績値が29.4%と前年度と比較して1.5ポイント減少していることから、多くの市民が負担なく市民協働に関わることができる仕組みを工夫し、市民ニーズの把握と情報発信力の強化に向けて取り組まれない。また、2年連続でC評価となっている基本施策3「都市間連携の推進」については、災害時の相互支援や専門団体との協力関係の構築など、実効性のある施策として今後ますます重要になってくることから、達成率向上に向け、近隣自治体と連携した広域的な視点に立った効果的な取組を推進されたい。

まちづくりのビジョン (基本政策)	6 市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	1 市民参加・市民協働の推進
目指す姿	・市民協働が一層進み、地域課題の解決に向けた取組が進んでいます。 ・必要な情報を必要なときに入手できるとともに、日常的にまちづくりへの市民参加の機会が得られることにより、市民同士での議論が活発化し、市民の意見が市政に反映されています。
第1期 基本計画での 取組方針	・地域コミュニティ団体やボランティア団体等の活動を支援するとともに、多様な主体がまちづくりに関わる市民協働によるまちづくりを進めます。 ・市民公募によるワークショップやパブリックコメント等、市民参加の機会を増やすとともに、情報発信手段の多様化や情報のアクセシビリティを強化し、市政がより身近なものとなるよう取組を進めます。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
94.9 /100	A 順調	市民参加・市民協働の推進に向け、各種補助金制度による市民活動団体の支援や市制70周年記念事業の実施などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 代表となる指標「公式SNSの利用登録者数」については、積極的な発信やLINEの機能拡張等により例年以上に増加した一方で、「必要な行政情報を入手できている市民の割合」が前年度より減少したため、効果的な発信方法や発信媒体について研究していく必要がある。 また、市民実感度「自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合」の実績値が低下したことから、協働によるまちづくりの重要性を周知するとともに、より参加しやすい市民参加・市民協働の手法を検討する必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
市民対話等要望対応率	87.8%	82.8%	94.3%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
自治会やボランティア・NPO等の活動に参加している市民の割合	38.3%	38.1%	99.5%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
市内で活動する市民活動団体数	223団体	193団体	86.5%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
必要な行政情報を入手できている市民の割合	85.3%	73.7%	86.4%
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
公式SNSの利用登録者数	78000人	83652人	100.0%
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
93.3%

代表となる指標 得点①
46.6

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合	44.9%	43.3%	96.4%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合	60.5%	60.8%	100.0%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
98.2%

市民実感度 得点 ^⑧	29.4

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均
94.6%

実施計画事業指標 得点◎	18.9

施策の方向
① 市民協働の推進
多様化する地域課題の解決に向け、ボランティア団体等の活動支援や担い手の育成等に取り組み、市民協働によるまちづくりを一層推進します。 また、パブリックコメント等の市民参加手続を実施し、積極的な情報提供と市民ニーズの把握及び意見聴取機会を設けることにより、まちづくりへの市民参加の促進を図ります。

代表となる指標								
指標①								
市民対話等要望対応率								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	81.0	82.0	86.0	87.8	89.6	91.4
実績値		74.7	82.3	72.7	79.8	82.8		
達成率		－	100.0	88.7	92.8	94.3		

代表となる指標 達成率
94.3%

市民実感度								
指標①								
—								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
	—	目標値	—	—	—	—	—	—
実績値		—	—	—	—	—	—	—
達成率		—	—	—	—	—	—	—
【参考】実感度と重要度の関係性		—	—	—	—	—	—	—

市民実感度 達成率
－

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 市民活動推進事業	100.0%	A
② 市民対話事業	94.3%	A
③ 市民協働推進事業	100.0%	A
④ S D G s 推進事業	84.2%	B
⑤ 市制７０周年記念事業	100.0%	A

実施計画事業 達成率平均
95.7%

施策の方向
② 地域コミュニティ活動の充実
地域のニーズに沿った活動支援、交流促進等を行います。 また、地域コミュニティ活動の拠点となる施設の維持管理及び整備を支援し、市民が安心して集い、活動できる環境を作ります。

代表となる指標								
指標①								
自治会やボランティア・NP0等の活動に参加している市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	35.3	36.3	37.3	38.3	39.3	40.3
実績値		34.3	38.5	41.8	39.6	38.1		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	99.5		
指標②								
市内で活動する市民活動団体数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	団体	－	214	217	220	223	226	229
実績値		211	214	204	201	193		
達成率	%	－	100.0	94.0	91.4	86.5		

代表となる指標 達成率平均
93.0%

市民実感度								
指標①								
自治会やボランティア等との協働により、より良いまちづくりが進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	41.9	42.9	43.9	44.9	45.9	46.9
実績値		40.9	46.4	42.3	43.6	43.3		
達成率		－	100.0	98.6	99.3	96.4		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		

市民実感度 達成率
96.4%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① コミュニティ推進事業	96.4%	A
② 地域集会施設建設費等補助事業	98.5%	A

実施計画事業 達成率平均
97.5%

施策の方向
③ 情報発信力の強化
広報紙、市ホームページ、デジタルサイネージ、SNSを活用し、必要な行政情報が届くよう、情報を発信します。 また、利用者の目線に立った情報整理やアクセシビリティの強化を図ります。

代表となる指標								
指標①								
必要な行政情報を入手できている市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	73.0	73.5	83.5	85.3	87.1	88.9
実績値		72.9	80.0	77.1	75.9	73.7		
達成率		－	100.0	100.0	90.9	86.4		
指標②								
公式SNSの利用登録者数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	人	－	44,000	45,000	73,000	78,000	83,000	88,000
実績値		43,000	58,172	64,042	71,993	83,652		
達成率		－	100.0	100.0	98.6	100.0		

代表となる指標 達成率平均
93.2%

市民実感度								
指標①								
市の情報媒体から必要な行政情報が発信されていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	59.0	59.5	60.0	60.5	61.0	61.0
実績値		58.6	63.7	63.1	61.3	60.8		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ	Ⅲ		

市民実感度 達成率
100.0%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 映像メディア活用事業	83.7%	B

実施計画事業 達成率平均
83.7%

まちづくりのビジョン (基本政策)	6 市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	2 行財政改革の推進
目指す姿	・市民ニーズの多様化や社会環境の変化に柔軟に対応した質の高い行政サービスの提供ができています。 ・安定的な財政基盤に基づく持続可能な財政運営が図られています。 ・市民共有の財産である公共施設が計画的に更新され、次世代へと引き継がれています。
第1期 基本計画での 取組方針	・市民ニーズに対応した質の高い行政サービスを提供するため、デジタル技術の活用による業務効率化などの行政改革に取り組みます。 ・安定した財政基盤を確立するため、更なる自主財源の確保を図ります。 ・公共施設の最適化を計画的に推進し、将来負担の軽減を図ります。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
90.0 /100	A 順調	行財政改革の推進に向け、効率的な収納事務の遂行により市税収納率98.80%を達成したほか、市民窓口支援システムを活用した「書かない窓口」の一部先行実施や本庁舎敷地跡地の活用に向けた基本方針の策定などが成果指標の高い達成率につながっており、順調に施策を推進することができた。 しかしながら、市民実感度「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合」については、実績値及び達成率が前年度を下回ったため、SNSや電子申請システムを活用したアンケートなど、市民ニーズを的確に把握する手法を積極的に取り入れるとともに、実感度の向上につながるよう、事業の取組と成果について効果的に発信していく必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
第7次行政改革の推進度	100.0%	85.4%	85.4%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
市税収納率	99.00%	98.80%	99.8%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
公共施設個別施設計画に基づく第1期短期再編プログラムの進捗率	63.6%	63.6%	100.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
95.1%

代表となる指標 得点④
47.5

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合	43.3%	29.4%	67.9%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいると思う市民の割合	43.3%	38.2%	88.2%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率

市民実感度 達成率平均
78.1%

市民実感度 得点 ^⑧	23.4

◆実施計画事業指標 [配点：20点] (各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

(各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値)

[illegible]

実施計画事業指標 達成率平均
95.8%

実施計画事業指標 得点◎
19.1

施策の方向								
① 行政改革の推進								
行政改革大綱に基づき、行政手続等におけるデジタル技術の活用や根拠に基づく政策立案（EBPM）、官民連携を推進するなど、質の高い行政サービスの提供に向けた行政改革を推進します。								

代表となる指標								
指標①								
第7次行政改革の推進度								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値		－	87.3	83.6	78.2	85.4		
達成率		－	87.3	83.6	78.2	85.4		

代表となる指標
達成率

85.4%

市民実感度								
指標①								
社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われていると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	33.4	36.7	40.0	43.3	46.6	50.0
実績値		29.9	33.9	29.5	30.9	29.4		
達成率		－	100.0	80.4	77.3	67.9		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		

市民実感度 達成率
67.9%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 総合計画策定事業	100.0%	A
② 行政改革推進事業	76.7%	C
③ まちづくり方針検討事業	100.0%	A
④ 公衆無線LAN整備事業	100.0%	A
⑤ 総合窓口整備事業	100.0%	A

実施計画事業
達成率平均

95.3%

施策の方向
② 健全な財政運営
限られた財源を重点的かつ効果的に活用し、将来のまちづくりに向けた投資を行うため、自主財源の確保や事業の選択と集中による安定的な財政運営を図ります。

代表となる指標								
指標①								
市税収納率								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	98.85	98.90	98.95	99.00	99.05	99.10
実績値		98.81	99.11	98.95	98.73	98.80		
達成率		－	100.0	100.0	99.8	99.8		

代表となる指標
達成率

99.8%

市民実感度								
指標①								
－								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	－	－	－	－	－	－	－	－
実績値		－	－	－	－	－	－	－
達成率		－	－	－	－	－	－	－
【参考】実感度と重要度の関係性		－	－	－	－	－	－	－

市民実感度 達成率
－

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
①	－	－

実施計画事業
達成率

－

施策の方向
③ 公共施設最適化の推進
公共施設最適化基本計画に基づき、公共施設の老朽化対策として、計画的な長寿命化改修を行うとともに、公共施設の複合化などの適正配置を推進します。

代表となる指標								
指標①								
公共施設個別施設計画に基づく第1期短期再編プログラムの進捗率								
年度	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	%	－	18.2	31.8	45.5	63.6	81.8	100.0
実績値		－	18.2	31.8	45.5	63.6		
達成率		－	100.0	100.0	100.0	100.0		

代表となる指標
達成率

100.0%

市民実感度								
指標①								
小・中学校や公民館、児童館などの公共建築物について、施設の老朽化に対する取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	33.4	36.7	40.0	43.3	46.6	50.0
実績値		30.1	39.7	36.5	37.6	38.2		
達成率		－	100.0	99.5	94.0	88.2		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅱ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
88.2%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 公共施設最適化推進事業	100.0%	A
② 本庁舎敷地跡地等活用推進事業	100.0%	A
③ 公共建築物長寿命化事業	89.5%	B

実施計画事業
達成率平均

96.5%

まちづくりのビジョン (基本政策)	6 市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）
基本施策	3 都市間連携の推進
目指す姿	・近隣市町村と共通する行政課題の解決に向け、適切に対応することができる都市間連携の体制を確立しています。 ・国内友好都市との都市間の交流が進み、友好親善が深まっています。
第1期 基本計画での 取組方針	・近隣市町村と共通する行政課題の解決に向け、都市間連携を推進し、市民サービスの向上を図ります。 ・国内友好都市との交流を促進させるため、本市が主催する交流事業のほか、民間団体による交流活動を支援します。

総合得点 (A+B+C)	総合評価	成果と課題
79.3 /100	C やや遅れ	都市間連携の推進に向け、県央やまなみ協議会として、地域高規格道路・県道等の整備促進、災害対策、人材育成、農業、環境及びスポーツ・文化等、様々な分野の課題解決及び行政サービスの向上に取り組んだほか、「丹沢・大山・宮ヶ瀬観光マップ」を制作し各種イベントや公共施設等で配布するなど、魅力ある「広域観光圏」を発信することができた。 しかしながら、代表となる指標「民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数」が伸びなかったことから、やや遅れている結果となった。補助金制度については、より利用しやすい制度となるよう上限額等の見直しを行ったため、積極的に周知を図っていく。 また、市民実感度の二つの指標の実績値については、どちらも前年度より3%以上上昇しているものの、目標値を達成していないことから、引き続き、市域を越えた連携を強化するとともに、国内友好都市との都市間交流を促進する必要がある。

◆代表となる指標 【配点：50点】

指標①	R6目標値	R6実績値	達成率
都市間連携の実施件数	53件	51件	96.2%
指標②	R6目標値	R6実績値	達成率
民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数	3件	1件	33.3%
指標③	R6目標値	R6実績値	達成率
国内友好都市との交流活動件数	25件	24件	96.0%
指標④	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑤	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑥	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑦	R6目標値	R6実績値	達成率
指標⑧	R6目標値	R6実績値	達成率

代表となる指標 達成率平均
75.2%

代表となる指標 得点④
37.6

◆市民実感度 [配点：30点]

(市民実感度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した市民の割合)

市民実感度 達成率平均
76.9%

市民実感度 得点 ^⑧
23.0

◆実施計画事業指標 [配点：20点] （各実施計画事業に複数の指標がある場合は、その平均値）

実施計画事業指標 達成率平均
93.7%

実施計画事業指標 得点◎
18.7

施策の方向
① 広域連携の推進
災害対策や観光振興など様々な分野における広域的な行政課題の解決や事務の効率化に向けた取組を行うなど、市域を超えた都市間連携を推進することで、更なる市民サービス向上を目指します。

代表となる指標								
指標①								
都市間連携の実施件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	50	51	52	53	54	55
実績値		49	50	50	51	51		
達成率		－	100.0	98.0	98.1	96.2		

代表となる指標
達成率

96.2%

市民実感度								
指標①								
防災や観光を始めとした市域を越える広域的な課題に対し、近隣市町村等と連携した取組が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	30.3	34.3	38.3	42.3	46.3	50.0
実績値		26.3	26.9	24.0	30.2	33.2		
達成率		－	88.8	70.0	78.9	78.5		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
78.5%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 広域都市連携推進事業	98.1%	A

実施計画事業
達成率

98.1%

施策の方向
② 他都市との交流促進
国内友好都市との連携を深めていくため、様々な分野で友好都市との交流を促進します。 また、民間における交流を促進するため、本市が主催する交流事業の実施のほか、民間団体による交流活動を支援します。

代表となる指標								
指標①								
民間団体による国内友好都市との交流活動に対する補助金交付件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	2	2	3	3	4	4
実績値		1	0	1	1	1		
達成率		％	－	0.0	50.0	33.3	33.3	
指標②								
国内友好都市との交流活動件数								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	件	－	23	24	24	25	25	26
実績値		21	7	18	19	24		
達成率		％	－	30.4	75.0	79.2	96.0	

代表となる指標 達成率平均
64.7%

市民実感度								
指標①								
国内友好都市との交流が進んでいると思う市民の割合								
年度	単位	現状値	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
目標値	%	－	35.0	38.0	41.0	44.0	47.0	50.0
実績値		31.1	31.9	27.9	29.5	33.1		
達成率		－	91.1	73.4	72.0	75.2		
【参考】実感度と重要度の関係性		Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ		

市民実感度 達成率
75.2%

実施計画事業		
事業名	達成率	施策貢献度
① 国内交流推進事業	89.3%	B

実施計画事業 達成率
89.3%

令和 7 年度 施策評価結果報告書

令和 7 年 10 月発行

発行 厚木市

編集 厚木市企画部企画政策課

〒243-8511

神奈川県厚木市中町 3 丁目 17 番 17 号

電話 (046) 225-2455 (直通)

ホームページ URL <https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/>

【別冊】実施計画取組実績（令和6年度実施事業）

1	命、財産を守り抜くまち（安心政策）	
	1 災害に強いまちの実現	P. 1
	2 消防力の充実・強化	P. 3
	3 セーフコミュニティの推進	P. 5
2	支え合い、生き生きと暮らせるまち（輝き政策）	
	1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現	P. 7
	2 子育て環境の充実	P. 13
	3 健康寿命延伸の推進	P. 17
	4 多様性の尊重と平和都市の推進	P. 21
3	夢や希望を持ち、自己実現ができるまち（成長政策）	
	1 学校教育の充実	P. 25
	2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進	P. 33
	3 文化芸術の振興	P. 37
	4 生涯スポーツの振興	P. 39
4	人が集い、交流し、新たな価値を生むまち（発展政策）	
	1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進	P. 41
	2 魅力ある中心市街地等の形成	P. 45
	3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現	P. 47
	4 産業・商業の振興	P. 49
	5 安心して働くことができるまちの実現	P. 51
	6 観光の振興	P. 53
	7 シティプロモーションと定住促進	P. 55
	8 農業・林業・水産業の振興	P. 57
5	環境に優しく、自然と共生するまち（潤い政策）	
	1 地球温暖化対策の推進	P. 61
	2 未来へつなげる循環型都市の実現	P. 63
	3 自然との共生の推進	P. 65
	4 緑豊かで美しいまちの実現	P. 67
	5 河川と共生するまちの実現	P. 69
6	市民と共に確かな成長を創り出すまち（共創政策）	
	1 市民参加・市民協働の推進	P. 71
	2 行財政改革の推進	P. 73
	3 都市間連携の推進	P. 75

(令和6年度実施事業)

1-1 災害に強いまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初 予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率 (%)	
① 災害に強い社会基盤の整備													
1	急傾斜地安全対策事業	急傾斜地の崩壊による被害を最小限にとどめ、市民の生命・財産を守る。	住居に隣接する傾斜30度以上、高さ2m以上の急傾斜地の崩壊防止対策工事費に対し、補助金を交付する。 (神奈川県が実施する急傾斜地崩壊対策工事の対象を除く。)	急傾斜地等の崩壊から市民の生命、財産を守るため、崩壊防止対策工事費の一部を助成した。 ・交付件数 5件	22,615	21,415	相談件数に対する崩壊防止対策工事実施率	%	100.0	100.0	94.7	94.7	危機管理課
2	公共下水道浸水対策事業 【公共下水道事業会計】	厚木公共下水道事業計画区域内における雨水整備対象区域において、浸水被害が発生している箇所の雨水管整備を進め、浸水被害の解消を図る。	恩曾川左岸水系、相模川右岸水系、中津川右岸水系等において、時間降雨51mm対応の雨水管整備を行う。	三田、上依知、岡田5丁目、栄町2丁目において雨水管整備工事を実施した。 ・工事件数 4件	650,000	452,402	浸水対策工事件数	件	5	4	4	100.0	河川下水道施設課
3	木造住宅耐震改修促進事業費補助事業	地震による住宅の倒壊の被害を軽減するため、木造住宅の耐震化を促進する。	昭和56(1981)年以前の旧耐震基準で建築された木造住宅を対象として、耐震診断及び耐震改修工事に要する費用に対し、補助金を交付する。	耐震診断及び耐震改修工事に係る経費の一部を補助した。 ・一般耐震診断 17件 ・耐震改修設計 4件 ・耐震改修 5件	14,500	6,793	木造住宅耐震診断補助件数	件	9	20	17	85.0	建築指導課
							木造住宅耐震改修設計補助件数	件	5	10	4	40.0	建築指導課
							木造住宅耐震改修工事補助件数	件	3	10	5	50.0	建築指導課
② 災害対応力の強化													
1	総合防災訓練等事業	大規模な自然災害の発生に備え、市民一人一人の防災意識の高揚を図り、災害対応力を高める。	市や自主防災隊など、関係機関が連携し、総合防災訓練を実施するとともに、防災講習会及び地震体験車による震度体験等を実施する。 また、防災意識の高揚を図るためのパンフレット等を配布する。	①自主防災隊において防災訓練を実施した。 ・参加者数 1,372人(市の防災訓練は台風10号により中止) ②防災講習会を実施した。 ・受講者数 1,468人 ③地震体験車による震度体験等を実施した。 ・体験者数 3,574人	1,590	1,446	防災訓練参加者数	人	11,294	15,100	1,372	9.1	危機管理課
							防災講習会受講者数・震度体験者数	人	4,200	5,200	5,042	97.0	危機管理課
2	新型防災ラジオ整備事業	防災行政無線の難聴地域の解消及び災害時等における情報発信の充実・強化を図る。	防災行政無線を補完する防災ラジオを有償配布する。	防災ラジオを市民へ有償配布した。 ・配布数 223台	11,778	10,263	防災ラジオ有償配布台数	台	330	255	223	87.5	危機管理課
3	風水害等対策事業	近年大型化している台風等による風水害に対する防災対策の強化を図る。	浸水想定区域に立地する民間企業等が行う、浸水リスクに対応した浸水防止対策工事に対し補助金を交付する。 また、風水害における避難所機能の強化を図るため、市内の浸水想定区域に立地する指定避難所等への止水板等の設置を実施する。	風水害における避難所機能を強化するため、市内の浸水想定区域に立地する指定避難所等への止水板等の設置を行った。	2,892	2,877	浸水防止対策事業補助金交付件数	件	1	1	1	100.0	危機管理課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初 予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率 (%)	
4	風水害等対策事業 【公共下水道事業会計】	降雨による水害のおそれがある地域において、建物等の浸水被害の軽減を図る。	降雨による水害のおそれがある地域において、建物等の浸水被害を軽減するため、止水板を設置する対象建物等の所有者又は使用者に対し補助金を交付する。	民間における浸水対策として、1件の止水板設置にかかる費用の一部を補助した。	2,000	51	止水板設置補助金交付件数	件	1	4	1	25.0	河川下水道総務課
5	国土強靱化地域計画改定事業	事前の防災・減災対策と迅速な復旧・復興に資する施策を総合的かつ計画的に実施することで、いかなる自然災害が発生しようとも最悪な事態に陥ることを避ける。	近年多発している自然災害等の大規模災害や事故等の発生時に、国、地方公共団体、民間事業者との連携をより確実なものとし、災害等による被害を最小限に抑え、迅速な復旧・復興を可能とする国土強靱化計画を改定する。	庁内の調整及び市民参加手続きを実施し、改定を行った。 改定時期：令和7年3月 市民参加：アンケート調査、意見交換会、パブリックコメント	0	0	国土強靱化地域計画の改定	—	—	改定	改定	100.0	危機管理課
6	災害時医療対策事業	医療機関に対し、災害対応機器を貸与し、災害時の医療の充実を図る。	災害時において開院できる医療機関の必要な電力を確保するため、厚木医師会等に加盟する医療機関に対して発電機等を貸与する。	厚木医師会及び厚木歯科医師会と導入する資機材について協議し、発電機等を整備した。【一部令和7年度へ繰越】 ・発電機 ガソリン4台、カセットガス11台 ・蓄電池及びソーラーパネル15台	7,787	5,112	配備した医療機関（累計）	医院	—	30	30	100.0	危機管理課
7	感震ブレーカー設置事業	感震ブレーカーの設置を促進し、大規模地震が発生した際に起こりうる電気火災のリスクを軽減する。	大規模地震による停電が復旧した際の電気火災を防ぐため、感震ブレーカーを有償配布する。	感震ブレーカーを市民へ有償配布した。 ・配布数 2,211台	3,000	10,035	感震ブレーカー有償配布 個数	個	—	1,000	2,211	100.0	危機管理課
③ 地域防災組織の強化													
1	地域防災力強化事業	「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に活動する自主防災隊及び避難所運営委員会の育成・強化及び避難体制の強化・充実を図る。	防災資機材等取扱研修会及び市民防災研修会を開催するとともに、自主防災隊の防災資機材倉庫の修繕・移設を行う。 また、各避難所運営委員会に対し、交付金を交付する。 さらに、民間避難所開設及び宿泊施設利用者に対する補助金を交付し、避難体制の強化・充実を図る。	①防災指導員や防災推進員に対する資機材等の取扱研修会及び市民防災研修会を開催した。 ②自主防災隊の防災資機材倉庫の計画的な修繕・移設を行った。	11,362	8,986	地域防災リーダー等の講習会参加者数	人	1,200	1,300	778	59.8	危機管理課

(令和6年度実施事業)

1-2 消防力の充実・強化

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初 予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率 (%)	
① 消防体制の充実													
1	消防庁舎整備事業	各種災害に迅速・的確に対応するため、消防・防災拠点である消防庁舎機能の充実を図る。	厚木消防署庁舎については、築50年が経過し、老朽化や狭隘化など、機能面においての課題があることから、組織横断的に検討を進め、早期の建て替えを行う。	厚木消防署本署の建て替えに向け、再整備検討支援業務委託等を実施するとともに、再整備の方向性について検討した。	3,916	3,902	厚木消防署本署整備に向けた進捗状況	—	—	調査	調査	100.0	消防総務課
2	消防団施設整備事業	地域防災の拠点である消防団施設の充実・強化を図る。	老朽化した木造の消防団器具置場の建て替えを行う。	第5分団第3部器具置場（飯山）の建て替えが完了した。	853	422	消防団器具置場建替棟数	棟	1	1	1	100.0	消防総務課
3	高機能消防指令センター整備事業	各種災害に迅速・的確に対応するため、消防救急活動の拠点である消防指令センターの整備を図る。	消防指令センターの移転先である複合施設に高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線システムの整備に向けた取組を行う。	高機能消防指令センター整備に向け電波伝搬路の調査を実施した。	5,366	1,980	高機能消防通信指令センター及び消防救急デジタル無線（活動波）整備の進捗状況	—	検討	調査	調査	100.0	指令課
4	消防車両整備事業	複雑・多様化、また、大規模化する災害に迅速・的確に対応するため、消防車両を整備し、消防力の充実・強化を図る。	使用状況及び経過年数により老朽化した消防車両を更新整備する。	老朽化した消防車両の更新整備を実施した。 ・小型動力ポンプ付積載車 3台 ・高規格救急自動車 1台 ・EV消防車両 1台 ・救助工作車 1台	102,108	94,034	消防車両整備台数	台	6	6	6	100.0	警防課
5	消防水利整備事業	火災発生時における消防活動を効率的・効果的に行うため、消防水利の充足を図る。	国が示す消防水利の基準に基づき、40t以上の防火水槽を公園等の市有地に整備する。	耐震性貯水槽の整備を令和10年度に実施するため、設置場所の調査・選定を実施した。	0	0	耐震性防火水槽整備基数	基	1	—	—	—	警防課
6	消防資器材整備事業	複雑・多様化、また、大規模化する災害に対して迅速・的確に対応するために、必要不可欠な消防資器材を計画的に整備し、消防力の充実・強化を図る。	火災や人命救助などの消防活動を効果的に遂行するための消防資器材をはじめ、ウイルスやテロ災害などに対応するための特殊災害資器材を整備し、市民の安心・安全を確保する。	各資器材について、更新計画に基づき整備を実施した。 ・高圧容器（空気ポンプ）10本 ・陽圧式化学防護服 4着 ・消防用ホース 58本	21,322	21,037	高圧容器（空気ポンプ）更新整備本数	本	20	10	10	100.0	管理課
							陽圧式化学防護服整備着数	着	4	4	4	100.0	管理課
							消防用ホース更新整備本数	本	19	38	58	100.0	管理課
7	消防活動用ドローン導入事業	各種災害事案に際しての状況把握及び情報収集に活用するため、消防活動用ドローンを導入し、消防活動の充実を図る。	各種災害の状況把握や情報収集を上空又は水中から迅速かつ効率的に行うため、消防活動用ドローンを整備する。	水中ドローンを整備した。 ・整備数 1機	2,258	1,564	消防活動用ドローン整備機数	機	—	1	1	100.0	警防課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初 予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率 (%)	
8	消防団活性化事業	消防力の強化を図るため、地域防災の要である消防団員の過酷な災害現場での活動環境に対応する装備品の改善・充実を図るとともに、大規模災害時に消防団員を支援する体制を充実させる。	地域防災力の中核として活動する消防団員の安全装備品等を整備する。 また、消防団及び消防職退職者が有する知識や技能、経験をいかし、消防活動を後方から支援する「厚木市大規模災害サポート隊」の体制を充実させる。	①消防団員装備品の改善及び消防団安全装備品の整備を行った。 ・活動服 95着 ・雨衣 209着 ・トランシーバー 52個 ②大規模災害サポート隊の体制の充実を図った。 ・隊員数 64人	13,147	13,114	消防団員装備品改善率	%	—	24.0	25.0	100.0	消防総務課
② 救急体制の充実													
1	救急推進事業	高齢化の進展による影響などにより、市民の救急需要は高いものとなっていることから、限られた救急資源を有効に活用し、応急手当の普及啓発や救急車の適正利用を推進するとともに高度な医療処置ができる認定救急救命士を計画的に育成し、医療機関と連携した救急体制の充実を図る。	救命率の向上を図るため、小・中学生を含む幅広い世代に救命講習会の実施や救急業務の高度化を推進するとともに適切なAED設置の促進を図り、ケガや事故を未然に防止する予防救急の普及啓発を推進する。	①普通救命講習会を実施した。 ・実施回数 146回 ・受講者数 3,987人 ②気管挿管資格取得研修を実施した。 ・養成者数 3人 ③救急救命士就業前病院実習を実施した。 ・実習者数 5人 ④医療機関への派遣による研修を実施した。 ・研修者数 69人（全救急隊員）	21,416	18,846	普通救命講習会受講者	人	2,500	2,500	3,987	100.0	救急救命課
③ 火災予防対策の推進													
1	防火意識啓発事業	市民等の防火意識の高揚を図り、火災による被害を低減させる。	火災予防運動を始め、各種イベント等において火災予防啓発活動を実施するとともに、SNSを積極的に活用し、住宅用火災機器設置の必要性と維持管理の重要性を広く市民に周知する。 また、危険物施設や防火対象物の防火防災に係る安全を確保していくため、効果的、効率的な立入検査を行い、消防法令違反の是正を促進し「火災による死者ゼロ」を目指します。	①火災予防啓発に伴い各種イベント事業を実施した。 ・実施件数 12件 ②消防法令違反の是正を促進するため、危険物施設及び防火対象物の立入検査を実施した。 ・危険物施設の実施件数 72件 ・防火対象物の実施件数 249件 ③住宅用火災機器の設置促進のため、住宅訪問など現地調査を実施した。 ・実施件数 4,221件	4,955	4,340	火災予防啓発イベント等参加者数	人	5,300	5,400	5,409	100.0	予防課
							立入検査の指摘事項に対する改善報告書提出率	%	90.0	90.0	68.2	75.8	予防課
							住宅用火災警報器設置率	%	89.0	100.0	89.1	89.1	予防課

(令和6年度実施事業)

1-3 セーフコミュニティの推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初 予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率 (%)	
① セーフコミュニティの取組の推進													
1	セーフコミュニティ推進事業	「事故やけがは偶然の結果ではなく、予防できる」というセーフコミュニティの理念から、地域住民等との協働により、誰もがいつまでも健康で安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組み、セーフコミュニティ認証都市として、世界に誇れる安心・安全なまちを目指す。	セーフコミュニティの啓発活動を行うとともに、対策委員会による取組及び「安心・安全セーフコミュニティ推進地区」の活動等を推進する。	安心・安全に関する講習会等の実施により、セーフコミュニティの活動を周知した。 ・参加者数 1,413人	5,675	4,812	セーフコミュニティに関する研修会参加者数	人	1,303	1,400	1,413	100.0	くらし交通安全課
							「事故やけがなどがない健康で安心・安全に暮らせるまちづくりが推進されている」と思う市民の割合	%	37.0 (令和4年度)	50.2	40.3	80.3	くらし交通安全課
2	地域セーフコミュニティ活動推進事業	根拠に基づいた安心・安全の取組を推進するセーフコミュニティの手法を広く周知し、活動の活性化を図るとともに、地域の安心・安全に関する意識の高揚を図る。	地域におけるセーフコミュニティ活動の活性化に向けて、地域の安心・安全に関する課題抽出や対策などを行う研修会等に対する支援を行う。	セーフコミュニティの継続的な推進を目的に、地域での研修会を実施した。(防犯・防災・ゲートキーパー養成・住宅防火など) ・参加者数 566人	435	336	研修会の参加者数	人	498	510	566	100.0	くらし交通安全課
							研修会参加者のセーフコミュニティに対する意識高揚度	%	89.7	95.4	93.8	98.3	くらし交通安全課
② 交通安全対策の強化													
1	交通安全対策事業	市民総ぐるみで交通安全を推進し、交通安全意識の向上を図るとともに、交通事故防止を図る。	警察署や交通安全関係団体と連携し、様々な年齢層に対し交通安全啓発や交通安全教育を実施する。 また、地域で活動する交通安全関係団体の育成や交通安全啓発看板等の設置により、交通危険箇所への安全対策を行う。	①交通安全関係団体による立哨及び啓発活動を市内各所で実施した。 ②交通安全教育を実施した。 ・保育園・幼稚園 16回(16園) 1,164人 ・小学校 20回(19校) 5,970人 ・中学校 4回(4校) 1,693人 ・高校 7回(5校) 2,690人	23,243	21,833	交通事故発生件数(暦年)	件	620	587	618	95.0	くらし交通安全課
2	自転車安全促進事業	道路交通法の一部改正により、自転車ヘルメットの着用努力義務化や車道通行の原則化など、自転車運転者の交通ルールの遵守が厳格化されたことに伴い、市民への自転車ヘルメット着用及び自転車安全利用五則の周知を行い、市内交通事故の防止を図る。	自転車ヘルメットの購入費用の一部や幼児2人同乗用自転車の購入費用の一部を助成する。 また、モデル校の生徒代表に自転車ヘルメットを贈呈し、「ヘルメットインフルエンサー」として活動を実施する。 さらに、市内中学生を対象に教育効果の高いスクエアード・ストレイト教育技法による自転車安全教室を実施するとともに、高校で自転車通学を予定している中学生や初めて自転車に乗る子どもを対象に講習会を実施する。	①自転車ヘルメット購入費用の一部助成を行った。 ・助成件数 3,573件 ②幼児2人同乗用自転車購入費用の一部助成を行った。 ・助成件数 13件 ③ヘルメットインフルエンサーによる活動を実施した。 ・実施校 陸合中・陸合東中 玉川中・小鮎中 ④スクエアード・ストレイト自転車安全教室を実施した。 ・実施校 陸合中・陸合東中 玉川中・小鮎中	10,125	7,686	自転車の交通事故発生件数(暦年)	件	135	123	144	85.4	くらし交通安全課
							ヘルメット着用率(小学生)	%	79.8	80.5	79.5	98.8	くらし交通安全課
3	放置自転車対策事業	本厚木駅・愛甲石田駅周辺の放置自転車対策を実施し、良好な生活環境の保持及び安全で快適な道路移動環境を確保する。	放置自転車を放置場所から保管場所へ移動し、保管している自転車の整理、保管料の徴収、引取りの手続き等を行う。	放置自転車の回収を行った。 ・回収台数 548台 (内訳) 引取・警察引取 152台 リサイクル 158台 処分済 70台 保管中 168台	22,389	19,875	放置自転車年間移動台数	台	592	572	548	100.0	くらし交通安全課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初 予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率 (%)	
③ 防犯に対する取組の推進													
1	防犯対策事業	市民の身近で発生している街頭犯罪の未然防止を図るとともに、地域の自主防犯活動を推進する。	市民安全指導員による防犯パトロールや児童・生徒の見守り活動を実施するとともに、地域において青色回転灯搭載車（青パト）を運用して自主防犯活動を行っている団体に対して、活動及び新規青パト導入に係る経費の一部を補助する。	①防犯意識の向上を図るため、番屋、移動番屋で防犯用啓発物品の配布をするとともにケータイＳＯＳネットによる防犯情報の配信を行った。 ②防犯パトロール隊による市内巡回パトロールや移動番屋等を実施した。 ・防犯パトロール隊 7人 ③地域の自主防犯活動を強化するため、地域の青パト活動に対し、交付金を交付した。 ・交付団体数 15団体	4,270	4,130	防犯等の対策について心掛けていることがある市民の割合	%	89.6 (令和4年度)	94.0	90.7	96.5	くらし交通安全課
							青色回転灯搭載車（青パト）台数	台	133	150	137	91.3	くらし交通安全課
2	安心・安全対策整備事業	公共施設への見守りシステム（防犯カメラ）の設置及び自主防犯活動団体（自治会等）が設置する防犯カメラの設置等に係る経費の一部を補助することで地域の防犯力の強化を推進し、市民が安心して暮らせる防犯のまちを実現する。	公共施設の公民館、児童館、公園、保育所等の効果的な場所に防犯カメラを設置する。 また、自主防犯活動団体（自治会等）が防犯カメラを設置する際に係る経費や修繕に係る経費の一部を補助する。	①見守りシステム（防犯カメラ）を公民館、公園、児童館及び保育所に設置した。 ・設置箇所 61か所（62台） ②自治会が防犯カメラを設置する際に要した経費や修繕に係る経費の一部を補助した。 【設置】2団体6台 【修繕】1団体1台	28,690	25,264	自主防犯活動団体（自治会等）が補助金を活用して設置した防犯カメラの台数（累計）	台	54	63	60	95.2	くらし交通安全課
							公共空間（道路等）が撮影範囲に入る防犯カメラの台数（累計）	台	266	336	382	100.0	くらし交通安全課
3	本厚木駅周辺環境浄化対策事業	「厚木市客引き行為等防止条例」に基づき、悪質な客引き行為を排除するとともに、犯罪の未然防止と中心市街地の体感治安の向上を図る。	本厚木駅周辺の環境浄化のため、「あつぎセーフティーステーション番屋」を運営し、客引き行為等指導員を配置しパトロールを実施するとともに、自治会や商店街、警察等との協働によるパトロールを実施する。	①あつぎセーフティーステーション番屋において、防犯に関する様々な情報を発信し、防犯意識を高めた。 ②番屋配置の客引き行為等指導員8人（ローテーション）による本厚木駅周辺のパトロールを実施して客引き行為等を防止し、公共の場所を安心して安全に利用できる生活環境の確保に努めた。 ③年末年始における街頭犯罪防止特別パトロールを委託により実施した。（5日間） ④本厚木駅周辺環境浄化対策協議会による環境浄化パトロールを実施した。	54,739	39,229	「本厚木駅周辺の体感治安は良くなった。」と回答したケータイＳＯＳネット登録者の割合	%	72.0	75.0	60.0	80.0	くらし交通安全課
4	振り込み詐欺等防止装置購入費補助事業	オレオレ詐欺、悪質なセールス、架空請求、アポイント電話等の被害から、市民の財産を守り、特殊詐欺被害の未然防止を図る。	特殊詐欺被害防止に高い効果がある迷惑電話防止機能付電話機等の購入に対して、補助を行う。	迷惑電話防止機能付き電話機等の購入費補助制度について、広報あつぎや自治会の回覧等で周知を図り、申請者に補助金を交付した。 ・補助件数 360件	2,764	2,453	補助金を活用して設置された迷惑電話防止機能付電話等の台数（累計）	台	1,291	1,741	1,660	95.3	くらし交通安全課
5	消費生活相談・消費者意識啓発事業	消費者を取り巻く社会経済情勢が大きく変化している中、消費生活相談を実施することにより、消費者トラブルの早期解決を図るとともに、啓発活動を行うことにより被害の未然防止を図る。	消費者トラブル等に関する相談を実施する。 また、消費者トラブルに遭わないよう、悪質商法等に関する啓発活動を実施する。	①専門知識を有する消費生活相談員による適切な相談を実施した。 ②高齢者及び若年層に対する啓発活動を出前講座等を通じて実施した。	13,249	11,232	消費生活苦情相談完結率	%	100.0	100.0	98.4	98.4	市民協働推進課
							消費生活に関する講演会・講座参加者数及び公民館まつり等での啓発者数	人	2,700	3,700	3,872	100.0	市民協働推進課

(令和6年度実施事業)

2-1 住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
① 地域福祉活動の推進													
1	地域福祉推進事業	「厚木市地域福祉計画」に基づき、市、市民、団体及び事業者等が協働し、支援を必要とする人を支える地域福祉を推進する。	市内15地区の代表者等で構成される厚木市地域福祉推進協議会を開催し、地域間の連携と情報共有を図るとともに、市内15地区地域福祉推進委員会の活動を支援するため、交付金を交付する。 また、地域福祉の基本的な方向性や重点施策を定めた「地域福祉計画（第6期）」を推進する。	①市内15地区の地域福祉推進委員会の活動を支援するため社会福祉協議会を通じ交付金を交付した。 ・交付件数 1件 ②地域福祉の基本的な方向性や重点施策を定めた「地域福祉計画（第6期）」を推進した。	11,125	11,122	「見守り、居場所づくりなど、地域福祉活動が進んでいる」と思う市民の割合	％	46.7 (令和4年度)	56.0	50.7	90.5	地域包括ケア推進課
							地域福祉計画の策定	－	第6期策定	－	－	－	地域包括ケア推進課
② 就労・生きがいづくりの推進													
1	エイジレス・ライフ応援事業	高齢者の外出機会の拡大及び健康づくり等を支援することにより、仲間づくりや生きがいづくりを促進する。	指定の老人保養施設等の宿泊や入浴の利用料金等の一部を助成する。	65歳以上の方に指定の老人保養施設等の利用料等の一部を助成した。 ・利用件数 34,788件	20,324	30,235	老人保養施設等利用助成券の利用件数	件	19,830	23,910	34,788	100.0	福祉総合支援課
2	老人クラブ指導育成事業	高齢者の外出を促進するとともに、地域における交流の場を整備し、社会参加の機会の拡大を通じて、いつまでも生きがいを持てるよう支援する。	高齢者の老後を健全で豊かなものにし、老人福祉を増進させるため、厚木市老人クラブ連合会に対し、運営費等の一部を補助する。	老人クラブ連合会運営費補助金として、活動費用の一部を補助した。	9,091	8,309	老人クラブ連合会事業参加者数	人	3,000	3,200	2,955	92.3	健康医療課
3	高齢者生きがい就労事業	高齢者の就業機会を拡大し、高齢者の健康と生きがいの充実を図るとともに、社会参加を通じて活力ある地域社会を推進する。	厚木市シルバー人材センターに対し、補助金を交付する。 また、関係機関の連携を強化し、高齢者の多様な就労ニーズに対応した仕組みを構築する。	厚木市シルバー人材センターに対し、補助金を交付した。	46,746	46,746	シルバー人材センター会員数	人	998	1,040	1,036	99.6	福祉総合支援課
4	障がい者就労施設等共同受注窓口事業	障がい者の就労支援を行う施設・事業所等で働く利用者の工資・賃金の底上げ及び受注の拡大のため、企業等からの受注を取りまとめる窓口を設置、障がい者の地域における自立した生活の実現を目指す。	企業等からの製品等の発注を取りまとめるために設置する共同受注窓口に対し、補助金を交付する。	障がい者の就労支援を行う関係団体、施設、事業所等の主体的な参加のもと、そこで働く利用者の工資・賃金の底上げのための受注の拡大に向けた共同的な取組を実施した。 ・登録事業所件数 28件 ・相談件数 69件 ・契約件数 21件	500	500	共同受注窓口を通して受注に至った契約件数	件	15	18	21	100.0	障がい福祉課
③ 福祉サービス提供体制の充実													
1	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）策定事業	福祉分野の各個別計画と理念を共有しながら、本市における高齢者福祉及び介護保険事業の基本的な計画として、高齢者等が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる「地域包括ケア社会」の実現を目指すとともに、必要な施策・取組を推進する。	老人福祉法第20条の8に規定する市町村老人福祉計画であり、介護保険法第117条第1項に規定する介護保険事業計画（サービス量を定める計画）を包含する高齢者福祉の基本的な計画として位置付け、策定する。	なし	0	0	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定	－	第9期策定	－	－	－	地域包括ケア推進課・介護福祉課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
2	介護職人材確保支援事業	市内の介護・福祉指定事業所等が、介護・障がいサービスの利用者に対し、継続した質の高いサービスを提供するために、優れた人材の確保及び定着の促進を図る。	市内の介護保険指定事業所等への就業希望者等に対して事業所説明会等を実施するとともに、介護従事者の研修費、人材確保を目的とした求人情報紙等への掲載に要した経費及び雇用継続のための職場環境の整備等、事業所が実施する様々な施策について費用の一部を助成する。 また、介護福祉士等の資格保有者等で市内介護事業所等に就労する方を対象に、転入や復職等に対し、奨励助成金を交付する。	①市内の事業所等に就労する介護職等有資格者に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金 1件 ・転入奨励助成金 12件（介護10件、障がい2件） ・復職等奨励助成金 4件（介護3件、障がい1件） ②介護従事者の研修費用等を助成した。 ・研修支援事業助成金 105件（介護75件（うち初任者研修4件）、障がい30件（うち初任者研修2件）） ・人材確保及び育成支援補助金 115件（介護61件、障がい54件） ③事業所説明会（就職相談会）を実施した。 ・採用者数 13人	52,300	22,390	介護職等に就職した人数	人	43	48	35	72.9	介護福祉課
④ 高齢者福祉サービスの充実													
1	在宅福祉推進事業（在宅サービス事業）	高齢者等ができる限り安心して自立した生活を送ることができるよう、在宅支援サービスを提供する。	家族の疾病や事故等により、家庭で生活することが困難となった高齢者を一時的に施設で保護するほか、日常生活用具の給付、ひとり暮らし高齢者に対する緊急通報機器の貸与及びはり・きゅう・マッサージ施術費の助成等を行う。	①高齢者緊急一時保護事業を行った。 ②紙おむつ、家具転倒防止器具の設置、自立支援用具の購入費助成、セーフティ住宅支援事業、寝具乾燥消毒事業を行った。 ③緊急通報システム事業を行った。 ④理髪サービス事業、はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業を行った。 ⑤家族等支援事業を行った。	41,721	38,222	緊急通報システム機器の貸与件数	件	109	110	57	51.8	福祉総合支援課
							徘徊SOSネットワーク登録者数	人	288	310	265	85.5	福祉総合支援課
2	介護支援事業（高齢者支援）【介護保険事業特別会計】	被保険者及び要介護被保険者を介護する方等に対し、地域の実情に応じた必要な支援を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを推進する。	家族が在宅で安心して高齢者の介護ができるよう、住宅改修事業支援事業及び家族介護支援事業、地域自立生活支援事業として介護相談員派遣事業を実施する。	9施設に介護サービス相談員の派遣を行った。	4,930	6,089	介護相談員の派遣者数（延べ）	人	144	216	102	47.2	福祉総合支援課 介護福祉課
3	高齢者外出支援事業	高齢者の外出機会を拡大し社会参加や健康づくり・生きがいづくりを推進するとともに、公共交通機関の利用促進による環境保全等に配慮する。	神奈川中央交通㈱が販売する「かなちゃん手形」の購入費用の一部を助成、または、高齢者タクシー券を交付する。	かなちゃん手形購入費助成及び高齢者タクシー券を交付した。	119,365	182,862	かなちゃん手形申請者数及び高齢者タクシー券交付人数	人	12,700	13,360	17,934	100.0	福祉総合支援課
4	敬老事業	長年にわたり、社会の発展に寄与されてきた高齢者を敬愛するとともに、長寿をお祝いし、高齢者の福祉の増進を図る。	敬老祝金や祝品を贈呈するとともに、各地区や老人ホームにおいて開催する敬老事業に対する支援を行う。	①各対象年齢に該当する高齢者に敬老祝品・祝金を贈呈した。 ・敬老祝金給付者数 3,942人 ・敬老祝品給付件数 3,145件 ②各老人ホームにおいて開催する敬老会に対し、交付金を交付した。 【交付先】 ・老人ホーム 15施設 ③市内15地区で行われる敬老事業に対し委託金を支出した。	37,724	33,769	敬老祝品等の支給者数	人	5,892	6,700	7,087	100.0	福祉総合支援課
5	要介護・高齢者等歯科診療事業	一般の診療所では治療が困難な要介護・高齢者に対する歯科診療を確保し、要介護・高齢者の健康と口腔保健の向上を図る。	要介護・高齢者等歯科診療を運営する厚木歯科医師会に対し、運営費の一部を補助する。	要介護・高齢者等の歯科診療を確保するため、歯科医師会に対し、診療運営に必要な経費の一部を補助した。	4,941	4,941	要介護・高齢者等歯科診療の患者数	人	270	300	280	93.3	健康医療課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
⑤ 障がい者福祉サービスの充実													
1	障害者地域生活支援事業 (福祉サービス)	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に定める地域生活支援事業として、障がい児・者が住み慣れた地域で安心して日常生活を送ることができるよう、障がいの特性に応じた様々なサービスを提供する。	障がい者基幹相談支援センター及び障がい者相談支援センターにおいて、障がい者の相談支援を行うほか、重度障がい者に対する日常生活用具の給付や屋外での移動が困難な障がい者へのガイドヘルパーの派遣及び在宅重度障がい者等に対するタクシー等の利用費用の助成等を行う。 また、障がい者福祉の基本的な計画として、障害福祉計画及び障害児福祉計画を包含した、厚木市障がい者福祉計画（第8期）を策定する。	①厚木市障がい者基幹相談支援センター及び8か所の障がい者相談支援センターにおいて、幅広い障がい者のニーズに対応した相談支援を実施した。 ②地域活動支援センターの運営に要する経費を補助すること等により、障がい者への創作活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進を図った。 ③令和6年4月に厚木市障がい者福祉計画（第7期）を策定し、各取組に則し、事業を推進した。	564,181	564,181	障がい者基幹相談支援センター・障がい者相談センターにおける相談件数	件	63,000	70,600	71,791	100.0	障がい福祉課
							創作的活動や社会との交流促進のために地域活動支援センターを利用登録する人数	人	104	120	104	86.7	障がい福祉課
							障がい者福祉計画の策定	—	第7期策定	—	—	—	障がい福祉課
2	児童発達支援事業	発達に心配や障がいのある児童に個々の発達に合わせた必要な訓練等を行い成長を支援するとともに、地域の障がい児支援の中核となり、療育支援の充実を図る。	児童発達支援センター「ひよこ園」において、日常生活の基本的動作の指導などを行う児童発達支援、児童の集団生活適応のための保育所等訪問支援及び障害児相談支援を実施する。	①児童発達支援センター「ひよこ園」において、児童発達支援事業として毎日通園グループ指導、半日グループ指導を実施した。 【定員】40名/日 ・毎日通園グループ 30名 ・半日グループ 10名（午前/午後各5名） ②保育所等を訪問し、児童の集団生活適応のための支援を実施した。 ・登録人数 65名 ③障害児支援利用計画作成及びモニタリングを実施した。 ・登録人数 138名	72,471	68,243	児童発達支援事業延べ利用者数	人	7,900	8,010	8,095	100.0	こども家庭センター
							保育所等訪問支援延べ利用件数	件	105	109	101	92.7	こども家庭センター
							障害児相談支援延べ利用件数	件	270	285	291	100.0	こども家庭センター
3	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	「障害者総合支援法」に基づく補装具の支給を受けることができない軽度・中等度の難聴児の言語の習得及び生活能力・コミュニケーション能力等の向上を促進する。	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器の購入費を助成する。	補聴器の購入費を助成し、軽度・中等度の難聴児の言語の習得及び生活能力・コミュニケーション能力等の向上促進を図った。	618	235	補聴器購入費助成台数	台	20	24	11	45.8	障がい福祉課
4	障害者医療費助成事業	心身障がい者の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。	心身障がい者に対し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成する。	心身障がい者に対し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成した。 ・対象者数 3,151人	458,639	447,801	医療費助成対象者数	人	3,204	3,204	3,151	98.3	障がい福祉課
5	障害者福祉手当等給付事業	福祉手当等を支給することにより、障がい者の生活を支援する。	日常生活において、常時介護を必要とする在宅重度障がい者に対し、特別障害者手当を支給する。 また、心身障がい者に対する心身障害者福祉手当及び在宅重度障がい者を常時介護している方に対する介護手当等を支給する。	①日常生活において、常時介護を必要とする在宅重度障がい者に対し、特別障害者手当を支給した。 ②心身障がい者に対する心身障害者手当、在宅重度障害者を介護している方に対する介護手当等を支給した。	259,428	256,587	特別障害者等手当支給者数	人	289	289	294	100.0	障がい福祉課
							心身障害者福祉手当支給者数	人	5,695	5,695	5,851	100.0	障がい福祉課
							在宅重度障害者介護手当支給者数	人	49	49	21	42.9	障がい福祉課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
6	障害福祉サービス開設準備・運営経費補助事業	障害福祉サービス事業所等の整備運営に要する費用に対し、補助金を交付することによって、市内への事業所設置のインセンティブを高め、福祉サービス提供体制を拡充することを目指す。	医療的ケアを必要とする重症心身障がい児者を対象に短期入所を行う事業所、重度の自閉症児者を対象に専門的かつ適切に対応できる生活介護又は共同生活援助を行う事業所を対象に補助金を交付する。	補助対象となる事業所の開設等がなかったため実績なし。	2,400	0	障害福祉サービス開設準備・運営経費補助金交付件数	件	1	1	0	0.0	障がい福祉課
7	障がい者歯科診療事業	一般の診療所では治療が困難な障がい者に対する歯科診療体制を確保し、障がい者の健康と口腔保健の向上を図る。	障がい者歯科診療を運営する厚木歯科医師会に対し、運営費の一部を補助する。	障がい者の歯科診療を確保するため、厚木歯科医師会に対し、診療運営に必要な経費の一部を補助した。	36,663	36,663	障がい者歯科診療の患者数	人	2,100	2,300	2,389	100.0	健康医療課
8	学校等訪問看護支援事業	医療的ケアが必要な児童の学校や保育所等において、安全な環境の保持及び健康の増進のため、訪問看護ステーションから看護師を配置し、保護者の負担軽減を図るとともに、質の高い教育活動や保育の確保を図る。	訪問看護ステーションから保育所等へ看護師を配置して、導尿等比較的軽い医療的ケアが必要な児童に対して処置を行う。	市立小学校児童5人及び市立中学校生徒1人に対し、訪問看護ステーションから看護師を配置し、保護者の負担軽減を図るとともに、教育活動等の一層の充実を図ることができた。	15,420	11,850	訪問看護ステーションが対応する児童数	人	4	5	6	100.0	障がい福祉課
⑥ 包括的な支援体制の充実													
1	包括的支援事業（在宅医療・介護・生活支援推進事業）	重度な介護状態であっても、障がいがあっても、一人暮らしでも、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域包括ケア社会を目指す。	専門的な視点から研究・検討を行う厚木市地域包括ケア推進会議を開催する。 また、多職種への研修や市民への説明会を実施し、地域包括ケア社会の周知を図る。 さらに、地域包括ケア連携センターにおいて、在宅医療・介護連携及び生活支援に関する相談支援を行う。	①在宅・医療関係者の顔の見える関係づくり構築を目的に多職種研修会を開催した。 ・開催回数 11回 ②在宅医療・介護に関する理解促進、地域包括ケア社会の周知を目的に市民講演会を開催した。 ・「やっぱり家がいい」参加者数 174人 ・地域包括ケア市民講演会参加者数 1,379人（2回合計） ・地域版市民講演会参加者数 91人	15,607	9,264	地域包括ケア連携センターにおける相談件数	件	150	130	9	6.9	地域包括ケア推進課
							多職種研修会参加者の満足（理解）度	%	94.5	98.0	94.9	96.8	地域包括ケア推進課
2	包括的支援事業（地域包括支援センター運営事業）	地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な支援を行うことにより、地域包括ケア社会の実現を目指す。	地域における相談窓口として、地域包括支援センターにおいて、地域の高齢者等の心身の状況や生活の実態、必要な支援などを幅広く把握し、適切な保健・医療・福祉サービスや関係機関、制度の利用につなげるなどの支援を行う。	地域包括支援センターの認知度を高めるため周知を図り、地域住民により身近な相談窓口となるよう推進した。 ・相談実績 55,634件	367,519	351,332	地域包括支援センターにおける総合相談件数(延べ人数)	件	54,655	56,600	55,634	98.3	地域包括ケア推進課
3	社会福祉団体等助成事業	地域福祉を推進するため、誰も排除しない福祉の地域づくりに取り組んでいる厚木市社会福祉協議会などの社会福祉団体の活動を支援する。	厚木市社会福祉協議会、厚木地区保護司会及び厚木愛甲地区更生保護女性会に対し、補助金を交付する。 また、厚木市社会を明るくする運動推進委員会に対し、交付金を交付する。	各団体の活動状況等を把握するとともに、前年度実績に基づき交付金を交付した。	110,779	110,779	地域福祉コーディネーターの活動件数	件	1,900	2,500	3,083	100.0	地域包括ケア推進課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
4	生活困窮者自立支援事業	生活保護に至る前段階の第2のセーフティネットとして、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方の自立を促進する。	生活困窮者に対して、自立や就労に向けた総合的な相談支援を行うとともに、離職等により職を失った方に対し、住居確保給付金を支給するほか、就労準備支援及び学習支援等を実施する。	自立相談支援事業（令和7年1月時点280件）をはじめ、住居確保給付金事業、就労準備支援事業、学習支援事業を実施した。	59,213	37,881	自立相談支援プラン作成率	%	25.0	50.0	16.2	32.4	福祉総合支援課
							一般就労達成率	%	80.0	90.0	29.4	32.7	福祉総合支援課
5	高齢者の尊厳保持支援事業	高齢者がいつまでも尊厳を持ち、自分らしい生活を送ることができるよう支援する。	関係機関との連携により、高齢者虐待の早期発見・早期対応を行うとともに、成年後見制度の利用支援を行う。 また、権利擁護支援センターにおいて、成年後見制度の相談、高齢者や障がい者の虐待に関する相談及び市民後見人の養成等を行う。	①成年後見等に関する相談を実施した。 ・成年後見相談件数 2,643件 ②高齢者及び障がい者虐待等に関する相談を実施した。 ・権利侵害相談件数 104件 ③チーム支援体制で虐待等に関する相談に取り組み対応を行った。 ・チーム支援体制構築件数 107件 ④成年後見等の市長申立を行った。 ・市長申立件数 22件	26,630	26,398	権利擁護支援センターにおける相談件数	件	2,200	2,300	2,643	100.0	福祉総合支援課
							専門的アセスメント、チーム支援方針の検討・決定件数	件	100	360	107	29.7	福祉総合支援課
							成年後見申立件数	件	20	22	22	100.0	福祉総合支援課
6	重層的支援体制推進事業	複雑化・複雑化した支援ニーズに対応するため、様々な課題を抱え、支援を必要とする人を受け止める支援体制を強化し、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域包括ケア社会を目指す。	相談支援包括化推進員を配置し、複数の支援機関が協働して課題を受け止める相談支援体制を強化する。また、社会とのつながりをつくるための参加支援、地域社会からの孤立を防ぐための地域づくりに向けた支援を併せて行う。	重層的支援体制整備事業を始めとした包括的支援体制の構築に向けた体制を強化するため、地域包括支援センターを始めとした市内支援機関等に対して研修を行うとともに、部内職員への研修を行うなど、関係機関や関係各課と共通認識を図った。	13,908	9,414	職員研修の参加者数	人	60	100	91	91.0	福祉総合支援課
							多機関協働による相談件数	件	24	36	21	58.3	福祉総合支援課
7	包括的支援事業（地域ケア会議推進事業）	誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域包括ケア社会の実現に向け、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な支援を行う。	地域ケア会議の運営等及び地域ケア会議開催による介護サービス利用者の自立に向けた支援を行う。	介護予防支援対象者の支援検討を実施した。 ・会議開催回数 12回	2,356	1,189	地域ケア会議において自立に向けた支援検討件数	件	20	20	33	100.0	地域包括ケア推進課

(令和6年度実施事業)

2-2 子育て環境の充実

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 子育てサービスの充実													
1	子育て支援事業	子育て家庭及びこれから子育てを始める家庭の保護者や児童に対する支援体制の充実を図り、児童の健やかな成長を支援する。	子育て支援センターにおいて、子育てサロンの運営及び育児相談等を実施し、子育て家庭に対する総合的な支援を行う。 また、ファミリー・サポート・センター事業、ほっとタイムサポーター事業及びこんにちは赤ちゃん訪問事業等、多様な子育て支援を実施する。	①子育てサロン室の運営を行い、子育て情報の提供や相談及び育児支援、子育て親子の交流の場の提供等を実施した。 ・子育てサロン室利用者数 66,857人 ・子育て講座参加者数(親子) 1,472人 合計 68,329人 ・移動子育てサロン利用者数 3,552人 ・相談件数 904件 ②育児の相互援助活動であるファミリー・サポート・センター事業を実施した。 ・援助件数 3,249件 ③産前産後の家庭にサポーターを派遣するほっとタイムサポーター事業を実施した。 ・利用件数 86件 ④生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問した。 ・訪問率 100% ⑤あつぎ市民交流プラザ託児室を実施した。 ・託児室わたくも利用件数 4,174件	68,712	36,414	子育て支援センター利用者数	人	63,903	75,000	68,329	91.1	こども家庭センター
							ファミリー・サポート・センター援助活動件数	件	3,352	3,700	3,249	87.8	こども家庭センター
							託児室わたくも利用件数	件	3,354	3,800	4,174	100.0	こども家庭センター
2	母子家庭等支援事業	母子家庭等の子育て、生活及び就業等を総合的に支援し、生活の安定と自立の促進を図る。	母子家庭等に対し、福祉手当、家賃助成、就学祝金の支給及び資格取得に対する給付金の支給等を行う。	母子家庭等に対し、福祉手当、家賃助成、就学祝金の支給及び資格取得に対する給付金の支給等を行った。	147,228	132,153	児童扶養手当受給者数	人	1,493	1,475	1,411	95.7	子育て給付課
3	コミュニティ保育推進事業補助事業	核家族化が進む中、子育て家庭及びこれから子育てを始める家庭の保護者が抱える育児不安等に対し、親同士や子ども同士の交流を深める場を提供することにより、子育てに対する不安の解消を図るとともに、児童の健やかな成長を支援する。	子育てに共通の意識を持ち合わせた保護者が、育児に対する知識や技術を高め合いながら共同保育を実施する自主保育グループに対し、補助金を交付する。	地域の保護者による自主的な共同保育を実施しているグループに対し、運営費の一部を補助した。 ・交付件数 2件	1,766	1,632	コミュニティ保育グループ数	グループ	2	2	2	100.0	こども家庭センター
4	子育てリフレッシュ事業	日々の育児や家事で忙しい子育て中の保護者を対象に、一息つける時間や保護者同士が交流できる場を提供することにより、育児ストレスの解消や保護者の孤立を防ぐ。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、一時的に子どもを預かり、料理教室などで保護者同士が交流し、リフレッシュできる場を提供する。	子育て中の忙しい保護者の方に、リフレッシュしてもらおうための託児付きのリフレッシュ講座を全10回開催した。 ・参加者数 130人 ・託児人数 106人	2,000	1,219	参加者アンケートで「満足」と答えた割合	%	99.3	100.0	96.7	96.7	こども家庭センター
5	あつぎ子ども未来プラン(第4期)策定事業	子育て・教育で選ばれるまちを目指し、子ども・子育て支援に関する需要や要望を把握することで、地域全体で安心して子育てできる環境づくりを推進する。	子ども・子育て支援に関する総合的な計画として、「次世代育成支援対策推進法」に基づく「市町村行動計画」、「子ども・子育て支援法」に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」、「子ども・若者育成支援推進法」に基づく「子ども・若者計画」、及び、「子どもの貧困対策に関する法律」に基づく「子どもの貧困対策計画」を一体とした「あつぎ子ども未来プラン(第4期)」を策定する。	「あつぎ子ども未来プラン(第3期)」の計画期間が令和6年度をもって満了することから、同プランで推進してきた施策を継承しつつ、「こども基本法」が目指す「こどもまんなか社会の実現」を基本理念に掲げた新たな計画として「厚木市こども・若者みらい計画」を策定した。	5,411	3,670	あつぎ子ども未来プラン(第4期)の策定	—	ニーズ調査・検討	策定	策定	100.0	こども育成課
6	子育てで日常生活支援事業	子どもを生み育てやすい環境づくりに向けて、紙おむつ等を支給することで経済的負担を軽減し、子どもたちの福祉の増進を図る。	子どもを養育している子育て世帯に対し、一定のポイントの範囲内で選択した紙おむつやおしりふきシート等の日常生活用品を毎月自宅に配送する。	児童を養育する世帯に対し、紙おむつ又はおしりふき等を支給した。 【支給延べ件数】 ・第1子 7,117件 ・第2子 5,413件 ・第3子以降 5,179件 ・合計 17,709件	85,536	79,097	紙おむつ等の支給件数	件	18,400	18,000	17,709	98.4	子育て給付課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
② 保育・幼児教育等の提供体制の充実													
1	保育内容充実事業	認可保育所等の入所児童に適切な保育が実施されるよう、事業に要する経費を補助することなどにより、保育サービスの向上を図る。	認可保育所等に対し、保育所等運営費及び保育に要する費用を交付する。 また、私設保育施設に入所する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、助成金を交付する。	①民間保育所を運営する事業者に対し、入所児童に係る保育所運営費を委託費として支出した。 ②地域型保育事業（小規模保育事業・家庭的保育事業）を運営する事業者に対し、入所児童に係る保育所運営費を給付費として支給した。 ③保育が必要な児童に対して適切な処遇を図るため、届出保育施設、民間保育所及び小規模保育施設を有する社会福祉法人等に運営費補助金等を交付した。 ④保育人材の確保及び離職防止を図るため、市内の保育施設に就労する保育士等に給付金を支給した。 ⑤私設保育施設等を利用する幼児教育・保育無償化対象保護者に対し、施設等利用費を支給した。 ⑥幼児教育・保育無償化の対象外であり、私設保育施設に保育を必要とする児童を4か月以上入所させている保護者に対し、助成金を支給した。	5,302,858	5,726,095	認可保育所入所児童数	人	2,976	3,243	2,965	91.4	保育課
							小規模保育施設入所児童数	人	252	284	275	96.8	保育課
2	子ども・子育て支援新制度事業	家庭や地域の子育てをめぐる環境の変化に対応し、子育て支援事業の総合的な推進及び良質かつ適切な教育・保育の提供を確保するため、全ての子どもに良質な成育環境を保障し、子ども・子育てで家庭を社会全体で支援することを目的とした「子ども・子育て支援新制度」を実施し、幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援の充実を図る。	「子ども・子育て支援法」に基づき、国が定める子ども一人当たりの教育・保育に要する費用、在園児・非在園児の預かり保育に要する費用、低所得者等への副食費免除に要する費用を施設に対して支給する。 また、「子ども・子育て支援新制度」に移行した認定こども園に対し、運営に必要な事務、保育認定子どもの処遇向上・保育内容充実、園の防犯対策整備に必要な経費、園外活動時等の見守り等に要する経費の一部を補助する。	①新制度に移行した幼稚園及び認定こども園に対し、施設型給付費を支給した。 ・支給施設数 市内9園、市外32園 ②新制度に移行した認定こども園に対し、在籍園児以外の未就学児童の一時預かり及び延長保育児童数に応じて、補助金を交付した。 ・交付施設数 市内7園 ③新制度に移行した幼稚園及び認定こども園に対し、一時預かり保育の園児数に応じて補助金を交付した。 ・交付施設数 市内10園、市外11園 ④認定こども園に移行した幼稚園または2・3号定員を増やした認定こども園に対し、事務に係る経費の一部を補助した。 ・交付施設数 市内7園 ⑤私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、就園に必要な物品等の費用や副食費の一部を補助した。	1,733,742	1,754,416	市内認定こども園数	園	7	8	7	87.5	こども育成課
3	私立幼稚園就園奨励事業	子どもや保護者を取り巻く環境の変化に対応し、誰もが安心して子育てできる環境の整備を進めるため、私立幼稚園に就園する児童がいる世帯の経済的負担の軽減や施設の受入体制の整備を支援することで、幼児期の教育の振興及び教育・保育環境の充実を図る。	私立幼稚園に対し、教材費、特別支援教育費、預かり保育事業費、外国人児童受入支援事業費、ICT推進事業費等の教育・保育に係る経費の一部を補助する。 また、幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、私学助成幼稚園に通う満3歳児から5歳児の保育料及び保育の必要性の認定を受けた園児の保護者が利用実績に応じて支払う預かり保育料の一部を給付する。	①教育環境の向上を図るため、市内私立幼稚園に対し、各種補助金を交付した。 ・交付件数 17件 ②私学助成幼稚園に通う満3歳児から5歳児の保育料及び保育の必要性の認定を受けた園児の保護者が利用実績に応じて支払う預かり保育料の一部を給付した。	84,700	83,584	在園児率	％	58.5	62.0	56.9	91.8	こども育成課
4	放課後子ども教室推進事業	児童の放課後対策として、子どもたちが安心・安全に過ごすことができる放課後の居場所づくりを推進する。	小学校の一時的余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、学習、様々な体験・交流活動及び地域住民との交流等を行う放課後子ども教室を運営する。	相川小学校・鶯尾小学校・小鮎小学校・依知小学校において、通年で教室を実施した。	20,731	18,564	地域講師による講座の割合	％	14.6	20.0	23.9	100.0	こども育成課
							「楽しい」と回答した児童の割合	％	98.0	100.0	100.0	100.0	こども育成課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
5	放課後児童対策事業	保護者の就労や疾病等により、授業終了後に帰宅しても適切な保育を受けることができない児童に対し、適切な遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成を図る。	市立放課後児童クラブ（市立小学校区23か所）を運営する。 また、放課後児童健全育成事業を行う民間放課後児童クラブ（地域児童クラブ）に対し、補助金を交付する。	市立放課後児童クラブ（市立小学校区23か所）を運営した。 また、放課後児童健全育成事業を行う民間放課後児童クラブ（地域児童クラブ）に対し、補助金を交付した。	428,751	483,142	市立放課後児童クラブの入所率	%	93.4	100.0	97.6	97.6	こども育成課
							地域児童クラブの入所率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	こども育成課
							待機児童対策放課後児童クラブの入所率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	こども育成課
6	幼稚園送迎ステーション事業	私立幼稚園の預かり保育を利用している方の利便性の向上を図る。	託児室わたくもを利用し、園児を一時的に預かり、幼稚園へ送迎する幼稚園送迎ステーションを運営する。	働く子育て家庭への支援として、アミューあつぎ8階の託児室「わたくも」を活用して幼稚園への送迎を行う幼稚園送迎ステーション事業を実施した。	14,937	14,931	幼稚園送迎ステーションの利用登録園児数	人	55	84	84	100.0	こども育成課
7	幼稚園教諭確保助成事業	幼児教育・保育の無償化に伴う、教育・保育ニーズの増加・多様化に対応するため、幼児教育・保育に携わる人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。 また、新たな教育人材の確保を図るため、幼稚園等を設置する学校法人等に対し、幼稚園教諭等の雇用に係る費用の一部を補助する。	市内の私立幼稚園に就労する幼稚園教諭有資格者に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金 4件 ・転入奨励助成金 4件 ・復職等奨励助成金 0件	3,000	809	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	4	10	4	40.0	こども育成課
							幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	3	4	4	100.0	こども育成課
							幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	2	4	0	0.0	こども育成課
8	保育士確保対策事業	待機児童ゼロを堅持するため、保育人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立保育施設に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。 また、保育士確保を推進するための就職相談会を実施する。	市内の私立保育所等に就労した潜在保育士等に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金 6件 ・転入奨励助成金 1件 ・復職等奨励助成金 3件	4,500	871	奨学金返済助成金支給者数	人	10	30	6	20.0	保育課
							転入奨励助成金支給者数	人	3	5	1	20.0	保育課
							復職等奨励助成金支給者数	人	4	5	3	60.0	保育課
9	保育所キャッシュレス決済導入事業	現金で徴収している一時預かり利用料等をキャッシュレス化することで、保護者等へのサービスを向上させる。	公立保育所での一時預かり利用料等について、クレジットカード、電子マネー、QRコードで支払いができるキャッシュレス決済を導入する。	公立保育所での一時預かり利用料等について、クレジットカード、電子マネー、QRコードで支払いができるキャッシュレス決済を導入した。	1,402	1,068	キャッシュレス決済導入進捗状況	—	—	導入	導入	100.0	保育課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
③ 親と子の健康づくりの推進													
1	療育支援事業	発達上何らかの心配のある児童の特性を正しく理解し、生活上の困難さの軽減を図るとともに、適切な福祉や教育につなげる体制づくりをする。	療育相談センター「まめの木」において、療育相談、経過観察、親子サロン等を実施する。 また、地域支援として、関係機関に対する巡回相談や、研修会、出張講座を実施するほか、市民向けに障がい特性の理解促進を図るための講演会を開催する。	①発達上何らかの心配のある児童に対し、指導を行った。 ・個別 延べ3,223人 ・グループ 延べ1,238人 ②保護者からの来室、電話相談を受けた。 ・相談件数 1,343件 ③地域の保育所、幼稚園や研修会等を実施した。 ・巡回件数 181件 ・園訪問件数 86件 ・5歳児健康調査フォローアップ巡回件数 33件 ④発達に心配のある児童とその保護者に遊びを通じた経験の場や、気軽に相談できる場を親子サロンとして提供した。 ・利用者数 延べ2,663人	89,320	56,200	療育相談センター延べ利用者数	人	8,150	8,380	8,467	100.0	こども家庭センター
							出張講座、各種研修延べ参加者数	人	1,700	1,750	2,064	100.0	こども家庭センター
							巡回相談等延べ件数	件	212	218	300	100.0	こども家庭センター
2	子ども医療費助成事業	子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもたちの福祉の増進を図る。	0歳から高校生年齢までの入・通院の健康保険適用医療費の自己負担分を助成する。	0歳から高校生年齢までの入・通院の健康保険適用医療費の自己負担分を助成した。 【助成延べ件数】 ・県補助分 260,994件 ・市単独分 188,928件 ・合計 449,922件	792,071	1,000,522	医療費助成件数	件	418,000	432,200	449,922	100.0	子育て給付課
3	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等の経済的負担を軽減し、生活の安定と自立を支援する。	ひとり親家庭等に医療証を交付し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成する。	ひとり親家庭等に医療証を交付し、健康保険適用医療費の自己負担分を助成した。 ・助成件数 54,521件	153,902	154,600	医療費助成件数	件	55,244	52,215	54,521	100.0	子育て給付課
4	母子保健衛生事業	「母子保健法」及び「健康増進法」並びに「子ども・子育て支援法」等に基づき、母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図り、また乳児及び幼児に対する虐待の予防及び早期発見に資することを目的として、母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査を実施する。	母子健康手帳の交付のほか、妊婦健康診査、乳幼児健康診査、新生児や未熟児等の訪問指導及び保健指導等を実施する。 また、こども家庭センターにて、母性並びに乳幼児の健康の保持及び増進に関する支援に必要な実情の把握を行い、母子保健に関する各種の相談に応ずるとともに、保健指導、母性及び児童の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整その他母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進に関し、必要な支援を行う。	①母子健康手帳の交付を行った。 ・交付件数 1,222件 ・妊娠届出者1,154件のうち妊娠11週以下での届出件数 999件 ②各種健康診査受診者数 ・妊婦歯科健康診査 443人 ・妊婦健康診査 13,384件 ・産婦健康診査 1,648件 ・新生児聴覚検査 1,026人 ・4か月児健康診査 1,100人 ・8～9か月児健康診査 1,133人 ・1歳6か月児健康診査 1,257人 ・2歳6か月児歯科健康診査 901人 ・3歳6か月児健康診査 1,324人 ③訪問指導を実施した。 ・産婦・新生児訪問指導件数 1,958人 ・訪問指導者数 1,964人 ④すくすく応援隊を実施した。 ・相談件数 736件	379,015	336,490	妊娠11週以下での妊娠届出率	％	84.9	91.0	86.5	95.1	こども家庭センター
							う蝕のない3歳児の割合	％	92.5	95.0	91.5	96.3	こども家庭センター

(令和6年度実施事業)

2-3 健康寿命延伸の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
① 地域医療体制の充実													
1	看護職等人材確保支援事業	更なる高齢化の進展に伴う医療需要に対応するため、看護職（保健師、看護師、助産師、准看護師）及び歯科衛生士の人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	市内の医療機関に勤務する方を対象に、奨学金を利用して看護職又は歯科衛生士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、看護職有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。	市内の医療機関に就労する看護職有資格者等に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金 36件 ・転入奨励助成金 58件 ・復職等奨励助成金 6件	19,000	11,053	奨学金返済助成金支給者数	人	5	60	36	60.0	健康医療課
							転入奨励助成金支給者数	人	60	145	58	40.0	健康医療課
							復職等奨励助成金支給者数	人	5	10	6	60.0	健康医療課
2	救急医療事業	休日・夜間における救急医療体制の確保及び24時間体制での健康相談や医療機関情報の提供により、安心・安全な医療環境を整える。	休日夜間急患診療、病院群輪番制病院及び休日歯科診療の運営費の一部を補助する。 また、年中無休で健康相談や医療機関情報等の提供を行う「あつぎ健康相談ダイヤル24」を実施する。	①休日夜間急患診療所、病院群輪番制病院及び休日歯科診療の開設等により、救急医療体制を確保した。 ②あつぎ健康相談ダイヤル24の実施により、安心・安全な医療環境を提供した。	149,904	142,182	休日夜間急患診療所開設日数	日	366	365	365	100.0	健康医療課
							休日歯科診療開設日数	日	25	29	29	100.0	健康医療課
							「あつぎ健康相談ダイヤル24」による不要不急な救急医療の抑制割合	％	59.0	59.0	54.7	92.7	健康医療課
3	市立病院運営事業	良質で安定した政策的医療（救急、小児、周産期、感染症など）を提供するために必要となる経費を負担することで、持続可能な病院経営を行う。	地方公営企業法及び総務省が毎年度定める繰出基準に基づき必要となる経費を負担する。 また、退職給付金の一部及び市立病院へのふるさと納税寄附額を一般会計から病院事業会計へ繰り入れる。	①総務省の繰出基準による負担金、企業債償還に伴う負担金及び退職給付金の一部を一般会計が負担した。 ②市立病院へのふるさと納税寄附額を一般会計から病院事業会計へ繰り入れた。 ③重点施策については、脳卒中センターの認定を更新したほか、無痛分娩は過去最高の66件となった。また、救急医療体制の拡充により、過去最高の救急車受入台数となった。	1,911,470	2,036,562	病床利用率	％	70.8	85.0	76.0	89.4	経営管理課
							救急車受入台数	台	4,941	5,300	5,764	100.0	経営管理課
							紹介率	％	89.7	80.0	92.0	100.0	経営管理課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（%）	
② 心と体の健康づくりの推進													
1	データヘルス計画推進事業 【国民健康保険事業特別会計】	国保加入者の医療データ等の分析やこれまでの保健事業の評価分析を行い、生活習慣病等の予防・早期発見と重症化及び医療費の適正化を図る。	特定健康診査及び特定保健指導の受診・利用勧奨を実施するとともに、糖尿病性腎症予防事業等により、生活習慣病等の予防・早期発見、重症化を予防する。 また、ジェネリック医薬品の情報提供や重複服薬受診者等への指導により、医療費適正化を図る。	データヘルス計画に基づき、次の事業を実施した。 ①特定健康診査の受診勧奨を実施した。 ・受診勧奨実施者数 783人 ②特定保健指導未利用者に対し、利用勧奨を実施した。 ・利用勧奨通知送付件数 468通…4231 ・電話利用勧奨 572件 ③健康教室を開催した。 ・福尾誠運動講座 参加者数 287人 ④糖尿病性腎症Ⅱ期Ⅲ期の方に、医師との連携により保健指導を実施した。 ・参加者4人（終了者4人） ⑤生活習慣病の治療を中断していると推測される方を対象に医療機関への受診勧奨を実施した。 ・勧奨通知送付数 182通 ・電話勧奨 175件（不通等含む） ⑥健診結果の異常値を放置していると推測される方を対象に医療機関への受診勧奨を実施した。 ・勧奨通知送付数 559件 ・電話勧奨 543件（不通等含む） ⑦重複頻回受診が疑われる方に対し、適正受診を促す通知と保健指導を行った。 ・通知送付数 44通（内、重複服薬10通含む） ⑧差額通知により、ジェネリックへの切り替えを促した。 ・通知送付数 2,640通	23,286	14,870	特定健康診査受診勧奨通知者の受診率	%	25.7	28.0	未実施	0.0	国保年金課
							糖尿病性腎症重症化予防にかかる保健指導完了者の病期進行抑止率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	国保年金課
2	健康増進事業	各種保健事業を実施することにより、疾病の早期発見・早期治療につなげ、市民の健康増進を図る。	検診・健診事業（がん検診・健康診査・歯科健診・眼科健診・骨粗しょう症検診等）及び健康増進事業（健康教育・健康相談・訪問指導等）を実施する。 また、自殺予防対策として、こころの健康相談を実施するとともに、自殺対策計画を推進していく。	①各種検診（健診）を実施した。 ・がん検診（個別）延べ56,401人 ・がん検診（集団）延べ9,238人 ・骨粗しょう症検診受診者数 280人 ・眼科健診受診者数 119人 ②健康増進事業として健康教育や健康相談を実施した。 ・健康教育参加者数 723人 ・健康相談者数 1,265人 ③自殺対策として相談事業を実施した。 ・メンタルヘルス相談者数 287人 ・いのちのサポート相談数 28人	668,789	609,285	がん検診の受診率	%	23.2	25.0	22.7	90.8	健康医療課
							がん検診の精密検査受診率	%	60.0	70.0	63.0	90.0	健康医療課
							ゲートキーパー養成者数	人	159	200	221	100.0	健康医療課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
3	予防接種事業	「予防接種法」及び市の実施要綱に基づき、感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために公衆衛生の見地から予防接種を実施し、市民の健康の保持に寄与するとともに、予防接種による健康被害の迅速な救済を図る。	集団予防及び重篤な疾病の予防を図る観点から「予防接種法」に定めるA類疾病（BCG、五種混合、麻疹風しん、ヒブ、小児用肺炎球菌等）に対する予防接種を実施し、B類疾病（高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種及び高齢者インフルエンザ予防接種）の接種費用の一部を助成する。 また、任意予防接種（大人の風しん、帯状疱疹予防接種、季節性インフルエンザ及び骨髄移植に伴い免疫を失った方に対する再接種）の接種費用の一部を助成する。	① A類疾病予防接種を実施した。 ・BCG 1,177件 ・二種混合 1,438件 ・水痘 2,345件 ・麻疹・風しん 2,603件 ・日本脳炎 5,455件 ・ポリオ 1件 ・五種混合 3,191件 ・四種混合 1,664件 ・ヒブ 1,462件 ・小児肺炎球菌 4,683件 ・B型肝炎 3,411件 ・ロタウイルス 2,428件 ・予防のみ 152件 ② B類疾病予防接種を実施した。 ・高齢者肺炎球菌 146件 ・高齢者インフルエンザ 27,198件 ・新型コロナウイルス 13,492件 ③ 任意予防接種費用一部助成を実施した。 ・大人の風しん 162件 ・季節性インフルエンザ 14,517件 ・骨髄移植に伴う一部助成 3件 ・帯状疱疹生ワクチン 653件 ・不活化ワクチン 3,908件	721,447	977,679	子ども定期予防接種率	%	95.0	95.0	91.3	96.1	こども家庭センター
							高齢者インフルエンザ予防接種率	%	45.0	45.0	46.0	100.0	健康医療課
4	長寿健康診査等事業【後期高齢者医療事業特別会計】	後期高齢者の健康の保持増進を図るとともに、生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸を図る。	後期高齢者を対象として、市内の診療所等を始めとする「かかりつけ医」を中心とした医療機関において、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を早期発見するための特定健康診査に準じた長寿健康診査を実施するとともに、人間ドックの受診費用の一部を助成する。	① 健診実施医療機関において、長寿健康診査を実施した。 ・対象者数 31,956人（R6.4.1現在） ・受診者数 11,151人 ② 人間ドック受診希望者に対し費用の一部を助成した。 ・助成人数 698人	164,696	134,842	長寿健康診査等の受診率	%	39.0	41.3	37.1	89.8	国保年金課
5	特定健康診査等事業【国民健康保険事業特別会計】	国保加入者の健康の保持増進を図るとともに、生活習慣病の重症化を予防し、健康寿命の延伸を図る。	市内の診療所等を始めとする「かかりつけ医」を中心とした医療機関において、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を早期発見するための特定健康診査を実施するとともに、特定健康診査または人間ドックの受診費用の一部を助成する。	① 健診実施医療機関において、特定健康診査を実施した。 ・対象者数 26,500人（R7.4.22現在・法定） ・受診者数 7,695人（R7.3月末現在） ② 人間ドック受診希望者に対し費用の一部を助成した。 ・助成人数 922人（R7.3月末現在） ③ 健康診断等の情報提供者に対し費用の一部を助成した。 ・助成人数 8人（R7.3月末現在）	127,339	95,617	特定健康診査の受診率	%	30.3	41.0	32.5	79.3	国保年金課
6	未病施策事業	超高齢社会を迎える中、健康寿命の延伸に向け、二次保健医療圏内の5市1町1村（厚木市、海老名市、座間市、綾瀬市、大和市、愛川町、清川村）で広域的な健康づくりに取り組む。	健康度見える化コーナー（未病センター）において、利用者自身による各種健康機器を使った継続的な健康度チェックを行うとともに、専門職による健康に関する相談又は助言を行う。 また、健康運動指導士による健康づくりのための未病運動講座を開設する。	① 健康度見える化コーナーにおける利用者自身による健康度チェック、専門職による助言を行った。 ・利用者数 延べ1,950人（男性：420人、女性：1,530人） ② 健康運動指導士による運動講座を実施した。 ・月2回×10か月＝20回開催 ・参加者数 延べ1,792人 ③ 脳トレリズム体操講座を3回実施した。 ・参加者数 延べ133人	6,630	4,645	未病センター利用者数	人	2,000	2,000	1,950	97.5	健康医療課
							運動講座参加者数	人	900	900	1,792	100.0	健康医療課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
7	健康スイミング事業	日常生活で運動する機会の少ない障がい者、障がい児及び高齢者の健康の維持・増進等を図る。	65歳以上の高齢者、障がい者及び障がい児を対象としたスイミング教室と、65歳以上の高齢者を対象とした水中ウォーキング、アクアビクスを市営及び民間施設に委託して、健康づくり事業を実施する。	高齢者スイミング教室及び障がい児・者スイミング教室を開催した。 【高齢者スイミング教室参加者数（秋期及び冬期コース）】 ・スイミング教室 571人 ・水中ウォーキング教室 328人 ・アクアビクス教室 311人 ※ 目標値に障がい児・者は含まず	4,400	2,767	健康スイミング事業参加者数	人	474	2,100	1,210	57.6	健康医療課
8	健康づくり事業	「第3次健康食育あつぎプラン」に基づき、関係団体との協働により、健康づくりの普及・啓発事業を展開し、健康に対する意識を高め、市民の健康保持・増進を図る。	健康あつぎ推進リーダーを養成し、健康づくり事業の普及・啓発を図るとともに、あゆこちゃん体操の普及を行うほか、食生活改善推進員（食育アドバイザー）の養成・育成を行い、各地区において食育推進事業を実施する。 また、スマートフォンのアプリ等を活用し、ウォーキングや各種健診・検診の受診等により、抽選で特典が当たる「健康ポイント事業」を実施する。	①健康あつぎ推進リーダーによる生涯学習出前講座等を開催した。 ・開催回数 37回 ・参加者数 943人 ②新あつぎ市民健康体操指導員による生涯学習講座等を開催した。 ・開催回数 13回 ・参加者数 342人 ③食生活改善推進員の養成等を行った。 食育アドバイザー養成講座（2コース） ・参加者数 延べ241人 食生活改善推進員育成研修会（4回） ・参加者数 79人 地区食育講座（15回） ・参加者数 171人 ④令和6年度あつぎ健康チャレンジを実施した。 ・参加者数 1,456人	3,028	2,512	健康あつぎ推進リーダーによる講座の参加者数	人	950	1,000	943	94.3	健康医療課
							地区食育推進事業参加者数	人	300	300	171	57.0	健康医療課
							健康ポイント参加者数	人	4,000	2,400	1,456	60.7	健康医療課
③ 介護予防と認知症に対する取組の推進													
1	介護予防・生活支援サービス事業【介護保険事業特別会計】	要支援者等に対して、要介護状態になることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施することにより、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を推進し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるように支援する。	要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応するため、訪問型サービスや通所型サービスを提供するとともに、要介護状態等になることを予防するため、介護予防ケアマネジメントを実施する。	要支援者等に対し必要なサービスが提供できるよう介護予防ケアマネジメントを実施した。	455,624	376,051	介護予防ケアマネジメント件数	件	7,500	6,900	8,191	100.0	地域包括ケア推進課
2	一般介護予防事業【介護保険事業特別会計】	市町村の独自財源で行う事業や地域の互助、民間サービスとの役割分担を踏まえつつ、高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、地域においてリハビリテーション専門職等をいかした自立支援に資する取組を推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域を構築することにより、介護予防を図る。	運動器の機能向上事業や認知症予防事業を実施するとともに、パンフレットの作成・配布などにより介護予防の普及・啓発を行い、地域における住民主体の介護予防活動を支援する。	①介護予防教室を開催した。 開催回数 206回 ②窓口等でパンフレットを配布した。 ③出前講座で介護予防の普及啓発を行った。 ・出前講座実施回数 21回	41,962	29,540	介護予防教室参加者の生活機能改善率	%	82.0	81.0	81.5	100.0	地域包括ケア推進課
							介護予防教室参加者延べ人数	人	2,600	2,700	4,089	100.0	地域包括ケア推進課
3	包括的支援事業（認知症総合支援事業）	認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを推進する。	認知症やその家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームや認知症の人の支援ニーズや認知症サポーター等をつなげ、チームオレンジを各地域に設置し、認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築する。	認知症サポーター養成講座の開催、アルツハイマーデー等を通じた認知症普及啓発イベントを実施した。	10,628,296	9,021,455	地域版チームオレンジ設置数（累計）	か所	5	5	4	80.0	地域包括ケア推進課
							認知症ステップアップ研修受講者数	人	70	80	82	100.0	地域包括ケア推進課

(令和6年度実施事業)

2-4 多様性の尊重と平和都市の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
① 多様性に対する理解の促進													
1	人権啓発推進事業	一人一人の人権が尊重され、誰もが個性豊かで活力に満ちた生活を送ることができるよう、人権意識の高揚を図る。	人権について理解を深めるヒューマンライツフェスタを開催するとともに、啓発ポスターの掲出及び啓発冊子の配布等を行う。 また、人権団体が実施する人権啓発活動等の事業費の一部を助成する。	①公民館に啓発物品を布置した。 ・布置数 2,250双（軍手） ②ヒューマンライツフェスタを開催した。 ・参加者数 99人 ③イオン・アミューあつぎで街頭啓発を実施した。 ・啓発物品 300双（軍手） ④こども人権教室を開催した。 ・参加者数 254人 ⑤スピーチ発表会及びインターナショナルティーサロンで啓発物品を配布した。 ・配布数 174双（軍手） ⑥人権週間に伴う図書展示にて啓発物品を布置した。 ・布置数 200双（軍手） ⑦人権週間に伴い市公共施設に啓発物品を布置した。 ・布置数 480双（軍手） ⑧企業研修を開催した。 ・参加者数 172人	4,683	3,360	人権啓発事業参加者数	人	3,500	3,800	3,929	100.0	市民協働推進課
2	人権教育・啓発推進事業	全ての市民が人権尊重意識を持ち、互いの人権を尊重し合う明るく住みよい地域づくりを目指し、人権教育を推進する。	人権講座「ヒューマンカレッジ」等を開催するとともに、人権についての積極的な啓発活動を実施する。	ヒューマンライツフェスタと合同で、人権講座「ヒューマンカレッジ」を実施した。 ・LGBTQ講演会 参加者数 44人	911	678	人権講座参加者の人権意識高揚度	％	90.0	94.5	97.3	100.0	教育総務課
3	男女共同参画推進事業	誰もがお互いの人権を尊重し、一人一人が生き生きと個性や能力を発揮することができる環境づくりを推進する。	男女共同参画推進委員会の開催、男女共同参画意識の向上・高揚のための職員研修及び各種講座の開催、男女共同参画推進に係る情報提供及び男女共同参画週間等で啓発事業を実施する。	①男女共同参画推進委員会を開催した。 ・開催回数 2回 ②男女共同参画庁内推進会議を開催した。 ・開催回数 1回 ③各種講座等を開催した。 ・開催回数 3回 ④情報誌を発行した。 ・発行回数 1回 ⑤その他啓発活動（男女共同参画週間等で啓発物品の布置）を実施した。	1,285	597	男女共同参画推進講座等参加者の満足度	％	－	95.0	97.1	100.0	市民協働推進課
4	障害者地域生活支援事業 （障がい者理解促進）	「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」に定める地域生活支援事業として、障がいのある人が住み慣れた地域で生き生きと生活することができるよう、地域住民の障がいに対する理解を促進する。	地域での障がいに対する理解を深めるため、啓発事業を行い、体育大会を開催し、障がい者相互の親睦やボランティアとの交流を図る。 また、市が開催する講演会及びイベント等における手話通訳や要約筆記等を通じ、聴覚障がいに対する理解を深める。	①精神保健福祉地域交流事業 ・教育機関に対し児童及び保護者向け啓発冊子の作成・配布 5,000冊 ②障害者差別解消法啓発事業 ・啓発チラシの作成・配布 2,000枚 ③体育大会参加人数 359人 ④通訳者派遣人数 延べ405人	10,609	10,022	精神保健福祉地域交流事業・差別解消法啓発事業冊子配布数	冊	6,500	6,500	7,000	100.0	障がい福祉課
							障がい者体育大会参加者数	人	410	660	359	54.4	障がい福祉課
							通訳者派遣延べ人数	人	320	410	405	98.8	障がい福祉課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
② 多文化共生の推進													
1	多文化共生交流事業	外国籍市民が、地域の構成員として共に暮らす社会の実現を目指し、多文化共生の推進を図る。	日本語教室、厚木市外国籍市民交流委員会会議、外国籍市民との交流事業（インターナショナルティーサロンの開催、災害時通訳ボランティアの育成等を支援する。	①厚木市外国籍市民交流委員会会議を開催した。 ・開催回数 4回 ②日本語教室を開催した。 ・開催回数 210回 ・参加者数 延べ4,267人 ③日本語講師養成講座を開催した。 ・開催回数 全4回 ・参加者数 延べ121人 ④日本語講師ブラッシュアップ講座を開催した。 ・開催回数 全2回 ・参加者数 延べ44人 ⑤インターナショナルティーサロンを開催した。 ・参加者数 109人 ⑥スペイン語の通訳ボランティアを設置した。 ・毎週1回2時間	1,758	1,338	日本語教室参加者数	人	3,400	5,500	4,267	77.6	市民協働推進課
2	国際交流推進事業	海外友好都市等との様々な分野での交流により、地域益や市民文化の向上を図るとともに、市民の国際交流を促進する。	海外友好都市等からの訪問団等の受入れ及び海外友好都市等への訪問団等の派遣による市民の国際交流のきっかけづくりを行うとともに、国際交流事業を実施する市民団体等に補助金を交付し、民間レベルの交流の活性化を図るほか、海外学生等のホームステイ等を受入れる。	①海外友好都市から訪問団を受け入れた。 ・ニューブリテン市大学生交流訪問団 11人 ・揚州市 10人（友好都市締結40周年記念事業） ・鮎まつり訪問団（全友好都市）14人 ・ニュージーランドゴルフ訪問団 21人 ・市制70周年記念訪問団 13人 ②海外友好都市に訪問団を派遣した。 ・揚州市 35人（友好都市締結40周年記念事業） ・揚州市日中友好協会訪問団 3人 ・揚州市鑑真国際ハーフマラソンスポーツ交流訪問団 3人 ・軍浦市ツツジまつりへの代表訪問団 3人 ③ニュージーランドと保育園等のオンライン交流を実施した。 ・実施回数 3回 ④ニュージーランド短期留学プログラムを実施した。 ・参加者数 8人 ⑤海外学生等のホームステイを受け入れた。 ・受入件数 4件	23,077	15,450	海外友好都市等との交流活動件数	件	22	27	22	81.5	企画政策課
③ 相談・支援体制の充実													
1	女性のための相談事業	女性の様々な悩みに対応することにより、個性と能力を発揮し、主体的な生き方を選択できるよう支援する。	女性の様々な悩みに対応するため、面接や電話による相談（一般相談・法律相談）を実施する。	面接や電話による女性相談を実施した。 ・一般相談 921件 ・法律相談 40件	3,219	3,026	相談件数	件	600	720	961	100.0	こども家庭センター
2	市民相談事業	市民生活における様々な悩みや問題を解決に導き、市民生活の安定化を図る。	市民相談員や市職員が相談に応じる一般相談のほか、弁護士や税理士等の専門家による特別相談を実施する。	①一般相談を実施した。 ・相談件数 3,164件 ②11項目の特別相談を実施した。 ・相談件数 1,212件	11,691	9,968	市民相談受理件数	件	2,900	3,000	4,376	100.0	市民協働推進課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
3	児童虐待・DV対策事業	虐待を受けている子どもの早期発見及び適切な保護対策を実施する。 また、DV被害者及び困難な問題を抱える女性の安全を確保するとともに、自立を支援する。	児童虐待対策として、通報や相談に基づき、子どもの保護対策を行うとともに、要保護児童対策地域協議会を中心として関係機関との連携を図り、ケースに応じた適切な支援を行う。 また、ヤングケアラーの早期発見や関係機関との連携による支援を行う。 さらに、DV対策として、DV被害者及び困難な問題を抱える女性の相談を実施するとともに、緊急避難が必要な場合は、一時保護及び自立支援を行う。	①児童虐待対策として、要保護児童対策地域協議会を開催した。 ・代表者会議 2回 ・実務者会議 8回 ・個別ケース検討会議 331回 ・児童虐待相談件数 482件 ・家庭訪問件数 1,194件 ②DV対策として、DV被害者の相談を実施した。 ・DV相談件数 168件	68,102	64,804	児童虐待等防止のための周知啓発	回	14	15	15	100.0	こども家庭センター
④ 平和都市の推進													
1	平和都市推進事業	「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言あつき」を広く市民に周知し、平和への理解を深め、平和意識の普及・啓発を図る。	平和のための展示会やピースリングパスツアーを実施する。	①平和のための展示会を開催した。 ・参加者数 268人 ②平和について学ぶ映画上映を開催した。 ・参加者数 106人 ③厚木市平和に関する「詩」を募集した。 ・応募作品数 566点	359	354	平和都市推進事業に参加したことにより、平和への意識が向上した人の割合	%	89.5	100.0	94.8	94.8	地域包括ケア推進課

(令和6年度実施事業)

3-1 学校教育の充実

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
① 自立につながる生きる力の育成													
1	小学校児童支援推進事業	不登校やいじめ、問題行動などに対してきめ細かな対応ができるよう、児童支援体制の推進を図る。	児童指導担当教員等が「チーム支援」の核となり、不登校やいじめ、問題行動等を未然に防止し、早期発見することができるよう、授業を受け持つ非常勤講師を小学校に派遣する。	不登校やいじめ、問題行動などに対してきめ細かな対応ができるように、小学校に非常勤講師を派遣した。 ・派遣人数 18人	40,410	38,144	「児童の学習意欲が向上した」と感じる学校の割合	％	92.0	100.0	87.0	87.0	教職員課
							「児童の生活態度が向上した」と感じる学校の割合	％	98.0	100.0	100.0	100.0	教職員課
2	中学校少人数学級実施事業	生徒が落ち着いた学校生活を送ることができるよう、学校の実態に応じて35人以下の学級編制を行うことにより、学力の向上や問題行動と不登校の減少を図る。	学校の実態に応じて少人数の学級編制を行い、生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行うことができるよう、非常勤講師を派遣する。	生徒一人一人に対してきめ細かな指導を行うことができるように、中学校に非常勤講師を派遣した。 ・派遣人数 2人	7,344	4,561	「生徒の学習意欲が向上した」と感じる学校の割合	％	92.0	100.0	92.1	92.1	教職員課
							「生徒の生活態度が向上した」と感じる学校の割合	％	98.0	100.0	82.3	82.3	教職員課
3	小・中学校教材等支援事業	教育活動に係る消耗品の一部を公費で負担することにより、教材等の経済的支援を図る。	図工科、音楽科、美術科、技術・家庭科、理科、生活科を中心とした実習材料に係る消耗品の一部を公費で負担する。	教材教具消耗品購入費の一部を公費で負担したことにより保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。	38,102	38,030	教材等負担軽減割合	％	19.0	20.0	19.2	96.0	教育総務課
4	SEL教育基金事業	理科に関する教育活動を通して「確かな学力」を身に付けた心豊かで健康な児童・生徒の育成を図る。	「厚木市SEL教育基金」を活用し、自然科学分野の自由研究や科学作品の募集・表彰及び企業・大学と連携したおもしろ理科教室等を実施する。	①大学、企業の協力を得て、「おもしろ理科教室」を市立小学校23校で26回実施した。 ②こども科学賞の授賞式を開催した。 ・令和6年11月30日（応募作品数 332点） ③小学校理科の観察・実験講習会を開催した。 ・令和6年8月2日 ・参加者 市立小学校教員26名 ④（株）半導体エネルギー研究所の会社見学を実施した。 ・令和6年8月5日 ・参加者 市立中学生16名	1,422	1,087	こども科学賞展示会の来場者のうち、科学や自然に対する興味・関心や研究への意欲が高まった児童・生徒の割合	％	100.0	100.0	93.0	93.0	教育指導課
							「おもしろ理科教室」の内容が、これからの学習や生活に役立つと思った割合	％	88.0	89.0	90.1	100.0	教育指導課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
5	英語教育推進事業	外国語教育を通して、言語や文化の多様性への理解を深め、国際社会に役立つコミュニケーション能力の育成を図る。	市立全小・中学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、英語によるコミュニケーション活動の充実や他国の文化を学ぶ機会の確保を図り、児童・生徒の英語に関する興味・関心を育てるとともに、ニュージーランドや海外の友好都市等との交流を活性化し、児童・生徒の国際理解の促進を図る。	①市立全小・中学校に、英語を母語とする、または、それと同等の英語力をもつALTを配置した。 【配置人数】12人 【配置日数】1,882日：小学校1,189日、中学校693日 ②市立中学生による短期留学プログラムを実施した。 「FLY TO NZ PROJECT in Hamilton 2024」 【期間】令和6年8月6日～17日 【対象】市立中学校生徒 10名 【留学先】Rotoruna Junior High School (ニュージーランド・ハミルトン市) 【内容】ホームステイ体験、英語の集中学習、マオリ文化体験、厚木市の魅力を発信 ③市立小・中学校におけるニュージーランドの学校とのオンライン交流を実施した。 【日時】令和7年2月20日、27日 【実施校】依知南小学校(6年生3学級) 【内容】ニュージーランドと日本の文化を題材としたクイズ、英会話による交流 ④教員の実践力向上に向けた取組を実施した。 【日時】令和6年11月23日 【対象】小・中学校教職員(希望制) 【内容】教職員と外国語指導助手(ALT)が英語でのコミュニケーション演習	54,175	54,175	「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた生徒の割合	%	90.0	100.0	93.5	93.5	教育指導課
							「ALTとの授業は楽しい」と答えた児童の割合	%	85.0	100.0	97.4	97.4	教育指導課
							「オンラインでの活動や留学体験を通して、言語や文化について考えたり、学んだりすることができた」と答えた児童・生徒の割合	%	85.0	97.0	82.3	84.8	教育指導課
6	小中一貫教育推進事業	「厚木市における小中一貫教育の在り方」に基づき、9年間を見通した系統性・連続性のある教育課程の編成及び実施を推進する。	中学校区における小中一貫教育の推進において、各中学校区での取組を充実させるための研修会の実施等を支援する。	①各地域の実態に合わせた小中一貫教育をより具体的に検討・実行していくため「厚木市における小中一貫の在り方について」の冊子を策定した。(令和6年4月) ②中学校区ごとに「小中一貫教育推進計画」を策定し、項目ごとに留意して研修計画を設定した。	299	72	市全体の、前年度小学6年生不登校児童の割合に対する中学1年生不登校生徒の割合	ポイント	2.0	2.0	2.0	100.0	教育指導課
							全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との比較ポイントの伸び	ポイント	—	2.8	5.2	100.0	教育指導課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
7	教育研修・活動支援事業	各学校が特色ある学校づくりを進めることで、質の高い、魅力ある教育の場づくりを目指す。	特色ある学校づくりに向け、各学校が、魅力ある学校運営のための取組、児童・生徒に生きる力を育むための学習活動、より質の高い教育環境づくりに向けた教職員の能力向上のための取組、教育委員会が指定した重点課題への取組の4つの観点の事業を計画し、その活動に対し交付金を交付する。	①魅力ある学校運営や児童・生徒の生きる力の育成、教職員の研修や重点課題への取組など、各学校の特色ある学校づくりの推進のための交付金を市立全小・中学校36校に交付した。 ②各学校の取組を紹介する「特色ある学校づくり交付金事業市立小・中学校取組紹介展」を実施した。	30,805	30,711	全国学力・学習状況調査の児童・生徒の質問における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに対する肯定的回答のポイントが前年度と同等または上回った学校の割合	%	74.0	90.0	61.1	67.9	教育指導課
							特色ある学校づくり交付金が教職員の資質・能力の向上に有効に活用出来たと回答した学校の割合	%	100.0	100.0	97.2	97.2	教育指導課
							特色ある学校づくり交付金を計画に沿って活用できたかの問いに肯定的な回答をした学校の割合	%	100.0	100.0	94.4	94.4	教育指導課
8	カーボンニュートラル教育推進事業	持続可能な脱炭素社会の実現に向け、児童・生徒及び教職員へカーボンニュートラルについて基礎的な事項を学ぶ機会を設け、意識付けを図る。	学識経験者や企業等から講師を学校へ派遣し、カーボンニュートラルの基礎を学ぶとともに、厚木市カーボンニュートラルロードマップに掲げられた目標達成のための取組を実施する。	市立全小学校4年生、市立全中学校1年生を対象に、カーボンニュートラルに関する授業を実施したほか、カーボンニュートラルに関する書籍を全校へ配布した。	1,080	1,033	カーボンニュートラルについて、自分にもできることがあることに気づくことができた児童・生徒の割合	%	80.0	84.0	92.0	100.0	教育指導課
9	学校給食食育推進事業【学校給食事業特別会計】	食に関する指導の教材として、地域で収穫される農産物を学校給食の食材に用いることにより、地域の食や食文化について理解を深めるとともに、生産者や食べ物への感謝の心を育む。	厚木産米や地場農産物の学校給食への導入を推進する。	学校給食の食材として、地場農産物を22回増の55回/年(月5回)、厚木産米を16回/年(月2回)取り入れた。 ※厚木産米を11月から月2回に拡大した。	8,888	8,888	厚木産米の導入回数	回	7	11	16	100.0	学校給食課
							地場農産物の導入回数	回	14	22	22	100.0	学校給食課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
② 子どもたちを育てる支援体制の充実													
1	学力ステップアップ推進事業	児童・生徒一人一人の実態に応じたきめ細かい学習指導の一層の充実を図り、児童・生徒の「確かな学力」の向上を図る。	市立全小・中学校に学力ステップアップ支援員を配置し、児童・生徒の学習活動の支援を行う。	きめ細かい学習指導の充実を図るため、支援員を配置して学習支援を行った。 【配置人数】 ・小学校 42人 ・中学校 29人	82,801	71,076	「学力ステップアップ支援員との協働により、基礎的・基本的な学習の定着や学力向上につながるような授業展開ができた」と思う教員の割合	%	90.0	100.0	97.5	97.5	教育指導課
							「先生と支援員がいることで、学習が分かりやすく、意欲的に取り組める」と思う児童・生徒の割合	%	90.0	100.0	93.4	93.4	教育指導課
2	教育調査研究事業	教育現場における様々な課題及び新たな教育の動向を把握するとともに、望ましい教育の在り方について追求し、具体的な方策を提起する。	分野別・テーマ別に設置した調査研究部会を月1回程度開催し、教育に関する調査研究を行う。 また、研究成果の刊行及び児童・生徒向け学習教材の作成・提供を行うとともに、教育に関する情報を収集し、データベース化する。 さらに、GIGAスクール構想の推進に向けて、情報教育推進部会を設置し、調査研究を行う。	①教育調査研究部会（2部会）を開催した。 ②各種教育資料や小学校及び中学校社会科副読本の発行等を行った。 【発行部数】（令和6年度） ・小学校社会科副読本 1,850部 ・小学校学習用地図 1,850部 ・中学校社会科副読本 2,050部 ・中学校学習用地形図 2,050部 ・研究紀要第104集 1,500部 ・教育実践記録集第51集 45部	3,468	2,803	研究成果や教育情報の実用度	%	96.5	100.0	96.6	96.6	教育研究所
3	先生のための研修事業	各研修講座や教育相談を通して、教職員の指導力や実践意欲の向上を図る。	教育に関する国・県の動向や今日の課題を踏まえた希望制研修、各学校の担当者等の専門性の向上を図るための指定研修、初任者研修、新規臨時的任用教員研修、教育研究発表会・教育講演会等を実施し、教職員の資質・指導力の向上を図る。	教職員の指導力や実践意欲の向上を図るため各種講座を開催した。 ①指定研修 4講座 ②寺子屋講座 16講座 ③教育研究発表会及び教育講演会 1回 ④初任者研修会 5回 ⑤新規臨時的任用職員(教員)研修 2回	1,000	842	受講内容を実践に役立てることができる教職員の割合	%	99.8	100.0	99.1	99.1	教育研究所
③ 安全な教育環境の整備													
1	小中学校学校施設最適化推進事業	市立小・中学校は施設の老朽化が進み、厚木市公共施設個別施設に基づく施設の更新時期を迎える校舎や体育館があることから、将来にわたって児童・生徒の学校生活における安全を確保するとともに、これからの教育活動に対応できる環境を整備する。	市立小・中学校の施設整備における校舎面積、必要諸室、施設設備や配置などの基本的な考え方を取りまとめ、学校施設の全体像を示す基本計画を学校ごとに策定する。	南毛利中学校施設建て替え整備基本計画策定支援業務委託を行った。	14,721	14,637	基本計画策定校数	校	1	1	1	100.0	学校施設課
2	校庭整備事業	児童・生徒が安心して安全に学校生活を送ることができるよう、快適な屋外教育環境を確保する。	校庭の測量、実施設計及び改修工事を実施する。	①玉川中学校グランド改修測量委託・実施設計委託を実施した。 ②東名中学校グラウンド改修工事を実施した。	9,361	147,588	校庭改修校数	校	1	1	1	100.0	学校施設課
3	小中学校冷暖房設備設置事業	児童・生徒が安心して安全に学校生活を送ることができるよう、快適な教育環境を確保するとともに、災害時の指定避難所としての防災機能強化を図る。	市立小・中学校の特別教室や体育館へ冷暖房設備を設置する。	①小・中学校特別教室冷暖房設備を小学校4校、中学校5校に設置した。 ②小・中学校体育館冷暖房設備を小学校3校、中学校11校に設置した。 ③依知中学校体育館冷暖房設備設計委託を実施した。	64,201	62,131	特別教室冷暖房設備設置校数	校	9	9	9	100.0	学校施設課
							体育館冷暖房設備設置校数	校	—	14	14	100.0	学校施設課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（%）	
4	小中学校適正規模等推進事業	市立小・中学校の適正規模・適正配置を推進することにより、市立小・中学校における教育の公平性の確保や教育水準の維持向上を図る。	市立小・中学校の適正規模・適正配置に係る市の考え方や方向性を定めた「厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、適正規模の範囲を上回る又は下回る学校について、通学区域の再編成を含めた学校規模等適正化の取組を進める。	意見交換会の結果などを踏まえ、令和6年4月に適正規模・適正配置の方策の方向性を定めた。方策の実施に当たり、学校規模適正化にとどまらず、児童・生徒が多様な人間関係を築くとともに、より良い学びを得ることができる環境づくりを推進するため、「新しい学校づくり」の視点で検討を進めたほか、対象となる地域での意見収集や児童・生徒を対象としたアンケート調査などを実施した。	1,637	96	「厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づく取組の実施	—	地域計画の検討	地域計画の検討	地域計画の検討	100.0	教育総務課
5	児童・生徒登下校等安全推進事業	児童・生徒の登下校時における安全の確保を図る。	学校と地域が連携し、児童・生徒が安心して登下校できるよう、防犯ブザーの配布及び学童通学誘導員の配置等を行うとともに、交通関係部署と連携し、安全教室などへの参加を促進する。	令和6年度新入学児童に対して防犯ブザーを配布した。 ・配布個数 1,700個	821	800	児童の防犯ブザー携帯率	%	85.0	100.0	89.9	89.9	学務課
6	インターナショナルセーフスクール推進事業	インターナショナルセーフスクールの考え方や手法を用い、児童・生徒がより安心・安全に過ごせる学校づくりを目指す。	インターナショナルセーフスクール認証校である清水小学校、妻田小学校及び睦合東中学校における取組を支援する。	清水小学校、妻田小学校、睦合東中学校に対し、日本セーフコミュニティ推進機構による指導及び助言を実施した。	720	599	インターナショナルセーフスクール認証取得回数（累計）	回	清水小 5 妻田小 2 睦合東中 3	清水小 5 妻田小 2 睦合東中 3	清水小 5 妻田小 2 睦合東中 3	100.0	教育指導課
							インターナショナルセーフスクールの取組を通して、自分の学校の安心・安全な環境づくりが充実したと思う児童・生徒の割合	%	90.0	90.0	72.0	80.0	教育指導課
7	小中学校プール施設最適化推進事業	市立小・中学校プール施設の老朽化に対応しながら、児童・生徒により安全で質の高い水泳指導を提供するため、プール施設の最適化の取組等を進める。	「市立小・中学校の水泳授業及びプールの在り方に関する基本方針」に基づき、小学校の水泳授業における屋内プールの活用等を進めていく。	小学校2校の水泳授業について、屋内民間プールを活用して実施した。 ・荻野小学校（レオスイミングスクール荻野校） ・飯山小学校（コナミスポーツクラブ厚木）	5,372	3,262	屋内市民プール等を活用して水泳授業を実施する小学校数	校	—	2	2	100.0	教育総務課
8	校舎等整備事業	市立小・中学校は施設の老朽化が進み、厚木市公共施設個別施設に基づく施設の更新時期を迎える校舎や体育館があることから、将来にわたって児童・生徒の学校生活における安全を確保するとともに、これからの教育活動に対応できる環境を整備する。	市立小・中学校の施設建て替え整備を実施する。	①依知南小学校及び緑ヶ丘小学校施設建て替え整備事業者選定支援業務委託を実施し、仮設校舎を設置した。 ②北小学校施設建て替え整備基本設計委託を実施した。	126,102	99,968	依知南小学校施設整備の進捗状況	—	基本設計・解体設計	事業者選定・仮設校舎設置	事業者選定・仮設校舎設置	100.0	学校施設課
							緑ヶ丘小学校施設整備の進捗状況	—	基本設計・解体設計	事業者選定・仮設校舎設置	事業者選定・仮設校舎設置	100.0	学校施設課
							北小学校施設整備の進捗状況	—	—	基本設計	基本設計	100.0	学校施設課
④ 安心して共に学べる教育の推進													
1	就学支援事業	経済的な理由により就学が困難な児童・生徒及び特別支援学級等に就学する児童・生徒の教育の機会均等を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減する。	認定された児童・生徒の保護者に対し、学用品などの経費の一部を支給する。	経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対し、学用品などの経費の一部を支給した。 ・就学援助費支給者数 2,382人 ・特別支援教育就学奨励費支給者数 505人	143,557	125,676	就学援助認定者に対する援助費の支給率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	学務課
							特別支援学級等認定者に対する援助費の支給率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	学務課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
2	外国籍児童・生徒等支援事業	日本語の理解が不十分な外国につながる児童・生徒が安心して日本で生活できるよう、教育的支援の充実を図る。	該当児童・生徒に対して、日本語指導協力者を派遣し、母語による言語の支援や、日本で生活するために必要な最低限の日本語の習得を目指すとともに、国際教室運営の充実を図る。 日本語指導教室設置校に支援員を派遣し、該当児童・生徒の学習支援、日本語指導等を行う。	①日本語指導協力者を派遣した。 ・申請人数 294人 ・派遣人数 延べ287人（13言語34人） ②日本語指導教室（小学校5校、中学校1校）を開室した。 ・開室回数 122回 ・通級人数 75人 ・支援員派遣 延べ16人（11人）	22,025	21,724	日本語指導が必要な児童・生徒支援のための人材派遣の割合	%	97.0	100.0	97.6	97.6	教育指導課
							日本語指導教室の支援体制の充実度	%	86.0	100.0	106.6	100.0	教育指導課
3	学校支援プロジェクト推進事業	いじめや暴力行為等の問題行動及び学校を取り巻く課題に適切に対応するため、プロジェクトチームを組織し、学校への効果的かつ機能的な支援の充実を図る。	児童・生徒の問題行動に対し、関係機関と連携してプロジェクトチームを組織し、各機関及び学校の役割とその連携について確認し、指導・実践へつなげる。 また、定期的な学校訪問により必要な情報を収集し、問題行動の未然防止の観点から、管理職や児童・生徒指導担当教員に対して組織的かつ効果的な児童・生徒指導について指導・助言を行う。	①児童・生徒の問題行動を解決するため、市立小・中学校への定期訪問を行った。 【訪問回数】 ・小学校 64回 ・中学校 37回 ②プロジェクトチームによる会議を開催した。 【開催回数】 ・小学校 3回（3校）	3,366	3,384	定期的な学校訪問が、問題行動の未然防止に向けた児童・生徒指導の充実に効果があつたと評価する学校の割合	%	100.0	100.0	94.4	94.4	教育指導課
							プロジェクトチームを組織することにより、関係諸機関と連携した対応がより円滑に進められたと回答した学校の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	教育指導課
4	特別支援教育推進事業	特別な支援を必要とする児童・生徒に対する総合的な支援体制を整備し、誰もが安心して自分の可能性や個性を伸ばせる教育の充実を図る。	障がいのある子どもが適切な教育の場において、ニーズに応じた教育を受けることができるよう、適切な就学相談及び就学指導を行うとともに、各学校の支援体制の充実に向けた指導・助言を行う。 また、市立小・中学校に特別支援教育介助員を配置し、支援が必要な児童・生徒に対して総合的な支援を行う。 さらに、校内の支援体制を整備し、インクルーシブ教育を推進する。	①学校教育指導員を派遣した。 ・派遣回数 72回 ②特別支援教育介助員を配置した。 ・配置校数 33校 ・配置人数 延べ155人 ③就学相談を実施した。 ・実施回数 7回 ④教育支援委員会を開催した。 ・開催回数 5回	145,761	138,040	校内支援体制が整っている学校の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	教育指導課
							特別な支援を必要とする児童・生徒に対する特別支援教育介助員の配置の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	教育指導課
5	教育支援教室運営事業	心理的要因等により学校に登校することが困難な児童・生徒の自主性の育成や人間関係の改善を図り、集団生活への適応や社会的自立を目指す。	心理的要因等により学校に登校することが困難な児童・生徒に教育支援教室「なかま教室」「なかまルーム」において生活指導や学習指導、体験活動を組織的、計画的に行う。	①なかま教室を開設した。 ・開設日数 204日 ②なかまルームを開設した。 ・開設日数 203日	15,174	15,606	教育支援教室での指導により登校できるようになった、又は好ましい変化が見られるようになった通室生の割合	%	95.8	100.0	96.2	96.2	青少年教育相談センター

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
6	青少年教育相談事業	青少年が抱える課題に対し、相談を通して子どもの心に寄り添い、一人一人の自立を支援する。 また、学校における支援教育の推進を図り、課題改善にむけた専門的な助言・援助を行う。	学校生活等において悩みを抱える青少年やその保護者に対し、青少年心理相談員、家庭訪問相談員及び教育ネットワークコーディネーターが教育相談活動を行う。 また、市立全小・中学校に児童・生徒が気軽に相談し、安心して登校できる環境をつくるためにこころスマイル支援員を配置し、個別支援を行う。	①青少年心理相談員、家庭訪問相談員、教育ネットワークコーディネーターによる教育相談を実施した。 ・来所面接 3,072件（心理相談員2,913件、ネットワークコーディネーター60件、指導主事99件） ・家庭訪問相談 289件（家庭訪問相談員178件、ネットワークコーディネーター111件） ・電話相談 717件（心理相談員312件、家庭訪問相談員4件、ネットワークコーディネーター225件、ケース以外176件） ・メール相談 16件 ・同行支援 2件 ・教育ネットワークコーディネーターによる間接的支援 585件 ②学校コンサルテーションを実施した。 ・実施ケース数 延べ42ケース ③小学校スクールカウンセラーを派遣した。 ・派遣回数 335回 ・相談件数 3,383件 ④市立小・中学校にこころスマイル支援員を配置した。 ・配置回数 4,010回	72,635	70,821	青少年心理相談員との教育相談を通して好ましい変化が見られるようになった割合	%	92.9	98.0	89.7	91.5	青少年教育相談センター
							こころスマイル支援員に関わった児童・生徒の満足度	%	85.6	94.0	87.0	92.6	青少年教育相談センター
7	登校支援推進事業	不登校児童・生徒の減少を目指し、不登校の未然防止、早期発見、早期対応、不登校の状態に応じた適切な対応、効果的な支援を推進する。 また、不登校を未然に防ぐために校内の居場所づくりを充実し、社会的自立に向けた支援を推進する。	学校教育指導員による学校計画訪問、教育相談コーディネーターを対象とした連絡会議や研修会、専門性をもった「児童・生徒支援推進アドバイザー」の派遣等を行い、教職員の教育相談力の向上と校内支援体制の整備を促し、学校の不登校対策の実践力向上を図る。 また、不登校児童・生徒が安心して過ごせる居場所「校内教育支援センターフリールーム」の運営を担当する非常勤講師を中学校へ配置し、社会的自立に向けた支援を推進する。	①不登校対策推進連絡会議を開催した。 ・開催回数 2回 ②不登校対策推進実践連絡会議を開催した。 ・開催回数 2回 ③課題改善ケース研究会を開催した。 ・参加校数 18校 ④教育相談コーディネーター連絡会議を開催した。 ・開催回数 4回 ⑤児童・生徒支援推進アドバイザーを派遣した。 ・市立小・中学校で実施する事例研究会や研修会へ派遣 28回 ・教育委員会で開催する不登校対策に関する会議・研修等への招へい 6回 ⑥学校計画訪問を実施した。 ・実施回数 344回 ⑦「校内教育支援センターフリールーム」をモデル校2校に設置した。	12,487	12,128	不登校の児童・生徒が登校支援によって改善した割合	%	79.2	83.0	76.0	91.6	青少年教育相談センター

(令和6年度実施事業)

3-2 地域での学びを支える社会教育と生涯学習の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 地域主体で取り組む社会教育の振興													
1	公民館活動事業	「社会教育法」第20条・第22条に基づき、教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興及び社会福祉の増進に寄与する。 また、地域の実情に応じた学習機会の提供や地域の人材を活用した学習支援体制を整え、地域の教育力向上を図る。	各公民館において、各種学級・講座の開設、文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ事業及びスポーツ・レクリエーション推進事業を実施する。	各公民館において、社会教育法第20条及び第22条規定に基づく各種学級・講座を開設するとともに、文化振興事業、公民館まつり事業、コミュニティ事業、スポーツ及びレクリエーション推進事業を実施した。	24,068	23,875	学級・講座の満足度	%	77.9	79.6	68.5	86.1	市民協働推進課
2	公民館整備事業	学習ニーズの多様化への対応及び地域コミュニティの活性化のため、生涯学習や地域コミュニティ活動の拠点施設として、公民館の機能の充実を図る。	厚木北公民館は、令和5年度、6年度の継続事業で新築工事を実施し、令和7年4月供用開始を目指す。 睦合南公民館は老朽化が著しく、エレベーターの設置がなくバリアフリー上、支障が生じている状況であり、地元建設促進委員会から建替えの要望が出されていることから、公共施設最適化基本計画個別施設計画に位置付け、再整備に向け調整を進めていく。	①厚木北公民館について、令和6年度中に建設工事が完了した。（令和7年4月に供用開始） ②睦合南公民館について、検討及び協議を重ねて、建設候補地について選定を行ったが関係者の内諾を得ることができなかった。	739,017	650,527	厚木北公民館整備の進捗状況	—	建設工事	建設工事・完了	建設工事・完了	100.0	市民協働推進課
							睦合南公民館整備の進捗状況	—	庁内・地元調整	検討・協議	検討・協議	85.0	市民協働推進課
② 家庭・地域・学校の協働の推進													
1	家庭教育支援事業	保護者が教育の出発点である家庭教育の大切さを再認識し、安心して子育てができるよう、家庭、地域及び学校の連携により、家庭教育の充実を図る。	幼稚園保護者会や小・中学校PTA等の家庭教育学級の開設に対し、交付金を交付する。 また、家庭教育に必要な情報を提供する講演会や「早寝早起き朝ごはん」等の基本的な生活習慣を身に付けるための啓発活動を実施するほか、地域自らが主体となって地域の特性をいかしながら地域ぐるみで家庭教育を支援する取組を実施する。	①家庭教育学級の開設に対し交付金を交付した。 【交付団体数】 ・私立保育園 1団体 ・私立幼稚園 9団体 ・市立小・中学校 20団体 ・私立初等学校 1団体 ②家庭教育情報提供講演会を開催した。 ・参加者数 209人 ③「早寝早起き朝ごはん」を啓発するため、広報あつぎなどに啓発記事を掲載した。	3,380	1,472	家庭教育支援事業に参加した保護者の家庭教育への有効度	%	97.5	97.5	95.3	97.7	市民協働推進課
2	地域学校協働活動事業	家庭・地域・学校のつながりをより一層深め、協働して地域の子どもたちを育むため、公民館を地域の拠点に位置付け、学校と地域のパイプ役となる地域学校協働活動推進員を各校に配置し、協働活動を推進する。	多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制を確立させるため、地域学校協働本部を設置する。 また、地域と学校との連絡調整、情報の共有、地域学校協働活動の調整・運営、地域住民への呼びかけなどの役割を担う地域学校協働活動推進員の任命を行う。 さらに、推進員のリーダー的存在となり、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るため、統括コーディネーターを配置する。	4地区内11校に各1名の推進員を委嘱した。 荻野地区（荻野小学校、上荻野小学校、鷺尾小学校、荻野中学校）、南毛利地区（南毛利小学校、戸室小学校、南毛利中学校）、相川地区（相川小学校、戸田小学校、相川中学校）、緑ヶ丘地区（緑ヶ丘小学校）	4,459	1,789	地域学校協働活動推進員を委嘱した地区数	地区	7	11	11	100.0	市民協働推進課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
③ 生涯学習活動の推進													
1	あつぎ協働大学開設事業	大学や企業との協働や外部講師による講座を通じて、生涯学習の推進を図る。	市内5大学（東京工芸大学、神奈川工科大学、松蔭大学、湘北短期大学、東京農業大学）及び市内企業との協働・連携により、大学の特色をいかした講座及び企業の技術や取組を学ぶ講座等を実施する。 また、外部講師を招き幅広い年齢層を対象に講座を実施する。	①教養科目を実施した。 ・5大学23講座 ・参加者数 1,085人 ②特別講座を実施した。 ・3大学5講座 ・外部講師2名2講座 ・地域包括ケア推進課1講座 ・参加者数 384人 ③企業講座を実施した。 ・1企業2講座 ・参加者数 64人	2,352	1,517	あつぎ協働大学受講者のうち、講義全体の評価として「とても満足」、「満足」と答えた人の割合	%	93.5	94.0	93.7	99.7	生涯学習課
2	生涯学習振興事業	市民の誰もが生涯学習活動を通じて自己実現をするために、様々な学習機会を提供し、生涯学習活動を充実させる。	市民が講師となって様々な講座を自主企画、自主運営する生涯学習スタイルの「輝き厚木塾」、市職員が研修会や学習の場などに向向いて行政の取組などを説明する「生涯学習出前講座」を実施する。	①輝き厚木塾を実施した。 ・前期講座（5月～8月開催）79講座 受講者数 730人 ・後期講座（10月～1月開催）84講座 受講者数 788人 ②生涯学習出前講座を実施した。 ・実施件数 126件 ・参加者数 3,131人	3,287	3,127	輝き厚木塾の受講者数	人	1,600	1,650	1,518	92.0	生涯学習課
3	アミューあつぎ改修事業 （中長期保全）	子どもから高齢者まであらゆる世代が交流できる大規模な官民複合施設であるアミューあつぎについて、安全で安心できるサービスを提供するため、予防保全事業を計画的に実施し、施設の長寿命化を図る。	中長期修繕計画に基づき、老朽化した施設等の計画的な修繕を実施する。	計画していた老朽箇所の修繕を実施し、施設の長寿命化を図った。	107,800	99,528	修繕箇所	か所	18	10	10	100.0	生涯学習課
4	（仮称）未来館整備事業	厚木市民の未来へのチカラをみんなで育て、伸ばしていくコミュニティプレイスを創造する。	誰もが気軽に立ち寄ることができ、交流の場としての機能を備えた施設を目指すとともに、現在の子ども科学館の機能向上を図り、科学を始めた学びや体験機能が充実した（仮称）未来館を整備する。	厚木市（仮称）未来館内装・展示設計・製作等業務委託（契約期間：令和5年11月1日～令和9年12月15日）において、プラネタリウム兼多目的ホールのドーム部分や未来館エリアの内装、展示装置等の実施設計及び施設の事業・運営計画の作成等を実施した。	160,045	77,289	（仮称）未来館整備に向けた進捗状況	－	実施設計	実施設計	実施設計	100.0	中央図書館
5	図書館整備事業	「中心市街地の公共施設再配置計画」に基づき、中央図書館を中町第2～2地区に新築移転し、魅力ある図書館としてリニューアルするとともに、市内全域における図書館サービスの充実を図る。	市民の学び、成長、楽しみに役立つ情報拠点を基本理念に、市民に愛される新中央図書館を整備する。	建物本体工事で施工する図書館エリアの内装、設備等に係る実施設計において、専門家とアドバイザー業務委託契約を結び、建物本体の設計事業者と各種調整を実施するとともに、家具・備品計画、資料配架計画、VI（ビジュアルアイデンティティ）計画、サイン計画の作成や管理運営方針の検討等を実施した。 また、図書館、（仮称）未来館を含む複合施設の愛称を市民公募及び市民投票により「あつめき」に決定した。	17,425	17,321	新たな図書館整備に向けた進捗状況	－	実施設計	実施設計及び建設工事	実施設計及び建設工事	100.0	中央図書館
							ICタグ導入に向けた進捗状況	－	調達検討	調達検討	調達検討	100.0	中央図書館

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
6	電子図書館事業	スマートフォン等でいつでもどこからでも検索・閲覧・貸出・返却が可能な電子図書館を運営し、読書活動の推進を図る。	電子図書館システムにより、デジタルデータで刊行されている出版物について、スマートフォン等で検索・貸出・返却・閲覧を可能とする。	①電子図書館の普及に向け、PR活動や様々なテーマで特集を実施した。 ②同時に複数人で電子書籍を利用できるようマルチライセンスの書籍を充実させた。 ③市内中学校との連携を進め、電子図書館の利用促進を図るため、全中学生に図書館カードを交付した。	6,600	6,600	電子書籍貸出点数	点	12,000	13,000	17,976	100.0	中央図書館
④ 青少年の健全育成に向けた取組の推進													
1	青少年自然文化体験研修事業	友好都市の子どもたちとの交流や学習を通して、相互理解と友情を深めるとともに、自然体験等の機会を提供することにより、子どもたちの視野を広げ、豊かな心の成長を育む。	小学生が友好都市である北海道網走市及び横手市を訪問し、自然・文化体験活動等を実施する。	①小学6年生児童が網走市を訪問し、相互交流、自然・文化体験学習等を行い、協調性及び自主性を養うことで心身の健やかな成長を図った。 ②横手市子ども会の訪問団を受入れ、本市子ども会員と、交流を通して相互理解と親睦を深めるとともに、体験活動などにより、協調性、自主性の育成を図った。	7,491	6,791	事業参加者の満足度	%	89.0	90.0	96.9	100.0	青少年課
2	青少年指導者育成事業	地域において心豊かな青少年を育成するため、青少年指導者の養成及び自主的な活動を支援する。	青少年指導者の資質向上のための研修会を実施するとともに、育成活動を支援する。 また、ジュニアリーダーが知識や技術を習得できる研修を実施する。	①青少年指導員の地域における育成活動の推進と資質向上のための研修会を開催した。 ・開催回数 4回 ②ジュニアリーダーが、地域のこども向けの事業等の協力に当たり、必要な知識や技術を学ぶ研修会を開催した。 ・開催回数 8回	5,118	4,718	研修会出席率	%	68.0	68.2	53.2	78.0	青少年課
3	青少年非行防止活動事業	地域、家庭、学校及び関係機関と協力し、青少年の非行防止を図る。	青少年非行の早期発見と未然防止のため、青少年相談員及び社会教育指導員等が市街地等を巡回し、怠学、喫煙、飲酒、不良交友などの不良行為について、積極的に声かけ指導を行う。 また、青少年の健全育成に向け、環境浄化活動及び啓発活動を実施する。	①街頭指導を実施した。 ・実施回数 454回 ・従事者数 1,000人 ・指導人数 318人 ②啓発活動を実施した。 ・心と街のクリーン作戦 啓発ポスターと啓発動画の作成、啓発物品及びチラシの配布をした。 ・「愛の一声みちびき運動」 各地区の公民館まわりの開催に合わせ、青少年の非行防止・薬物乱用防止の啓発パネルの展示、啓発物品及びチラシの配布をした。	9,138	8,207	街頭指導において声掛けをした青少年のうち不良行為を認知し、指導した割合	%	4.1	3.8	5.3	71.7	青少年教育相談センター
4	児童館整備事業	児童の健康を増進し、情操を豊かにするための施設である児童館の適正配置及び計画的な建て替えを進め、利用者の安全性及び利便性の向上を図る。	子ども達の居場所づくりの拡充を図るため、児童館の適正配置及び再整備を実施する。	①地域との協議を行った。 ②庁内外関係各課等との協議を行った。 ③厚木市立三田児童館再整備の方向性に対する公共施設最適化検討委員会を実施した。 ④（仮称）三田児童館等複合施設整備方針（案）に対する意見交換会を実施した。	0	0	三田児童館整備の進捗状況	—	基本方針の策定	仕様の検討	整備方針案の作成	80.0	青少年課
							藤塚児童館整備の進捗状況	—	—	基本方針の策定	候補地の検討	50.0	青少年課

(令和6年度実施事業)

3-3 文化芸術の振興

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 （千円）	決算額 （千円）				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
① 文化芸術活動の推進													
1	あつぎ市民芸術文化祭開催事業	文化芸術の発表及び鑑賞の機会を提供することにより、市民による多様な文化芸術活動を推進し、文化芸術の振興を図る。	市民文化祭（芸能音楽発表、文化作品展等）、市民芸術祭（市民参加型の舞台公演）、野外彫刻造形展（彫刻や造形作品の野外展示、体験教室等）、ミュージックフェスティバル（青少年を対象としたオーディション）を開催する。	①市民文化祭を開催した。 ・参加者数（出展・出演者数） 1,999人 ②野外彫刻造形展を開催した。 ・参加者数（作品出展者数）744人 ③市民芸術祭を開催した。 ・参加者数（出演者数） 245人 ④あつぎミュージックフェスティバルを開催した。 ・オーディション参加者数 43人	6,150	6,150	文化芸術事業の参加者数	人	5,050	5,100	3,031	59.4	文化魅力創造課
2	文化会館リニューアル事業	文化会館を今後も継続して利用するため、劣化している建物や設備等の更新が必要となっていることから、公共建築物の長期維持管理計画基本方針に基づき、建物の耐震化・長寿命化を図る。	事業手法にPFI（RO方式）を採用し、民間活力の導入による財政支出の縮減や標準化を図るとともに、大規模改修や施設の維持管理を効率的、効果的に実施する。	①令和5年10月からの改修工事を令和6年9月末に完了し、翌年1月4日から供用を開始した。 ②改修工完了から供用開始までの期間、開館準備業務として、更新された設備や機器の試運転を行った。 ③改修工後は令和16年度末まで維持管理業務により施設の適切な管理を行う。	4,465,418	4,450,891	リニューアル事業の進捗状況	－	設計・施工	供用開始	供用開始	100.0	文化魅力創造課
3	文化芸術振興事業	気軽に文化芸術に触れる機会を提供し、市民の文化芸術への創造と育成を推進することと併せ、より文化芸術の情報発信の強化を図る。 また、文化芸術に関する奨励金を交付し、文化芸術活動の充実と振興のための環境整備を推進する。	文化芸術の発信強化を図り、文化芸術活動を推進するため、商業施設や公共施設など、発表の場として様々な場所の開拓を進める。 また、より多くの方に文化芸術に触れていただける機会を増やすとともに、事業のPRの仕方を工夫・強化することで発表者の満足度を向上させる。 さらに、文化芸術の全国大会及び国際大会に出場する市民等に対し、奨励金を交付し意識高揚を図り、文化芸術活動の充実と振興のための環境を整備する。	①本厚木ミロード4階「ミロにわ」でジャズコンサートやウクレレライブ等を開催した。 ・鑑賞者数 631人 ②子ども科学館プラネタリウムや保健福祉センターホールで、コンサートを開催した。 ・鑑賞者数 575人	5,400	4,134	文化芸術発信事業数	事業	6	8	12	100.0	文化魅力創造課
② 郷土文化の継承と発展													
1	あつぎ郷土博物館活動推進事業	地域の歴史や風土、自然について学芸員が行っている研究や調査、展示会、講座などを、市民に有用な情報として提供するとともに、その成果を後世まで郷土の文化として伝え残すことにより、市民にとって「郷土あつぎ」を構築、創造していくための一助とする。	歴史、民俗、生物分野に関する研究や調査の結果について、資料として後世に残すとともに、各種講座や展示を通して市民に公開し、還元する。	①特別展示「ドグウ集まれ！」 ・10月12日～12月8日 ・7,808人 ②企画展示「夢虫になる夏が来る！」 ・7月20日～9月16日 ・5,331人 ③企画展示「あかりの道具-火と光、人の文化史-」 ・1月18日～3月2日 ・4,044人	2,686	2,621	講座及び展示における満足度	％	94.0	96.0	90.4	94.2	文化魅力創造課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
2	郷土芸能事業	市内に伝わるかけがえのない伝統文化 や伝統芸能を保存・伝承するとともに、 後継者の育成を図る。	郷土芸能を児童・生徒を始めとする市 民に広く周知するため、郷土芸能まつり や郷土芸能普及公演等実施するととも に、後継者育成のための体験講座や郷土 芸能学校を開催する。	①保育施設、幼稚園、小中学校等で普及公演を 実施した。 ・実施回数 28回 ・鑑賞人数 延べ2,541人 ②小学校、大学で出前体験教室を実施した。 ・実施回数 11回 ・参加者数 延べ430人 ③郷土芸能学校（相模人形芝居林座・長谷座に よる後継者育成講座）を実施した。 ・実施回数 12回（各座6回） ・参加人数 延べ29人 ④郷土芸能団体が一堂に会し、伝統芸能を披露 する郷土芸能まつりを開催した。 ・郷土芸能発表会 149人 ・相模人形芝居特別公演 162人 ⑤郷土芸能団体自主公演等を開催した。 ・第52回相模人形芝居大会 784人 ・第46回相模ささら踊り大会 251人 ・学校交流ワークショップ（座間総合高校） 238人 ・学校交流ワークショップ（中央農業高校） 183人 ・厚木市文化会館リニューアルオープンイベン ト 600人 ・能楽ワークショップ 6人 ・第2回みずき会お浸し会 90人	3,067	3,379	郷土芸能の公演 及び体験講座の 参加者数	人	8,650	8,700	5,463	62.8	文化魅力創 造課
							郷土芸能団体新 規加入者数	人	20	20	2	10.0	文化魅力創 造課
3	市史編さん事業	本市の歴史の変遷を解明するため、歴 史資料等の系統的な調査・研究及び資料 の収集・保存を行い、史実に基づいた市 史等を発刊することによって市民の郷土 を愛する心を育む。	古文書等歴史資料の調査、収集、分類 及び整理を行い、資料の目録作成、マイ クロフィルム化を実施し、その成果に基 づき、本市の歴史の変遷を後世に継承す る。	①『厚木市史 近代資料編2』を発刊するための 編集作業を実施した。 ②市史編さん事業を広く周知するため、『厚木 市史たより』を2回発行するとともに、歴史講 座等を実施した。	15,787	11,939	『厚木市史』発 刊数	冊	—	—	—	—	文化魅力創 造課

(令和6年度実施事業)

3-4 生涯スポーツの振興

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
① 生涯スポーツ活動の推進													
1	市民スポーツ推進事業（生涯スポーツ）	スポーツ活動の普及により、健康・体力づくりの増進を図る。	誰でも気軽に参加でき、ニュースポーツを体験できる「スポーツなじみDAY」等を開催する。 また、（公財）厚木市スポーツ協会に補助金を交付し、スポーツ教室、スポーツ大会等を開催する。 さらに、日本体育大学との連携により、体力向上や健康増進に係る事業を実施する。	①スポーツなじみDAYを実施した。 ・参加者数 1,168人 ②（公財）厚木市スポーツ協会に補助金を交付し、スポーツ大会等を開催した。 ・参加者数 13,881人 【内訳】 ・競技別市民選手権大会 5,127人 ・スポーツ大会 3,841人 ・スポーツフェスティバル 190人 ・あつぎウオーク 392人 ・スポーツ教室 1,187人 ・指導者養成支援事業（セミナー）272人 ・指導者育成事業（審判員・指導者養成）1,253人 ・選手育成強化事業 1,375人 ・スポーツ人のつどい 244人 ③市民体力向上推進事業を開催した。 ・「厚木はやぶさFC連携事業 市立保育園サッカー教室」74人 ・「スポーツキャンプ イン 日体大」26人 ・「EXITりんたろー。さんと遊ぼう！学ぼう！楽しもう！」サッカー教室 161人、講演会 192人	15,892	15,748	スポーツ行事の参加者数	人	18,300	18,300	15,049	82.2	スポーツ魅力創造課
							講師派遣事業の参加者数	人	800	800	453	56.6	スポーツ魅力創造課
2	社会体育指導者養成事業	地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の普及振興を図る。	地域のスポーツ・レクリエーションのリーダーであるスポーツ推進委員の研修会等を行う。	①スポーツ推進委員会議等を開催した。 ②ニュースポーツ練習会を開催した。 ③各種研修会・大会へ参加した。 ④事業協力を行った。	4,639	4,280	スポーツ指導者養成研修等参加者数	人	1,120	1,130	1,035	91.6	スポーツ魅力創造課
② 競技スポーツ活動の推進													
1	競技力向上支援事業	国際大会や全国大会等への参加を支援することにより、競技力の向上を図る。	国際大会及び全国大会等に出場する市民に対し、奨励金を交付するとともに、競技団体が全国大会や県大会等に選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会等に対し、交付金を交付する。	全国大会等出場者に対し、奨励金を交付した。	1,825	1,835	全国大会出場者数	人	500	530	527	99.4	スポーツ魅力創造課
2	市民スポーツ推進事業（競技スポーツ）	トップアスリート及び指導者の育成を支援することにより、競技力の向上を図る。	（公財）厚木市スポーツ協会が行うあつぎスポーツアカデミー事業に対し、補助金を交付する。	（公財）厚木市スポーツ協会が行う、あつぎスポーツアカデミー事業に対し補助金を交付した。	4,780	4,780	あつぎスポーツアカデミー参加者アンケートの総合的な満足度において「とても満足」及び「やや満足」と回答した人の割合	％	100.0	100.0	89.3	89.3	スポーツ魅力創造課
3	スポーツ合宿誘致事業	スポーツ合宿等を誘致し、市民のスポーツに対する関心を高め、市内スポーツ団体等の更なる競技力の向上を図るとともに、スポーツ合宿等を通じた交流人口の拡大や地域経済の活性化等を推進する。	市内スポーツ施設等を使用し、かつ市内宿泊施設に宿泊し合宿等を行う市外のスポーツ団体及び個人を対象に補助金を交付する。	本市のスポーツ施設や宿泊施設を利用するスポーツ合宿等を行う団体・個人に対して宿泊費の一部に補助金を交付した。	1,500	2,040	補助金交付人数	人	—	750	1,020	100.0	スポーツ魅力創造課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（%）	
③ スポーツ施設の整備・充実													
1	運動公園長寿化事業	市民が今後も安心・安全に運動公園施設を利用し続けていくことができるよう、計画的に改修を進めていく。	荻野運動公園の大規模施設（プール棟及び体育館棟等）の長寿化に向け、計画的に安全性、機能性に配慮しながら改修を行う。	荻野運動公園の長寿化に向け、運動公園長寿化計画に基づき適切な改修等を実施した。 ・改修・修繕等 2件 ・改修設計委託 1件	42,450	38,423	プール棟及び体育館棟の修繕箇所数	か所	2	2	3	100.0	公園緑地課
2	グラウンド・ゴルフ場整備事業	子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめるグラウンド・ゴルフ場の整備を通じて、市民のスポーツ活動促進を始め、健康長寿社会や多世代交流の実現の一助とする。	睦合南地区ふれあい公園をグラウンド・ゴルフ場として再整備する。	及川グラウンド・ゴルフ場進入路整備工事（2期）受託事業を完工した。 及川グラウンド・ゴルフ場内試掘調査を完了した。	104,413	22,735	グラウンド・ゴルフ場整備の進捗状況	－	進入路整備	進入路整備、井戸設置	進入路整備完工、井戸調査完了	95.0	スポーツ魅力創造課
3	スポーツの聖地検討事業	トップアスリートのプレーが観戦できる「みるスポーツ施設」、市民の皆様が快適にプレーでき、各種目の活動拠点となるような「するスポーツ施設」、それぞれの施設の整備等について、今後の方向性を位置付けていくことで、スポーツの聖地づくりを推進する。	既存施設の老朽化への対応や、プロスポーツや合宿誘致など多種多様化するスポーツ活動への対応を視野に入れた施設整備の検討を行うとともに、新たに施設を整備する際の課題抽出を行い、市民の地域スポーツ活動や大規模な大会等にも対応できるよう、スポーツ施設整備の在り方について、より広い専門性や技術的視点から今後の方向性を検討する。	スポーツ推進審議会への諮問及び答申、市民意見交換会、中学生・高校生・大学生を対象にしたアンケートの実施、厚木市スポーツの聖地づくり庁内検討委員会を実施した。	9,240	6,987	計画策定の進捗状況	－	－	調査検討	基本構想策定	100.0	スポーツ魅力創造課

(令和6年度実施事業)

4-1 誰もが生活しやすいコンパクト・プラス・ネットワークの推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
① コンパクトなまちづくりの推進													
1	コンパクト・プラス・ネットワーク推進事業	居住と生活利便施設をバス路線沿線に緩やかに誘導するとともに、バスの定時性、速達性を確保することで、誰もが快適に移動でき、地域で暮らし続け、働き続けることができる都市を目指す。	生活利便施設が不足している地域における生活利便施設の立地誘導、災害リスクの高いハザードエリアからの住宅の移転促進及び路線バスの利便性向上を図る。	①「厚木市居住誘導区域(がけ地近接等危険住宅)移転事業補助金」のチラシ配布等により周知を図った。 ②出店用地を募集しているスーパーマーケット等を調査の上、「厚木市生活利便施設立地促進事業補助金」のパンフレットを事業者に直接送付することで周知を図るとともに、制度についてのヒアリングを行った。 ③交通量の多い尼寺原工業団地付近のバス路線の交通混雑の解消、及び「都市機能誘導区域」である本厚木駅周辺地区へのアクセス性の向上を図るため、尼寺原幹線（市道辻戸室線）の本厚木駅へ向かう路線の道路交通の整流化検討を行った。	49,193	34,674	ハザードエリアからの住宅移転件数	件	0	1	0	0.0	都市計画課
							スーパーマーケット・ドラッグストアの徒歩圏人口カバー率	％	80.6	80.6	82.4	100.0	都市計画課
							路線バスの定時性確保対策	—	協議検討	協議検討		100.0	都市計画課
② 市民生活や産業活動を支える道路ネットワークづくりの推進													
1	街路整備事業	交通混雑の解消や安心・安全なまちづくりを進め、市民の快適な日常生活や効率的な経済活動を支える生活空間の向上を図る。	都市計画道路厚木環状3号線及び本厚木下津古久線等を整備する。	街路整備工事24件（線越、継続、明許含む）、設計、測量等8件の委託を実施した。 ・厚木環状3号線・本厚木下津古久線 ・酒井長谷線・環状2号線 ・上今泉岡津古久線	1,608,815	1,138,363	整備延長 （2023～2026年度累計）	m	410	820	689	84.0	交通混雑対策課
2	街路用地取得事業	交通混雑の解消や安心・安全なまちづくりを進め、市民の快適な日常生活や効率的な経済活動を支える生活空間の向上を図ることができるよう、工事着手に向けた環境を整える。	都市計画道路の整備に必要な道路用地の取得及び支障物件の移転補償を行う。	厚木環状3号線等都市計画道路の整備事業に必要な用地の取得及び支障物件の移転補償を行った。	177,944	82,409	都市計画道路の用地買収路線数	路線	2	1	3	100.0	道路整備課
3	幹線市道新設改良事業	地域の主要道路として、地域間の連続性、通行の円滑性及び安全性等の観点から、計画的に拡幅改良を実施し、地域交通環境の有効な改善を図る。	1・2級市道及びこれらに準ずる幹線道路（一般生活道路を除く。）の新設・改良を実施する。	金田妻田線の工事1件、文化財調査委託1件、水引小野線の測量、設計等の委託6件、愛名森の里線の工事を環状3号線工事内で実施した。	21,375	19,749	整備延長 （2023～2026年度累計）	m	65	130	120	92.3	交通混雑対策課
4	交差点等改良事業	交差点等において交通の円滑化及び交通混雑の緩和を図るとともに、市民生活の安全性と快適性の向上を図る。	交通の集中により混雑が発生する交差点は、主要な幹線道路である国道や県道と交差する交差点が多いことから、現状の把握や課題の抽出、改善策などについて国や県と情報共有するとともに、交通管理者である警察との協議、連携しながら、効率的な交差点等の改良を実施する。	交差点等の測量委託2件、設計、検討委託等4件及び愛甲石田駅北口広場の環境整備を2件と妻田薬師バス停周辺の道路整備を実施した。（線越明許含む）	160,700	144,666	整備及び委託 （調査・測量・設計）箇所数	か所	2	2	3	100.0	交通混雑対策課
5	生活道路整備事業	市民が安心・安全で快適な日常生活が営めるよう、狭あいな生活道路の整備を計画的に進めるとともに、地域間の主要交通及び幹線路線等の主要市道のネットワークを補完する路線の拡幅整備を進める。	地元自治会からの生活道路整備要望を基に、生活道路としての市道（都市計画道路、1・2級市道及びこれらに準ずる幹線市道を除く。）の拡幅改良や舗装等を実施する。	市道D-544号線改良工事、市道J-564号線測量委託、市道J-564号線実施設計委託などを実施した。	480,000	400,504	整備・委託（測量・設計）路線数	路線	40	35	43	100.0	道路整備課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
6	中町第2ー2地区周辺交通 アクセス整備事業	交通の円滑化、歩行区間の確保及び防災・減災対策として車両の通行や歩行者・自転車の通行動線を確保し、市民が安心・安全な通行ができる道路拡幅や新規道路の整備を実施する。	車両の円滑な通行や歩行者・自転車の交通導線を確保し、新たな交通需要にも対応できる新設道路も含め、中町第2ー2地区周辺の道路整備及び無電柱化整備を実施する。	複合施設周辺の無電柱化予備設計委託を1件実施した。 (債務負担行為) 令和5年～令和6年	2,500	6,125	整備及び委託 (調査・測量・設計) 件数	件	1	1	1	100.0	交通混雑対策課
7	道路整備用地取得事業	交通混雑の解消や安心・安全なみちづくりを進め、市民の快適な日常生活や効率的な経済活動を支える生活空間の向上を図ることができるよう、工事着手に向けた環境を整える。	1・2級市道等幹線道路及び一般生活道路の新設・改良等事業に伴う道路用地買収及び物件移転補償を行う。	1・2級市道及び一般生活道路の新設、拡幅等道路改良事業に必要な用地の取得及び支障物件の移転補償を行った。	321,390	221,595	生活道路用地取得路線数	路線	22	23	16	69.6	道路整備課
							幹線道路等用地買収路線数	路線	3	2	4	100.0	道路整備課
8	歩道整備事業	1・2級市道の計画的な歩道整備を行うことにより、通学路や公共施設周辺における歩行者の通行の安全性の向上を図る。 特に、バリアフリーの視点から、安全かつ円滑な歩道空間を確保する。	1・2級市道及びこれらに準ずる幹線道路(一般生活道路を除く。)への歩道整備を行う。	整備工事を1件実施、測量、設計委託を4件実施した。	32,500	31,354	整備延長 (2024-2026年度累計)	m	—	190	100	52.6	交通混雑対策課
9	橋りょう架替事業	老朽化した橋りょうの架替えを行い、安全に通行できる道路機能の確保を図る。 また、河川改修計画に合わせ、橋りょうの架替整備を推進する。	老朽化等により架替えが必要と判断された橋りょうについて、橋りょう架替事業を実施する。	玉川小学校の通学路に指定されている要学橋について、安全性の向上、歩行者空間の確保などを目的に下流に人道橋(歩行者用通路)の整備を行った。	30,000	112,828	事業に伴う対応件数	件	1	1	2	100.0	道路整備課
10	通学路安全対策事業	近年、通学路で児童や生徒が巻き込まれる痛ましい事故が発生していることから道路管理者として、危険箇所である交差点などにおける交通事故を未然に防ぐため、交通安全施設を設置し更なる歩行者の安全確保を図る。	道路管理者の視点で市立小・中学校36校の実情を踏まえ、交差点内のカラー化、路側グリーン化、防護柵の設置などの対策を行う。 また、通学路の安全整備要望及びウェアラブルカメラにおいて発見した危険箇所への対応も行う。	道路管理者の視点や通学路の安全整備要望等から、交差点内カラー化、路側グリーン化、横断防止柵・ガードレールの設置等を行った。	50,000	49,670	交通安全施設を設置する箇所数	か所	100	100	48	48.0	道路維持課
11	橋りょう長寿命化事業	本市が管理している橋りょうは、昭和50年代に建設されたものが多く、今後一斉に老朽化が進行し、更新時期が集中することが懸念されていることから、予防保全を前提とした計画的な維持管理を実践し、維持管理コストの縮減と予算の平準化を図るとともに、橋りょうの定期的な点検を実施し、健全性の把握と適正な維持管理を図る。	橋りょうの長寿命化を図り、維持管理費用の縮減と予算の平準化、地域道路網の安全性、信頼性を確保する必要があることから、計画に基づく定期的な橋りょう点検や修繕工事を実施する。	厚木市道路維持管理計画に基づき、下小鮎橋及び庫裡橋外7橋について、修繕工事を実施し、2橋の補修設計委託と10橋の塗膜調査並びに50橋の橋梁点検委託を実施した。	250,000	188,339	修繕工事	か所	2	1	9	100.0	道路維持課
							橋梁点検	か所	59	50	50	100.0	道路維持課
12	道路付属施設長寿命化事業	道路付属施設の安全と機能維持を継続していくため、予防保全を前提とした計画的な維持管理を実践し、維持管理コストの縮減と予算平準化を図る。	横断歩道橋・トンネルなどの施設を長寿命化計画により管理し、計画的に修繕・点検を実施する。	厚木市道路維持管理計画に基づき、3橋の横断歩道橋について、修繕工事を実施し、1橋の補修設計委託と1か所のトンネルの点検委託、大型標識工事並びに599灯の街路灯点検を実施した。	300,000	267,701	修繕工事	か所	4	3	3	100.0	道路維持課
							道路照明灯点検	か所	556	600	599	99.8	道路維持課
							トンネル、横断歩道橋等点検	か所	3	—	—	—	道路維持課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
③ 移動しやすい公共交通環境の整備													
1	地域公共交通対策事業	公共交通等を利用して誰もが円滑に移動できる交通環境づくりを推進するため、路線バス等の公共交通の更なる充実を図る。	ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入及びバス停留所の上屋等設置について、交通事業者に対し補助金を交付する。	バス事業者が行うバス停上屋及びベンチの設置費用及びノンステップバス導入費用、さらに、タクシー事業者が導入するユニバーサルデザインタクシー導入費用に対し、補助金を交付した。	9,175	6,146	バス停上屋又はベンチ設置箇所数	か所	2	2	2	100.0	都市計画課
							ノンステップバス導入台数	台	3	3	3	100.0	都市計画課
							ユニバーサルデザインタクシー導入台数	台	7	4	7	100.0	都市計画課
2	コミュニティ交通推進事業	今後増加する高齢者等の移動手段の確保や地域包括ケア社会の実現、また、コンパクト・プラス・ネットワークを基本とした集約型都市構造の更なる充実に向け、路線バスを補完する日常生活に必要な移動手段を確保する。	コミュニティ交通の運行を継続するに当たり、地域が主体となりコミュニティ交通を育成し、継続した運行とさせるため、地域の運行管理団体に補助金を交付する。 また、コミュニティ交通導入についてアンケート調査等を行い、地域特性に合ったコミュニティ交通の運行方法について検討を行う。	①鷲尾、まつかけ台、みはる野地区で、継続運行を実施するとともに、森の里地区で地域住民が自ら運行している乗合交通「森の里ぐるっと」について、継続した運行とするため、令和6年度から地域の運行管理団体に補助金交付を開始した。 ②コミュニティ交通の導入要望があった上依知、宮の里地区において、移動問題に対する理解の醸成及び課題解決に向けた体制構築を図ることを目的に、公共交通及びコミュニティ交通に関する勉強会を開催した。	20,311	15,874	コミュニティ交通利用者数	人	4,000	4,100	4,104	100.0	都市計画課
							コミュニティ交通導入検討	—	実施	実施	実施	100.0	都市計画課
3	次世代モビリティ検討事業	AIや自動運転等の新技術、幅広い分野の豊富なデータを用いた次世代モビリティシステムを活用することで、地域住民や来訪者一人一人の移動ニーズに対応した地域公共交通の確保と維持を図る。	運転手不足による路線バスの縮小、高齢者や来訪者の様々な移動手段の確保に対応するため、無人走行を行う自動運転車両やデマンド交通（予約や呼び出しに応じて目的地に輸送する交通）、グリーンズローモビリティ等の導入について研究する。	自動運転バスへの試乗や次世代モビリティに関する研修会等に参加し、導入についての調査研究を行った。	0	0	調査研究	—	実施	実施	実施	100.0	都市計画課
4	自転車走行空間整備事業	身近な移動手段である自転車の利用ニーズが高く、自転車に関連する事故も発生していることから、自転車利用が多い鉄道駅周辺や高等学校、大学、大規模な住宅地を中心に、厚木市全域を対象とした自転車ネットワークの構築を推進し、安全で安心して歩行や通行ができる快適な道路空間を創出する。	自転車利用者と歩行者を整序化するため、自転車通行位置を明示する自転車のピクトグラム及び矢羽根型路面標示等の自転車走行空間の整備を計画的に実施する。	厚木環状3号線及び水引小野線において、ピクトグラム及び矢羽根型路面表示を実施した。	22,000	20,033	自転車走行空間整備延長	km	2.0	1.9	2.2	100.0	交通混雑対策課
5	サイクルアンドバスライド自転車駐車場整備事業	公共交通機関である路線バスの利用を促進し、自動車の鉄道駅端末交通手段分担率の割合を低下させ、交通混雑を緩和し交通環境を良好にすることにより、交通事故防止のほか、自転車の利用を促すとともに環境対策にも寄与する。	自宅からバス停まで自転車でのアクセスを確保するため、通勤通学者が多い公共交通不便地域から、公共交通利便性強化路線のバス停まで自転車でアクセスすることが可能となるサイクルアンドバスライド自転車駐車場の整備を行う。	整備なし	0	0	新規サイクルアンドバスライド自転車駐車場設置数	か所	1	—	—	—	くらし交通安全課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
④ 安全で快適な住環境の整備													
1	空き家等対策推進事業	「厚木市空家等対策計画」に基づき、人口減少や住宅の老朽化等により地域住民の生活環境に悪影響を及ぼしている空き家の予防・解消・活用を促進する。	空き家の解体工事に要する費用の一部を補助するとともに、所有者不存在により管理不全となっている空き家について、相続財産清算人選任の申立てを行い、売却等の処分を行う。 また、「厚木市空家等対策計画」の改定を行う。	①空き家の解体工事に要する費用の一部について補助金を交付した。 ・交付件数 34件 ②所有者不存在により管理不全に陥っている空き家について、相続財産清算人専任の申し立て、売却等の処分を行った。 ・申立件数 1件 ③空き家相談会を実施した。 ・宅建協会 2回 ・全日本不動産協会 2回	12,011	17,972	管理不全であるため、助言等が必要な空き家数（空き家評価B区分の空き家数）	戸	37	28	29	96.6	住宅課
							空き家解体工事補助金交付件数	件	20	20	34	100.0	住宅課
							空家等対策計画の改定	—	—	—	—	住宅課	
2	住宅政策推進事業	「厚木市住生活基本計画」の基本理念「誰もが自分らしく暮らし続けることができるまち」の実現に向け、少子高齢化・人口減少社会に対応した住生活の実現や、住み続けられる住環境を見据えた良質な住宅ストックの形成を目指す。	住宅確保要配慮者が民間賃貸住宅に円滑に入居できる環境を整備するため、厚木市居住支援協議会において、庁内関係部署、不動産事業者、福祉事業者等と連携し、居住支援の取組を実施する。 また、マンション管理において支援を必要としているマンション管理組合に対し、専門家をアドバイザーとして派遣する。	①「神奈川あんしんすまい保証制度」を利用する単身高齢者に対し、初回登録料の補助を行った。 ・交付件数 11件 ②居住支援協議会として情報交換会（3回）、研修会（3回）、住まい探し相談会（5回）を実施した。 ③マンション管理の適正化に向け、マンション管理組合に対し専門家の派遣を行った。 ・アドバイザー派遣件数 6件	2,047	1,787	あんしん住まい見守りサービスの利用者数	人	9	20	11	55.0	住宅課
							管理計画認定制度により認定を受けたマンションの件数	件	4	4	3	75.0	住宅課

(令和6年度実施事業)

4-2 魅力ある中心市街地等の形成

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 中心市街地等の都市機能の向上													
1	本厚木駅北口周辺整備事業	本厚木駅北口周辺地区において、商業・業務、行政及び文化芸術など多様な都市機能の集積や交通結節機能の充実を図るとともに、居心地が良く、歩いて楽しい市街地の創出による魅力ある拠点の形成を目指す。	「生まれ変わる中心市街地」の実現に向け、本厚木駅北口地区市街地再開発準備組合を支援するとともに、周辺地区を一体的かつ機能的なデザインにより全国から憧れを抱かれる街並みにするための取組を行う。	本厚木駅北口周辺地区を市民の誇りとなる玄関口への生まれ変わりを目指し、当地区における再整備に向け、再開発準備組合の運営支援をすることともに、複数回の会議及び先進事例視察を開催した。	45,583	38,864	本厚木駅北口周辺整備の進捗状況	—	整備コンセプト作成	基本計画 素案検討	基本計画 素案検討	100.0	市街地整備課
2	中町第2—2地区周辺整備事業	中町第2—2地区周辺については、利便性の高い地域として複合施設とその周辺環境の整備を進め、魅力とにぎわいあふれる拠点都市を目指す。	家（第1の場所）と職場や学校（第2の場所）との間にある第3の場所「サードプレイス」の創出をコンセプトに掲げている中町第2—2地区周辺において、新たな集客の核となる、図書館、（仮称）未来館、市庁舎等からなる複合施設の整備を進める。	実施設計を進めるとともに、本体建設工事に着手し、地盤改良工事や建物の基礎となる鉄筋の組立て等を行った。	4,799,188	2,249,645	複合施設整備の進捗状況	—	実施設計 建設工事	実施設計 建設工事	実施設計 建設工事	100.0	市街地整備課
3	愛甲石田駅周辺整備事業	愛甲石田駅周辺地区において、地域の生活を支える商業・業務等の都市機能の集積と、駅へのアクセス性を高める周辺道路整備や快適で円滑な乗り換えが可能となる交通結節機能の充実を図り、都市拠点としてふさわしいまちづくりを進める。	令和4年度に策定した「愛甲石田駅周辺まちづくり基本構想」に基づき、駅周辺の将来像を踏まえたゾーンが集積している駅周辺地区において、計画的かつ効果的・効率的な都市機能の整備に向けた取組を行う。	権利者が主体となってまちづくりへの取組を推進する環境を構築することを目的として、駅周辺の権利者等を対象として今後の当地区の在り方について意見交換を行った。 ・実施回数 3回 ・参加者数 53人	5,530	4,863	愛甲石田駅周辺整備の進捗状況	—	権利者勉強会	権利者勉強会	権利者勉強会	100.0	市街地整備課
4	地下道活性化事業	本厚木駅前東口地下道を活性化することにより、中心市街地のにぎわいと快適な歩行空間の創出を図る。	本厚木駅やアミューあつぎ、バスセンターなど、市街地の主要施設を結ぶ導線となる地下道の活性化につながる取組を行う。	地下道のにぎわい創出を目的にイベント等を実施した。 ・CHiKaフェス（11/9、11/10） ・市民提案事業 全10団体48日実施 ・地下道柱巻き装飾 5本	1,500	1,379	事業実施時の地下道の通行量	人／日	9,441	10,000	9,890	98.9	企画政策課
② にぎわい創出に向けた取組の推進													
1	市街地商業活性化事業	中心市街地商店街空店舗対策事業を始めとする補助金の交付や「にぎわい爆発あつぎ国際大道芸」など、各種イベントを開催することにより、中心市街地のにぎわい創出と活性化を図る。	空き店舗を活用し開業する事業者や、商業者等で構成する「厚木市まちなか活性化プロジェクト」に対し、補助金を交付する。 また、あつぎ国際大道芸及びあつぎジャズナイト等の魅力あるイベントを開催する。	①中心市街地において、空き店舗を活用し、開業する事業者に対し、出店支援金や改装費と家賃の一部を補助した。 ・認定件数 10件 ②にぎわい爆発あつぎ国際大道芸を開催した。 ・参加者数 約38,000人 ③あつぎジャズナイトを開催した。 ・参加者数 約12,000人 ④本厚木駅前北口広場及び南口駅前広場にイルミネーションを設置した。 ・電球数 26,682球 ⑤市内商業団体が中心市街地の商業活性化を推進する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	49,081	44,190	中心市街地のにぎわいを感じている市民の割合	%	31.2 （令和4年度）	45.0	35.9	79.8	商業観光課
							中心市街地の歩行者数	人	100,327	111,500	104,701	93.9	商業観光課

(令和6年度実施事業)

4-3 地域の個性をいかした魅力あるまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 地域に合った計画的な土地利用の推進													
1	国土調査事業	土地に関するトラブルを防ぎ個人の権利や財産を守るとともに、課税の適正化を図ることや公共事業及び災害復旧等の円滑化を図る。 また、公共事業と連携した地籍整備の推進事業として、厚木秦野道路計画予定地の未事業化区間周辺の地籍調査を実施し、厚木秦野道路の早期完成を促す。	「国土調査法」に基づき、土地境界及び地籍に関する測量を行い、一筆ごとに地籍を明確化する。	未事業化区間の厚木秦野道路計画予定地周辺の飯山地区21haについて、一筆地調査を実施した。	17,129	16,784	地籍調査実施面積(累計)	ha	1,160	1,181	1,181	100.0	道路総務課
2	土地区画整理推進事業	産業系土地利用を図るため、土地区画整理事業の事業化に向けた検討に対する指導、助言及び支援を行い、計画的かつ充実した都市基盤整備を推進する。	山際地区、山際北部地区及び長谷南部地区の土地区画整理事業の実現に向けた各種調査、設計及び地権者組織に対する支援を実施する。	①山際地区については、準備委員会が開催する会議等に出席し助言を行った。 ②山際北部地区については、準備委員会が開催する会議等に出席し助言を行うとともに、業務代行予定者募集に際し支援を行った。 ③長谷南部地区については、準備会が開催する会議等に出席し助言を行うとともに、設計協議の支援を行った。	56,107	32,499	山際地区(約22ha)の土地区画整理事業の進捗状況	—	—	支援業務	支援業務	100.0	区画整理課
							山際北部地区(約12ha)の土地区画整理事業の進捗状況	—	支援業務	支援業務	支援業務	100.0	区画整理課
							長谷南部地区(約20ha)の土地区画整理事業の進捗状況	—	—	支援業務	支援業務	100.0	区画整理課
② 景観形成の推進													
1	景観形成推進事業	「景観法」に基づき、自然景観と都市景観が融合した個性ある景観の形成を図り、緑豊かな美しいあつぎの街並みを目指す。	「厚木市景観計画」における建築物の景観誘導を推進するとともに、市民の景観意識を醸成するため、市内における景観の魅力発信を行う。	市内の魅力ある景観の共有を図るため、厚木市民情報提供システム「スマ報」の投稿をホームページで周知した。その結果、厚木の魅力(まちの景観)についての投稿が数多く寄せられた。	65	50	厚木市民情報提供システム「スマ報」による厚木の魅力(まちの景観)投稿件数	件	135	135	137	100.0	都市計画課
③ 新たな産業拠点の整備													
1	森の里東土地区画整理推進事業	新たな産業拠点の創出に向け、森の里東地区の計画的かつ充実した都市基盤整備を図る。	組合に対して、適切な指導、助言を行うとともに、事業進捗に合わせて施行地区外の関連する道路や排水路(雨水・汚水)を整備する。	組合の事業進捗に合わせて施行地区外の関連する用水路を整備した。	10,571	9,973	森の里東土地区画整理事業の進捗状況(C工区)	—	工事・完成	換地処分	換地処分	100.0	区画整理課
							産業用地創出面積	ha	26.8	26.8	26.8	100.0	区画整理課
2	酒井土地区画整理推進事業	産業系土地利用を図るため、土地区画整理事業による計画的かつ充実した都市基盤整備を推進する。	施行者である組合に対して、適切な指導、助言を行うとともに、事業費の一部を補助する。 また、事業の進捗に合わせて、関連する施行地区外の道水路を整備する。	①組合に対して、事業費の一部を補助した。 ②組合の事業進捗に合わせて施行地区外の関連する用水路を整備した。	100,062	98,766	酒井土地区画整理事業の進捗状況	—	工事	工事・完成	工事・完成	100.0	区画整理課
							産業用地創出面積	ha	14.2	20.6	20.6	100.0	区画整理課

(令和6年度実施事業)

4-4 産業・商業の振興

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 商業の活性化に向けた取組の推進													
1	商業活動振興事業	商店会等が実施する消費拡大のための事業を支援することにより、商業の活性化を図る。	子育てを応援しているサポーター店舗で割引やサービスなどの特典が受けられる子育てパスポートA Y U C Oを発行する。 また、各商店会、商店会連合会及び商工会議所が実施する販路拡大や商業活性化に係る事業に対し、補助金を交付する。	①子育てパスポートAYUCO電子システムを改修し、利用者の利便性向上及びサポーター店舗の利用の促進を図った。 ②商店会が協力して行う販路拡大のための共同売出し、宣伝及び装飾等の事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ③商店会連合会が実施する商業振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 ④商店会や個人商店を効果的にPRするために係る経費に対し、補助金を交付した。	23,840	19,565	子育てパスポートA Y U C O取得者数	人	11,166	12,000	12,805	100.0	商業観光課
							商店街活性化事業数	事業	19	20	29	100.0	商業観光課
2	商店街LED化促進事業	商店街の街路灯のLED化を促進することにより、環境にやさしいまちづくりを推進するとともに、商業の活性化を図る。	商店街の街路灯のLED化に係る経費に対し、補助金を交付する。	街路灯のLED化を予定していた商店会の方向性が変わり施工がなかったため、実績なし。	2,500	0	商店会の街路灯総数に対するLED照明の割合	%	63.0	65.0	71.7	100.0	商業観光課
② 創業支援と中小企業支援の充実													
1	商工業振興事業	商工業の振興及び地域経済の活性化を図る。	地域の総合経済団体である厚木商工会議所が実施する商工業団体等組織の強化、後継者育成、経営相談及び指導などの諸事業に対し、補助金を交付する。	厚木商工会議所が行う商工業団体等組織の強化、後継者育成、経営相談及び指導などの諸事業に係る費用に対し、補助金を交付した。	1,770	1,770	合同入社式・研修会参加者数	人	50	60	49	81.7	産業振興課
							中小企業相談件数	件	3,450	3,550	2,176	61.3	産業振興課
2	ビジネスチャレンジャー支援事業	創業支援事業計画に基づき、創業の段階に応じて各機関と連携しながら創業者を支援することにより、地域経済の安定的な発展及び新たな雇用機会の創出を図る。	新規開業のために必要な資金の融資を受けた市内創業者に利子補給を行い、創業を支援する。 また、開業手続の実務や事業計画の作成について学ぶ「あつぎ起業スクール」を開催する。	①日本政策金融公庫から創業融資を受けた市内創業者に対し、利子補給金を交付した。 ・交付件数 3件(令和6年度事業終了) ②あつぎ起業スクールを開催した。 ・開催日数 6日 ・修了者数 36人	2,630	2,549	あつぎ起業スクール修了者の起業者数	人	5	4	6	100.0	産業振興課
3	中小企業活性化推進事業	中小企業の経営基盤の安定化・強化及び受発注機会の拡大を図る。	中小企業診断士が企業を巡回訪問し、経営、技術及び販路拡大等の企業の課題解決に向けた相談を実施する。 また、市内の中小企業者が、受発注機会開拓を目指して見本市・フェア・展示会などに出店する際に掛かる費用の一部を補助する。	①市内中小企業の巡回訪問を実施した。 ・訪問件数 61件 ②市内中小企業者等が販路拡大のため、見本市、フェア及び展示会などに出展した際の費用に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 44件	8,080	8,582	企業巡回訪問件数	件	50	50	61	100.0	産業振興課
							見本市等出展事業補助金交付件数	件	40	45	44	97.8	産業振興課
4	中小企業イノベーション支援事業	中小企業等の市場競争力の強化及び経営基盤の安定化・強化を図る。	製造業を営む市内中小企業及び小規模企業が行う設備投資に対し、補助金を交付する。 また、中小企業の特許等の取得に対し、補助金を交付する。 さらに、中小企業の環境負荷を軽減させる機器等の導入費用に対し、補助金を交付する。	①製造業を営む市内中小企業者が、生産の拡大及び生産の効率化を図るための設備に投資した経費に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 7件 ②市内中小企業者の新技術、新製品の保護及び研究開発を奨励するため、国内の産業財産権(特許、実用新案等)の取得に要する費用に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 8件 ③環境負荷を軽減させる機器等を導入した費用に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 14件	18,123	15,178	中小企業設備投資額	千円	260,000	280,000	167,400	59.8	産業振興課
							特許等出願支援補助金交付件数	件	10	11	8	72.7	産業振興課
							中小企業カーボンニュートラル推進事業補助金交付件数	件	10	15	14	93.3	産業振興課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
5	中小企業事業資金融資事業	中小企業等の経営の安定化を図る。	中小企業等が低利な融資を受けることができるよう、特定金融機関に一定の資金を無利子で預託する。 また、融資制度を活用した中小企業に対し、利子補給金を交付するとともに、神奈川県信用保証協会に支払った保証料に対し、補助金を交付する。	①特定金融機関に一定の資金を無利子で預託し、中小企業者に低利な融資を行った。 ・融資件数 348件 ②厚木市中小企業融資制度（事業資金（運転・一時）、経営近代化資金（運転）を除く）、神奈川県中小企業制度融資の創業支援融資、日本政策金融公庫取扱いの小規模事業者経営改善資金（マル経資金）を利用した市内中小企業が、金融機関へ支払った利子に対し、利子補給金を交付した。 ・交付件数 1,072件 ③厚木市中小企業融資制度、神奈川県創業支援融資を利用した市内の中小企業者が、神奈川県信用保証協会へ支払った保証料に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 317件	1,791,000	1,790,599	中小企業融資件数	件	285	320	348	100.0	産業振興課
							中小企業資金融資利子補給金交付件数	件	1,260	1,260	1,072	85.1	産業振興課
							中小企業信用保証料補助件数	件	252	360	317	88.1	産業振興課
6	中小企業等SDGs推進事業	SDGsの視点を踏まえた新製品や新技術の開発を支援することで、ステークホルダーである市内中小企業や大学等によるSDGs目標の達成に向けた取組の推進を図る。	あつぎSDGsパートナーに登録する中小企業等が進める新製品や新技術の開発に係る経費を補助する。	あつぎSDGsパートナーに登録する中小企業等に対し、新製品や新技術の開発に係る経費の一部を補助した。 ・交付件数 9件	30,385	21,427	中小企業等SDGs推進事業補助金の交付件数	件	1	10	9	90.0	産業振興課
③ 企業誘致の促進													
1	企業立地サポート事業	幹線道路整備による交通アクセスの優位性等をいかした企業誘致を促進し、雇用の創出や強い財政基盤の構築を図る。	市外企業の誘致及び市内企業の再投資を促進するため、企業立地活動の効果的な支援を行うとともに、「厚木市企業等の立地促進等に関する条例」に基づき、立地企業に対して立地奨励金の交付及び税制優遇措置の適用を行う。	①奨励措置を適用した。 ・適用件数 2件 ②各種奨励金を交付した。 ・企業立地奨励金 10件 ・戦略産業奨励金 1件 ・雇用奨励金 2件 ③企業等の立地促進等に関する条例に基づき奨励措置を適用した企業による市内への経済波及効果調査業務を実施した。	142,427	110,853	立地に伴う奨励措置の適用件数（累計）	件	12	13	15	100.0	産業振興課
④ 先端技術産業の推進													
1	ロボット産業推進事業	「さがみロボット産業特区」を活用し、先進的な技術を有しロボットの製造・開発を行っている市内企業等の紹介をするとともに、将来のロボット産業を担う人材育成やロボットの普及促進を図る。	市民がロボットを身近に親しめるイベント等を開催するとともに、あつぎものづくりブランドプロジェクト（ATSUMO）との協働により、次世代を担う子どもたちを対象としたロボット教育や市内企業等を対象に先端技術に関する講演会を実施する。 また、市内中小企業がロボット、IoT・AI等の先端技術を導入する際に要した経費の一部を補助する。	①ロボット関連産業等促進事業補助金を交付した。 ・交付件数 1件 ②ロボットの動作の実演や講義を通じて、ロボットに親しむ機会を提供し、ロボットの動く仕組みや扱い方について、正しい知識を身に着けるため、ロボットリテラシー事業を実施した。 ・参加者数 589人 ③市におけるロボット関連事業への支援、企業及び大学の取組を他市町村や企業等に広く周知し、本市のロボット関連事業を含めた魅力をPRするため、あつぎ生まれのロボット発信事業を実施した。 ④ロボットを始めとした先進技術に関する講演会に外部講師を招いて、市民を対象に実施した。 ⑤厚木市青少年発明コンクール入賞作品を具体化した試作品を製作・発表し、ものづくりの楽しさを実感していただき、理科や科学への興味や関心を向上させるため、ATSUMO発明実現プロジェクトを実施した。	3,040	1,578	ロボットリテラシー事業への参加者数	人	552	740	589	79.6	産業振興課
							ロボット関連補助金交付件数	人	3	4	1	25.0	産業振興課

(令和6年度実施事業)

4-5 安心して働くことができるまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
① 勤労者支援の充実													
1	就労対策事業	市内企業の人材確保、技術承継の推進を図る。 また、様々な求職者の状況に対応する相談や講座を実施することにより、就労（転職）のための情報やスキルを提供して就労の促進を図る。	就労のための情報やスキルを提供するセミナー等を実施するとともに、就職支援や賃上げ支援、勤労者等相談を実施する。 また、障がい者又は高齢者を1年以上常用雇用している中小企業者に対し、奨励金を交付する。 さらに、大学等在学中に利用した奨学金を返済している市内在住勤労者に対して助成金を交付する。	①障がい者又は高齢者を1年以上常用雇用している中小企業者に対し、奨励金を交付した。 ・障がい者雇用交付件数 38件 ・高齢者雇用交付件数 83件 ②市内在住かつ在勤の奨学金返還者に対し、奨学金返還の一部を補助する助成金を交付した。 ・勤労者奨学金交付件数 202件	42,466	33,786	高年齢者継続雇用奨励補助金交付件数	件	73	85	83	97.6	産業振興課
							障害者雇用奨励交付金交付件数	件	41	44	38	86.4	産業振興課
							勤労者奨学金返済助成金交付件数	件	150	160	202	100.0	産業振興課
2	技能振興事業	技能職団体等の活動を助成することにより、技能後継者の育成、優れた技能の継承を促進するとともに、技能職者の連携・地位向上を図る。	技能職団体の連携・地位向上を図るための活動及び職業訓練校に対し、補助金を交付する。 また、職人の技と伝統を伝え、若年者の職業選択の機会を拡大するため、市内外への広報活動を実施する。	①職業訓練校に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 1件 ②職人の技と伝統を伝え若年者の職業選択の機会を拡大するため、技能教室を開催した。 ・参加者数 31人	290	250	技能教室参加者満足度	％	83.9	100.0	93.5	93.5	産業振興課
② 勤労者の福利厚生支援													
1	中小企業勤労者助成事業	中小企業勤労者及びその家族のための福利厚生事業を推進するとともに、中小企業の振興及び安定した労働力の確保を図る。	（公財）厚木市勤労者福祉サービスセンターに対し、補助金を交付する。 また、（独法）勤労者退職金共済機構が実施する中小企業退職金共済又は厚木商工会議所が実施する特定退職金共済と共済契約を締結している中小企業者に対し、掛金の一部を補助する。	（公財）厚木市勤労者福祉サービスセンターに対し、補助金を交付した。	42,224	37,050	（公財）厚木市勤労者福祉サービスセンター加入会員数	人	4,951	5,200	4,815	92.6	産業振興課
							中小企業退職金等共済掛金補助金交付事業者数	社	97	110	93	84.5	産業振興課
2	勤労者貸付融資預託事業	市内在住勤労者の教育、生活及び住宅資金等臨時的資金需要への低利かつ円滑な貸付けを行い、勤労者の負担を軽減することで、生活の安定と向上を図る。 また、住宅資金を借り入れた場合の金利負担を軽減し、定住を促進する。	勤労者のための福祉金融機関である中央労働金庫に対し、貸付金の原資を預託する。 また、中央労働金庫から、市内に自己居住用の住宅を購入するために資金を借り入れた勤労者に対し、利子補給金を交付する。	勤労者の教育、生活及び住宅資金等臨時的資金需要への低利な融資を行った。 【融資件数】 ・勤労者生活資金 53件 ・勤労者住宅資金利子補給金 105件	201,922	201,216	勤労者生活資金融資件数	件	70	70	53	75.7	産業振興課

(令和6年度実施事業)

4-6 観光の振興

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（%）	
① 広域観光の推進													
1	広域連携観光推進事業	点在する観光資源を束ね、広域連携による観光プロモーションを行うことにより、回遊性や情報発信力を高め、観光地としての魅力を向上させ誘客の促進を図る。	近隣の自治体や観光協会、その他関係団体等と協働で該当エリア内の回遊性を高める事業を展開する。	①丹沢大山宣伝協議会負担金を支出し、協議会を運営した。 ②ガストロノミー・ツーリズム業務を厚木市観光協会に委託し、実施した。 ・ガストロノミーウオーク2024 参加者数 58人 ・“グルメグリ” 県央やまなみガストロノミー・ツーリズム	1,163	1,065	大山エリア（厚木市・伊勢原市・秦野市）の観光消費額（年間）	千円	21,792,730 （令和4年）	25,830,000	34,479,203	100.0	商業観光課
							宮ヶ瀬エリア（厚木市・愛川町・清川村）の観光消費額（年間）	千円	15,311,490 （令和4年）	18,420,000	27,793,203	100.0	商業観光課
② 観光資源の磨き上げの推進													
1	観光資源活性化事業	豊かな自然や温泉等の既存の観光資源を活用するとともに、新たな地域資源を創出することにより、地域の活性化を図る。	地域団体や事業者との協働により、地域資源を整備するとともに、新たな観光資源を創出する。	①地域と共同で地域資源を活用した花の里づくりを推進するため、花の育成に必要な消耗品を購入した。 ②地域の観光資源活性化を図るために、活動する団体に対し、費用の一部を補助した。 ・交付団体 2件 ③観光総合ガイドブック等の作成に対し、補助金を交付した。 ・交付団体 1件 ④観光地としての魅力づくりや集客アップを目的に鮎やホルモンを活用したイベントを実施した。	17,257	6,762	飯山・七沢地区の延べ観光客数（年間）	人	1,239,525 （令和4年）	1,316,000	999,059	75.9	商業観光課
2	受入環境整備事業	市内の観光施設や飲食店などの受入環境を整備することで、訪れた観光客の満足度向上を図り、リピーターを含む観光客拡大につなげる。	本市を訪れた観光客の満足度を向上させるため、受入環境整備に係る費用の一部を補助するほか、受入者のおもてなし意識の向上やスキルアップを図る事業を展開する。 また、観光客のニーズを調査し、求められているサービスを提供することで観光客の増加につなげる。	①外国人観光客の方が快適に過ごせるよう、外国語表記のパンフレットやメニューなどを作成する事業者に対し、補助金を交付した。 ・受入環境整備事業補助金 交付件数 5件 ②インバウンド観光を推進するため、ツーリズムEXPOジャパン2024へ出展し、観光事業者及び来場者に本市のPRを行った。	1,500	1,359	市内の延べ観光客数（年間）	人	2,487,409 （令和4年）	3,543,000	2,458,965	69.4	商業観光課
3	健康づくり村推進事業	地域における自然的特徴や文化、多様な人材の想像力などをいかした、市民協働による取組として「健康づくり村推進事業」を展開し、地域の活性化を図る。	本市の自然、文化、歴史等の観光資源を活用し、市民等の健康増進を目的とした事業を実施する団体等に対し補助金を交付する。 また、森林セラピーツアーの新たな展開や案内人のスキルアップを図るため、3年に一度、森林セラピー基地案内人の養成講座及び更新講座を実施する。	本市の自然、文化、歴史等の観光資源を活用し、市民等の健康増進を目的とした事業を実施する厚木市観光協会に対し補助金を交付した。 ・交付団体 1件 ・実施回数 森林セラピー 2回 健康づくり大学 3回	300	300	事業参加者満足度	%	100.0	100.0	100.0	100.0	商業観光課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
4	観光行事推進事業	魅力ある観光イベントを開催することで、市内への集客向上を促し、地域経済の活性化を図る。	あつぎ鮎まつりやあつぎ飯山桜まつり等、魅力ある観光イベントを開催するほか、活力ある地域づくりを担う地域観光まつり事業に対して補助金を交付する。	①あつぎ鮎まつりを2日間にわたって開催した。 ・来場者数 290,000人 ②あつぎ飯山桜まつりを9日間にわたって開催した。第60回記念事業としてしだれ桜の植樹を行ったほか、桜のライトアップ等のイベントを実施した。 ・来場者数 32,000人 ③地域観光まつりに対し、補助金を交付した。 ・交付件数 3件（厚木観光桜まつり、あつぎ七沢森のまつり、ローズガーデンフェスティバル）	100,400	100,150	観光消費額 (年間)	千円	14,454,002 (令和4年)	19,100,000	26,587,536	100.0	商業観光課
5	飯山白山森林公園桜の広場 周辺整備事業	本市の観光拠点である飯山白山森林公園桜の広場及びその周辺の機能を充実し、観光地としての魅力向上を図る。	桜の広場を中心とするエリアについて、観光拠点としての機能強化に資する基本構想に基づき整備を進める。	飯山白山森林公園桜の広場整備構想に基づき、整備対象範囲内にて4件の整備を行った。 ・白山ハイキングコース木道修繕 ・白山ハイキングコース木道設置ほか修繕 ・白山ハイキングコース案内看板修繕 ・白山ハイキングコース女坂擬木フェンス修繕	10,000	9,642	飯山白山森林公園桜の広場観光客数（年間）	人	446,000	490,700	395,656	80.6	商業観光課
③ 情報発信の充実													
1	観光プロモーション事業	本市の魅力となる地域資源や特性などを市内外へ広く紹介するほか、ターゲットを絞った効果的なプロモーションを展開することで、観光客の誘致拡大を図り、地域経済の活性化につなげる。	パンフレットの作成や各種メディア、SNSを活用した情報発信を展開するほか、マスコットキャラクターや本市の魅力ある食を認定したOECフードを積極的に活用したプロモーション活動を実施する。 さらに、大山・宮ヶ瀬を核とする本市の観光資源の良さを体験してもらうため、プロモーションを展開するなど、市内外に向け広く紹介する。	①ハイカー向け観光マップをリニューアルした。 ・作成部数 10,000部 ②観光プロモーションのツールとしてマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」を活用した啓発物品を作成するとともに、キャラクターイベントに出演し本市のPRを行った。 ・イベント出演件数 7件 ③本市の魅力となる優れた食を「あつぎ食ブランド」として認定した。 ・新規認定件数 1件 ④交流人口の増加を促すため、観光資源としてブラッシュアップした道標の位置を管理する「厚木市道標マップ」について、修正更新を行った。 ⑤厚木パーキングエリアヘリーフレットスタンドを設置し、丹沢・大山・宮ヶ瀬観光MAPを配架した。 ・配布部数：12,000部	3,937	2,473	厚木市観光協会ホームページのアクセス件数	件	1,739,600 (令和4年度)	1,836,300	2,086,794	100.0	商業観光課

(令和6年度実施事業)

4-7 シティプロモーションと定住促進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① シティプロモーションの推進													
1	交流の場創出事業	第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略に掲げる将来の目標人口の実現を目指し、20・30歳代を中心とした若い世代の転入・定住促進と合計特殊出生率の上昇を図る。	若い世代で構成する組織において、新たな出会いの場や交流の場を創出するための事業を検討・実施する。	①婚活ツアーを実施し、結婚を希望する市民の皆様に対し、出会いの場を提供した。 ②あつぎSDGsパートナーシンポジウム・交流会を開催し、学生と市内企業の交流の場を提供した。 ③eスポーツを通じた体験、イベント、交流会を開催し、新たな交流の場を提供した。	6,300	6,088	事業（出会いの場・交流の場）参加者の満足度	%	76.0	100.0	94.3	94.3	企画政策課
2	魅力発信事業	市民が誇りを感じ、全国から憧れを抱かれるまちの実現を目指し、本市の魅力や優れた施策を広くPRする。	ホームページの充実やPR動画の作成・発信、SNS広告など、インターネットやソーシャルメディアを効果的に活用し、本市の特長や魅力、施策等を市民はもとより、広く市外に発信する。	①PR映像を作成した。 ②SNS等広告事業を実施した。 ③市ホームページのトップページリニューアルを行った。 ④子育て、イベント、SDGs、市制70周年の特設サイトの運用を行った。 ⑤LINEを使った情報発信を行った。	40,285	27,861	公式SNSの利用登録者数	人	73,000	88,000	83,652	95.1	広報シティプロモーション課
							あつぎの魅力創造・交流事業において、「あつぎの魅力を感じることができた」と思う事業参加者の割合	%	98.4	100.0	100.0	100.0	広報シティプロモーション課
② 定住促進に向けた取組の推進													
1	定住促進住宅取得等支援事業	バランスの取れた人口構成の実現による若年世代から高齢者まで、互いに支え合えるまちづくりを目指すとともに20歳代、30歳代の転出超過に歯止めをかけるため、若年世帯の「転入促進」と「転出抑制」の二つの視点から効果的に若年世帯の定住促進を図る。	市内に居住する親世帯と近居又は同居するために市外から転入し、住宅を取得又は増改築する世帯及び市外から転入又は市内に居住し、新たに住宅を取得する子育て中の若年世帯に対し、住宅の取得費用等の一部を補助する。	①親元近居・同居住宅取得等支援事業により、住宅の取得に係る費用の一部を補助した。 ・申請件数 57件 ・転入者 171人 ②若年世帯住宅取得支援事業により、住宅の取得に係る費用の一部を補助した。 ・申請件数 209件 (743人) ・転入者 55件 (190人) ・転居者 146件 (521人) ・建替え 8件 (32人)	90,000	99,354	親元近居・同居住宅取得等支援事業による転入者数	人	130	130	171	100.0	住宅課
							若年世帯住宅取得支援事業による転入者数	人	180	190	190	100.0	住宅課
2	(再掲) 2-1 介護職人材確保支援事業	市内の介護・福祉指定事業所等が、介護・障がいサービスの利用者に対し、継続した質の高いサービスを提供するために、優れた人材の確保及び定着の促進を図る。	市内の介護保険指定事業所等への就業希望者等に対して事業所説明会等を実施するとともに、介護従事者の研修費、人材確保を目的とした求人情報紙等への掲載に要した経費及び雇用継続のための職場環境の整備等、事業所が実施する様々な施策について費用の一部を助成する。 また、介護福祉士等の資格保有者等で市内介護事業所等に就労する方を対象に、転入や復職等に対し、奨励助成金を交付する。	①市内の事業所等に就労する介護職等有資格者に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金 1件 ・転入奨励助成金 12件（介護10件、障がい2件） ・復職等奨励助成金 4件（介護3件、障がい1件） ②介護従事者の研修費用等を助成した。 ・研修支援事業助成金 105件（介護75件（うち初任者研修4件）、障がい30件（うち初任者研修2件）） ・人材確保及び育成支援補助金 115件（介護61件、障がい54件） ③事業所説明会（就職相談会）を実施した。 ・採用者数 13人	52,300	22,390	介護職等に就職した人数	人	43	48	35	72.9	介護福祉課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
3	(再掲) 2-2 幼稚園教諭確保助成事業	幼児教育・保育の無償化に伴う、教育・保育ニーズの増加・多様化に対応するため、幼児教育・保育に携わる人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立幼稚園に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して幼稚園教諭の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、幼稚園教諭有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。 また、新たな教育人材の確保を図るため、幼稚園等を設置する学校法人等に対し、幼稚園教諭等の雇用に係る費用の一部を補助する。	市内の私立幼稚園に就労する幼稚園教諭有資格者に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金 4件 ・転入奨励助成金 4件 ・復職等奨励助成金 0件	3,000	809	幼稚園教諭奨学金返済助成金支給者数	人	4	10	4	40.0	こども育成課
							幼稚園教諭転入奨励助成金支給者数	人	3	4	4	100.0	こども育成課
							幼稚園教諭復職等奨励助成金支給者数	人	2	4	0	0.0	こども育成課
4	(再掲) 2-2 保育士確保対策事業	待機児童ゼロを堅持するため、保育人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	「久保子どもの未来応援基金」を活用し、市内の私立保育施設に就職又は勤務する方を対象に、奨学金を利用して保育士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、保育士有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。また、保育士確保を推進するための就職相談会を実施する。	市内の私立保育所等に就労した潜在保育士等に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金 6件 ・転入奨励助成金 1件 ・復職等奨励助成金 3件	4,500	871	奨学金返済助成金支給者数	人	10	30	6	20.0	保育課
							転入奨励助成金支給者数	人	3	5	1	20.0	保育課
							復職等奨励助成金支給者数	人	4	5	3	60.0	保育課
5	(再掲) 2-3 看護職等人材確保支援事業	更なる高齢化の進展に伴う医療需要に対応するため、看護職（保健師、看護師、助産師、准看護師）及び歯科衛生士の人材の確保、定着及び離職防止を図るとともに、定住を促進する。	市内の医療機関に勤務する方を対象に、奨学金を利用して看護職又は歯科衛生士の資格を取得した方の奨学金の返済費用の一部を助成するほか、市外からの転入費用の一部を助成するとともに、看護職有資格者の復職等に対し、奨励助成金を交付する。	市内の医療機関に就労する看護職有資格者等に対し、助成金を交付した。 ・奨学金返済助成金 36件 ・転入奨励助成金 58件 ・復職等奨励助成金 6件	19,000	11,053	奨学金返済助成金支給者数	人	5	60	36	60.0	健康医療課
							転入奨励助成金支給者数	人	60	145	58	40.0	健康医療課
							復職等奨励助成金支給者数	人	5	10	6	60.0	健康医療課

(令和6年度実施事業)

4-8 農業・林業・水産業の振興

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 農地有効利用の推進													
1	新規就農者支援事業	農業従事者の高齢化や後継者不足等の課題解決及び都市農業の持続的な発展に向け、新規就農者の創出及び育成を図る。	次世代を担う農業者となることを志向するものに対して、独立・自営就農直後の経営確立を支援する資金を交付するとともに、就農後の営農定着を促進するため、新規就農支度金を交付する。	新たな担い手となる新規就農者に対して、マッチングや営農後の経営確立のための資金の交付などの支援及び育成を行った。	44,925	22,126	認定新規就農者数（累計）	人	38	42	41	97.6	農業政策課
2	農業担い手育成対策事業	本市農業の一層の推進を図るため、総合的な農業振興の調査・研究等を行うとともに、農業後継者や中心となる担い手の確保・育成を図る。	各農業関係団体、認定農業者及び農福連携に取り組む農業者を支援する。 また、市民に対する農業理解を深めるため、市民農園を運営する。	農業の後継者対策、都市農業の振興、新たな働き手の確保のため、担い手の確保と育成、農業振興の調査・研究、農福連携を推進した。	8,435	5,501	認定農業者数	人	69	71	76	100.0	農業政策課
3	農業経営基盤強化促進事業	農業者及び農業関係団体等を支援することにより、農業の担い手の経営改善を図る。	厚木市農業協同組合が実施する各種営農相談事業に対し、補助金を交付するとともに、農業者の高齢化や担い手不足を支援するため、農業機械の導入に対し、補助金を交付する。	①営農集団の農業機械導入を支援した。 ②厚木市農業協同組合生産組合長会の運営を支援した。 ③営農相談及び作目別講習会等の開催を支援した。 ④経営所得安定対策等の申請受付及びデータの取りまとめ等を行った。	7,961	7,561	営農指導・相談件数	件	3,800	3,800	2,189	57.6	農業政策課
4	農業振興地域整備計画事業	「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、県が指定した厚木市内の農業振興地域について、農用地の用途区分、農業生産基盤の整備等を柱として策定した「厚木市農業振興地域整備計画」を定期的に見直し、土地農業上の利用と他の利用との調整に留意しながら、集団化した優良農地を保全する。	農用地等の保全及び利用の状況等を把握するため基礎調査等を行い、「厚木市農業振興地域整備計画」を改定する。	農業振興地域整備計画を見直すに当たり、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、基礎調査を行った。	6,360	4,862	農業振興地域整備計画の改定	—	—	基礎調査	基礎調査	100.0	農業政策課
5	耕作放棄地再生利用事業	耕作放棄地を農地に再生し、新規就農者が中心となり作付けを行うことにより、農地の保全及び農業経営の安定化を図る。	耕作放棄地を再生する費用の一部を補助する。 また、再生した農地で使用する出荷調製用機械等について、導入する費用の一部を補助する。	①耕作放棄地を再生するための費用の一部を補助することで、耕作放棄地の縮減を図った。 ②再生した土地を新たな担い手が有効活用するための機械の一部の補助を行った。	1,529	1,094	耕作放棄地再生利用面積	ha	1.00	1.05	1.39	100.0	農業政策課
							小麦の作付面積	ha	4.85	5.33	3.74	70.2	農業政策課
6	農地有効利用促進事業	遊休農地を解消するとともに、発生を予防することにより、食料生産及び景観形成等の多面的な機能を持つ農地を保全する。	「農業経営基盤強化促進法」に基づく利用権設定者に対し、奨励金を交付するとともに、関係機関と連携し、経営規模拡大志向の認定農業者等に、利用権設定を斡旋することにより、担い手への農地の集積及び農地の有効利用を促進する。	農地の貸し手と借り手に対する農地流動化奨励金の交付により、経営規模の拡大を希望する農業者への農地の集積、遊休農地の発生防止と解消を図った。	10,350	8,728	利用権設定面積（総数）	ha	165	169	171	100.0	農業政策課
7	農業基盤整備事業	農道や農業水利施設（かんがい排水路及び取水堰等）の整備・改修を行うことにより、通行等の利便性の向上及び大型機械導入や農業用水管理が容易となり、労力の省力化が図られる等、農作業の効率化や生産性の向上を図る。	農業生産の基盤である農道、かんがい排水路及び取水堰の改修及び工事を実施する。	農道及びかんがい排水路の改修工事を実施した。	125,000	115,637	農道整備・改修路線数	路線	2	1	2	100.0	農業政策課
							農業水利施設整備・改修路線又は箇所数	路線（か所）	5	6	4	66.7	農業政策課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
② 地産地消の推進・6次産業化の推進													
1	地産地消推進事業	市民に新鮮で安心・安全な農畜産物を供給する場を提供するほか、農業まつりを通じて地場農産物を紹介するなど、地産地消の推進を図る。また、環境保全の効果が高い農業の取組を推進する。	各農産物直売所における直売所まつりの開催等に交付金を交付するほか、市民朝市や夕焼け市の開催及び農業まつりの開催支援等を行う。	厚木市民朝市や夕焼け市、各農産物直売所、直売所まつりの開催等に交付金等を支出し、支援を行った。	5,752	5,752	朝市来場者数	人	18,400	18,600	25,300	100.0	農業政策課
							夕焼け市来場者数	人	11,600	11,800	10,150	86.0	農業政策課
							農業まつり・直売所まつり来場者数	人	8,600	8,700	15,200	100.0	農業政策課
2	畜産経営支援対策事業	畜産経営者の労働力軽減と畜産管理技術の向上を期するとともに、経営の安定を図る。	悪臭等を防止するための環境対策を支援する。 また、家畜排せつ処理施設の整備導入を補助するほか、優良牛・優良種豚等の導入や家畜伝染病等の予防に対する補助及び労働力の軽減を図るための酪農ヘルパーの活用を支援する。	畜産農家への環境対策や優良牛・優良種豚の導入、家畜伝染病の予防、酪農ヘルパー等に対して補助金を支出し、営農継続を支援した。	10,429	10,102	畜産農家数	戸	12	12	11	91.7	農業政策課
							酪農ヘルパー利用回数	回	300	300	236	78.7	農業政策課
3	園芸振興対策事業	都市近郊としての有利性をいかした都市農業の確立を図るとともに、新鮮で安全な農産物を生産するため、機械や最新技術等の導入による経営の合理化と省力化を推進することにより、園芸作物の振興を図る。	高品質な花きを生産するための園芸施設・機械及び消費者ニーズに合った新品種・優良品種の導入を補助するとともに、フラワーアレンジ教室の開催及び市内公共施設へのフラワーポット植栽事業等に交付金を交付する。 また、野菜生産の省力化・品質向上・価格の安定化、及び果樹の品質向上のための施設整備等に対し補助金を交付する。	新品種及び優良品種の導入に対して補助を実施するとともに、フラワーアレンジ教室の開催やフラワーポット植栽事業に交付金を交付した。	11,564	10,845	園芸協会会員数	人	103	106	100	94.3	農業政策課
							花苗・野菜苗売上個数	個	197,000	170,000	170,000	100.0	農業政策課
4	農産物ブランド化推進事業	持続可能な「あつぎの農業」の実現に向けた取組として、厚木ブランドの農産物を育成・発展させていく必要があることから、厚木の新しい農産物ブランドとして育成するための調査・研究を実施し、市独自のブランド品開発等の推進を図る。	新たな農産物ブランド化事業に意欲的に取り組む事業実施者に対して支援を実施する。	農産物のブランド化事業に取り組む事業実施者に対し、交付金を交付した。	8,000	8,000	交付金交付件数	件	4	2	4	100.0	農業政策課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
③ 鳥獣被害対策の強化													
1	鳥獣等被害対策事業	有害鳥獣の捕獲及び追い払い等により、野生動物の農耕地等への侵入を防ぎ、被害を減少させ、農業経営の安定化を図る。	ニホンザルの追い払い、ニホンザル、ニホンジカの管理捕獲及び有害鳥獣の捕獲を実施するとともに、個人防護柵を設置する農業者等に対し、補助金を交付する。 また、ヤマビルが生息しにくい環境を整備するため、地域住民との協働により、草刈りや落ち葉かき等を実施する。	①「追い払い員」等によるニホンザルの監視を実施した（出没時：煙火、エアガン等による群れの追い払い対応） ・監視日数：359日 ②捕獲ワナ貸出による中型動物の捕獲（アライグマ、タヌキほか） ・捕獲頭数 150頭 ③人里側に生息するニホンジカ、イノシシの捕獲に対する「捕獲報奨金」を交付し、捕獲推進に努めた。 ・捕獲頭数 191頭 ④個人防護柵設置者に対し、補助金を交付した。 ・交付件数 22件 ⑤ヤマビル被害防除対策として、地域住民により「草刈り」「落葉かき」を実施した。また、希望する市民に対して「忌避剤」（木酢液）を配布した。 ・忌避剤配布本数 139本 ・参加者数 1,651人	39,384	39,384	有害鳥獣による農作物被害額減少率	%	91.7	95.4	80.7	84.6	農業政策課
							ヤマビル対策事業参加者数	人	1,718	1,900	1,651	86.9	農業政策課
④ 林業への支援													
1	林業振興事業	材木の健全な育成を促進し、森林の持つ公益的な機能を効率的に発揮させるとともに、林業の振興を図る。	枝打ちや除間伐を行う厚木市森林組合に対し、補助金を交付するとともに、高性能林業機械の導入及び間伐材搬出を支援する。 また、地元産木材の活用をPRする。	①材木の健全な成長を促進するため、人工林を対象に、枝打・除伐・間伐を行う方に対し、補助金を交付した。 ②森林整備の円滑な実施に向け、高性能林業機械（バックホーグラップル等）のレンタルや間伐材の搬出を行った。	28,335	25,032	枝打ち・除間伐対象面積	ha	4.0	3.0	4.0	100.0	農業政策課
							間伐材の搬出量	m3	2,408	2,000	1,674	83.7	農業政策課
⑤ 水産業の活性化													
1	浜の活力再生プラン推進事業	相模川・中津川の水産業等の活性化を図ることを目的とする「浜の活力再生プラン」に位置付けたアユの保護やアユを活用した6次産業化等の取組を、関係行政機関や関係漁業団体等と連携を図る。	水産業の活性化に向け、相模川の流域市町村及び内水面漁業関係者と連携し、漁業の生産性向上を支援していく。	内水面漁業関係者と協力して、相模川のアユの生態系調査等を実施するなど、漁業の生産性向上に努めた。	0	0	天然アユ遡上数	尾	8,000,000	8,000,000	10,000,000	100.0	農業政策課
							親アユの放流数	kg	800	800	800	100.0	農業政策課

(令和6年度実施事業)

5-1 地球温暖化対策の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 環境教育の推進と環境問題に対する意識啓発													
1	環境教育促進事業	将来に住みよいまちを残すため、環境保全の重要性等について市民の理解を深める。	環境教育を推進するため、厚木市環境教育推進プランに基づき環境学習講座を実施するとともに、「あつぎ環境フェア」を隔年で開催する。	①「昔の暮らしを体験しよう」を開催した。 ・開催時期 令和6年8月8日 ・参加者数 15人 ②環境学習講座「タケノコ王の環境セミナー!」を開催した。 ・開催時期 令和6年10月27日 ・参加者数 70人 ③環境学習講座「市内産の津久井在来大豆を使った味噌作り」を開催した。 ・開催時期 令和7年3月8日 ・参加者数 40人 ④14名のジュニアエコリーダーに講座を5回実施した。	704	535	環境学習講座の実施回数	回	87 (令和4年度)	90	78	86.7	環境政策課
							環境フェアで環境に対する理解が深まったと思う来場者の割合	%	88.2	—	—	—	環境政策課
② 再生可能エネルギーの導入推進													
1	カーボンニュートラル推進補助事業	カーボンニュートラル実現のため、再生可能エネルギーの導入を推進する。	再生可能エネルギーの導入等に係る経費に対し補助金を交付する。	①住宅省エネ設備導入促進奨励金を交付した。 ・住宅用太陽光発電システム 155件 ・住宅用蓄電池システム 159件 ・HEMS 55件 ・家庭用燃料電池 9件 ・太陽熱利用システム 1件 ②省エネ住宅導入促進奨励金を交付した。 ・ZEH住宅 13件 ・断熱窓改修 27件 ③事業所用省エネ設備導入促進補助金を交付した。 ・太陽光発電システム 5件 ・蓄電池システム 1件 ④電気自動車等導入奨励金を交付した。 ・電気自動車 37件 ・V2H 3件	158,900	105,022	補助により導入された太陽光発電装置の発電容量	kW	836	1,000	1,110	100.0	環境政策課
							省エネ住宅導入に対する補助金交付件数	件	9	10	13	100.0	環境政策課
							EV購入に対する補助金交付件数	件	75	80	37	46.3	環境政策課
③ 温室効果ガスの排出抑制													
1	カーボンニュートラル推進事業	カーボンニュートラル実現のため、温室効果ガスの排出抑制を推進する。	カーボンニュートラルプラットフォームの運営管理やカーボンニュートラルネットワークの運営を行う。 また、市の事務事業の実施により排出されるCO2を削減するため、公共施設へ太陽光発電及び蓄電池の設置並びに照明のLED化を進める。	①カーボンニュートラルプラットフォームを活用し、カーボンニュートラルへの普及・啓発を行った。 ・市内企業の取組記事を11件掲載した。 ②神奈中バスのデジタルサイネージを活用し補助金情報やイベント情報等の広報を行った。 ・放映期間:5月～3月(11か月間) ③公共施設から排出されるCO2を削減するため、太陽光発電及び蓄電池を設置するとともに照明のLED化を実施した。 ・太陽光発電を設置した施設数 17施設 ・蓄電池を設置した施設数 9施設 ・LED化を実施した施設数 84施設	640,133	865,676	カーボンニュートラルプラットフォーム年間PV数	件	40,000	44,000	56,137	100.0	環境政策課
							公共施設へ新規に設置した太陽光発電の容量	kW	—	500	425	85.0	環境政策課
2	E V ごみ収集車導入事業	「第5次厚木市環境基本計画」及び「厚木市地球温暖化対策実行計画」で掲げる脱炭素社会の推進のため、ごみの焼却により発電した電力を使用するE V ごみ収集車を導入、運用し、脱炭素社会の象徴として「2050年カーボンニュートラル」の浸透を図る。	「2050年カーボンニュートラル」を目指す市の立場を明確にするための先進的な取組として、ごみの焼却により発電した電力を使用するE V ごみ収集車を順次導入、運用する。	令和3年度及び令和5年度に導入したEVごみ収集車2台を運用し、ごみ収集業務を行った。	11,232	12,093	E V ごみ収集車導入台数(累計)	台	2	2	2	100.0	環境事業課

(令和6年度実施事業)

5-2 未来へつなげる循環型都市の実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 3Rの推進による家庭系ごみの減量化・資源化													
1	ごみ減量化・資源化推進事業	循環型社会の形成を図るため、ごみの減量化・資源化を推進する。	もえるごみの減量や資源物の適正な収集及び処理を行うほか、適正な分別の周知・啓発活動を実施するとともに、家庭系ごみの排出量が少ない自治体の調査・研究及びもえるごみの戸別収集の効果等を総合的に検討する。	①資源物の適正な収集及び処理を行い、ごみの減量化・資源化の推進に努めた。 ②自治会及び地域団体等に、ごみの減量化・資源化の推進に向けて広報あつぎ等で、広報啓発活動を実施した。 ③市内全戸にごみ分別周知リーフレットを配布し、ごみの減量化・資源化の推進に向け、周知啓発を行った。 ④家庭から出る生ごみの減量を推進するため、家庭用生ごみ処理機を購入した市民に対し、補助金の交付を実施した。	1,538,914	1,532,300	一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	g	87 (令和4年度)	392	389	100.0	環境事業課
							家庭から出るごみの資源化率	%	34.0	38.9	33.7	86.6	環境事業課
② 事業系ごみの更なる減量化・資源化													
1	事業系ごみ対策事業	事業系ごみのごみ集積所への不適正排出が多いため、事業系ごみの適正処理による減量化・資源化を図るとともに、事業者への啓発及び戸別訪問指導の強化による適正排出と分別の徹底を図る。	事業活動に伴って排出される事業系ごみの適正処理及び減量化・資源化を推進するため、一般廃棄物処理業（収集運搬・処分）の許可を行い、許可業者及び直接搬入する事業者が環境センターに搬入したごみを定期的に検査し、市内事業者に対して排出事業者としての自己処理責任の徹底を図るとともに、事業系ごみの分別徹底に係る啓発及び指導を実施する。	①事業系ごみの適正排出を促すため、多量排出事業者への指導や、集積所における不適正排出事業者への戸別訪問指導を実施した。 ②事業系ごみの分別徹底を図るため、環境センターへ搬入された事業系ごみの内容物検査を実施し、不適正排出事業者に指導を実施した。。	19,293	18,809	事業系ごみの減量化率	%	42.4	45.2	44.9	99.3	環境事業課
							事業系ごみの排出量	t	15,976	15,196	15,259	99.6	環境事業課
③ 安定的なごみ処理体制の確立													
1	厚木愛甲環境施設組合負担事業	厚木市、愛川町及び清川村の3市町村で構成する、ごみ処理広域化の実施主体である厚木愛甲環境施設組合の円滑な運営及び事業推進を図る。	厚木愛甲環境施設組合の運営に係る経費や施設建設に係る経費について、構成市町村が応分の負担割合で負担金を支出する。	厚木愛甲環境施設組合の運営に係る経費や施設建設に係る経費を支出することで、円滑な運営、事業推進を図った。	543,572	537,544	新ごみ中間処理施設整備の進捗状況	—	本体工事・附帯工事	本体工事・附帯工事	本体工事・附帯工事	100.0	環境事業課

(令和6年度実施事業)

5-3 自然との共生の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 多様な自然環境・生物多様性の保全と活用													
1	生物多様性あつぎ戦略推進事業	「生物多様性あつぎ戦略」に基づき、本市における生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を計画的に推進し、豊かな生物の多様性を保全する。	エコツアーやフォーラムなどの普及啓発事業を通じて、市民に生物多様性の重要性の理解を深めてもらうとともに、地域の生物多様性の状況を把握するため調査等を実施する。	①小学生と保護者を対象に環境エコツアーを開催した。 ・農大で生きものさがしをしてみよう 実施日 令和6年8月6日 参加者数 27人 ・外来生物駆除プロジェクト 実施日 令和6年8月17日 参加者数 16人 ・昆虫マンションをつくろう 実施日 令和7年1月18日 参加者数 32人 ②アミューあつぎで植物画講座を開催した。 実施日 令和6年8月21日、9月18日、10月23日 参加者数 延べ33人 ③アミューあつぎで第24回さがみ自然フォーラムを開催した。 実施日 令和7年2月6日～11日 参加者数 延べ1,100人 ④オオタカ及び厚木市レッドデータブックで絶滅危惧Ⅰ類に分類されている希少鳥類について、モニタリング調査を実施した。 ・調査回数 11日 ⑤アプリを使用した市民参加型生き物調査を実施した。 ・実施期間 令和6年8月1日～10月31日 ・参加者数 363人 ・投稿数 4,335投稿(1,428種類) ⑥あつぎこどもの森公園で動植物モニタリング調査(令和6年度対象種：鳥類)を実施した。 ・実施回数 12日	4,955	4,763	生物多様性の言葉の意味を知っている市民の割合	%	87 (令和4年度)	40.0	55.4	100.0	環境政策課
2	里地里山保全等促進事業	「厚木市里地里山保全等促進条例」に基づき、里地里山の保全・活用を図る。	里地里山の保全等を進めるため、活動団体や活動協定の認定及び活動支援を行う。	①活動団体との意見交換会を7月に開催し、現状や課題の把握に取り組んだ。また、市が認定する8団体に対して、補助金の交付や定期的なヒアリングなど活動支援を実施した。 ②市民等への里地里山保全活動の周知を図るとともに新たな活動参加者を広く募るため、タウンニュースによる広報活動を行った。 ③活動団体の会員減少や高齢化への対応を進めるため、大学連携による学生ボランティアを募り、団体と一緒に保全活動を行った。	5,516	5,097	七沢地区、荻野地区で里地里山保全活動にボランティアとして参加した延べ人数	人	300	310	285	91.9	環境政策課
							「里地里山の保全や活用が進んでいる」と思う市民の割合	%	25.6 (令和4年度)	42.0	27.8	66.2	環境政策課
② 森林再生の推進													
1	森林再生事業	水源のかん養、地球温暖化防止及び山地災害の防止など、森林の持つ公益的な機能を効率的に発揮させる。 また、森林への愛護意識の向上を促進する。	枝打ちや除間伐等、地域水源林エリアの森林整備を行う。 また、森林ボランティア活動への支援及び森林づくり実技等体験教室の実施や間伐材を有効利用し土産品の贈呈、市内小中学校に対し児童机天板等の交換事業を行う。	①地域水源林エリア内の森林の確保、除間伐等を実施した。 ・確保面積 2.68ha ・整備面積 11.98ha ②森林ボランティアによる広葉樹林等の手入れ、除草作業などの活動に対し、交付金を交付した。	43,375	42,489	地域水源林整備面積(2024～2026年度累計)	ha	32.2	11.0	12.0	100.0	農業政策課
							森林づくり実技等参加者数	人	150	150	147	98.0	農業政策課

(令和6年度実施事業)

5-4 緑豊かで美しいまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 緑豊かな公園緑地の整備													
1	公園緑地整備事業	市民の憩いと安らぎの場として、公園緑地の整備を推進する。	新規公園を整備するとともに、老朽化・機能低下している公園及び樹木により見通しの悪い公園等を安心して過ごすことができる公園として改修する。 また、健康増進やバリアフリー化等の市民ニーズに対応しながら整備を行う。	新規・既存公園の整備等を行った。 ・改修整備工事 7か所 ・新規公園実施設計 1か所	713,461	622,434	新規・既存公園整備箇所数	か所	87 (令和4年度)	8	8	100.0	公園緑地課
2	緑を豊かにする事業	花と緑あふれる住みよいまちとしての発展を図るとともに、緑の大切さについて意識向上を図る。	緑に触れ合い、親しみながら緑の大切さについての認識を深めることができるよう、緑のまつり等のイベントを開催する。	5月11日、12日の2日間、緑のまつりを開催し、ステージでのパフォーマンス、緑に親しもう教室、さつき等盆栽展、花き・野菜苗・植木等の即売会、樹木相談等の恒例の催しのほか、環境に配慮したモノづくりワークショップ、神奈中バス展示、出張ロマンスカーミュージアム、絵本読み聞かせ会を行い、緑を大切にする意識の啓発を行った。 ・来場者数 42,800人	5,100	5,100	緑を大切にする必要があると思うイベント参加者の割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	公園緑地課
3	(仮称)北部地区公園整備事業	平常時には、レクリエーション等を通じて市民のコミュニティや安らぎの場を提供し、災害時には、市民生活や都市機能の早期回復を図る一時避難場所や救援施設等防災拠点としての機能を担う公園を整備する。	北部地区における市民の憩いと安らぎの場、レクリエーションの拠点及び災害時における一時避難場所等の地域の防災拠点としての機能を担う地区公園を整備する。	①測量業務を行い、都市計画決定図書の作成、事業認可図書の作成を行った。 ②地元自治会や地権者向けの説明会を行い、今後のスケジュールについて説明を行った。	27,608	19,040	(仮称)北部地区公園整備の進捗状況	—	基本計画	測量等調査	測量等調査	100.0	公園緑地課
② 環境美化の推進													
1	まち美化推進事業	まちの環境美化の向上を図るとともに、良好な生活環境を確保する。	自治会やボランティアが行う美化清掃及び落書き消去の取組を支援する。 また、環境美化やマナー向上を図るため、市民や事業者との協働により、ポイ捨て防止や路上喫煙禁止に関する啓発活動を実施する。	①各地域の自治会やボランティア団体が行う地域美化清掃のごみ収集運搬を行った。 ・参加者数 19,264人(延べ188団体) ②年末に市内一斉の美化清掃を実施した。 ・参加者数 33,940人(213自治会) ③落書き消去・壁画制作については、依知南地区地域づくり推進委員会主催で、長坂の側道に壁画を制作した。 ・参加者数 87人(依知中学校美術部等) ④路上喫煙・ポイ捨てキャンペーンによる啓発活動を行った。 ・参加者数 127人(環境保全指導員)	13,064	12,191	地域美化清掃の実施件数	件	254	256	188	73.4	生活環境課
							路上喫煙・ポイ捨て防止キャンペーン、落書き防止対策活動参加者数	人	200	205	214	100.0	生活環境課
2	動物愛護管理推進事業	動物愛護精神の普及・啓発及び適正飼養を推進することにより、公衆衛生の向上を図る。	狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施するほか、猫不妊・去勢手術費用の一部を助成する。 また、関係機関と連携し、動物愛護精神の普及・啓発を図るキャンペーン等を実施する。	①動物愛護及び適正な飼養を図るため、猫の不妊・去勢手術費の一部を助成した。 ・助成件数 オス379匹、メス390匹 ②狂犬病の発生を予防するため、狂犬病予防法に基づき集合注射を実施した。 ・延べ登録頭数 11,724頭 ・注射頭数 8,703頭(うち集合注射実施頭数 1,154頭) ③小学生獣医師体験、動物愛護ポスター児童作品募集、犬のしつけ教室、ペット適正飼養講演会等を開催した。	9,505	6,041	動物愛護精神及び適正飼養の普及・啓発を図る事業への参加者数	人	1,200	1,250	1,171	93.7	生活環境課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
3	不法投棄防止対策事業	ごみの不法投棄を防止するとともに、不法投棄されにくい環境を整備し、良好な生活環境の確保を図る。	不法投棄を未然に防ぐ必要があることから、監視（防止）パトロールの実施や、不法投棄防止看板の設置を進める。また、不法投棄物に関しては、適正かつ速やかな処理を行う。	①不法投棄を防止するため、パトロールを実施するとともに、不法投棄防止看板を集積所等に設置した。 ②公共用地内の不法投棄物については、関係各課等と連携し、迅速かつ適正に処理した。	5,717	4,628	不法投棄件数	件	500	475	480	99.0	環境事業課

(令和6年度実施事業)

5-5 河川と共生するまちの実現

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 良好な河川環境の保全													
1	水質汚濁防止対策事業	河川等の公共用水域や地下水の水質の現状を把握するほか、工場・事業所からの排水を監視することにより、市民の健康を保護するとともに、生活環境を保全する。	相模川ほか3河川の水質常時監視調査を行う。 また、市内河川や水路等の水質調査、工場・事業所の排水、地下水の水質調査を行う。	①4河川の水質常時監視を行った。(24回採水・計測を実施) ②14河川及び水路の水質調査を行った。(94回採水・測定を実施) ③事業所の排水調査を行った。(9事業所10系統で採水・策定を実施)	17,224	14,319	BOD(生物化学的酸素要求量)の環境基準達成率	%	87 (令和4年度)	92.0	100.0	100.0	生活環境課
2	合併処理浄化槽普及促進事業	生活排水による水道原水の汚濁を防止し、水質の保全を図る。	公共下水道の整備予定区域外において、単独処理浄化槽又はくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換に対し、補助金を交付する。	単独処理浄化槽又はくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ転換した方に対し、補助金を交付した。 【補助金交付基数】 ・5人槽 28基(設置替27基、建替1基) ・7人槽 23基(設置替22基、建替1基)	79,583	55,672	合併処理浄化槽の補助金交付基数	基	75	75	51	68.0	生活環境課
3	公共下水道整備事業(汚水整備)【公共下水道事業会計】	生活排水の処理を適切に行うため、市街化調整区域における効率的な下水道整備を促進し、河川環境の保全及び生活環境の改善を図る。	市街化調整区域の下水道整備については、人口減少や社会情勢等の変化に応じ、安定した経営の範囲内において汚水処理整備計画を策定しており、この計画に基づき、令和3(2021)年度から効率的かつ計画的に整備を進めている。	三田地区において汚水管整備工事を1件実施した。	80,000	0	未普及地区の汚水処理整備の進捗状況	—	工事	工事	工事	100.0	河川下水道施設課
② 親しみやすい河川環境の整備													
1	河川学習事業	恩曾川に整備された親水広場や善明川を活用し、近隣小学校の児童による環境学習を実施する。	準用河川恩曾川にある2箇所の親水広場と善明川の親水広場を活用し、東京農業大学や、自然保護団体の協力を得て、近隣小学校の環境学習の中で、川の水生生物の観察、水質調査及び河川清掃などに取り組む。	親水広場を活用した環境学習を行った。 ・令和6年6月26日(水) 【参加者】毛利台小学校5年生73人、学生35人 【協力団体】自治会、生産組合、恩曾川をきれいにする会、PTA	123	65	親水広場を活用した環境学習の実施回数	回	3	3	1	33.3	河川下水道総務課

(令和6年度実施事業)

6-1 市民参加・市民協働の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
① 市民協働の推進													
1	市民活動推進事業	市民活動団体等を支援することにより、市民活動の充実及び活性化を図る。	市民活動団体等に対し、活動拠点や交流の場を提供するとともに、活動支援や人材育成を行う。	①ボランティア相談を実施した。 ・相談件数 9件 ② ボランティア講座を開催した。 ・講座開催回数 2回 ③ 市民活動補償制度を運用した。 ・対象事故件数 7件 ④ ボランティア団体及び市民活動団体に対し、補助金を交付した。 ・交付団体数 13団体	4,633	3,995	市民活動推進補助金の交付件数	件	10	10	13	100.0	市民協働推進課
2	市民対話事業	幅広い市民との対話を実施することにより、市民ニーズや地域課題等を的確に把握し、施策等へ反映させる。	幅広い年代や多様な立場の方々との対話を実施する。	あつぎタウンミーティングを開催した。 ・自治会 15回 ・農産物のブランド化に取り組む団体 1回 ・市内で活躍する若者 1回 ・出産を控えた夫婦 1回 ・あつぎ温泉郷関係者 1回 (計19回開催)	47	37	市民対話等要望対応率	％	79.8	87.8	82.8	94.3	広報シェイプレーション課
3	市民協働推進事業	「厚木市市民協働推進条例」に基づき、市民協働によるまちづくりを推進し、地域課題等の効果的な解決を図る。	「厚木市市民協働推進条例」に基づく施策及び取組を行うとともに、市民活動団体との協働により、地域課題の解決を目指す市民協働提案事業を実施する。	市民協働提案事業を実施した。 ・市民提案型事業実施件数 5件 ・行政提案型事業実施件数 0件 ・令和7年度実施事業採択件数 7事業	7,496	6,415	市民協働事業の事業数	件	346	347	537	100.0	市民協働推進課
4	SDGs推進事業	SDGsの理念である持続可能で多様性と包摂性のある「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に対して、分野横断的な取組を推進し、SDGsの達成を目指す。	地方創生SDGsを推進する地方創生推進プロジェクトが実施主体となり、市民や事業者等に対して、SDGsの取組を普及・啓発する。	①まちのコイン「アユモ」を運営した。 ②あつぎSDGsフェスティバルを実施した。 ③第3期あつぎSDGsパートナーを登録した。 ④厚木市版SDGsボードゲーム講座を実施した。 ⑤厚木市SDGs出前講座を実施した。	5,500	5,337	SDGs推進事業において、「SDGsへの理解度が進んだ」という事業参加者の割合	％	90.0	100.0	84.2	84.2	企画政策課
5	市制70周年記念事業	記念事業を実施することにより、令和7年2月1日に市制70周年を迎えるという大きな節目を市全体で祝うため、厚木市発展のために、これまでたゆまぬ挑戦を続けてきた70年の歩みを振り返り、先人が築いた業績を見つめ直すとともに、ふるさと「あつぎ」への愛着と誇りを深める機会とし、厚木愛があふれる新たなあつぎの実現につなげることを目的とする。	令和7年2月1日に市制施行70周年を迎えるに当たり、その喜びを本市に関わる全ての人が享受できるよう、市民、各種団体、企業及び行政の協働により市制70周年記念事業を実施する	令和7年2月1日から1年間実施する記念事業について検討を進めるとともに、市制70周年の機運を醸成するため、カウントダウン事業等の広報事業を実施した。 【実施した事業】 ・広報事業（カウントダウン、ラッピングバス制作） ・記念式典（2月1日） ・金澤翔子氏席上揮毫（2月1日） ・プロスポーツチーム応援キャラバン（2月15日） ・まちづくりフォーラム（3月8日）	23,253	21,979	記念事業の実施	—	—	実施	実施	100.0	企画政策課
② 地域コミュニティ活動の充実													
1	コミュニティ推進事業	地域の特性をいかし、活力ある地域づくりを目指した諸事業を展開する15地区地域づくり推進委員会を支援することにより、地域コミュニティ活動の充実を図る。 また、市民相互のふれあいや交流を深めるため、平成27（2015）年2月1日に宣言した「あつぎ市民ふれあい都市宣言」の周知・啓発を推進し、市民自治の確立を図る。	15地区地域づくり推進委員会に補助金を交付し、地域活動を支援する。 また、「あつぎ市民ふれあい都市宣言」を啓発する。	①市内15地区の地域づくり推進委員会に対し、補助金を交付した。 ②「あつぎ市民ふれあい都市宣言」については、啓発物品を作成し、各地区市民センターで配布した。	18,121	18,071	「自治会やボランティア等との協働により、よりよいまちづくりが進んでいる」という市民の割合	％	42.3 (令和4年度)	44.9	43.3	96.4	市民協働推進課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
2	地域集会施設建設費等補助事業	地域住民の福祉の向上の場となる地域集会施設の整備を支援することにより、自治会活動及び地域コミュニティ活動の充実を図る。	地域集会施設の新築、増改築及び修繕等に対し、補助金を交付する。	地域集会施設の新築等に対し、補助金を交付した。 ・増改築 1件 ・修繕 19件 ・借地・借家 13件 ・冷暖房 4件 ・LEDの設置 1件	13,820	11,229	自治会館数	館	131	131	129	98.5	市民協働推進課
③ 情報発信力の強化													
1	映像メディア活用事業	広報あつぎと連動し、市政や市民活動に関する情報について、映像を中心とした多様なメディアで発信することにより、市内外に向けて、分かりやすく、効果的な情報提供を行う。	動画コンテンツや広報番組を制作し、テレビやインターネットなどで放送するほか、テレビ番組やFM放送など各種メディアを活用し、効果的な情報発信を行う。	①ケーブルテレビで市広報番組を制作・放映し、YouTubeにも投稿した。 ②tvk情報番組「猫のひたいほどワイド」及びFMヨコハマ「ラブリーデー」の自治体情報コーナーで本市の取組をPRした。	19,919	19,566	映像メディアによる広報が効果的と感じた人の割合	%	83.0	83.5	69.9	83.7	広報シティプロモーション課

(令和6年度実施事業)

6-2 行財政改革の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
① 行政改革の推進													
1	総合計画策定事業	時代の変化に対応した行政運営を図り、将来を見据えたまちづくりを総合的かつ計画的に進める。	行政運営を総合的かつ計画的に進めるためのまちづくりの指針となる新たな総合計画を策定する。	「第11次厚木市総合計画」の策定に向け、ワークショップ等の実施や各種検討を行った。	7,575	864	総合計画の策定	－	－	検討	検討	100.0	企画政策課
2	行政改革推進事業	市民サービスの向上を目指し、「第7次厚木市行政改革大綱」に掲げる三つの重点目標「強くしなやかな組織をつくる」、「強い財政基盤を確立する」、「市民協働により公共サービスを向上させる」の実現に向けた取組を着実に推進する。 また、市の業務等の現状把握と見直しを行い、効果的・効率的な行政運営を推進する。	「第7次厚木市行政改革大綱」実施計画を着実に推進するとともに、効果的・効率的な行政運営を行うため、事務事業評価等を実施する。	①事務事業評価を実施し、事業の見直しを行った。 ・対象事業 317事業 ②業務の効率化及び生産性の向上を図るため、RPA及びAI-OCRの対象業務を拡大した。 ・RPA導入 23業務 ・AI-OCR導入 20業務	6,099	3,188	「社会環境の変化や市民ニーズに的確に対応した行政運営が行われている」と思う市民の割合	％	29.5 (令和4年度)	43.3	29.4	67.9	行政経営課
							第7次行政改革の推進度	％	87.3	100.0	85.4	85.4	行政経営課
3	まちづくり方針検討事業	少子高齢、人口減少等の社会情勢の変化に対応できる持続可能なまちづくりを実現する。	本市の将来都市構造を踏まえ、持続可能な経営基盤を確立するための方策を検討する。	合計特殊出生率上昇及び少子化対策におけるデジタル技術の活用を図るため、「令和6年度デジタル技術を活用した少子化対策支援業務委託」を実施し、本市の課題を踏まえた施策の方向性を検討した。	4,000	3,300	調査研究	－	実施	実施	実施	100.0	企画政策課
4	公衆無線LAN整備事業	市民や本市を訪れる方々が、気軽にインターネットに接続できる公衆無線LANサービス「Atsugi Free Wi-Fi」を広げ、更なる利便性の向上を図る。	災害時における避難者等への情報収集支援、公共施設を利用する市民等の利便性の向上の観点から、公衆無線LAN環境「Atsugi Free Wi-Fi」を市内公共施設に整備する。	市内2か所に無線LAN（Wi-Fi）を追加整備した。 整備エリア 文化会館：令和7年1月5日より運用開始 厚木北公民館：令和7年4月1日より運用開始	3,000	2,921	無線LAN（Wi-Fi）整備箇所数	か所	5	2	2	100.0	DX推進課
5	総合窓口整備事業	来庁者の利便性向上と業務の効率化を両立するため、各種の申請、届出の受付業務を集約し、原則ワンストップで受付処理する「総合窓口」を設置する。	将来的な総合窓口の開設及び運用を見据えて、関連手続を所管する担当課相互の連携強化や、各種申請書の作成支援による来庁者の負担軽減につながる市民窓口支援システムを活用し、誰でも利用しやすく、少ない手順で目的が達成できる窓口を実現する。	新庁舎移転に伴い運用を開始する「総合窓口」の整備に向けて、窓口所管課長等で組織する「総合窓口整備推進チーム」(3回開催)と関係各課係員で組織する「番号発券機等検討ワーキンググループ」(延べ9回開催)において検討を進めた。また、市民課、国保年金課の窓口において、「市民窓口支援システム」を活用した一部手続の「書かない窓口」を先行実施するとともに、国民健康保険の一部手続について代理受付を開始した。	8,247,000	8,246,810	市民窓口支援システムの構築の進捗状況	－	運用テスト	一部運用開始	一部運用開始	100.0	市民課

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率（％）	
③ 公共施設最適化の推進													
1	公共施設最適化推進事業	「厚木市公共施設最適化基本計画」及び「厚木市公共施設個別施設計画」に基づき、公共施設の維持管理等費用の軽減・平準化を図るため、施設の設置目的及び利用状況等を考慮しながら、公共施設のより効率的かつ効果的な適正配置を推進する。	公共施設のより効率的かつ効果的な維持管理・運営方法及び適正配置について検討する。 また、公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画を改定する。	厚木市公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画に基づき、対象となる事業の計画的な取組を推進した。 ・対象施設数 4施設	1,386	1,121	第1期短期再編プログラムの進捗率	％	－	33.3	33.3	100.0	行政経営課
							公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画の改定	－	－	－	－	－	行政経営課
2	本庁舎敷地跡地等活用推進事業	本庁舎移転後の敷地跡地について、本市のまちづくりにおける課題や役割等を総合的に踏まえた活用を図るほか、周辺エリア全体のにぎわいや価値の向上など本厚木駅周辺の歩いて楽しいまちの実現に寄与する。	本庁舎移転後の敷地跡地利用について、まちづくりにおける課題や役割等を総合的に踏まえた周辺エリアを含む今後の活用方法を示す基本計画を策定する。	①本庁舎移転後の敷地跡地利用について、「厚木市本庁舎敷地跡地等活用検討委員会」の審議内容を踏まえ、基本方針を策定した。 ②令和7年度以降審議するための附属機関「新たな交流拠点検討委員会」を設置した。	9,996	7,486	本庁舎敷地跡地利用の進捗状況	－	－	基本方針の策定	基本方針の策定	100.0	行政経営課
3	公共建築物長寿命化事業	「厚木市公共施設最適化基本計画」及び「厚木市公共施設個別施設計画」との整合を図りながら、長寿命化改修工事を実施し、各施設の長寿命化を図ることにより、今後の財政負担の軽減及び建築物の機能回復・機能向上を図る。	令和6（2024）年度から3年間の長寿命化事業を計画的に実施する。	厚木市公共施設最適化基本計画及び公共施設個別施設計画に基づき、予算化された公共施設の長寿命化改修工事等を実施した。 ・対象施設類型 小・中学校、公民館、児童館、老人憩の家、消防署所、生涯学習施設、市営住宅、庁舎等施設	634,635	607,940	長寿命化事業の実施件数	件	20	19	17	89.5	行政経営課

(令和6年度実施事業)

6-3 都市間連携の推進

No.	実施計画事業名	事業目的	事業概要	令和6年度 主な実績内容	令和6年度事業費		指標名	単位	現状値 令和5 (2023)年度	令和6年度事業指標			令和7年度 担当課
					当初予算額 (千円)	決算額 (千円)				令和6年度 目標値	令和6年度 実績値	令和6年度 達成率(%)	
① 広域連携の推進													
1	広域都市連携推進事業	周辺の自治体と共通する行政課題の多様化・専門化・広域化に対応するため、市域を越えた都市間の広域連携を推進する。	自治体相互の連携を図り、共通する行政課題の解決及び市民サービスの向上につながる取組を行う。 また、県央姉妹都市構想の推進を図るため、県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定に基づく取組を行う。	①県央相模川サミットを開催した。 ・相模川における水の事故防止に向けた取組について協議を行った。 ・リニア中央新幹線開通に伴う橋本駅周辺のまちづくりについて情報共有等を図った。 ②県央やまなみ協議会において、「県央やまなみ地域における広域連携強化に関する協定」に基づく取組を推進した。	0	0	都市間連携の実施件数	件	50	53	51	96.2	行政経営課
							県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定に基づく取組の実施件数	件	1	7	10	100.0	行政経営課
② 他都市との交流促進													
1	国内交流推進事業	国内友好都市との様々な分野での交流により、地域益や市民文化の向上を図るとともに、民間交流を促進する。	国内友好都市からの訪問団等の受入れ及び国内友好都市への訪問団等の派遣による市民交流のきっかけづくりを行うとともに、国内友好都市と交流を実施する市民団体に補助金を交付する。	①国内友好都市から訪問団を受け入れた。 ・網走市小学生訪問団 21人 ・糸満市戦争講和語り部招聘 2人 ・鮎まつり訪問団 4人 ・あつぎ国際大道芸訪問団 6人 ・市制70周年記念訪問団 6人 ②国内友好都市に訪問団を派遣した。 ・横手市行政視察訪問団 3人 ・横手市雪まつり代表訪問団 2人 ・網走市経済交流訪問団 3人 ・網走市流水まつり市民訪問団 16人	9,303	4,102	国内友好都市との交流活動件数	件	26	28	25	89.3	企画政策課

令和 7 年度
事務事業評価結果報告書

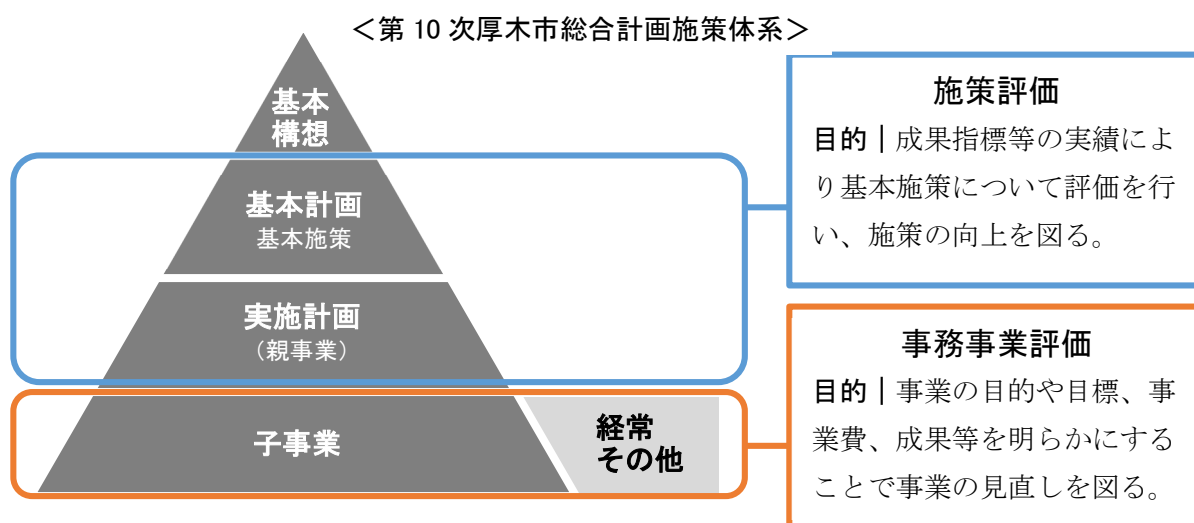
令和 7 年 10 月
厚木市

令和7年度事務事業評価の結果について

1 行政評価について

厚木市自治基本条例に基づき、行政運営を一定の基準に従い評価し、その結果を改善に結びつける行政評価を実施することで、効果的かつ効率的な行政運営を推進することを目的として、行政評価を実施しています。

本市の行政評価は、次のような体系となっています。



2 事務事業評価の実施について

人口減少や超高齢社会の進展などにより、今後の財政運営への影響が懸念される中、限られた財源をいかし、市長が掲げる「8つの政策」を始めとした新たな政策の実現及び質の高い行政サービスの提供を持続的に行っていくためには、各事業をゼロベースで点検・評価する必要があります。

そこで、令和5年度から全事業（約1,400事業）を対象とした「事務事業評価」を開始しました。

(1) 目的

次の5つの事項を目的として実施したものです。

- ア 質の高い行政サービスの提供
- イ 証拠（エビデンス）に基づく評価の導入
- ウ 効果的・効率的な行政運営の推進（総合計画や予算との連動）
- エ 職員の意識改革と能力向上
- オ 透明性と説明責任の確保

(2) 対象

経常経費事業及びその他経費事業の280事業を評価しました。

※令和5年度に総合計画事業（489事業）の評価を実施し、令和6年度と令和7年度の2か年で、経常経費事業及びその他経費事業の評価を実施することとしたものであり、令和6年度に評価を実施しなかった事業が対象です。

(3) 評価の視点

4つの視点（「必要性」、「有効性」、「効率性」、「公平性」）、11の評価項目から、事業の見直しを図るものです。

視点	評価項目		
必要性	① 社会的な要請	☐ 必要性がある ☐ 必要性が薄れている	事業の適合率
	② 対象者のニーズ	☐ 横ばい・増加する見込み ☐ 減少する見込み	
	③ 行政関与の必要性	☐ 民間等に移譲可能ではない ☐ 民間等に移譲可能	
	④ 廃止した場合の影響	☐ 影響がある ☐ 影響がない	
有効性	⑤ 指標の達成度・EBPMの考え方	☐ 達成 ☐ 未達成	事業の適合率 手法の適正率
	⑥ 目的への貢献（具体的な成果）	☐ 貢献できた ☐ 貢献できなかった	
	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 可能性がない ☐ 可能性がある	
効率性	⑧ 事業費（コスト）の削減	☐ 余地がない ☐ 余地がある	
	⑨ 人件費（業務時間・業務量）の改善	☐ 余地がない ☐ 余地がある	
公平性	⑩ 受益者負担の適正化	☐ なっている・対象外 ☐ なっていない	
	⑪ 制度の周知	☐ できている・対象外 ☐ できていない	

- ・事業の適合率…事業の必要性及び有効性の視点から、事業が社会環境やニーズに適合し、かつ目的に対し効果的であるかどうかを表すもの
- ・手法の適正率…事業の効率性及び公平性の視点から、事業の実施手法が最適化されているかどうかを表すもの

(4) 評価の流れ

ア 一次評価（評価者：所管課等長）

所管課等長は、所管係長及び担当職員が行った評価結果を踏まえ、事業の必要性和有効性の視点（事業の適合率）から、事業の方向性について、4つの区分（拡大・継続・縮小・廃止）で評価の上、効率性と公平性の視点（手法の適正率）から、事業の改善や見直し（現行どおりを含む。）を判定しました。

イ 二次評価（評価者：所管部等長）

所管部等長は、一次評価の結果を踏まえ、二次評価を実施しました。

※次長職がいる部等においては、所管部等長による二次評価の前に、一次評価の内容確認を次長職が行っています。

3 事務事業評価の結果について

(1) 評価結果

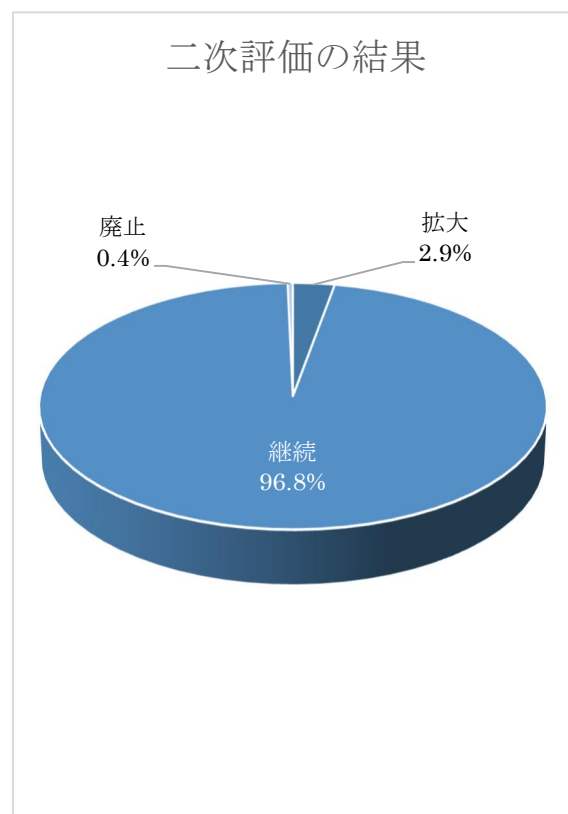
一次評価として、事業の所管課等長が事業の必要性と有効性の視点（事業の適合率）から、事業の方向性について、4つの区分（拡大・継続・縮小・廃止）で評価を実施しました。

また、一次評価の結果を踏まえ、所管部等長が二次評価を実施しました。

※二次評価の結果

評価区分	事業数
拡大	8
継続	271
縮小	0
廃止	1
合計	280

- 全事業の96.8%に当たる271事業が、「継続」と評価されました。
- 「拡大」、「廃止」と評価された事業は、令和8年度予算編成において今後の方向性を検討します。
- なお、「拡大」、「継続」と評価された事業であっても、予算を担保するものではありません。



評価の基準

拡大	実施内容・実施方法はおおむね現行のとおりとし、対象者や対象エリア、事業期間の拡大、翌年度予算の増額等の見直しが必要な事業等
継続	実施内容・実施方法に変更せずに実施することが適当な事業等
縮小	実施内容・実施方法は現行のとおりとし、対象者や対象エリア、事業期間の縮小、翌年度予算の減額等の見直しが必要な事業等
廃止 (統合・完了)	事業完了により終了する事業、他の事業と統合する事業、既に目的が達成されたと考えられる事業、目的が社会的情勢や対象者のニーズに合致していない事業等

評価の判定基準

事業の適合率(%)	評価の判定基準
80 以上	継続又は拡大
70 以上 80 未満	継続
60 以上 70 未満	継続又は縮小
60 未満	縮小又は廃止

「拡大」事業一覧（8事業）

事業 番号	所管課	事業名	適合率 (%)	一次 評価	二次 評価	R7当予算 (千円)	二次評価の概要
1	DX推進課	地域情報化推進事業費	100	継続	拡大	37,645	最新のデジタル技術の動向を把握し、更なる市民サービスの向上となる情報通信技術の活用を積極的に進めること。また、デジタルデバイス対応策にも配慮すること。
2	DX推進課	行政情報化推進事業費	100	継続	拡大	409,223	最新のデジタル技術の動向を把握し、一層の行政事務の迅速化、効率化を図ること。特に市民の利便性向上のため、「書かない窓口」「行かない市役所」の拡大を検討すること。また、多額の費用を要するため効果の見える化を行うこと。
3	行政総務課	行政総務事務経費	100	継続	拡大	27,525	障がい者雇用職場「すまいる」の安定的な運営と庁内請負い業務の拡大を図ること。
4	市民協働推進課	自治会連絡協議会補助金	100	継続	拡大	948	市から自治会への依頼事項に係る見直しを継続するとともに、加入率の向上に向け、ありとあらゆる対策を考え、実施すること。
5	スポーツ魅力創造課	全国スポーツ大会等補助金	100	拡大	拡大	550	補助対象を拡大するとともに、広く周知を行い、新たな大会を招致するなど、スポーツによる交流人口の拡大、地域経済の活性化を図ること。
6	スポーツ魅力創造課	スポーツ協会補助金	100	継続	拡大	62,510	スポーツ協会が担う事業等に係るヒアリングを行うとともに、今後の外郭団体の統合、事務移管も踏まえて進めること。
7	河川下水道施設課	河川維持補修事業費	93	継続	拡大	20,000	今後の施設の老朽化を踏まえ、予防保全型として施設の維持管理に努めること。
8	河川下水道施設課	排水路維持補修事業費	93	継続	拡大	30,000	今後の施設の老朽化を踏まえ、予防保全型として施設の維持管理に努めること。

「廃止」事業一覧（1事業）

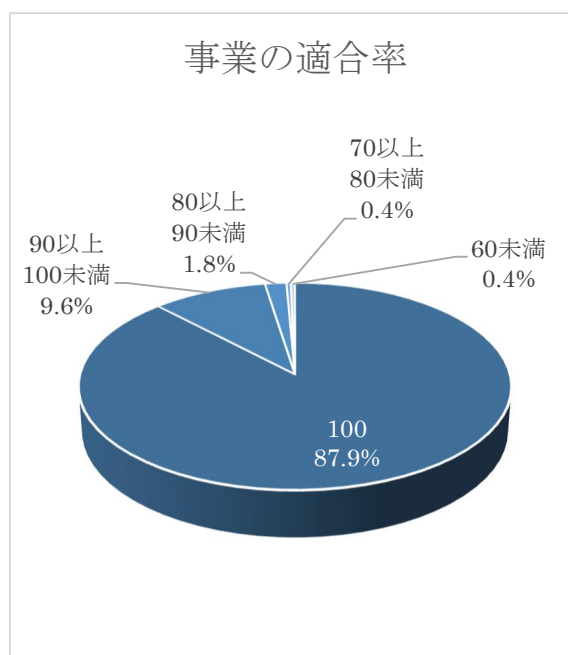
事業 番号	所管課	事業名	適合率 (%)	一次 評価	二次 評価	当初予算 (千円)	二次評価の概要
1	生涯学習課	七沢自然ふれあい センター事務経費	50	廃止	廃止	126	事業内容が七沢自然ふれあいセンター維持管理事業と重複しているため、令和8年度当初予算から七沢自然ふれあいセンター維持管理事業へ統合すること。

(2) 事業の適合率

事業の「必要性」及び「有効性」に係る 7つの評価項目により、事業の適合率を評価しました。

視点	評価項目	
必要性	① 社会的な要請	☐ 必要性がある ☐ 必要性が薄れている
	② 対象者のニーズ	☐ 横ばい・増加する見込み ☐ 減少する見込み
	③ 行政関与の必要性	☐ 民間等に移譲可能ではない ☐ 民間等に移譲可能
	④ 廃止した場合の影響	☐ 影響がある ☐ 影響がない
有効性	⑤ 指標の達成度・EBPM の考え方	☐ 達成 ☐ 未達成
	⑥ 目的への貢献 (具体的な成果)	☐ 貢献できた ☐ 貢献できなかった
	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 可能性がない ☐ 可能性がある

適合率(%)	事業数	判定基準
100	246	継続/拡大
90 以上 100 未満	27	
80 以上 90 未満	5	
70 以上 80 未満	1	継続
60 以上 70 未満	0	継続/縮小
60 未満	1	縮小/廃止
合 計	280	



- 全事業の 99.6%に当たる 279 事業が適合率 70%以上と評価されました。
- 適合率が 60%未満となった 1 事業については、今後の方向性を検討します。

適合率が 60%未満の事業（1 事業）

事業番号	所管課	事業名	適合率 (%)	一次評価	二次評価	今後の方向性
1	生涯学習課	七沢自然ふれあいセンター事務経費	50	廃止	廃止	事業内容が七沢自然ふれあいセンター維持管理事業と重複しているため、令和 8 年度当初予算から七沢自然ふれあいセンター維持管理事業へ統合すること。

(3) 手法の適正率

事業の「効率性」及び「公平性」に係る4つの評価項目により、事業実施手法の適正率を評価しました。

視点	評価項目	
効率性	⑧ 事業費（コスト）の削減	☐ 余地がない ☐ 余地がある
	⑨ 人件費（業務時間・業務量）の改善	☐ 余地がない ☐ 余地がある
公平性	⑩ 受益者負担の適正化	☐ なっている・対象外 ☐ なっていない
	⑪ 制度の周知	☐ できている・対象外 ☐ できていない

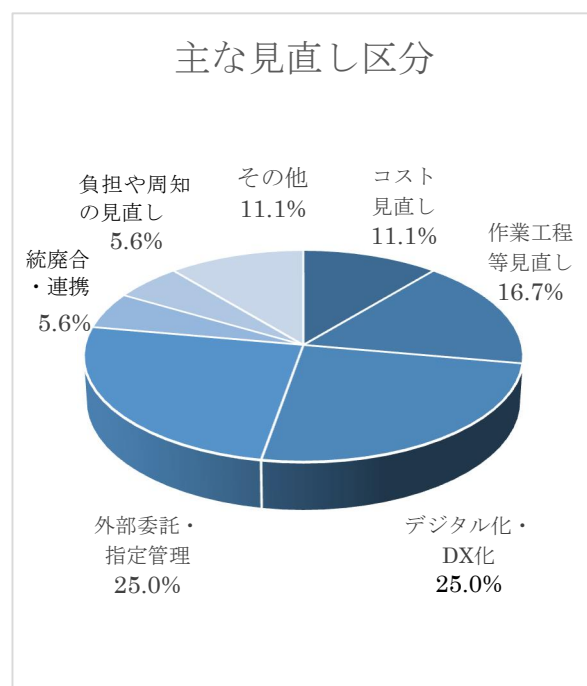
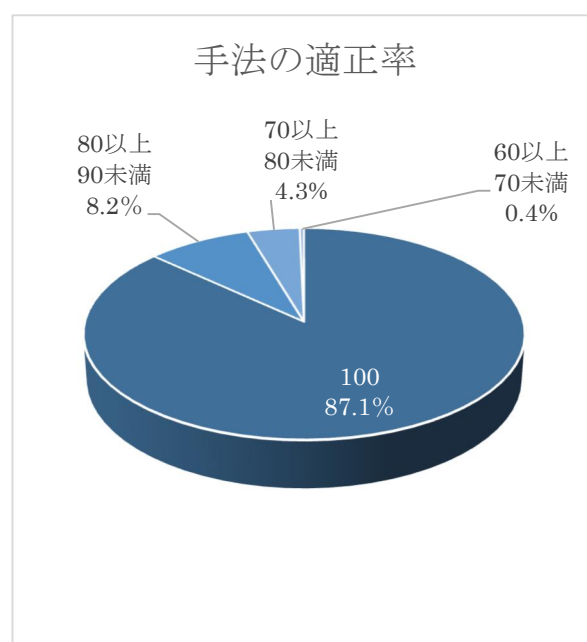
適正率(%)	事業数
100	243
90以上100未満	0
80以上90未満	23
70以上80未満	12
60以上70未満	1
60未満	0
合 計	279

※一次評価が「廃止」の1事業は対象外。

- 全事業の87.1%に当たる243事業が適正率100%と評価されました。
- 適正率が100%とならなかった事業については、より効率的で公平な行政サービスの実現に向け、各課等において実施方法等の見直しを図ります。

見直し区分	事業数
コスト見直し	4
作業工程等見直し	6
デジタル化・DX化	9
外部委託・指定管理	9
成果の向上	0
事業の統廃合・連携	2
負担や周知の見直し	2
その他	4
合 計	36

※手法の適正率が100%の243事業は対象外。

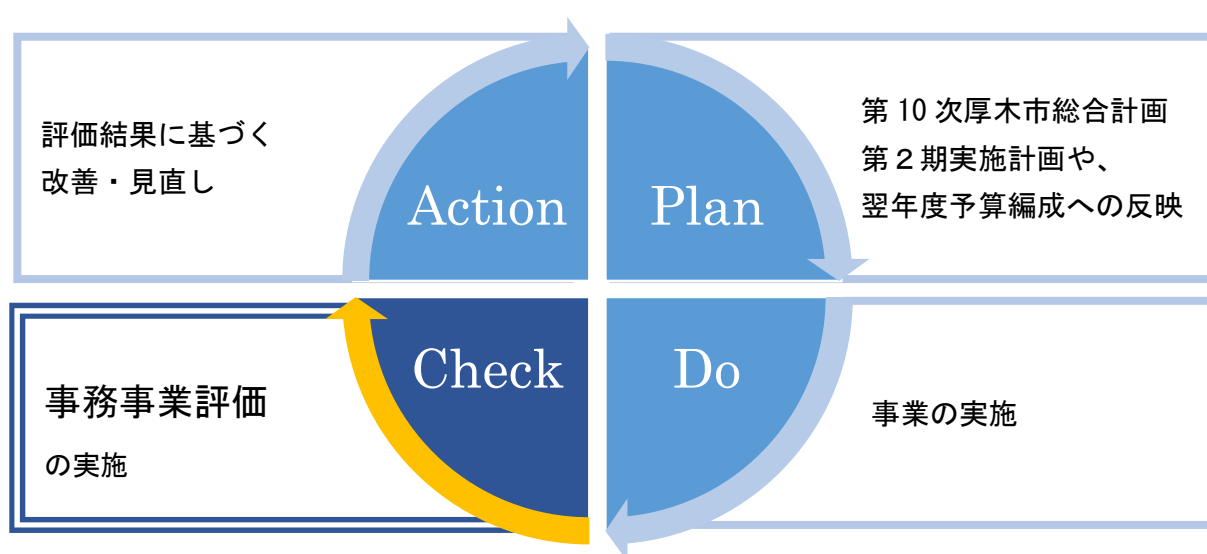


4 評価結果の活用

(1) 評価結果の活用

次期総合計画及び各個別計画策定の際の参考資料並びに部内での予算編成の基礎資料とするほか、課内での業務の見直しや改善に活用することで行政サービスの質の向上を図ります。

なお、事務事業評価は、事業見直しのためのツールであり、評価結果が「拡大」や「継続」であった事業についても、計画策定や予算編成に直結するものではありません。今後、事業の適合率が低い事業に係る継続の可否や、事業の適正率が100%にならなかった事業に係る実施手法の見直しをはじめ、企画政策課や財政課と連携し、評価結果を踏まえた事業の見直しを図ります。



(2) 結果の公表

評価結果は市ホームページで公表し、透明性と説明責任の確保に努めます。

令和7年度 事務事業評価結果一覧

番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
1	企画部	秘書課	表彰事務費	100	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
2	企画部	広報シティブロモーション課	デジタルサイネージ維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
3	企画部	広報シティブロモーション課	市民意識調査事業費	93	継続	88	要改善	その他	継続
4	企画部	危機管理課	急傾斜地崩壊対策事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
5	企画部	危機管理課	防災行政無線維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
6	企画部	危機管理課	危険ブロック塀等防災工事補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
7	企画部	危機管理課	防災情報システム事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
8	企画部	危機管理課	災害情報収集伝達システム運用事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
9	企画部	危機管理課	被災者支援システム運用事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
10	企画部	企画政策課	企画政策事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
11	企画部	DX推進課	地域情報化推進事業費	100	継続	75	要改善	作業工程等見直し	拡大
12	企画部	DX推進課	行政情報化推進事業費	100	継続	100	現行どおり		拡大
13	企画部	DX推進課	基幹系情報システム運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
14	総務部	職員課	公務災害補償事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
15	総務部	職員課	職員厚生会交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
16	総務部	職員課	職員研修事業費	93	継続	75	要改善	デジタル化・DX化	継続
17	総務部	行政総務課	弁護士経費	100	継続	100	現行どおり		継続
18	総務部	行政総務課	行政総務事務経費	100	継続	100	現行どおり		拡大
19	総務部	行政総務課	浄書印刷事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
20	総務部	行政総務課	庁舎資源再生事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
21	総務部	行政総務課	統計調査総務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
22	総務部	契約検査課	電子入札システム事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
23	総務部	契約検査課	工事検査事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
24	財務部	財政課	財政管理事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
25	財務部	財政課	キャッシュレス決済事務経費	100	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
26	財務部	財産管理課	財産維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
27	財務部	財産管理課	庁舎維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
28	財務部	財産管理課	庁舎維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
29	財務部	市民税課	税制事務費	100	継続	75	要改善	外部委託・指定管理	継続
30	財務部	収納課	市税徴収事務費（市税徴収事務費）	100	継続	100	現行どおり		継続
31	市民福祉部	福祉総合支援課	老人保護措置事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
32	市民福祉部	福祉総合支援課	高齢福祉事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続

令和7年度 事務事業評価結果一覧

番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
33	市民福祉部	福祉総合支援課	老人憩の家維持管理事業費	88	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
34	市民福祉部	福祉総合支援課	任意事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
35	市民福祉部	地域包括ケア推進課	福祉総合情報システム維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
36	市民福祉部	地域包括ケア推進課	戦没者追悼式開催事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
37	市民福祉部	地域包括ケア推進課	地区追悼式交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
38	市民福祉部	地域包括ケア推進課	被爆者の会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
39	市民福祉部	地域包括ケア推進課	緊急援護資金貸付金	100	継続	100	現行どおり		継続
40	市民福祉部	地域包括ケア推進課	福祉政策事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
41	市民福祉部	地域包括ケア推進課	民生委員児童委員協議会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
42	市民福祉部	地域包括ケア推進課	地域支援推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
43	市民福祉部	地域包括ケア推進課	災害見舞金支給等事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
44	市民福祉部	地域包括ケア推進課	介護予防・生活支援サービス事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
45	市民福祉部	地域包括ケア推進課	任意事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
46	市民福祉部	生活福祉課	中国残留邦人等支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
47	市民福祉部	生活福祉課	生活保護適正実施安定運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
48	市民福祉部	障がい福祉課	障害者居宅生活支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
49	市民福祉部	障がい福祉課	障害者日中活動支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
50	市民福祉部	障がい福祉課	高額障害者福祉サービス事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
51	市民福祉部	障がい福祉課	障害者自立支援医療給付事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
52	市民健康部	障がい福祉課	身体障害者福祉協会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
53	市民健康部	障がい福祉課	録音赤十字奉仕団補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
54	市民健康部	障がい福祉課	手話サークル「あゆの会」補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
55	市民健康部	障がい福祉課	視覚障害者協会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
56	市民健康部	障がい福祉課	手をつなぐ育成会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
57	市民健康部	障がい福祉課	精神保健福祉促進会「フレッシュ厚木」補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
58	市民福祉部	障がい福祉課	障害者地域生活サポート事業費	100	継続	88	要改善	その他	継続
59	市民福祉部	障がい福祉課	生きがいセンター維持管理事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
60	市民福祉部	介護福祉課	民間老人福祉施設整備借入償還金補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
61	市民福祉部	介護福祉課	社会福祉法人利用者負担助成金	100	継続	100	現行どおり		継続
62	市民福祉部	介護福祉課	地域密着型サービス等開設準備経費補助金消費税仕入控除税返還金	100	継続	100	現行どおり		継続
63	市民福祉部	介護福祉課	保険者共同処理経費	100	継続	100	現行どおり		継続
64	市民福祉部	介護福祉課	資格事務費	100	継続	100	現行どおり		継続

令和7年度 事務事業評価結果一覧

番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
65	市民福祉部	介護福祉課	認定調査経費	100	継続	75	要改善	デジタル化・DX化	継続
66	市民福祉部	介護福祉課	介護認定審査会運営費	100	継続	75	要改善	デジタル化・DX化	継続
67	市民福祉部	介護福祉課	審査・支払事務手数料	100	継続	100	現行どおり		継続
68	市民福祉部	介護福祉課	任意事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
69	市民福祉部	介護福祉課	地域密着型サービス等開設準備経費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
70	市民福祉部	市民課	連絡所運営事業費	100	継続	75	要改善	外部委託・指定管理	継続
71	市民福祉部	市民課	社会保障・税番号制度事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
72	市民福祉部	市民課（斎場）	斎場施設整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
73	市民福祉部	市民課（斎場）	斎場運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
74	市民福祉部	国保年金課	徴収事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
75	市民福祉部	国保年金課	共同処理経費	100	継続	100	現行どおり		継続
76	市民福祉部	国保年金課	資格事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
77	市民福祉部	国保年金課	賦課事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
78	市民福祉部	国保年金課	国民健康保険運営協議会運営費	100	継続	100	現行どおり		継続
79	市民福祉部	国保年金課	特定保健指導事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
80	健康子どもみらい部	こども育成課	企業の子育て支援推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
81	健康子どもみらい部	こども育成課	子育て支援推進事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
82	健康子どもみらい部	子育て給付課	児童福祉総務事務経費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
83	健康子どもみらい部	子育て給付課	児童手当事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
84	健康子どもみらい部	子育て給付課	母子生活支援施設等入所事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
85	健康子どもみらい部	保育課	保育所維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
86	健康子どもみらい部	保育課	保育所維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
87	健康子どもみらい部	保育課	保育教材等購入事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
88	健康子どもみらい部	保育課	一時預かり事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
89	健康子どもみらい部	保育課	保育所キャッシュレス決済事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
90	健康子どもみらい部	健康医療課	老人クラブ指導育成及び生きがい等推進事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
91	健康子どもみらい部	健康医療課	老人福祉センター維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
92	健康子どもみらい部	健康医療課	保健福祉センター運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
93	健康子どもみらい部	健康医療課	産科医師等分娩手当補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
94	健康子どもみらい部	健康医療課	食品衛生協会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
95	健康子どもみらい部	健康医療課	メジカルセンター維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
96	健康子どもみらい部	健康医療課	健康食育あつぎプラン推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続

令和7年度 事務事業評価結果一覧

番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
97	健康こどもみらい部	健康医療課	健康保健事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
98	健康こどもみらい部	健康医療課	骨髄ドナー支援事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
99	健康こどもみらい部	青少年課	児童館運営事業費	78	継続	75	要改善	外部委託・指定管理	継続
100	健康こどもみらい部	青少年課	青少年問題協議会運営費	100	継続	100	現行どおり		継続
101	健康こどもみらい部	青少年課	青少年健全育成大会開催事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
102	健康こどもみらい部	青少年課	地域青少年活動事業交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
103	健康こどもみらい部	青少年課	青少年指導員連絡協議会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
104	健康こどもみらい部	青少年課	青少年健全育成会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
105	健康こどもみらい部	青少年課	子ども会育成補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
106	健康こどもみらい部	青少年課	ボーイ・ガールスカウト育成補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
107	健康こどもみらい部	青少年課	青少年事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
108	健康こどもみらい部	青少年課	子ども科学館維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
109	健康こどもみらい部	青少年課	プラネタリウム事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
110	健康こどもみらい部	青少年課	シティプラザ維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
111	市民交流部	生涯学習課	生涯学習推進会議事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
112	市民交流部	生涯学習課	学習支援センター維持管理事業費	93	継続	63	要改善	負担や周知の見直し	継続
113	市民交流部	生涯学習課	七沢自然ふれあいセンター維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
114	市民交流部	生涯学習課	七沢自然ふれあいセンター事務経費	50	廃止	88	要改善	事業の統廃合・連携	廃止
115	市民交流部	生涯学習課	アミューあつぎ維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
116	市民交流部	市民協働推進課	自治会長研修視察補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
117	市民交流部	市民協働推進課	自治会連絡協議会補助金	100	継続	100	現行どおり		拡大
118	市民交流部	市民協働推進課	広報紙等印刷物配布事業費	100	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
119	市民交流部	市民協働推進課	市民協働事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
120	市民交流部	市民協働推進課	人権擁護委員会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
121	市民交流部	市民協働推進課	住宅新築等資金貸付管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
122	市民交流部	市民協働推進課	消費者行政推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
123	市民交流部	市民協働推進課	地域子ども教室運営事業交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
124	市民交流部	市民協働推進課	社会教育委員会会議運営費	100	継続	100	現行どおり		継続
125	市民交流部	市民協働推進課	公民館維持管理事業費（公民館維持管理事業費）	100	継続	100	現行どおり		継続
126	市民交流部	厚木南公民館・地区市民センター	公民館維持管理事業費（厚木南公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
127	市民交流部	依知南公民館・地区市民センター	公民館維持管理事業費（依知南公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
128	市民交流部	睦合南公民館・地区市民センター	公民館維持管理事業費（睦合南公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続

令和7年度 事務事業評価結果一覧

番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
129	市民交流部	荻野公民館・地区市民センター	公民館維持管理事業費（荻野公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
130	市民交流部	小鮎公民館・地区市民センター	公民館維持管理事業費（小鮎公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
131	市民交流部	南毛利公民館・地区市民センター	公民館維持管理事業費（南毛利公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
132	市民交流部	緑ヶ丘公民館・地区市民センター	公民館維持管理事業費（緑ヶ丘公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
133	市民交流部	森の里公民館・地区市民センター	公民館維持管理事業費（森の里公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
134	市民交流部	厚木北公民館・地区市民センター	公民館運営事業費（厚木北公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
135	市民交流部	依知北公民館・地区市民センター	公民館運営事業費（依知北公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
136	市民交流部	睦合北公民館・地区市民センター	公民館運営事業費（睦合北公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
137	市民交流部	睦合西公民館・地区市民センター	公民館運営事業費（睦合西公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
138	市民交流部	荻野公民館・地区市民センター	公民館運営事業費（上荻野分館）	100	継続	100	現行どおり		継続
139	市民交流部	玉川公民館・地区市民センター	公民館運営事業費（玉川公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
140	市民交流部	相川公民館・地区市民センター	公民館運営事業費（相川公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
141	市民交流部	愛甲公民館・地区市民センター	公民館運営事業費（愛甲公民館）	100	継続	100	現行どおり		継続
142	市民交流部	市民協働推進課	公民館維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
143	市民交流部	くらし交通安全課	交通安全事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
144	市民交流部	くらし交通安全課	見守りシステム維持管理事業費	93	継続	75	要改善	デジタル化・DX化	継続
145	市民交流部	くらし交通安全課	防犯協会交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
146	市民交流部	くらし交通安全課	防犯活動事業費	100	継続	75	要改善	コスト見直し	継続
147	市民交流部	くらし交通安全課	防犯灯維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
148	市民交流部	くらし交通安全課	次世代防犯活動促進事業費	100	継続	75	要改善	負担や周知の見直し	継続
149	市民交流部	中央図書館	資料整備事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
150	市民交流部	中央図書館	大学図書館・公民館図書室等ネットワーク事業費	93	継続	88	要改善	その他	継続
151	市民交流部	中央図書館	子ども読書活動推進事業費	85	継続	100	現行どおり		継続
152	産業文化スポーツ部	商業観光課	商店街共同施設補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
153	産業文化スポーツ部	商業観光課	観光施設維持管理事業費	100	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
154	産業文化スポーツ部	商業観光課	観光案内事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
155	産業文化スポーツ部	商業観光課	魅力あふれる観光地形成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
156	産業文化スポーツ部	産業振興課	働く者の祭典補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
157	産業文化スポーツ部	産業振興課	松川サク工業振興基金事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
158	産業文化スポーツ部	文化魅力創造課	文化会館維持補修事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
159	産業文化スポーツ部	文化魅力創造課	文化振興財団補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
160	産業文化スポーツ部	文化魅力創造課	文化協会事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続

令和7年度 事務事業評価結果一覧

番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
161	産業文化スポーツ部	文化魅力創造課	文化財事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
162	産業文化スポーツ部	文化魅力創造課	遺跡・史跡公園事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
163	産業文化スポーツ部	文化魅力創造課	指定文化財保存修理等補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
164	産業文化スポーツ部	文化魅力創造課	郷土芸能伝承補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
165	産業文化スポーツ部	文化魅力創造課	あつぎ郷土博物館維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
166	産業文化スポーツ部	文化魅力創造課	古民家岸邸運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
167	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	全国スポーツ大会等補助金	100	拡大	100	現行どおり		拡大
168	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	スポーツ協会補助金	100	継続	100	現行どおり		拡大
169	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	スポーツ少年団連絡協議会補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
170	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	スポーツ交流事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
171	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	学校体育施設開放費	100	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
172	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	体育施設維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
173	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	及川球技場維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
174	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	南毛利スポーツセンター維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
175	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	猿ヶ島スポーツセンター維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
176	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	玉川野球場維持管理事業費	100	継続	88	要改善	コスト見直し	継続
177	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	東町スポーツセンター維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
178	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	体育施設事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
179	産業文化スポーツ部	スポーツ魅力創造課	南毛利スポーツセンター維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
180	環境農政部	環境政策課	再生可能エネルギー機器維持管理事業費	85	拡大	100	現行どおり		継続
181	環境農政部	環境事業課	金田地区環境保全委員会交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
182	環境農政部	環境事業課	環境センター維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
183	環境農政部	環境事業課	集積所環境整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
184	環境農政部	環境事業課	粗大ごみ収集管理システム運営事業費	100	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
185	環境農政部	環境事業課	上古沢環境整備委員会交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
186	環境農政部	環境事業課	資源化センター維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
187	環境農政部	環境事業課	金田地区施設整備等補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
188	環境農政部	生活環境課	生活環境対策事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
189	環境農政部	生活環境課	臭気調査事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
190	環境農政部	生活環境課	公害事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
191	環境農政部	生活環境課	衛生プラント維持補修事業費	100	継続	88	要改善	その他	継続
192	環境農政部	生活環境課	衛生プラント維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続

令和7年度 事務事業評価結果一覧

番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
193	環境農政部	生活環境課	公衆トイレ維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
194	環境農政部	生活環境課	地盤沈下調査事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
195	環境農政部	農業政策課	厚木市都市農業支援センター運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
196	環境農政部	農業政策課	農業施策事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
197	環境農政部	農業政策課	施設園芸加温燃料支援事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
198	環境農政部	農業政策課	農業用水揚水施設電気料金補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
199	環境農政部	農業政策課	道水路等維持補修事業	100	継続	100	現行どおり		継続
200	環境農政部	農業政策課	林道維持管理事業	100	継続	100	現行どおり		継続
201	都市みらい部	都市計画課	屋外広告物事務費	100	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
202	都市みらい部	都市計画課	都市計画事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
203	都市みらい部	都市計画課	都市サイン維持管理事業費	88	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
204	都市みらい部	都市計画課	開発紛争調整実施事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
205	都市みらい部	公園緑地課	緑地保全事業費	100	継続	88	要改善	作業工程等見直し	継続
206	都市みらい部	公園緑地課	みどりの育成事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
207	都市みらい部	公園緑地課	緑を豊かにする審議会運営費	100	継続	100	現行どおり		継続
208	都市みらい部	公園緑地課	内陸工業団地緑地帯維持管理事業補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
209	都市みらい部	公園緑地課	運動公園維持管理事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
210	都市みらい部	公園緑地課	ぼうさいの丘公園維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
211	都市みらい部	市街地整備課	市街地整備推進事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
212	都市みらい部	住宅課	市営住宅維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
213	都市みらい部	住宅課	空き家等対策計画推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
214	都市みらい部	建築指導課	マンション耐震事業費補助金	93	継続	100	現行どおり		継続
215	都市みらい部	開発指導課	住居表示推進事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
216	都市みらい部	開発指導課	旅館等建築審議会運営費	100	継続	100	現行どおり		継続
217	都市みらい部	開発指導課	開発許可事務費	100	継続	88	要改善	デジタル化・DX化	継続
218	都市インフラ整備部	道路総務課	道路境界管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
219	都市インフラ整備部	道路総務課	道路管理事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
220	都市インフラ整備部	道路総務課	高規格道路整備促進事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
221	都市インフラ整備部	道路整備課 道路用地担当	厚木環状2号線用地取得事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
222	都市インフラ整備部	道路維持課	道路里親制度事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
223	都市インフラ整備部	道路維持課	私道整備助成金	100	継続	100	現行どおり		継続
224	都市インフラ整備部	河川下水道総務課	河川愛護事業費	100	継続	100	現行どおり		継続

令和7年度 事務事業評価結果一覧

番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
225	都市インフラ整備部	河川下水道総務課	水路敷管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
226	都市インフラ整備部	河川下水道施設課	河川維持補修事業費	93	継続	100	現行どおり		拡大
227	都市インフラ整備部	河川下水道施設課	排水路整備事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
228	都市インフラ整備部	河川下水道施設課	排水路維持補修事業費	93	継続	100	現行どおり		拡大
229	都市インフラ整備部	河川下水道施設課	普通河川改修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
230	消防本部	消防総務課	消防庁舎維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
231	消防本部	消防総務課	消防職員研修事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
232	消防本部	消防総務課	消防団運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
233	消防本部	消防総務課	古式消防保存会活動交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
234	消防本部	消防総務課	消防団施設維持補修事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
235	消防本部	警防課	警防事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
236	消防本部	警防課	消防団警防活動事業費	95	継続	88	要改善	事業の統廃合・連携	継続
237	消防本部	警防課	消防水利整備経費	100	継続	100	現行どおり		継続
238	消防本部	指令課	消防救急無線の広域化・共同化事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
239	消防本部	予防課	消防団火災予防経費	100	継続	100	現行どおり		継続
240	消防本部	管理課	消防車両維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
241	消防本部	管理課	消防団警防活動事業費	88	継続	100	現行どおり		継続
242	消防本部	管理課	消防団消防車両維持管理事業費	95	継続	100	現行どおり		継続
243	教育部	教育総務課	教育委員会表彰事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
244	教育部	教育総務課	コミュニティ・スクール推進事業費	100	継続	75	要改善	作業工程等見直し	継続
245	教育部	教育総務課	小学校運営事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
246	教育部	教育総務課	中学校運営事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
247	教育部	教育総務課	小学校特別支援学級設備整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
248	教育部	教育総務課	中学校理科教育設備整備等事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
249	教育部	教育総務課	厚木ユネスコ協会育成補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
250	教育部	学校施設課	スクールアシスタント事業費	95	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
251	教育部	学校施設課	小学校維持補修事業費	100	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
252	教育部	学校施設課	中学校維持補修事業費	100	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
253	教育部	教職員課	厚木・愛甲教職員厚生会交付金	100	継続	100	現行どおり		継続
254	教育部	学務課	学校事故見舞金	93	継続	100	現行どおり		継続
255	教育部	学務課	教科書等配付事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
256	教育部	学務課	学務事業費	93	継続	100	現行どおり		継続

令和7年度 事務事業評価結果一覧

番号	部等名	課等名	事業名（子事業）	適合率（%）	1次評価	適正率（%）	見直し判定	主な見直し区分	2次評価
257	教育部	学務課	健康診断事業費	93	継続	100	現行どおり		継続
258	教育部	学務課	要保護及び準要保護児童医療費等経費	93	継続	100	現行どおり		継続
259	教育部	学務課	保健室整備運営費	100	継続	100	現行どおり		継続
260	教育部	学務課	生徒安全経費	100	継続	100	現行どおり		継続
261	教育部	教育指導課	こどもアート展事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
262	教育部	教育指導課	学校司書配置事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
263	教育部	教育指導課	中学校夜間学級運営負担金	100	継続	100	現行どおり		継続
264	教育部	教育指導課	部活動指導員配置事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
265	教育部	教育指導課	関東・全国大会等派遣費補助金	100	継続	100	現行どおり		継続
266	教育部	学校給食課	単独調理場維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
267	教育部	学校給食課	単独調理場運営事業費	100	継続	88	要改善	外部委託・指定管理	継続
268	教育部	学校給食課	小学校給食調理経費	100	継続	100	現行どおり		継続
269	教育部	学校給食課	南部学校給食センター運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
270	教育部	学校給食課	南部学校給食センター事務費	100	継続	100	現行どおり		継続
271	教育部	学校給食課	中学校給食事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
272	教育部	学校給食課	北部学校給食センター維持管理事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
273	教育部	教育研究所	教育研究所運営事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
274	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
275	選挙管理委員会事務局	選挙管理委員会事務局	参議院議員通常選挙執行費	100	継続	100	現行どおり		継続
276	監査事務局	監査事務局	監査事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続
277	農業委員会事務局	農業委員会事務局	農地調査・農地基本台帳整備事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
278	農業委員会事務局	農業委員会事務局	農業者年金事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
279	議会事務局	議会総務課	友好交流事業費	100	継続	100	現行どおり		継続
280	議会事務局	議会総務課	議会事務経費	100	継続	100	現行どおり		継続

令和7年度 事務事業評価シート

1 基礎情報												
事業名 (子事業名)						所属部等		事業番号				
予算区分						所属課等		課長名				
予算科目	会計	款	項	目	親事業		子事業		所属係等		担当者名	

2 計画 (Plan)											
総合計画体系	基本政策		自動表示					事業区分 ☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 補助金等交付事業 ☐ 協議会等の負担金 ☐ その他の事業	令和7年度予算現額の内訳		
	基本施策		自動表示						項目(節)	金額(千円)	
	単位施策		自動表示								
事業の期間	☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)										
事業概要									根拠法令等		
									合計	0	
目的 (対象 誰を・何を)					意図 (どうしたいか)						
手段 (どうやって)											

現状把握・実施 (Do) へ

3 現状把握・実施 (Do)									
(1) 事業費・指標の推移					単位	令和5年度 (決算実績)	令和6年度 (決算見込)	令和7年度 (予算現額)	令和8年度 (予算見込)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円					
	事業費計 (A)			千円	0	0	0	0	
	人件費	正規職員	業務に必要な人工	人					
			延べ業務時間 (年)	時間					
平均人件費 (年)			千円	8,646	8,884	8,884	8,884		
人件費計 (B)			千円	0	0	0	0		
(A) + (B)			千円	0	0	0	0		
対象数の推移	方向								
活動指標 (経常・その他)	方向		目標 実績						
成果指標 (総合計画)	方向		目標 実績						

(2) この事務事業の背景・市民意見等									
①	・関係者(市民、地域、協働の担い手、民間事業者、議会等)からどのような意見や要望が寄せられているか?								
②	・直近3か年以内に実施した改善や見直し等の内容は?(監査等からの指摘事項を含む。)								
③	・事業の対象者への周知方法は? (複数回答可)				☐ 広報あつぎ	☐ 市ホームページ	☐ 公民館だより	☐ ポスター・チラシ	☐ SNS
					☐ その他 ()				
④	・他市の状況は?(県内や類似団体との比較)								

4 評価 (Check)

必要性	① 社会的な要請 ・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現在の社会・経済問題として対応する必要があるか？	☐ 必要性は薄れている (A) ☒ 必要性がある (B)		理由	
	② 対象者のニーズ ・対象者のニーズや利用者の需要・要望は増えているか？	☐ 減少する見込み (A) ☒ 横ばい・増加する見込み (B)		理由	
	③ 行政関与の必要性 ・この事業は、行政が実施する必要があるか？民間やNPOなどでも実施可能か？	☐ 可能である (A) ☒ 可能ではない (B)		理由	
	④ 廃止した場合の影響 ・この事業を廃止した場合、どのような影響があるのか？	☐ 影響がない (A) ☒ 影響がある (B)		内容	
有効性	⑤ 指標の達成度・EBPM※1の考え方 ・指標の目標値は達成できたか？達成できなかった場合、その理由は何か？ ・指標や目標値の設定根拠は？ (エビデンスに基づく合理的な根拠)	☐ 未達成 (A) ☒ 達成 (B) 達成率 R6活動指標 % R6成果指標 %		理由	指標の根拠
	⑥ 目的への貢献 (具体的な成果) ・この事業は、意図した目的に貢献できたか。貢献できなかった場合、その理由は何か？ ・具体的な成果の内容は？	☐ 貢献できなかった (A) ☒ 貢献できた (B)		理由	成果
	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃合・連携はできるか？	☐ 可能性がある (A) ☒ 可能性がない (B)		理由	
効率性	⑧ 費用対効果の向上 ・随意契約から入札への変更、デジタル化・DX、外部委託、指定管理者制度、PFS/SIB※2等により、事業費の削減・費用対効果の向上は可能か？	☐ 余地がある (A) ☒ 余地がない (B)		理由	
	⑨ 業務効率化 (業務時間・業務量の改善) ・作業の見直しや業務改善、デジタル化・DX、外部委託、指定管理者制度等により、業務の効率化は可能か？	☐ 余地がある (A) ☒ 余地がない (B)		理由	
公平性	⑩ 受益者負担の適正化 ・受益者負担は公平・公正になっているか？	☐ なっていない (A) ☒ なっている・受益者負担には該当しない (B)		理由	
	⑪ 制度の周知 ・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度を十分に周知できているか？	☐ できていない (A) ☒ できている・周知の必要がない (B)		理由	

※1 EBPM (Evidence-based Policy Making) …政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠 (エビデンス) に基づくものとする

※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う契約方式

SIB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金調達を金融機関等の資金提供者から行い、その 返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの

5 改善 (Action)

(1) 事業継続の評価及び見直しの区分

一次評価	事業の適合率		評価の判定基準 ▶▶▶	所管課長評価	見直し区分	手法の適正率		見直し判定	見直し区分 (複数選択可)			
	必要性	見直し	80%以上 ⇒ 拡大or継続 70%以上80%未満 ⇒ 継続 60%以上70%未満 ⇒ 継続or縮小 60%未満 ⇒ 縮小or廃止			効率性	見直し		%		☐ コスト見直し	☐ PFS・SIB導入
	有効性	見直し				公平性	見直し				☐ 作業工程等見直し	☐ 事業の統廃合・連携

(2) 担当課による今後の取組

今後の取組	事業推進上の課題	具体的な改善案	備考

6 総評 (Follow)

2次評価	所管部長評価	具体的な指示事項
	一次評価結果を踏まえた横断的な視点での評価	

厚木消防署本署再整備方針

1 再整備の必要性

現在の厚木消防署本署（以下「厚木本署」という。）は、昭和 47 年に竣工し、築 50 年以上経過しており、市内の消防署所において、最も古い消防庁舎です。

近年は、老朽化による経年劣化が進んでいるほか、車庫の狭あい化や出動動線等の機能面に課題があります。

また、近年は、災害が全国的に頻発化・激甚化しており、近い将来、発生が危惧されている大規模地震などを考慮すると、市民の安心・安全の要となる本市の消防・防災拠点である消防庁舎の再整備は喫緊の課題となっており、厚木市公共施設個別施設計画においても、適正な規模での建て替えを行うことを位置付けています。

2 厚木本署の概要

昭和 47 年 7 月に供用を開始した厚木本署は、消防本部 5 係及び厚木消防署として、第一警備隊、第二警備隊が配置されていました。

複雑多様化する各種災害や夏季における猛暑日の増加、高齢化の進展等による救急需要の増加など、消防を取り巻く環境の変化に対応するため、救急隊の増隊や特殊車両の配置など、時代の変遷とともに、消防体制の充実を図ってきました。

このような状況の中、本市の総合的な災害対応力の更なる強化を図るため、消防総務課、警防課、指令課、予防課及び救急救命課の消防本部機能は、令和 9 年度に市庁舎、未来・図書館等で構成する複合施設「あつめき」（以下「複合施設」という。）へ移転する計画となっておりますが、消防署機能については、複合施設には移転せず、厚木本署として単独で建て替えを行います。

所 在 地	厚木市寿町 3 丁目 4 番 10 号		
敷 地 面 積	2,248.23 m ²		
竣工年月日	昭和 47 年 7 月 1 日		
建 築 概 要	本署庁舎 R C 造 3 階建て 延床面積 2,070.18 m ²	1 階	車庫、待機室、管理課等
		2 階	本部執務室、指令センター 災害対策室、消防長室、仮眠室等
		3 階	会議室、救急救命課、仮眠室等
	自動車車庫 S 造 2 階建て 延床面積 160.06 m ²	1 階	車庫、倉庫
		2 階	倉庫
	訓練塔 R C 造 3 階建て 延床面積 50.80 m ²	高さ	13.25m

3 厚木本署の課題

(1) 庁舎の老朽化

厚木本署は、供用開始から 52 年が経過し、消防署所の中で最も古い消防庁舎です。

平成 12 年度には耐震補強工事を施工しているものの、天井や壁からの漏水が散見されますが、損傷個所の特定が難しく応急的な修繕で対応しています。

(2) 車庫の狭あい化

現在、厚木本署には、はしご車や救助工作車等の大型車両も含め、11 台が配置されていることから、車庫が狭あい化しており、有効な車両間隔が確保できないことから、地震の横揺れなどにより、車両同士が接触してしまうことが考えられます。

(3) 出動時に支障となるレイアウト

厚木本署は、耐震補強工事の際、車庫へ通じる開口部に耐震補強壁が設置されたことから、動線について課題があります。

また、仮眠室については、大部屋に複数人で仮眠を取っている状況であることから、感染症の予防やプライバシー保護の観点などからも、仮眠室を個室化する必要があります。

(4) 洪水浸水への対策

厚木本署は、洪水浸水想定区域になっていることから、消防庁舎の機能維持を考慮した洪水浸水への対策を検討する必要があります。

4 再整備の場所について

厚木本署は、平成 28 年度に実施した厚木市消防本部消防力適正配置調査（以下「適正配置調査」という。）において、市内の消防署所の配置状況から、比較的良好な場所に配置されているという結果が示されています。

また、厚木本署の建て替えの候補地については、厚木市公共施設個別施設計画の中で、中心市街地の市有地を優先的な候補地として検討することと位置付けられていることから、適正配置調査も踏まえ、現在地での建て替えが最適であると判断しました。

厚木本署を現在地で建て替え



項目		評価	備考	
政策面での評価	建設用地の確保	○	市有地のため確保済み	
	近隣住民の合意形成	○	現在地のため理解を得られやすい	
	厚木本署の運用効果	○	現状と変わらず消防・救急需要に対応可能	
	中心市街地の回遊性向上やにぎわい創出への影響	○	影響なし（中心市街地から外れているため）	
	建て替えの可否	○	市街化区域（第1種住居地域）のため	
コスト	用地取得費	不要	建設費	必要
	現本署の解体費	必要	現本署の土地売却	不可
	仮庁舎の改修費	必要	総合評価	○
検討・評価	① 厚木本署は、建設から約50年もの間、地域に根差していることから、建て替えへの近隣住民の合意形成については、他の候補地と比較し、理解を得やすい。 ② 現在地での建て替えであることから、適正配置調査において検討した厚木本署の運用効果を現状と変わらず維持することが可能です。 ③ 建設期間中の仮庁舎が必要であることから、仮移転が必要です。			

なお、他の候補地として次のとおり検討しました。

候補地	検討・評価	総合評価
市役所本庁舎跡地へ移転して建て替え (所在地:厚木市中町 3-17-17)	① 救急出動が多い消防署への建て替えに対する近隣住民の合意形成については、理解を得られない可能性があります。 ② 適正配置調査において検討した厚木本署の運用効果を現状と変わらず維持することが可能です。 ③ 建設期間中の仮庁舎を必要としないことから、仮庁舎の改修費用や賃借費用が不要です。 ④ 厚木市本庁舎敷地跡地等活用基本方針において、本庁舎敷地跡地は、厚木本署の移転先として活用しないことが示されています。(令和7年3月) ⑤ 本厚木駅北口周辺のにぎわい創出や歩いて楽しいまちの実現には適さない施設です。	不適
旧厚木警察署跡地へ移転して建て替え (所在地:厚木市水引 2-3-1)	① 旧厚木警察署跡地は、県の所有地であり、隣接する厚木合同庁舎は、複合施設へ移転することから、厚木合同庁舎も含めた県の活用方針が決定しない限り、当該地のみの取得は困難です。 ② 救急出動が多い消防署への建て替えに対する近隣住民の合意形成については、理解を得られない可能性があります。 ③ 適正配置調査において、旧厚木警察署跡地付近が最適な配置場所と示されているものの、国道の中央分離帯により市南部方面への出動については、支障があります。 ④ 建設期間中の仮庁舎を必要としないことから、仮庁舎の改修費用や賃借費用が不要です。	不適

5 再整備期間中の仮移転について

現在地での建て替えは、現庁舎を解体する必要があるため、建て替え期間中は、厚木本署の庁舎として使用できません。このことから、仮庁舎を確保し、厚木本署機能を維持する必要があるため、周辺公共施設を利活用することになりました。

(1) ハローワーク厚木の活用について

厚生労働省神奈川労働局が所管するハローワーク厚木は、複合施設へ機能移転することから、跡地の活用が可能となります。

このことから、中心市街地の消防・救急需要に的確に対応するため、ハローワーク厚木跡地に消防隊や救急隊などを配置し、消防力の機能維持を図ります。

(2) 厚木市環境センターの活用について

厚木市環境センター（以下「環境センター」という。）は、新ごみ中間処理施設の稼働に伴い、管理棟の一部を仮庁舎として使用することが可能となります。

このことから、中心市街地はもとより、市内全域への迅速な出動が可能となる厚木本署管内に位置する環境センターの一部を、指揮隊と救助工作車やはしご車等の大型車両を運用する高度救助隊の仮庁舎として活用し、消防力の機能維持を図ります。

仮移転先	ハローワーク厚木 (所在地：厚木市寿町 3-7-10)	環境センター (所在地：厚木市金田 1641-1)
配置目的	中心市街地の消防・救急需要に的確に対応するため、消防隊や救急隊などを配置する。	消防力の機能維持を図るため市内全域に出動する指揮隊、高度救助隊を配置する。
部隊等	消防隊 消防ポンプ自動車 1 台 救急隊（3 隊） 高規格救急自動車 3 台	指揮隊 指令車 1 台 高度救助隊 救助工作車 1 台 はしご車 2 台 水難救助車 1 台

6 厚木本署の課題に対する対応

あらゆる災害から市民の命と暮らしを守るため、災害活動の中心的役割を果たす消防・防災の拠点施設として、現在の厚木本署の課題である車庫の狭あい化や出動時に支障となるレイアウトの改善、仮眠室の個室化、洪水浸水対策として防水壁の設置や非常用発電設備の上層階への配置など、必要な機能や居室を確保するとともに、建設コストや建て替え後の維持管理経費の削減に努めます。

7 公共施設の最適化について

厚木市公共施設最適化基本計画を踏まえた再整備に努めます。

また、再整備に当たっては、次の取組を行います。

- (1) 現在の課題や将来の消防・救急需要を踏まえ、必要な機能を整理します。
- (2) 基本・実施設計時において、より詳細な必要居室の面積の検証と精査を行います。
- (3) 再整備後の厚木本署に必要な面積及び設備は、適正範囲を確保することで、整備費用及び今後の維持管理費用の縮減に努めます。

8 事業手法について

本市では、事業費総額が 10 億円以上の公共施設の整備について、厚木市 PPP/PFI 手法導入の優先的検討に関する要綱に基づき、PPP/PFI 手法の導入を優先的に検討することを定めています。厚木本署の建て替えに当たっては、同要綱に基づき検討をし、総合的に判断した結果、最適な事業手法として公設公営方式（従来方式）を採用します。

9 今後のスケジュール(案)について

年度	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12	R13
新築関係	測量 ↔	基本・実施設計 ↔ 地盤調査 ↔			新築工事 ↔		供用開始 →
解体関係	アスベスト調査 ↔	解体設計 ↔		解体工事 ↔			
仮庁舎関係 ハローワーク 厚木	借用協議 ↔		改修工事 ↔		仮移転 ↔		原状回復 ↔
仮庁舎関係 環境センター					仮移転 ↔		

※市民参加手続及び再整備方針策定

令和 7 年 6 月 16 日 消防審議会

令和 7 年 6 月 27 日 PPP/PFI 検討委員会

令和 7 年 7 月 16 日 経営戦略会議

令和 7 年 8 月 1 日から パブリックコメント(令和 7 年 9 月 1 日まで)

令和 7 年 10 月 再整備方針策定

県央やまなみ地域の市町村職員による



エコ通勤デー

エコ通勤デーとは

「過度にマイカーに頼る生活」から、「徒歩、自転車、公共交通を中心とした多様な交通手段を適度に利用する生活」への自発的な転換を促す「モビリティ・マネジメント」の一環として、二酸化炭素排出量削減や交通混雑緩和等を目的に、自家用車ではなく、路線バス等の公共交通機関、徒歩、自転車、エコカー等で通勤していただく取組です。

県央やまなみ地域での広域的な実施

県央やまなみ地域の厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町及び清川村を一つの広域的な行政圏域として捉え、これまで以上の緊密な相互連携を通じて、様々な分野における行政課題の解決に取り組むこと等を目的とした「県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定」が令和5年7月18日に締結され、各種事業について連携していくこととなりました。

自家用車等の利用をできる範囲で控え、多様な交通手段を適度に選択することとで、地球や人にやさしい車社会について考えるきっかけとなることを目指し、エコ通勤デーを広域的に取り組めます。



やまなみ協定における連携事項である、**カーボンニュートラルの実現**に向けた調査研究に関する取組として、5市町村が連携し実施します。

モビリティ・マネジメントとは？

「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に(＝かしこく)利用する状態」へと少しずつ変えていく取り組みです。

・厚木市都市計画課 ☎(046)225-2357

・秦野市交通住宅課 ☎(0463)82-9644

・伊勢原市環境対策課 ☎(0463)94-4737、都市政策課 ☎(0463)94-4742

・愛川町政策秘書課 ☎(046)285-6924

・清川村政策推進課 ☎(046)288-1213

県央やまなみ地域での 「エコ通勤デー」の実施について

1 目的

SDGsやカーボンニュートラルの達成に向け、一人一人の二酸化炭素排出量削減に関する意識を高め、幅広い年代への公共交通の利用を促進する「モビリティ・マネジメント」の取組として、自家用車等の利用抑制と路線バスなどの公共交通の利用促進を目的とします。

2 事業概要

5市町村職員が参加する「エコ通勤デー」として、自家用車等での通勤自粛を呼び掛け、環境負荷の低減や、公共交通を利用することの重要性をアピールするとともに、自治体職員として環境行動に対する意識を高めます。

3 参加対象者

県央やまなみ地域5市町村（厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村）に勤務する職員

4 実施日

令和7年11月7日（金）

5 実施方法

路線バス等の公共交通の利用や徒歩、自転車、エコカー、在宅勤務等を選択することにより、できる範囲で自家用車の利用を控えて通勤していただきます。



令和6年度エコ通勤デー実績

5市町村合計参加者数 764人

自家用車での出勤を1日控えると、一人当たり約4.1kgの二酸化炭素の削減につながります。

参加者数764人のため、約3,145kgの二酸化炭素の削減に繋がりました。



都市計画道路本厚木下津古久線の供用開始について

1 整備概要

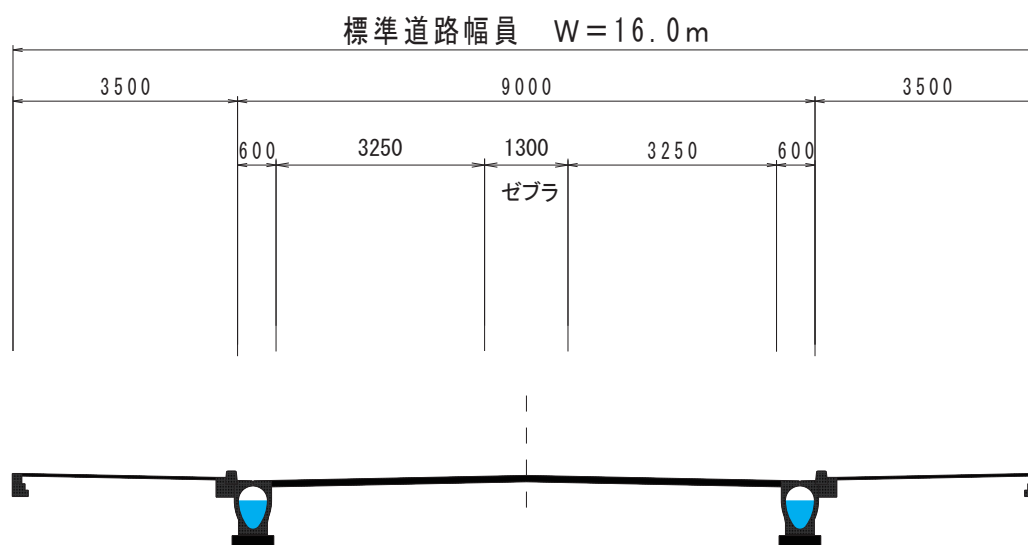
路 線 名：都市計画道路本厚木下津古久線（市道 1-31 号）

供用開始日：令和 7 年 11 月 24 日（月曜日・祝日）

供用開始延長：約 580m

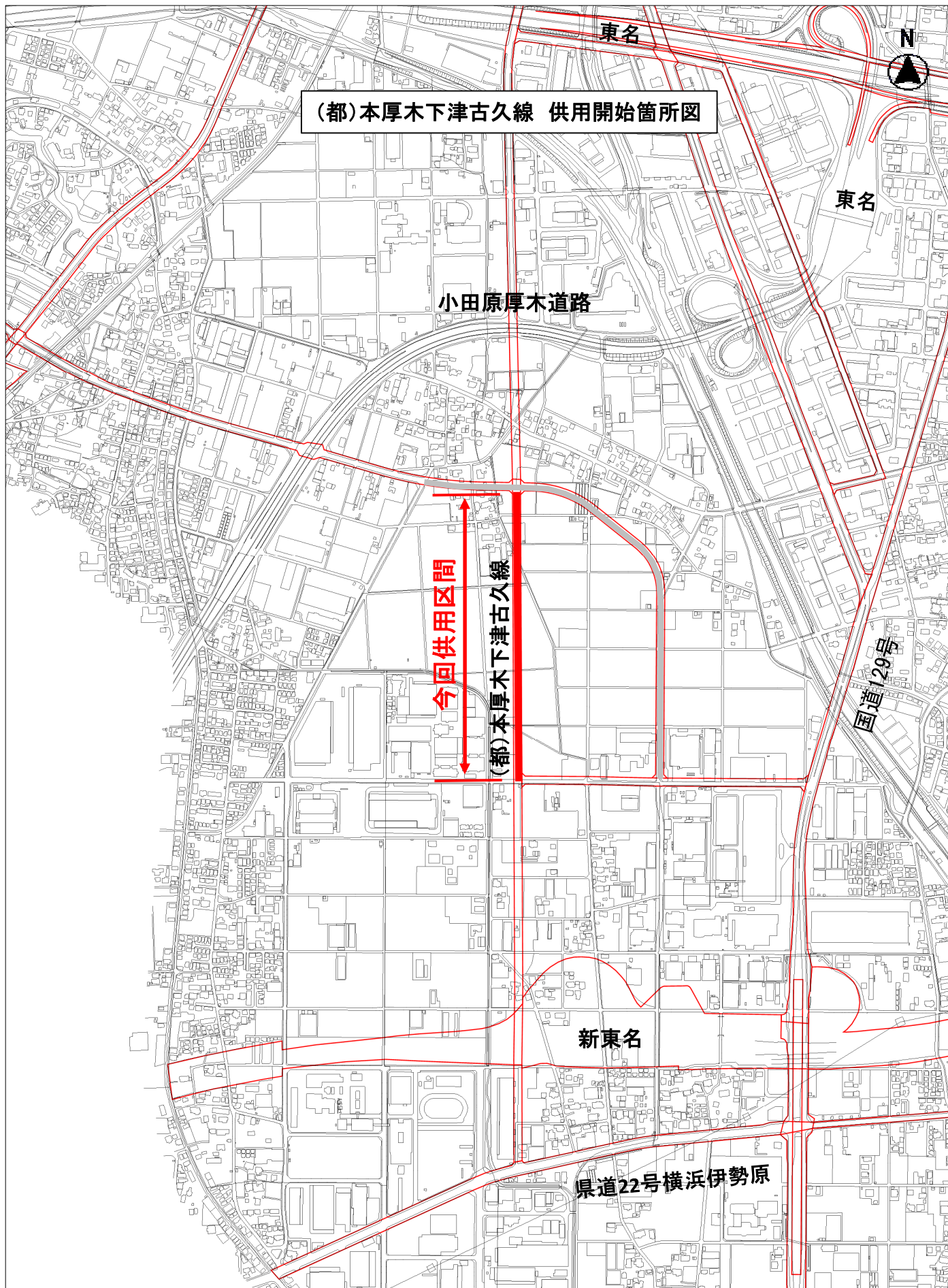
幅 員 等：幅 16m（2 車線）

2 標準断面図

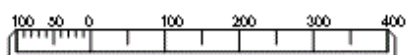


3 位置図

別紙位置図のとおり



縮尺 1 : 10000



パブリックコメント実施予定一覧

令和7年10月定例全員協議会報告分

	名称	時期	所管課
1	厚木市子ども育成条例の一部改正の骨子	令和7年11月4日 ～令和7年12月4日	こども育成課
2	厚木市建築物における駐車施設の附置に関する条例の一部改正の骨子	令和7年11月15日 ～令和7年12月15日	都市計画課
3	厚木市学校給食費に関する条例施行規則の一部改正の骨子	令和7年11月10日 ～令和7年12月10日	学校給食課

※上記一覧は、実施予定です。変更する場合がありますので、御了承願います。